

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第89集

# 北神馬土手遺跡 他 II

## ( 遺物編 )

平成5・6年度 東部運転免許センター建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

1997

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第89集

# 北神馬土手遺跡 他 II

## ( 遺物編 )

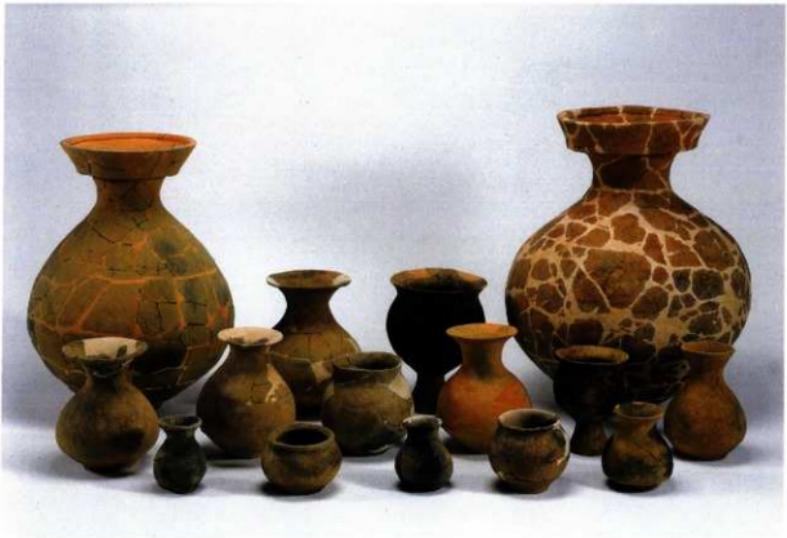
平成5・6年度 東部運転免許センター建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

1997

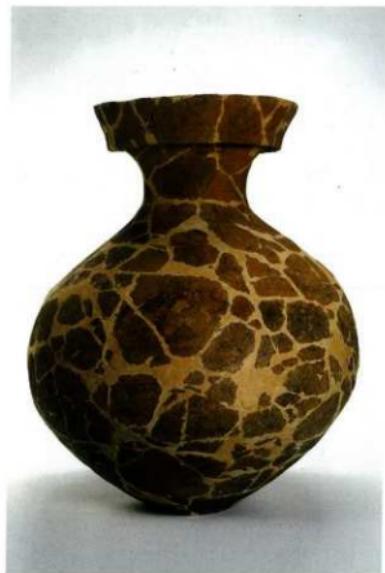
財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所



1. ナイフ形石器



2. 遺構内出土土器



1. SB548 出土大型壺



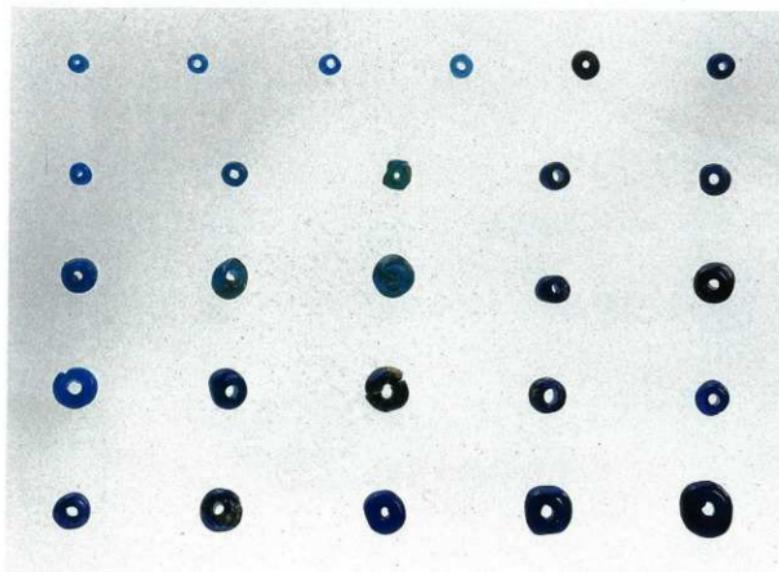
2. SB231 出土大型壺



3. 1号方形周溝墓 壺内出土のベンガラ



4. SB436 出土銅鏡



1. 3号方形周溝墓 主体部出土ガラス製小玉



2. 3号方形周溝墓 主体部出土ガラス製勾玉



住居跡内出土イネ果実 (Pは土器ナンバー)

## 序

本遺跡が立地する愛鷹山南麓は、国史跡に指定された休場遺跡などの旧石器時代の遺跡が濃密に分布することで知られている地域である。また、八兵衛屋敷遺跡、北神馬土手遺跡、二本松遺跡、八兵衛洞遺跡群などの弥生時代後期末から古墳時代初頭の集落遺跡の存在も過去の調査によって明らかにされている。

本遺跡は、前述の北神馬土手遺跡と二本松遺跡のすぐ北側に位置し、当初よりそれらとの関連が注目された。調査の結果、弥生時代末期の約300軒に及ぶ堅穴住居跡や約50棟の掘立柱建物跡、方形周溝墓、畝状遺構等で構成された集落跡が検出され、それらに伴って当該期の良好な資料を得ることができた。の中でも、焼失した堅穴住居跡や方形周溝墓の周溝内から出土した夥しい数の土器は、当地域の弥生時代末期の土器の様相を顕著に示す良好な資料となった。と同時に、この集落の継続する時期が、弥生時代末期のごく限られた時期であることが確認され、前述の遺跡との関連がますます密接であることをも明らかになった。これらの土器に伴って、土製勾玉等の祭祀性の強い遺物が出土したことにも注目に値する。中でも、3号方形周溝墓の主体部から、多数のガラス製小玉を伴って出土したガラス製勾玉は、県内では2例目、全国では最も東端での出土例となる。

縄文時代の遺物は、遺構に伴って出土したものは少ないものの、50基に及ぶ陥落穴付近から、多数の石鏃とともに茅山下層式土器を中心とした早期後半の土器片が出土し、その他にも早期全般に及ぶ土器片が出土した。

旧石器時代の遺物は、礫群や石器ブロックに伴って、各種石器の出土を見たが、特に休場層中からは多数のナイフ形石器を得、愛鷹山南麓の旧石器時代資料の新たな増加となった。これらの資料が当地域の原始社会解明の一助となるならば幸いである。

調査ならびに本書の作成にあたり、静岡県警察本部をはじめ沼津市教育委員会等関係機関各位から多大なる御支援、御協力を受けたことに深く感謝申し上げる。また、調査員や、報告書作成に携わった方々の労をねぎらいたい。

平成9年3月

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

所長 斎藤忠

## 例　　言

1. 本書は、静岡県沼津市足高尾上241番地の10他に所在する植出遺跡（東部運転免許センター地区）の調査報告書の第3分冊であり、北神馬土手遺跡他II（遺物編）として刊行するものである。
2. 本事業は、静岡県警察本部から、北神馬土手遺跡他の總称で委託を受け、植出遺跡・植出北遺跡・北神馬土手遺跡・北神馬土手北遺跡・二本松遺跡を含むものであったが、調査の結果、それぞれの遺跡が独立していないことが判明したので、沼津市と協議し、遺跡名を植出遺跡（東部運転免許センター地区）と変更した。
3. 現地調査は平成5年11月から平成6年度まで、東部運転免許センター建設予定地内埋蔵文化財発掘調査業務として、静岡県警察本部から委託を受け、調査指導機関を静岡県教育委員会とし、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が実施した。
4. 整理作業は、平成7年度と8年度の2年間とし、7年度は遺構編を補う図版編を独立して編集し、北神馬土手遺跡他I（遺構編図版）として刊行した。8年度は北神馬土手遺跡他I（遺構編本文）と本報告書（遺物編）の2冊を編集し、刊行した。
5. 調査体制は以下の通りである。

平成5年度 所長 斎藤 忠、常務理事 鈴木 黙、調査研究部部長 植松章八  
調査研究二課長 栗野克巳、調査研究員 笹原芳郎、青木 修

平成6年度 所長 斎藤 忠、常務理事 鈴木 默、調査研究部部長 小崎章男  
調査研究四課長 橋本敬之、主任調査研究員 羽二生 保  
調査研究員 青野好身、高橋正徳、笹原芳郎、後藤正人、岩崎しのぶ

平成7年度 所長 斎藤 忠、副所長 池谷和三、常務理事 三村田昌昭  
調査研究部長 小崎章男、調査研究四課長 橋本敬之  
主任調査研究員 羽二生 保、調査研究員 笹原芳郎、岩崎しのぶ

平成8年度 所長 斎藤 忠、副所長 池谷和三、常務理事 三村田昌昭  
調査研究部長 石垣英夫、調査研究四課長 橋本敬之  
主任調査研究員 羽二生 保、調査研究員 岩崎しのぶ

6. 本書の執筆は羽二生 保、岩崎しのぶが分担して行った。それぞれの執筆分担は次に示した通りである。なお、土器観察表はすべて岩崎が作成した。
7. ガラス製遺物の材質鑑定にあたっては、奈良国立文化財研究所 肥塚隆保氏に蛍光X線分析等の自然科学的検討をしていただいた。分析結果は付編1として掲載した。また、覆土中から出土した種実の同定は（株）古環境研究所に委託した。これらの結果については付編2として掲載した。
8. 遺物写真的撮影はすべて瀧 嘉秀が行った。
9. 石器実測・トレースについては当研究所調査研究員、笹原千賀子の指導の下で行った。
10. 整理の過程で、次の方々に多大な御指導、御教示を賜った。記して謝意を表します。（敬称略）  
市原壽文、岡本 勇、田辺昭三
11. 発掘調査資料は、すべて静岡県埋蔵文化財調査研究所が保管している。

## 凡　　例

本書の記述については、以下の基準に従い、統一をはかった。

1 挿図の遺物番号は、本文、遺物観察表、写真図版で一致する。

2 図面の縮尺は以下の通りである。

土器 1/3 (但し、31-1のみ1/4)

土製品 1/2

石器 4/5 (但し、石皿・磨石・敲石は1/3、石斧は2/3)

ガラス製品・金属製品 実物大

3 弥生時代遺物実測図の表現は以下の通りである。

・挿図は、石器以外の実測図を、各遺構単位で掲載した。

・土器実測図の図化に際しては、ハケ、ナデ、ミガキを表現し、その原体の方向、切り合い等を把握することを第一とした。

・文様、底部木葉痕等は適宜拓本で示した。

・赤彩部分、黒彩部分はスクリーントーンで示した。

4 弥生土器観察表の原則は以下の通りである。

・器種において、壺と鉢の底部、甕と鉢の口縁部など、一部分だけでは器種の特定のできない個体も存在するが、本表においては、便宜的に底部資料は壺、口縁部破片資料は甕と記述した。

・出土遺構の欄には、現地調査時の土器番号を併せて表記した。これは、『北神馬土手遺跡I-遺構編本文』に掲載された弥生時代遺構平面図または遺物出土状態図に表記された土器番号と一致する。但し、同一の土器群で、2個体以上の土器が挿図に掲載された場合は、枝番を用いた。

・法量において、推定高、復原径についてはその数値を( )で示した。

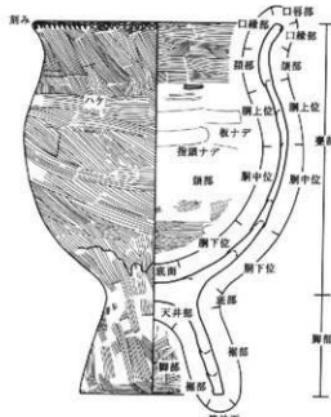
・胎土は、土の質について、粗、やや粗、普通、やや良、良の5段階に分離した。また、( )内に胎土内に含まれる鉱物を示した。

・焼成は、軟、やや軟、普通、やや良、良の5段階に分離した。

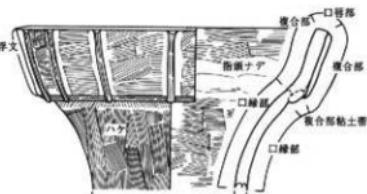
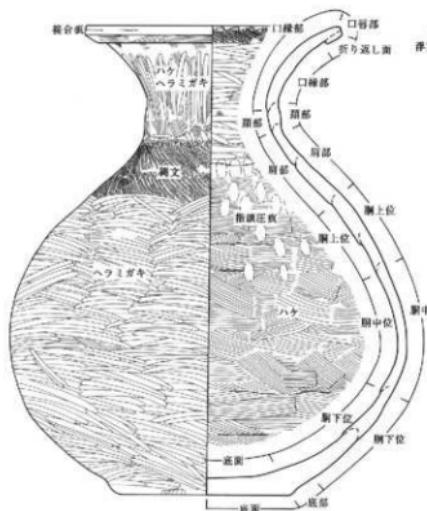
・色調の記載においては、新版『標準土色帖』(農林水産技術研究会議事務局監修 1992)を使用した。  
・備考には、残存率と、磨滅、煤化、彩色、初圧痕等の視覚的観察事項を表記した。

5 土製品観察表の胎土・焼成・色調の表記は弥生土器観察表に準じる。

6 石器計測表の出土遺構及び出土層位の記号は、『北神馬土手遺跡I- (遺構編本文)』における説明と同様である。



壳



複合口縁壺



鉢

折り返し口縁壺

赤彩



黒彩



# 目 次

カラー図版 1～4

序

例言

凡例

第Ⅰ章 旧石器時代の遺物（羽二生） ..... 1

- 1 遺構に伴う遺物
- 2 包含層出土遺物
- 3 扰乱部出土遺物

第Ⅱ章 縄文時代の遺物（羽二生） ..... 15

第1節 土器

第2節 石器

- 1 遺構に伴う遺物
- 2 包含層出土遺物
- 3 扰乱部出土遺物

第Ⅲ章 弓生時代の遺物 ..... 37

第1節 土器（岩崎）

第2節 土製品（岩崎）

第3節 ガラス製品（岩崎）

第4節 金属製品（岩崎）

第5節 石器（羽二生）

第IV章 まとめ（岩崎・羽二生） ..... 235

〈付編1〉 北神馬土手遺跡出土ガラスの化学組成 肥塙隆保（奈良国立文化財研究所） ..... 236

〈付編2〉 北神馬土手遺跡における種実同定（古環境研究所） ..... 240

# 挿図目次

第1図	旧石器時代遺構に伴う石器（1）	7	第39図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（16）	69
第2図	旧石器時代遺構に伴う石器（2）	8	第40図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（17）	70
第3図	旧石器時代遺構に伴う石器（3）	9	第41図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（18）	71
第4図	旧石器時代包含層出土土器（1）	10	第42図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（19）	72
第5図	旧石器時代包含層出土土器（2）	11	第43図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（20）	73
第6図	旧石器時代包含層出土土器（3）	12	第44図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（21）	74
第7図	旧石器時代包含層出土土器（4）	13	第45図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（1）	75
第8図	旧石器時代遺構出土土器	14	第46図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（2）	76
第9図	縄文土器拓影圖（1）	21	第47図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（3）	77
第10図	縄文土器拓影圖（2）	22	第48図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（4）	78
第11図	縄文土器拓影圖（3）	23	第49図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（5）	79
第12図	縄文土器拓影圖（4）	24	第50図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（6）	80
第13図	縄文時代遺構及び包含層出土土器（1）	30	第51図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器・ガラス製品（7）	81
第14図	縄文時代包含層出土土器（2）	31	第52図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（8）	82
第15図	縄文時代包含層出土土器（3）	32	第53図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（9）	83
第16図	縄文時代遺構出土土器（1）	33	第54図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（10）	84
第17図	縄文時代遺構出土土器（2）	34	第55図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（11）	85
第18図	縄文時代遺構出土土器（3）	35	第56図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（12）	86
第19図	縄文時代遺構出土土器（4）	36	第57図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（13）	87
第20図	1区弥生時代整穴住居跡出土土器（1）	50	第58図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（14）	88
第21図	1区弥生時代整穴住居跡出土土器（2）	51	第59図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（15）	89
第22図	1区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（3）	52	第60図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（16）	90
第23図	1区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（4）	53	第61図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（17）	91
第24図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（1）	54	第62図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（18）	92
第25図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（2）	55	第63図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（19）	93
第26図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（3）	56	第64図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（20）	94
第27図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（4）	57	第65図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器・金属製品（21）	95
第28図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（5）	58	第66図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（22）	96
第29図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（6）	59	第67図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（23）	97
第30図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（7）	60	第68図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（24）	98
第31図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（8）	61	第69図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（25）	99
第32図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（9）	62	第70図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（26）	100
第33図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（10）	63	第71図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（27）	101
第34図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（11）	64	第72図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（28）	102
第35図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（12）	65	第73図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（29）	103
第36図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（13）	66	第74図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（30）	104
第37図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（14）	67	第75図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器（31）	105
第38図	2区弥生時代整穴住居跡出土土器（15）	68	第76図	4区弥生時代整穴住居跡出土土器・土製品（32）	106

第77図	4区弥生時代窓穴住居跡出土土器・土製品(33)	107	第99図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器・ガラス製品(17)	129
第78図	4区弥生時代窓穴住居跡出土土器(34)	108	第100図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(18)	130
第79図	4区弥生時代窓穴住居跡出土土器(35)	109	第101図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(19)	131
第80図	4区弥生時代窓穴住居跡出土土器(36)	110	第102図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(20)	132
第81図	4区弥生時代窓穴住居跡出土土器(37)	111	第103図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(21)	133
第82図	4区弥生時代窓穴住居跡出土土器・土製品(38)	112	第104図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(22)	134
第83図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(1)	113	第105図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(23)	135
第84図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(2)	114	第106図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(24)	136
第85図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(3)	115	第107図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(25)	137
第86図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(4)	116	第108図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器・土製品(26)	138
第87図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器・土製品(5)	117	第109図	弥生時代1号方形周溝墓出土土器(1)	139
第88図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器・土製品(6)	118	第110図	弥生時代1号方形周溝墓出土土器(2)	140
第89図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(7)	119	第111図	弥生時代1号方形周溝墓出土土器(3)	141
第90図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(8)	120	第112図	弥生時代1号方形周溝墓出土土器(4)	142
第91図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(9)	121	第113図	弥生時代1号方形周溝墓出土土器・土製品(5)	143
第92図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(10)	122	第114図	弥生時代2号・3号方形周溝墓出土土器・ガラス製品	144
第93図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(11)	123	第115図	弥生時代土器窯窓遺構1出土土器(1)	145
第94図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(12)	124	第116図	弥生時代土器窯窓遺構1出土土器(2)	146
第95図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(13)	125	第117図	弥生時代土器窯窓遺構2出土土器(1)	147
第96図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(14)	126	第118図	弥生時代土器窯窓遺構2出土土器(2)	148
第97図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(15)	127	第119図	弥生時代その他の遺構・遺構外出土土器・土製品	149
第98図	5区弥生時代窓穴住居跡出土土器(16)	128	第120図	弥生時代石器	150

## 挿表目次

表1 磨耗及びブロック出土石器計測表(旧石器)	2	表9 土製勾玉觀察表	233
表2 包含層出土石器計測表(旧石器)	3	表10 土乾丸玉觀察表	233
表3 摂乱部出土石器計測表(旧石器)	4	表11 泥メンツ觀察表	233
表4 遺構及び包含層出土石器計測表(縄文)	26	表12 有孔齿形土製品觀察表	233
表5-1 摂乱部出土石器計測表(縄文)	28	表13 紋面車軸觀察表	233
表5-2 摂乱部出土石器計測表(縄文)	29	表14 手づくりね土器觀察表	233
表6-1 弥生土器一覧表(1)	39	表15-1 ガラス勾玉觀察表	234
表6-2 弥生土器一覧表(2)	40	表15-2 ガラス勾玉觀察表	234
表7 弥生時代石器調査表	47	表16 銅鏡觀察表	234
表8-1~82 弥生土器觀察表(1~82)	151~222		

## 図版目次

- 図版1 旧石器時代の遺物（1）  
図版2 旧石器時代の遺物（2）  
図版3 旧石器時代の遺物（3）  
図版4 鐺文土器（1）  
図版5 鐺文土器（2）  
図版6 鐺文土器（3）  
図版7 鐺文時代石器（1）  
図版8 鐺文時代石器（2）  
図版9 鐺文時代石器（3）  
図版10 1区出土弥生土器  
図版11 2区出土弥生土器（1）  
図版12 2区出土弥生土器（2）  
図版13 2区出土弥生土器（3）  
図版14 2区出土弥生土器（4）  
図版15 2区出土弥生土器（5）  
図版16 2区出土弥生土器（6）  
図版17 2区出土弥生土器（7）  
図版18 2区出土弥生土器（8）  
図版19 4区出土弥生土器（1）  
図版20 4区出土弥生土器（2）  
図版21 4区出土弥生土器（3）  
図版22 4区出土弥生土器（4）  
図版23 4区出土弥生土器（5）  
図版24 4区出土弥生土器（6）  
図版25 4区出土弥生土器（7）  
図版26 4区出土弥生土器（8）  
図版27 4区出土弥生土器（9）  
図版28 4区出土弥生土器（10）  
図版29 4区出土弥生土器（11）  
図版30 4区出土弥生土器（12）  
図版31 4区出土弥生土器（13）  
図版32 4区出土弥生土器（14）  
図版33 4区出土弥生土器（15）  
図版34 4区出土弥生土器（16）  
図版35 4区出土弥生土器（17）  
図版36 4区出土弥生土器（18）  
図版37 5区出土弥生土器（1）  
図版38 5区出土弥生土器（2）  
図版39 5区出土弥生土器（3）  
図版40 5区出土弥生土器（4）  
図版41 5区出土弥生土器（5）  
図版42 5区出土弥生土器（6）  
図版43 5区出土弥生土器（7）  
図版44 5区出土弥生土器（8）  
図版45 5区出土弥生土器（9）  
図版46 5区出土弥生土器（10）  
図版47 5区出土弥生土器（11）  
図版48 5区出土弥生土器（12）  
図版49 弥生時代土製品  
図版50 弥生時代石器

# 第Ⅰ章 旧石器時代の遺物

旧石器時代の石器は総数47点の出土をみている。器種別内訳は、ナイフ形石器30点、尖頭器3点、有舌尖頭器3点、小形刃器状剝片3点、楔形石器2点、抉入削器2点、削器1点、搔器2点、使用痕のある剝片2点で、その他10点の石核と多数の剝片が出土している。これらは石器ブロック等の遺構に伴うものと、包含層出土のもの、弥生時代の住居跡の覆土内等の本来の位置から離れてしまった部分（攪乱部）から出土するものに分けられ、以下においてはそれぞれについて説明を行うこととする。

## 1. 遺構に伴う遺物（第1図～第3図）

### A. 5区砾群1に伴うもの（第1図-1～3）

搔器(1)、ナイフ形石器(2)、削器(3)の3点である。休場層の上層(YLU)から中層(YLM)にかけて出土している。(1)は黒耀石製で小形の肉厚な剝片を素材とする短形搔器である。平面形は不正円形で、一部素材面を残すものの急斜な刃部が作出されている。(2)は縦長剝片を素材とした切出状のナイフ形石器で、二側縁と基部の背腹両面にプランティングを施している。刃部には背面側からの細かな調整剝離が認められる。(3)は石核の両側縁に二次加工を施して刃部を作出した削器と思われる。

### B. 4区1号ブロックに伴うもの（第1図-4～10・第2図-12）

ナイフ形石器(4～10)、石核(12)の8点である。富士黒土層(FB)の下部から休場層の中層にかけて出土している。ナイフ形石器は、(7)が先端部のみの破片で不明であるが、他のものはすべて縦長剝片を素材とし、二側縁にプランティングを施している。刃部を右側縁に付けるもの(4～7・10)と左側縁に付けるもの(8・9)がある。基部加工は(4)と(10)に認められ、(4)は側面のプランティングの後に背腹両面に、(10)は腹面側にのみ施している。(8)は基部が折損しているが、背面に施した剝離により基部側が非常に薄く仕上げられている。

### C. 4区2号ブロックに伴うもの（第2図-13～16）

ナイフ形石器(13)、石核(14～16)の4点である。ナイフ形石器は休場層中層(YLM)から出土している。黒耀石製で、肉厚な縦長剝片を素材とし、二側縁に急斜なプランティングを施す大形のものである。残念ながら基部側を折損している。石核は休場層の中層から下層(YLL)にかけて出土している。(15)は上下に打面を設定し、両方向から剝片剝離作業を行っている。

### D. 5区1号ブロックに伴うもの（第1図-11）

作業面調整剝片で下部にプランティングを施す

### E. 5区3-1号ブロックに伴うもの（第3図-17）

石核(17)の1点である。休場層の中層から出土している。打面を固定し、一方向から剝片剝離作業を行っている。

### F. 5区3-IV号ブロックに伴うもの（第3図-18）

石核(18)の1点である。休場層の下層から出土している。上下に打面を設定し、両方向から剝片剝離作業を行っている。

### G. 5区3-III号ブロックに伴うもの（第3図-19）

ナイフ形石器(19)の1点である。漸移層(Zn)から出土している。基部のみで、素材剝片の打瘤をプランティングによって除去している。

### H. その他（第3図-20～22）

ナイフ形石器(20～22)の3点で、3号ブロックに伴うものかどうか検討を要するものである。(20)

表1 磨群及びブロック出土石器計測表(旧石器)

[単位はmmおよびg ( ) 内は現存値]

器種	PL	No.	区	グリッド	石 材	最大縦	最大横	最大厚	重 量	遺 構
搔 器	1	1	5	P-27	黒耀石	24.0	22.0	11.0	6.21	5区1号
ナイフ形石器	1	2	5	P-27	〃	33.0	12.0	5.0	1.24	〃
削 器	1	3	5	P-28	頁 岩	51.5	36.0	16.0	31.0	〃
ナイフ形石器	1	4	4	P-13	黒耀石	32.0	14.0	6.0	1.97	4区1号ブロック
〃	1	5	4	P-13	頁 岩	37.5	13.5	6.0	2.62	〃
〃	1	6	4	P-13	〃	37.5	15.0	7.0	3.51	〃
〃	1	7	4	P-13	黒耀石	(13.5)	(4.0)	(4.0)	(0.13)	〃
〃	1	8	4	P-14	〃	(24.0)	(12.0)	(6.0)	(1.04)	〃
〃	1	9	4	P-13	頁 岩	37.0	15.0	6.0	2.87	〃
〃	1	10	4	P-13	黒耀石	25.0	11.5	4.0	1.05	〃
剥 片	1	11	5	T-22	〃	13.0	23.5	4.0	0.42	5区1号ブロック
石 核	2	12	4	P-14	頁 岩	42.0	53.0	29.0	73.1	4区1号ブロック
ナイフ形石器	2	13	4	S-21	黒耀石	(38.0)	(21.0)	(9.0)	(6.0)	4区2号ブロック
石 核	2	14	4	S-21	頁 岩	61.5	42.0	25.0	83.7	〃
〃	2	15	4	S-21	〃	56.0	40.5	30.5	74.7	〃
〃	2	16	4	S-21	〃	54.0	42.0	43.0	109.0	〃
〃	3	17	5	T-28	〃	62.0	68.0	50.0	253.0	5区3号ブロック
〃	3	18	5	T-27	〃	45.0	55.0	34.5	81.6	5区4号ブロック
ナイフ形石器	3	19	5	S-27	黒耀石	(23.0)	(25.5)	(7.5)	(2.28)	5区5号ブロック
〃	3	20	5	T-27	〃	(26.0)	16.0	6.0	(1.91)	5区6号ブロック
〃	3	21	5	T-27	〃	35.0	11.0	5.0	1.66	〃
〃	3	22	5	T-27	〃	42.0	14.0	5.0	2.02	〃

は休場層上層、(21)と(22)は富士黒土層から出土している。いずれも縦長剥片を素材としている。(20)は基部が幅広の円形を呈し、調整剝離が行われているが、これはヒンジフラクチャー補正の為と思われる。先端部は欠損し、右側縁にのみプランディングを施している。(21)と(22)は二側縁にプランディングを施し、基部の腹面側には打瘤除去の為と思われる平坦剝離が認められる。

## 2. 包含層出土遺物(第4図～第7図)

### A. 富士黒土層(FB)内出土のもの(第4図-4、第5図-1・2)

有舌尖頭器(4)、ナイフ形石器(1・2)の3点である。(4)は風化が激しく調整痕等明らかでないが、両面加工が施されているようである。ナイフ形石器はいずれも黒耀石製で、縦長剥片を素材とし、二側縁にプランディングを施しているが、(1)は上部を折損している。基部加工は(1)の腹面と(2)の背面に認められる。

### B. 富士黒土層から休場層にかけての漸移層(Zn)内出土のもの(第4図-1・2・6)

小形石刃状剥片(1・2)、尖頭器(6)の3点である。小形石刃状剥片は細石刃と類似するが、細石刃核が出土していないので石刃とした。いずれも黒耀石製で、(1)は完形であるが(2)は上半部が折損している。(1)は両側の刃部に使用痕が認められ、右側縁の上部にはプランディングが施されている。(2)は右側刃部に使用痕が認められ、左側刃部には非常に細かな調整剝離を施している。尖頭器は黒耀石製

表2 包含層出土石器計測表(旧石器)

〔単位はmmおよびg ( )内は現存値〕

器種	PL	No.	区	グリッド	石 材	最大縦	最大横	最大厚	重 量	層 位
小形石刃状剥片	4	1	4	P-18	黒耀石	25.0	8.0	4.0	0.60	Zn
〃	4	2	5	N-29	〃	(13.0)	(7.0)	(2.0)	(0.11)	Zn
〃	4	3	2	T-10	〃	(16.0)	(7.0)	(2.5)	(0.26)	YLU
有舌尖頭器	4	4	2	P-10	頁 岩	54.0	12.0	4.0	2.40	FB
〃	4	5	2	R-11	ガラス質黑色安山岩	79.0	20.0	8.0	(9.60)	YLU
尖 頭 器	4	6	4	P-18	黒耀石	(27.5)	(17.0)	(6.0)	(2.64)	Zn
〃	4	7	2	S-11	頁 岩	110.0	38.0	13.0	50.80	YLU
ナイフ形石器	5	1	5	D-29	黒耀石	(23.0)	(11.0)	(5.0)	(1.26)	FB
〃	5	2	2	R-9	〃	30.0	15.0	7.0	2.16	FB
〃	5	3	2	M-10	〃	(36.5)	(16.0)	(10.0)	(4.27)	YLU
〃	5	4	5	G-29	〃	25.5	12.0	5.0	1.10	YLU
〃	5	5	5	G-29	石 英	37.5	16.5	8.0	4.08	YLU
〃	5	6	2	R-10	黒耀石	49.0	15.0	5.5	2.70	YLU
〃	5	7	2	P-11	〃	(52.0)	(18.0)	(7.0)	(4.43)	YLU
〃	5	8	5	E-24	石 英	43.0	20.0	8.0	5.64	YLU
〃	5	9	2	R-9	黒耀石	28.5	16.5	5.0	1.77	YLU
〃	5	10	4	Q-13	〃	(28.0)	15.0	6.0	1.83	YLU
〃	5	11	4	R-13	〃	30.0	14.5	6.0	1.43	YLL
石 核	6	1	2	P-11	〃	46.5	47.0	33.0	46.95	YLU
〃	6	2	2	P-11	〃	57.0	53.0	29.0	74.23	YLU
〃	7	1	2	P-11	〃	50.0	36.5	39.5	58.67	YLU
抉入削器	7	2	4	Q-17	頁 岩	87.5	31.0	11.0	21.60	SCI
楔 形 石 器	7	3	1	D-13	黒耀石	33.0	20.5	8.0	4.02	BBI

て先端部と下半部を折損している。腹面には素材の剝離面を残している。

## C. 休場層上層(YLU)内出土のもの(第4図-3.5.7、第5図-3~10、第6図、第7図-1)

小形石刃状剥片(3)、有舌尖頭器(5)、尖頭器(7)、ナイフ形石器(5-3~10)、石核(6-1.2、7-1)の14点である。(3)は黒耀石製で下部は折損している。上方の両側縁には使用痕が認められる。(5)は風化が激しく判然としないが両面加工が施され、柄は折れている。(7)は頁岩製で木葉形を呈し、両面加工を施している。ナイフ形石器は(5-5.8)が石英である以外黒耀石製で、いずれも縦長剥片を素材としている。刃を左側縁に付けるもの(5-3.4)、右側縁に付けるもの(5-5~7)、切出し形状に上方に付けるもの(5-8~10)等が認められるが(やや右側に刃が付く)、いずれも二側縁にプランティングを施している。(5)・(6)・(8)の基部の腹面には、基部調整の平坦剝離が認められるが、(10)は打瘤をそのまま残している。(7)は基部を折損しているが(4)の基部はヒンジフラクチャーである。また、(3)と(10)は先端部を折損している。石核の3点は非常に近接した位置で発見されており、いずれも石材は黒耀石である。(6-1)と(7-1)は单設打面石核で、原礫面が残る角礫を素材とし、上面の節理面を打面として縦長の剥片を連続して剝離している。(7-1)の打面には打面調整の痕跡がある。(6-2)は複設打面石核であり、やはり原礫面が残る角礫を素材とし、打面を転移しながら縦長剥片を剝離している。最終剝離面に対する打面は旧作業面を用いている。なお、これら3点の石核については、笹原千賀子の教

表3 撥乱部出土石器計測表（旧石器）

〔単位はmmおよびg ( ) 内は現存値〕

器種	PL	No.	区	グリッド	石 材	最大縦	最大横	最大厚	重 量	遺 構
楔形石器	8	1	5	—	黒耀石	19.5	8.0	4.5	0.68	SD501 屢土
剥片(貝殻状)	8	2	1	C-10	〃	21.5	21.0	6.0	1.35	—
尖頭器	8	3	5	E-23	〃	(22.0)	(20.5)	( 6.5)	(2.38)	SB557 屢土
ナイフ形石器	8	4	4	—	〃	33.0	13.5	5.5	1.65	—
〃	8	5	4	S-21	〃	(20.0)	(15.5)	( 5.0)	(1.08)	—
〃	8	6	5	G-27	〃	(15.5)	(11.0)	( 4.0)	(0.51)	SB558 脳床内
〃	8	7	2	T-6	〃	30.0	16.0	7.0	2.20	SB561 脳床内
〃	8	8	1	C-13	〃	29.0	15.0	8.0	1.80	—
〃	8	9	2	—	〃	44.0	13.0	6.0	2.16	—
搔 器	8	10	5	G-24	〃	25.5	26.0	8.5	5.63	SB564 屢土
抉入削器	8	11	1	D-14	〃	43.5	39.0	11.0	7.80	—
石 核	8	12	1	D-10	〃	49.5	45.0	16.0	30.40	—
有舌尖頭器	8	13	5	K-23	頁岩	42.0	12.0	5.0	2.79	3号方形周溝墓主体部

示を得た。

## D. 休場層下層(YLL)内出土のもの(第5図-11)

ナイフ形石器(11)の1点である。黒耀石製で、縦長剥片を素材としている。左側縁にプランティングを施し、右側縁の刃部には調整剝離を施す。背面には基部から左側縁に沿って原礫面が残り、腹面には基部から両側縁に沿って調整剝離を施している。

## E. 第Iスコリア層(SC I)内出土のもの(第7図-2)

抉入削器(2)の1点である。頁岩製で、縦長剥片を素材としている。上端に平坦な打面をもち、下端は原礫面を残している。背面の左側縁に3か所、右側縁に4か所、細部調整で抉りの刃部が設けられている。さらに腹面にも左側縁に同様な刃部が2か所認められる。

## F. 第I黒色帶(BB I)内出土のもの(第7図-3)

楔形石器(3)の1点である。黒耀石製で、縦長剥片を素材とするもので、上下両端に加撃痕を残す。上方の背腹両面には著しい剝離痕が認められる。

## 3. 撥乱部出土遺物(第8図)

(1) は黒耀石製で、細長い縦長剥片を素材とした楔形石器である。上下端に加撃痕を残し、腹面の左側縁部には調整剝離が認められる。

(2) は黒耀石の貝殻状剥片である。左右両側縁には使用痕が認められる。

(3) は黒耀石製の尖頭器の下方部で、縦長剥片を素材としている。背面の全面と腹面の左側縁の一部に調整剝離を施している。

(4)～(9) はナイフ形石器である。いずれも黒耀石製で縦長剥片を素材としている。(4) は右側縁に刃を付けているが、(6)～(9) は左側縁に刃を付けている。(5) と (6) は全体像がわからないので不明であるが、他は二側縁にプランティングを施している。(5) の基部の両側縁と (6) の右側縁にはプランティングが施されており、これらも同様であったと思われる。(5) と (9) の基部の腹面には調整剝離が認められる。また、(8) の下端は平坦な自然面の打面を残し、(9) の右側縁にも一部自然面が残っている。形態的には(7) や (8) のように切出し状を呈し、長さが短く肉厚なものと、(9) のように器

長と共に刃部も長いもの、及び(4)のようなその中間形のものが見うけられる。

(10)は黒耀石製の円形の搔器である。縦長剥片を素材とし、わずかに打面を残す。腹面全面と周縁部に調整剝離を施している。従って背面の縁で搔いたものと思われる。

(11)は黒耀石製の抉入削器である。縦長剥片を素材とし、背面下部と底面は原礫面を残している。右側縁に1か所、細部調整で抉りの刃部が設けられている。左側縁全体と右側縁の抉り部以上には調整剝離が認められるので、削器としても利用されたと思われる。右側縁の調整は背腹両面に行われている。

(12)は黒耀石製の石核である。側面及び裏面に原礫面を残す。剝離の方向は一定しておらず、打面転移が行われている。

(13)は頁岩製の有舌尖頭器である。風化が著しいため調整状況は不明である。

以上、旧石器時代の遺物の説明を行ったが、以下においては、出土したナイフ形石器について形態分類を試みると共に、若干私見を述べてみたい。

ナイフ形石器は30点出土し、そのうち全体形を把握できるものは19点であった。それらはすべて縦長剥片を素材とし、二側縁にプランティングを施しており、平面形態から次のI～Vに分類できる。

I類-刃部が側縁の二分の一以上あり、最大縦が最大横の三倍以上ある、細身で刃が長く、先端部の角度が鋭いもの。(3-21)、(5-6)、(8-9)が該当する。

II類-刃部が側縁の二分の一以上あり、最大縦が最大横の二倍以上三倍以下のもの。I類に比べ相対的に幅が広い。(1-5)、(1-6)、(1-9)、(5-4)、(5-5)、(8-4)が該当する。

III類-刃部が側縁の二分の一以上あり、最大縦が最大横の二倍以下のもの。

(5-2)、(8-7)、(8-8)が該当する。

IV類-刃部が側縁の二分の一以下であり、先端部の角度がやや鈍い切出し形のもの。

(1-2)、(1-4)、(3-22)、(5-11)が該当する。

V類-刃部が側縁に比べ極端に短く、先端部の角度も鈍いもの。

(1-10)、(5-8)、(5-9)が該当する。

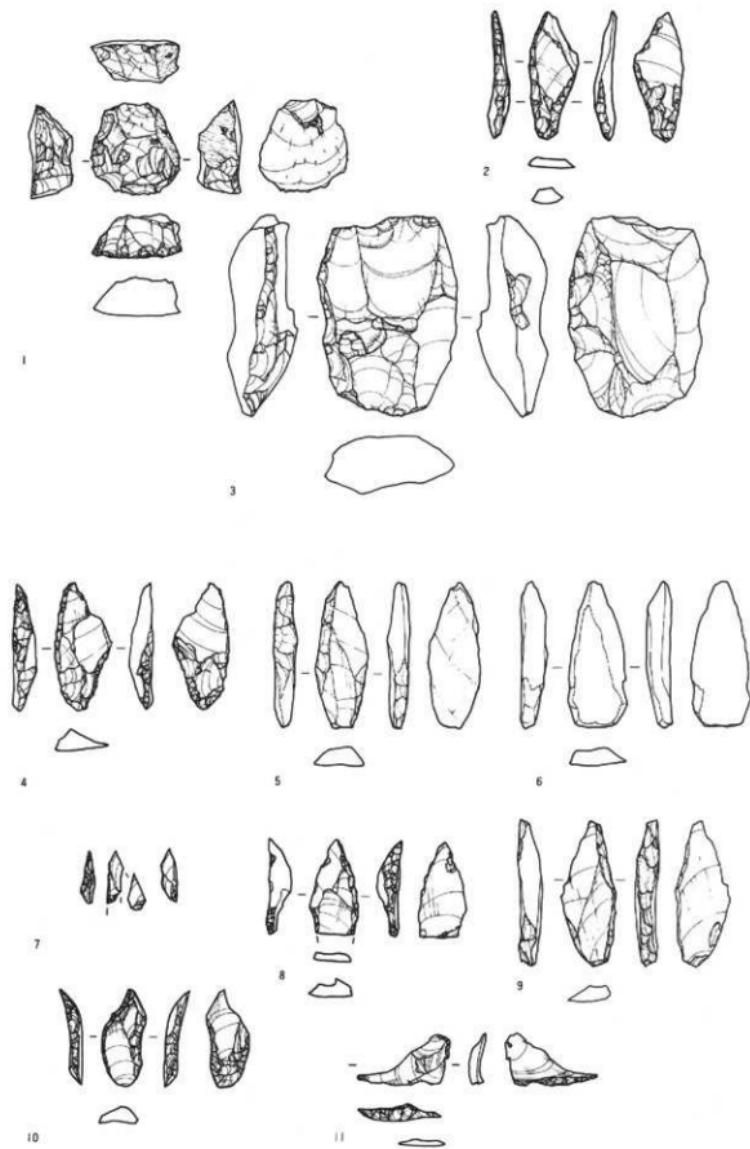
これらの内、II・III・V類においては、基部が尖頭状もしくは丸みを呈するものと、平らなものにさらに分類できそうである。

これらのナイフ形石器は、攪乱部から出土したものを除くと、調査時の層位の認定では富士黒土層(FB)から休場層下層(YLL)にかけて出土している。そのうち4区1号ブロックからは5点出土しており、その内訳は富士黒土層から1点、漸移層(Zn)から2点、休場層上層(YLU)から2点と言うものであった。つまり同じ遺構内から出土したにもかかわらず、その出土レベルにかなりの違いが認められることもあるって、それが層位の認定結果の違いとして表れているものと思う。したがって、これら遺構に伴うものについては、認定した出土層位を全面的に生かして編年を組むのは危険であるし、かといって遺構内のものをすべて同時期とするのも危険である。なぜならば、同じ遺構内の遺物にかなりの高低差が生じるということは、他の層からの紛れ込みも考えられるからである。それでは、編年はどのような資料で考えたらよいかということであるが、当遺跡のような場合は遺構以外の包含層出土遺物のほうが有効ではないかと思う。もちろん、他の遺跡において遺構内出土遺物が単一層内のものとして捉えられるような場合は、良好な資料として問題なく使うべきであろう。

そこで、攪乱部出土の4点、4区1号ブロック出土の5点、5区3号ブロック付近出土の2点、5区砾群1出土の1点の合わせて12点の資料を除くと、7点の資料が残る。内訳は、富士黒土層が1点(III類- (5-2)、休場層上層が5点(I類- (5-6)・II類- (5-4)・(5-5)・V類- (5-8)・(5-9)、休場層下層が1点(IV類- (5-11))である。本遺跡においては休場層上層の時期には少なくとも3形態のナイフ形石器が存在したようであり、仮に5区砾群1出土の1点(IV類- (1-2))を加えれば4形態と

なる。

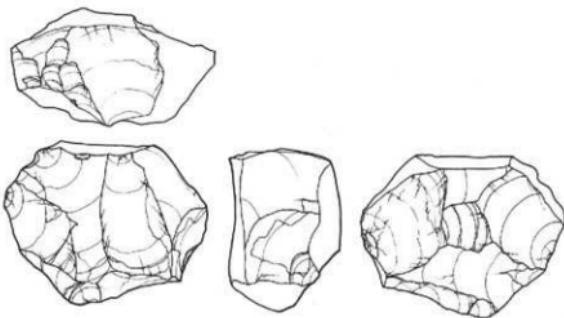
次にナイフ形石器に認められる刃部の位置（右側縁か左側縁かということ）について考えてみたい。本遺跡出土の30点のナイフ形石器の内、右側縁に刃を設けているものが15点、左側縁のものが13点、不明2点で、左右の刃の割合はほぼ同等であった。類別にみると、I類・II類・IV類に両方のものが認められ、III類は左のみ、V類は右のみであった。資料数が少ないので、III類・V類にも反対側に刃の付くものがあると考えた方が良いかもしれない。さて、なぜ同類のなかで両方のものが認められるのであろうか。素材となった剥片の状態でどちらを刃にするか決めたとも思われるし、利き腕との関係も考えられる。私は両方の場合があったのではないかと思っている。本遺跡出土のナイフ形石器はすべて縦長剝片を素材としているが、それは多かれ少なかれ反りを伴う。その反り具合によって使用目的の違うものを製作したのではなかろうか。比較的反りの少ないものは、利き腕の影響があまり及ばない様な物（たとえば刺突具）の製作にあてられ、その場合は剥片の状態で刃の位置が決められたものと思われる。それに対し、I類としたような細長く反りのあるものは、刺突具としては適さず、手鎌のように反っていることに意味があったのではなかろうか。当然特殊な使い方をしたであろうし、利き腕との関係が無視できなかったものと思われる。



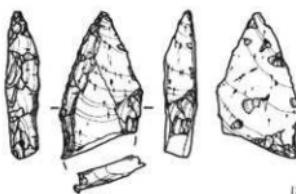
1 - 3 ..... 5区標群出土 4 - 10 ..... 4区1号ブロック出土 11 ..... 5区1号ブロック出土

縮尺 4 / 5

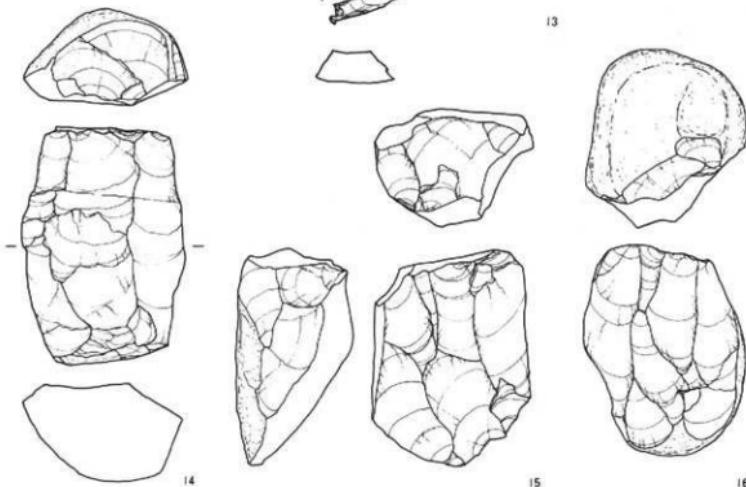
第1図 旧石器時代遺構に伴う石器(1)



12



13



14

15

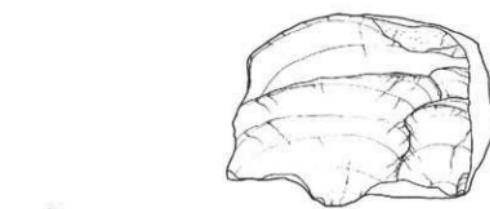
16

12……4区1号ブロック出土

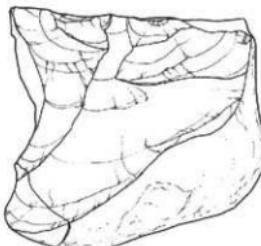
13~16……4区2号ブロック出土

縮尺4／5

第2図 旧石器時代遺構に伴う石器（2）



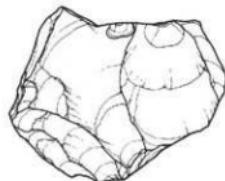
17



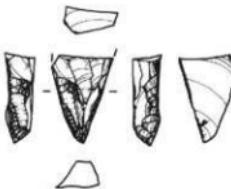
19



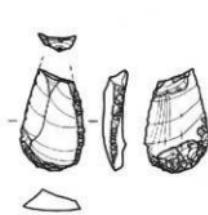
18



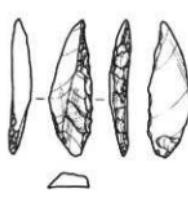
21



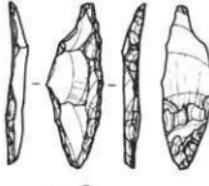
22



20



21

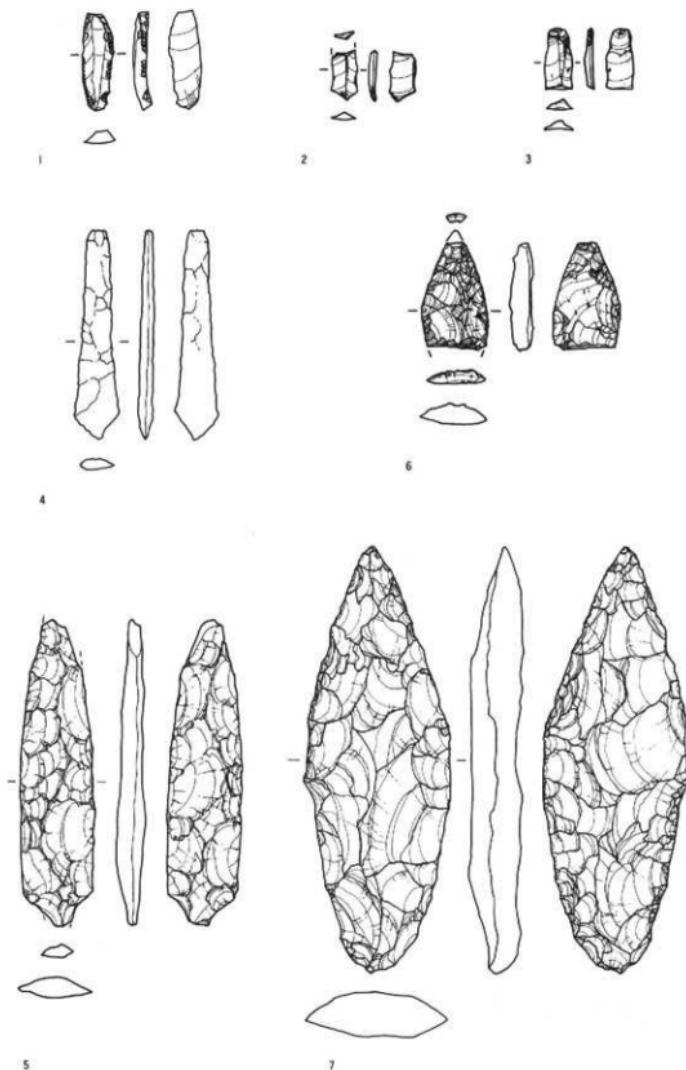


22

17……5区3-1号ブロック出土 18……4区3-17号ブロック出土 19……5区3-10号ブロック出土  
20-22……5区3号ブロック周辺出土

縮尺4／5

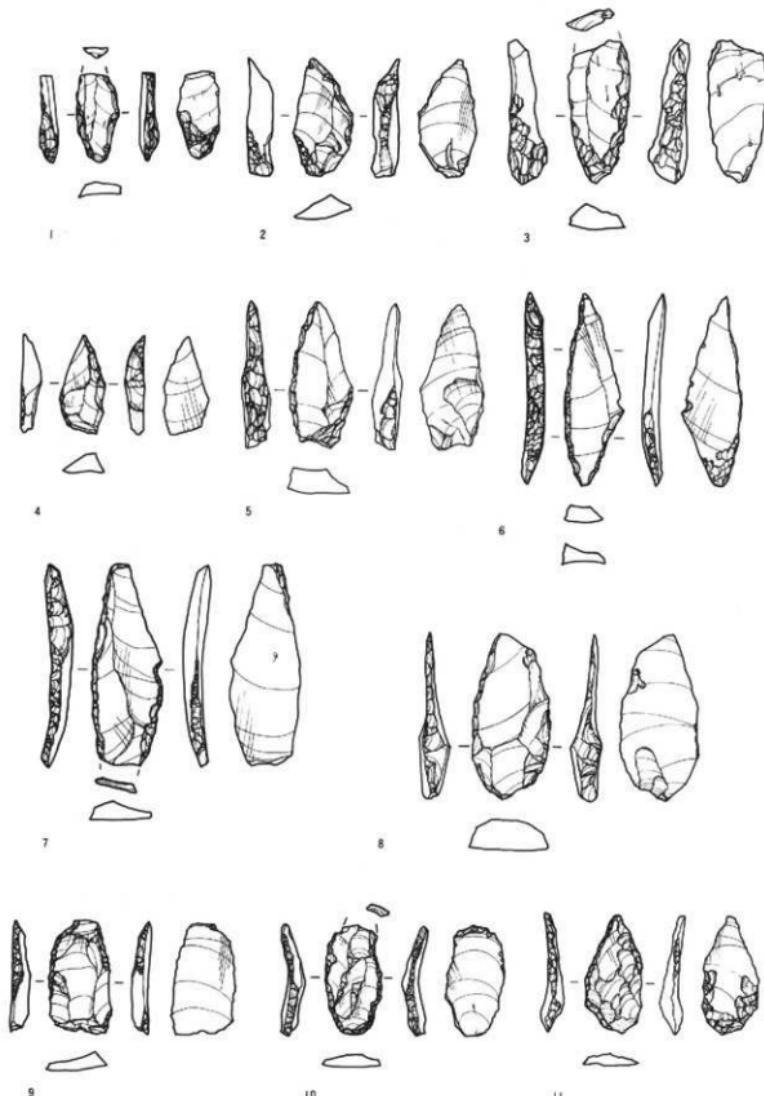
第3図 旧石器時代遺構に伴う石器（3）



1・2・6……漸移層 (Zh) 出土 4……富士黒土層 (FB) 出土 3・5・7……休場層上層 (YLU) 出土

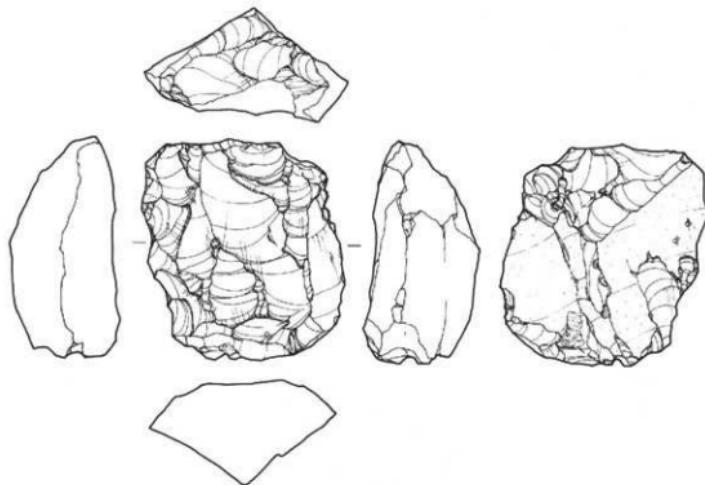
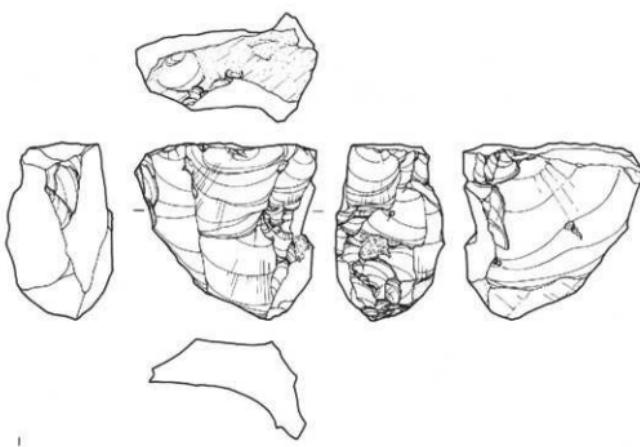
縮尺 4 / 5

第4図 旧石器時代包含層出土石器 (1)



1・2……富士黒土層(FB) 3~10……休場層上層(YLU)出土 11……休場層下層(YLL)出土 比尺4/5

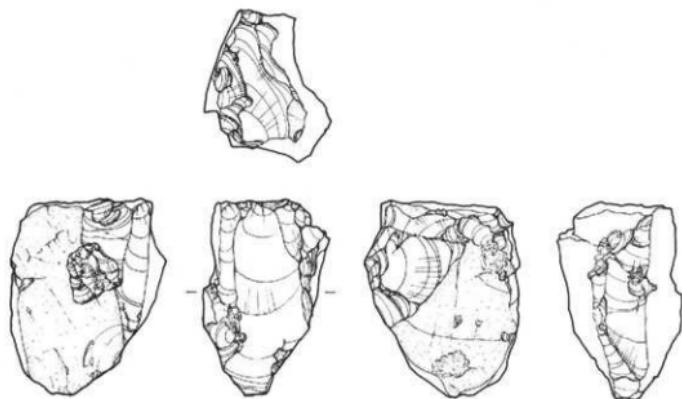
第5図 旧石器時代包含層出土石器(2)



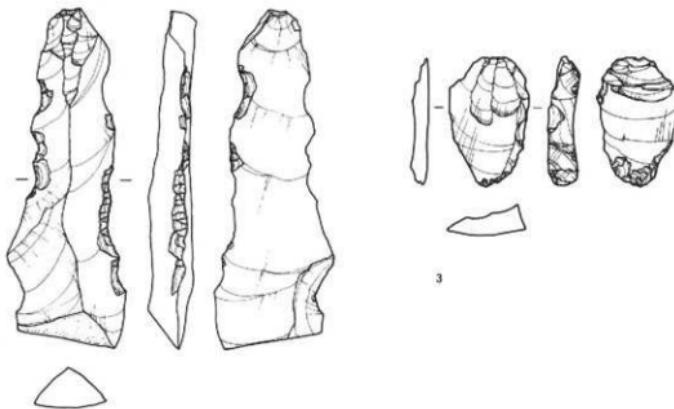
1・2……休場層上層(YLU)出土

縮尺4/5

第6図 旧石器時代包含層出土石器(3)



1



3

2

1……休場層上層（YLU）出土 2……第Ⅰスコリア層（SCI）出土 3……第Ⅰ黑色帶（BB1）出土  
第7図 旧石器時代包含層出土石器（4） 比尺4／5



第8図 旧石器時代擾乱部出土石器

縮尺4／5

## 第II章 繩文時代の遺物

### 第1節 土器

本遺跡出土の繩文土器は遺構に伴うものは無く、すべて栗色土層から富士黒土層にかけて包含されていたものである。その分布状況は1区と5区の北側に集中しており、その他からの出土はごく少量であった。また、1区が押型文土器を主体とするのに対し5区の北側は条痕文系土器を主体としていた。繩文時代の遺構は1区からは検出されていないが、谷を挟んだ東側の尾根上（2・4・5区）からは多数の竪穴が検出されており、これらが条痕文系土器の時期、つまり早期後半に掘られたものと考えてよさそうである。以下においては各区毎に遺物の説明を行うが、遺物は大まかに四時期に分類できるので、それらを下の四群として必要に応じてさらに細分した。

第I群土器 繩文時代早期前半のもの

第II群土器 繩文時代早期後半のもの

第III群土器 繩文時代前期のもの

第IV群土器 繩文時代中期以後のもの

1区（第9図-1~29）

第I群（1~26）

1類 押型文を有するもの（1~21 押型文には楕円・格子目・山形の3種がみられる）

1~17は楕円押型文を有するもので1~3は口縁部の破片である。1と2は口唇部をナデにより面取りしているが3は丸く仕上げている。1は縦方向に、2と3は横方向に施文している。2の楕円は潰れているのが多い。1と2には補修孔と言われている円孔が認められるが、いづれも外側から先細りの道具で穿孔し、最後に内面からの穿孔により貫通させていた。4~17は胸部の破片である。4~11は横向向に、12~17は縦方向に施文している。楕円の大きさは1が長径0.8cm、17が1.0cmを測る他はほとんど0.6cm程度である。17は楕円文が扁平でもありやや粗い。また、5と8は楕円文の上に更に条痕がみられ、13は楕円の一部がナデ消されているようである。胎土は白色粗砂粒を含むものと金雲母を含むものとに大別できるが、白色粗砂粒を含むものにはすべて纖維痕が認められ（1・3・5~9・11・15~17）、金雲母を含むものにはすべて纖維痕が認められなかった（2・4・10・12~14）。

18は格子目押型文を有するもので、胎土は白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

19~21は山形押型文を有するものである。19は口縁部の破片で、やや外反して口唇部は丸く仕上げている。施文は縦方向に行われ二つの山形が1単位となり繰り返されるようである。そうすると原体の円周は2.6cmとなり、直径はおよそ0.8cmということになる。山形は幅1.0cm、高さ0.5cmのものと、幅1.6cm、高さ0.8cmのものがみられる。20は胸部破片である。横方向に施文し、山形の幅は1.6cm、高さ1.0cmを測る。21も胸部破片である。やや斜位に施文し、山形の幅は1.5cm、高さ0.6cmを測る。いづれも胎土に白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

2類 擾糸文を有するもの（22~24）

22・23は胸部破片である。22は斜位、23は斜位や縦位に施文している。24は口縁部の破片である。口唇部はナデにより面取りし、一条の撚糸文を施す。外面には斜位に撚糸文を施文し、内面には口縁直下に二条の撚糸文を横位に施文している。いづれも胎土に白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

3類 繩文を有するもの（25・26）

ともに深鉢の胸部破片である。外面にRLの繩文を施文している。いづれも胎土に金雲母を含み纖維痕

は認められない。

#### 第IV群 (27~29)

27は深鉢の頸部破片である。縦方向に6本の突帯を貼付し、そのうち4本にはヘラ状具で刻み目を付けている。28も深鉢の頸部破片である。三日月状に隆帯を貼付している。29は胴部の破片である。横方向に低い隆帯を貼付し、ヘラ状具で刻み目を付けている。内面には煤が付着していた。いづれも胎土に白色粗砂粒を含む纖維痕は認められなかった。

以上、1区から出土した第I群土器を細久保式期に、第IV群土器を勝坂式期に比定しておきたい。

#### 2区 (第9図-30~33)

##### 第II群 (30)

深鉢の頸部破片である。屈曲部まで2本の沈線を垂下し、その両側には格子目状の文様を沈線で描いている。屈曲部以下は無文である。胎土には金雲母や長石粒を多量に含み纖維痕も認められる。

##### 第III群 (31)

深鉢の胴部破片である。くびれ部以下には半裁竹管による横方向の平行沈線が施され、上方には渦巻き状の文様がみられる。胎土には白色粗砂粒を含み纖維痕は認められない。

##### 第IV群 (32)

深鉢の下胴部の破片と思われる。隆帯状の低い突出部に沿って、竹管状施文具の外面を用いて連続刺突文を施している。その刺突文はく、または状に走っている。胎土には金雲母や白色粗砂粒を含み纖維痕は認められない。

なお、時期不明なものとして(33)の底部破片がある。外面には縄文を施し、胎土には白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

以上、2区から出土した第II群土器を鵜ヶ島台式期に、第III群土器を諸磲式期に、第IV群土器を勝坂式期にそれぞれ比定しておきたい。

#### 4区 (第9図-34)

34の1点のみが出土した。扁平な隆帯を貼付し、その上にヘラ状具で刻み目を間断なく付けている。胎土には白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。第II群に属す入海2式期に比定しておきたい。

#### 5区 (第9図-35~第12図-97)

##### 第I群 (35・36・81)

###### 1類 押型文を有するもの (35・36・81)

35と36は5区の谷部と西側の尾根上より出土しており1区との関連が強いと思われる。两者とも深鉢の胴部破片である。35は山形文を横方向に施し、山形の幅は1.0cm、高さ0.4cmを測る。36はまず下方に横方向に山形文を施し、次いで上方にやはり横方向に楕円文を施している。各楕円は長径0.4cm程度の小さなもので、山形文は幅1.0cm、高さ0.4cmを測る。81は尖底土器の底部付近の破片で、山形文を横方向に施している。山形の幅は1.5cm、高さ0.8cmを測る。いづれも白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

##### 第II群 (37~80・82~95)

###### 1類 内外面共に地文がみられず、主にヘラ状具や竹管で施文しているもの (37~51)

37~48はほぼ同様の胎土で、砂質に富み外面黒褐色、内面暗褐色を呈し、纖維痕が認められる。37・38・43は口縁部の破片である。いづれも口唇部はナデにより面取りし、ヘラによる刻み目を付け、外面の口縁直下には口縁に沿う沈線を施す。38と43は波状口縁である。口縁部文様帶以下に屈曲部を有するものは38~41・43・44・46・47で、いづれも屈曲部に低い隆帯を貼付している。そのうち隆帯上にヘラによる刻み目が付けられたものは38・39・43・44・47であった。43は隆帯直下に半裁竹管による平行沈

線が認められる。口縁以下の文様は40・42・46以外のものに竹管による円形刺突文が認められるが、37・38の様に沈線の屈折部分に施すものや43・45のように列状に施すものがある。また、半裁竹管の内側による平行沈線文(41~43)、外側による凹線文(44・46)もみられるが、43や44にはそれらの押し引き手法も併用されている。他の文様としてはヘラ状具による縦方向の押し引き刺突列(37・39・40)や、ヘラによる沈線、竹管による刺突列が認められ、これらの手法を組み合わせて文様を構成していると言えよう。48は屈曲部が見られる胸部の破片であるが文様は無い。なお37~40、41と42、43と45はそれぞれ同一個体の可能性が高い。49~51は外面褐色、内面黒褐色を呈し、金雲母を多量に含み纖維痕も認められるものである。49と50は口縁部の破片である。口唇部は丸く仕上げられ、その外側にはヘラ状具で刻み目を付けている。波状口縁で、波頂部から半裁竹管による平行沈線を3~4本垂下するが、それは文様帯を区画するような低い隆帶を越えてさらに下方まで延びている。隆帶以上の部分には半裁竹管の外側による刺突列やヘラ状具による沈線がみられるが、これらは垂下する平行沈線文を中心にして菱形を画すように施文しているようである。隆帶以下の部分は半裁竹管による平行沈線文が格子目状に施されている。これら3点も同一個体の可能性が高い。

## 2類 内外面に地文として条痕を施し、竹管による刺突文のみを施文するもの (52)

52は胸部の屈曲部以上の破片である。屈曲部にはヘラ状具で刻み目が付けられている。外面の文様は細い竹管による刺突列のみで、それが屈曲部にまで及ぶものもある。

## 3類 内外面かそのいづれかに条痕または繩文の地文を施し、主に四線文を施文するもの (53~76)

53~56は同一個体と思われるもので、外面の地文が繩文、内面の地文が条痕で、胎土は外面暗褐色、内面暗黃褐色を呈し、白色粗砂粒を含み纖維痕も認められる。53~55は口縁部の破片で、口唇部は面取りされ細い棒状具による条痕(53)もみられる。口縁部の所々には台形状の突起が認められ(53・54)突起の上部は強いナデにより凹んでいる。口唇部の内外面の側縁部にはヘラ状具で刻み目が付けられている。口縁直下には2本の平行する浅い凹線文を施し、その間の隆起部分にヘラ状具で刻み目を付けている。53の下方には半裁竹管による横方向の平行沈線がわずかに認められる。57は屈曲部のみある口縁部破片である。地文として土器外面には繩文、同じく内面には条痕を施す。口唇部は面取りをし、狭い間隔で強く押したと思われる凹部が2ヶ所みられ、1ヶ所はその横を摘んでいる。摘んだ部分の頂部と口唇部の外縁にはヘラ条具で刻み目が付けられている。凹線文は横方向や山形に施され、それぞれの凹線文の下部には横方向にのみヘラによる刻み目が付けられている。また屈曲部にもヘラによる刻み目が付けられる。58は57と同一個体かと思われるものである。いづれも胎土に白色粗砂粒を多量に含み纖維痕も認められる。59は縦と横方向に凹線文を施しその両側に刻み目を付けている。胎土には極少量の金雲母を含み纖維痕も認められる。内面は無文、外面も地文はみられない。60は地文として内外面に横方向の条痕を施している。外面には孤状の細い凹線文がみられ、その両側にはヘラ状具による刻み目が付けられている。低い隆帶を貼付してわずかな屈曲をつくりだし、その上には細い竹管による刺突列がみられる。また隆帶以下にも両側にヘラで刻み目を付けた細い凹線文がみられ、補修孔らしき断面円錐形の円孔もある。これは先細りの道具で外面から穿孔し、最後に内面から穿孔して貫通させていた。胎土には白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。61・62・75・76は同一個体と思われるものである。内面には条痕が施されるが外面には地文は見られない。61は口縁部の破片で、口唇部は強いナデによりやや凹む。内側の縁部にはヘラ状具で刻み目を付けている。凹線文の両側には半裁竹管によると思われる刻み目が付けられる。屈曲部を有し(75・76)、その上にも半裁竹管による刻み目が付けられ、それ以下は無文である。胎土には白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。63~70は地文として内面に条痕、外面に繩文を施し、主に横方向に凹線文を施文している。63は口縁部の下方で屈曲しながら胸部に移行し、胸部で一段の稜を持つ深鉢形土器である。屈曲部や稜部には低い隆帶が貼付されるが刻み目は付けない。

口唇部は内削ぎ状を呈し、外側の縁部に刻み目を付ける。外面には地文として RL の縄文を施す。口縁部直下には横方向に凹線文を施し、それと口縁との間はナデによって縄文を削り消している。同様のこととは 64~67 もみられ、65 と 66 は一部縄文が残っている。67 は波状口縁の破片である。縄文は胴の稜部まで施しそれ以下は無文であるが（70 も同様）、69 は稜以下に条痕を施している。凹線文は地文の縄文の上に竹管か丸棒状の物で主に横方向に直線的に施している。これらの施文は隆帯貼付後に行われたようで、隆帯上にも地文の縄文や凹線文が認められる。いづれも胎土に白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。71~74 の外面には地文が無く縦方向に波状の凹線文を施し、内面は条痕で整形している。71 は口縁部が欠失しているが 2 本の隆帯がみられ、上下に 2 つの文様帶を有している。隆帯上には三日月状を呈する刻み目を付ける。この刻み目は凹線文を施文した後に付けられているが、凹線文と刻みを受けた竹管は同じものかもしれない。72~74 は同一個体と思われるもので、施文方法は 71 と同様であるが、内面を条痕で調整した後更にナデ調整した痕跡がみられ、隆帯以下は無文である。いづれも胎土に白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

#### 4 類 内外面に地文として条痕を施し、口縁のやや下方に低い隆帯を貼付するもの（77）

77 は波状口縁であり、口唇部を丸く仕上げヘラ状具で刻み目を付けている。外面の隆帯の上下には半裁竹管による押し引き文を横方向に施している。胎土は黒褐色を呈し砂質に富んで脆く、白色粗砂粒を多量に含んで纖維痕も認められる。

#### 5 類 主文様として外面に縄文を施文しているもの（78~80）

78・79 は口縁部の破片である。口唇部は面取りされ、外側の縁部には刻み目が付けられている様でもあるが定かでない。外面には粗大な RL の縄文を施し、下方には低い隆帯を貼付している（78）。内面には横方向に深い条痕を施す。80 は屈曲部の破片である。屈曲部にはヘラ状具による刻み目を付け、上方には縄文、下方には条痕を施文している。内面には横方向の条痕がみられる。いづれも外面赤褐色、内面黒褐色を呈し、胎土に白色粗砂粒や小石を多量に含み纖維痕が認められる。

#### 6 類 外面に条痕のみを施文しているもの（82~92）

82~84 は同一個体と思われる胴と底部の破片である。いづれも内外面に条痕を施すが、84 は底面にも条痕を施文しているのがみられる。82 には外面に煤の付着もみられる。胎土は黄褐色を呈し、白色砂粒を含み纖維痕が認められる。一つの土器にも二種類の条痕を施すものがみられ、深い条痕と纖維束によるような浅い擦痕的なもの（85 の外面・86 の内面・87 の外面・88 の内外面）が認められる。88 などはまた深い条痕を横方向に施し、その上に縦方向に浅い条痕を施している。90~92 は同一個体と思われるものであるが、外面には非常に細くて浅い纖維束で擦ったような痕跡が縦方向にみられ、内面は無文である。いづれも胎土に白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

#### 7 類 外面が無文のもの（93~95）

93 は内面には浅い条痕を横方向に施し、95 は底面にまで条痕が認められる。いづれも白色粗砂粒を含み纖維痕が認められる。

#### 第IV群（96・97）

96 は深鉢の胴部破片である。縦や横方向に沈線、押し引き文、刻み等がみられる。胎土には白色砂粒を多量に含むが纖維痕は認められない。97 も深鉢の胴部破片である。縦方向の細い沈線と縄文がみられる。胎土には白色砂粒を含むが纖維痕は認められない。

以上、5 区から出土した第 I 群土器を細久保式期に、第 II 群 1 類土器を鵜ヶ島台式期に、第 II 群 2 類～7 類土器を茅山下層式期に、第 IV 群土器を勝坂式期（96）と後期（97）にそれぞれ比定しておきたい。

## 小 結

本遺跡では出土土器を四群に大別して区毎に記述したが、その様相は1区から第Ⅰ群・第Ⅳ群土器、2区から第Ⅱ群・第Ⅲ群・第Ⅳ群土器、4区から第Ⅱ群土器、5区から第Ⅰ群・第Ⅱ群・第Ⅳ群土器が出土するというものであった。このうち第Ⅲ群と第Ⅳ群土器は極少量であり、主体となるのは第Ⅰ群と第Ⅱ群土器である。また、第Ⅰ群土器は1区から、第Ⅱ群土器は5区の北東部からほとんど出土しており、地点によって出土する土器が異なり、それが新旧の違いであることも明らかと思われる。従って、先述したとおり2・4・5区で検出した陥穴群は第Ⅱ群土器の時期（縄文時代早期後半の鶴ヶ島台期から茅山下層式期）に掘られたものと考えてよさうである。

第Ⅰ群土器の時期（縄文時代早期前半の細久保式期）の遺構は確認できなかったが、土器としては押型文土器、撚糸文土器、縄文土器の3種類のものが認められ、それらをほぼ同一時期のものとして考えた。以下においては、これらの関連について触れ、あわせて土器の胎土に認められた植物纖維痕と金雲母との関係について若干私見を述べてみたい。

縄文時代早期前半の細久保式土器の時期に、押型文土器に撚糸文土器や縄文土器が併存することは、沼津市八兵衛洞遺跡や富士宮市若宮遺跡の例をあげながらすでに指摘されている（参⑪）。本遺跡においてはこれらの土器の併存状態を確認することはできなかったが、以下に記すことから併存の可能性が考えられる。

まず、本遺跡出土の押型文土器の特徴としてその胎土が二種類に分けられることをあげておく。一つは金雲母を含み纖維痕が認められないもの（以下Aタイプとする）で、もう一つは金雲母を含まず、白色粗砂粒を含み纖維痕が認められるもの（以下Bタイプとする）である。そして、縄文土器の胎土はAタイプ、撚糸文土器の胎土はBタイプであった。つまり胎土の観察結果からいうならば、本遺跡においては第Ⅰ群土器は二大別でき、縄文土器はAタイプの押型文土器に伴い、撚糸文土器はBタイプの押型文土器に伴っていた可能性が伺える。それではAタイプとBタイプの関係はいかなるものなのであろうか。纖維痕の有無は、単に土器胎土の違いではなく時期差をあらわすという考え方もあり、AタイプがBタイプより古いのかもしれない。たしかにBタイプの17の楕円文は他と比べ粗大であり、高山寺式に類似するような、押型文土器としては新しい要素を示しているようにも思える。

しかし、纖維を混入するものには金雲母の混入は認められない、という本遺跡におけるはっきりした特徴はどう解釈したらよいのだろうか。本遺跡出土の第Ⅱ群土器のなかには纖維と金雲母の両方を混入するものがあり、第Ⅳ群にも金雲母を混入するものが認められている。つまり、金雲母の混入は第Ⅰ群土器の古段階のみの特徴ではなくそれ以後にも認められるのであって、纖維や白色粗砂粒の混入によって金雲母の混入が行われなくなる、というようなことが読み取れるAタイプからBタイプへの推移を考えることは不自然なように思われる。本遺跡の場合、纖維の混入と金雲母の混入ということを別々の製作技法として捉え、それらが共存していたと考えることも可能と思う（注1）。そうであれば、本遺跡出土の第Ⅰ群土器とした3種類の土器（押型文土器・撚糸文土器・縄文土器）の併存は十分考えられるし、今後このような観点から検討することも必要と思われる（注2）。

本稿を草するにあたり市原壽文氏のご指導を受けた。また、土器の型式比定については関野哲夫氏のご教示を受けた。記して感謝の言葉に代えさせていただく。

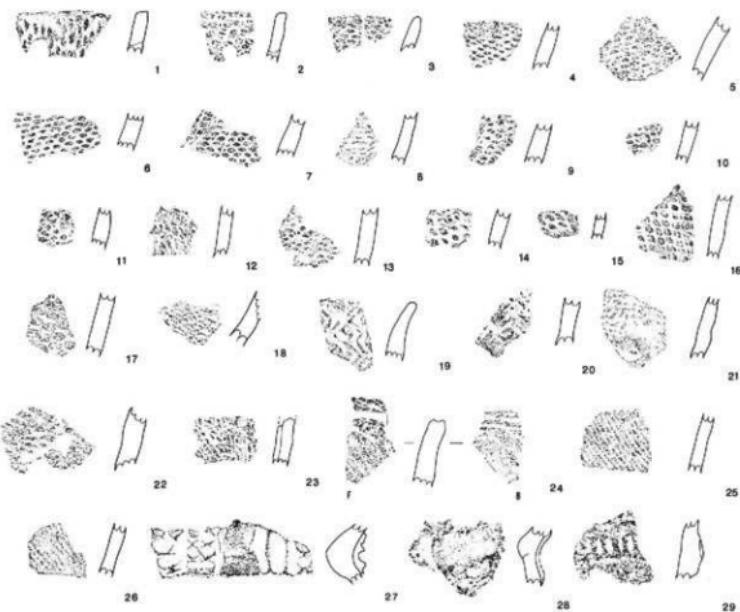
（注1）富士宮市の若宮遺跡では、第10号集石土坑（若宮遺跡第Ⅰ期）から、纖維痕が無く金雲母を多量に含有する表裏縄文土器と金雲母が無く灰白色粒と纖維が含有された撚糸文土器が併出しているようである（参⑫）。

本遺跡では同一層としての確認はできなかったが、Aタイプ（2・25・26）とBタイプ（3・5・6・8・9・17）のものが極狭い範囲から出土している。

(注2) 本遺跡の第II群土器の中にみられたように、織維の混入と金銀丹の混入が併用されている土器がある。これはある時期以降行われるようであり、その時期については富士宮市の黒田向林遺跡(参<sup>④</sup>)の例から、当地方においてはほぼ高山寺式期ころではないかと考えたい。

#### 参考文献

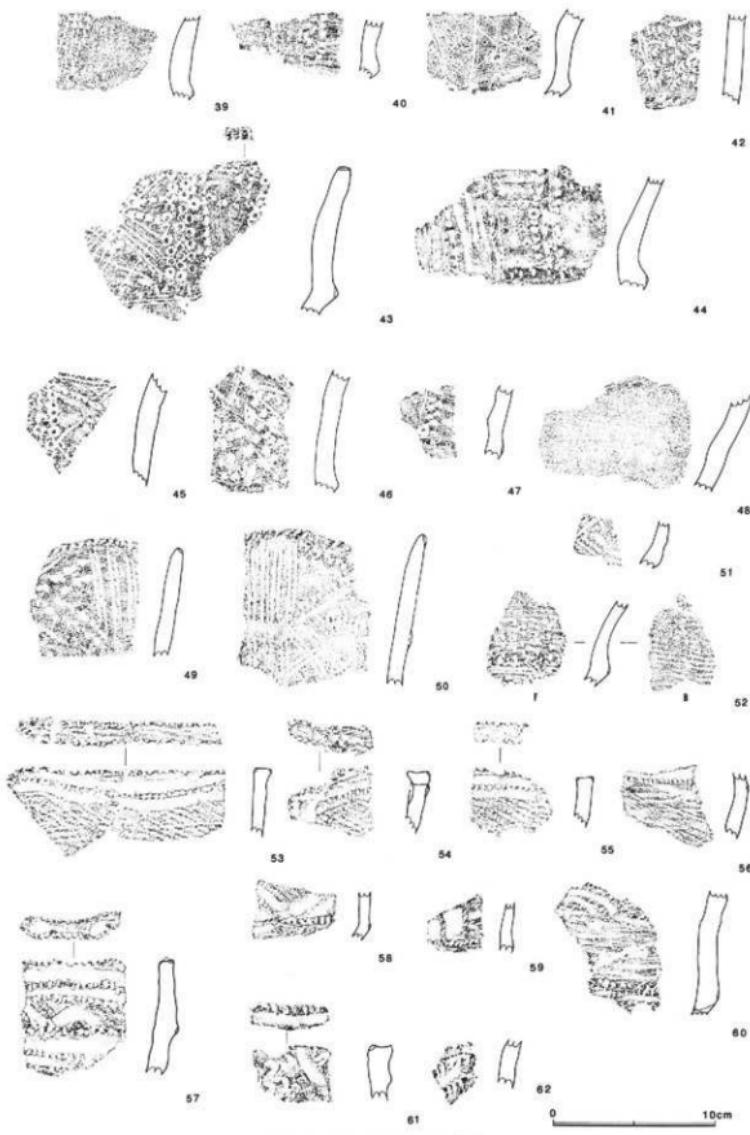
- ①岡本 勇「関東・中部地方」『縄文土器大成① 早・前期』 講談社 1982
- ②片岡 雄「押型文土器」『縄文文化の研究3 縄文土器I』 雄山閣出版 1982
- ③瀬川裕市郎「条痕文土器」『縄文文化の研究3 縄文土器I』 雄山閣出版 1982
- ④関野哲夫「茅山下層式土器について」『古代第80号』早稲田大学考古学会 1985
- ⑤〃 「鞠ヶ島台式土器細分への覚書」『古代探査』早稲田大学出版部 1980
- ⑥〃 (他)『元野遺跡発掘調査報告書』沼津市教育委員会 1975
- ⑦〃 (他)『長井崎遺跡発掘調査報告書』沼津市教育委員会 1980
- ⑧鈴木裕篤 (他)『西大曲遺跡発掘調査概報』沼津市教育委員会 1980
- ⑨〃 (他)『八兵衛洞遺跡群発掘調査報告書』沼津市教育委員会 1981
- ⑩〃 「葉地鼻遺跡発掘調査報告」『沼津市文化財調査報告第35集』沼津市教育委員会 1985
- ⑪石川治夫『寺林南遺跡発掘調査報告書』『沼津市教育委員会 1985
- ⑫〃 「木戸上遺跡発掘調査報告」『沼津市文化財調査報告第35集』沼津市教育委員会 1985
- ⑬愛鷹縄文遺跡研究グループ『沼津市木戸上遺跡の調査』『考古学ジャーナルNo.119』 1976
- ⑭馬糸野行雄『黒田向林遺跡』富士宮市教育委員会 1986
- ⑮伊藤昌光・馬糸野行雄『若宮遺跡』富士宮市教育委員会 1983
- ⑯平川昭夫・廣瀬高文・前嶋秀張『中尾・イラウネ・野台』長泉町教育委員会 1986
- ⑰戸沢充則 編『越辺押型文遺跡調査研究報告書』長野県岡谷市教育委員会 1987



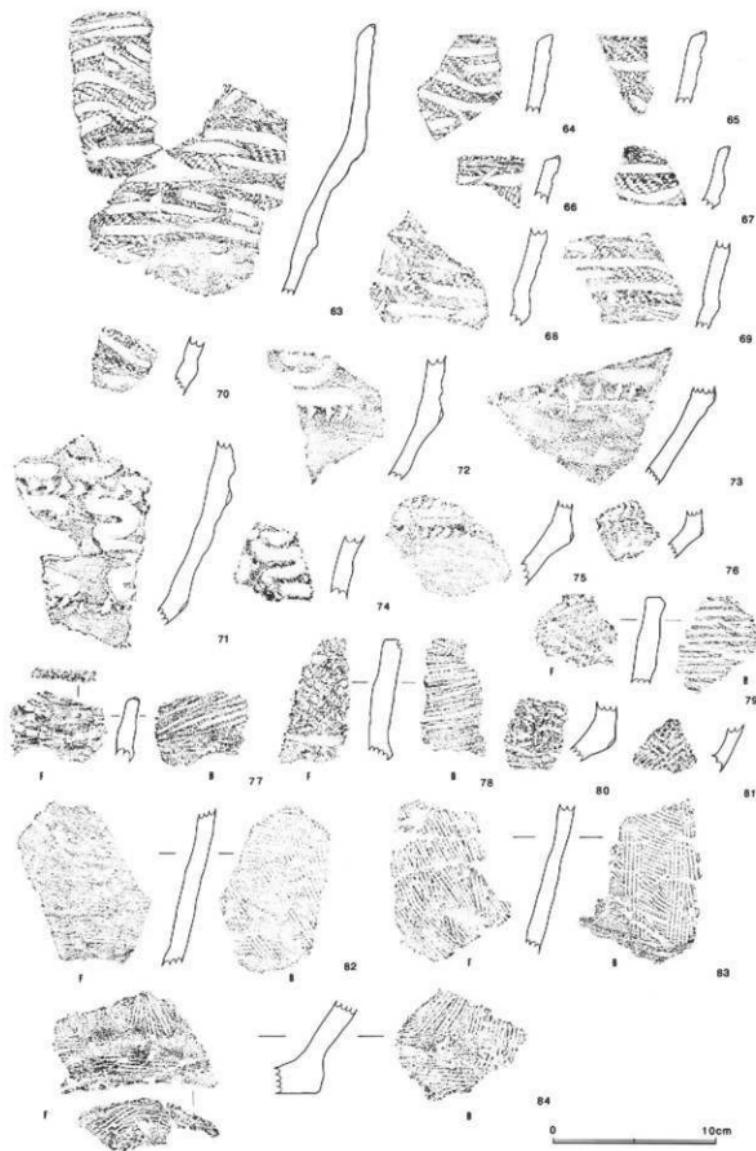
0 10cm

第9図 繩文土器拓影図(1)

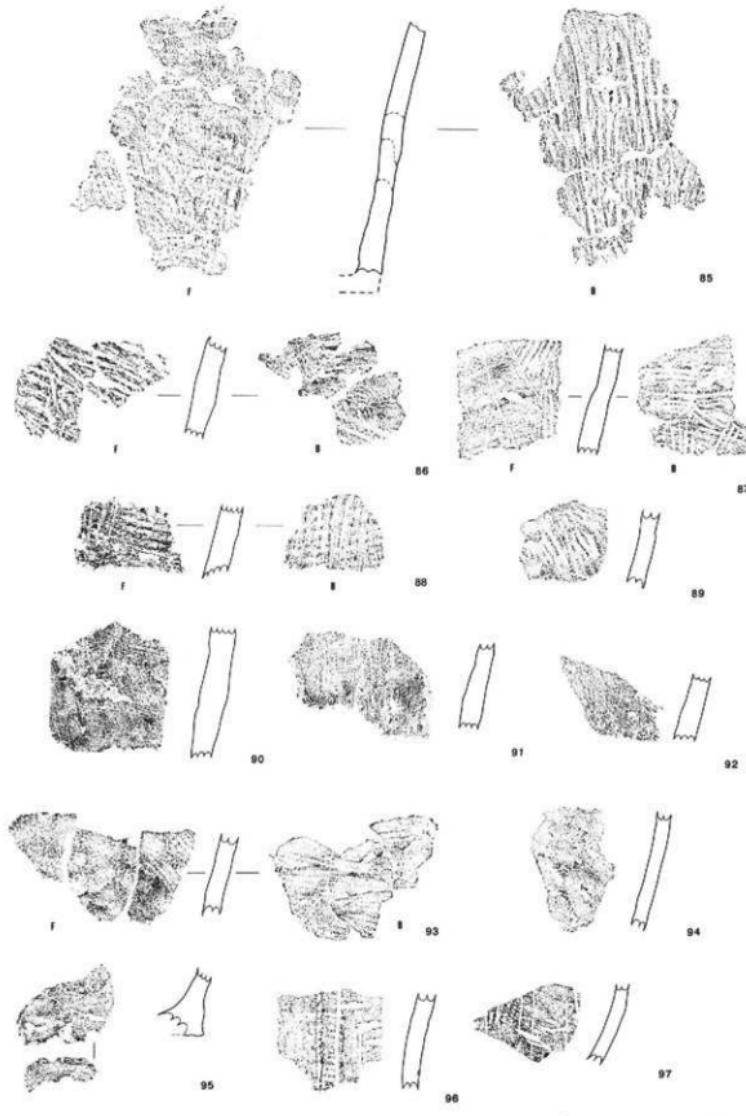
I-29 1区出土  
30-33 2区出土  
34 4区出土  
35-97 5区出土  
F…外面  
B…内面



第10図 捺文土器拓影図（2）



第11図 橢文土器拓影図（3）



第12図 繩文土器拓影図(4)

## 第2節 石器

本項で扱う縄文時代の石器は总数97点である。これらは遺構に伴う物（覆土内）、包含層出土の物、弥生時代の住居の覆土等の本来の位置から離れてしまった擾乱部出土の物に分けることができる。これらの石器は確実に縄文時代の遺構に伴うものはないが、本遺跡出土の石器については、一応すべて縄文時代のものとして扱った（有孔磨製石器は除く）。敲石と磨石の併用石器については、弥生時代の住居跡の床面から出土しているものもあることから、一応弥生時代の住居跡内（覆土を含む）から出土したものについては弥生時代の石器として扱い、包含層内や擾乱部出土のものは縄文時代のものとして扱った。他の石器については包含層との関係から縄文時代のものと考えた。石器の内訳は石器84点、敲石・磨石7点、石匙3点、打製石斧1点、削器1点、石皿1点である。

### 1. 遺構に伴う遺物（第13図-1・2）

(1) は4区TP07とした陥穴の覆土内から出土している。平面形は正三角形にちかく、先端部は欠損している。基部には浅い台形状の抉り入りが認められる。(2) は4区TP21とした陥穴の覆土内から出土している。平面形は二等辺三角形を呈し、基部の両端部は欠損している。基部にはやはり浅い台形状の抉り入りである。この両者は透明度の高い同材質の黒縄石で作られているようである。

### 2. 包含層出土遺物（第13図-3～22・第14図・第15図）

#### A. 新期スコリア層（新期SC）内出土のもの（第13図-3～5）

すべて石器である。(3) は二等辺三角形を呈し、基部には深い台形状の抉りを入れている。(4) は二等辺三角形を呈し、基部にはU字状の抉りを入れている。背腹両面に素材面を残しているが、横長剝片が使われている様である。(5) は正三角形に近い形態で、基部に浅い円弧状の抉り入りがある。

#### B. 栗色土層（KU）内出土のもの（第13図-6～18・第14図-1・第15図-1）

石器13点、敲石・磨石1点、打製石斧1点が出土している。(6)～(18) は石器である。(6) は基部の両端が横に広がるもので、基部には非常に浅いV字状の抉りがあり入っている。片面の中央部に磨面が認められる局部磨製石器である。(7) は片方の脚部であるが、脚底が平らになっており、おそらく基部の中央部にU字状の深い抉りに入る鉈形鐵と思われる。(8)～(11) は基部に浅い円弧状もしくは台形状の抉り入りの三角形鐵である。(12) は基部に深いV字状の抉りを入れる三角形鐵で、脚部の内縁は外湾している。(13) は細長い三角形鐵で、やや凹刃で基部にはU字状の抉り入りがある。(14) は基部にU字状の抉りを入れる三角形鐵である。(15) は側縁に段を持ち、基部にはU字状の抉り入りがある。(16) は側縁に段を持つ飛行機鐵と俗称されるもので、脚部の内縁がやや外湾する有茎鐵である。(17) は平基有茎鐵である。(18) は側縁に顕著な段を持ち、段以下の刃部は直下あるいは内傾する。

(14-1) は敲石と磨石の併用石器である。表裏両面の凹んでいる部分が磨面となっており、側面にも擦痕の認められる部分がある。鼠歯状の敲打痕は表裏両面及び側面全体に認められる。

(15-1) は両刃の打製石斧である。石材は安山岩で、疊を薄く打ち割った剥片を素材としている。表面には広く原礫面を残し、裏面にも主要剝離面を残す。短冊形を呈し、ほぼ中央部に最大幅を持つ。刃部は中央部のやや突出した円刃をなし、調整加工は刃部と側縁部とに集中的に施されている。

#### C. 富士黒土層（FB）内出土のもの（第13図-20～22・第14図-2～5・第15図-2・3）

石器3点、敲石と磨石の併用石器4点、削器1点、石匙1点が出土している。(13-20) は基部の両端部がやや横に広がるほぼ平基の三角形鐵である。(13-21.22) は基部に浅い円弧状の抉り入りの三角形鐵で、(21) は凸刃であるが(22) はほぼ直刃である。(21) は表面と、裏面の側縁部の一部に調整剝離を

表4 造構および包含層出土石器計測表(調文)

[単位はmmおよびg ( ) 内は現存値]

器種	PL	No.	区	グリッド	石 材	最大縦	最大横	最大厚	重 量	造構・包含層
石 築	1 3	1	4	O-13	黒耀石	15.0	14.0	3.0	0.35	4区TP07覆土
〃	1 3	2	4	S-15	〃	(28.8)	(16.5)	(4.0)	(1.42)	4区TP21覆土
〃	1 3	3	2	O-10	〃	21.5	15.0	5.0	0.99	新層SC
〃	1 3	4	5	H-21	〃	20.5	13.0	3.5	0.57	〃
〃	1 3	5	5	G-27	〃	(17.5)	(15.5)	3.0	(0.64)	〃
〃	1 3	6	5	G-24	〃	(16.0)	(14.5)	4.0	(0.69)	KU
〃	1 3	7	5	Q-26	チャート	(13.5)	(10.5)	(2.0)	(0.27)	〃
〃	1 3	8	5	E-28	黒耀石	(14.0)	12.5	4.0	(0.53)	〃
〃	1 3	9	5	N-26	〃	19.0	16.5	5.0	1.21	〃
〃	1 3	10	5	T-30	〃	20.5	15.5	4.0	0.91	〃
〃	1 3	11	5	S-23	〃	(24.0)	(19.0)	6.0	(1.82)	〃
〃	1 3	12	5	I-28	〃	(21.5)	15.0	3.0	(0.62)	〃
〃	1 3	13	2	T-7	ガラス質黒色安山岩	(29.0)	17.0	5.0	(1.34)	〃
〃	1 3	14	5	G-30	黒耀石	(29.5)	(19.0)	4.0	(1.31)	〃
〃	1 3	15	5	G-27	〃	22.0	15.0	4.0	0.58	〃
〃	1 3	16	5	H-30	〃	(27.0)	16.5	4.0	(0.90)	〃
〃	1 3	17	5	G-29	頁 岩	(24.5)	13.5	4.5	(1.17)	〃
〃	1 3	18	5	I-24	黒耀石	(20.0)	13.0	4.0	(0.78)	〃
〃	1 3	19	5	O-27	〃	(32.0)	17.5	5.0	(2.54)	Zn
〃	1 3	20	4	S-15	〃	22.5	18.0	4.0	0.70	FB
〃	1 3	21	5	O-26	〃	13.0	10.0	3.0	0.31	〃
〃	1 3	22	5	R-27	〃	17.5	15.0	3.0	0.42	〃
敲石・磨石	1 4	1	4	T-17	輝石安山岩	102.0	92.5	57.0	677.80	KU
〃	1 4	2	2	L-7	凝灰岩質溶岩	(74.5)	(78.0)	(38.0)	(201.6)	FB
〃	1 4	3	1	B-11	輝石安山岩	121.0	94.0	34.0	622.20	〃
〃	1 4	4	2	M-10	〃	103.5	92.5	42.0	570.00	〃
〃	1 4	5	2	T-11	〃	103.0	88.0	56.0	715.99	〃
打製石斧	1 5	1	5	E-25	安山岩	138.0	52.0	18.0	145.65	KU
削 器	1 5	2	5	O-30	ガラス質黒色安山岩	(48.0)	(39.0)	(10.0)	(22.3)	FB
石 匙	1 5	3	5	E-28	頁 岩	77.5	55.5	15.0	52.7	〃

施しており、裏面には広く素材面を残している。素材は横長剝片かと思われる。

(14-2~5) は敲石と磨石の併用石器である。表裏両面(3・5) や片面(4) に磨面を持つものや、側面においても三方向(3) や一部(2) に持つものなどがある。大抵の磨面は平坦であるが、(5) などは凸面をなしており、使用頻度が低かったようである。鼠歯状の敲打痕は多かれ少なかれすべてのものの表裏面や側面に認められる。

(15-2) は削器である。石材はガラス質黒色安山岩で、一部原礫面を残すが折損している。図の左側縁の下方部に急斜な細かな調整剝離が施されており、この部分が削器の刃部となる。図の上方部にも背面側から大きな剝離が施され、刃状の鋭い端部を造りだしている。

(15-3) は頁岩製の石匙である。縦長剥片を素材としたと思われ、裏面には原縫面を広く残す。刃部には裏面側から集中的に調整削離が施され、つまみ部には両面から調整が加えられている。これらの二次加工は直接打撃によるようである。つまみ部の左側縁には顯著なつぶしが認められる。

### 3. 掘乱部出土遺物（第16図～第19図）

石鏸62点、石匙2点、石皿1点、敲石・磨石の併用石器2点が出土している。石鏸はいくつかの形態に分類でき、縄文時代のある時期に特定できそうなものもあるが、本遺跡においては土器との共伴等、時期を特定しうる事実がないので、各形態の時期については特にふれない。縄文時代の土器は、早期・前期・中期・後期のものが出土しており、おそらく石鏸も大半がこれらの時期に対応するものと思われるが、弥生時代後期の集落に伴うものも含まれている可能性はある。

#### Aタイプ（第16図-1）

平基でやや湾曲した刃を呈し、基部がすぼまる。表裏面に第一次削離面を残す。

#### Bタイプ（第16図-2～10）

基部に緩やかな円弧状の抉りが入るもの。抉りの非常に浅いもの（3～7）や、やや深いもの（8～10）が見られ、平面形は正三角形や二等辺三角形を呈す。

#### Cタイプ（第16図-11～14）

基部に深い円弧状やU字状の抉りを入れ、脚部を作りだすもの。二等辺三角形を呈するが13・14のように両側縁に抉りを入れ段をなすものもある。

#### Dタイプ（第16図-15～17）

基部の中央部に深いU字状の抉りを入れる、いわゆる鉢形鏸である。（17）は五角形を呈し、右脚の折れた部分には二次加工が認められる。

#### Eタイプ（第16図-18～20・第17図-26～29）

基部にV字状の抉りを入れ脚部を作りだしている。脚部の内縁は直線状かやや外湾する。最大幅が脚端部にあるものと、やや上方にあるもの（26～29）に分けられる。

#### Fタイプ（第16図-21、第17図-22・23）

基部に長さの三分の一以上の深いU字状の抉りを入れる長脚鏸（21）である。脚部の内縁は外湾する。

#### Gタイプ（第17図-24・25・30～32）

基部に浅いU字状の抉りを入れるもので、脚部の内縁は外湾するものが多い。31・32は基部が開かない寸胴形を呈する。

#### Hタイプ（第17図-33～39）

基部に長さの割には浅いV字状の抉りがはいるもの。脚部の内縁は外湾する。35～39は脚部が横に広がっている。

#### Iタイプ（第17図-40・41、第18図-42・43）

基部にV字状の抉りを入れた長身で細長く、先端部の非常に鋭いもの。

#### Jタイプ（第18図-44～49）

有茎の三角形鏸である。基部は平基と凹基のものが認められる。

#### Kタイプ（第18図-50～58）

両側縁に段を持つ、いわゆる飛行機鏸である。すべて有茎で平基と凹基が認められる。

#### 石匙（第19図-1・2）

いずれも頁岩製で、横型を呈し、横長剥片を素材としている。2には急斜な刃がつけられている。

#### 石皿、敲石・磨石（第19図-3～5）

表5-1 摂乱部出土石器計測表(綱文)

[単位はmmおよびg ( )内は現存値]

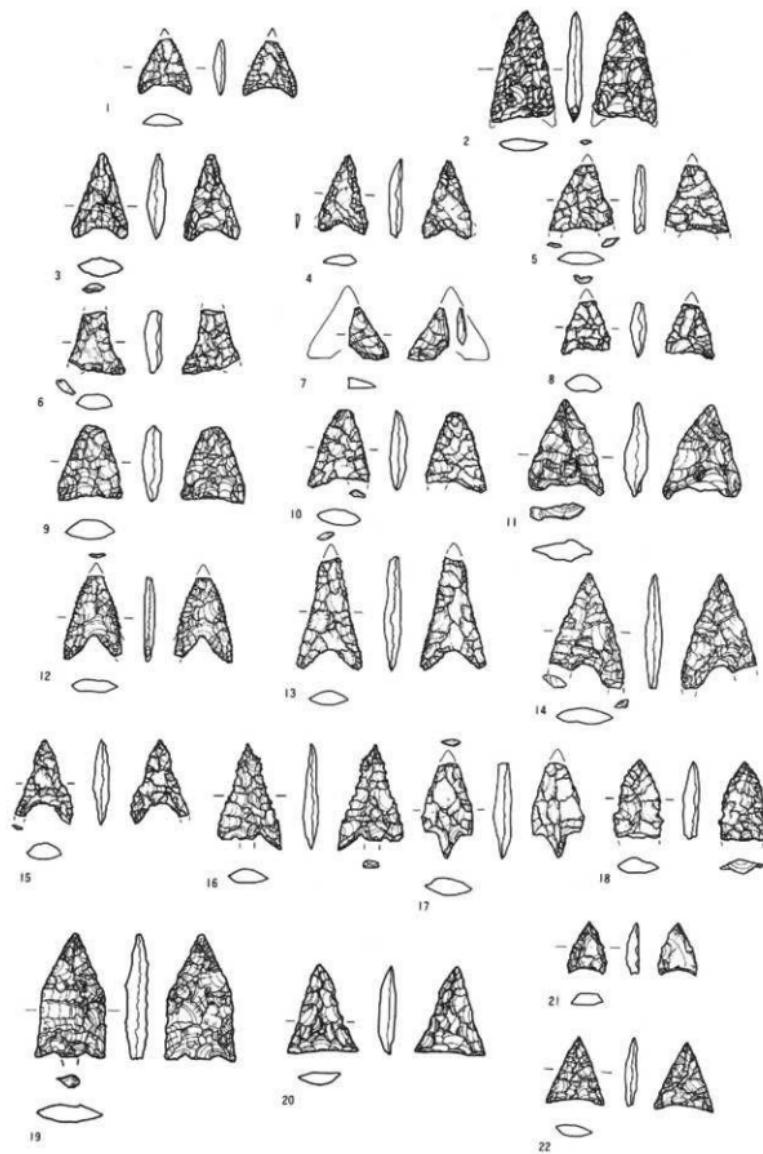
器種	PL	No.	区	グリッド	石 材	最大縦	最大横	最大厚	重 量	遺 構
石 鎌	1 6	1	5	Q 21	黒耀石	20.0	13.0	4.0	0.95	SB535 面土
〃	1 6	2	5	—	〃	13.0	17.5	3.5	0.39	—
〃	1 6	3	5	P-29	〃	16.0	15.0	3.0	0.47	—
〃	1 6	4	5	Q-21	〃	17.0	16.0	4.0	0.72	SB535 〃
〃	1 6	5	4	P-16	〃	13.0	14.0	4.0	0.49	—
〃	1 6	6	1	C-12	ガラス質黒色安山岩	(12.5)	11.5	3.0	(0.22)	SB12#
〃	1 6	7	4	O-16	黒耀石	23.0	16.5	5.0	1.21	—
〃	1 6	8	5	P-23	〃	16.0	(15.0)	(4.0)	(0.58)	SB508 〃
〃	1 6	9	5	F-26	ガラス質黒色安山岩	15.0	14.0	5.0	0.61	SB508 〃
〃	1 6	10	4	N-16	黒耀石	18.0	14.5	5.0	0.78	—
〃	1 6	11	5	H-31	〃	(14.0)	15.5	4.0	(0.58)	SB584 〃
〃	1 6	12	1	C-13	〃	23.0	16.0	4.0	0.80	SB124 〃
〃	1 6	13	2	N-11	〃	(21.0)	15.0	4.0	(0.60)	SB241 〃
〃	1 6	14	5	G-24	〃	(26.0)	(15.0)	3.5	(0.79)	SB564 〃
〃	1 6	15	4	R-18	〃	18.0	20.5	4.0	0.94	SB465 〃
〃	1 6	16	5	T-27	頁 岩	19.5	14.5	4.5	0.86	—
〃	1 6	17	3	谷部	チャート	32.0	(19.5)	5.0	(1.52)	—
〃	1 6	18	5	F-24	〃	(16.5)	14.0	3.0	(0.50)	SB556B#
〃	1 6	19	5	F-26	黒耀石	23.0	(16.0)	3.0	(0.72)	SB558 〃
〃	1 6	20	5	D-29	〃	(21.0)	14.5	2.0	(0.52)	SB538 〃
〃	1 6	21	4	V-17	チャート	26.0	19.0	3.0	0.8	—
〃	1 7	22	5	谷部	黒耀石	(19.0)	(13.5)	3.0	(0.35)	—
〃	1 7	23	4	T-20	〃	(12.5)	(8.0)	(2.0)	(0.17)	—
〃	1 7	24	5	T-26	〃	(10.5)	(13.0)	(4.0)	(0.35)	SB527 〃
〃	1 7	25	2	Q-11	チャート	18.0	17.5	3.5	0.90	SB211 〃
〃	1 7	26	5	K-24	黒耀石	22.0	18.0	5.0	1.06	2号方形周溝墓#
〃	1 7	27	2	K-7	〃	(23.0)	(15.0)	4.0	(0.98)	—
〃	1 7	28	5	O-23	〃	23.5	20.0	4.0	0.95	SB506B#
〃	1 7	29	1	C-8	〃	(19.0)	(11.0)	(3.5)	(0.50)	SB143 〃
〃	1 7	30	5	J-22	〃	(15.0)	(16.0)	3.0	(0.62)	3号方形周溝墓#
〃	1 7	31	5	M-30	〃	(13.0)	(16.0)	4.0	(0.71)	SB578 〃
〃	1 7	32	5	G-28	〃	(13.0)	(13.5)	3.0	(0.42)	1号方形周溝墓#
〃	1 7	33	5	G-28	〃	17.0	18.5	4.0	0.68	# #
〃	1 7	34	4	Q-18	ガラス質黒色安山岩	41.0	27.5	5.5	4.38	—
〃	1 7	35	5	J-23	黒耀石	16.5	13.0	2.5	0.34	3号方形周溝墓#
〃	1 7	36	4	S-17	〃	23.0	14.5	3.5	0.69	SB462 〃
〃	1 7	37	4	U-16	チャート	32.0	17.0	4.0	1.35	SB421#
〃	1 7	38	4	R-21	ガラス質黒色安山岩	(23.0)	17.0	3.5	(0.99)	SB466 〃

表 5-2 混乱部出土石器計測表（續文）

[単位はmmおよびg ( ) 内は現存値]

器種	PL	No.	区	グリッド	石 材	最大縦	最大横	最大厚	重 量	遺 構
石 錫	1 7	39	5	J-22	黒耀石	(22.0)	13.0	3.0	(0.56)	——
〃	1 7	40	4	T-15	〃	23.0	(13.0)	3.5	(0.61)	SB48 砂土
〃	1 7	41	2	T-11	ガラス質黒色安山岩	37.0	17.0	5.0	1.5	——
〃	1 8	42	4	R-16	黒耀石	(26.0)	(13.0)	3.5	(0.56)	——
〃	1 8	43	3	I-14	〃	(12.5)	( 8.5)	( 2.0)	(0.14)	——
〃	1 8	44	4	S-18	〃	(18.5)	15.5	4.5	(1.12)	SB46 〃
〃	1 8	45	1	C-12	〃	32.0	18.0	6.0	2.18	SB125 〃
〃	1 8	46	4	U-20	〃	(15.5)	14.5	4.0	(0.66)	SB46 〃
〃	1 8	47	2	O-9	〃	(18.5)	(14.0)	3.5	(0.72)	SB20 〃
〃	1 8	48	5	T-27	ガラス質黒色安山岩	27.5	16.0	5.0	1.34	SB27 〃
〃	1 8	49	1	——	黒耀石	(10.0)	11.5	3.0	(0.1)	——
〃	1 8	50	3	谷部	〃	28.0	14.5	5.0	1.4	——
〃	1 8	51	1	D-12	ガラス質黒色安山岩	(20.5)	16.0	7.0	(1.56)	SB129 〃
〃	1 8	52	5	G-28	黒耀岩	(23.0)	16.5	4.0	(0.95)	1号方形溝溝基
〃	1 8	53	4	T-19	ガラス質黒色安山岩	(32.0)	17.0	4.0	(1.76)	SB427 〃
〃	1 8	54	5	Q-26	黒耀石	(23.0)	16.5	3.0	(1.11)	——
〃	1 8	55	5	谷部	頁 岩	(27.5)	19.5	4.5	(1.40)	——
〃	1 8	56	5	N-27	黒耀石	(22.0)	18.5	5.5	(1.68)	——
〃	1 8	57	4	Q-20	ガラス質黒色安山岩	(22.5)	15.0	5.0	(1.49)	SB46 〃
〃	1 8	58	4	Q-20	黒耀石	(23.0)	19.0	4.0	(1.43)	SB467 〃
〃	1 8	59	1	C-11	〃	(22.0)	12.0	4.0	(0.90)	SB103 〃
〃	1 8	60	4	S-17	〃	(22.0)	(11.5)	2.5	(0.46)	——
〃	1 8	61	5	M-30	〃	(15.0)	(13.5)	( 4.0)	(0.48)	SB578 〃
〃	1 8	62	4	O-17	〃	(13.0)	(12.0)	( 4.0)	(0.62)	SB457 〃
石 鍤	1 9	1	2	P-9	頁 岩	36.5	69.0	8.0	13.50	——
〃	1 9	2	2	Q-11	〃	(26.5)	(40.0)	5.0	(5.70)	SB220 〃
石 盆	1 9	3	1	——	輝石安山岩	(147.0)	(142.0)	(50.0)	(1152.39)	——
敲石・磨石	1 9	4	5	R-30	〃	119.0	90.5	38.0	517.57	——
〃	1 9	5	5	——	〃	102.0	86.5	62.0	825.0	——

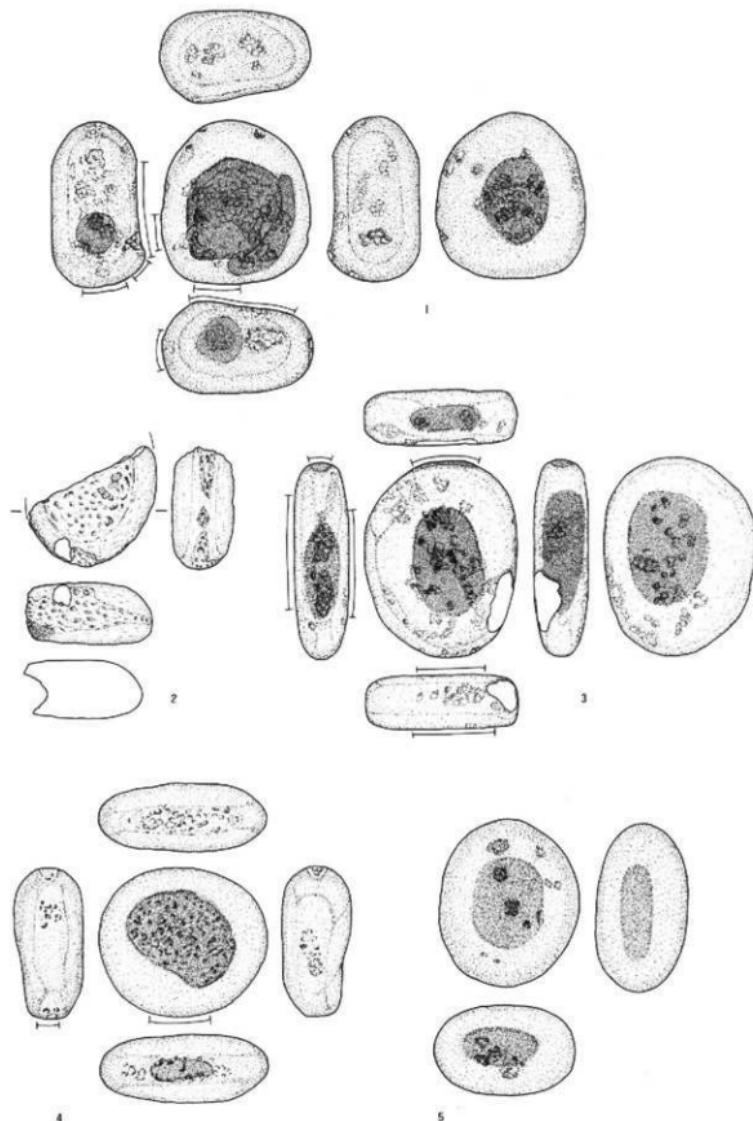
石皿(3)は内湾する作業面を有し、一部敲打痕も認められる。(4)と(5)は敲石と磨石の併用石器であり、それぞれに磨面と風磨状の敲打痕が認められる。



1・2……遺構内出土 3～5……新期スコリア層出土 6～18……栗色土層 (KU) 出土  
19……漸移層 (Zn) 出土 20～22……富士黒土層 (FB) 出土

縮尺 4／5

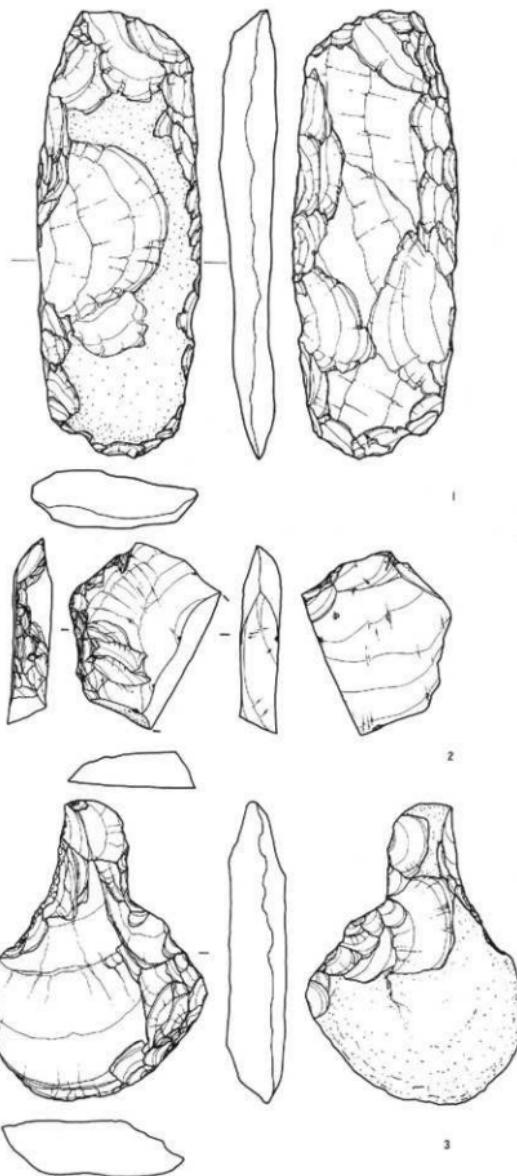
第13図 繩文時代遺構及び包含層出土石器 (1)



1 ……栗色土層（KU）出土 2 - 5 ……富士黒土層（FB）出土

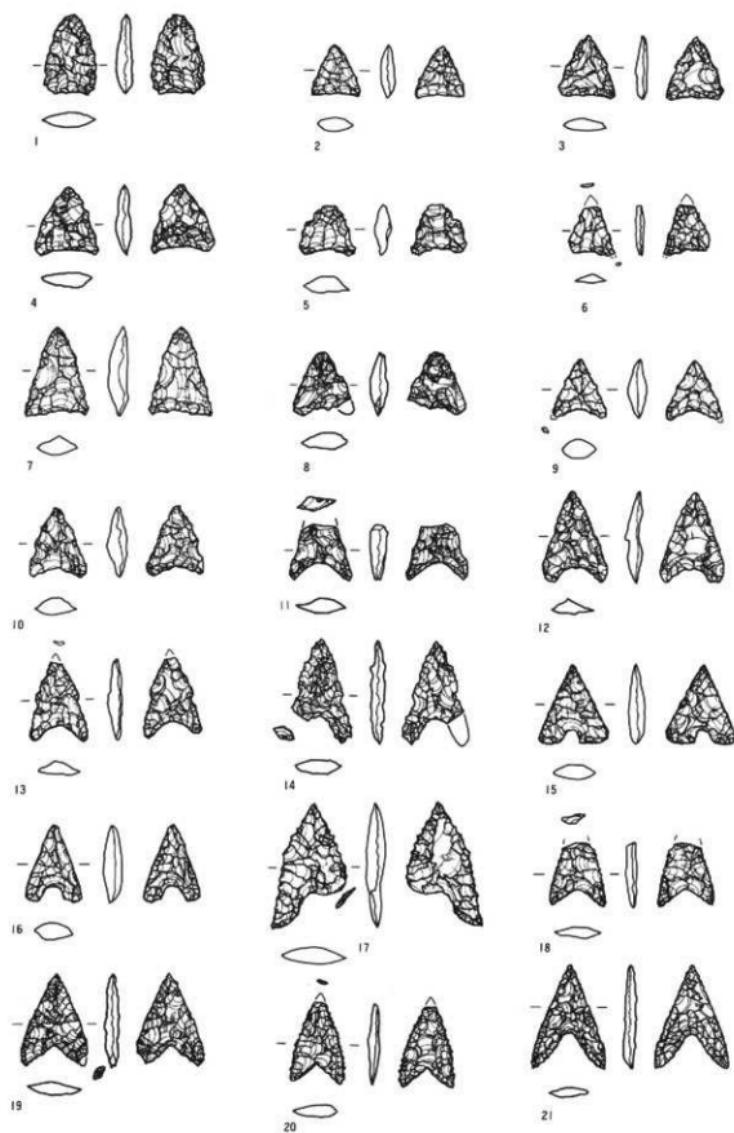
(縮尺 1 / 3)

第14図 桶文時代包含層内出土石器（2）



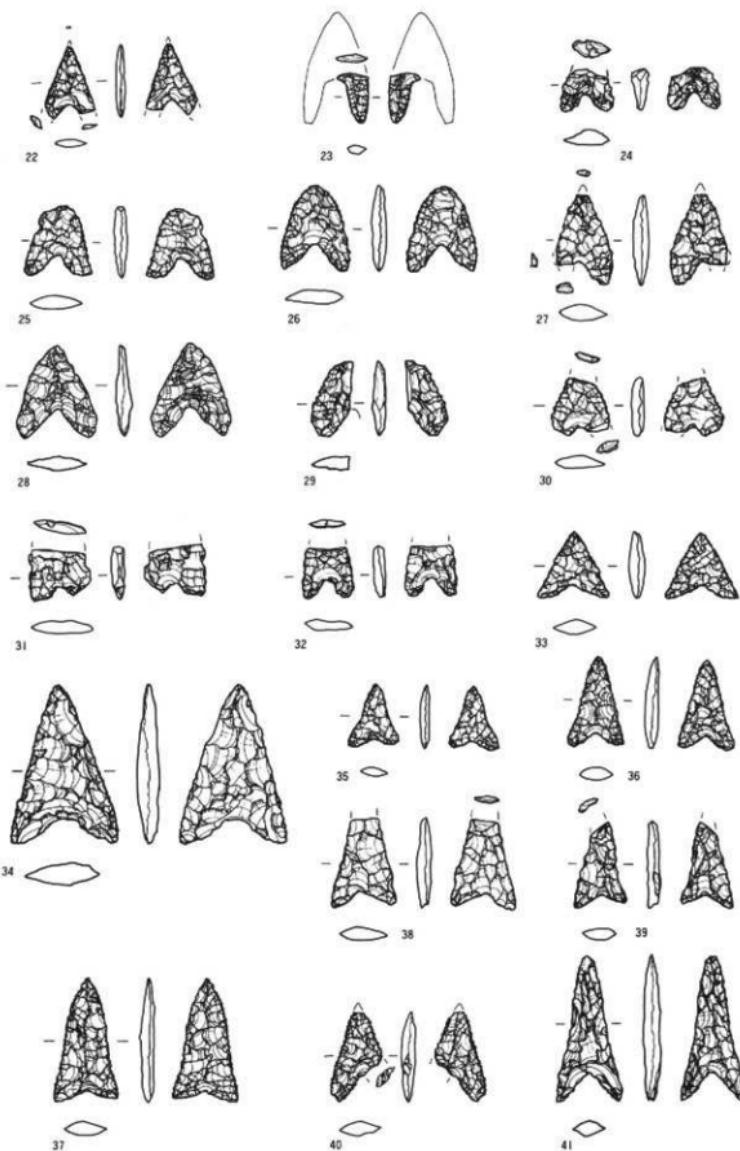
1 …栗色土層 (KU) 出土 (縮尺 2 / 3)      2・3 ……富士黒土層 (FB) 出土 (縮尺 4 / 5)

第15図 縄文時代包含層内出土石器 (3)



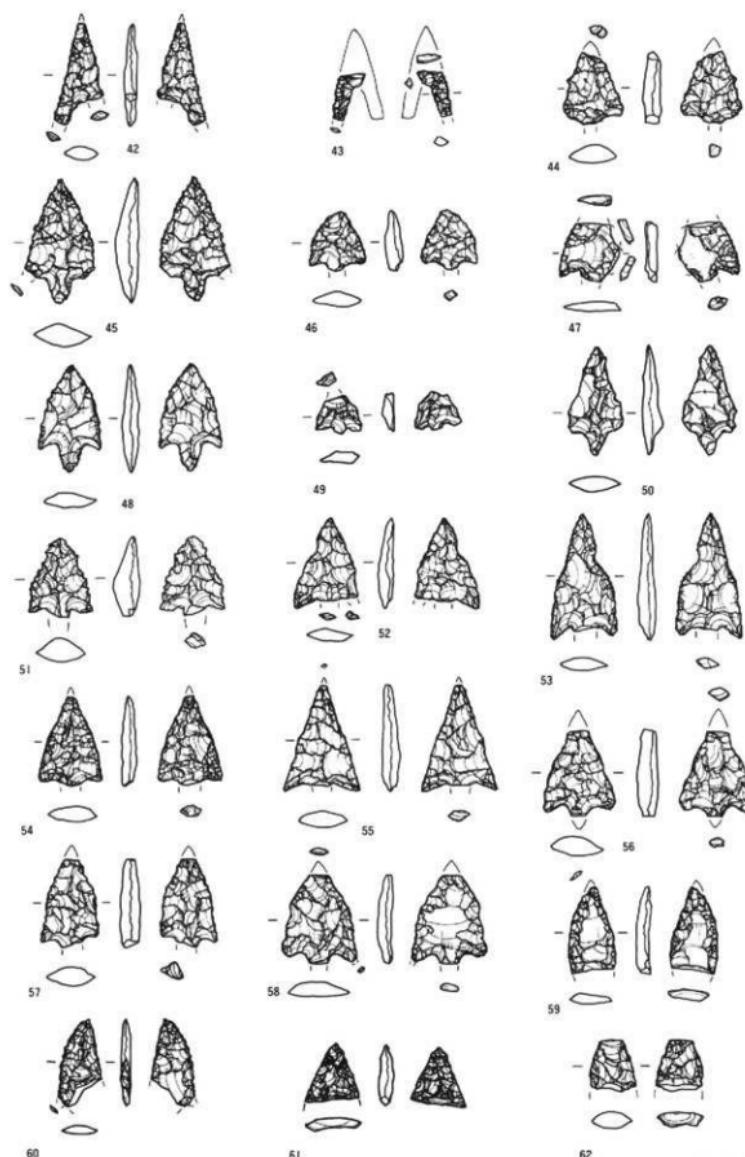
第16図 縄文時代掘乱部出土石器（1）

縮尺 4 / 5



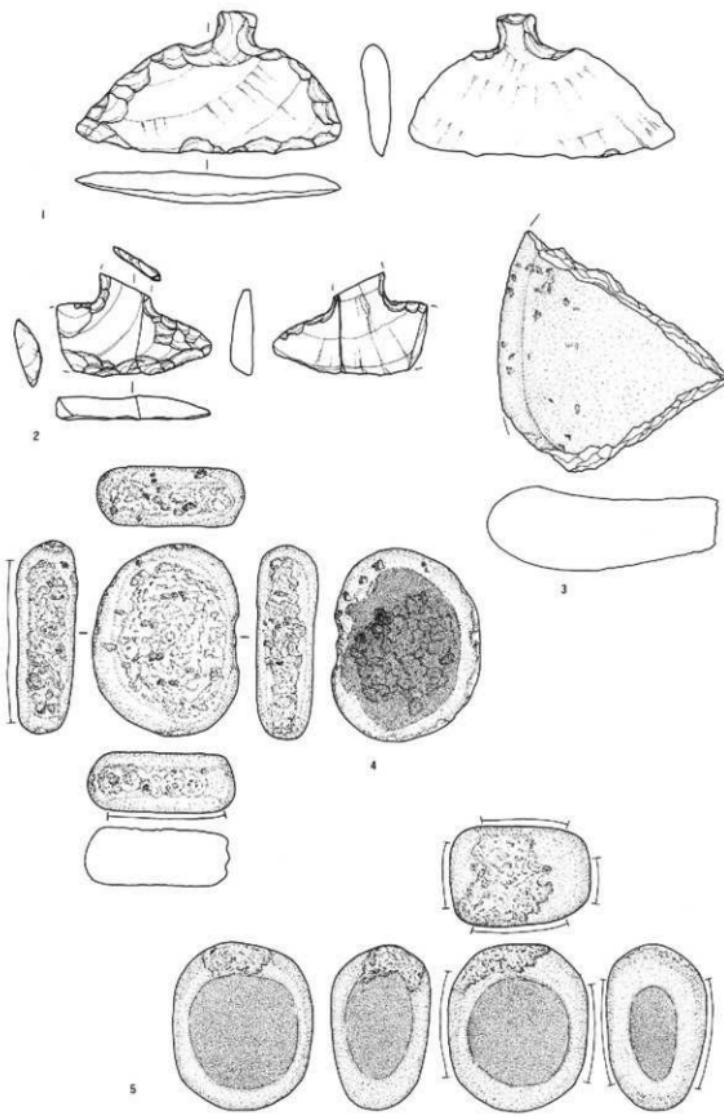
第17図 縄文時代擾乱部出土石器（2）

縮尺4／5



第18図 縄文時代擾乱部出土石器（3）

縮尺 4 / 5



1・2……石器（縮尺4／5） 3……石皿（縮尺1／3） 4・5……磨石・敲石（縮尺1／3）

第19図 縄文時代擾乱部出土石器（4）

## 第III章 弥生時代の遺物

### 第1節 土器

本遺跡では弥生時代後期末から古墳時代初頭のものと推定される土器（以下弥生時代後期末土器と記述）が多量に出土した。本書には竪穴住居跡、方形周溝墓、土器窯窓遺構などの遺構を伴って出土したものを中心、総点数1252点を掲載した。竪穴住居跡から出土した土器は、焼失住居などの床面直上に置かれた状態で、または散らばった状態で多量に出土し、かつ残存率の高いものも存在するが、このような状態で出土した土器は竪穴住居跡の総数301軒に比して少なく、その大多数は覆土内で出土したものである。また、方形周溝墓出土の土器は周溝内覆土上層から中層で出土したものである。

なお、本文中に記述できなかった個々の遺物についての計測値・特徴等は、後述の遺物観察表に記述した。

#### 器種とその形態について

本遺跡出土の弥生時代後期末土器の器種は、壺、甕、小型壺、鉢、高杯の5種を確認することができた。以下、各器種毎に本遺跡出土の弥生時代後期末土器の特徴を記述することにする。

##### 1・壺

本遺跡から出土した弥生時代後期末土器の中で最も出土量の多い個体で、底部や胴部、破片も含めると掲載点数の約6割を占める。口縁部の形態から単純口縁壺、折り返し口縁壺、複合口縁壺の3形態に大別できる。

本遺跡から出土した壺は、3形態とも頸部は相対的に太くて短く、頸部と肩部の境で屈曲を持たず、なだらかに続くものが主体である。また、胴部の形態は、折り返し口縁壺G類として分類した110図-2や、70図-2、70図-3、78図-4の壺胴部などを除き、胴中位に最大径を有した球胴形、胴下位に最大径を有した下膨れの球胴形、肩部～胴上位が丸く張り、中位と下位の境に後を有する形態の3種類が主体である。口唇部は、単純口縁壺E類を除き、断面が四角形を呈するように面取りしたもののが一般的であるが、単純口縁壺と折り返し口縁壺の一部は、上端部が尖るように面取りしたものや、面取りを行わずに丸くおさめたものもごく少量存在する。

調整は、外面はハケまたはヘラミガキ、内面胴部はハケまたは丁寧なナデ調整、口縁部はハケまたはヘラミガキ調整のものが主体である。なお、外面のヘラミガキは、口縁部から肩部がタテ方向、胴部がヨコ方向の傾向が強い。また、壺のうち、何らかの加飾を施した個体の比率は、口唇部や複合部に浮文や沈線のみを施した個体を含めると掲載点数の約半数、除くと約4割を占める。文様の種類は、横位の単節繩文を1段回転施文したもの、同一の繩文原体を2段回転施文したもの、燃りの方向を変えた繩文原体を上下に接して1段ずつ回転施文して羽状繩文を造り出したものが主体であり、3段以上の文様帶を持つものは稀である。また、繩文の上部または下部にS字状結節文を伴うものも多く存在する。この他に、少數であるが、無節繩文や、刺突による擬繩文、波状文、直線文、簾状文、扇形文などの御描文系の文様、単純口縁壺や折り返し口縁壺の口唇部や、複合口縁壺の複合部の下端に、壺の口唇部と同様の刻みを施したものも見られる。

### 単純口縁壺

単純口縁壺は、口縁部の開きなどをもとに以下のように細分する。

- A 口縁部が大きく外反するもの。外面頸部から胴上位、内面口縁部を加飾するものとしないものが存在する。一部口唇部に棒状浮文や沈線を施したものも見られる。
- B 口縁部が緩やかに外反するもの。
- C 口縁部が直線的に外方へ開くもの。
- D 口縁部が短く、直立気味に外方へ開くもの。
- E 口縁部が直線的または内彎気味に開くもののうち、口唇部、外面頸部から胴上位、内面口縁部を加飾するもの。頸部は短く、口唇部は天井を向くように面取りする形態に限定される。
- F 口縁部が直線的または内彎気味に開くもの。頸部は短く、胴部は上位がわずかに張り、下位に明瞭な稜を持つ形態に限定される。
- G 口唇部付近で屈曲し、内面に面を持ち、かつ内面口縁部を加飾するもの。口唇部は連続した刻みを面に対して垂直に施す。

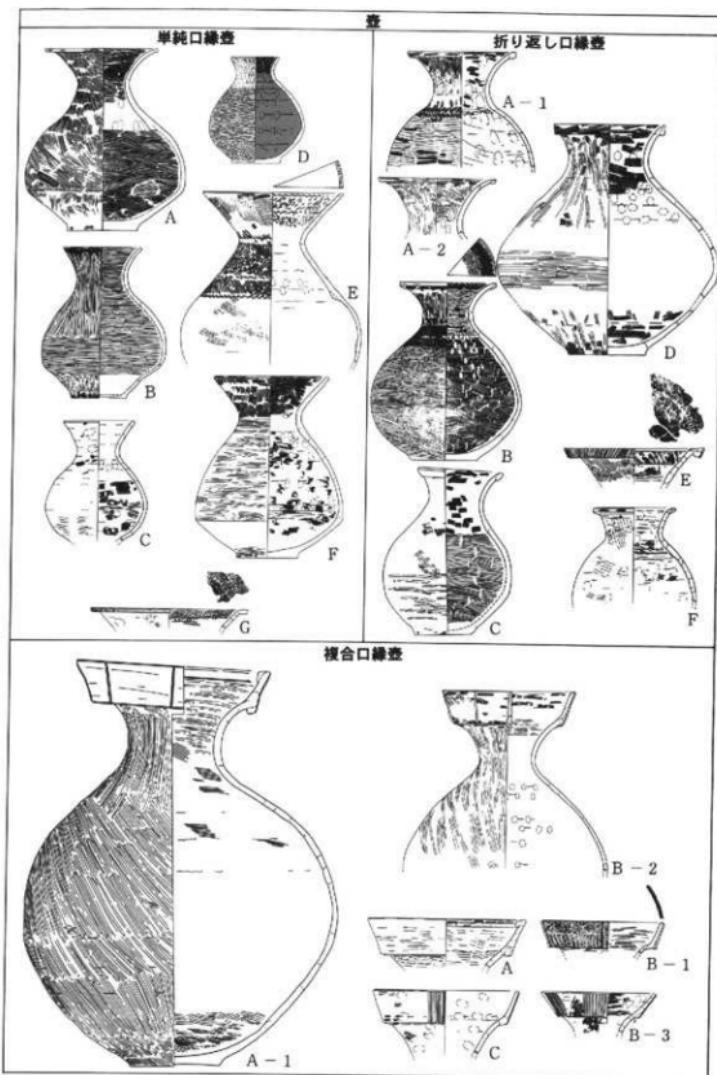
以上の形態のうち、単純口縁壺A類が最も出土量が多く、これに次ぐB類、C類、E類の4形態が本遺跡出土の単純口縁壺の主体となる。

### 折り返し口縁壺

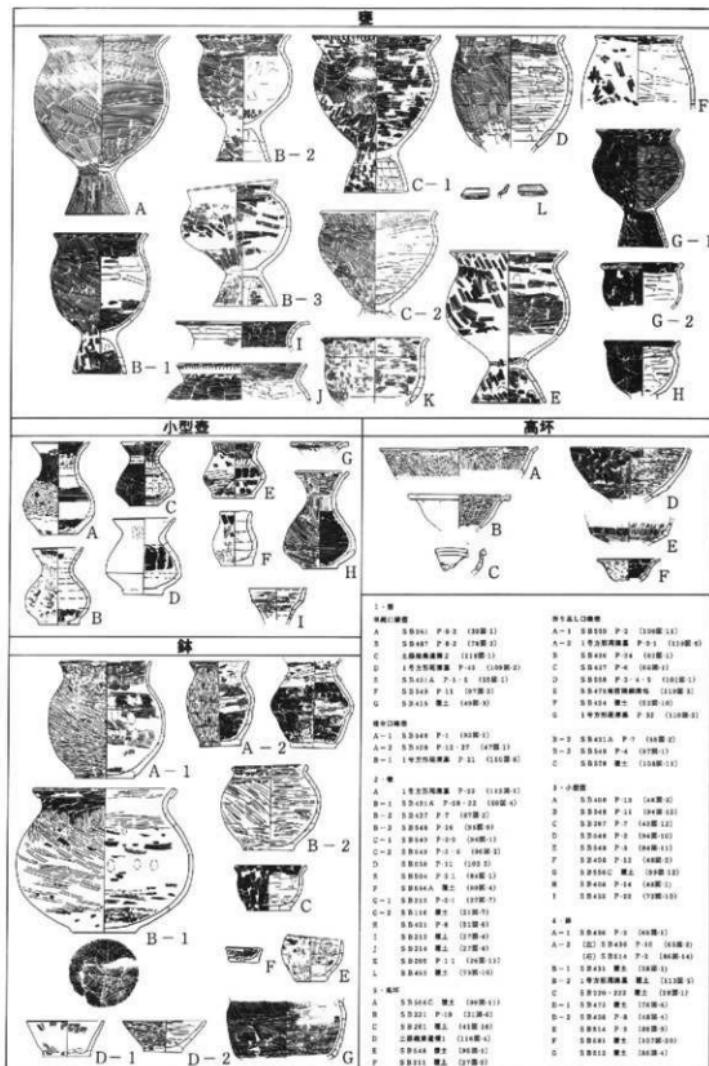
折り返し口縁壺は、口唇部外面に粘土帯を貼りつけて折り返し面を造り出すものが主体である。しかし、口縁部の一番上にやや肥厚した粘土帯を積み、その接合痕を消さずに薄い折り返し面を造り出している、一見単純口縁壺に近い形態を呈するものも存在するが、本書では後者の形態も折り返し口縁壺として掲載した。口縁部の開きや折り返し面の形態などをもとに以下のように細分する。

- A 口縁部が折り返し面が見えないほど大きく外反し、折り返し面の断面が四角形を呈するもの。口縁部内面にぶい面を有するものも存在する。外面頸部から胴上位、内面口縁部を加飾するものとしないものが存在する。一部口唇部に棒状浮文や沈線を施したものも見られる。
- B 口縁部が大きく外反するもの。外面頸部から胴上位、内面口縁部を加飾するものとしないものが見られる。一部口唇部に棒状浮文を貼りつけたものも存在する。
- C 口縁部が緩やかに外反し、折り返し面の断面が四角形を呈するもの。
- D 口縁部が緩やかに外反し、口唇部が厚いもの。折り返し面の断面は三角形を呈する。
- E 口縁部が折り返し面が見えないほど大きく外反し、折り返し面の断面が四角形を呈するもののうち、内面口縁部に稜を有して面を造り出し、加飾するもの。口唇部は連続した刻みを面に対して垂直に施す。
- F Cのうち、頸部に鈍い屈曲が見られるもの。

以上の形態のうち、折り返し口縁壺A-1類が最も出土量が多く、これに次ぐB類、C類が本遺跡出土の折り返し口縁壺の主体となる。また、折り返し面の断面は、A-2類として分類した52図-3、110図-6、D類として分類した101図-1を除き、四角形を呈する。



第6-1表 弥生土器一覧表 (1)



第6-2表 弥生土器一覧表(2)

### 複合口縁壺

本遺跡から出土した複合口縁壺は、単純口縁壺や折り返し口縁壺で多く見られた、頸部から胴上位にかけてを施文する個体は確認できなかった。法量や複合部の製作技法をもとに以下のように細分する。

- A 器高50cm以上をかる大型のもの。複合部は口縁部との境の外面に粘土帯を貼りつけて造り出し、口唇部内面にも断面四角形の粘土帯を貼りつけるもの。内面複合部と口縁部の境が鈍く屈曲するものをA-1類、屈曲が見られないものをA-2類とする。A-1類の複合部には棒状浮文を貼りつけたものと貼りつけないもの、A-2類の複合部には棒状浮文を模した沈線を施したものと施さないものが存在する。
- B 複合部は口縁部との境の外面に粘土帯を貼りつけて造り出しているもの。内面複合部と口縁部の境が直角に近い角度で屈曲するものをB-1類、鈍く屈曲するものをB-2類、屈曲が見られないものをB-3類とする。いずれの形態も複合部に棒状浮文を貼りつけたものと貼りつけないものが存在する。B-1類は口唇部や複合部にも繩文を加飾するものが見られ、B-3類は複合部に棒状浮文を模した沈線を施すものも見られる。
- C 複合部は口縁部を屈曲させて造り出し、外面に粘土帯を貼りつけないもの。複合部に棒状浮文を貼りつけたもの、棒状浮文を模した沈線を施したもの、加飾しないものの3形態が存在する。

以上の形態のうち、複合口縁壺A-1類、B-1類、B-2類といった、内面複合部に屈曲を有したものが本遺跡においては主体である。

### 2・甕

壺に次いで出土量の多い器種であり、掲載点数の約3割を占める。本遺跡から出土した甕は台付甕が主体である。

胸部の形態は、胴上位または中位に最大径を有し、胴下位から底部が直線的におさまった球胴形を呈するものが主体であるが、法量の小さなものはほど胸部の張りは小さくなる傾向が見られる。脚部は、裾部の傾斜角約70度前後をはかり、直線的に開くものが主体であり、傾斜角約75~80度をはかる開きの小さなものの内輪気味に開くもの、低脚のものが客体的に含まれている。また、甕部と脚部の接合方法は、予め脚部を造り、底面を埋めてから、甕部を造り出したものが大半である。口唇部は甕同様、断面が四角形を呈するように面取りしたものが一般的であるが、上端部が尖るように面取りしたものや、面取りを行わずに丸くおさめたものもごく少量存在する。

調整は全体にハケ調整を施したものと、外面はハケ調整、内面は口縁部のみハケ調整で、胴部以下を板または指頭によるナデ調整を施したものとに大別される。稀に外面ヘラミガキ調整のものも見られる。文様は、口唇部の刻みが挙げられるが、本遺跡において口唇部に刻みを施すものは、出土した甕口縁部の総数の約1/4を占める。但し、上端部が尖るように面取りしたものは、すべて口唇部下端に刻みが見られる。本遺跡から出土した刻みを有するすべての甕口縁部は、口唇部下端にハケ工具またはヘラによる刻みを施している。唯一、面に対して垂直な刻みの見られる73図-4は、面に対して垂直に刻みを入れる部分と口唇部下端に入れる部分の混在する個体である。刻みの入れ方は浅く、口唇部が波状になったものはごく少數である。また、内面口縁部にハケ調整を施した後、ヨコナデまたは断続的なナデ調整を重ねた個体も存在する。

法量や頸部の屈曲、胸部の形態から以下のように細分する。

- A 口径20~30cmをはかる大型のもの。胴部は中位に最大径を有し、頸部の屈曲は緩やかなものに限定される。口唇部下端にハケ工具またはヘラによる刻みを施すものと施さないものが存在する。
- B 口径12~20cmをはかるもので、胴部が上位または中位に最大径を有した球胴形を呈するもの。頸部が緩やかに屈曲するものをB-1類、「く」の字状に屈曲するが棱を持たないものをB-2類、内面に棱を有して「く」の字状に屈曲するものをB-3とする。3形態ともA類同様、口唇部下端にハケ工具またはヘラによる刻みを施すものと施さないものが存在する。また、口唇部は断面が四角形を呈するように面取りしたものが大多数であるが、上端を尖らせて面取りするものも存在する。
- C 口径12~20cmをはかるもので、胴部形態はB類に類似するが、口径が胴最大径を凌ぐもの。頸部が「く」の字状に屈曲するものをC-1類、頸部の屈曲が緩やかで、口縁部の短いものをC-2類とする。C-1類は口唇部下端にハケ工具またはヘラによる刻みを施すものと施さないものが存在する。
- D 口径12~20cmをはかるもので、長胴のもの。口唇部下端にハケ工具またはヘラによる刻みを施すものと施さないものが存在する。
- E B類のうち、胴部が下位に最大径を有した下彫れの球胴形を呈するもの。
- F 口径12~20cmをはかるもので、胴部が下位に最大径を有した下彫れの球胴形を呈し、口縁部が短く、口唇部が丸いもの。
- G 口径12~20cmをはかるもののうち、器壁が薄いもの。頸部が緩やかに屈曲するものをG-1類、頸部が「く」の字状に屈曲し、折り返し口縁を有するものをG-2類とする。
- H 口径10cm以下の小型品。全体的に粗雑な成形である。
- I 頸部が緩やかに屈曲し、外面口縁部の輪積み痕を消さないもの。
- J 頸部が「く」の字状に屈曲し、外面口縁部と頸部の接合痕を消さないもの。口唇部下端にハケ工具またはヘラによる刻みが見られる。
- K 口径が胴最大径を凌ぎ、頸部と胴部の境が不明瞭な鉢型のもの。
- L S字彫に類似するもの。

以上の形態のうち、本遺跡においては、要A類、B-1類、G-1類といった、頸部の屈曲の緩やかな個体が主体である。C-1類、C-2類、H類は6表で提示した個体のみである。

### 3・小型壺

本遺跡では器高15cm以下の壺が多く出土した。口縁部の形態は大型、中型の壺に準じており、C類を除いて、口唇部は断面が四角形を呈するように面取りしたものが一般的である。この規模の壺になると、胴部形態にばらつきが見られ、大型、中型の壺ではあまり見られない胴上位に最大径を有したものも普遍的に存在する。

口縁部の形態や開きから、以下のように細分する。

- A 単純口縁壺B類を模したもの。
- B 単純口縁壺C類を模したもの。
- C 単純口縁壺E類を模したもの。
- D 単純口縁壺F類を模したもの。
- E 単純口縁壺。口径が胴径に比して大きく、口縁部が短く、直立気味に外方へ開くもの。
- F 単純口縁壺。器高10cm以下をはかり、全体的に手づくねに近い粗い造りのもの。

- G 折り返し口縁壺Aを模したもの。
- H 折り返し口縁壺Bを模したもの。
- I 複合口縁壺Cを模したもの。

口縁部の残る小型壺の出土総数30点中、単純口縁を持つA類からF類は20点、折り返し口縁を持つG類とH類は9点を数え、複合口縁を持つI類は1点のみにとどまった。

#### 4・鉢

本遺跡では壺や台付甕の他に、平底の鉢が出土している。胴部形態が球胴形を呈する有頸のものと、底部から口縁部に向かって外方に開く無頸のものに大別される。口唇部は壺、甕、小型壺と同様、断面が四角形を呈するように面取りしたものが一般的である。

調整は、外面はハケまたはヘラミガキ、内面はハケまたはナデ調整が一般的で、文様はA-2類の肩部に円形浮文が見られる他は認められない。

なお、本遺跡では、折り返し口縁を有した甕または鉢の口縁部破片を多く出土したが、沼津市離鹿塚遺跡や富士宮市月の輪上遺跡、静岡市长崎遺跡などで出土例が認められた、折り返し口縁を有する大型の台付甕の全体的な器形を明らかに示す個体は出土しなかった（足立1995、石川1990、加納1981）。しかし、本書でB-1類として細分した折り返し口縁を有する平底の鉢1点（58図-1）が出土していることから、遺物観察表には甕または鉢と記載している。

法量や口縁部の形態などから以下のように細分する。

- A 単純口縁を持つもの。球胴形の胴部形態を呈するものをA-1類、長胴のものをA-2類とする。  
A-2類と推定される鉢の中には体部に浮文等の加飾を施すものも見られる。
- B 球胴形の胴部形態を呈する折り返し口縁を持つもの。口径25cm前後をはかる大型のものをB-1類、口径15cm前後をはかり、口縁部そのものが折り返し口縁を有するものをB-2類とする。
- C 器高10cm前後をはかり、小型の単純口縁を持つもの。胴部形態は球胴形を呈する。
- D 口径12cm前後をはかり、体部が直線的に開くもの。開きが小さく、体部の深いものをD-1類、開きが大きいものをD-2類とする。
- E 口径12cm前後をはかり、体部が内彎して開くもの。
- F 口径5cm前後、器高2cm前後の小型のもの。体部は直立気味に立ち上がるものが主体であるが、開きの大きなもの、内彎して開くもの、口唇部付近が外反するものも存在する。
- G 脇下位で稜を有し、脇上位から中位が直立気味に立ち上がり、頸部が緩やかに屈曲するもの。

胴部や体部の器形の確認できる34点中、A類～C類、G類に分類した有頸の鉢は21点、D類～F類に分類した無頸の鉢は13点を数える。

#### 5・高坏

本遺跡では、この時期に比定される周辺地域の遺跡と同様、高坏の出土量は非常に少なく、掲載点数の1パーセントにも満たない。

坏部の形態などから以下のように細分する。

- A 単純口縁を持つ塊形のもの。口唇部は丸い。

- B 折り返し口縁を持つ壺形のもの。口縁部は折り返し面が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は断面が四角形を呈するように面取りする。
- C 折り返し口縁を持つ壺形のもの。坏部中位で稜を有し、口縁部は内彎気味に開く。折り返し面、口唇部の形態はB類と同様である。
- D 坏部が深いもの。坏部下位に稜を有し、内彎気味に開く。口唇部は断面が四角形を呈するように面取りする。
- E 坏部中位に稜を有し、稜の直上に櫛描波状文を施すもの。
- F 口径10cm前後をはかる小型のもの。単純口縁を有し、口唇部付近は大きく外反する。口唇部は断面が四角形を呈するように面取りする。

いずれの形態も、1個ないし2個の出土にとどまった。C類は沼津市二本松遺跡、D類は同八兵衛洞遺跡で類例が見られる。(小野・笠津1968、鈴木他1981)

#### 外来系土器について

本遺跡から出土した土器は、沼津市二本松遺跡、同八兵衛洞遺跡群、同八兵衛屋敷遺跡など、本遺跡とほぼ同時期に比定される周辺の遺跡と同様、外来系土器の占める比率は非常に低い。(小野・笠津1968、鈴木他1981、石川1990)

搬入品は、折り返し口縁壺E類として分類した119図-3と、折り返し口縁を有し、口唇部下端に刻みを施した98図-17の鉢の2点のみにとどまった。これらの土器は菊川様式新様相に相当するものと考えられ(中嶋1988)、ともに粗い白色の胎土を有している。

模倣品と考えられる個体について述べると、甕I類として分類した、同一個体の可能性が高い68図-2と73図-10は、S字甕B類(赤塚1990)に大変よく似た形態を呈しているが、在地の土器と同様の橙色の胎土を持つ。高坏D類として分類した116図-4は、欠山式(久永1963)を模倣したものと考えられるが、坏部が浅いこと、口唇部断面が四角形を呈していること、外面に煤が付着していることなど、本来の欠山式の高坏とは異なる様相を多く持つ個体である。95図-1は山中式(大參1968)を模倣した高坏の坏部で、20図-23は同じく山中式を模倣した高坏の脚柱部であると考えられる。22図-10は菊川式で通有の、肩部に段を持ち、段の直下に擬繩文を施す壺の破片である。72図-13は文様や胴部の形態から見て、同じく菊川式の影響の強い小型壺である。77図-16は西遠江に多く見られる脚部との接合部に粘土帯を貼りつけた台付甕の底部の破片である。

この他、本遺跡から出土した弥生時代後期末土器は、外来系の土器を模倣しただけではなく、模倣した要素を在地化させた個体も多く存在する。甕の口唇部下端の刻みや、単純口縁壺A類、同G類、折り返し口縁壺A類、小型壺E類に見られる大きく外反し、一部内面に面を持つものも含まれる口縁部、単純口縁壺E類、同F類、小型壺C類、同D類に見られる内彎口縁は東遠江、甕I類に見られる外面の輪積み痕を消さない口縁部は相模の影響が見られる。甕J類は、頸部を「く」の字状に屈曲させる西遠江の要素と、口縁部の輪積み痕を消さない相模をはじめとした南関東に見られる要素を合わせて模倣した折衷形態の土器である。

#### 土器の時期について

本遺跡から出土した土器は、頸部と肩部の境で屈曲を持たない壺や、頸部の屈曲が緩やかな甕、また、東遠江からの搬入品である119図-3の折り返し口縁壺や98図-17の鉢、欠山式を模した116図-4の高坏など、従来の弥生時代後期末土器に見られる様相を持つ土器に共存して、小型壺や、口唇部内面に粘

土帯を貼りつけた大型の複合口縁壺A類、頸部に鈍い屈曲を持つ折り返し口縁壺F類、頸部が「く」の字状に屈曲する壺B-3類や同J類、薄い器壁を有する同G類、小型の高杯F類、さらにB類S字壺に似た形態の甕L類など、いわゆる大廟式（小野1969）の形態を持つ土器も普遍的に見ることができる。この傾向は焼失住居を中心とした竪穴住居跡、方形周溝墓、土器集中部など、ほぼすべての遺構に見られることから、集落の時期はまさに弥生時代後期末から古墳時代への移行期に相当すると推定され、継続時間も非常に短期間であったと考えられる。

#### 〈引用・参考文献〉

- 赤堀次郎『越間遺跡』愛知県埋蔵文化財センター 1990  
足立順司『長崎遺跡IV』（遺物・考察編）静岡県埋蔵文化財調査研究所 1995  
石川治夫『越鹿塚遺跡発掘調査報告書II』（遺物編）沼津市教育委員会 1990  
大參義一『弥生式土器から土師器へ』『名古屋大学文学部研究論集』X L VII 1968  
小野真一『沼津市大廟発見の住居址と土器』『歴史科学』20 1969  
小野真一・笠置海祥『東名高速道路（静岡県内工事）関係埋蔵文化財報告』日本道路公団・静岡県教育委員会 1968  
加納俊介『月の輪遺跡群』富士宮市教育委員会 1981  
鈴木裕篤・石川治夫・小野信義『八兵衛洞遺跡群発掘調査報告書』沼津市教育委員会 1981  
中嶋郁夫『いわゆる『菊川式』と『飯田式』の再検討』『転機』2号 1988  
久永春男他『瓜郷』豊橋市教育委員会 1963

## 第2節 土製品

### 土製勾玉

本遺跡では破片も含めて13点の土製勾玉が出土した。22図-14で丁寧なヘラミガキ調整が観察できる他は、ナデ調整が主体である。形態は、33図-13のように、全長約3cm前後と推定され、頭部が尖り、孔径の小さいものと、その他の個体のように、全長約6cm前後をはかり、頭部は水平または丸く調整し、尾部が丸く、細くおさまるものとに大別することができる。いずれの個体も頸部は不明瞭で、背部は三日月状に屈曲する。穿孔はすべて両面から行われ、33図-13、87図-17は非貫通である。

### 土製丸玉

土製丸玉は3点出土した。うちSB430覆土から出土した53図-20は土製小玉である。53図-20は縦断面、横断面とも円形を呈し、穿孔は両面から行われている。調整は磨滅のため不明である。88図-10は横断面は円形、縦断面は楕円形を呈する。穿孔は両面から行われ、全体に指頭圧痕の残る粗い造りである。119図-12は横断面は円形、縦断面は中央にぶい穂を持つ算盤玉形を呈する。穿孔は両面から行われ、丁寧なヘラミガキ調整が観察できる。

### 泥メンコ

穿孔等の見られない円盤形の土製品を泥メンコとした。119図-13は側面に明瞭な稜がみられ、断面形は中央部が盛り上がり、両側面が細く尖った薄い楕円形を呈する。両面とも丁寧なナデ調整が施されている。119図-14は全体的に厚い造りで、楕円形の断面形を呈する。両面とも丁寧なナデ調整が施されている。

### 有孔壺形土製品

八兵衛屋敷遺跡で有孔壺形土製品として報告されたものとほぼ同形態の、壺に似た形状の土製品がS B429炉付近で1点出土した(53図-6)(小野・ 笹津1968)。体部上方約1/3の高さの位置に指頭で掘れを造り出している。横断面はいずれの位置も円形を呈する。穿孔は上下両方から行われている。調整は丁寧なナデ調整である。

### 紡錘車

紡錘車は4点出土した。4点とも当初から紡錘車として製作されたものと推定され、円板形を呈するもの1点(113図-14)と、円板の一方の面の中央部が高く肥厚し、蒲鉾形の断面形を呈するもの3点(28図-13・82図-5・82図-13)の2形態に大別することができる。いずれの個体も穿孔は両面から行われ、調整は丁寧なナデ調整である。

### 手づくね土器

手づくね土器は2点出土した。61図-8は底面は水平で、体部は直立気味に立ち上がる。76図-11は底面と体部の境に屈曲が見られず、塊状の形態を呈する。いずれの土器も指頭圧痕が多く残るが、76図-11の内面には板ナデによる調整が見られる。

### 〈引用・参考文献〉

小野真一・ 笹津海祥『東名高速道路(静岡県内工事)関係埋蔵文化財報告』日本道路公团・静岡県教育委員会 1968

## 第3節 ガラス製品

### 小玉

本遺跡では総点数35点のガラス製小玉が出土したが、実測可能な32点を図化し、掲載した。35点中30点は3号方形周溝墓の主体部、2点は同周溝内から出土したものである。

法量は直径0.3~0.95cm、長さ0.12~0.61cmの範囲でばらつきがみられるが、1類：口径約0.4cm以上のものの、口径と長さの比が1:0.7~1:0.9の範囲に含まれるもののが大半である。(51図-5、114図-12~35、119図-5)と、2類：口径約0.4cm以下のもの。口径と長さの比が1:0.6~1:0.7と1類に比較してやや扁平になる。(99図-21、114図-36~40)の2形態に大別することができる。色調はコバルトブルー、スカイブルー、エメラルドグリーンの3種類が存在し、色調別の内訳はコバルトブルーが21点と最も多く、次いでスカイブルー9点、エメラルドグリーン5点となっている。形態別に観察すると、1類はコバルトブルーを主体に一部スカイブルーやエメラルドグリーンの色調を呈するものが含まれるに対し、2類はスカイブルーの色調を呈するもののみである。本遺跡から出土したガラス製小玉、特に1類は、側面がなだらかな曲線を描くものは少なく、1カ所以上の平坦面を持つものが多い。なお、114図-20と114図-26は成形時にできたと考えられる緩方向の筋が見られ、114図-34と114図-35は、側面中央に錐による穿孔と考えられる再加工の痕跡が確認できる。

### 勾玉

ガラス製小玉30点を出土した3号方形周溝墓の主体部からは、ガラス製の勾玉も出土した(114図-41)。全長1.8cm、最大幅0.9cm、最大厚0.6cmをはかる小型の個体である。色調はスカイブルーが主体であるが、

尾部の先端はコバルトブルーを呈する。頭部はやや丸く、頸部の明瞭な造り出しが見られない。背部の屈曲も非常に緩やかで、尾部はやや細く、丸くおさめている。側面から観察すると、一方の面は比較的扁平であるのに対し、もう一方の面は、孔の周辺が陥没し、下半部が肥厚していることから、鋳造の可能性が極めて高い。

## 第4節 金属製品

### 銅鏡

S B436床面から銅鏡1点が出土した(65図-4)。出土時には既に腐蝕が進んでいた。有茎式で、先端と茎は欠損している。両面とも縦中央に先端から茎へつながる稜を有し、先端部がやや丸みを持ち、基部はほぼ一定の幅を保っている。鏡身の断面形は薄い菱形を呈し、茎の断面形は円形を呈する。茎の付け根は抉りが見られ両面とも鋳造時のバリが残っている。

## 第5節 石器

確実に弥生時代の石器と言えるものは(1)～(4)の有孔磨製石鎌と(8)の扁平片刃石斧である。(5)～(7)の敲石と磨石の併用石器については、縄文時代のものか弥生時代のものか判断しかねるので、弥生時代の住居跡内出土のものについてのみこの項を取り扱った。

### 有孔磨製石鎌(第120図-1～4)

(1)・(2)・(4)は住居跡の覆土・床面・柱穴内より出土し、(3)は包含層内から出土した。石材はいずれも結晶質粘板岩である。薄い素材の両面に磨きをかけ、さらに両面から刃部を研ぎ出している。(2)には片面の中央に縦方向の稜が認められるが、この稜の左右で擦痕の方向が異なることから、磨きをかける段階で生じたものと思われる。形態はさまざまであるが、凹基で凸刃である点は共通している。但し、(1)のように基部に緩やかな円弧状の抉りを入れるものと、(4)のように長脚のものとでは明らかに異なっている。(2)～(4)は尖頭部が欠損し、さらに(2)は脚部、(4)は軸線を境に半分を失っている。いずれも刃こぼれが顯著であり実用品として使用されていたことは明らかである。胴部の下方には穿孔が施されるが、いずれも両面から行われ、一番狭い部分の径は1.5～2.5mmを測る。

表7 弥生時代石器計測表

[単位はmmおよびg ( )内は現存値]

器種	PL	No.	区	グリッド	石 材	最大縦	最大横	最大厚	重 量	遺 構
有孔磨製石鎌	120	1	4	U-16	結晶質粘板岩	3.3	2.1	0.2	2.15	SB421 覆土
〃	120	2	5	U-17	〃	(3.8)	2.0	0.3	(2.34)	SB522 床面付近
〃	120	3	4	M-16	〃	(4.1)	2.5	0.3	(3.33)	——
〃	120	4	4	O-17	〃	(3.3)	(1.4)	0.3	(1.30)	SB457 柱穴
敲石・磨石	120	5	4	P-21	輝石安山岩	74.0	61.0	27.0	144.93	SB436床面
〃	120	6	4	N-14	〃	115.0	92.0	46.0	667.29	SB475 B覆土
〃	120	7	5	P-28	〃	(65.5)	(76.0)	(38.0)	(215.7)	SB533 覆土
扁平片刃石斧	120	8	2	N-11	輝綠凝灰岩	82.0	45.0	15.0	102.58	SB23 覆土

### 敲石・磨石(第120図-5～7)

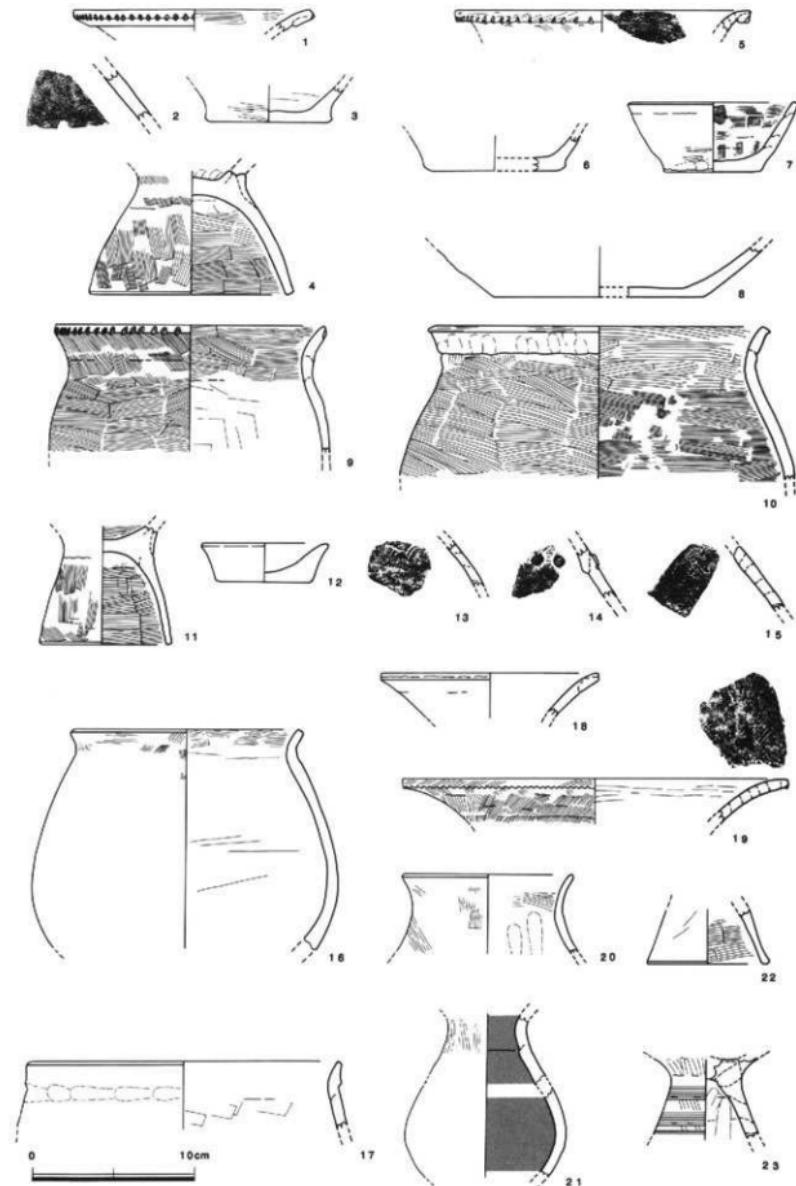
住居の床面上から出土し、明らかに住居に伴うのは(5)のみであり、(6)・(7)は床面付近とは言え覆土内から出土している。石材はいずれも輝石安山岩である。(5)は他の物に比べ非常に小形で、重量

も軽い。平面形態は不正橢円形を呈する。表裏に磨面を持つが、表面は範囲が狭くその部分がわずかに凹んでいる。裏面は範囲が広く、やはり全体的に凹んでいる。鼠歯状の敲打痕が表面及び四方の側面に認められるが、表面のそれは同心円を描くようでもある。(6)は大形で重量も重く、平面形態は橢円形を呈する。裏面はほぼ平坦で、そのほとんどの部分が磨面となっている。鼠歯状の敲打痕は表裏面及びすべての側面に認められる。(7)は平面形態は橢円形と思われるが、およそ半分が欠損している。表面は全体的に凹んでおり、そのほとんどの部分が磨面となっている。鼠歯状の敲打痕は側面に認められる。

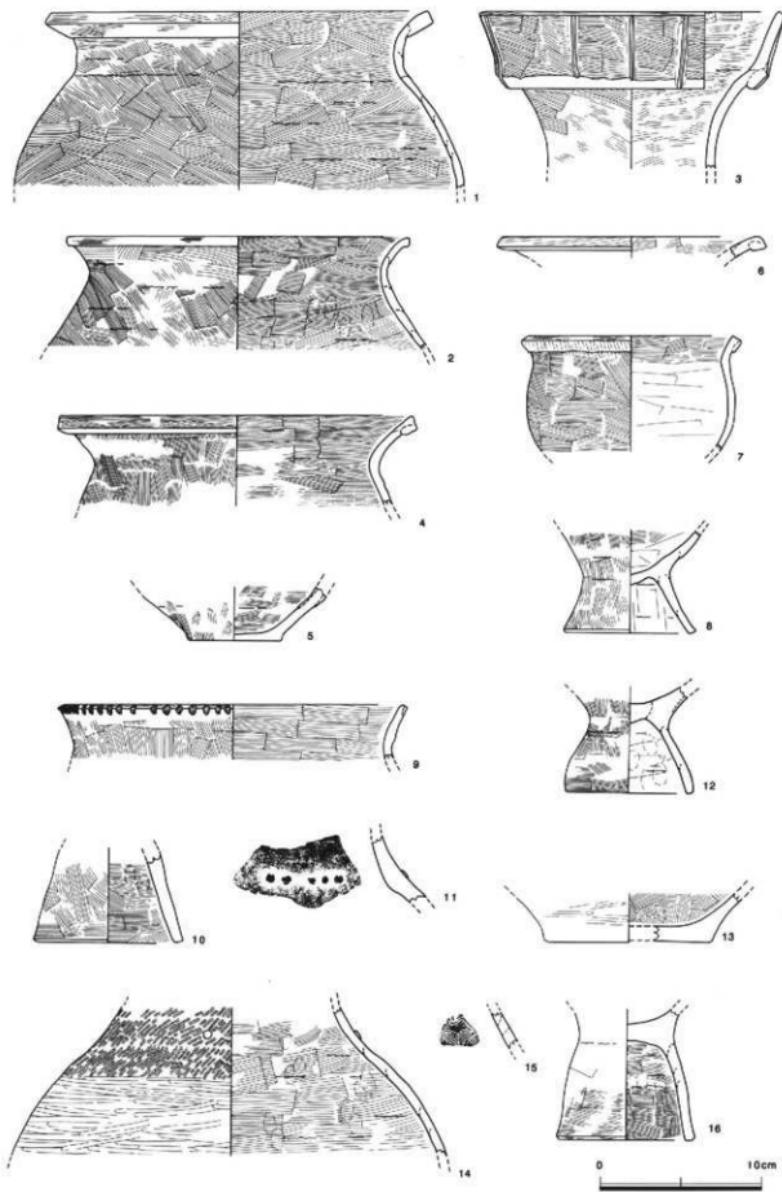
#### 扁平片刃石斧（第120図-8）

S B233住居跡の覆土内から出土した。本遺跡唯一の扁平片刃石斧で、石材は輝緑凝灰岩である。全面に磨きがかけられているが、磨かれた面はいずれもやや凸面をなしており、刃部も同様である。所々に剝離痕が認められるが、これらは磨く前に施されたものである。

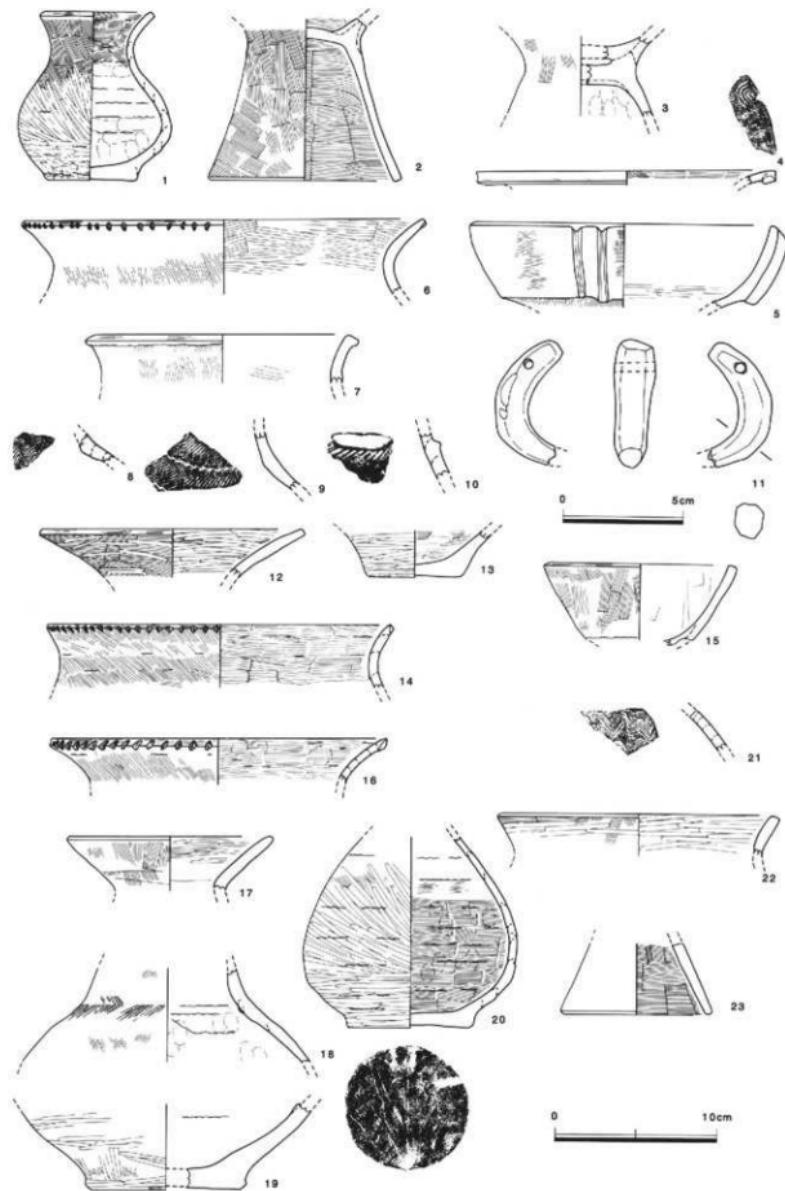
# 遺物図版



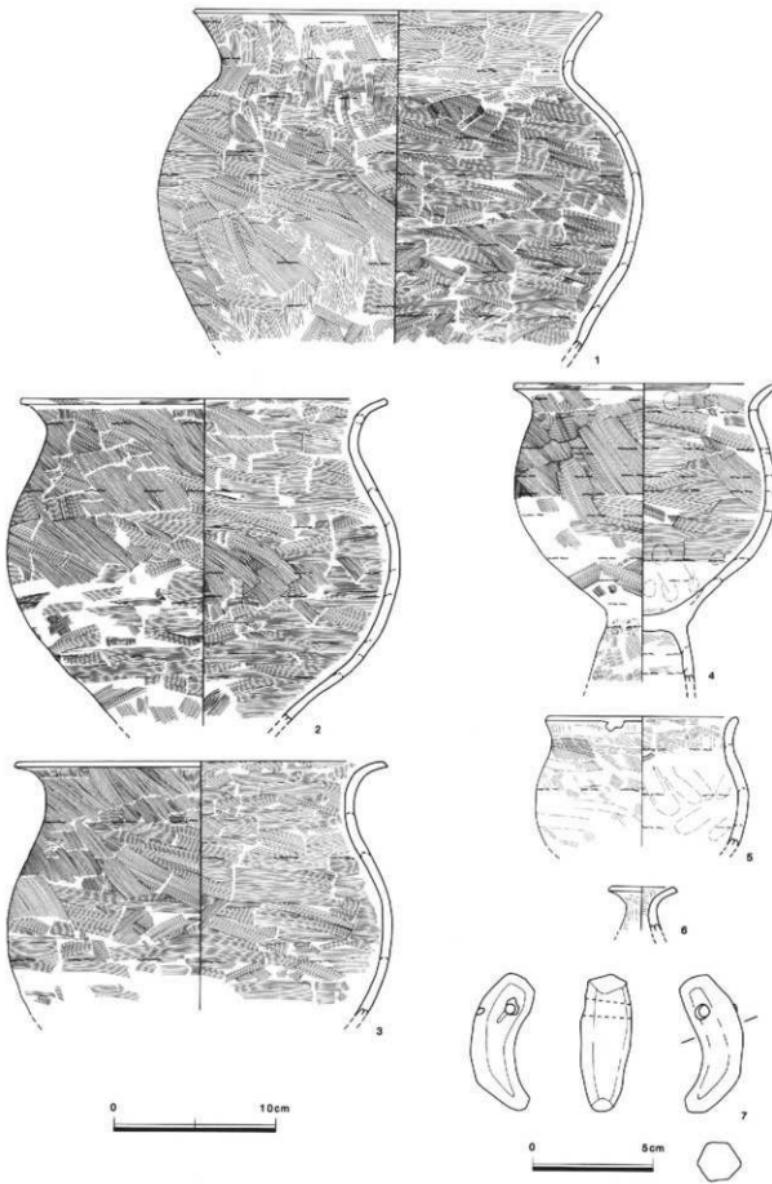
第20図 1区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (1)



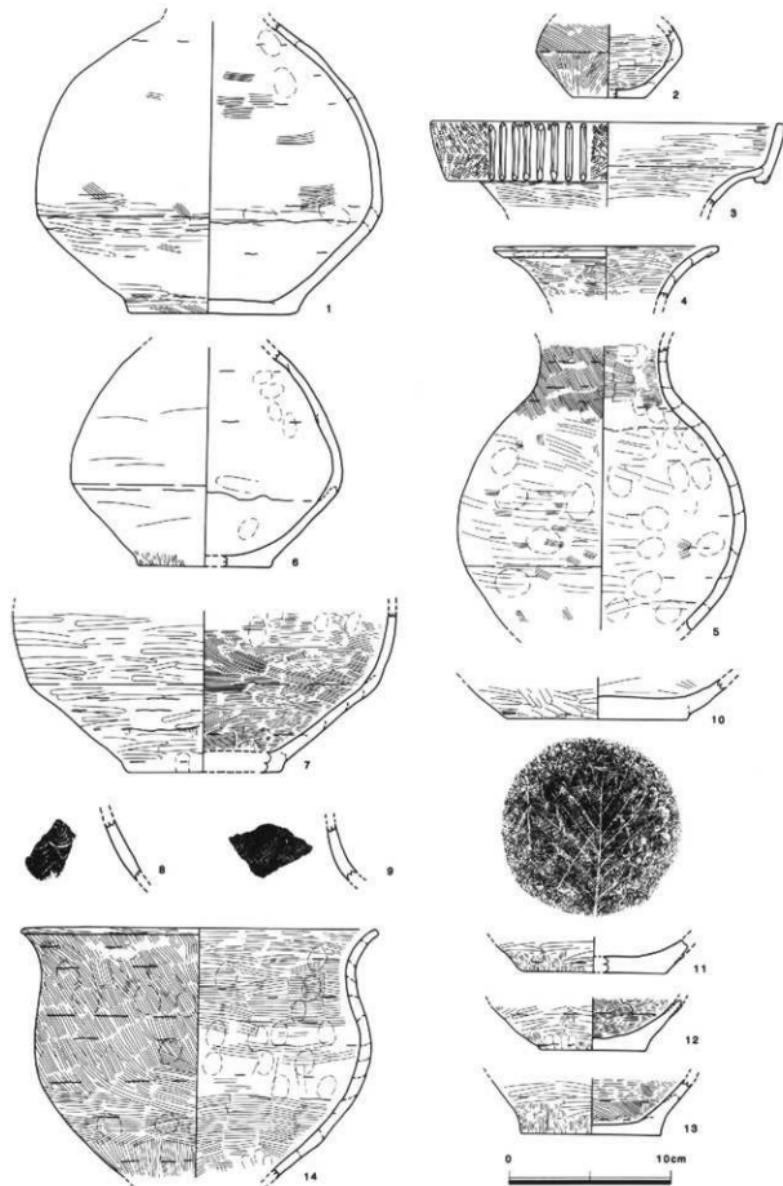
第21図 1区弥生時代竪穴住跡出土土器（2）



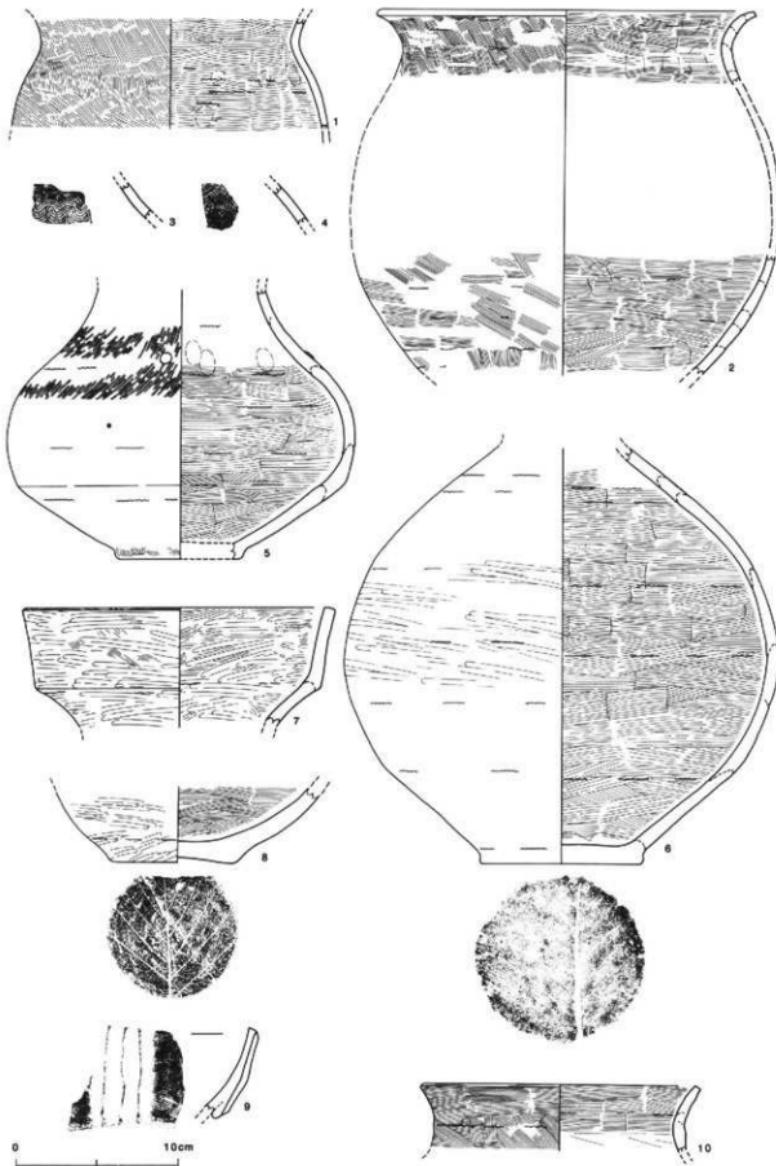
第22図 1区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品（3）



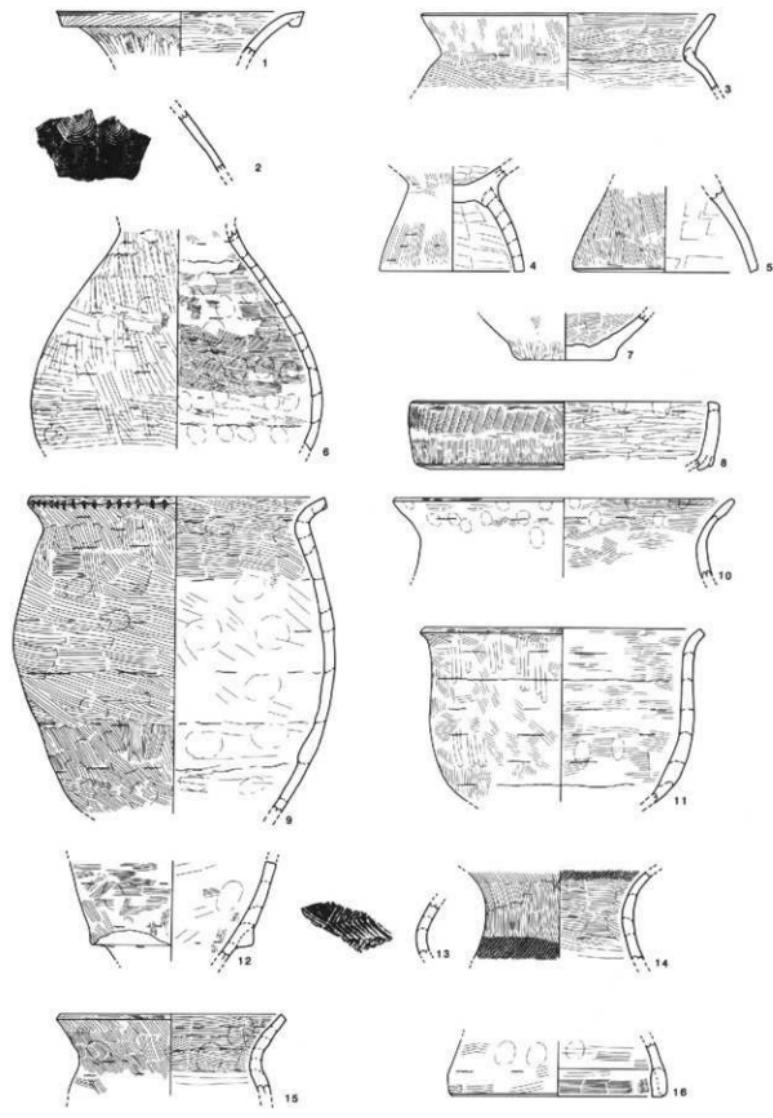
第23図 1区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (4)



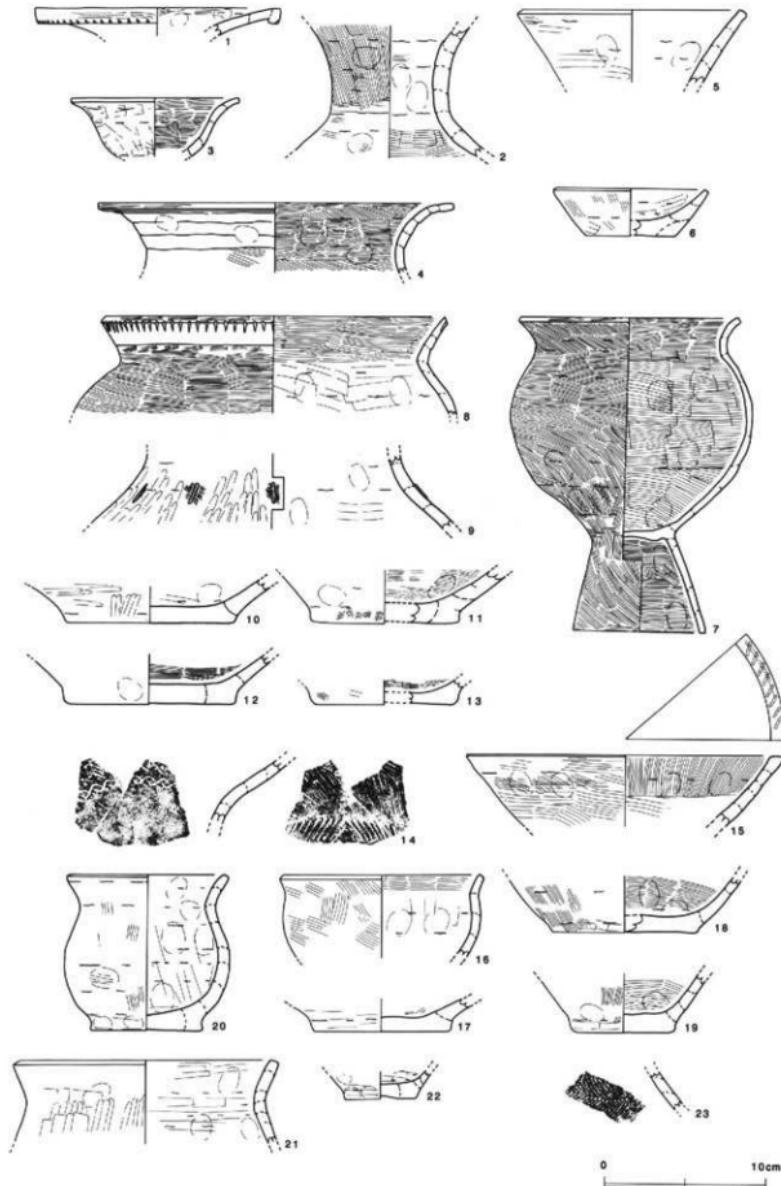
第24図 2区弥生時代堅穴住居跡出土土器(1)



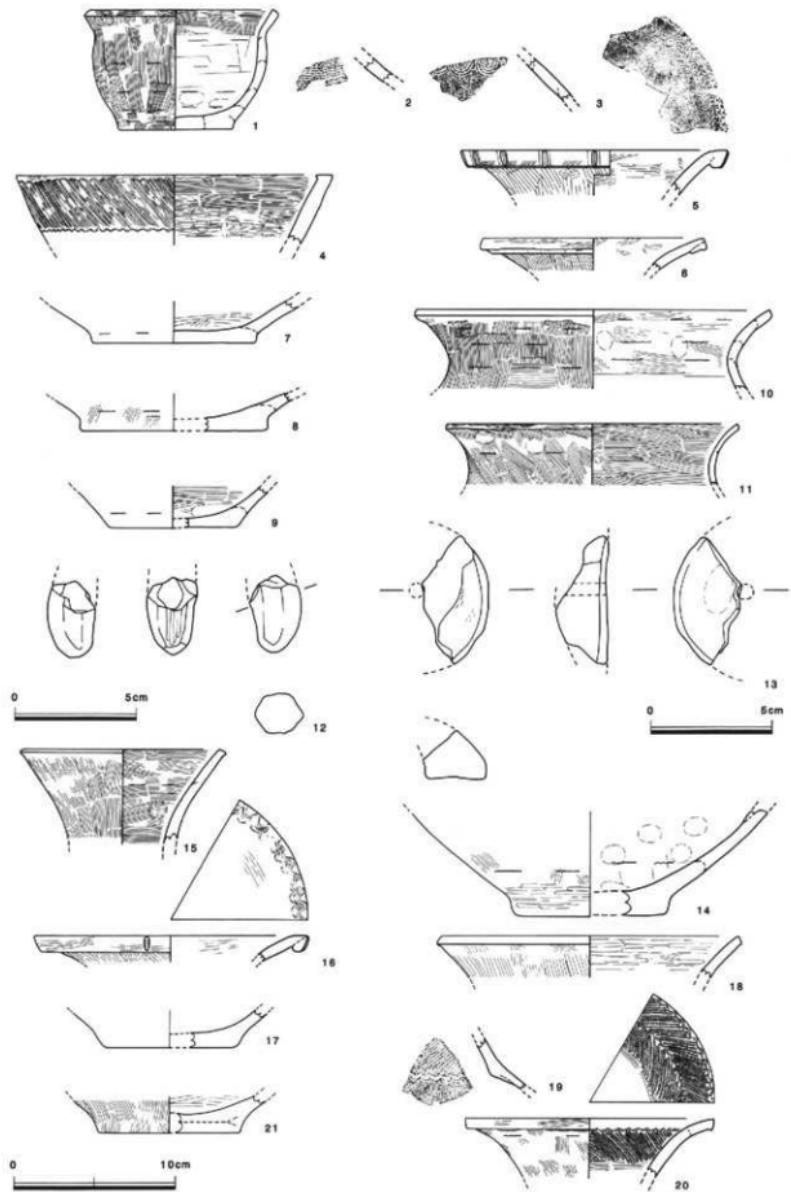
第25図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器(2)



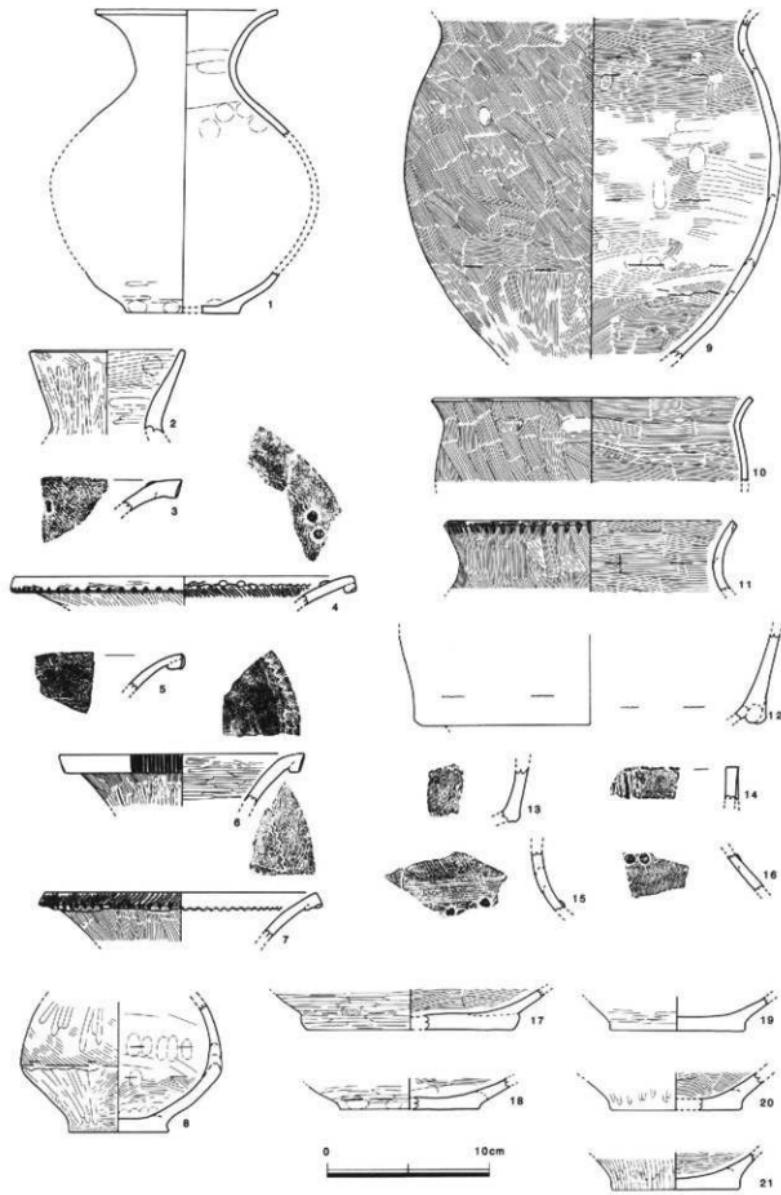
第26図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (3)



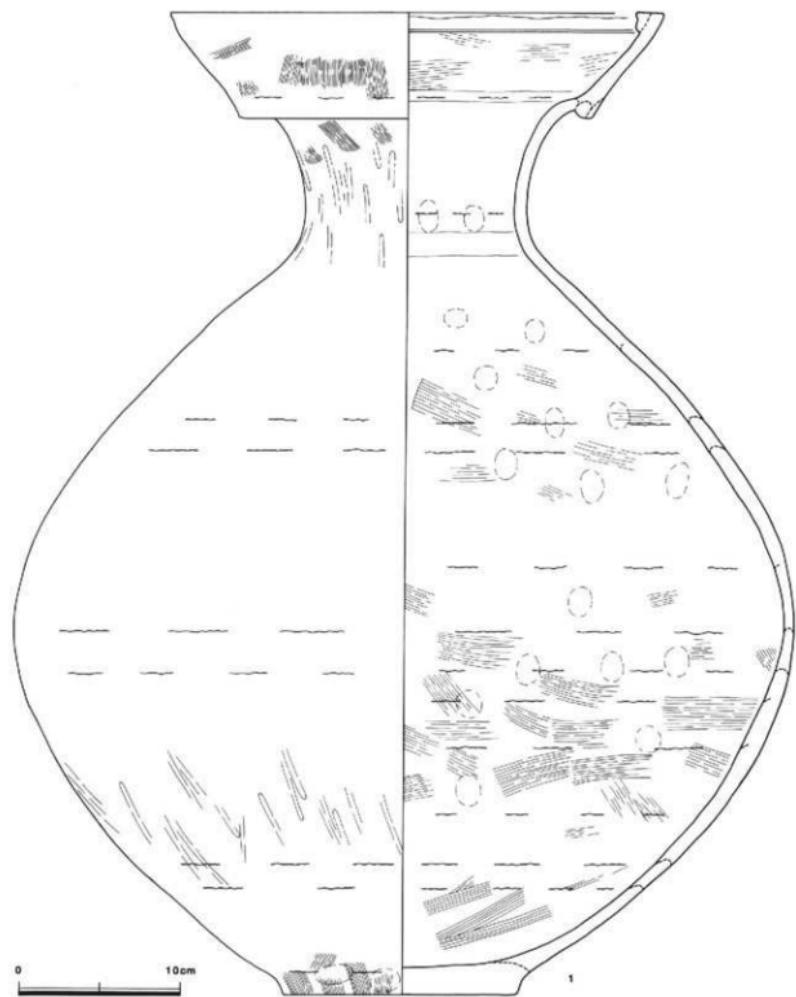
第27図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (4)



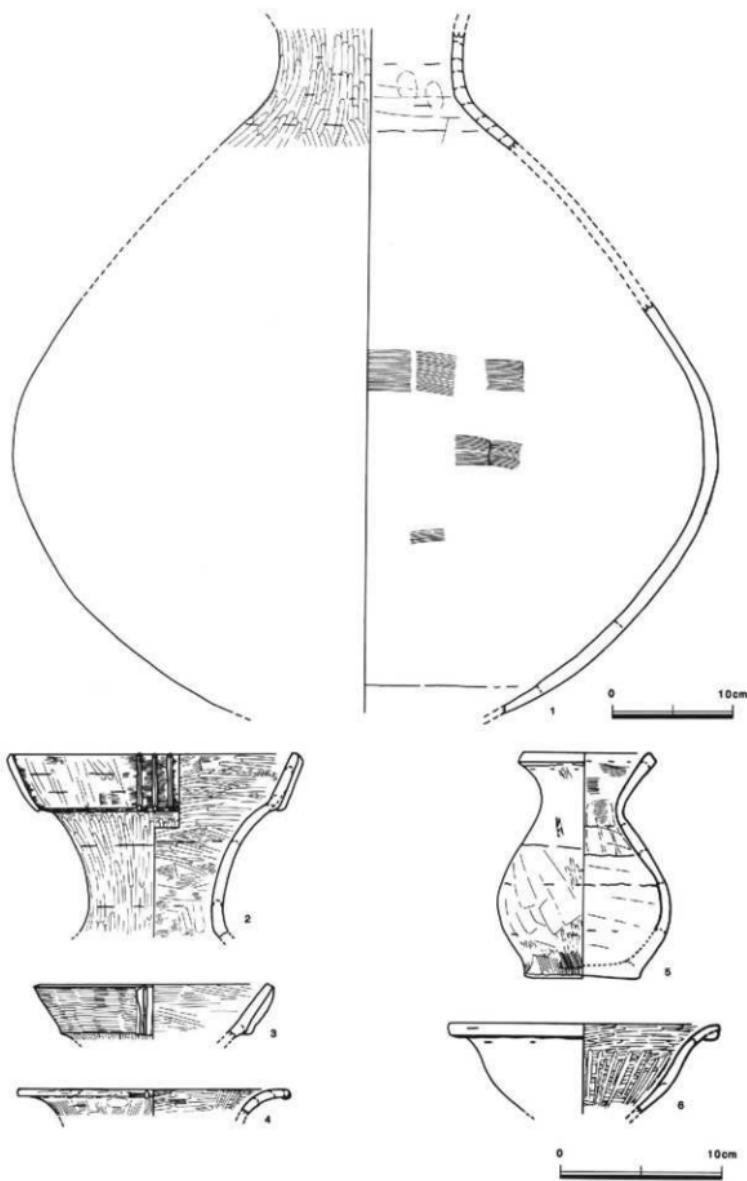
第28図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品（5）



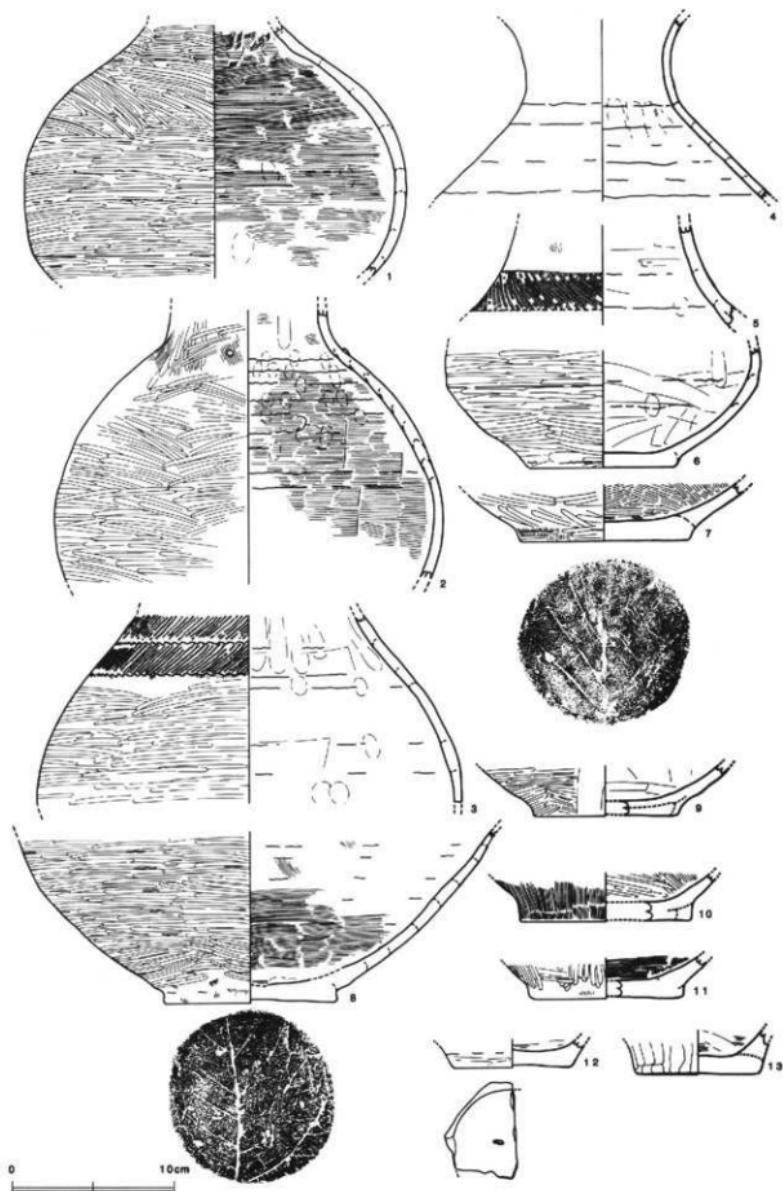
第29図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (6)



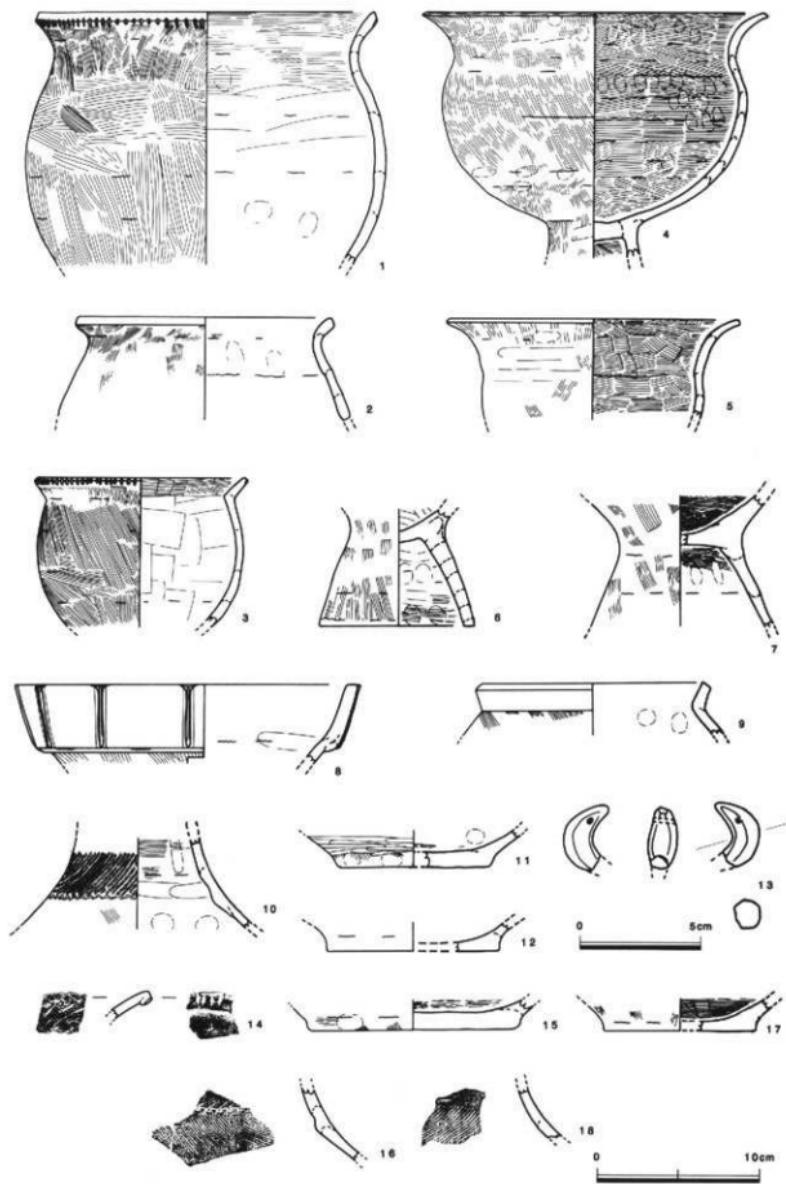
第30図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (7)



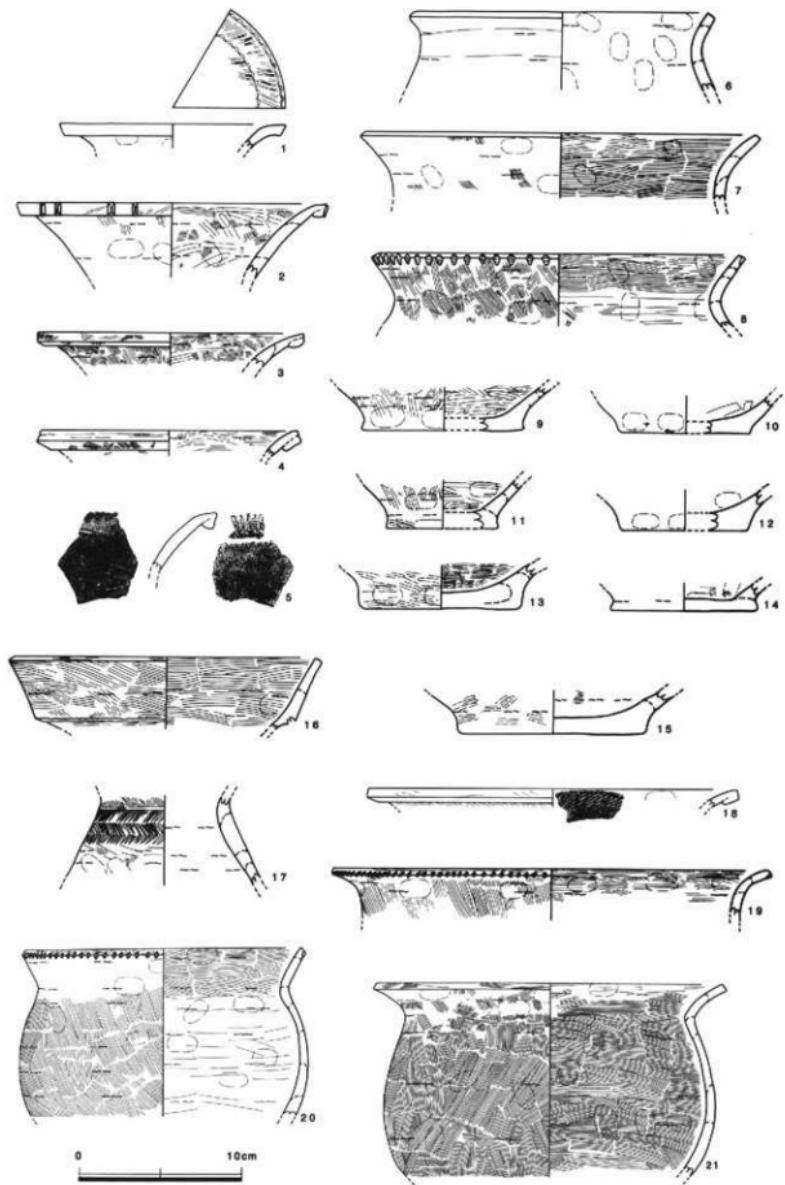
第31図 2区弥生時代堅穴住居跡出土土器 (8)



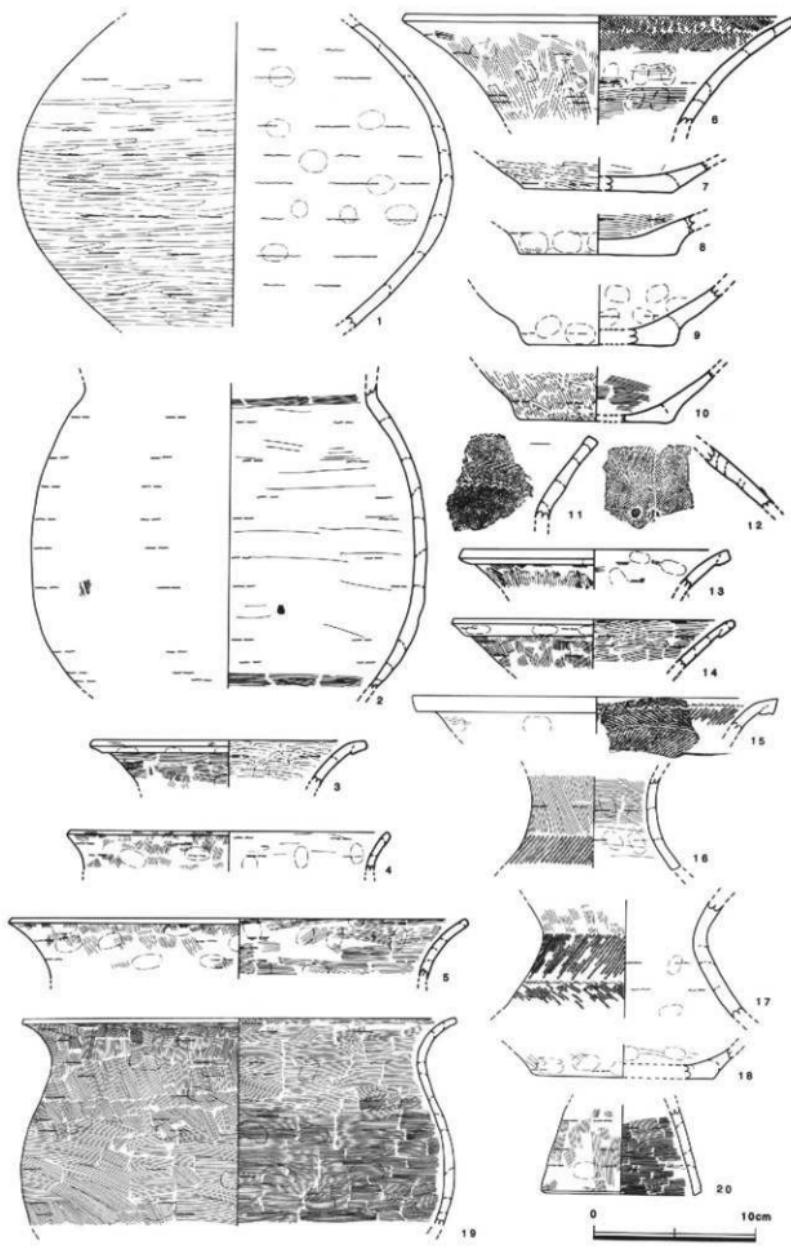
第32図 2区弥生時代堅穴住跡出土土器 (9)



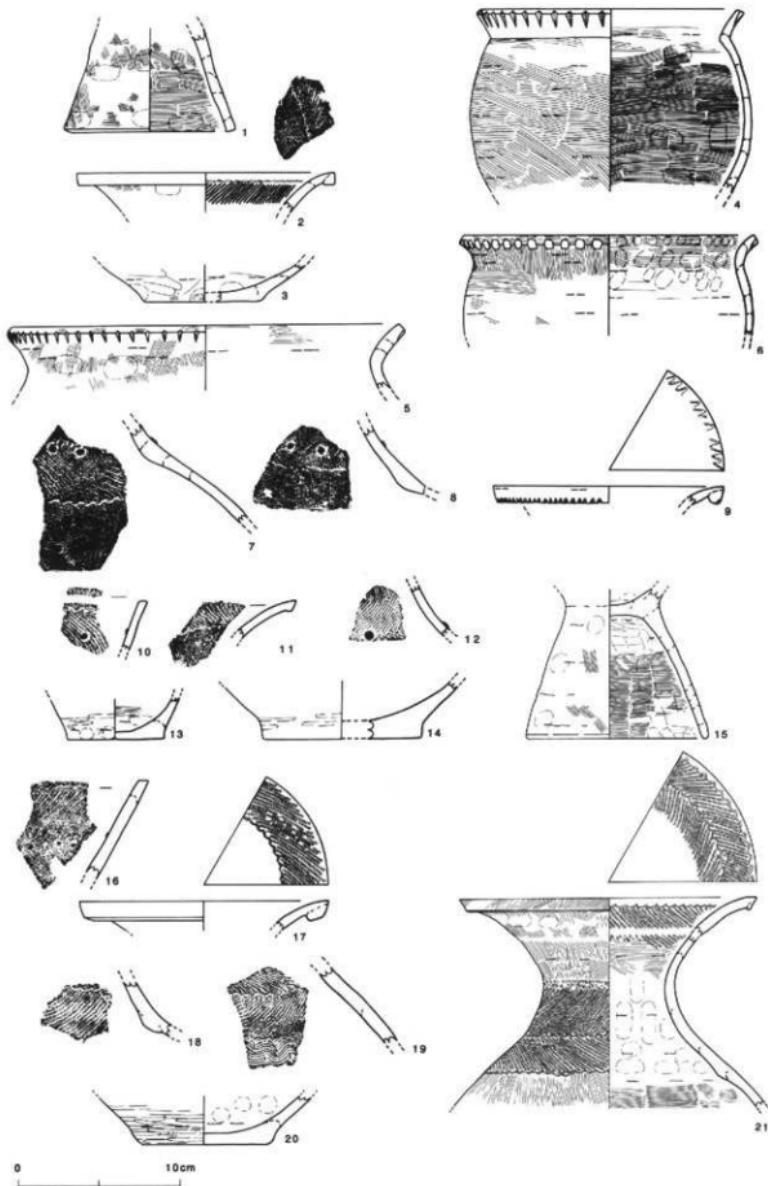
第33図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (10)



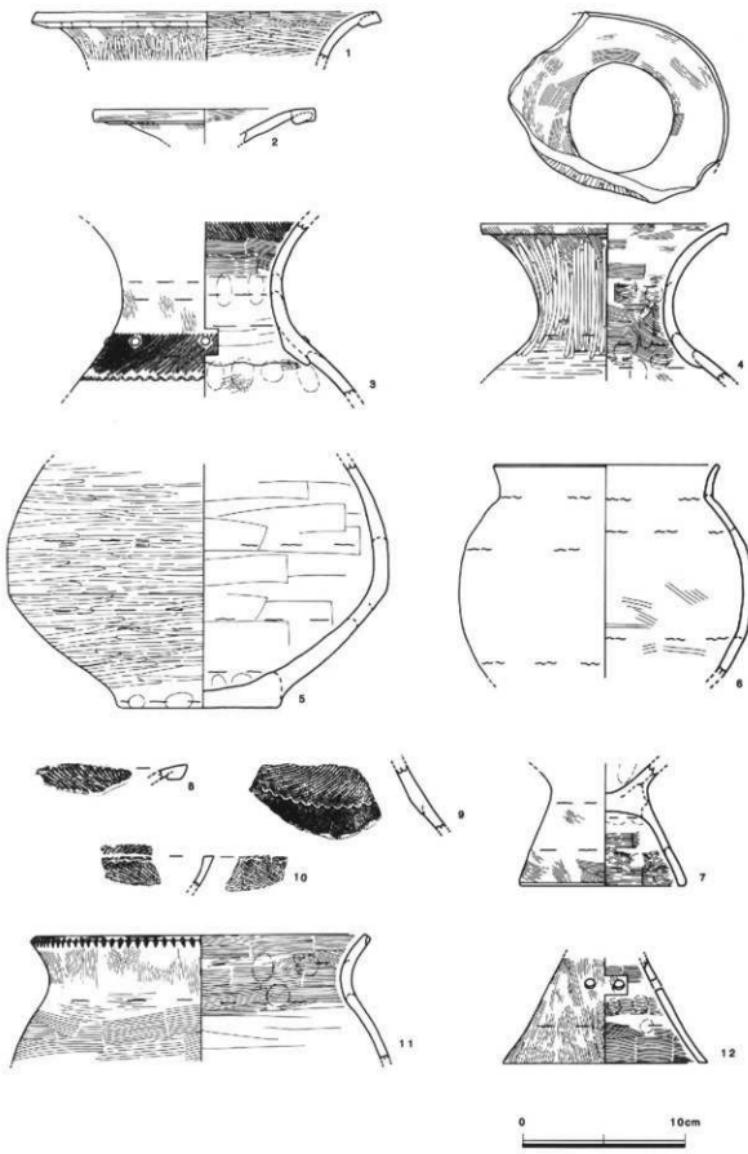
第34図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (11)



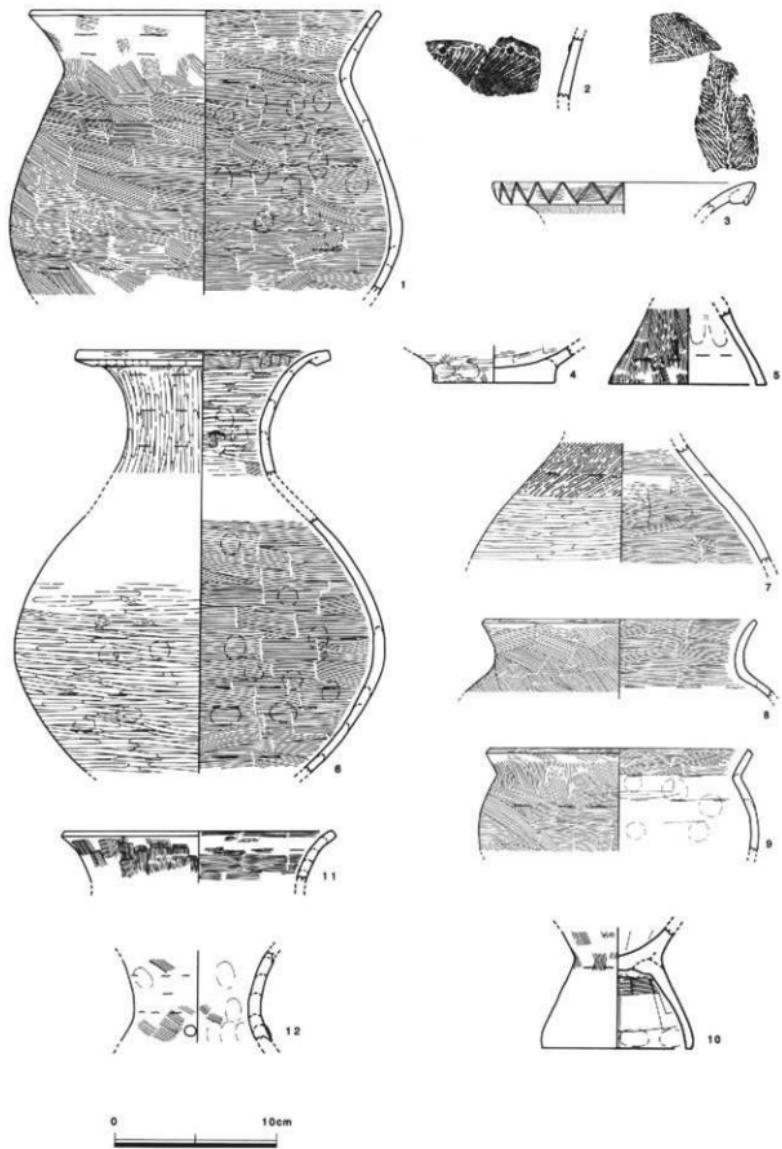
第35図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (12)



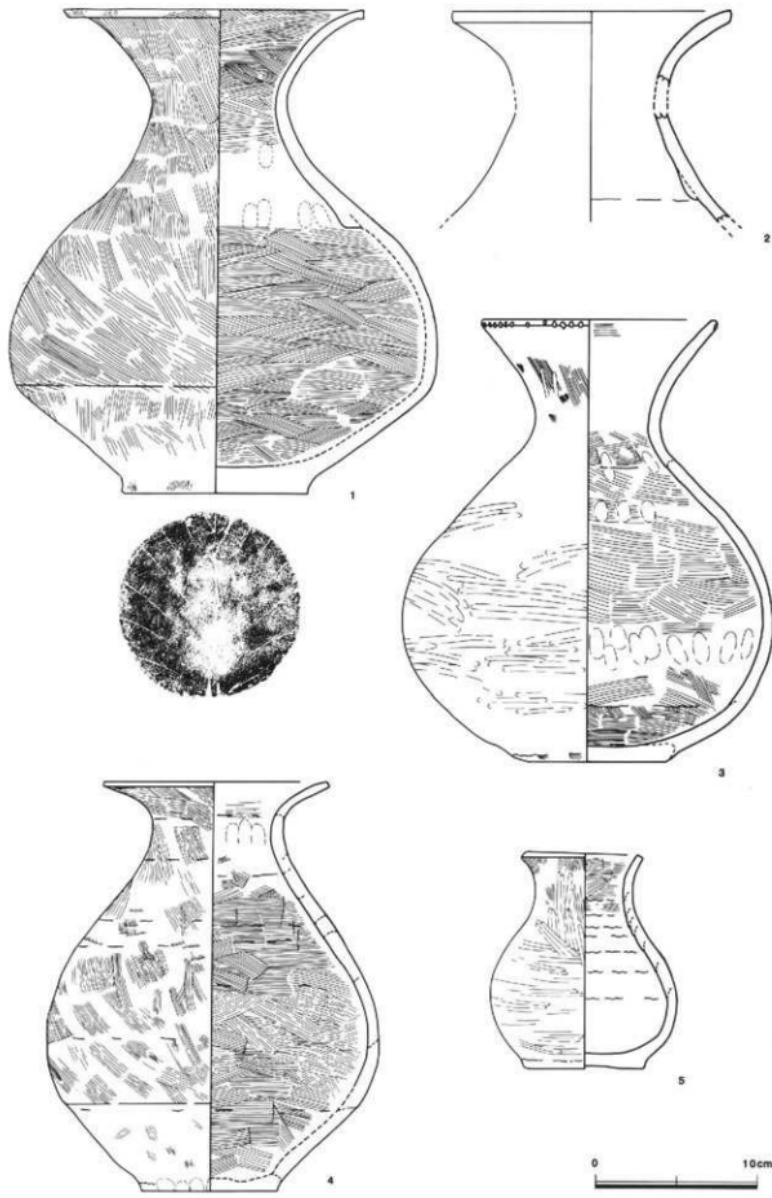
第36図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (13)



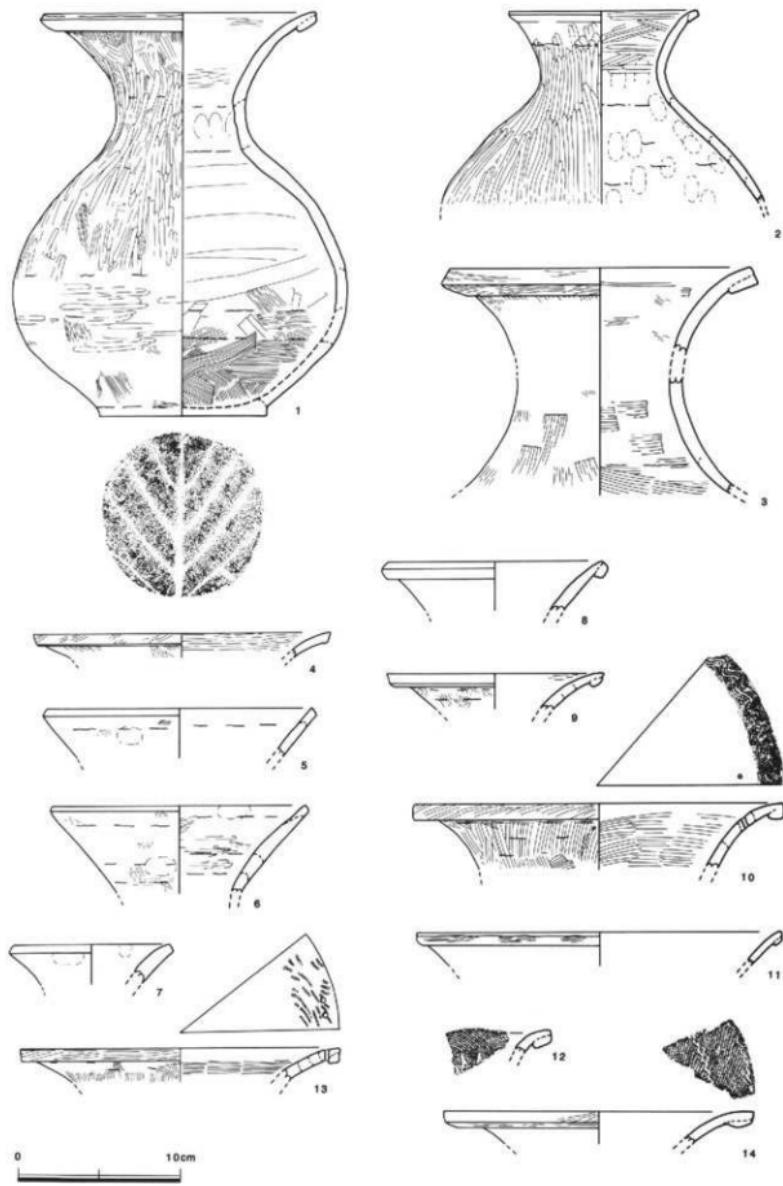
第37図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (14)



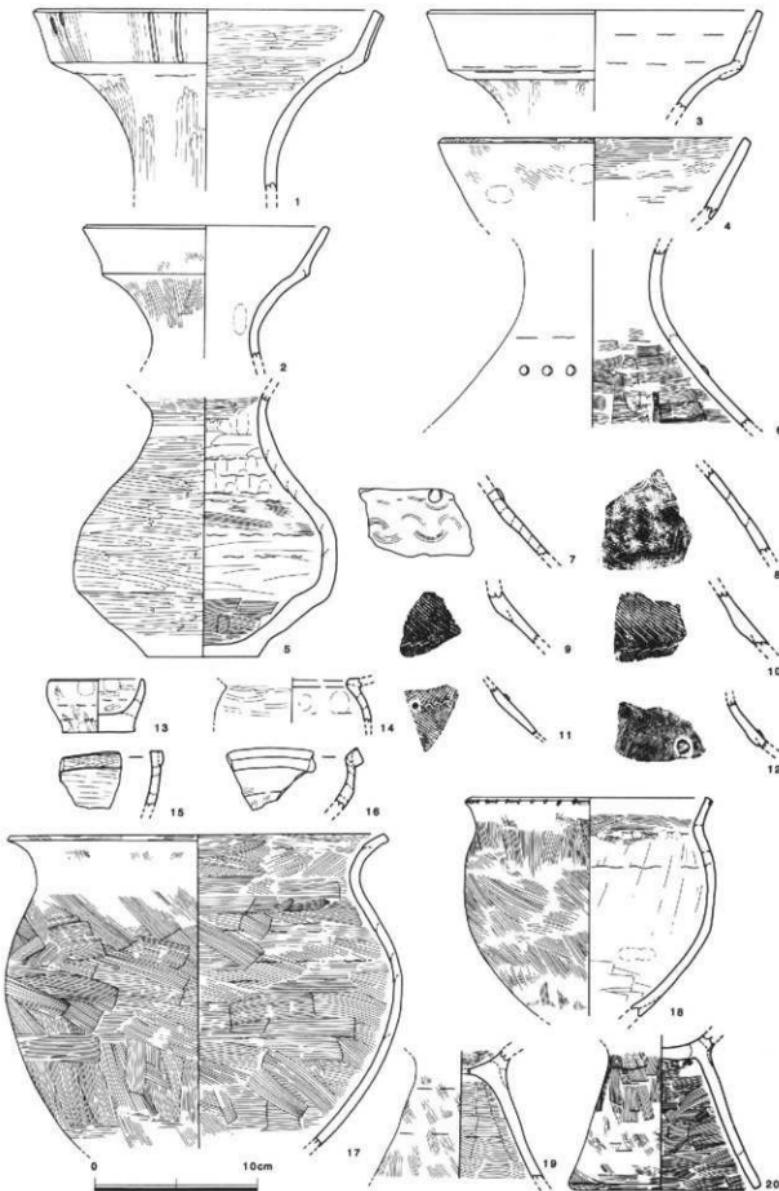
第38図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (15)



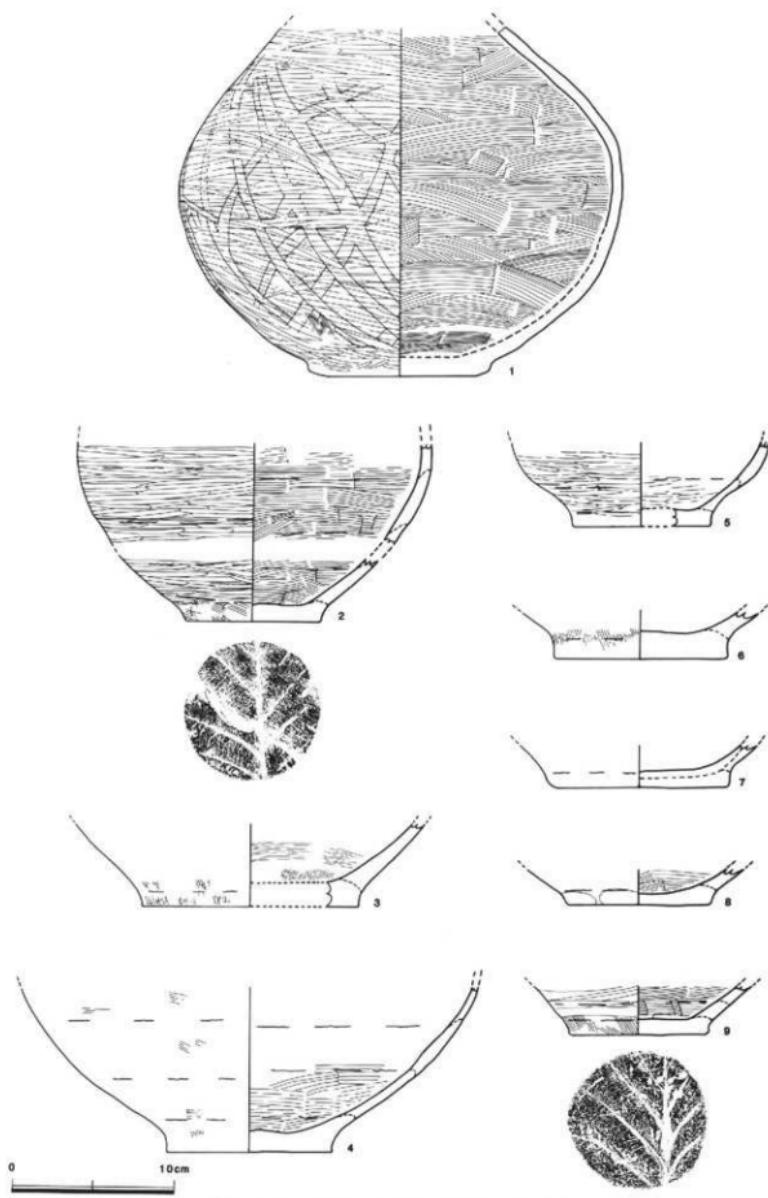
第39図 2区弥生時代堅穴住居跡出土土器 (16)



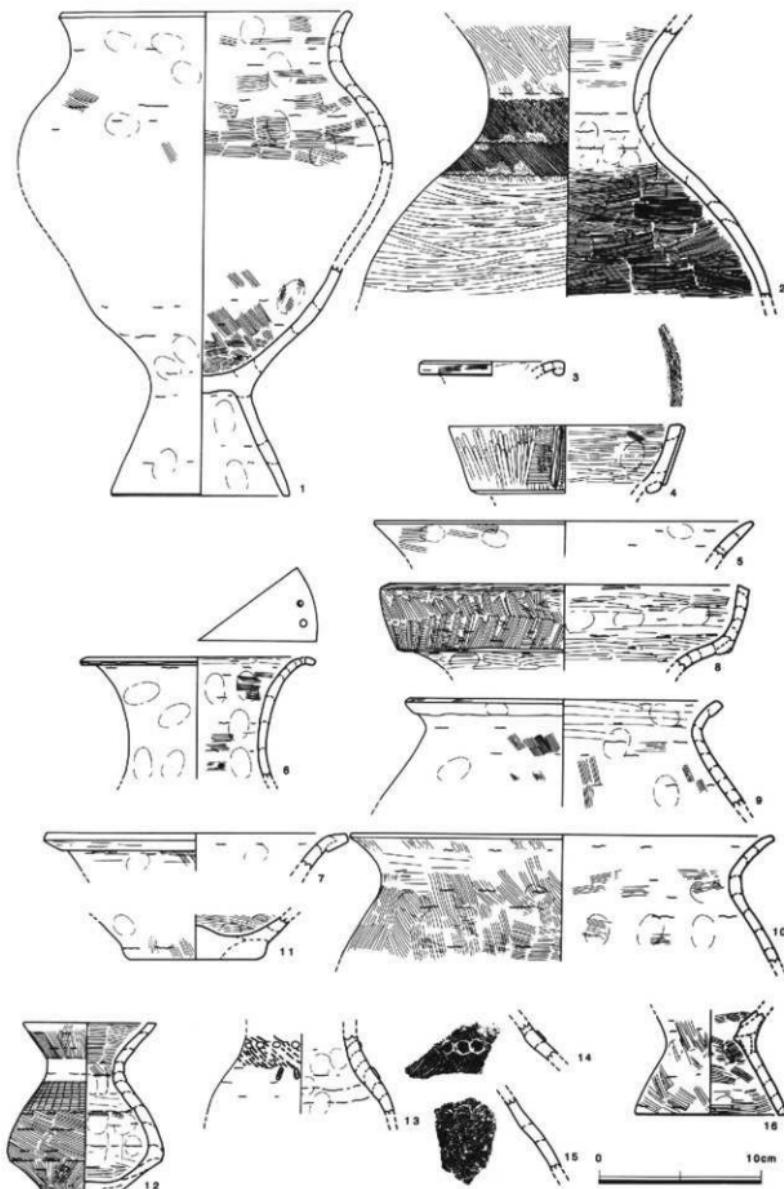
第40図 2区弥生時代竪穴住居出土土器 (17)



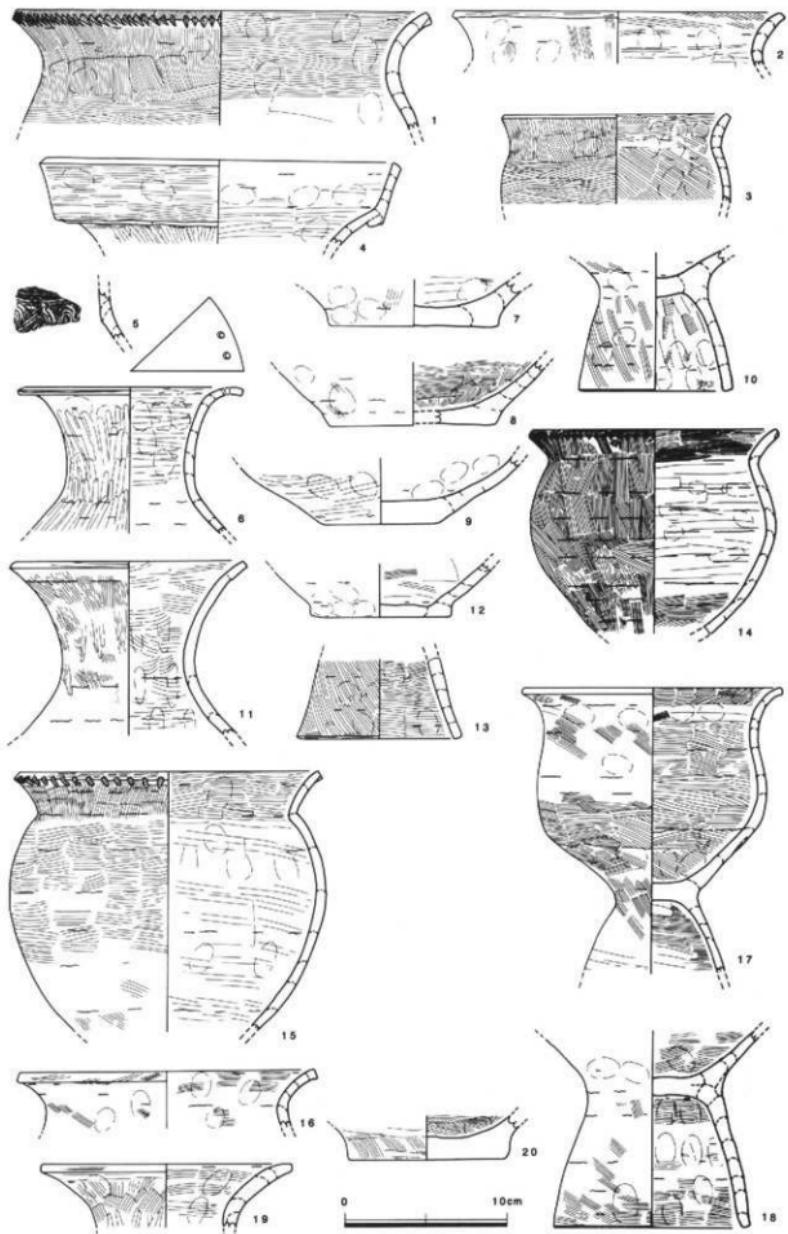
第41図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (18)



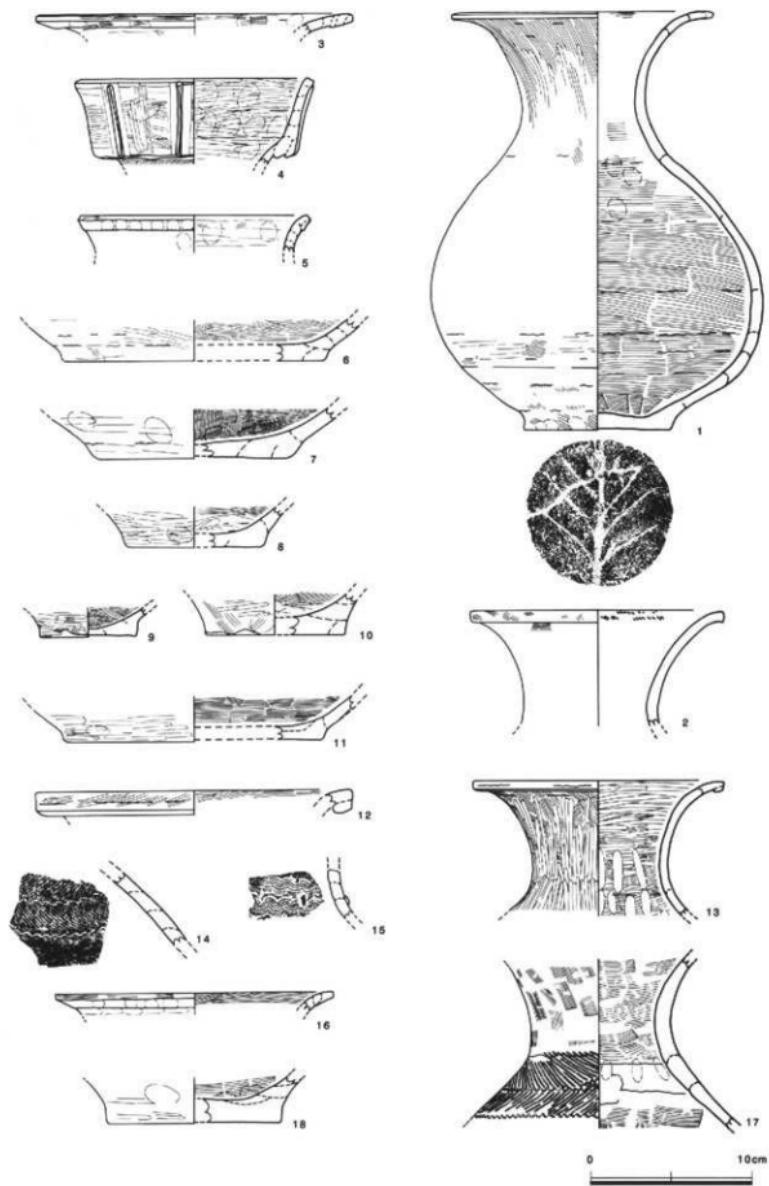
第42図 2区弥生時代竪穴住居出土土器 (19)



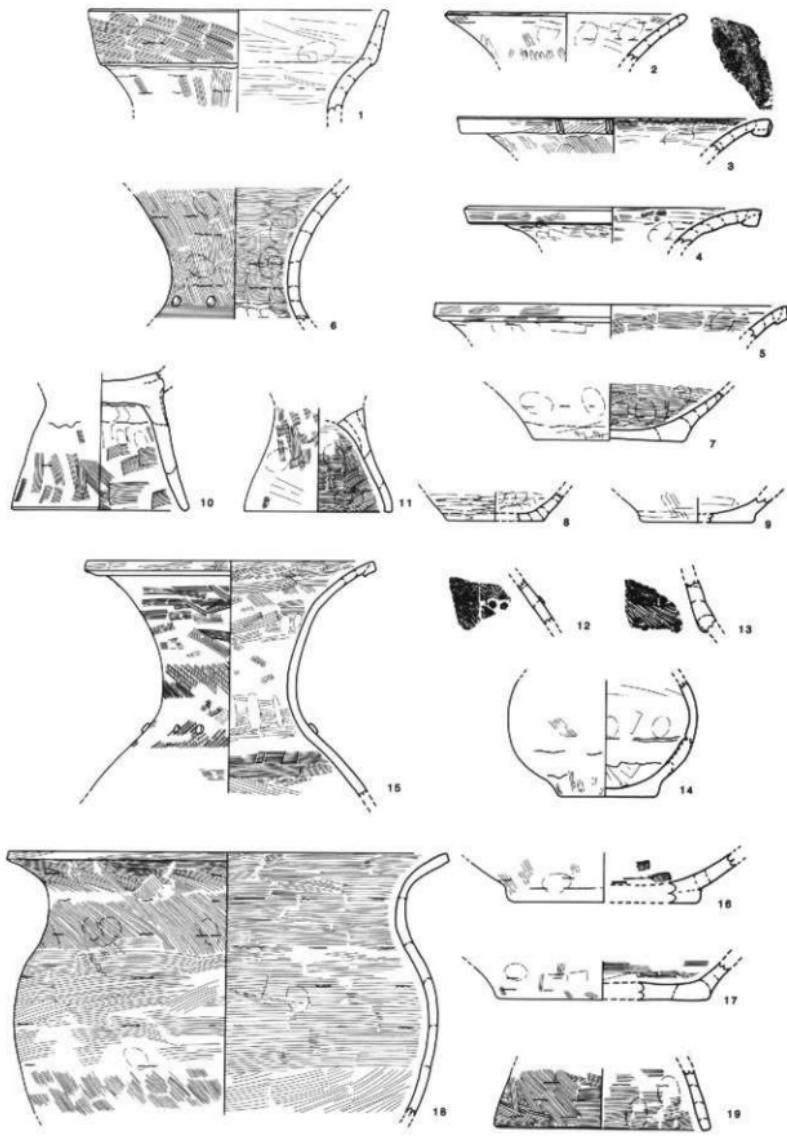
第43図 2区弥生時代竪穴住居跡出土器 (20)



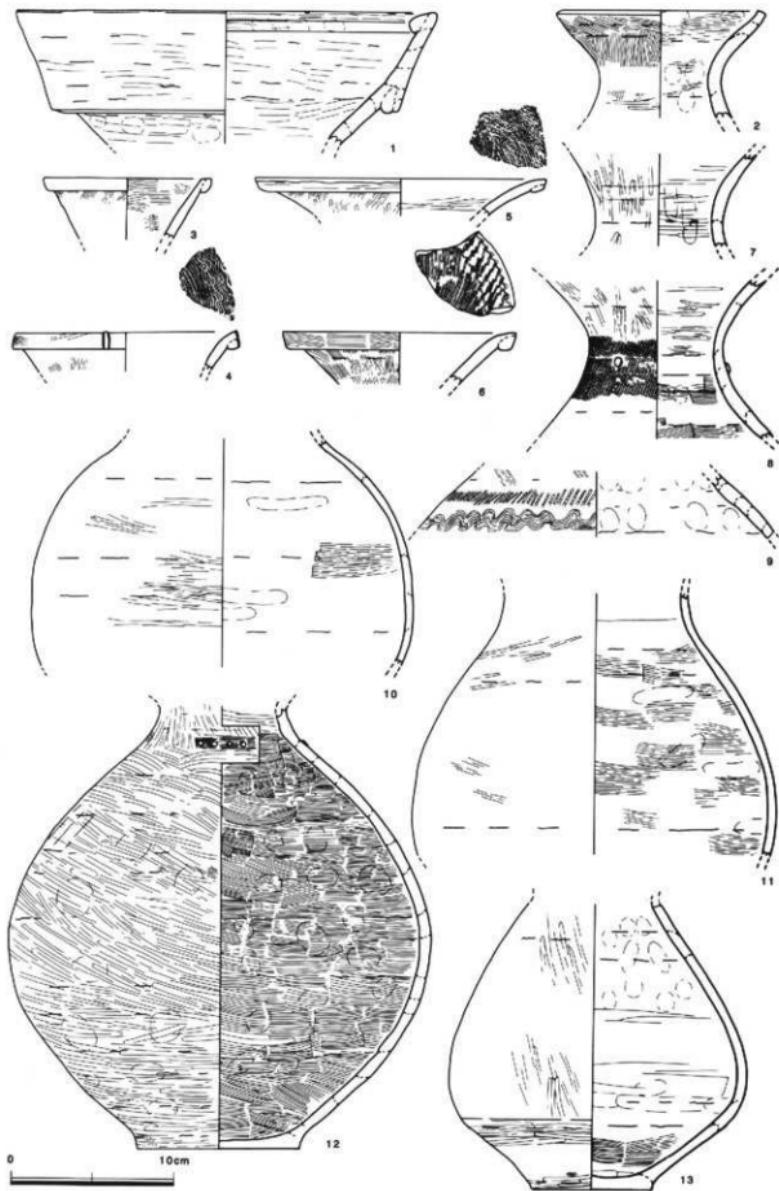
第44図 2区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (21)



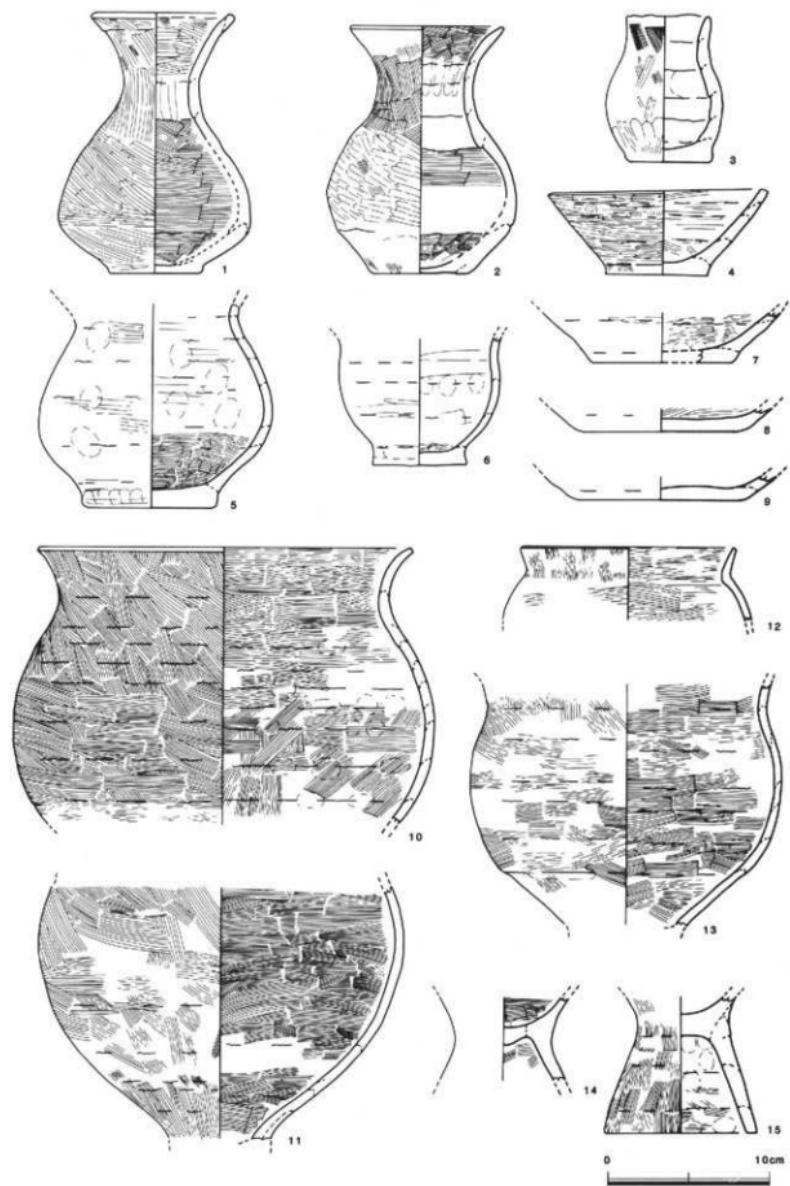
第45図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器（1）



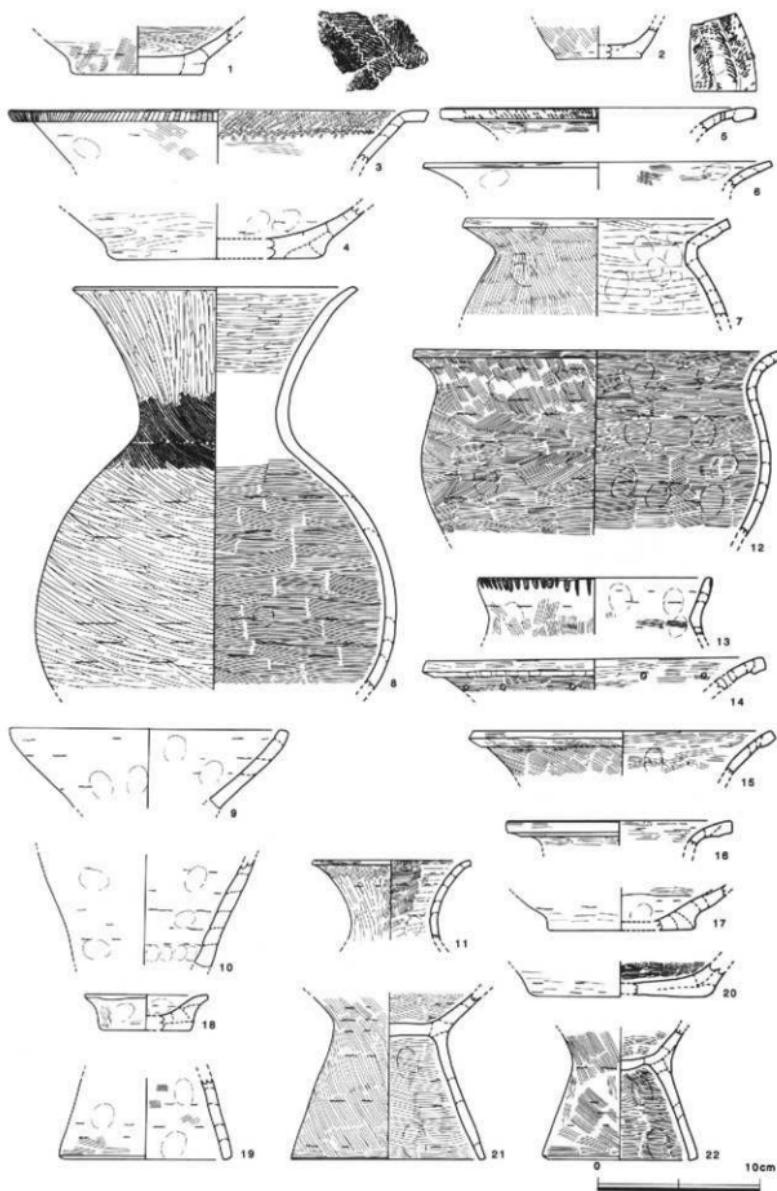
第46図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (2)



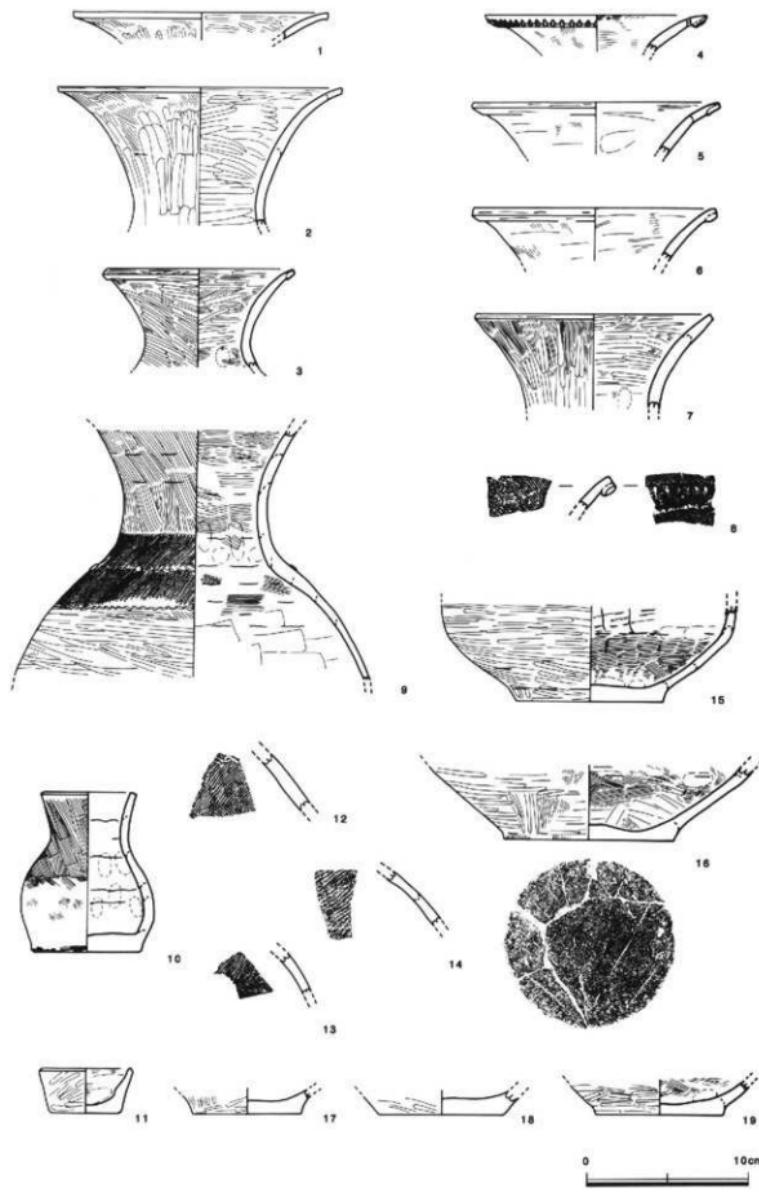
第47図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器（3）



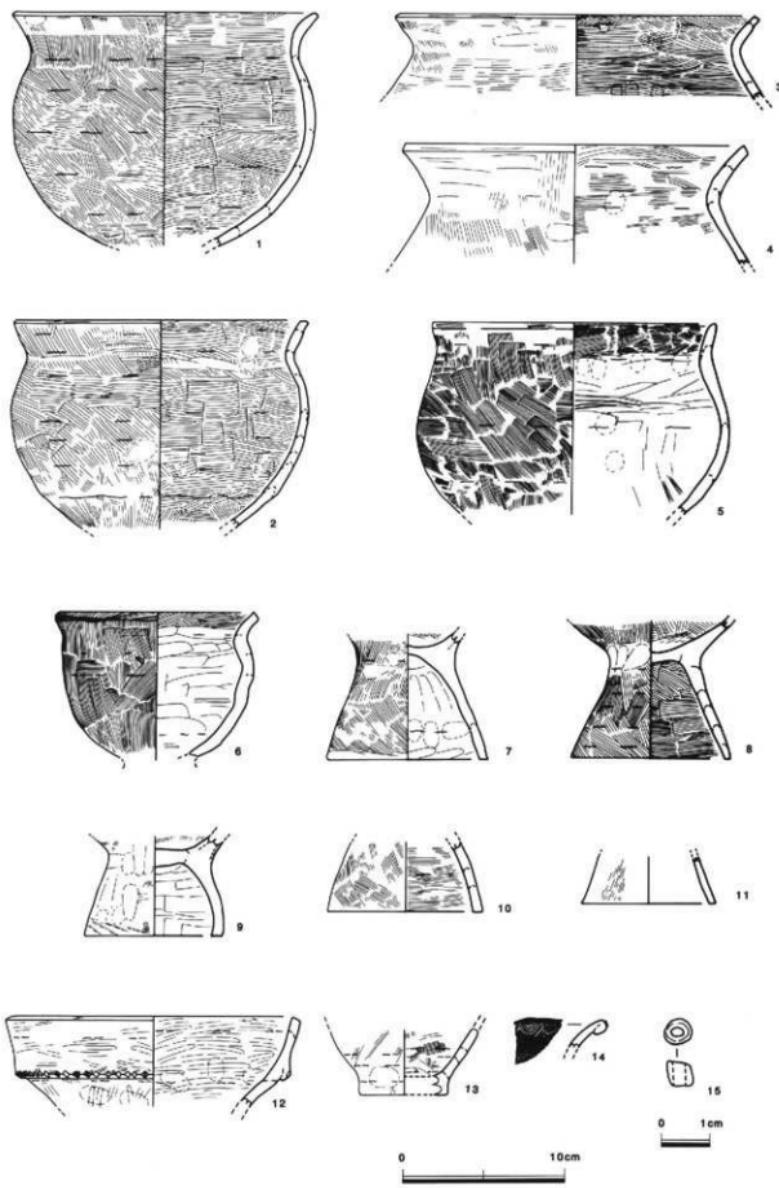
第46図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (4)



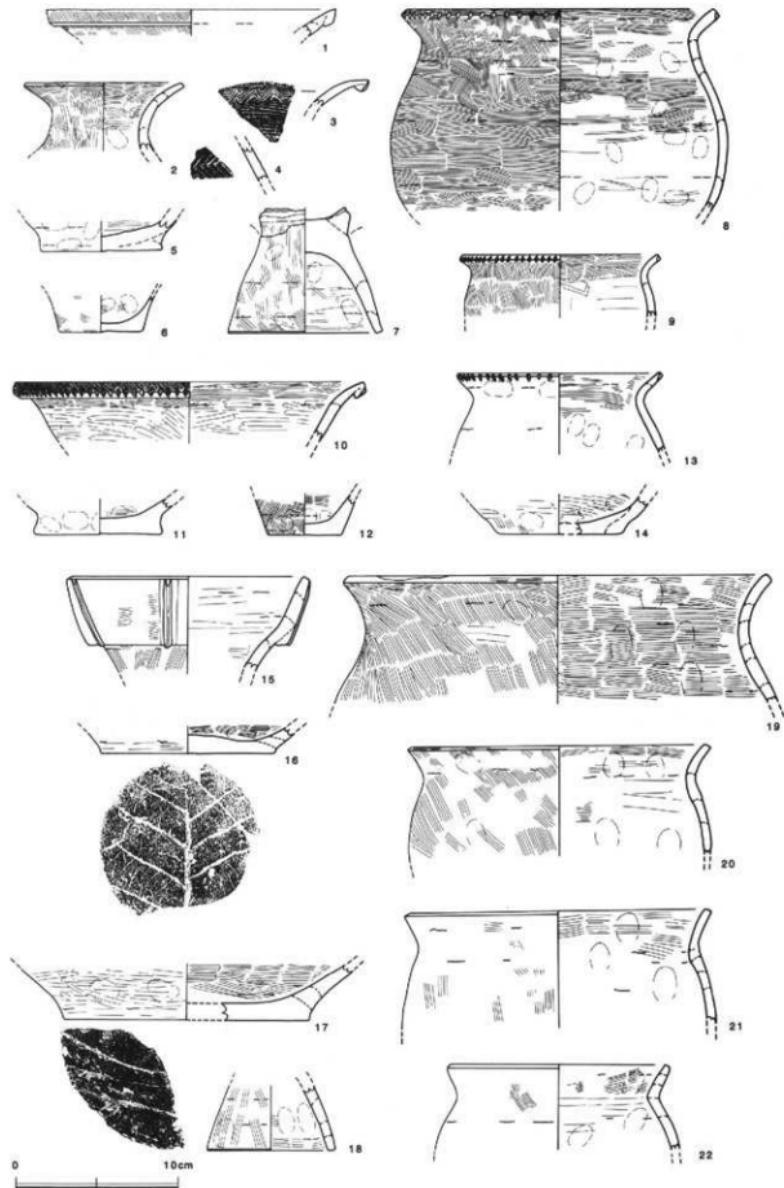
第49図 4区弥生時代竪穴住居出土土器（5）



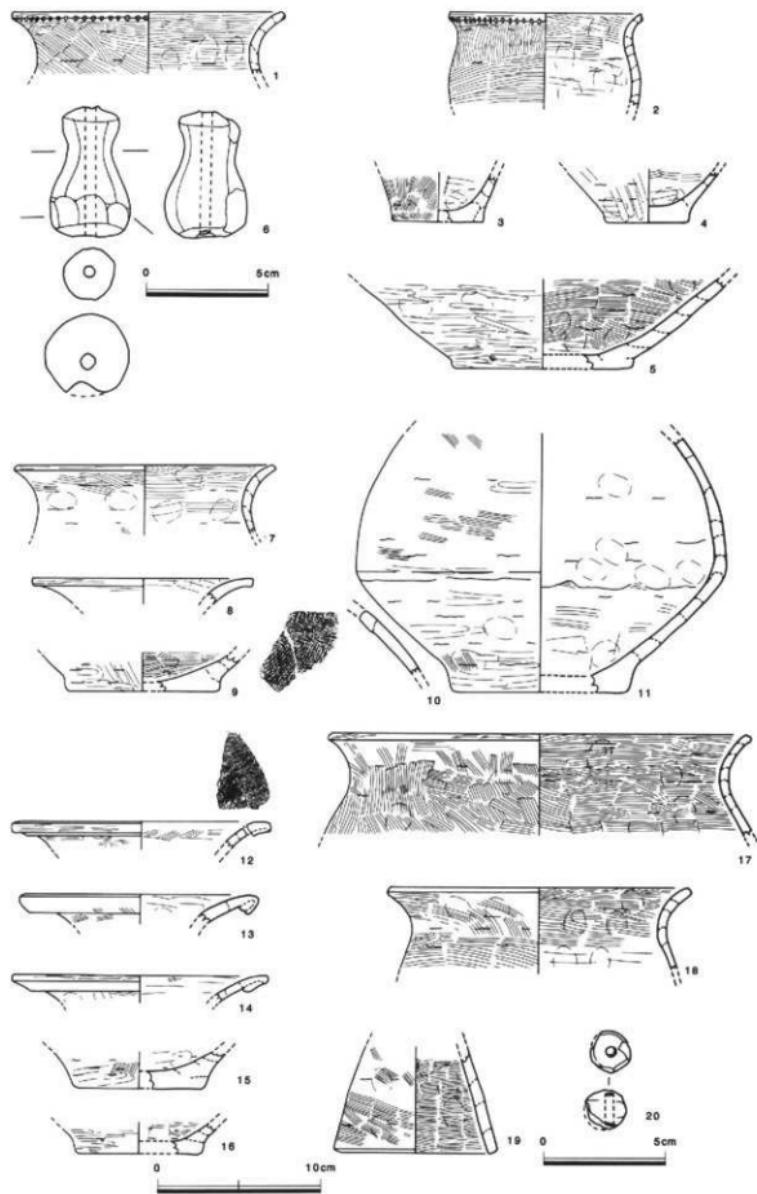
第50図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (6)



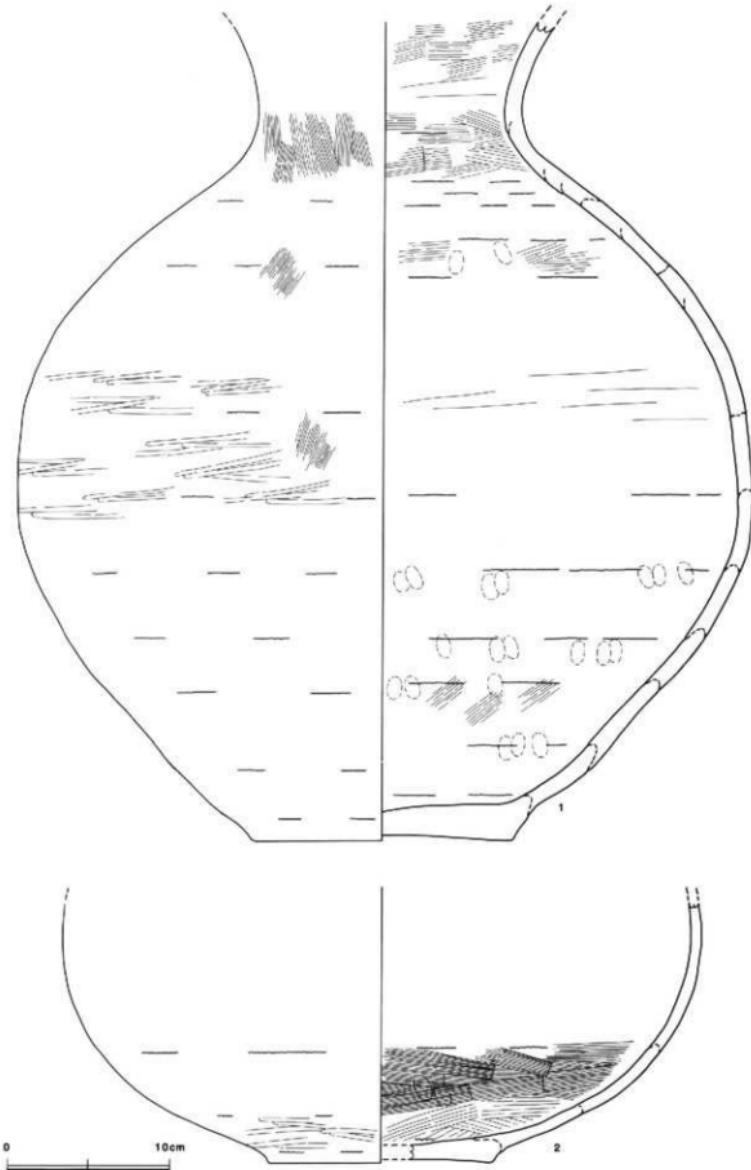
第51図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・ガラス製品 (7)



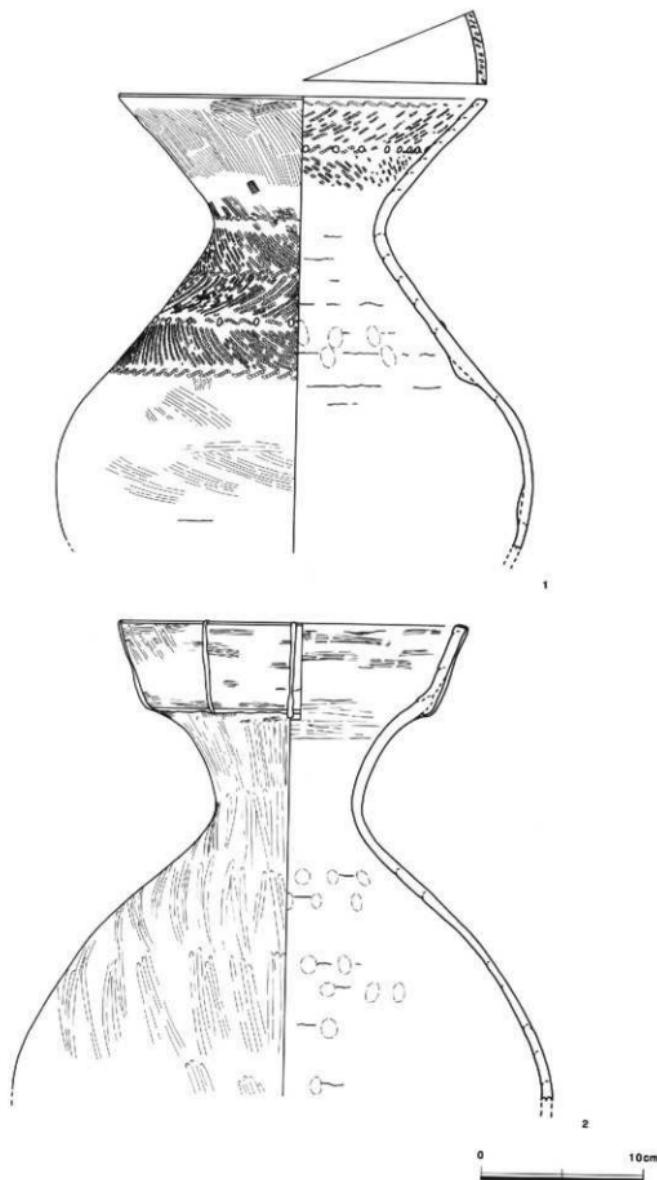
第52図 4区弥生時代堅穴住居跡出土土器(8)



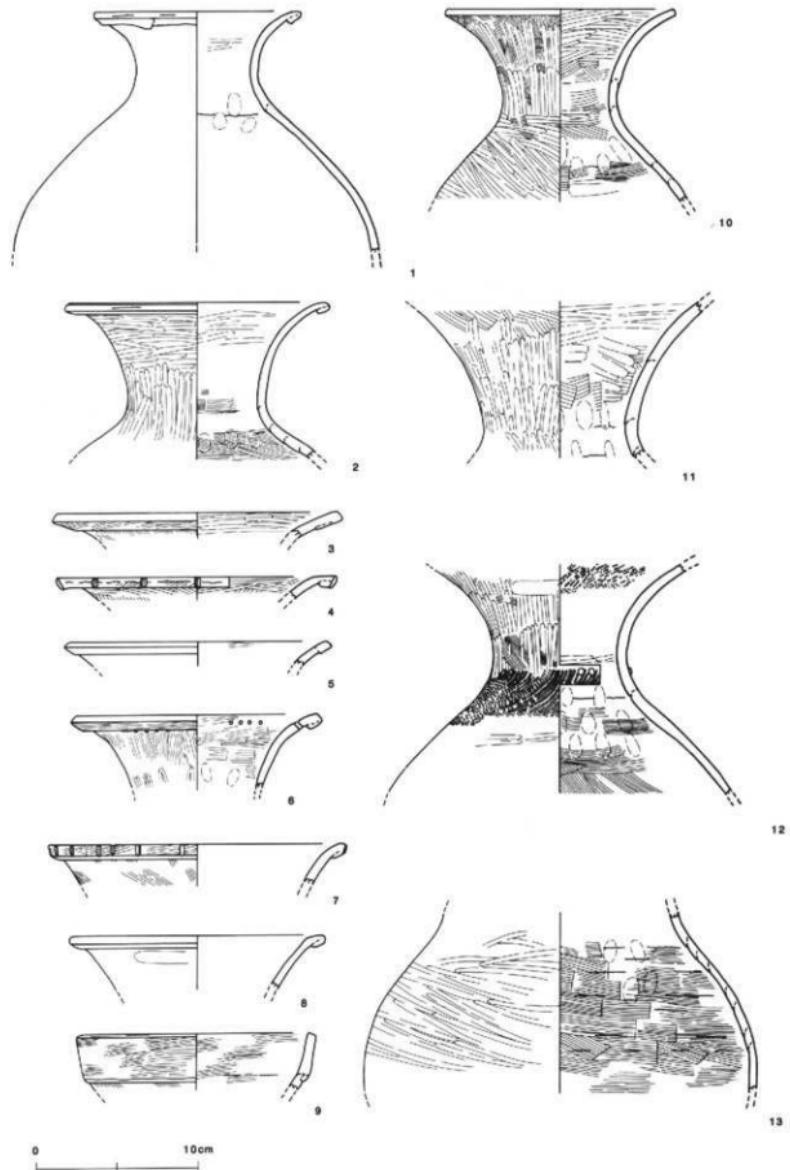
第53図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (9)



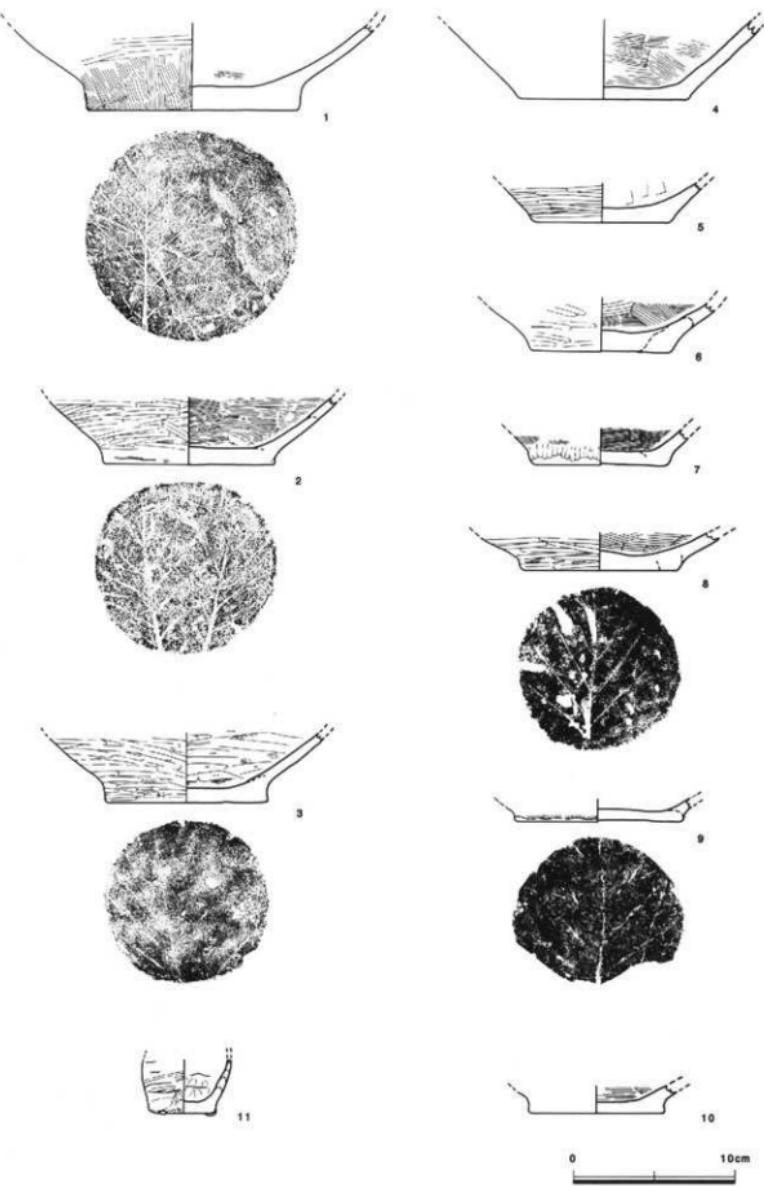
第54図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (10)



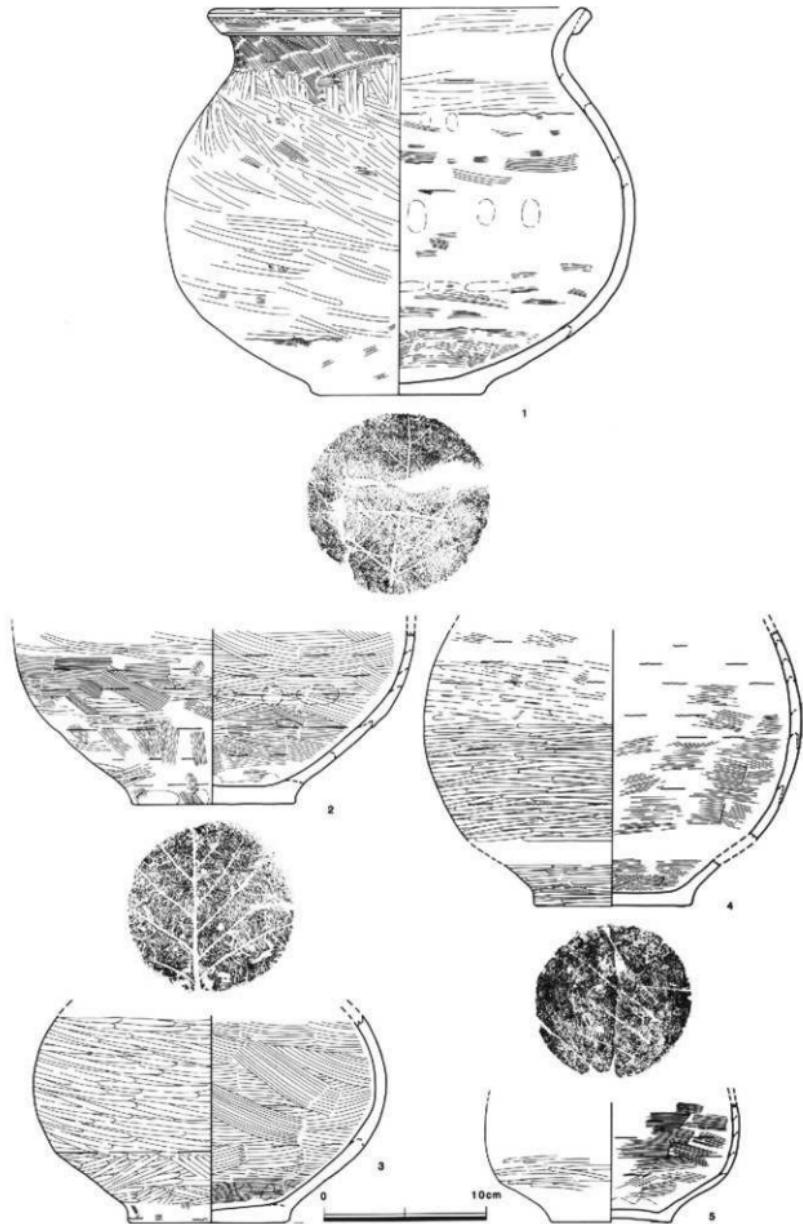
第55図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (11)



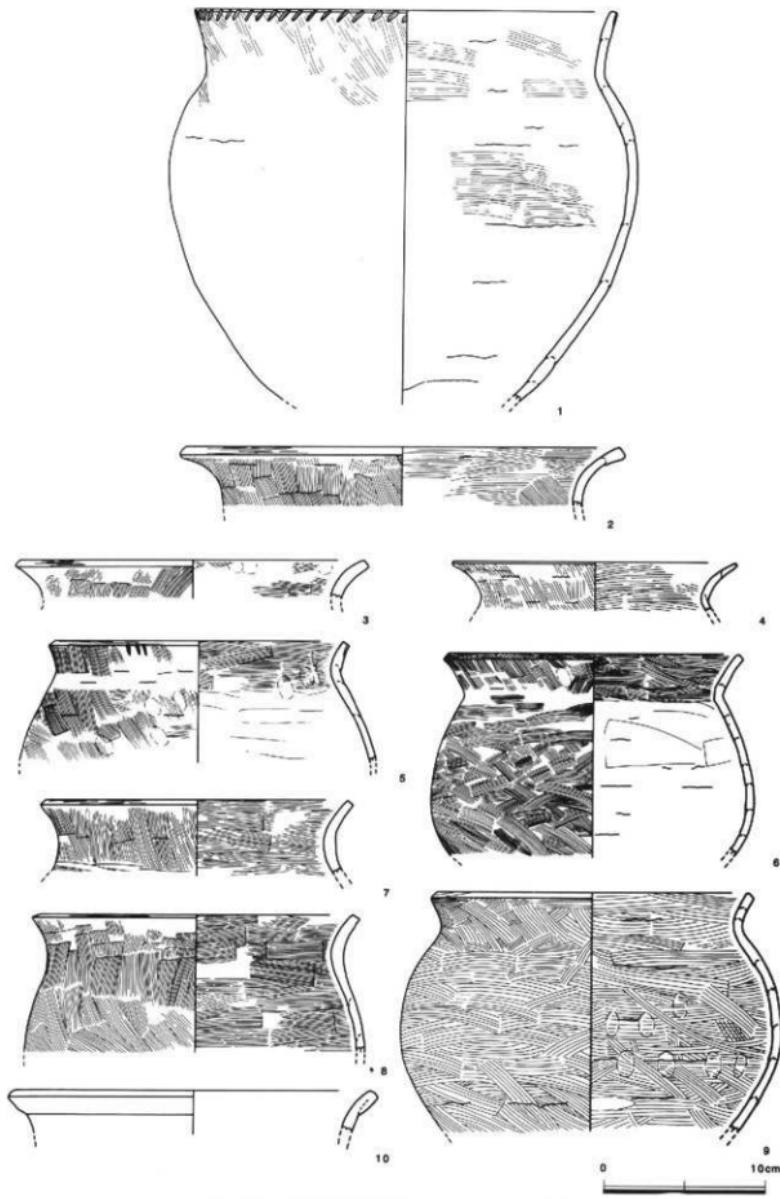
第56図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (12)



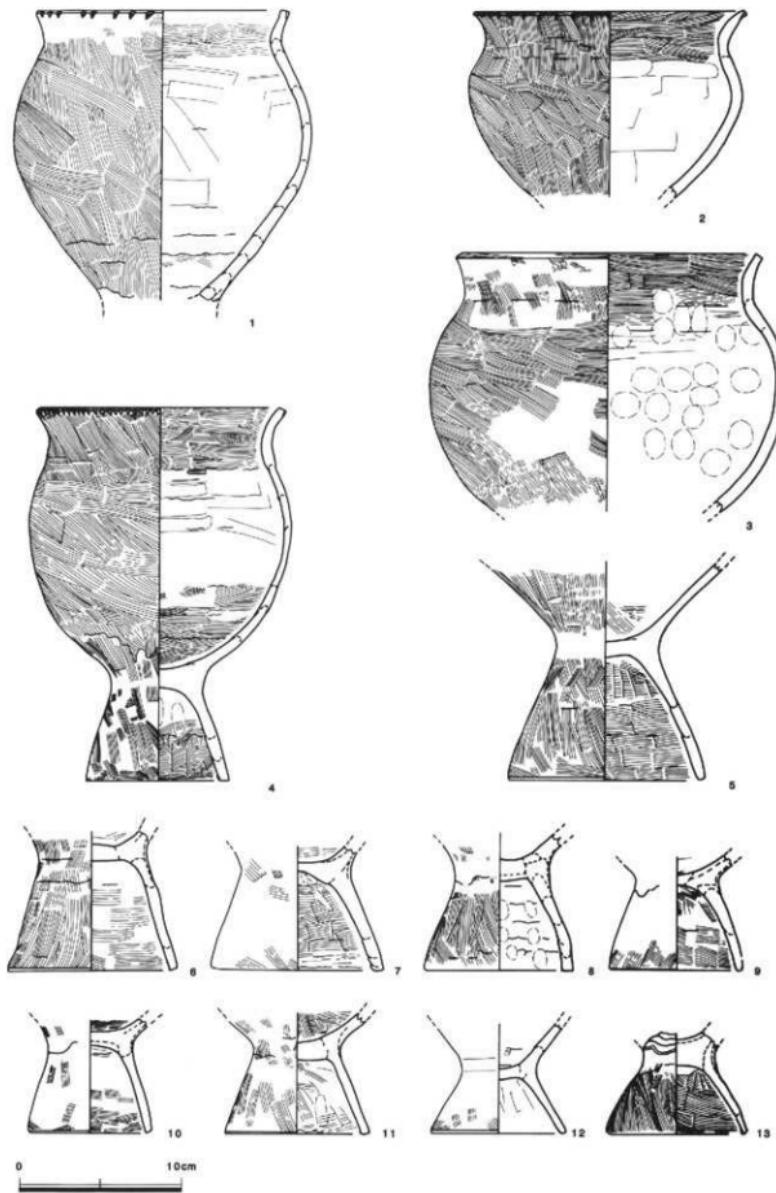
第57図 4区弥生時代竪穴住居出土土器 (13)



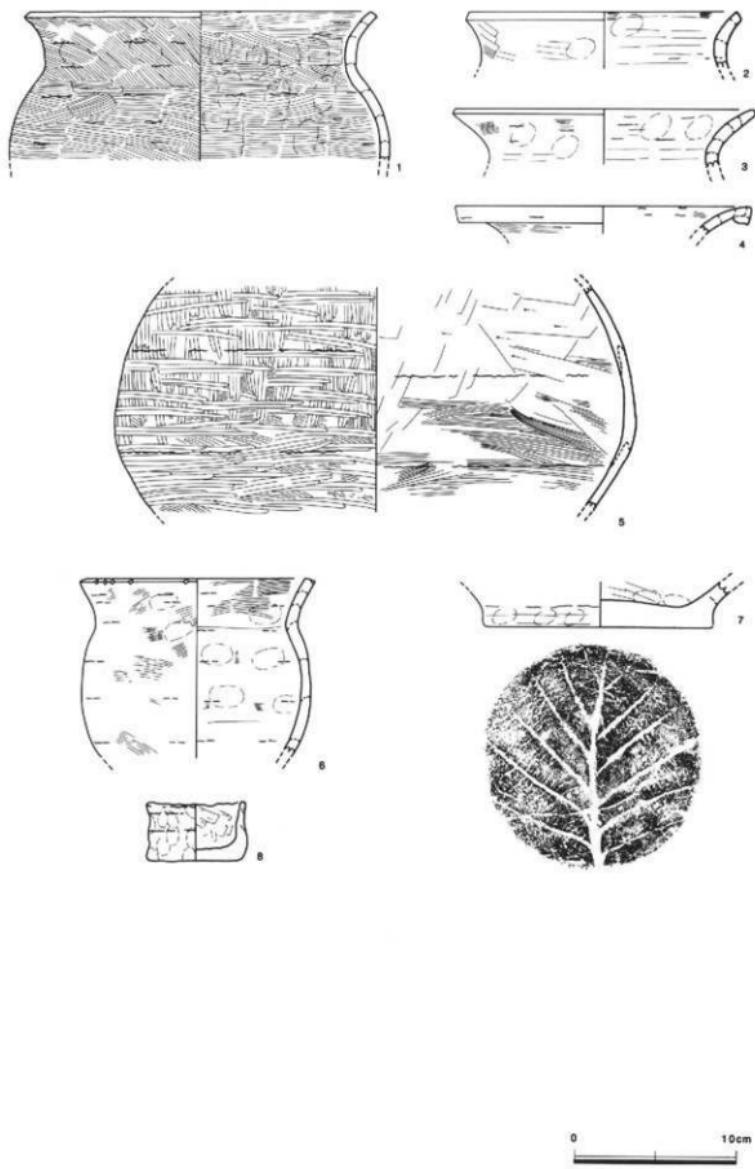
第58図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (14)



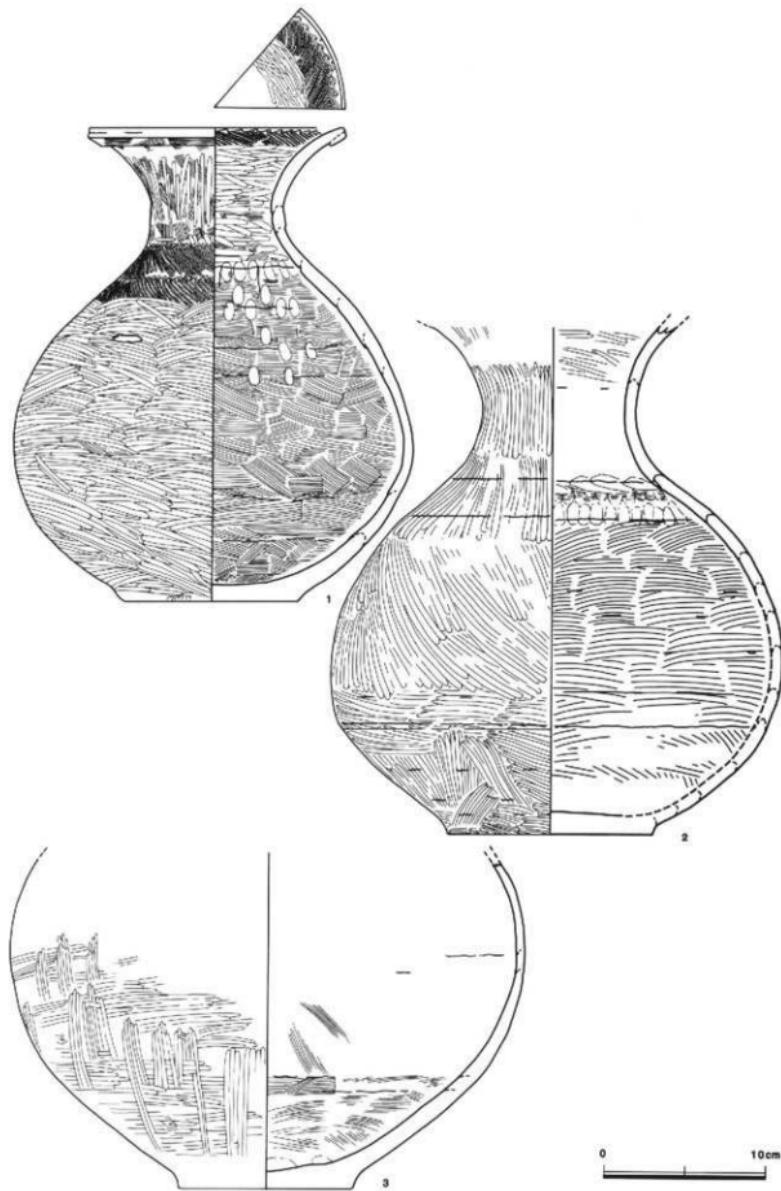
第59図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (15)



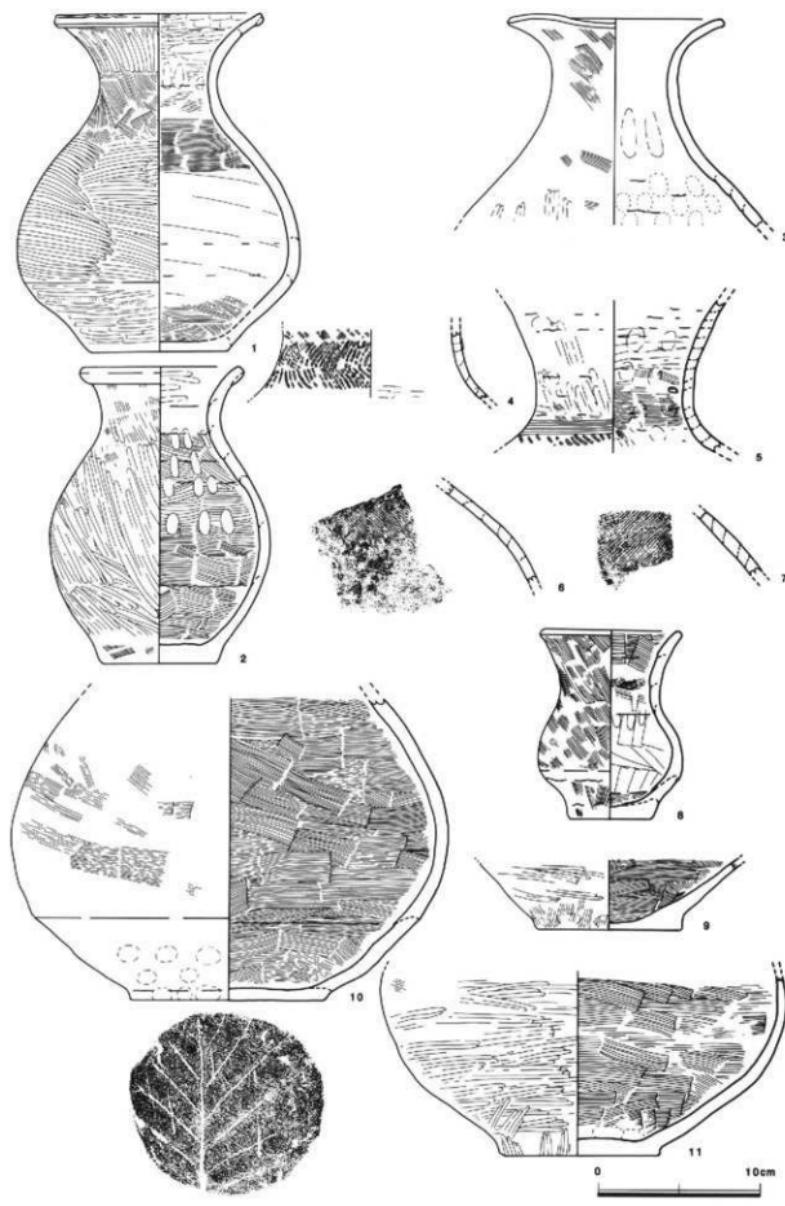
第60図 4区生時代竪穴住居跡出土土器 (16)



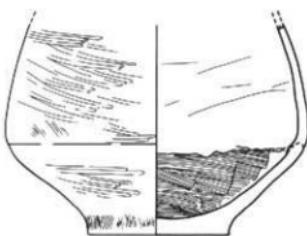
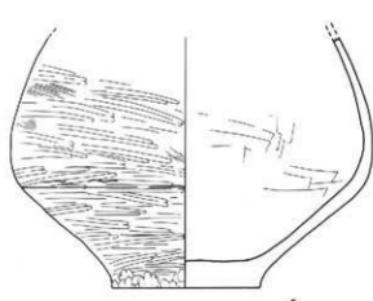
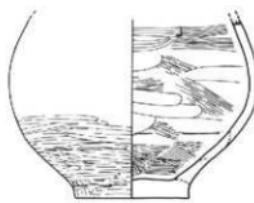
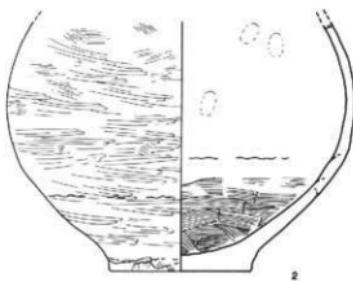
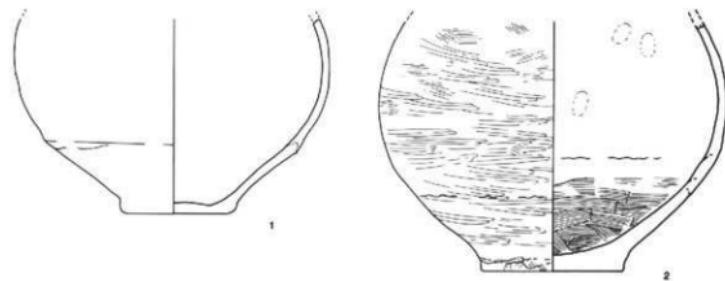
第61図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (17)



第62図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (18)

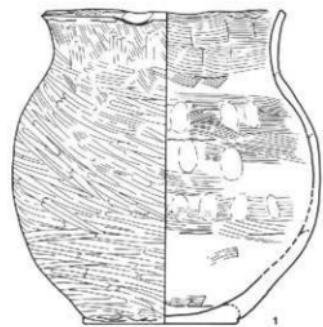


第63図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (18)

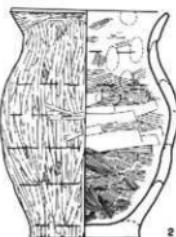


0 10cm

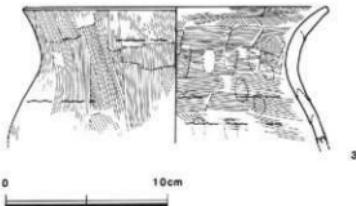
第64図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (20)



1



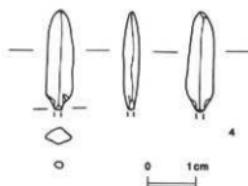
2



3

0

10cm

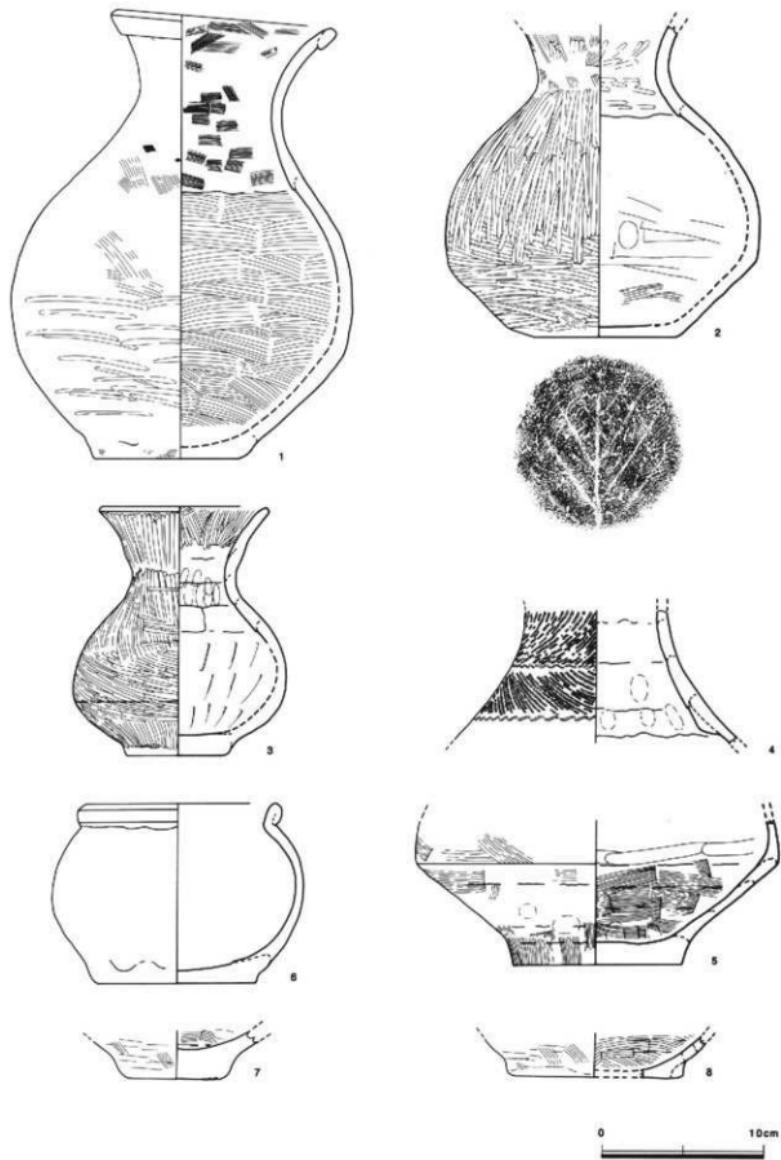


4

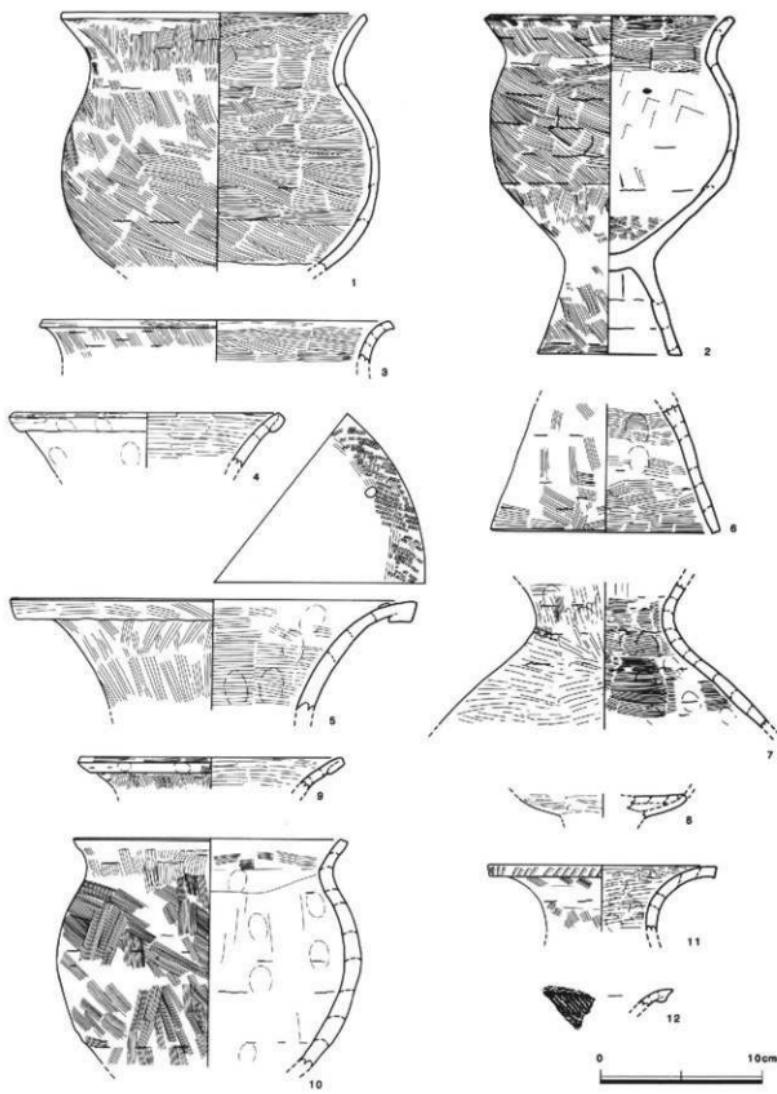
0

1cm

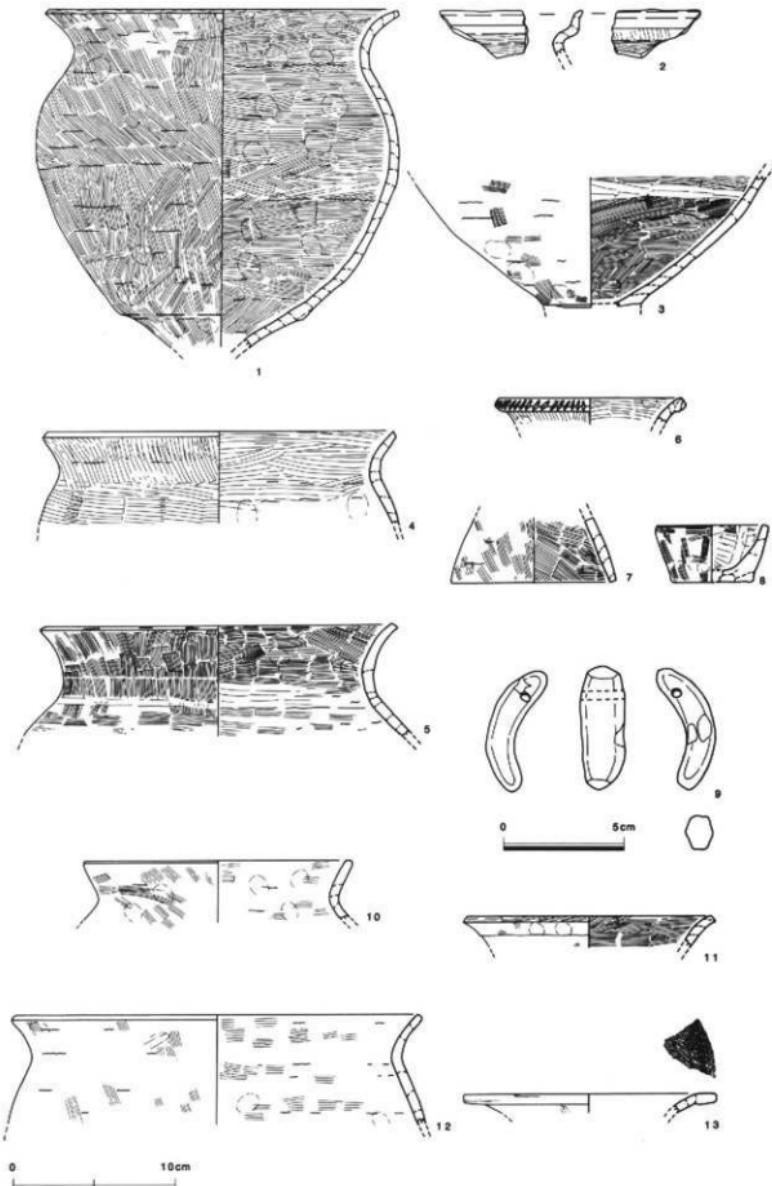
第65図 4区弥生時代堅穴住居跡出土土器・金属製品 (21)



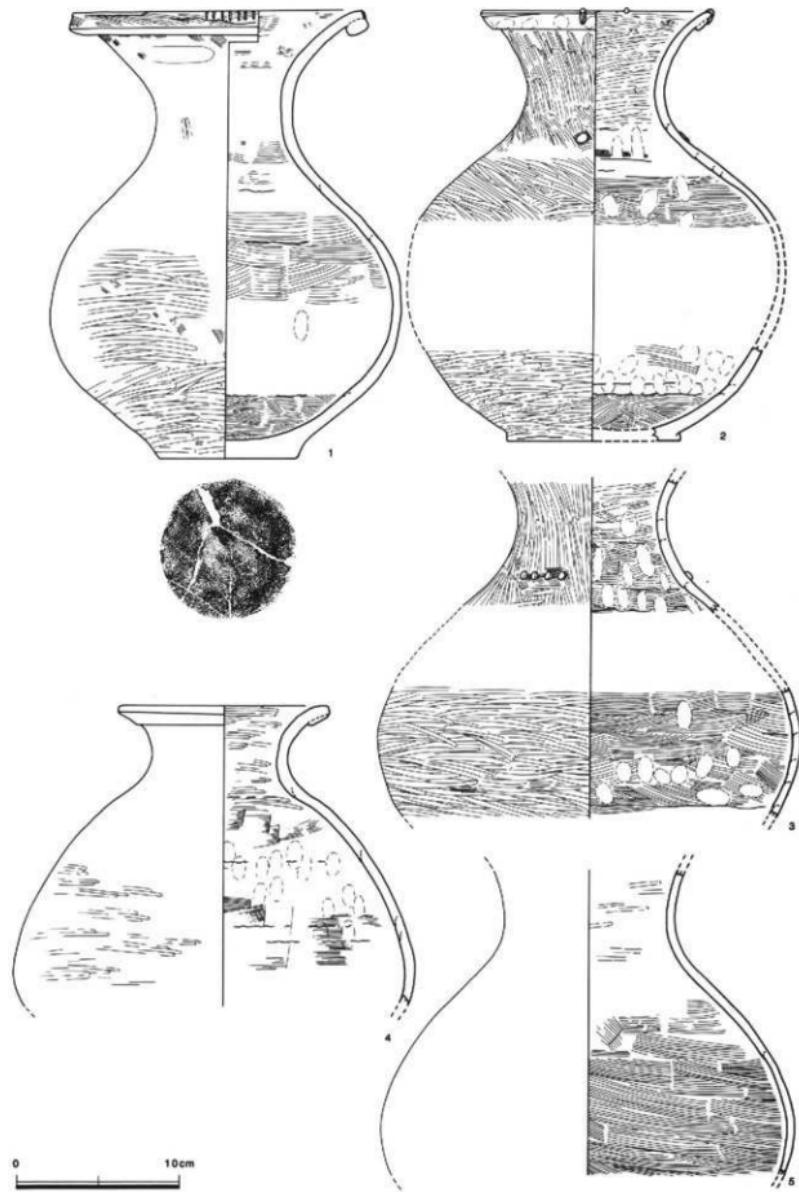
第66図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (22)



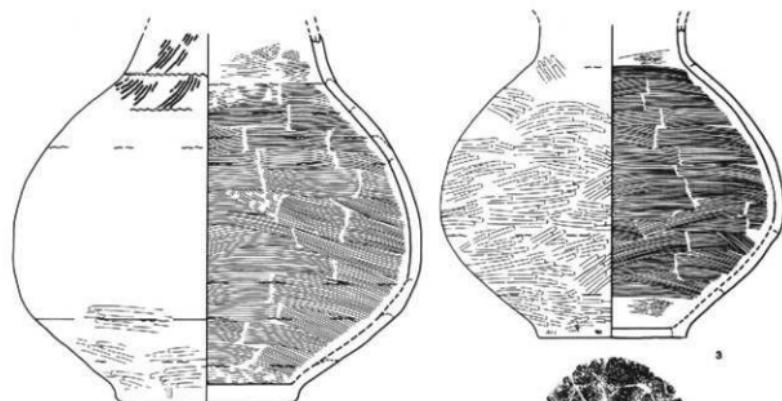
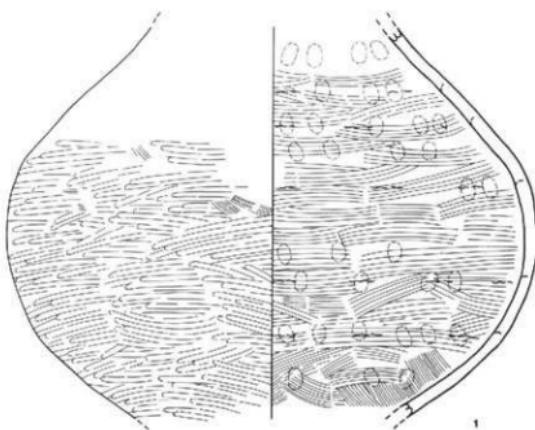
第67図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (23)



第68図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (24)

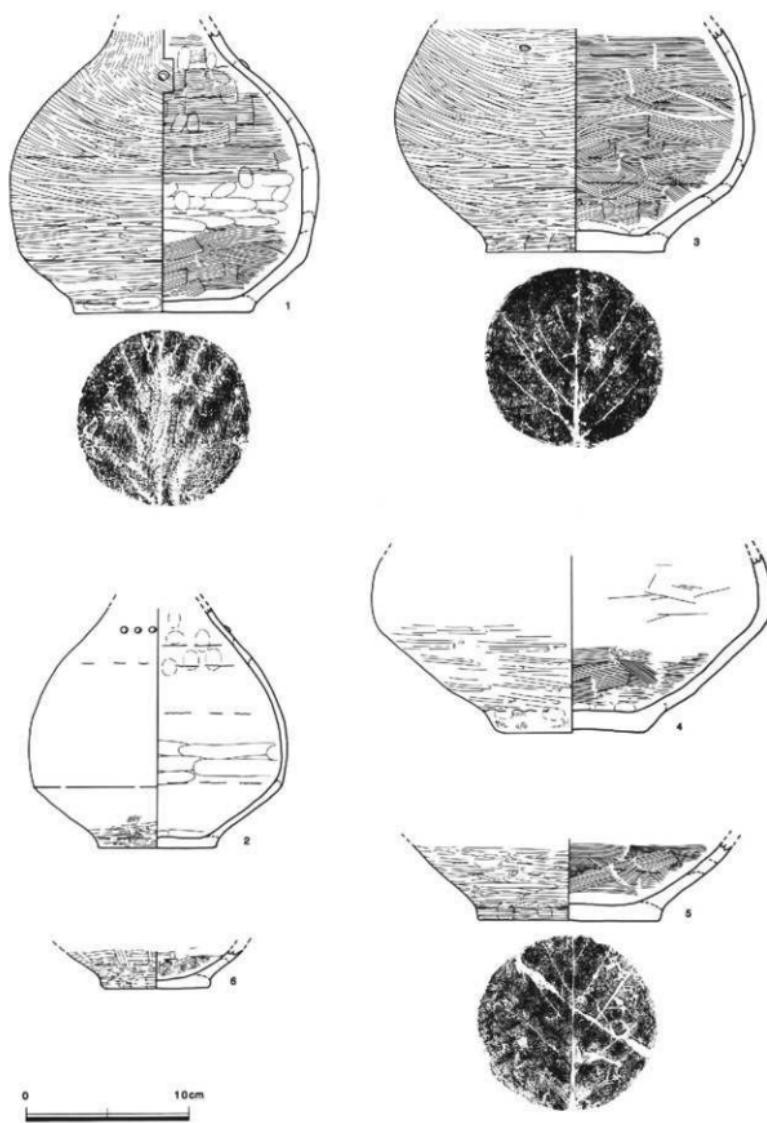


第69図 4区弥生時代堅穴住居跡出土土器 (25)

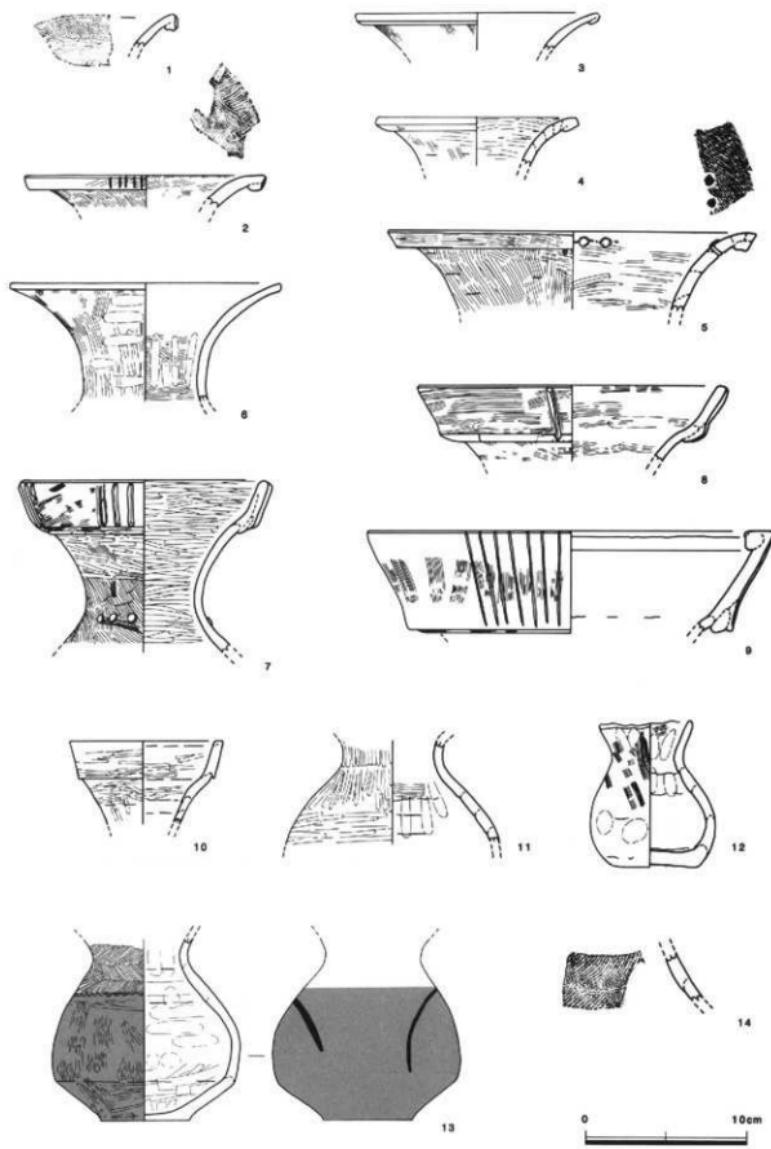


0 10cm

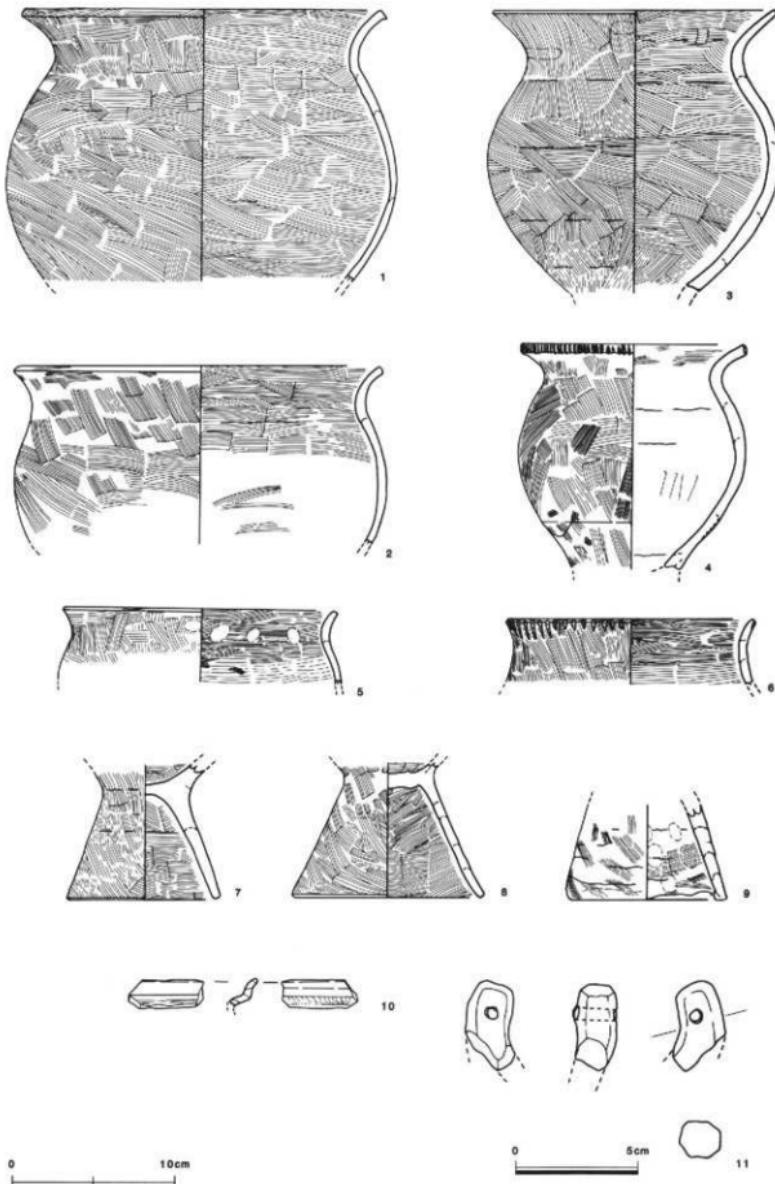
第70図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (26)



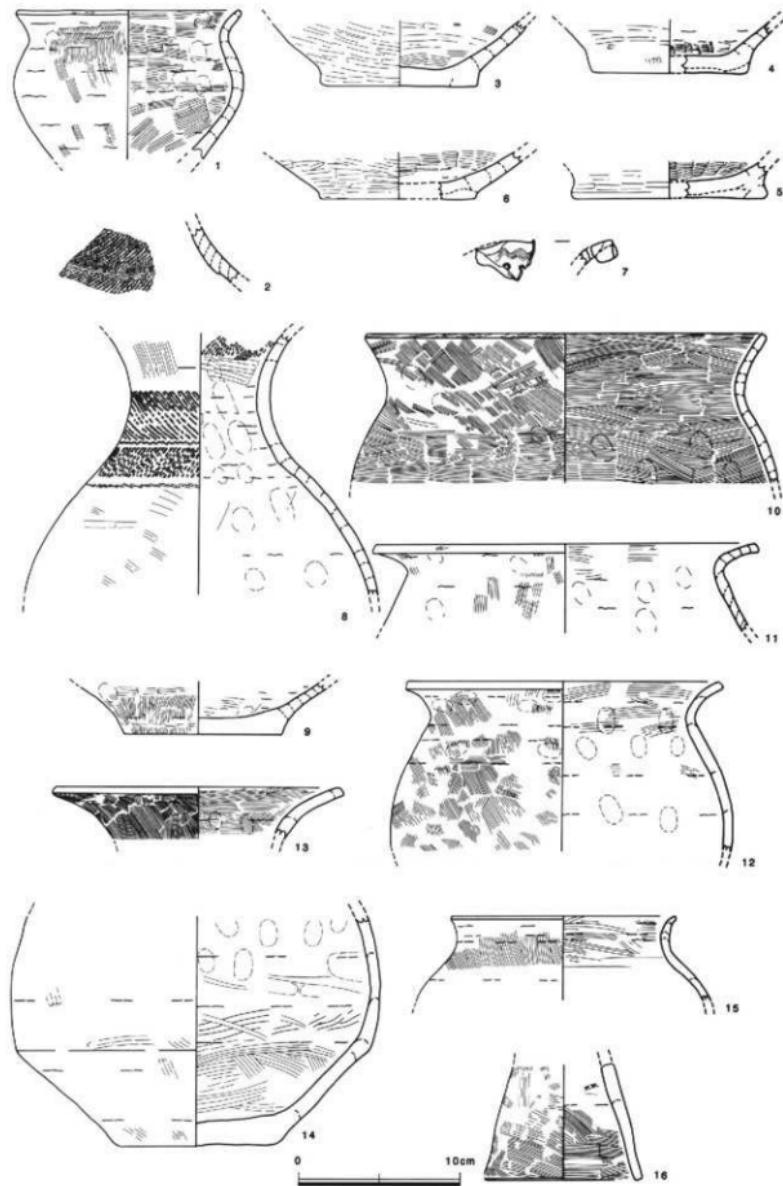
第71図 4区弥生時代堅穴住居跡出土土器 (27)



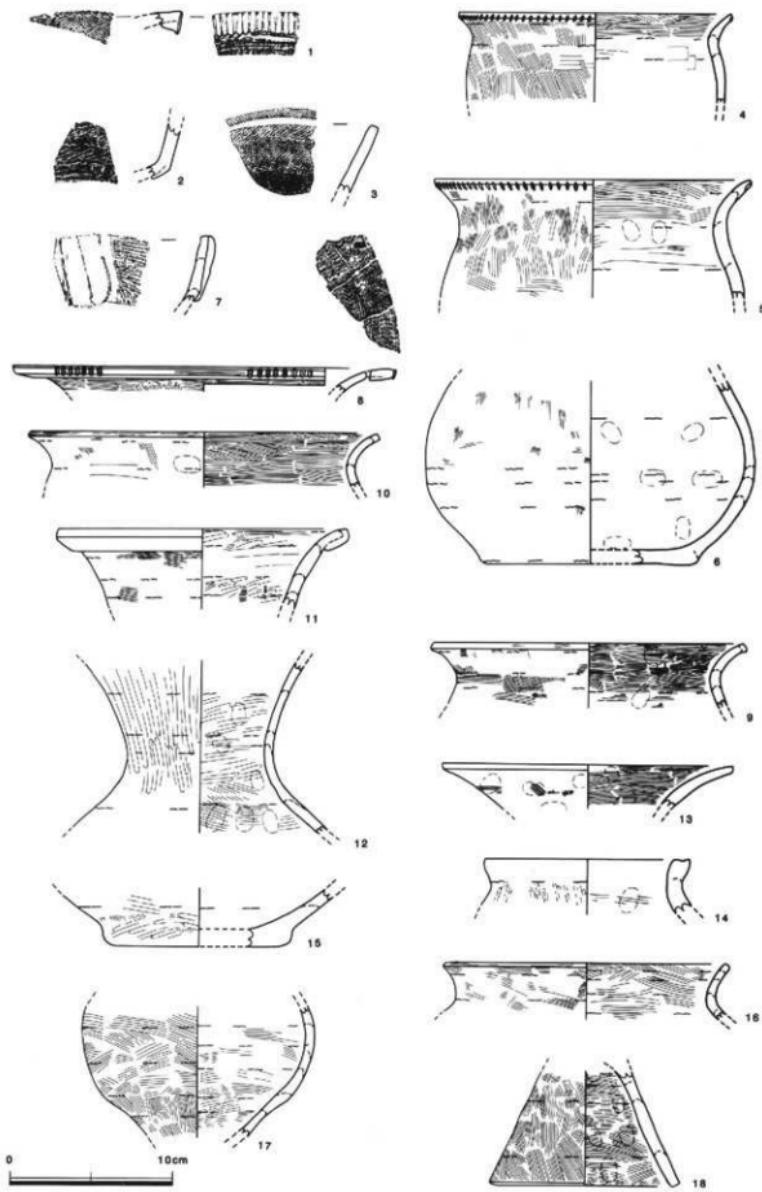
第72図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (28)



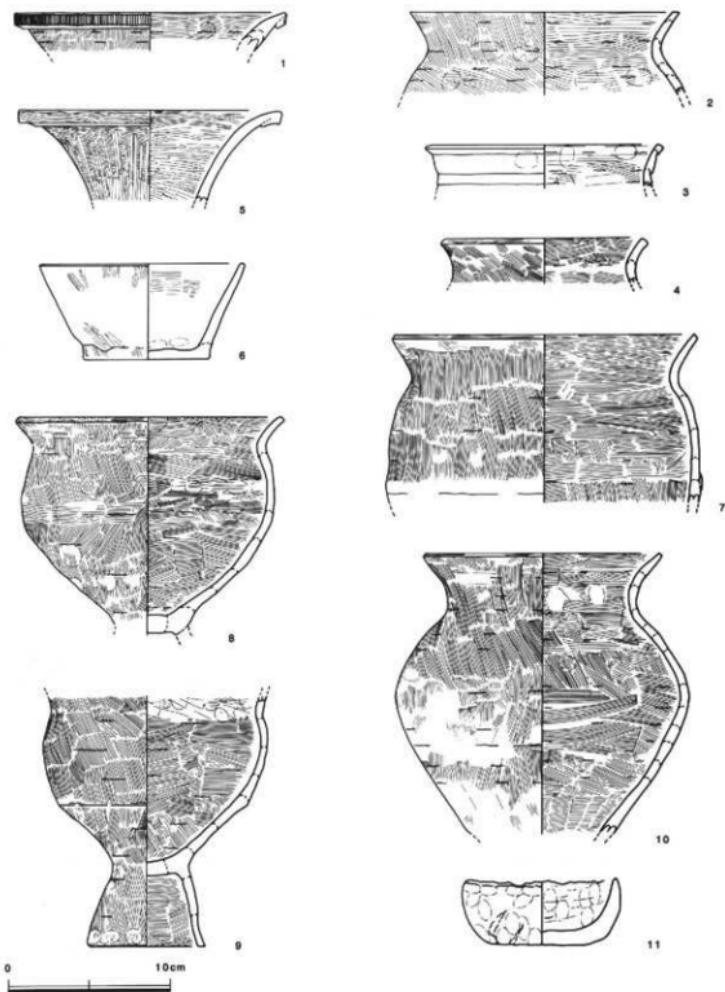
第73図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (29)



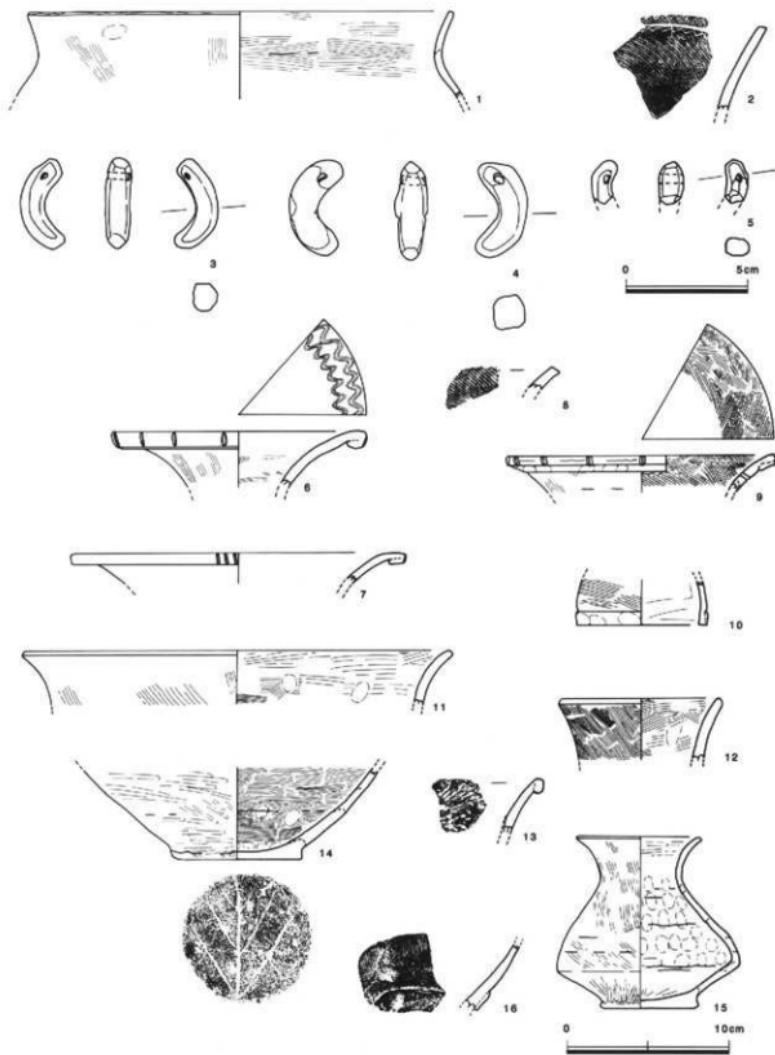
第74図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (30)



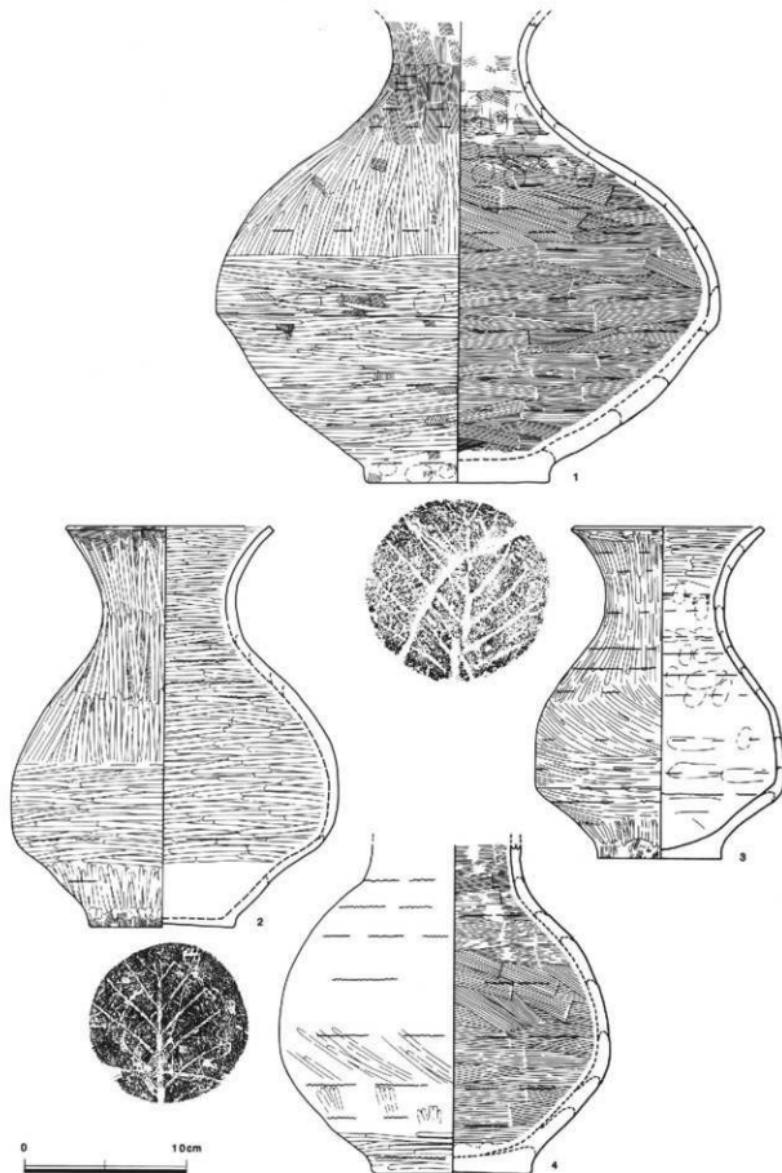
第75図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (31)



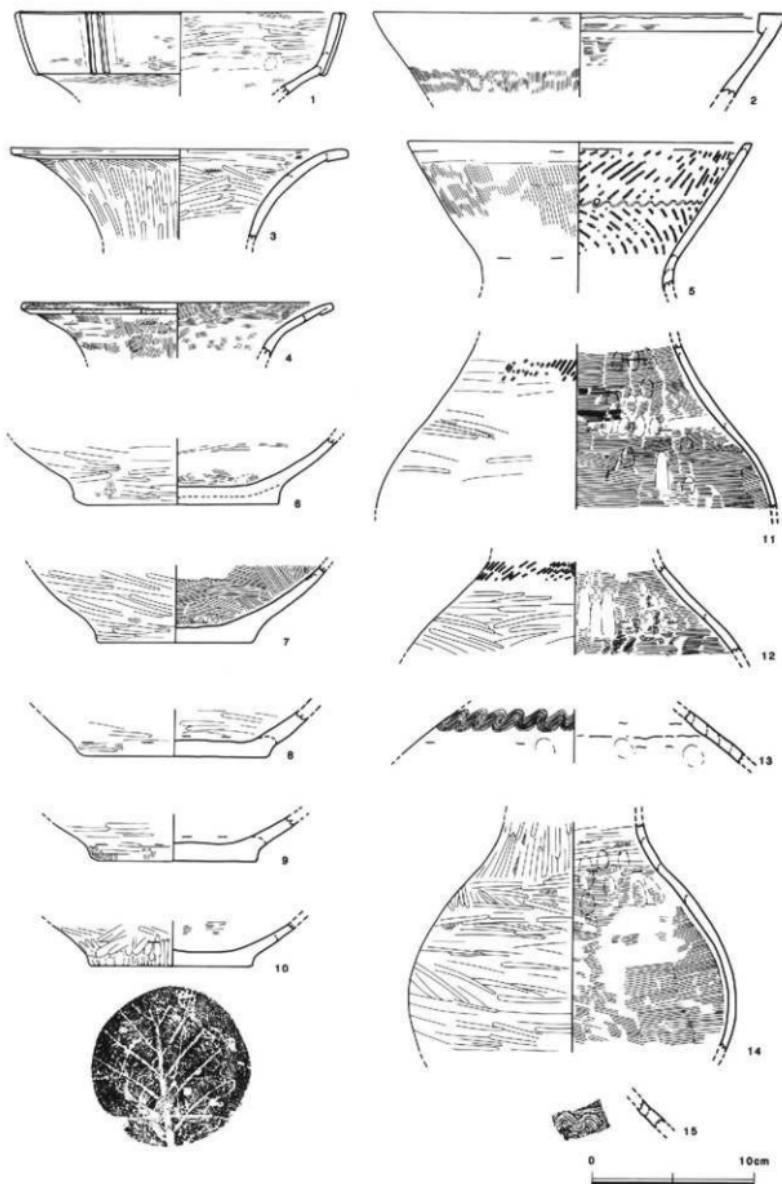
第76図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (32)



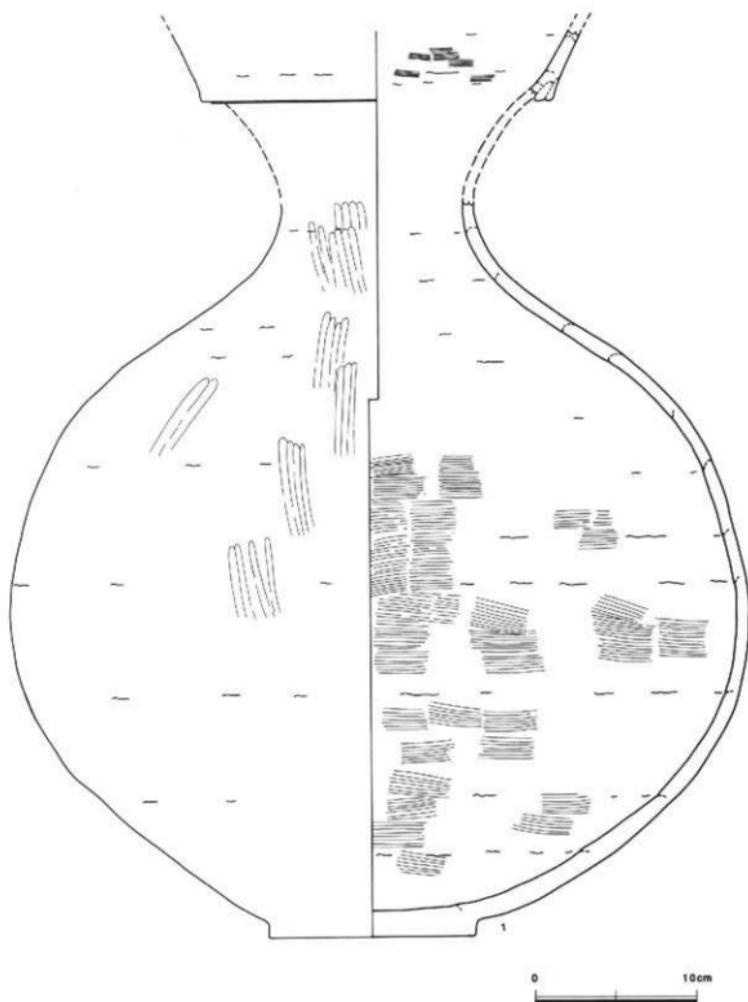
第77図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (33)



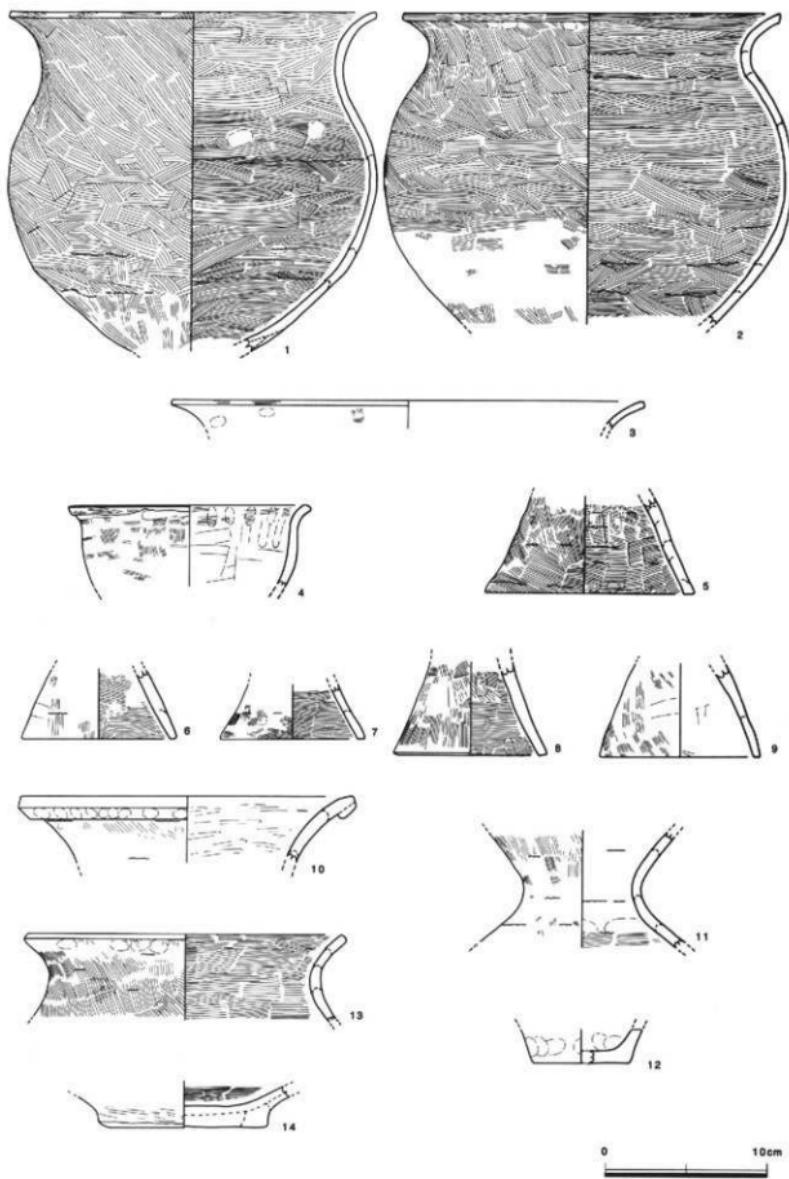
第78図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (34)



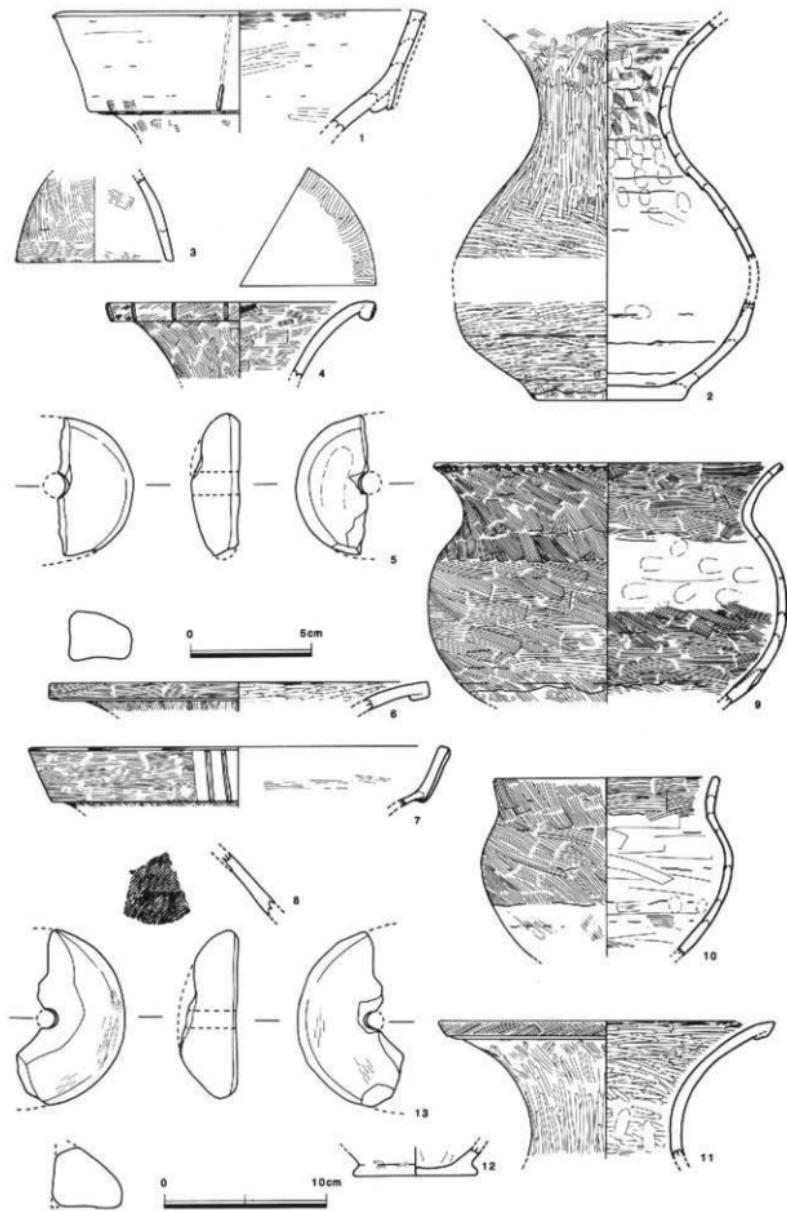
第79図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (35)



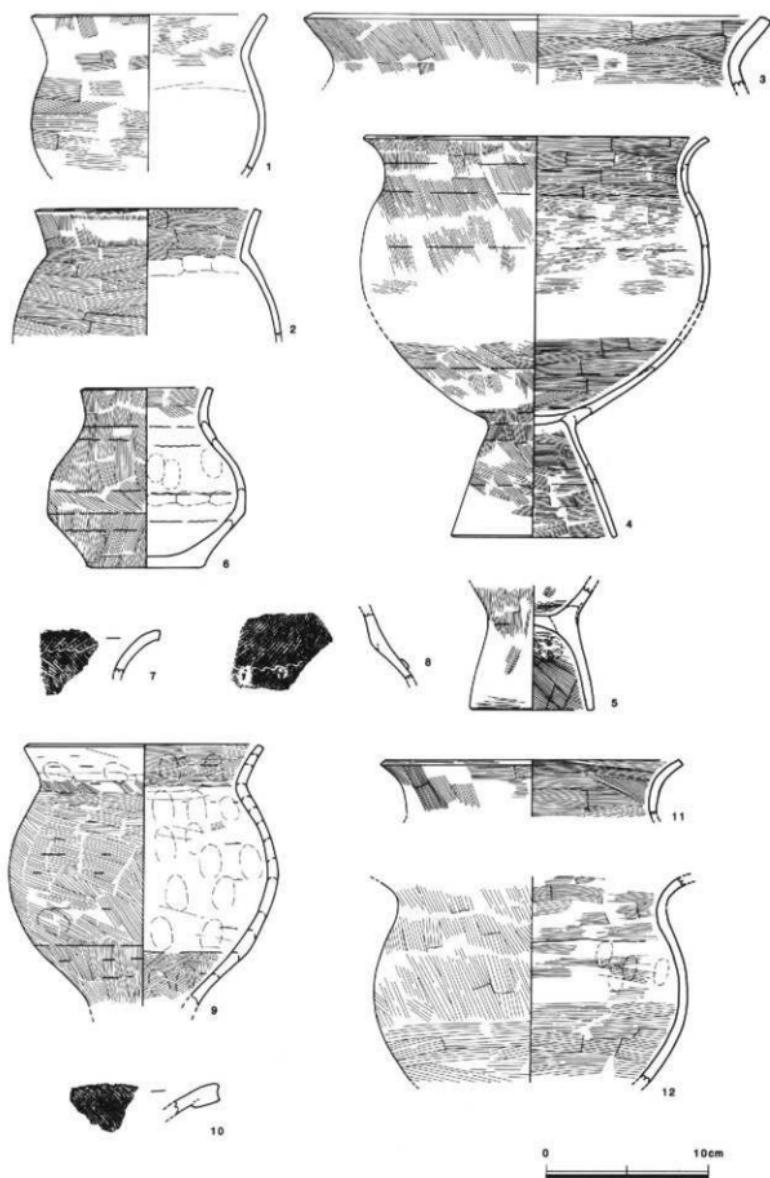
第80図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (36)



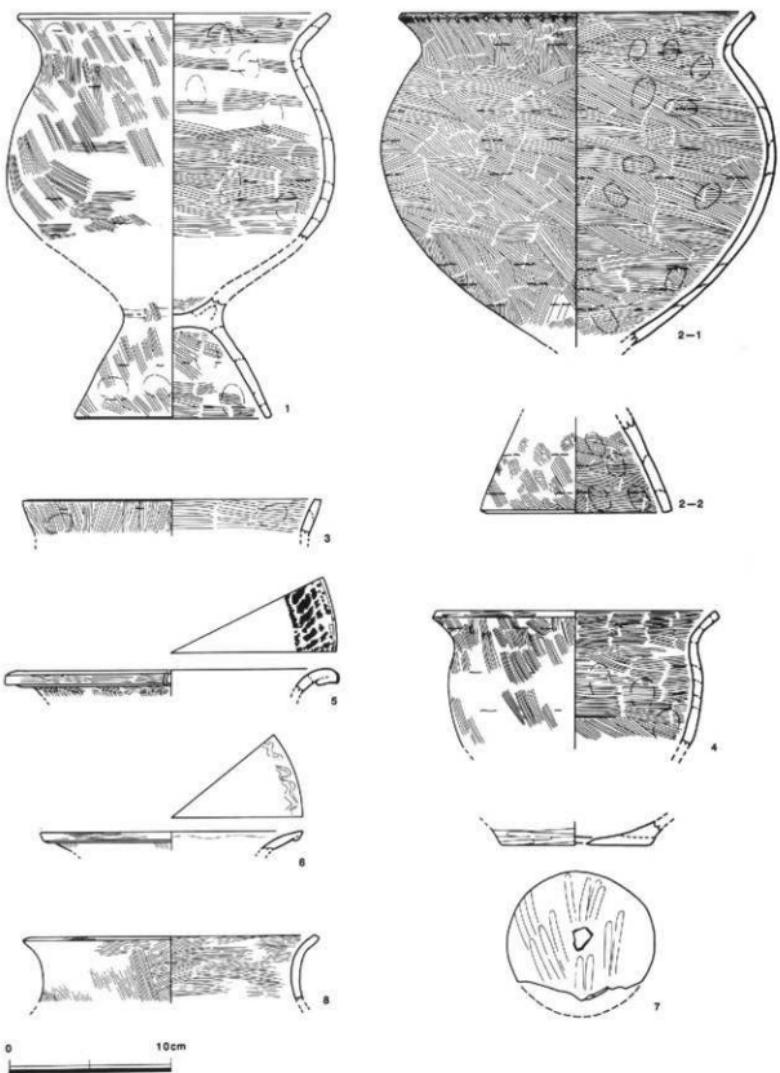
第81図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (37)



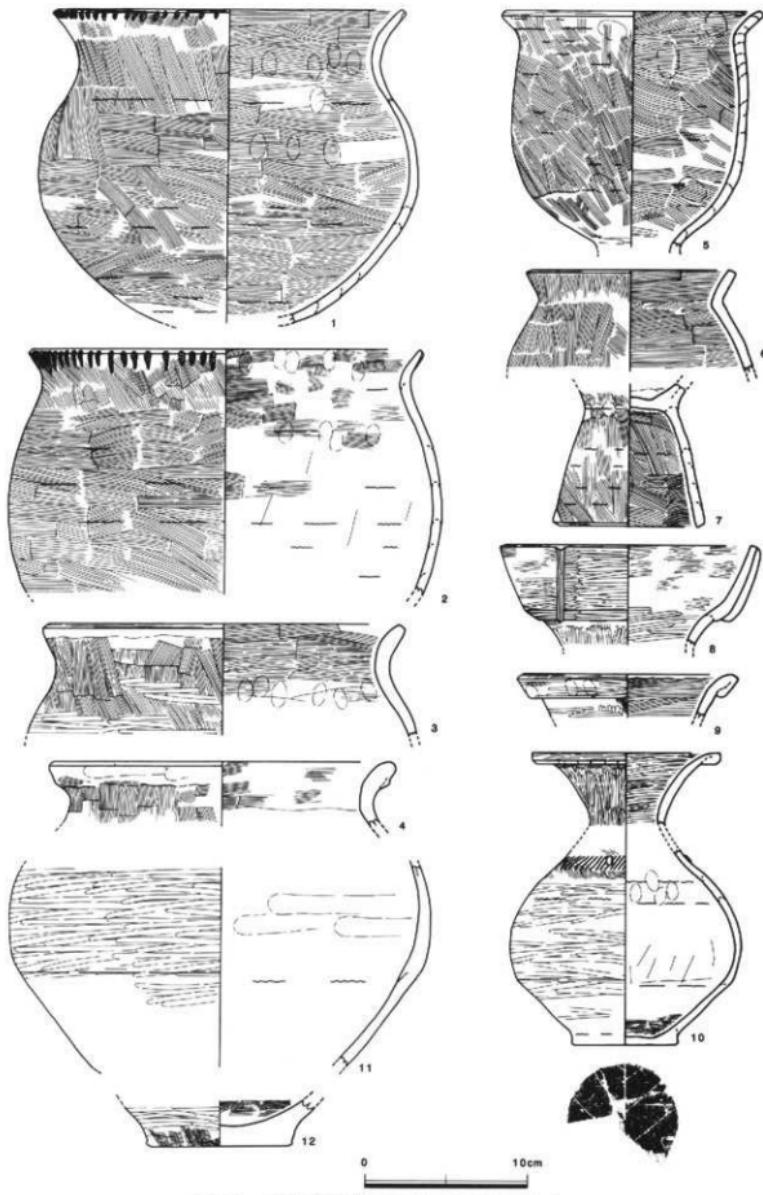
第82図 4区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (38)



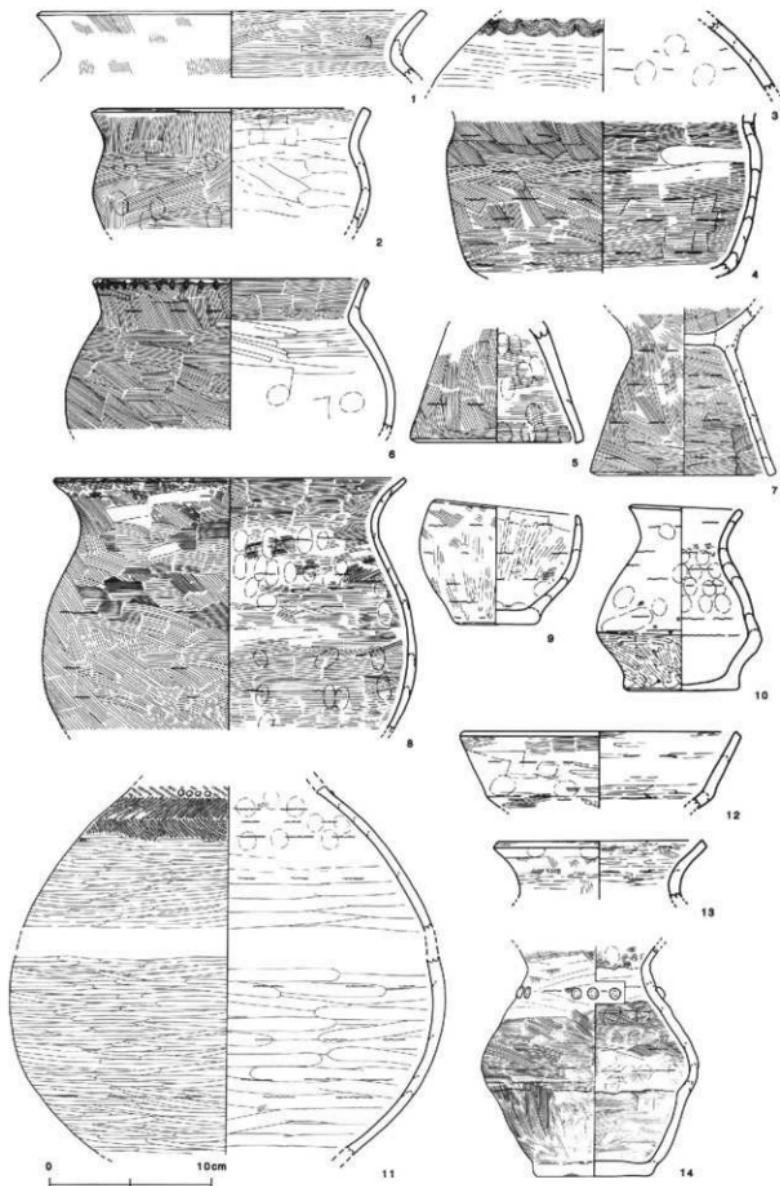
第83図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器（1）



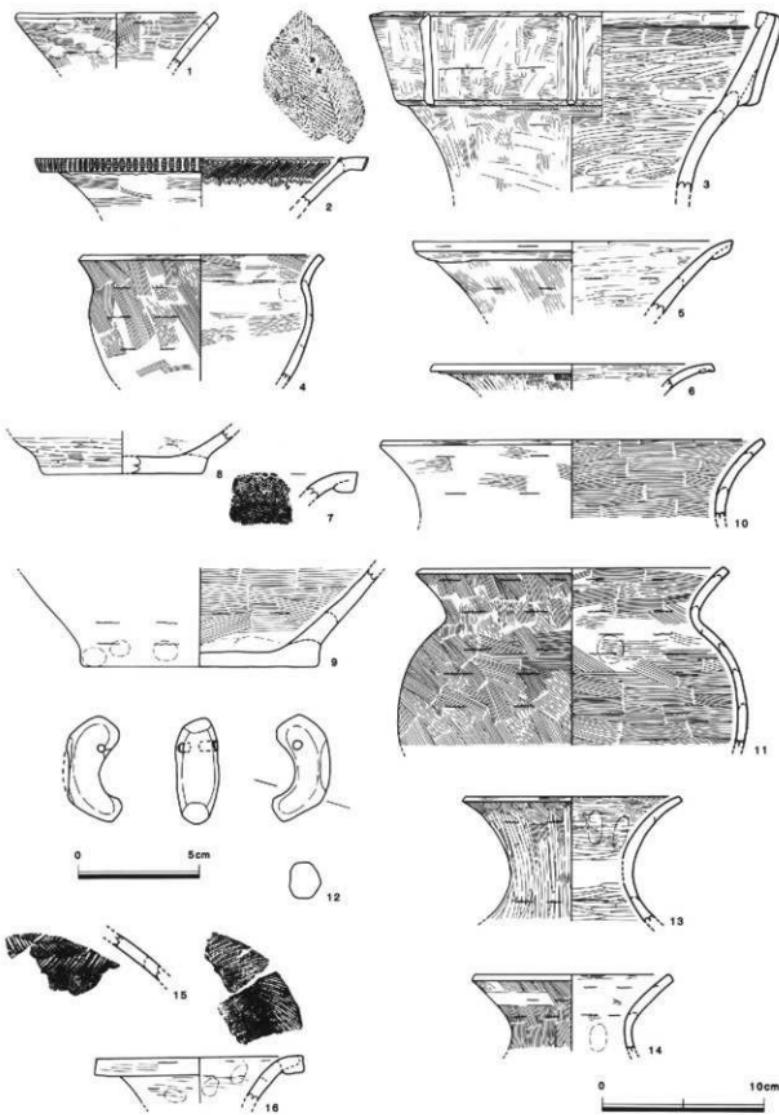
第84図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器(2)



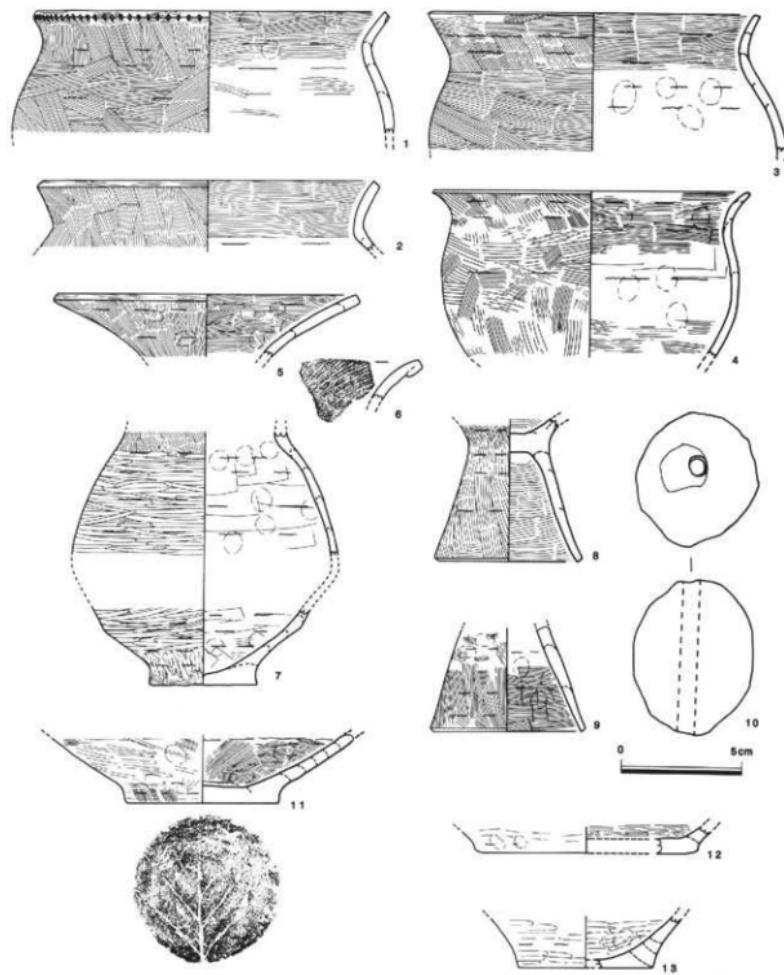
第85図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器（3）



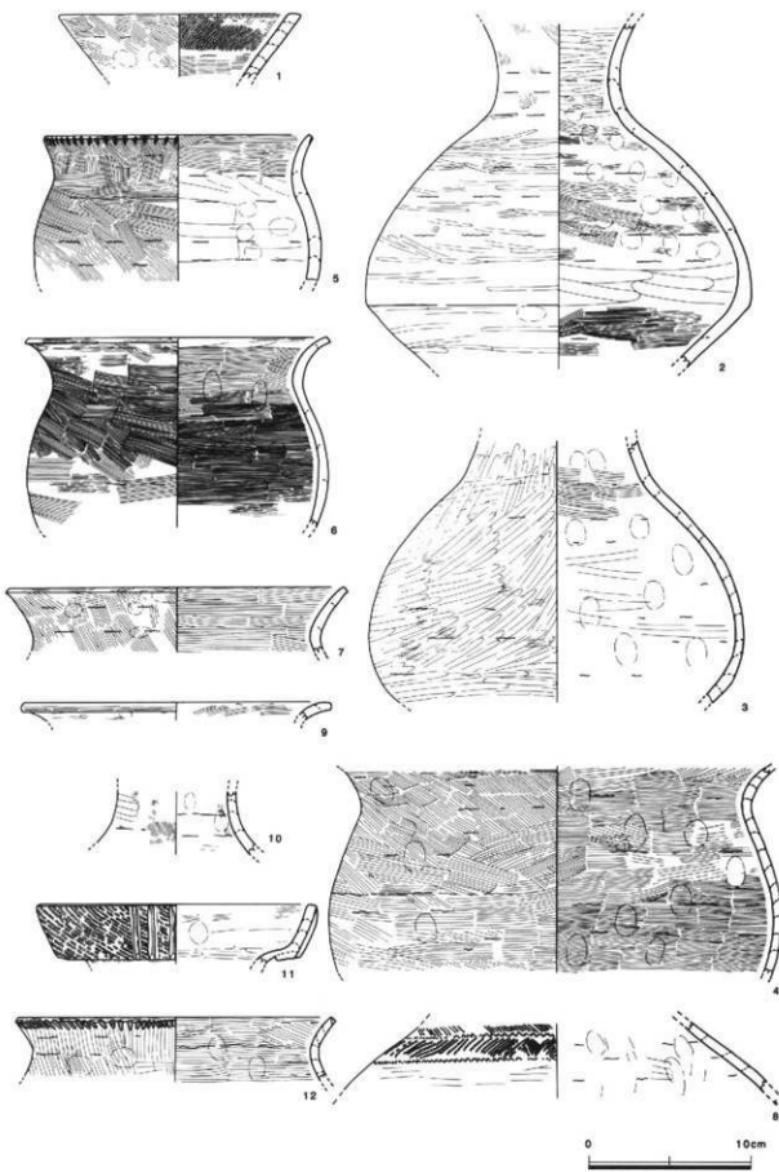
第86図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (4)



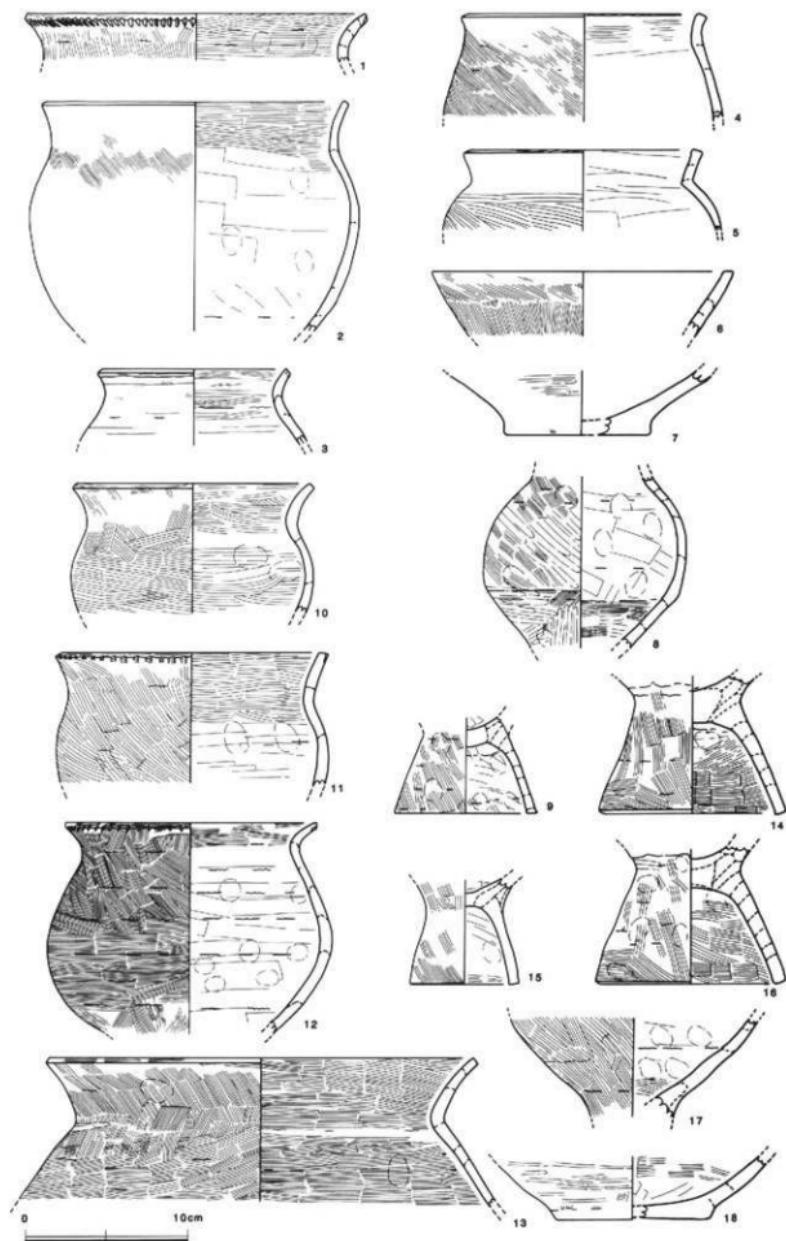
第87図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品（5）



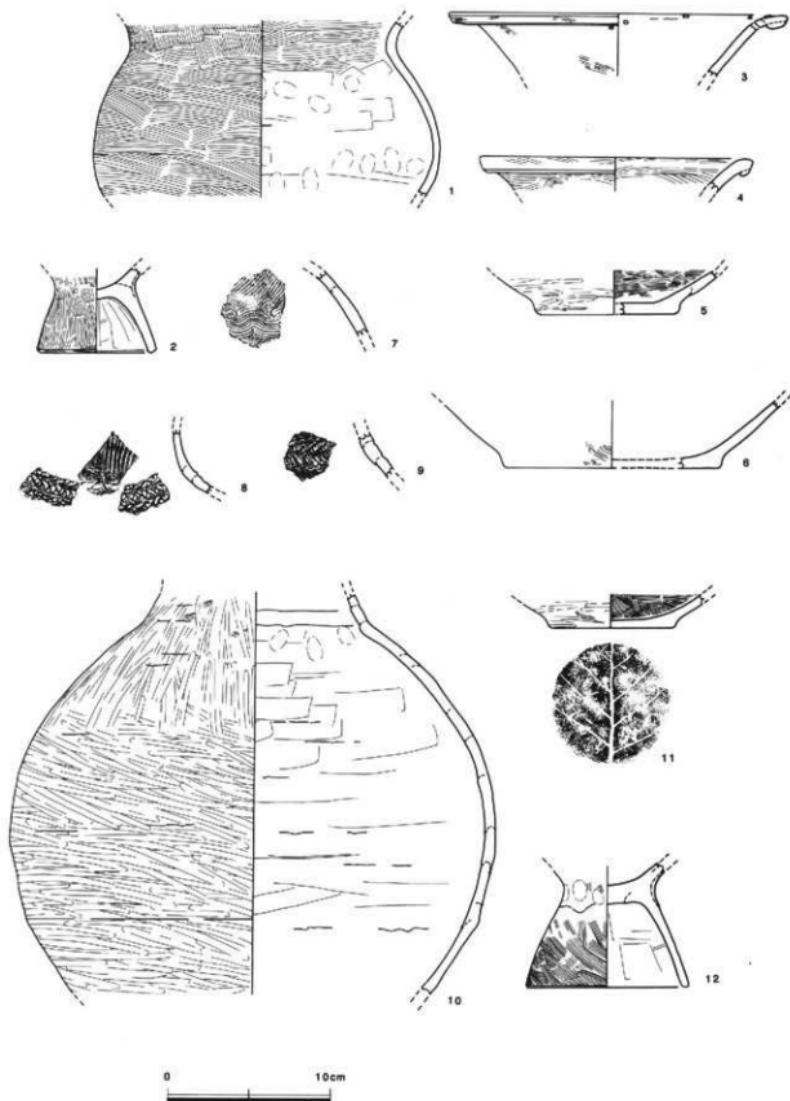
第88図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品（6）



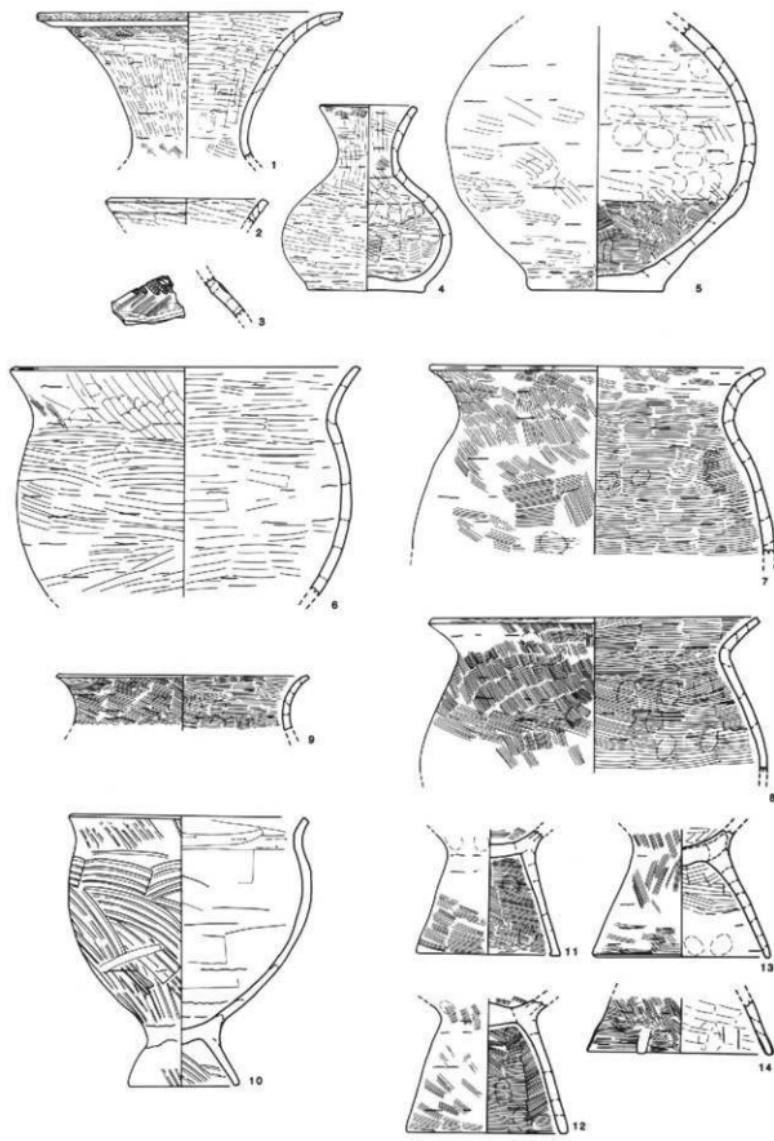
第88図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器(1)



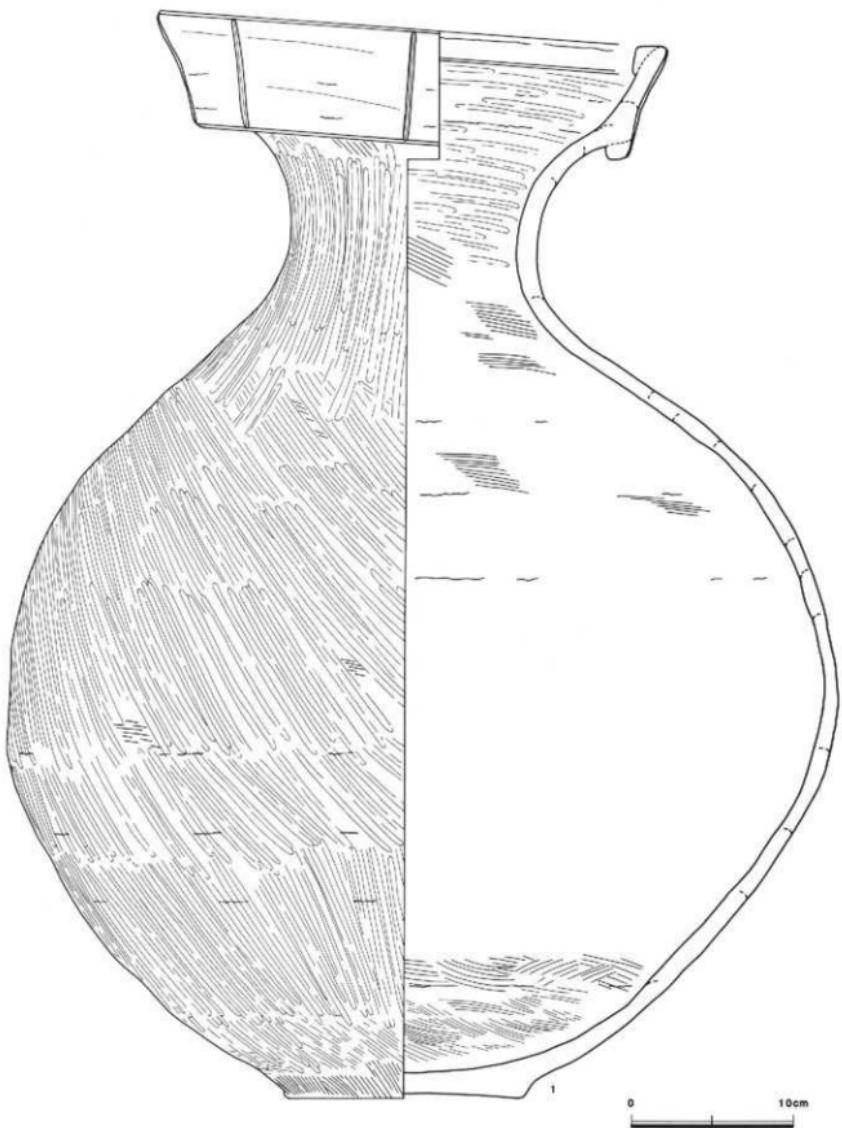
第90図 5区弥生時代竪穴住居出土土器 (8)



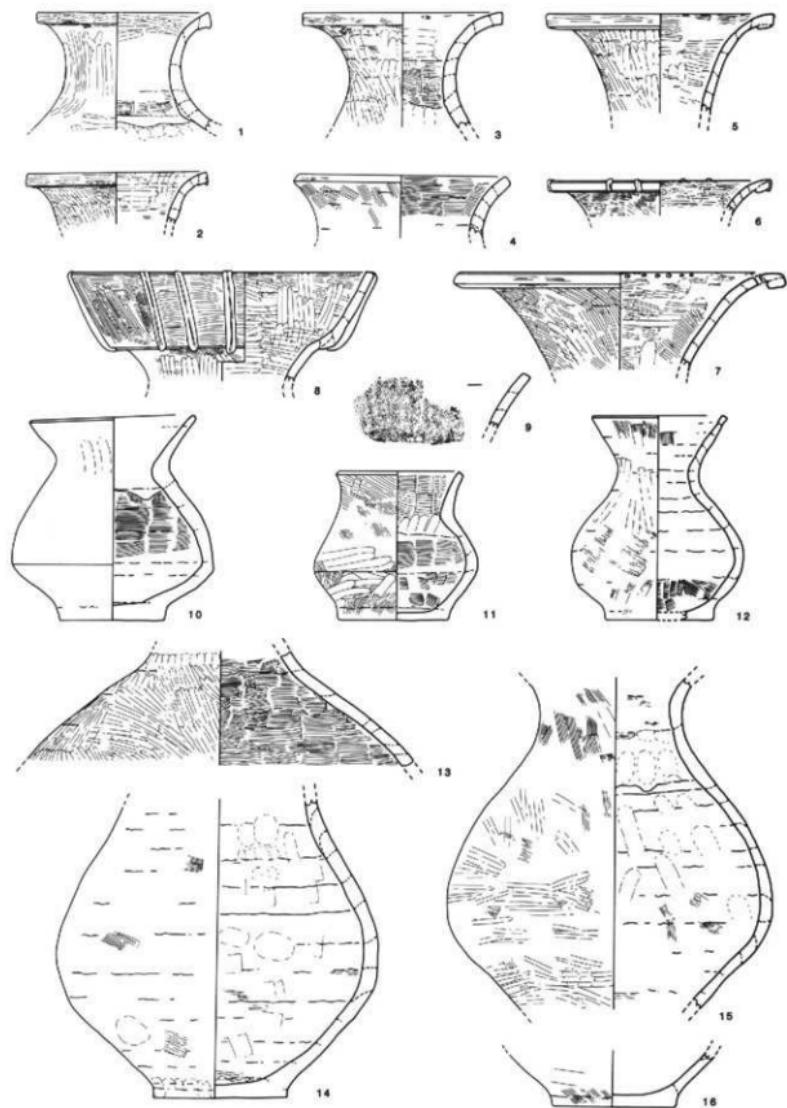
第91図 5区弥生時代堅穴住居跡出土土器(9)



第92図 5区弥生時代堅穴住居跡出土土器 (10)

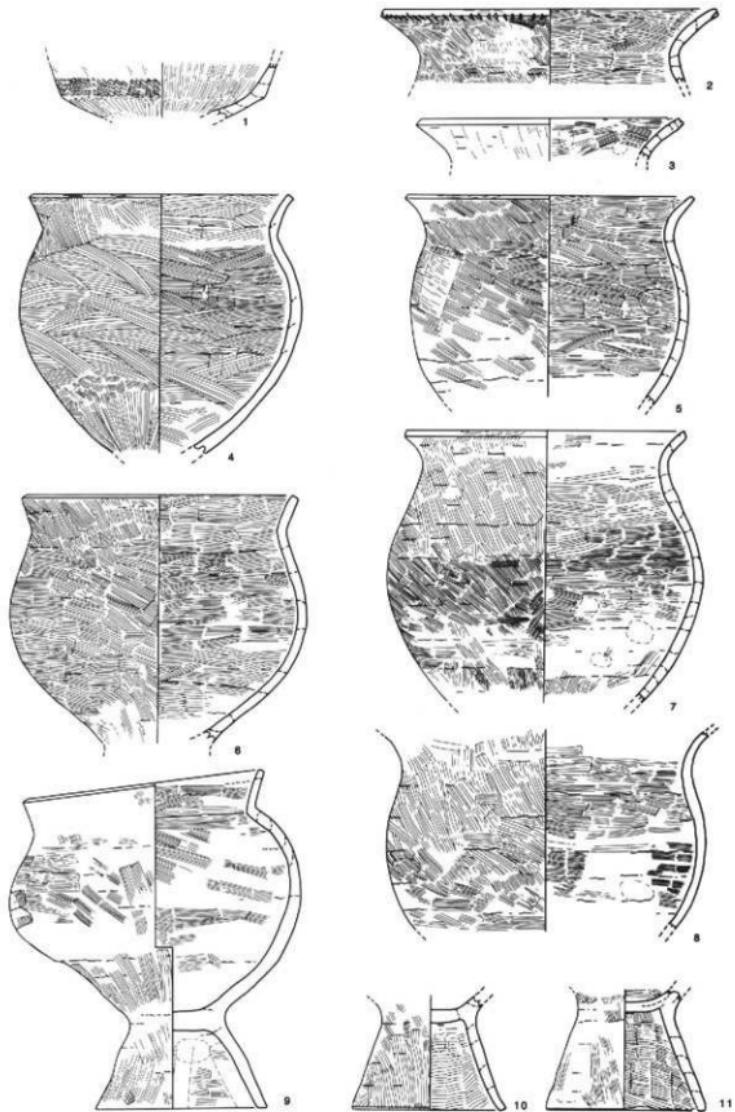


第83図 5区弥生時代堅穴住居跡出土土器 (11)



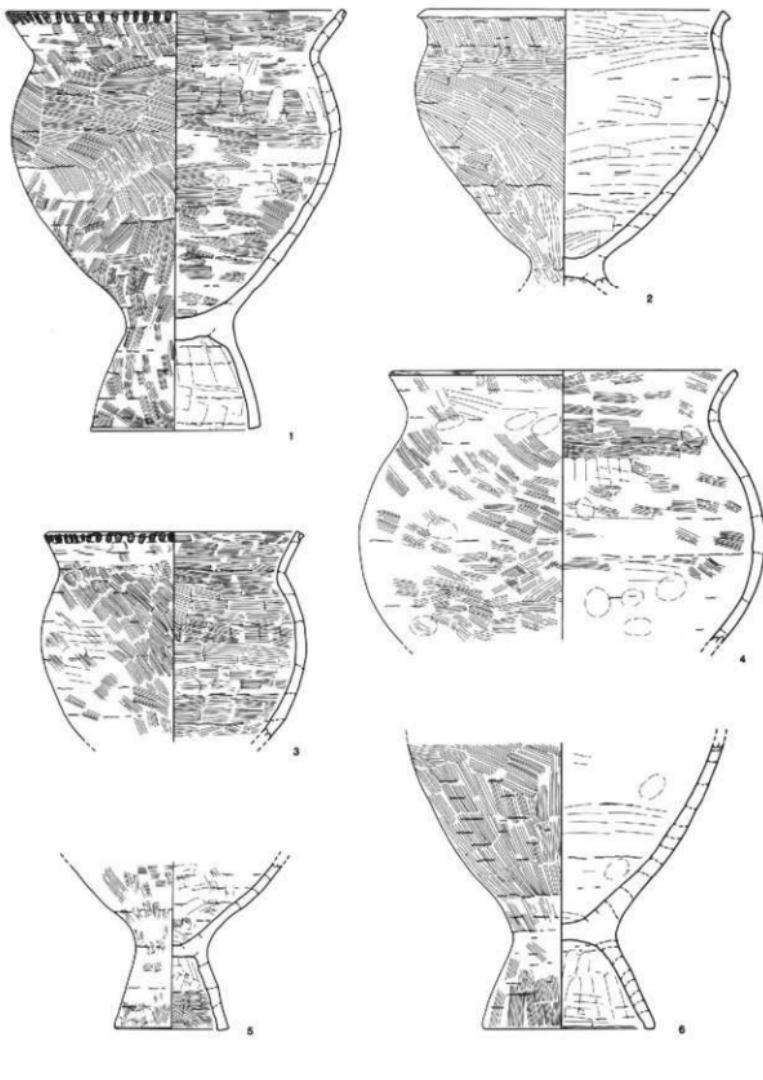
0 10cm

第94図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (12)



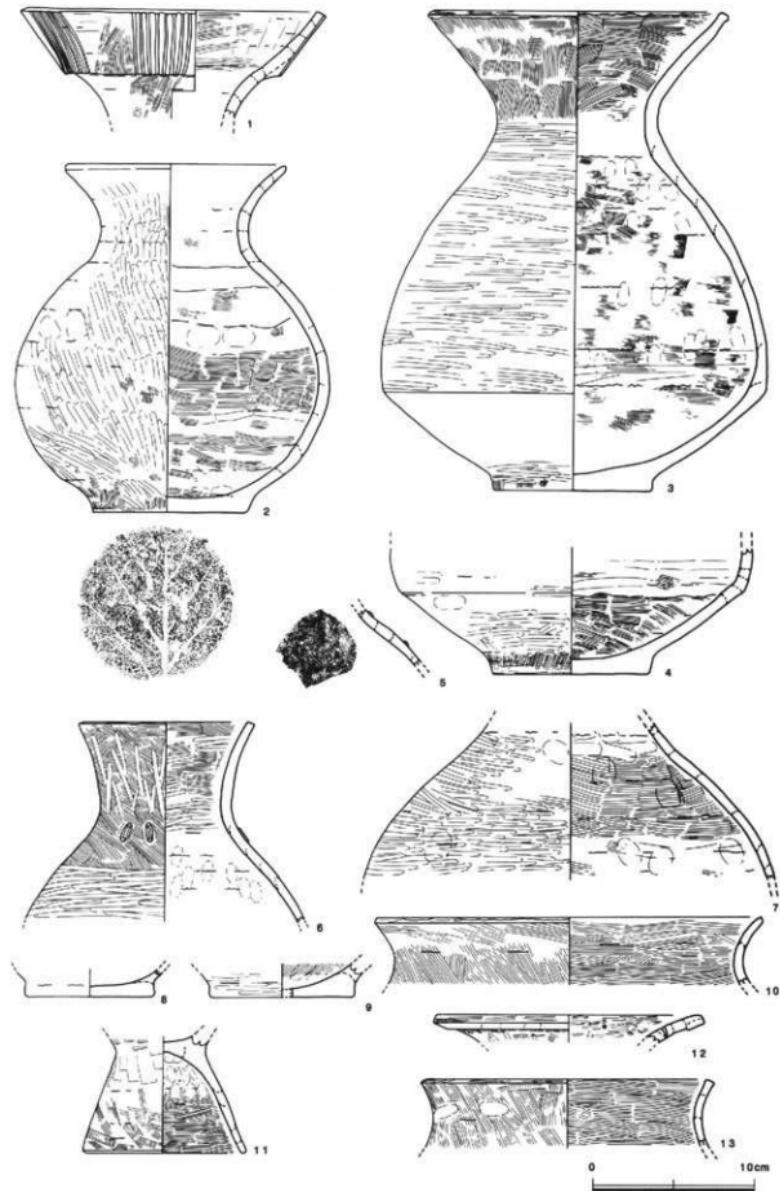
0 10cm

第95図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (13)

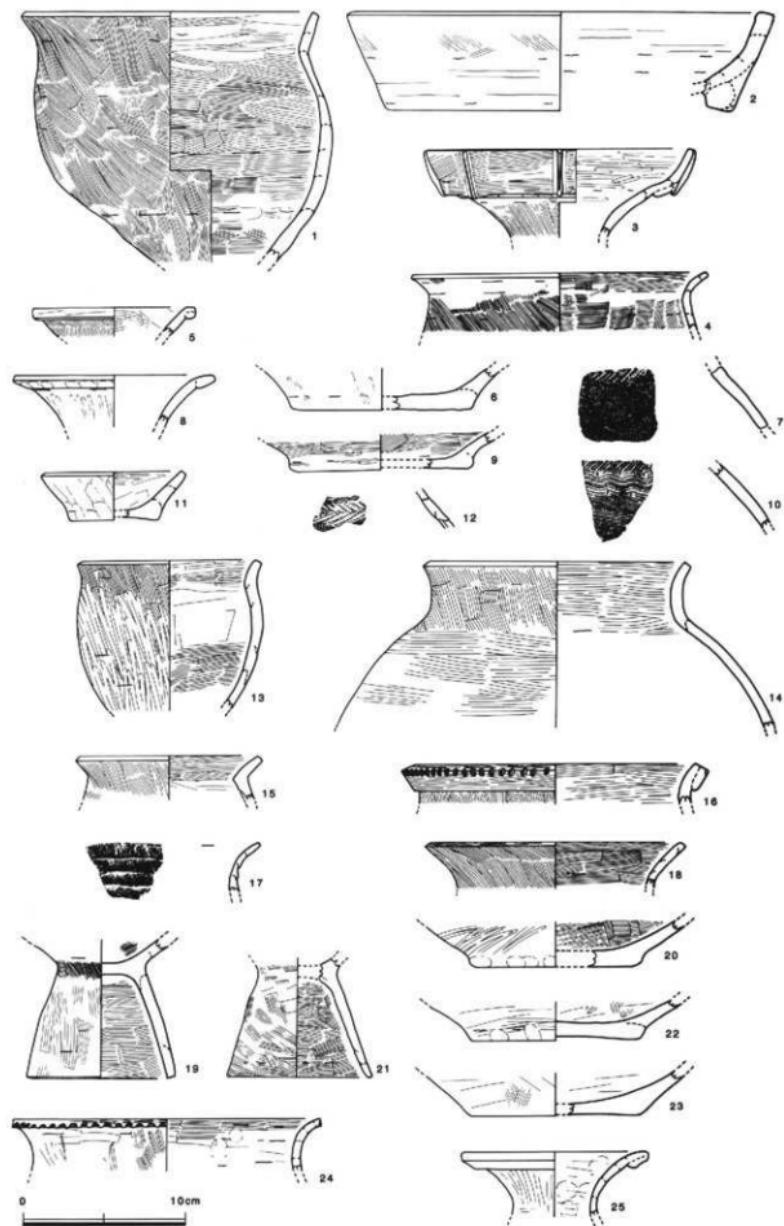


0 10cm

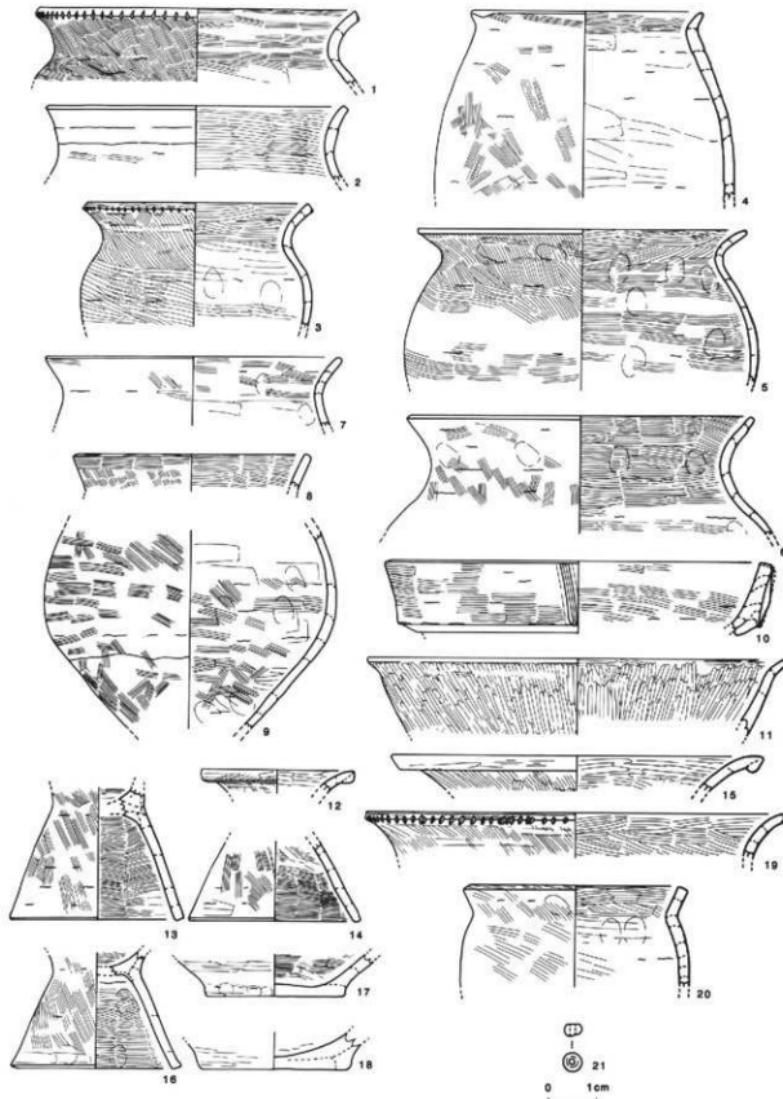
第96図 5区弥生時代竪穴住居出土土器 (14)



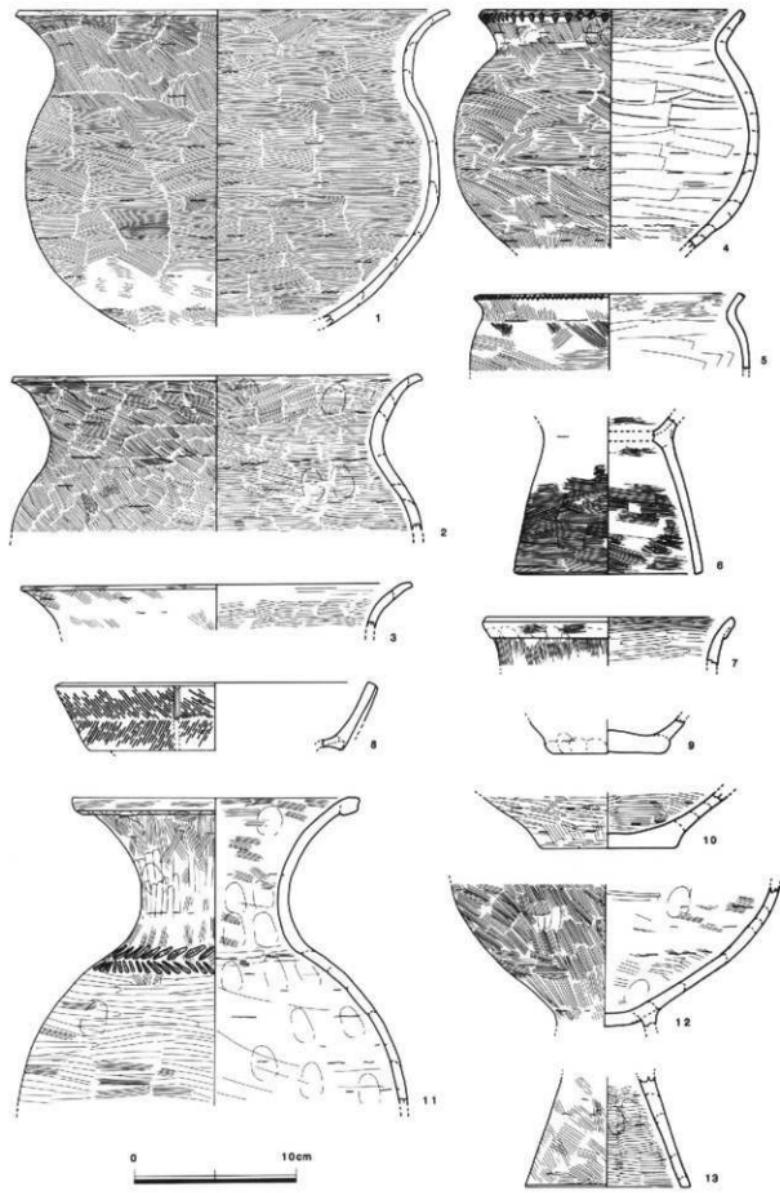
第97図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (15)



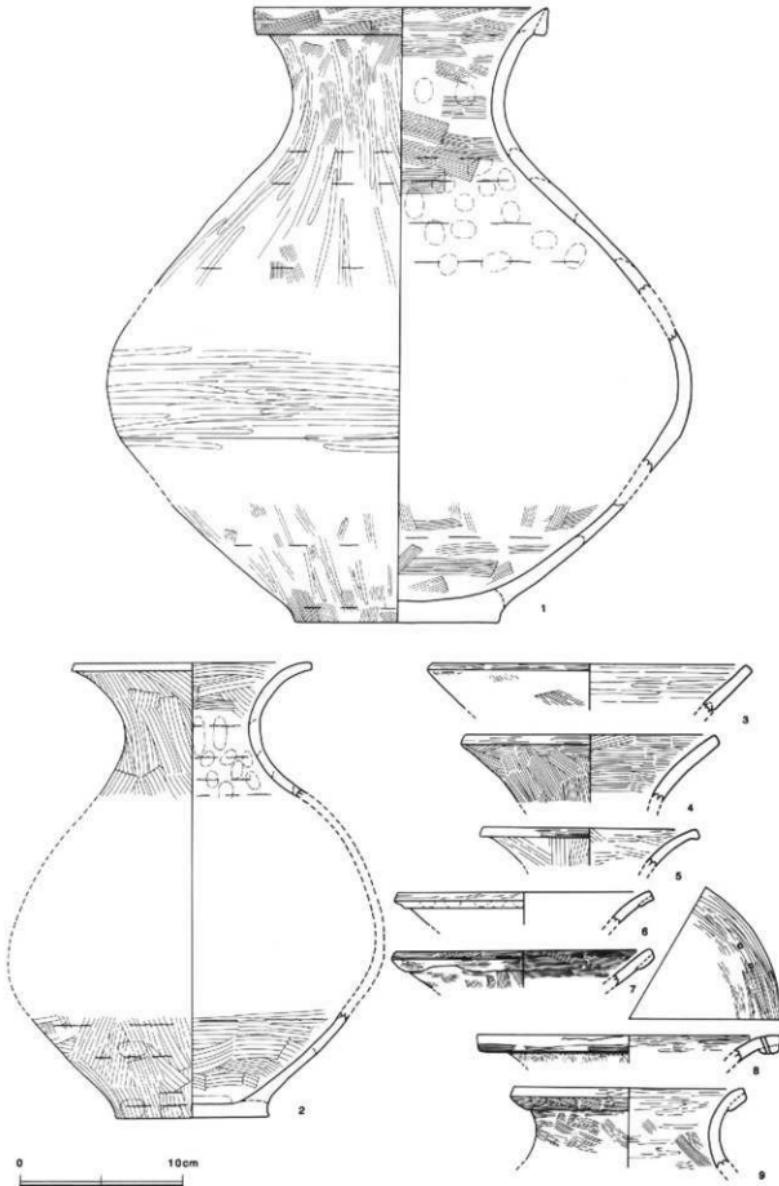
第98図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (16)



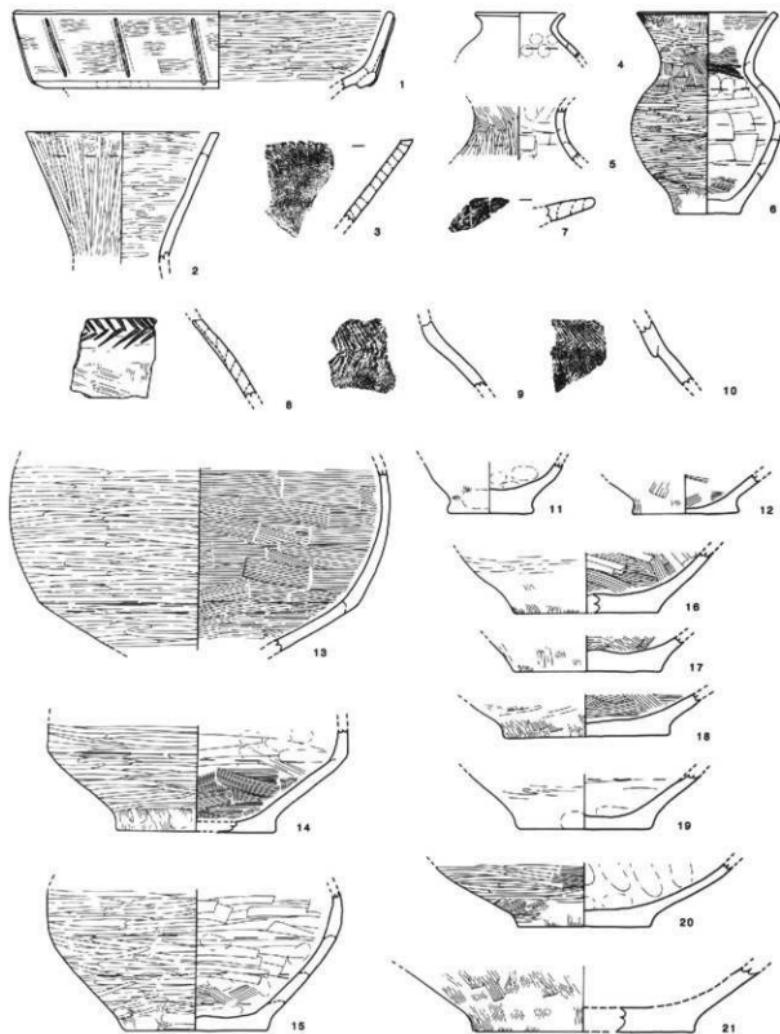
第99図 5区弥生時代堅穴住居跡出土土器・ガラス製品 (17)



第100図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (18)

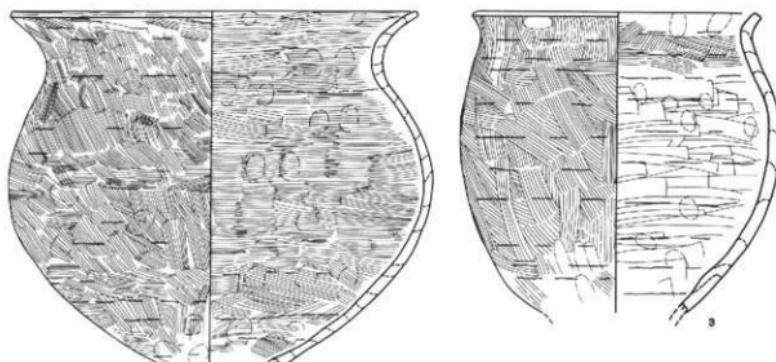
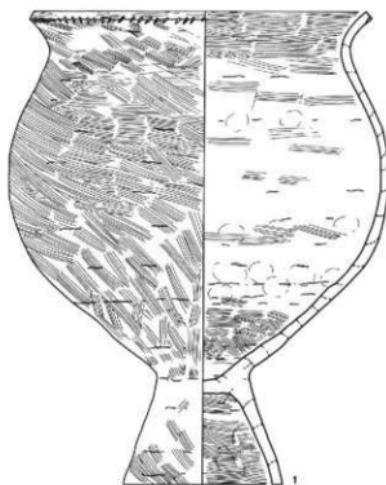


第101図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (19)



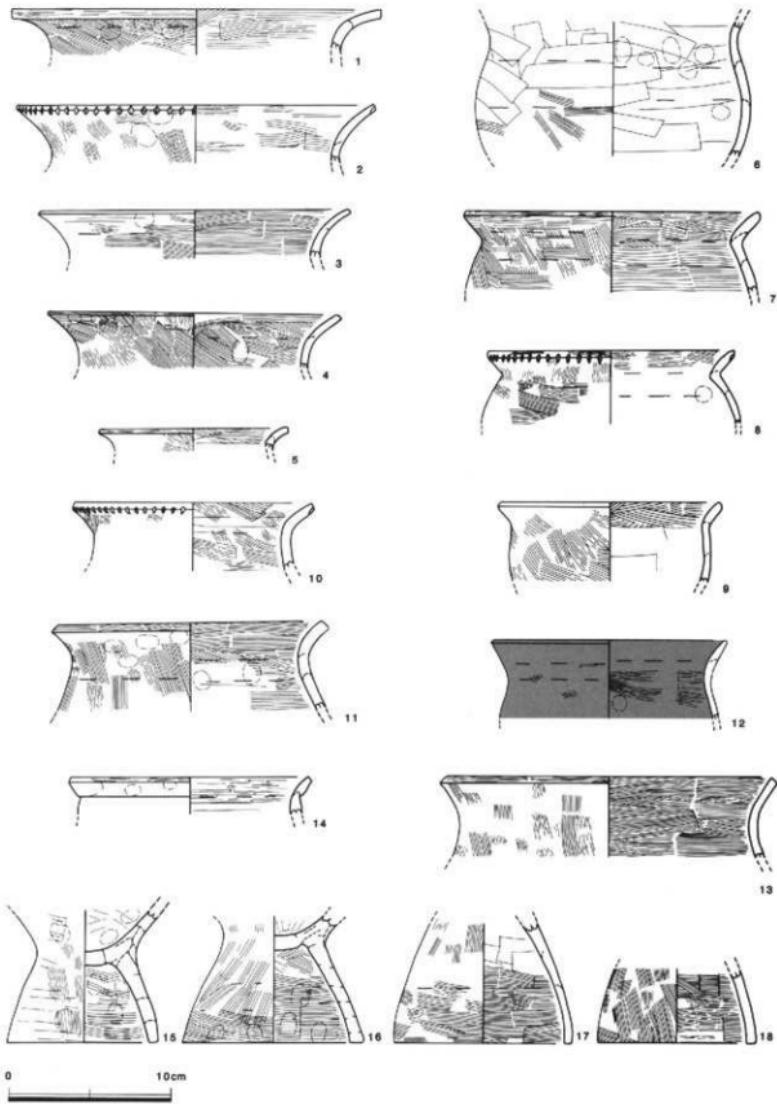
0 10cm

第102図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (20)

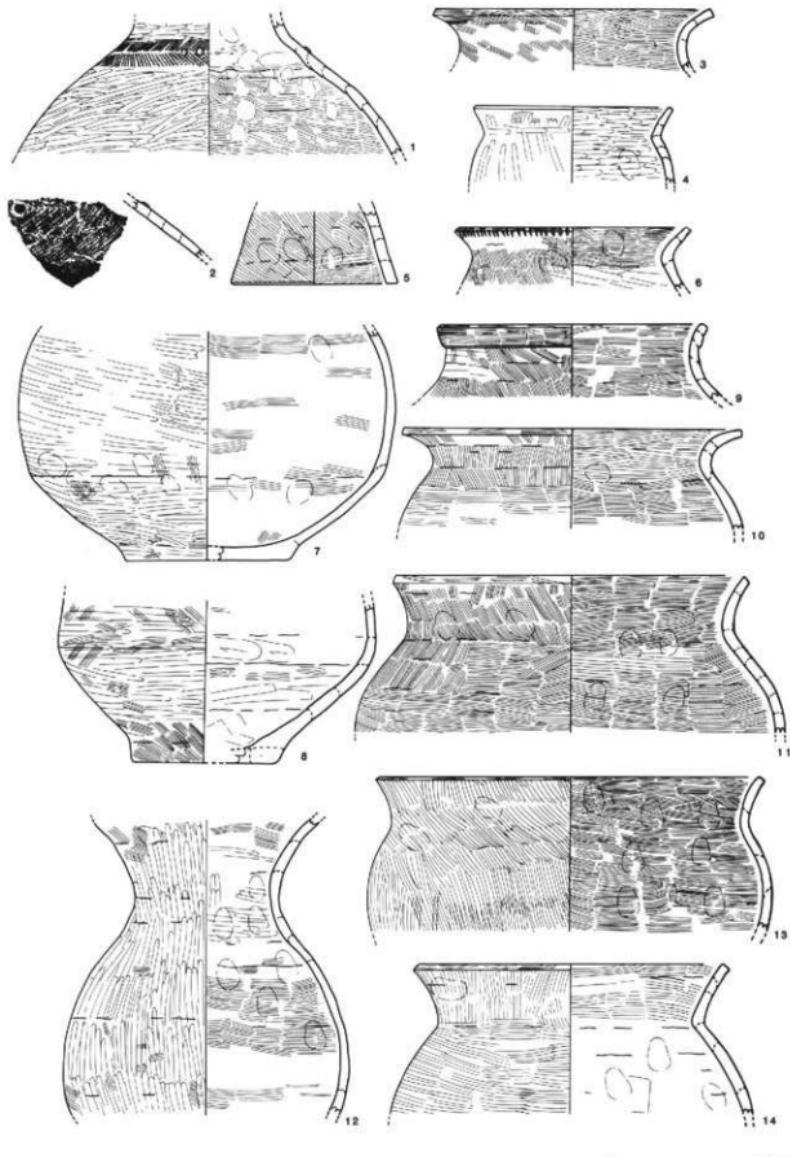


0 10cm

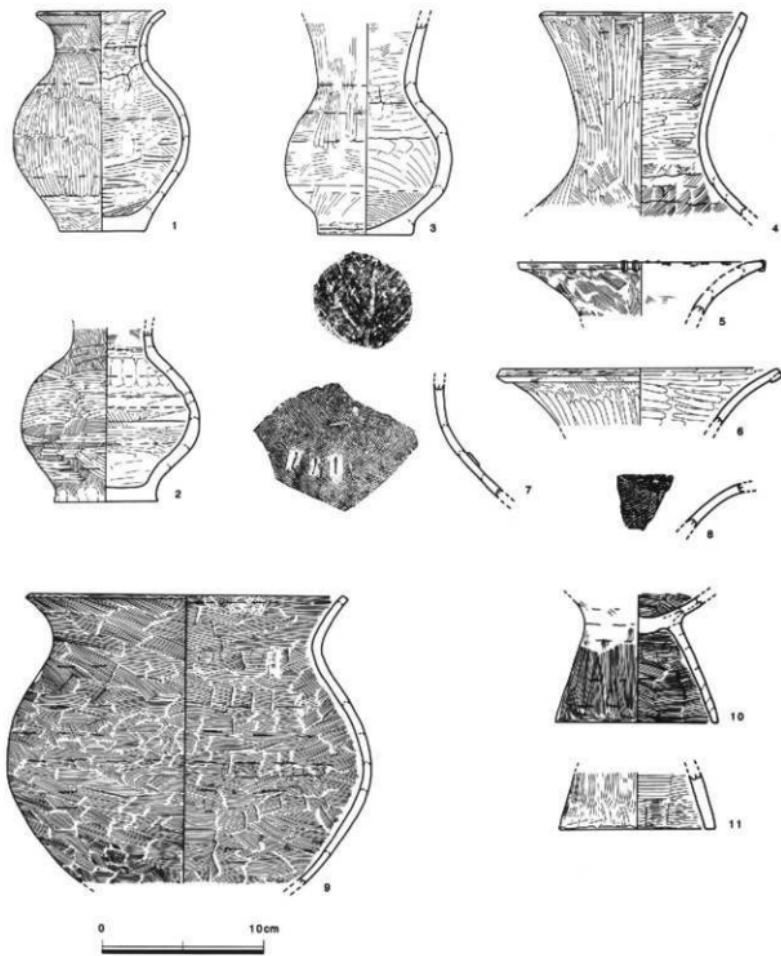
第103図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (21)



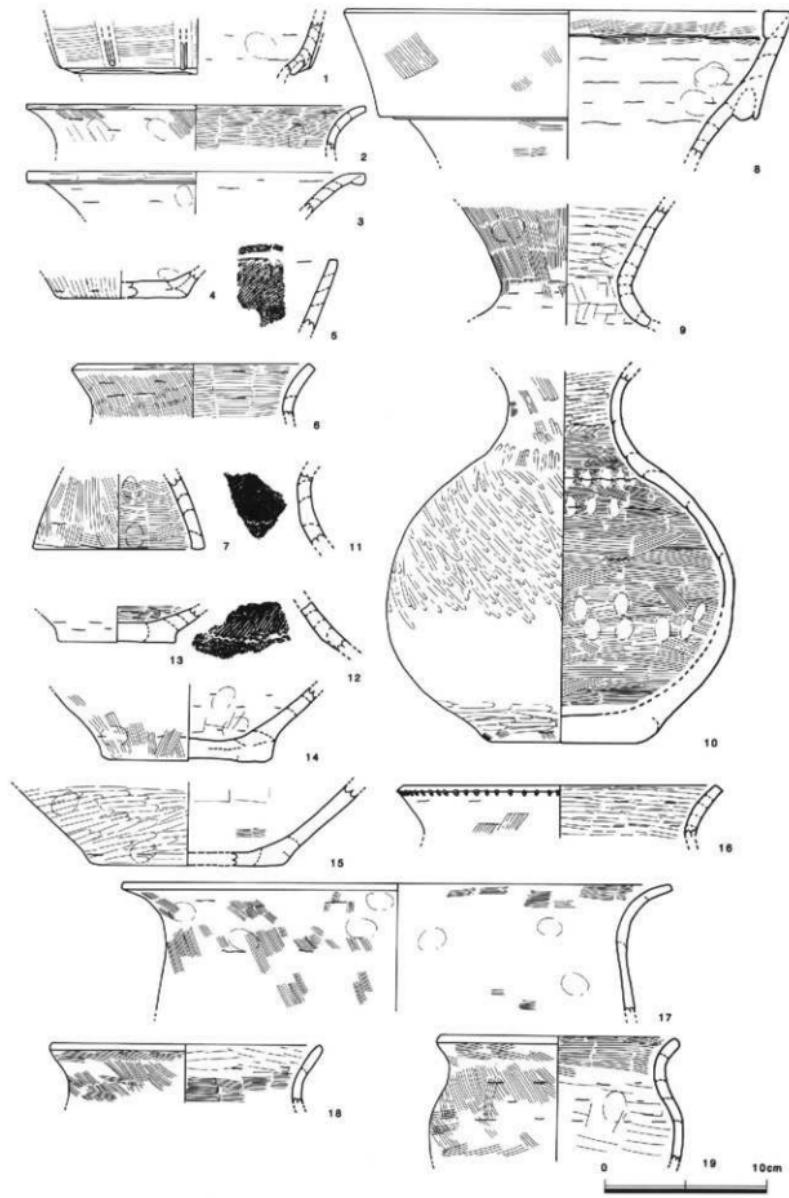
第104図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (22)



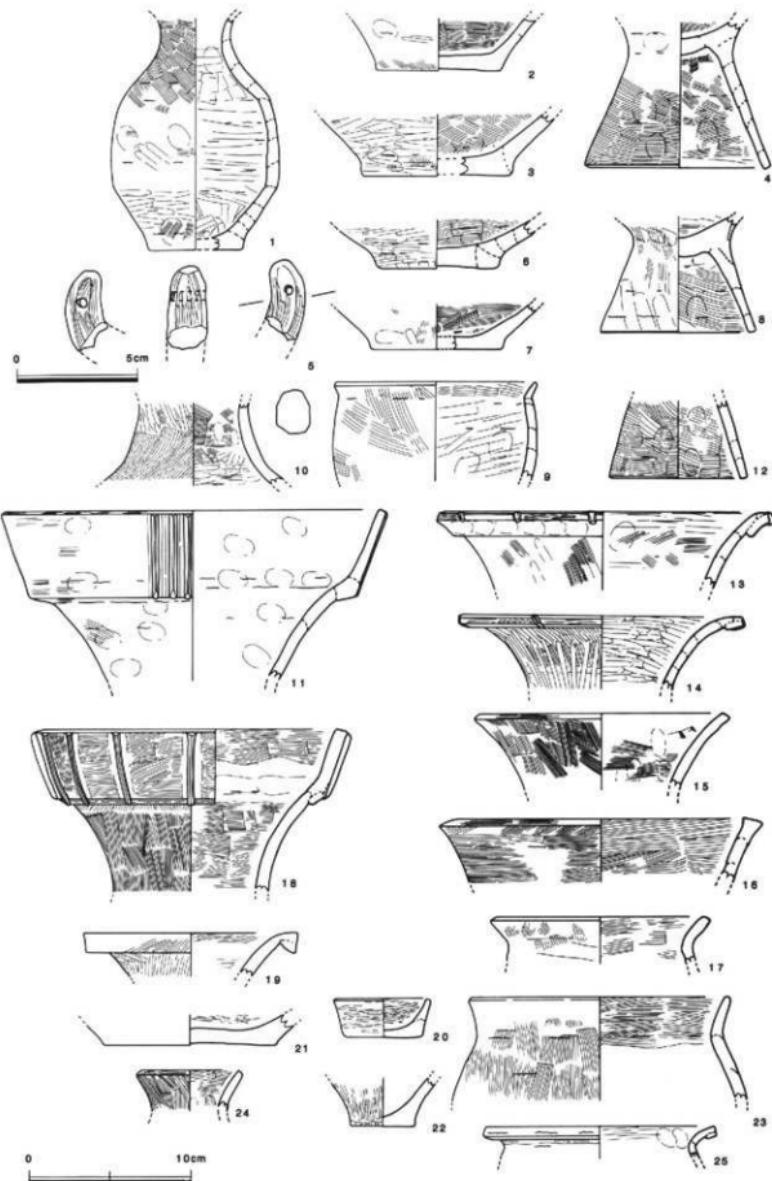
第105図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (23)



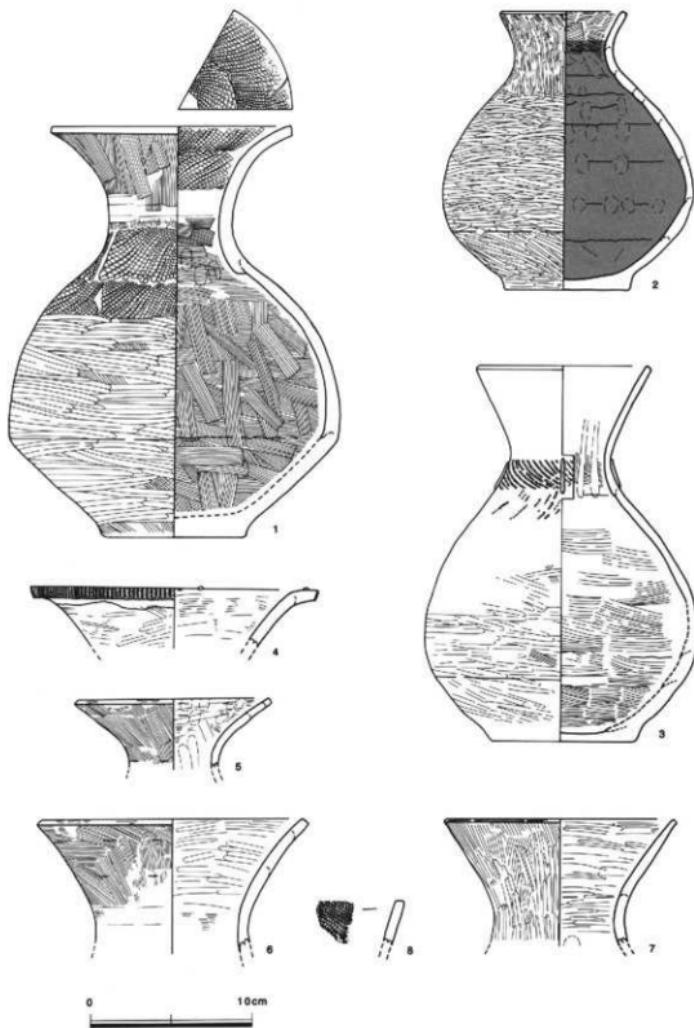
第106図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器 (24)



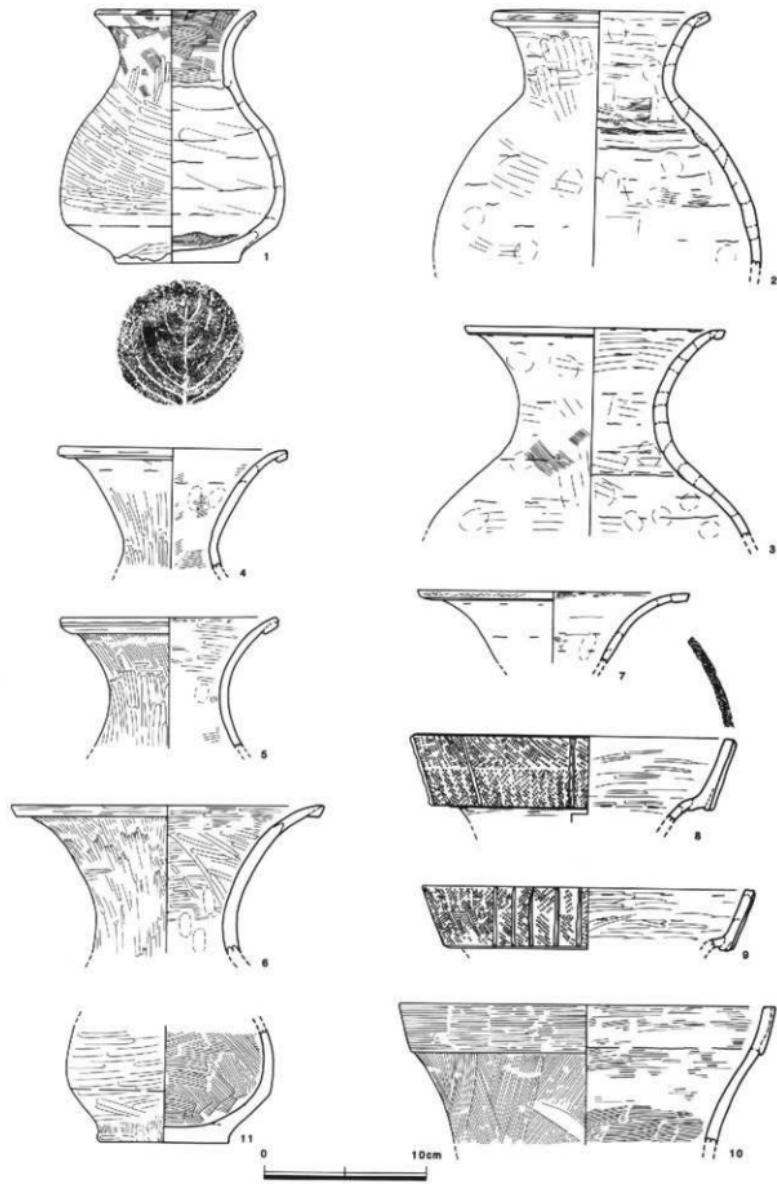
第107図 5区弥生時代竪穴住居出土土器 (25)



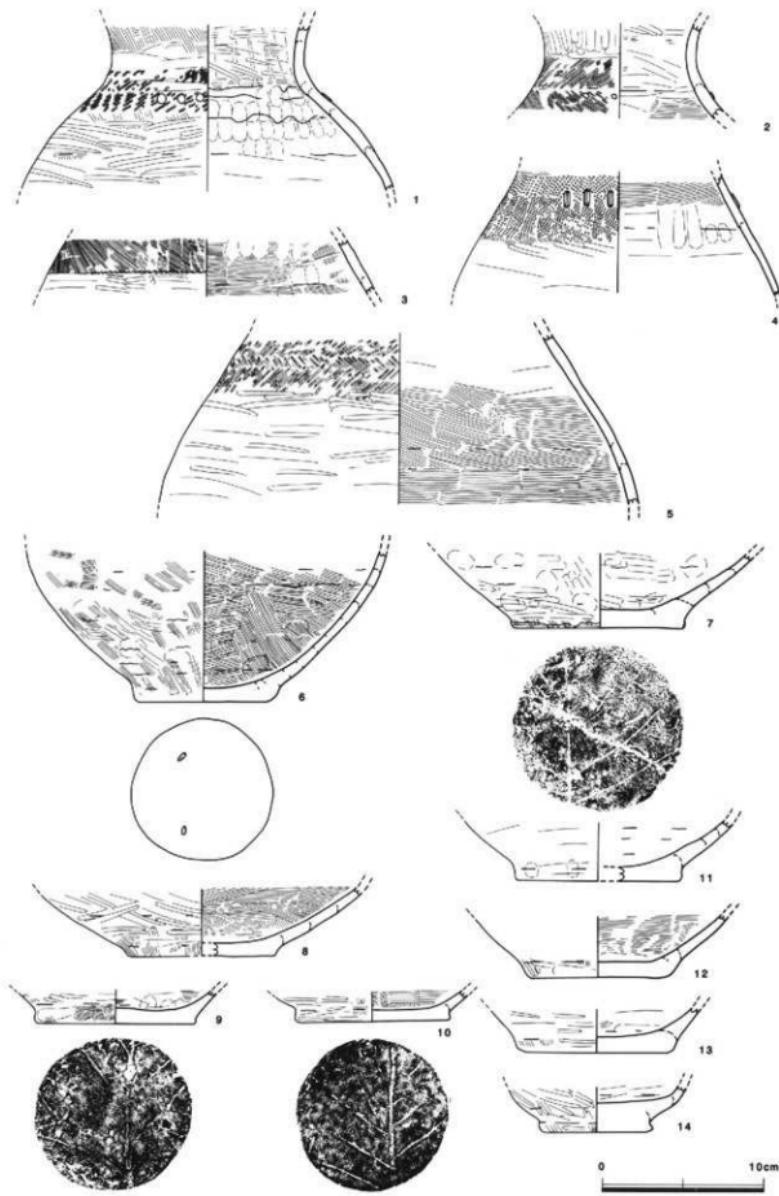
第108図 5区弥生時代竪穴住居跡出土土器・土製品 (26)



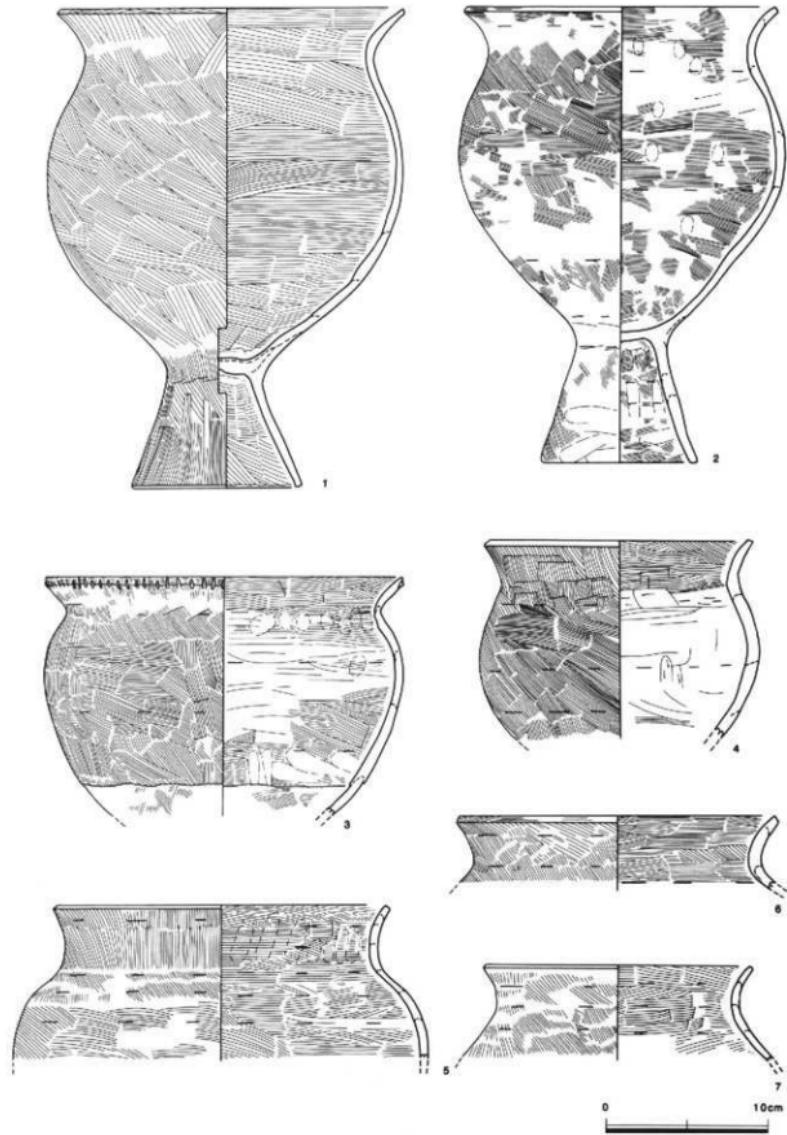
第109図 弥生時代1号方形周溝墓出土土器（1）



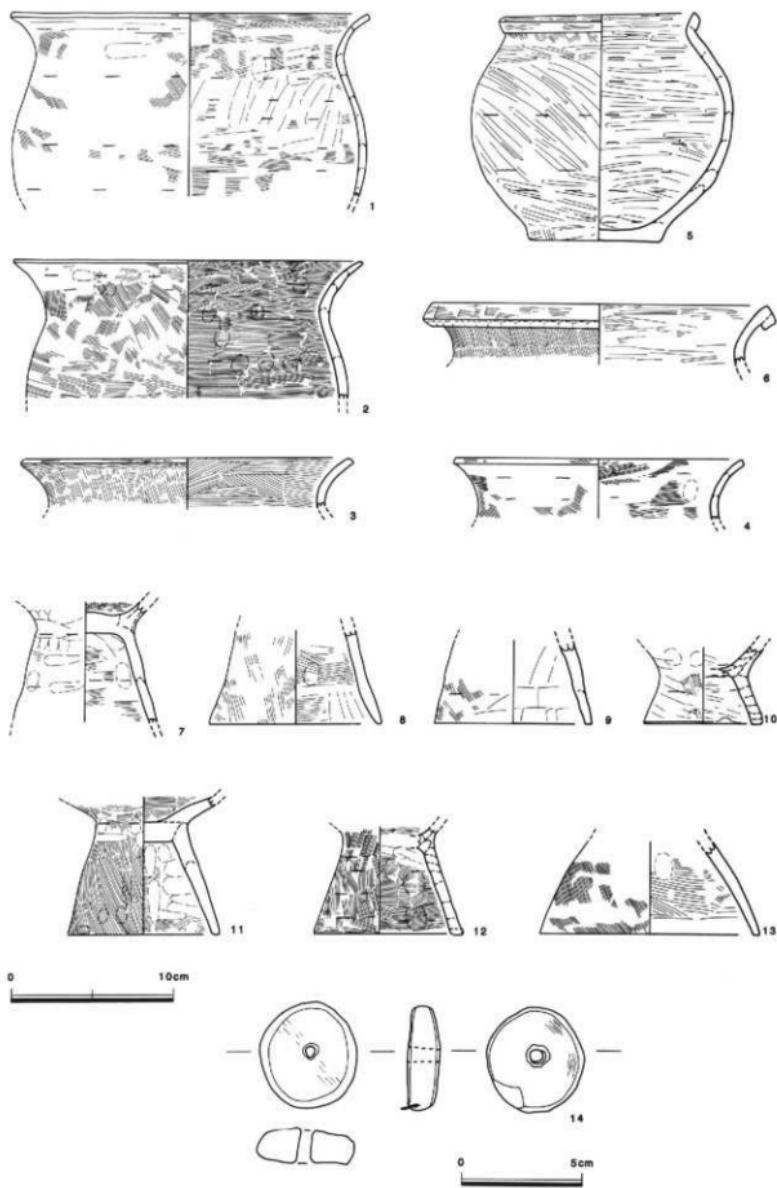
第110図 弥生時代1号方形周溝墓出土土器（2）



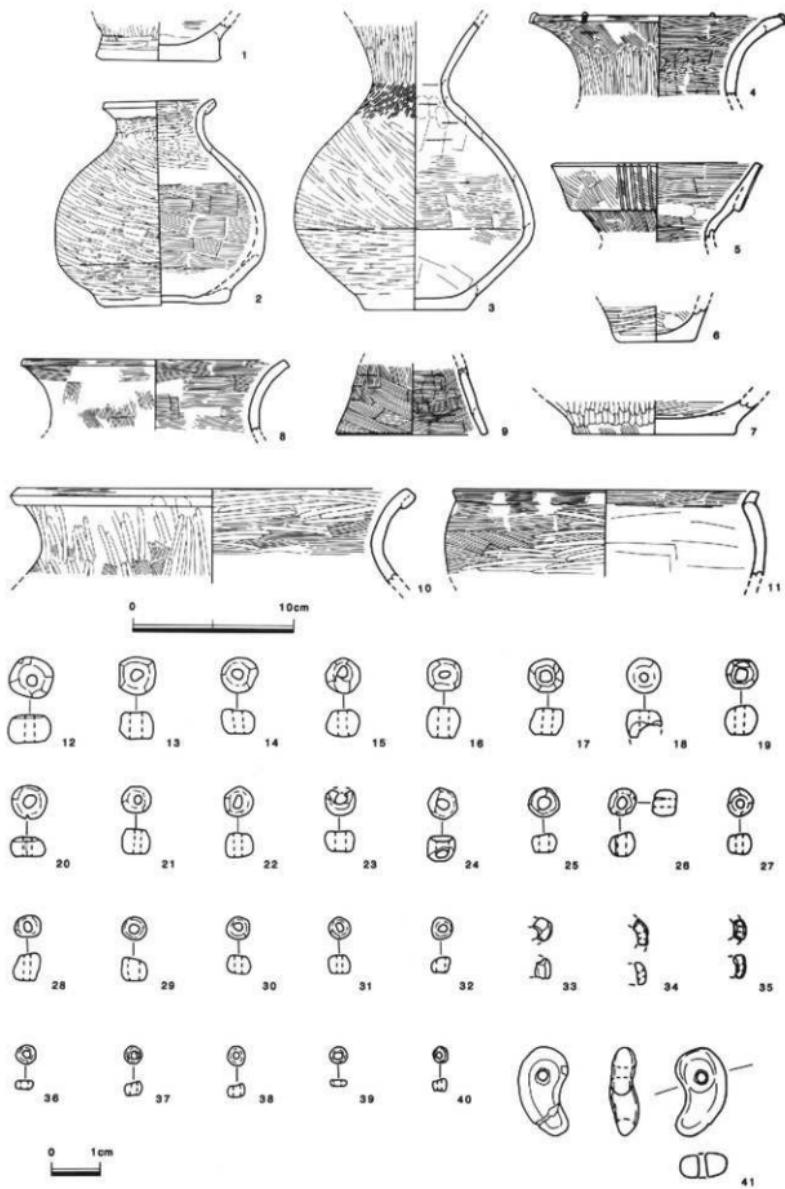
第111図 弥生時代1号方形周溝墓出土土器（3）



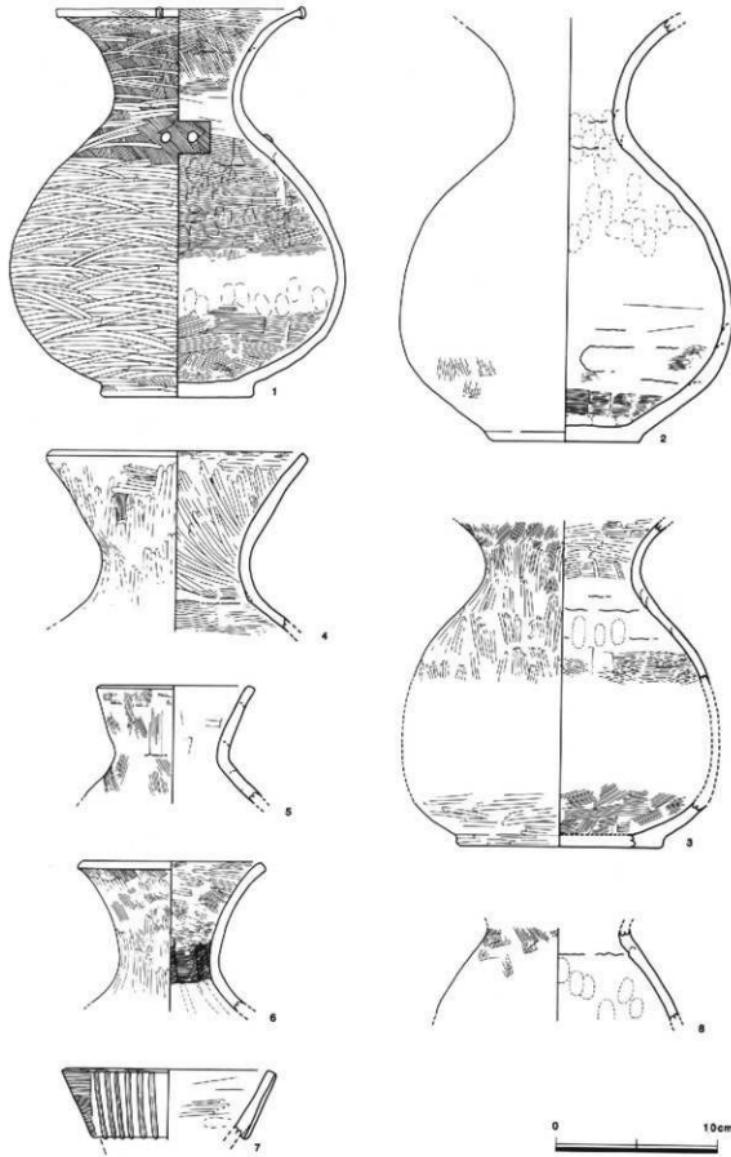
第112図 弥生時代1号方形周溝墓出土土器（4）



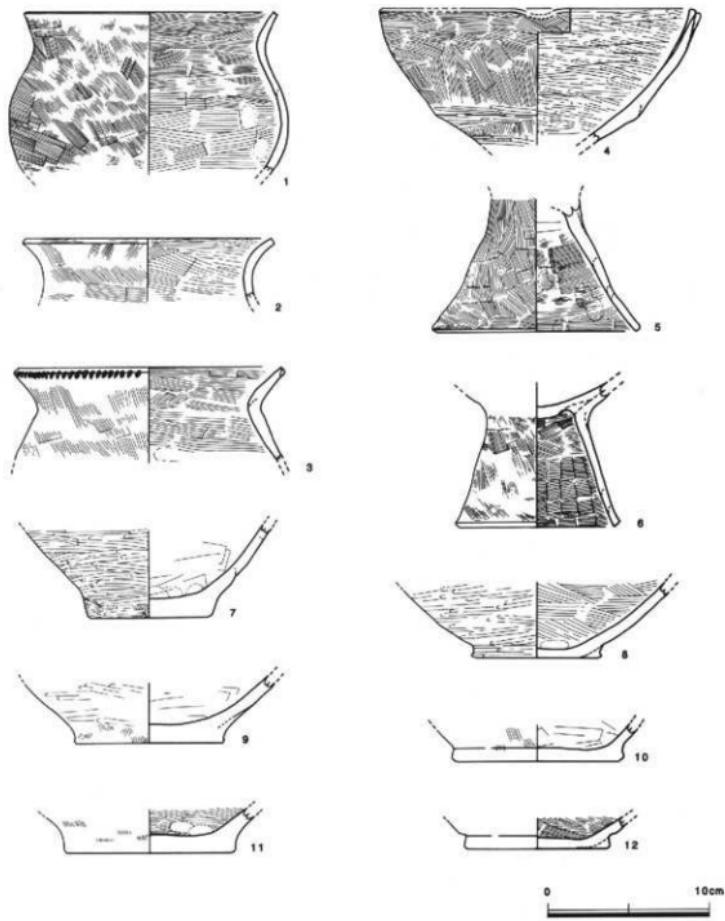
第113図 弥生時代1号方形周溝墓出土土器・土製品(5)



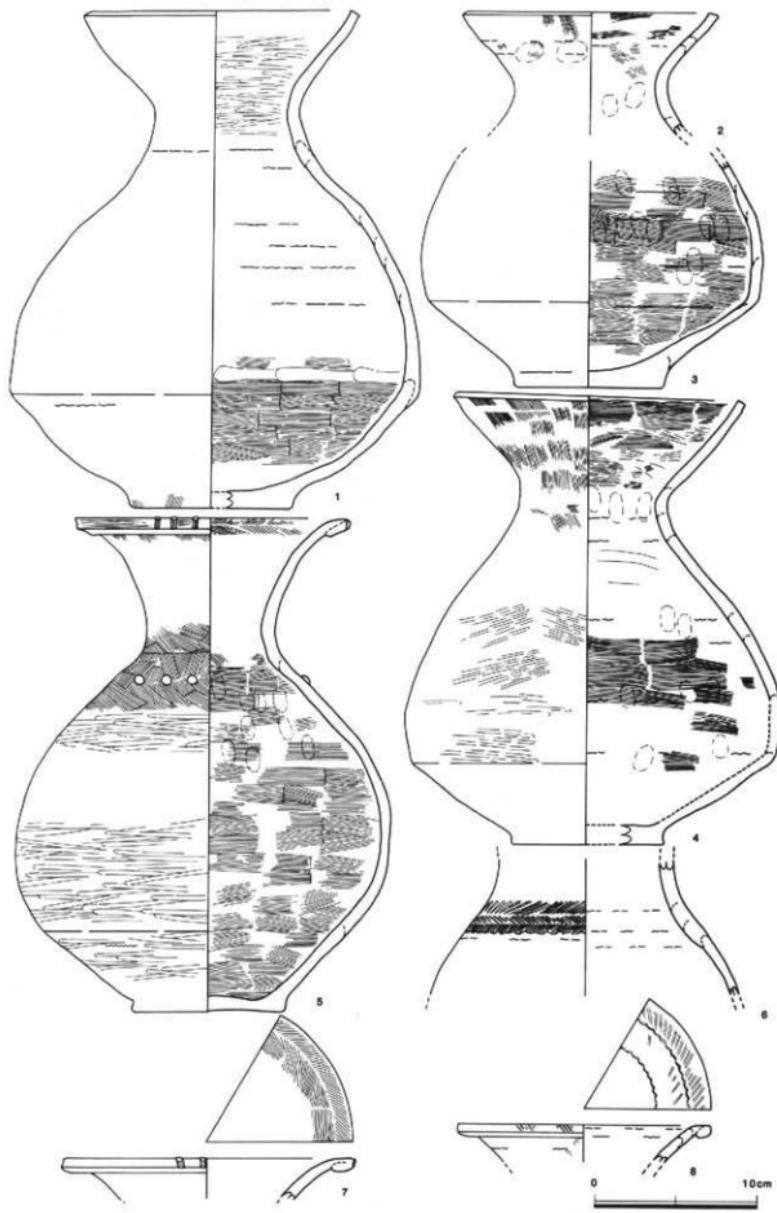
第114図 弥生時代2号・3号方形周溝墓出土土器・ガラス製品



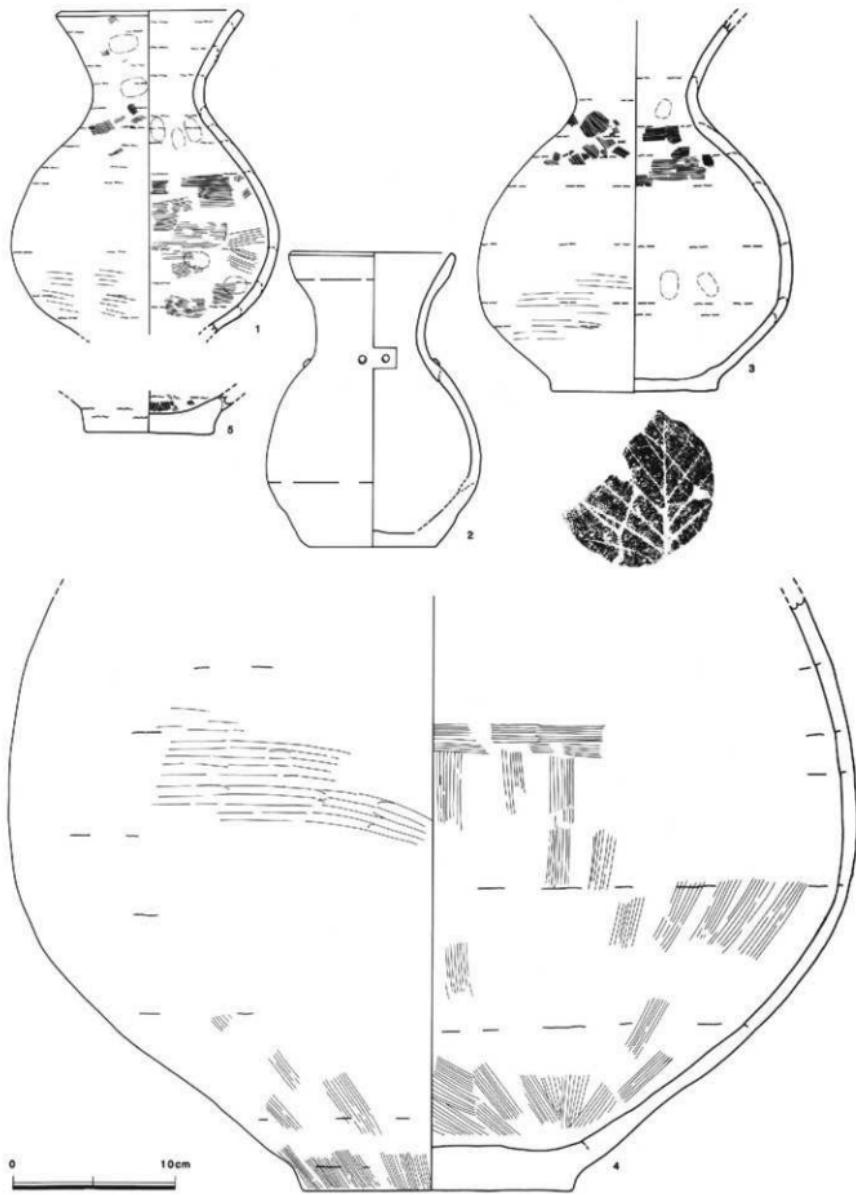
第115図 弥生時代土器廐塚1出土土器（1）



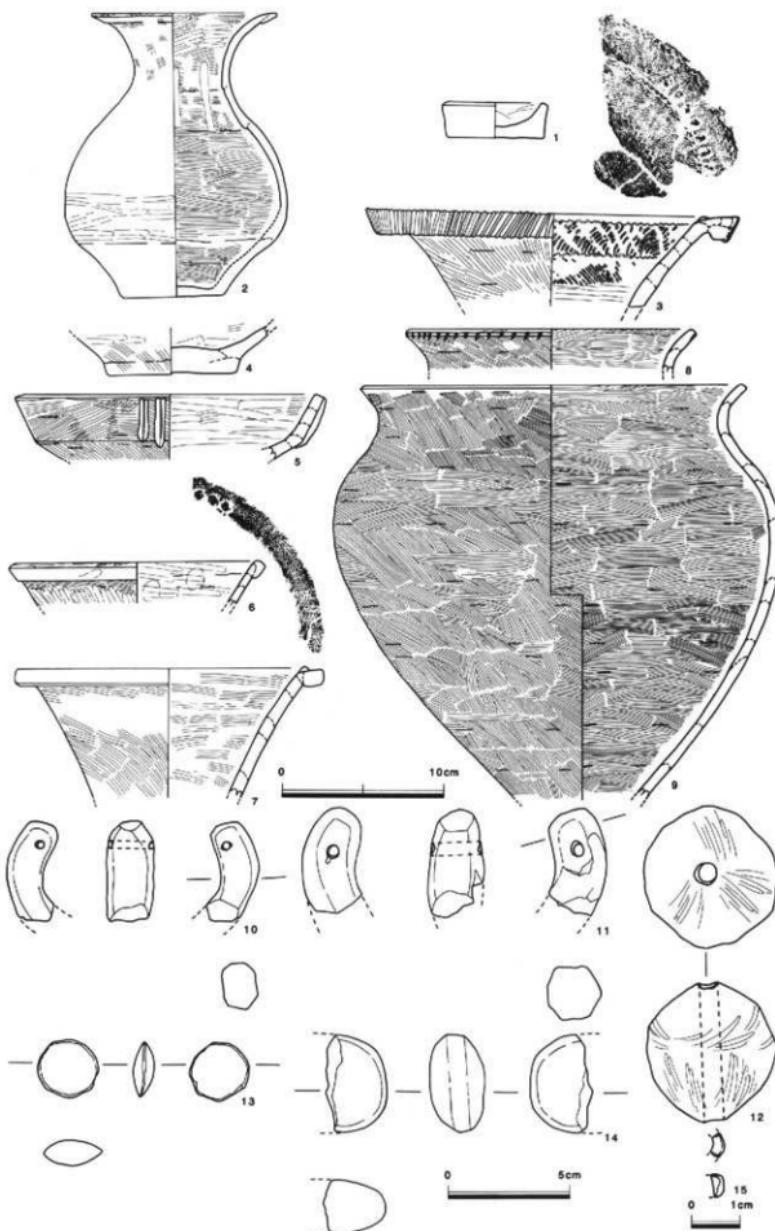
第116図 弥生時代土器廃棄遺構1出土土器（2）



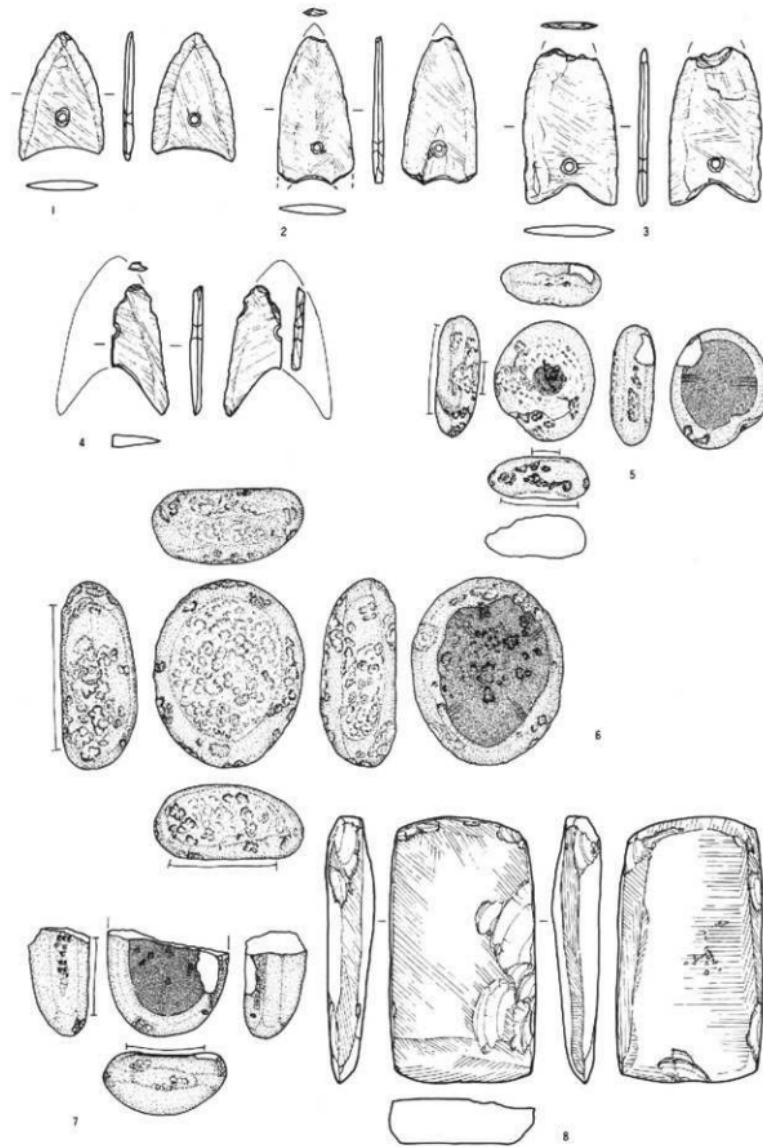
第117図 弥生時代土器庶民造構2出土土器（1）



第118図 弥生時代土器廃棄遺構 2 出土土器 (2)



第119図 弥生時代その他の遺構・遺構外出土土器・土製品



1～4. 有孔磨製石器 (縮尺4／5)

5～7. 破石・磨石 (縮尺1／3)

8. 崩平片刀石斧 (縮尺2／3)

第120図 弥生時代石器

番号	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
20-1	S B101 覆土	壺	現存高：1.3 口径：(14.5)	折り返し口縁部。口縁部は大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口沿部は直取。	外面部底部下側にハケ工具で削る。内部は他の施設のため調整せず、内面全体タタハケをむかわせている。	胎土：普通(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：5Y R5/6明黄褐色	口縁部1/12残存 全体的に磨滅
20-2	S B101 覆土	壺			外面部タタハケ後ナゾアの後、R.L側位縞文と表文し、文様下部はヨコヘラミヨガ。	胎土：普通(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/6明黄褐色	西面部破片
20-3	S B101 覆土	壺	現存高：2.3 底径：(7.2)	粗く直立する壺の断面。	外面部ヨコヘラミヨガがわざかに残る。底部ヨコナギ。 内面全体ナゾア。	胎土：やや粗(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	底部1/4残存 全体的に磨滅
20-4	S B101 覆土	壺	現存高：2.6 横幅：(11.9)	脚部に比して腹部の大きな台状の脚部。底部へ脚部は内傾して開く。	外面部全体細かいテタハケ後削り凹凸。 内面脚部近いヨコヘラミ。 脚上位にヨコノカケ、天井部ナゾア。底面開き。	胎土：やや粗(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4にぼい青	底面完存 帽部1/4残存
20-5	S B103 覆土	壺	現存高：1.4 口径：(8.4)	折り返し口縁部。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面は斜く、断面は四角形を呈する。口沿部は直取り。	外面部底部タタハケをナゾア。折り返し口縁部ヨコヘラミ。底部ヨコナギ。 内面全体ナゾア。底はヨコヘラミ後削り表文。	胎土：普通(石英・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黄褐色	口縁部1/10残存 全体的に磨滅
20-6	S B103 覆土	壺	現存高：2.2 底径：(8.0)	粗く直立する壺の断面。	外面部と同様のため調整不明。	胎土：微(白色粒・黒色粒) 焼成：良 色調：5Y R6/8	底部1/4残存 全体的に磨滅
20-7	S B103 覆土	壺	現存高：4.3 口径：(9.9) 底径：5.7	底部は直立的外方に開く。口沿部は直取り。	外面部全体ヨコヘラミヨガがわざかに残る。口沿部ヨコナギ。 内面底部ナゾア。底部をヨコヘラミを一部ナゾアす。	胎土：普通(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6	口縁部1/3残存 滲部完存 外面部残
20-8	S B104 覆土	壺	現存高：3.0 底径：(13.0)	底部から直通斜下位が大きくて外方に開く。	外面部と同様のため調整不明。	胎土：普通(白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：10Y R5/8青褐色	肩下位～底部1/4残存 全体的に磨滅
20-9	S B105 覆土	壺	現存高：7.8 口径：(16.5) 底径：(15.1)	脚上位はわざかに丸く張って脚部につながる。底部は緩やかに円曲し、口縁部は直立的外方に開く。口沿部は表取りし、上部を斜角的に尖らせる。	外面部上位ヨコヘラミ。脚部一部脚部タタハケ。口縁部ヨコヘラミの後、F字形ハケ工具で鋸みをされる。 内面底部全体板ナゾア。底部ヨコヘラミヨコヘラミ。	胎土：微(石英・黑色粒) 焼成：やや良 色調：7.5Y R6/6	口縁部1/2、底部～脚上位1/4残存
20-10	S B105 覆土	壺	現存高：9.4 口径：(20.2) 底径：(19.3)	大型の付付窓。脚上位に張らずに脚部につながる。底部は緩やかに円曲し、口縁部は直立的外方に開く。口沿部は表取りし、上部を斜角的に尖らせる。	外面部ヨコヘラミ脚上位ヨコヘラミ。 口縁部ヨコヘラミヨコヘラミの後、F字形ハケ工具で鋸みをされる。 内面底部全体板ナゾア。大井筋ナゾア。 底面ヨコヘラミヨコヘラミ。	胎土：やや粗(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R5/6明黄褐色	口縁部～脚上位1/8残存 外面部残
20-11	S B105 覆土	壺	現存高：7.3 横幅：(7.7)	底部～脚部が直立的に開く台付窓の脚部。	外面部全体タタハケをナゾア。 内面底部全体板ナゾア。大井筋ナゾア。 底面ヨコヘラミヨコヘラミ。	胎土：普通(白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	脚部ほぼ完存 (底部1/4残存)
20-12	S B105 覆土	壺			外面部擦き表状がわざかに残る。底面は磨滅のため調整不明。 内面全体擦きナゾア。	胎土：普通(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8青褐色	脚部破片 全体的に磨滅
20-13	S B105 覆土	壺			外面部はハラフ工具で直面ヨコヘラミの中に山形の文様を書き、2層以上1層の凸形厚壁を貼りつける。 内面全体ナゾア。	胎土：普通(石英・白色粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脚部破片 全体的に磨滅
20-14	S B105 覆土	鉢	現存高：2.4 口径：(7.7) 底径：(5.6)	小型の鉢。内部は直立気味に外傾する。口沿部は丸い。	外面部と同様のため調整不明。	胎土：普通(石英・白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	口縁部～底辺1/2残存 全体的に磨滅
20-15	S B106 覆土	壺			外面部擦き表状が2条文様。文様下部はヨコヘラミヨガ。	胎土：普通(石英・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/8	脚部破片 全体的に磨滅
20-16	S B108 覆土	壺	現存高：13.5 口径：(13.8) 底径：(13.6) 最大径：(18.8)	脚部は最大膨大を有した下位が最も下部の脚部形状を呈する付付窓。脚部は緩やかに屈曲し、口縁部は直取り、直立的に外傾する。17唇部は表取り。	外面部タタハケ。口縁部ヨコヘラミ。ケルヒークに残る底は磨滅のため調整不明。 内面底部全体板ナゾア。17唇部ヨコヘラミ。	胎土：普通(石英・白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	口縁部～脚中位1/2残存 外面部残
20-17	S B108 覆土	鉢	現存高：4.2 口径：(18.9)	脚上位～口縁部は直立的外方に立ち上がり、瓶部は断続的な指詰ナゾアでわざかに屈曲させて造り出す。口沿部は直取りし、上端を鏡面的に尖らせる。	外面部削痕ナゾア。口沿部ヨコナギ。 内面底部全体板ナゾア。	胎土：やや粗(白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	口縁部～瓶部1/8残存 全体的に磨滅
20-18	S B108 覆土	壺	現存高：2.8 口径：(13.4)	折り返し口縁部。口縁部は直立的外方に大きく開く。折り返し面の接合部を丁寧に削っている。口沿部は直取り。	外面部と同様のため調整不明。	胎土：普通(石英・黑色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/6明黄褐色	LII縁部1/8残存 全体的に磨滅

表 8-1 弥生土器観察表 (1)

番号	出土遺構	器	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
20-19	S B108 覆土	壺	現存高: 2.3 口径: 1.15; 残径: (24.0)	單孔門形縫。腹部は大きく外反する。口部は開口。	外面内側タケハク後、口唇部タコハクの後、下端に1-2mmで細かい肩のみを削り落として入れる。 内面全体タコハクに羽状の創造文を施す。	胎土: やや粗(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5 YR 6/6焼	口縫部1/6残存
20-20	S B108 覆土	壺	現存高: 4.9 口径: (19.4) 残径: (8.8)	縫の位置が高い個体。頸部は非常に狭く、腰部はわざと外反する。底部はわずかに内反する。	外面全体タケハクをはずかに残す。 内面全体ヨコハクをはずかに残す。	胎土: 蒼透(石灰・白色粒・黑色物) 焼成: 普通 色調: 7.5 YR 7/8黄褐	口縫部~肩部1/6残存 全体的に磨滅
20-21	S B108 覆土	小壺 蓋	現存高: 10.6 直径: (6.2) 底径: (10.6)	腹部は下端に輪火状を有した腰膨れを施す。底部は腰らずに低い頭部につながる。	外面底部タケハクミガキの痕は磨滅のため調査不明。 内面全体ナメ。	胎土: 蒼透(石灰・黑色配) 焼成: 普通 色調: 10 Y R 7/4赤い黄褐	頭部一部、底部1/6残存 頭部赤彩
20-22	S B108 覆土	壺	現存高: 3.3 口径: (7.4)	腰部が直線的に開く丸形容器。	外面全体ナメ。 内面全体ヨコハク。	胎土: 蒼透(石灰・黑色配) 焼成: 普通 色調: 3 Y R 5/6黄褐	腰部1/4残存 外面神威
20-23	S B108 覆土	壺	現存高: 4.7	直線的に開く脚部。	外面全体タケハミガキの後、脚部に櫛刷毛瓦経文を2条施す。 内面底部全体ヨコハク。	胎土: 蒼透(石灰・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5 Y R 6/6焼	脚部1/2残存 (脚部欠損)
21-1	S B110 覆土	壺 身	現存高: 11.0 口径: (23.1) 残径: (20.2)	折り返し1縫を持つ大形の壺または瓶。肩には丸く張って脚部につながる。頭部は波打つやや丸い頭部で、底は直線的に立ち上る。腹部に直線的に大きく外反し、記念した輪火状を施す。口部は直線的に立ち上る。	外面脚上位ヨコハク。口縫部はナメハク。折り返し第1、11回筋はヨコハク後ヨコナメ。 内面全体ヨコハク。	胎土: やや粗(石灰・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5 Y R 6/6焼	口縫部~脚上位1/3残存 外表面保有
21-2	S B110 覆土	壺	現存高: 7.1 口径: (20.9) 残径: (18.4)	脚部は緩やかに屈曲し、脚部は直線的に外傾する。口部は直線的。	外面全体ヨコヨコまたはナメハクの上に、脚部・脚上位は非常に細かいナメハクの後、頭部ヨコハク。 内面脚上位ヨコハク。口縫部~脚部は直線的に外傾する。	胎土: やや粗(石灰・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5 Y R 6/6焼	口縫部~脚上位1/4残存
21-3	S B109 覆土	壺	現存高: 9.7 口径: (18.0) 残径: (10.4)	複合口縫壺。頭部は瘤く、1/3腹部は腰やかに外反する。腰部は口縫部を施さず、外方に拵す。腰部を盛りつけ直造りし、直線的に外傾する。口部は直線的。	外面口縫部~頭部ヨコハク。複合脚上位ヨコハク後ヨコハクの後。3本1回筋の等厚手筋を4方に貼り付ける。口部ヨコハク。 内面全体ヨコハク。	胎土: やや粗(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 10 Y R 6/4赤い黄褐	口縫部1/3、底部1/4残存
21-4	S B111 覆土	壺 身・脚	現存高: 5.6 口径: (21.6) 残径: (17.5)	折り返し1縫を持つ要は瓶。頭部は緩やかに屈曲し、脚部は直線的に外傾する。口部は直線的。	外面脚上位~脚部ヨコハク後タテハマハク。折り返し1回筋。口部部ヨコハク。 内面全体ヨコハク。	胎土: 蒼透(白色粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 10 Y R 5/6黄褐	口縫部~脚上位1/4残存
21-5	S B111 覆土	壺	現存高: 3.3 底径: (5.7)	頭部から底部に渡る下位が大きくなり、外方に開く。	外盤全体タケハク後タテハマギギ。 内面脚下位ヨコハクの後、全体ナメ。	胎土: 蒼透(輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5 Y R 6/6焼	底部完全(脚下位)で少缺
21-6	S B116 覆土	壺	現存高: 1.3 口径: (16.0)	折り返し1縫を持つ外反瓶。折り返し1回筋の断面は四角形を呈する。肩部は直線的。	外盤内面ヨコハクがわざわざ記念した横縫の頭部下位が大きくなる。内面全体ヨコハク。	胎土: やや粗(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 10 Y R 6/6黄褐	口縫部1/6残存 全体的に磨滅
21-7	S B116 覆土	壺 身・脚	現存高: 7.1 口径: (12.5) 残径: (12.2) 底径: (12.9)	折り返し1縫を持つ外反瓶。頭部はやや丸く、腰部は直線的に外傾する。折り返し1回筋の断面は四角形を呈する。肩部は直線的。	外面口縫部~脚部ヨコハク一部ナメハク。折り返し1回筋タテハマハク。口部ヨコハク後ヨコハク後ヨコナメ。 内面脚上位ヨコハク。	胎土: 普通(白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5 Y R 5/6黄褐	口縫部~脚中位1/3残存 21-8と同一個体?
21-8	S B116 覆土	壺	現存高: 6.4 口径: 7.7	頭部が直線的に外反瓶。口部は直線的。	外面脚部全体ヨコハク後タテハマハク。脚上位は細いタテハマ。 内面脚部ヨコハク。天井部ナメ。底面ヨコハク。	胎土: 普通(黑色粒) 焼成: やや良 色調: 5 Y R 6/6焼	脚部完存 21-7と同一個体?
21-9	S B117 覆土	壺	現存高: 3.4 口径: (20.8) 残径: (19.8)	頭部は非常に腰やかに屈曲し、口縫部は直線的にわざと外傾する。口部は直線的。	外面口縫部~脚部ヨコハク。頭部は細いタテハマ。 内面脚部ヨコハク後板付。	胎土: 普通(輝石・黑色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5 Y R 5/6同港	口縫部~頭部1/4残存
21-10	S B117 覆土	壺	現存高: 5.7 桶幅径: (8.3)	頭部~脚部ヨコハクに開く台付壺の脚部。	外面底部ヨコハク。脚上位は細いタテハマ。 内面全体ヨコハク。	胎土: 普通(輝石・白色粒・黑色粒) 焼成: やや良 色調: 10 Y R 6/4によい黄褐	桶部1/4残存
21-11	S B117 覆土	壺			外面6箇1単位の内側浮突を盛り付ける(底付5段)。 内面全体磨滅のため調整不明。	胎土: 蒼透(石灰・輝石・白色粒) 焼成: やや良 色調: 10 Y R 6/6黄褐	脚部破片 全体的に磨滅

表 8-2 弥生土器観察表 (2)

断面	山土道構	種	計画値 (cm)	形态の特徴	調整・手法の特徴	始ト・焼成・色調	備考
21-12	S B118 覆土	甕	現存高：6.6 口径：7.4	底部～脚部に内側突出し開く台形の脚部。	外向脚部ヨコハケ。脚上位タテハケ。 内面脚部基部ガラス。天井部ケタ。底面ナガ。	始ト：やや密(砾石、白色粒、黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	脚部ほぼ完存(脚部1/2欠損)
21-13	S B119 覆土	甕	現存高：3.0 口径：(10.0)	底部から直接脚下位に続く畠の底形。	外向全体ヨコハケミガキ。 内面全体ヨコハケ。	始ト：普通(石英・白色粒、黒色粒) 焼成：普通 色調：5Y R5/6明青	底部1/4残存
21-14	S B120 <sup>9</sup> 覆土	甕	現存高：9.2	網上位が丸く張る唇の脚部。	外向脚上位ヨコハケミガキ。肩部はしき焼成陶文4段施文後、円形原文を馳りつける。 内面全体ヨコハケ。	始ト：やや密(石英・白色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	肩部一部1/4残存
21-15	S B120 覆土	甕			外向全体ヨコハケミガキの後、腰引き波文を2条裏面。 内面全体ナガ。	始ト：普通(石英・砾石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R5/6明青	肩部破片
21-16	S B120 覆土	甕	現存高：8.1 口径：(8.2)	底部～脚部が直線的に、直立気味に開く台付型の脚部。	外向脚部にヨコハケかほりがわざに残る他、脚部のため調整不良。 内面脚部ヨコハケ。天井部ナガ。腰引波文を2条裏面。	始ト：普通(石英・白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	脚部ほぼ完存(脚部一部欠損)
22-1	S B122 P-1	小 多 量	現存高：10.4 口径：(5.1) 最大径：9.9 底径：5.3	半兜の脚部。脚部は下位で幾度を経て内側突出し開く台付型の脚部を示す。脚部は丸らずに太く、底の脚部にはなりがち、口唇部は最もやかに外反する。口唇部は腰取り。	外向脚上位ヨコハケミガキ。脚上位タテハケ。 脚一部～脚部腰取ナガハケ。脚上位1/2位ナメナヘミガキ。口唇部ヨコナガ。 内面全体ヨコハケミガキ。	始ト：普通(石英・砾石、黑色粒) 焼成：普通 色調：10Y R5/6黄褐	ほぼ完存(口唇部1/4残存)
22-2	S B122 P-2	甕	現存高：10.0 口径：(9.6)	底部～脚部が直線的に、直立気味に開く台付型の脚部。	外向脚部ナメハケ。脚上位タテハケ。 内面脚部全体ヨコハケ。天井部ナガ。	始ト：やや密(石英・白色粒、黑色粒) 焼成：やや貞 色調：10Y R5/6黄褐	ほぼ完存(口唇部1/4残存)
22-3	S B122 覆土	甕	現存高：4.9	底部～脚部が直線的に開く台付型の脚部。天井部の上に粘土を充填せりつけているのが、その間に空隙にならん。	外向全体ヨコハケかほりがわざに残る。 内面脚部全体ナガ。	始ト：普通(石英・白色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	脚部1/2残存(脚部欠損)
22-4	S B122 覆土	甕	現存高：1.9 口径：(18.6)	折り返しし腰張。口唇部は大きく外反する。折り返しし、腰の断面は四角く、口唇部は腰取り。	外向口縁部タテハケ。折り返しし、口唇部ヨコナガ。 内面全体ヨコハケの後、腰引き波文を2条裏面。	始ト：普通(石英・白色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6	口縁部1/2残存
22-5	S B122 覆土	甕	現存高：5.1 口径：(18.2)	複合口縁部。口縁部は大きく外反する。口唇部を直角に腰張りせず横曲りし、腰の断面は四角く、口唇部は腰取り。	外向口縁部タテハケ。複合部ヨコハケをナメ脱した後、2本柱と1串柱の棒状突起を腰張りし、腰の断面は四角く、口唇部ヨコナガ。 内面全体ヨコハケ。	始ト：普通(石英・白色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	口縁部1/1残存 全体的に磨滅
22-6	S B122 覆土	甕	現存高：4.6 口径：(24.8) 底径：(21.1)	脚部は底から屈曲し、口唇部は直角的に外傾する。口唇部は腰取り。	外向脚部ヨコハケ。脚上位タテハケ。 内面脚部ナガ。	始ト：やや粗(石英・白色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：10Y R5/4に近い黄褐	口縁部～脚部1/5残存 外向脚部
22-7	S B122 覆土	甕	現存高：3.9 口径：(15.6)	脚部は非常に腰やかに腰張し、口縫部は直角的に外傾する。口唇部は腰取り。	外向全体タテハケがわざに残る。 内面全体ヨコハケがわざに残る。	始ト：普通(小石多し、白色粒、赤色粒) 焼成：やや軟 色調：5Y R7/6	口縁部～脚部1/8残存 全体的に磨滅
22-8	S B122 覆土	甕			外向全体ヨコハケミガキの後、腰引き波文を複数。 内面全体ナガ。	始ト：やや粗(石英・赤色粒) 焼成：やや貞 色調：10Y R5/6明黄褐	肩部破片
22-9	S B122 覆土	甕			外向は下部にS字形輪廻文を伴うL.R横位窓2段裏面。 内面全体ナガ。	始ト：普通(石英・砾石、白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	肩部破片
22-10	S B122 覆土	甕		脚部は外側に断続三角形の段を有する。	外向脚部の底の直下に輪廻文を底文の他は腰張のため調整不良。 内面脚部のため調整不良。	始ト：普通(石英・白色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/6に近い黄褐	脚部破片 全体的に磨滅
22-12	S B124 覆土	甕	現存高：3.0 口径：(16.1)	単純口縁部。脚部は大きく外反する。口唇部は腰取り。	外向全体ヨコハケかほりヨコハケ後ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	始ト：普通(石英・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6	脚部1/8残存
22-13	S B124 覆土	甕	現存高：2.9 底径：5.5	底部から直接脚下位が外力へ開く。	外向全体ヨコハケ後ヨコハケヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	始ト：やや密(石英・砾石、黑色粒) 焼成：やや貞 色調：5Y R5/6明赤地	脚下位～底部完存

表 8-3 弼生土器観察表 (3)

地番	出土遺物	鷹	計画高 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
22-14	S B124 覆土	捷	現存高: 4.7 口径: (12.1) 底径: (11.8)	縁部に非常に繊やかに屈曲し、口 端部は西面に向てわずかに外傾する。 内面部は直取り。	外側全体タテハケ後、縁部ヨコハ ケ。口沿部ヨコハケ後、下端に ハラノ貝で底部を入れる。 内面頂部上位ナロコハケ一部ヨ コハケ。	胎土: やや重(石英・白色 粘土・赤色粒) 焼成: 灰 色調: 5Y R 6/8些	口縫部~底部1/10残存 外側縫付着
22-15	S B125 覆土	捷 外	現存高: 4.7 口径: (16.9)	外縁部は深く直線的に外方へ聞く。 内面部は直取り。	外側全体タテハケ後、LJ唇部ヨコハ ケ。内面全体板ナロ。	胎土: やや重(輝石・黑色 粘土) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 7/6些	底部1/8残存 外向筋試
22-16	S B128 覆土	捷	現存高: 2.9 口径: (21.0)	口縫部は大きく外反する。LJ唇部 は直取り。	外側全体タテハケ後、LJ唇部ヨコハ ケ後、T端にハラノ貝で底部を入れ る。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 薄(石英・白色粘 土・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R 6/6明黄褐色	口縫部1/6残存
22-17	S B139 覆土	捷	現存高: 3.4 口径: (12.4)	手縫口縫部。底部の内側が高く側 出し、底部は直線的に外方へ大きく 聞く。LJ唇部直取。	外側全体タテハケ後、LJ唇部ヨコハ ケ後、側出しの調節不規 則な底部ナロ。口縫部ヨコハケミ ガタがわざわざある。残る。	胎土: やや重(石英・白色 粘土・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 7/8黄褐色	L縫部~底部1/4残存 全体的に磨滅 22-18と同一個体?
22-18	S B139 覆土	捷	現存高: 5.8	側上位が丸く盛る肩の肩部。	外側全体タテハケ後、ヨコハケ後 の肩部ナロ。口縫部ヨコハケミ ガタ。	胎土: やや重(輝石・輝石・ 白色粘・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R 6/6些	肩部~側上位1/4残存 全体的に磨滅 22-17と同一個体?
22-19	S B139 覆土	捷	現存高: 5.3 底径: (9.2)	底部が丸く直してから側下位が くさく外方へ聞く。	外側全体タテハケ後、ヨコハケミ ガタ。ヨコヘラミガタを盛る。内面 部にはヨコナロ。	胎土: 薄(石英・黑色粘 土) 焼成: 普通 色調: 10Y R 6/6明黃褐色	側下位~底部1/6残存
22-20	S B139 覆土	小 腰	現存高: 11.8 最大径: 12.7 底径: 7.5	脚部は下位に怪人像を有した下脚 の脚部模型を呈する。底部は直線 的で、底部は脚部につながる。 底部は圓錐状。	外側脚下位ヨコヘラミガタ。肩 部はヨコハケ後、ヨコナロ。内面 全体ヨコハケ。	胎土: 薄(石英・黑色粘 土) 焼成: 普通 色調: 10Y R 6/4黄褐色	脚上位~底部ほぼ完存
22-21	S B142 覆土	捷	現存高: 2.6 口径: (16.8) 底径: (15.4)	脚部は繊やかに屈曲し、し縫部は 直線的に外傾する。口縫部は直取 り。	外側全体ナロ後脚部腰波状文を2 枚張り。 内面全体ナロ。	胎土: 薄(石英・黑色粘 土・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 6/6些	腰部袋狀 全体的に磨滅
22-22	S B143 覆土	捷	現存高: 2.6 口径: (15.4)	脚部は繊やかに屈曲し、し縫部は 直線的に外傾する。口縫部は直取 り。	外側口縫部ヨコハケ後、ヨコハケ 後ヨコヘラミガタ。さらに側脚ナロ。 口縫部ヨコナロ。 内面全体ヨコヘラミガタ。	胎土: 普通(黑色粘) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 6/6些	口縫部~底部1/2残存
22-23	S B143 覆土	捷	現存高: 4.4 底径: (9.0)	底第一脚部が直線的に聞くと土腰 の脚部模型。	外側全体脚部のため腰蓋を1回。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・白色 粘土・黑色粒) 焼成: やや黄 色調: 10Y R 5/4に近い黄 褐色	腰部1/6残存 外面磨滅
23-1	S B138 P-5	捷	現存高: 29.5 口径: 24.3 底径: 21.7 最大径: 29.9	大型の台付窯。脚部は上位に最大 径を有した脚部模型を呈する。脚部 は繊やかに屈曲し、し縫部は大き く外傾する。二層部は田字型で、 底部は直取り。	外側脚中位タテハケ。脚上位ヨコ ハケ。口縫部~脚部ヨコハケ後。 口縫部ヨコナロ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粘・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R 7/4に近い黄 褐色	脚部~脚上位5/6、脚中 位1/2残存
23-2	S B138 P-8	捷	現存高: 20.1 口径: 22.4 底径: 19.3 最大径: 24.3	大型の台付窯。脚部は中位に最大 径を有した脚部模型を呈する。脚部 は繊やかに屈曲し、し縫部は大き く外傾する。二層部は田字型で、 底部は直取り。	外側脚下位ヨコハケ。口縫部~脚 中位ヨコハケ後。脚部ヨコハ ケ。口縫部ヨコナロ。	胎土: やや重(石英・白色 粘土・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 7/8些	脚部~脚下位完存 外側縫付着
23-3	S B138 P-6	捷	現存高: 15.4 口径: (22.6) 底径: (19.0) 最大径: (23.7)	大型の台付窯。脚部は中位に最大 径を有した脚部模型を呈する。脚部 は繊やかに屈曲し、し縫部は大き く外傾する。二層部は田字型で、 底部は直取り。	外側脚中位ヨコハケ。脚部ヨコハ ケ後。脚部ヨコナロ。口縫部ヨコハ ケ後。口縫部ヨコナロ。	胎土: 普通(石英・白色 粘土・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 7/6些	脚部~脚上位3/8、脚中 位1/4残存
23-4	S B138 P-9	捷	現存高: 18.5 口径: 11.7 底径: 14.9 最大径: 16.2	台付窯。脚部は中位に最大径を有 した張りの小さい脚部模型を呈する。 脚部は繊やかに屈曲し、し縫部は直 線的に外傾する。二層部は田字型で、 底部は直取り。直立脚部に開口。	外側脚部ヨコハケ。脚部ヨコハ ケ後。脚部ヨコナロ。口縫部ヨコハ ケ後。口縫部ヨコナロ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粘) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 7/6些	ほぼ完存(脚部欠損)
23-5	S B138 P-3	捷	現存高: 8.0 口径: (11.7) 底径: (11.2) 最大径: (13.2)	台付窯。脚部は中位に最大径を有 した張りの小さい脚部模型を呈する。 脚部は繊やかに屈曲し、し縫部は わずかに外傾する。口縫部は直取 り。	外側全体ヨコハケまたはナロ メハケ後一部ヨコナロ。口縫部ヨ コナロ。	胎土: やや重(石英・輝石・ 白色粘・黑色粒・灰色粒) 焼成: やや軟 色調: 5Y R 6/6些	口縫部~脚上位1/2、脚上位 位部残存
23-6	S B138 小 腰	捷	現存高: 2.7 口径: (3.9) 底径: (1.9)	1.チーフの草鞋? 頭蓋? 腹部 の笠蓋が高く膨張。脚部は丸く 膨張し、脚部模型につながり。口 縫部は大きく外反する。口縫部は 直取り。	外側全体ヨコハケ後ヨコハ ケ。内面脚部全体ヨコハケ後。 内面脚部ヨコハケ。	胎土: やや重(石英・輝石・ 白色粘) 焼成: 灰 色調: 10Y R 6/1烟灰	口縫部~脚上部1/4残存

表 8-4 弥生土器観察表 (4)

標本番号	出土遺構	測定	計量値(cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
24-1	S B201 P-1	壺	現存高：38.0 口径：21.5 底径：10.6	脚部は下位に最大径を有し、後を絞り、下脚部は直線的に開き、上位が丸く張って細、細部へつながる。	外因削下位タテハケ、崩中位ナメハケ後ヨコミラミガタがむがむが4次残る(生は崩断のため調査不切)。 内因削下位ヨコハケ後ヨコハケは必ずしも残る筋は崩断のため調査不切。	胎土：やや粗(灰淡・褐色、 白色)燒成：普通 色調：5Y R7/8黄橙	崩部一側下位1/4残存、遠 部完全 全体的に鉄質
24-2	S B202 覆土	壺	現存高：4.5 最大径：(8.9) 底径：(4.4)	脚部は下位に最大径を有し、後を絞り、下脚部は直線的に開き、中位は内側して立ち上がる。	外因削下位タテハケ、崩中位ナメハケ。 内因削下位ヨコハケ後ヨコハケは必ずしも残る筋は崩断。	胎土：質造(灰淡・白色、 黑色、赤色)燒成：やや軟 色調：10Y R8/6黄褐	脚中位～底部1/4残存
24-3	S B204 P-13	壺	現存高：5.2 口径：(22.2)	複合：壺身、1脚部は丸く外反する。壺身は直線的に開き、外因削下位ヨコハケ後ヨコハケ後ヨコミラミガタで折り返す。口唇部は開口入り。	外因削下位ヨコハケ後ヨコミラミガタ、窓内粘土層とケチハケ後ヨコハケ、窓内粘土層とケチハケ後ヨコハケ後ヨコミラミガタ。内因削下位ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土：密(灰色、白色、 赤色)燒成：普通 色調：7.5Y R7/6褐	口縁部1/4残存
24-4	S B204 覆土	壺	現存高：3.3 口径：(13.8)	折り返し口縁部。口縁部は大きくなり、口唇部は取扱い。	外因削下位タテハケ後ヨコハケ。折り 返し点ではヨコハケ後ヨコハケ後ヨコミラミガタ、窓内粘土層とケチハケ後ヨコハケ後ヨコミラミガタ。内因削下位ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色、赤色)燒成：普通 色調：7.5Y R7/6褐	口縁部1/4残存 外因削下位
24-5	S B204 P-5-2	壺	現存高：17.5 肩径：(8.0) 最大径：(7.8)	脚部は中位に最大径を有し、下位にぶつ積みで横筋部を残す。脚部上位が丸く張って直線的に伸びる筋部につながる。	外因削下位タテハケ後ヨコハケ、崩中位ヨコハケ後ヨコハケ後ヨコミラミガタ。内因削下位ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色)燒成：やや良 色調：5Y R5.8灰褐色	崩部一側下位1/2残存 外方回りとも崩部神滅
24-6	S B204 P-7	壺	現存高：13.5 最大径：(8.0) 底径：(8.0)	脚部は下位に最大径を有し、後を絞り、脚部下位は直線的に開き、中位は直立気味に開いて立ち上がる。	外因削下位タテハケ、崩中位一側 ヨコミラミガタ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色)燒成：普通 色調：7.5Y R6/6浅青綠	頂上位～底部1/6残存 全体的に鉄質
24-7	S B204 P-11	壺	現存高：(9.0) 底径：(9.2)	脚部下位に折り下し、脚部下位は直線的に開き、中位は直立気味に開いて立ち上がる。	外因削全周タテハケ後ヨコハラミガ タ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色)燒成：普通 色調：7.5Y R7/6褐	脚中位～下位1/6、底部 残存
24-8	S B204 覆土	壺		外因削基部接伏状を2条施す。 内因削基部ヨコハケ、窓部ヨコハケ 後ヨコミラミガタ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色)燒成：普通 色調：5Y R7/6褐	脚部破片	
24-9	S B204 覆土	壺		外因削全周タテハケの後、下R I L、 下L R 削痕部を施す。 内因削基部ヨコハケ、窓部ヨコハケ 後ヨコミラミガタ。	胎土：普通(灰淡・白色)燒成： 普通 色調：5Y R6/6褐	班手～肩部残片	
24-10	S B204 P-1	壺	現存高：2.6 底径：13.0	透部から直抜胴下位へ続く筋の筋 部。底部本系底あり。	外因削全周タテハケ後ヨコハラミガ タ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色)燒成：普通 色調：5Y R7/3に近い焼	腹部穴存
24-11	S B204 覆土	壺	現存高：2.1 底径：(8.8)	底部から直抜胴下位へ続く筋の筋 部。	外因削全周タテハケ後ヨコハラミガ タ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色)燒成：普通 色調：5Y R5.4に近い焼	腹部1/2残存
24-12	S B204 P-2	壺	現存高：3.2 底径：6.5	底部から直抜胴下位へ続く筋の筋 部。	外因削全周タテハケ後ヨコハラミガ タ。	胎土：普通(灰淡・白色、 黑色)燒成：普通 色調：5Y R6/6褐	腹部元壳
24-13	S B204 P-14	壺	現存高：3.5 底径：8.5	軽く直する筋の筋部。	外因削全周タテハケ後ヨコハラミガ タ。	胎土：普通(灰淡・白色)燒成： 普通 色調：7.5Y R6/6褐	底部穴存
24-14	S B204 P-3-1	壺	現存高：15.4 口径：(21.8) 最大径：19.5 底径：26.9	古付焼：1箇の付焼人掌入り大き く、相手の脚部大抵がほぼほぼほ り。脚部は下位に大抵大きめに した筋部を残す。筋部は直線的 で腰かくに張出し、内縫部は少く残 る。口唇部は蓋取り。	外因削下位半周ヨコハケ後ヨコハ ケ。口唇部一側ナメハケ後ヨコハ ケ。口唇部ヨコハケ後ヨコハ ケ後ヨコハラミガタ。脚部上位ヨコ ハケ後ヨコハラミガタ。脚部上位ヨコ ハケ後ヨコハラミガタ。	胎土：普通(灰淡・白色)燒成： 普通 色調：10Y R6.8灰褐色	上部一側下位1/4残存
25-1	S B205 P-3	壺	現存高：6.8 底径：(25.9)	肩上位が丸く張って筋部につなが る。筋部は縫を伸ばすに異なる。	外因削全周タテハケ後ヨコハラ ミガタ。	胎土：普通(灰淡・白色)燒成： 普通 色調：3Y R6.9浅	崩部一側下位1/6残存
25-2	S B205 P-1	壺	現存高：22.2 口径：23.1 最大径：20.3	古付焼：脚部は下位に最大径を行 した球形部を残すと並んで、口唇部は 大きめ度である。口唇部は四隅取り。	外因削下位半周ヨコハケ後ヨコハ ケ。口唇部ヨコハケ後ヨコハ ケ。口唇部ヨコハケ後ヨコハ ケ。	胎土：やや粗(灰淡・褐色、 白色)燒成：普通 色調：5Y R5.8灰褐色	二箇部一側部は1/2存、脚 部下位1/3残存

表8-5 弥生土器観察表(5)

測定番号	山土遺構	測定	計測値 (cm)	形態の特徴	実物・手法の特徴	地土・埋成・色調	備考
25-3	S B205 覆土	透		外縁全体タマハケ状櫛描き波状文 を1条施文。	内面全体コヨカケ。	砂土: やや密(石英・長石・ 黒石・白色粒・黑色粒・赤 色粒) 焼成: 良通 色調: 10Y R 6/4にぼい黄 澄	肩部破片
25-4	S B205 覆土	透		外縁全体タマハケの後、下部に S字状施文を伴うLR横立施文 を施文。	内面全体コヨカケ。	砂土: 普通(白色粒・黒色 粒) 焼成: 良通 色調: 10Y R 6/4にぼい黄 澄	肩部破片
25-5	S B206 P 1-2	透	底存高: 21.4 最大径: (16.1) 底径: (16.1)	側面は中央に最大径を有し、下位 に腰を有する。肩上位は直線的に 大きく開き、斜上位が大く張り て肩部につながる。	外縁底部タマハケ、肩上位LR横 立施文2条施文後、円形施文を始 りつけた後は側面のため施文不明。 内面側面中~下部ヨコカケ、局部 上位横施文のため調査不明。	砂土: やや密(石英・白 色粒・風化粒) 焼成: 良通 色調: 7.5Y R 7/6澄	肩部~胴上位1/4、胴中 部3/4、胴下位1/3、底部一部 残存 全体的に磨滅
25-6	S B206 P 1-3	透	底存高: 25.6 最大径: (16.0) 底径: 9.8	側面は中央に最大径を有し、下位 に腰を有する。側面のため施文不明。 斜上位は丸く張って背面につ つながる。底面木裏剥離あり。	外縁弱位中にはヨコヘラミガキがわ かるに他の施文はない。側面のため施文不 明。 内面底面ナデ。肩部~胴下位ヨコ ハケ。	砂土: やや密(石英・白 色粒・風化粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 7/6澄	肩部~胴下位1/4残存、底 部完全 外面磨滅
25-7	S B206 P 1-1	透	現存高: 7.4 口径: (19.4)	複合口縁型。複合部にはU縁部を用 いて造り出し、腰立気味に外傾す。 U縁部に凹取り。	外縁複合部~二重ヨコハケ後ヨコ ヘラミガキの後、U縁部ヨコハ ケヨコハケナデ。	砂土: やや密(石英・白 色粒・風化粒・赤色粒) 焼成: 良通 色調: 10Y R 6/4にぼい黄 澄	口縁部1/4残存
25-8	S B207 覆土	透	現存高: 4.7 直径: 7.7	底面から直接側面下位が丸く、大き く外方へ開く。底面木裏剥離あり。	外縁全周ヨコハケ。	砂土: 普通(石英・白色 粒・風化粒) 焼成: 良通 色調: 7.5Y R 7/6澄	肩部1/2残存、底部完全 残存
25-9	S B207 覆土	透		複合口縁型。複合部にはU縁部を用 いて造り出し、腰立気味に外傾す。 U縁部には凹取り。	外縁全周ヨコハケ後テラヘラミガ キの後、3本1条の複合波状文を 貼りつける。口部部ヨコナデ。 内面底部ヨコハケ。	砂土: 砂(石英・黒色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R 5/6澄	U縁部破片
25-10	S B207 覆土	透	底存高: 4.1 口径: (16.8) 底径: (15.5)	側面は中央に腰を有し、口 縁部は何かに外反する。U縁部には 凹取り。	外側前部ヨコタマナメハケ。 U縁部ヨコハケU部ヨコハケ。 内面底部ナデ。口部ヨコハケ。	砂土: 砂(石英・黒色粒) 焼成: 残 色調: 5Y R 6/8澄	口縫部~瓶部1/6残存
26-1	S B208 覆土	透	底存高: 2.7 口径: (15.4)	折り返し口縁型。口縁部は大き く外反する。折り返しU縫の断面は四 角く、U縫部は凹取り。	外縁口縫部折りたたみハケ後腰かい タハケの後ヨコタマナメハキ。折 り返しU縫ナデ。口部部ヨコハ ケの後、上半だけヨコナデ。	砂土: やや密(石英・白 色粒・風化粒) 焼成: 残 色調: 7.5Y R 6/6澄	口縫部1/4残存
26-2	S B208 覆土	透			外縁弱位ヨコヘラミガキ。弱部 横施文2条施文1条施文。	砂土: やや密(石英・白 色粒・風化粒・赤色粒・輝石 少有) 焼成: 良 色調: 10Y R 6/4にぼい黄 澄	円錐破片
26-3	S B208 覆土	透	現存高: 4.7 口径: (17.2) 底径: (15.6)	側面は被を持たずに屈曲し、口縫 部は直線的に外傾する。口部部に 凹取り。	外縁弱位ヨコハケ。口縫部タマ ハケ後ヨコナデ。U部ヨコハケ後ヨ コナデ。	砂土: 普通(石英・白色 粒・風化粒・赤色粒・輝石 少有) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 6/4にぼい黄 澄	口縫部~胴上位1/3残存
26-4	S B208 ビット 覆土	透	現存高: 6.5 底径: 9.0	底部~胴部の内面施文に深く底面 の台付窓の痕跡。	外縁全周ヨコハケ。	砂土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黒色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 6/6澄	瓶部3/4残存 外側磨滅
26-5	S B208 覆土	透	現存高: 5.3 底径: 10.5	底部~胴部の内面施文に深く底面 の台付窓の痕跡。	外縁全周ヨコハケ。	砂土: 普通(風色粒) 焼成: 多通 色調: 7.5Y R 7/6澄	瓶部1/3残存
26-6	S B208 208+209 覆土上層	透	現存高: 13.6 最大径: (18.0)	側面は中央に最大径を有した下部 の複数施文を呈する。肩上位は強 らしくて肩部につながる。	外縁弱位ヨコヘラミガキ。弱部~ 肩上位ヨコヘラミガキの後、肩上 位ナデ。	砂土: 普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R 7/6澄黄褐	肩部~胴中位1/2残存
26-7	S B209 P 1-2	透	底存高: 2.9 底径: 5.6	底部がく隆起してから削下位が 大きく外方へ開く。	外縁全体タマハケ後テラヘラミガ キ。	砂土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R 7/6澄	瓶部残存
26-8	S B209 覆土	透	底存高: 4.3 口径: (19.2)	複合口縁型。複合部は口縫部を用 いて造り出し、内面に船底帶を貼りつけ て造り出し、内面施文にはほぼ底面 する。口部部凹取り。	外縁全体ヨコハケ後ヨコヘラミガ キ。	砂土: 密(石英・輝石・白 色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 7/8澄	口縫部1/3残存

表 8-6 弥生土器観察表 (6)

施設	出土遺構	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
26-9	S B209 P-2	裏	現存高: 19.5 口径: 18.3 基径: 16.7 最大径: 20.0	台付焼。底盤に中央に最大径をもつた低い小さい長円形の模制形を呈する。前部は後ろを持ち去る式で周面削り、口部部は短く、直線的に外傾する。口唇部は直取り。	外側底部下位タコハケなどナメハケ、脚付焼。底盤に口コハケ、口唇部へ削り去る位数多タコハケ。口唇部ヨコハケその後、下端にヨコ上に刻みを入れる。内面底部位下位タコハケなどナメハケ。	胎土: 粘土質(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/8橙	口縁部一部下位3/4残存 外側斜行者
26-10	S B209 覆土	裏	現存高: 4.8 口径: (29.8) 基径: (17.6)	瓶頭部は非常に優やかに頭曲し、口唇部は鋭鋒的に外傾する。口唇部は直取り。	外側底部ヨコハケなどナメハケ。 脚付焼。口コハケ、口唇部へ削り去る位数多タコハケ。口唇部ヨコハケその後、下端にヨコ上に刻みを入れる。内面底部位下位タコハケ。	胎土: 粘土質(石灰・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6橙	口縁部一部下位1/2残存 外匝簡便
26-11	S B209 P 1 1	裏	現存高: 19.7 口径: (17.0) 基径: (18.6) 最大径: (18.0)	瓶頭部は非常に優やかに頭曲し、口唇部は鋭鋒的に外傾する。口唇部は直取り。	外側底部ヨコハケなどナメハケ。 脚付焼。口コハケ、口唇部へ削り去る位数多タコハケ。口唇部ヨコハケその後、下端にヨコ上に刻みを入れる。内面底部ヨコハケ。	胎土: 磨過(石灰・山色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄橙	11輪部一部下位1/2残存 内面簡便
26-12	S B210 覆土	裏	現存高: 6.1	複合1種焼。複合部の外側に断面三角形の船型土台を貼りつけて造り出し、直線的に外傾する。	外側全体タコまたはヨコハケ。 内面全体ヨコハケ後ナデ。	胎土: 磨過(煙ロシ灰・白色粒少) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6橙	口縁部1/2残存(口唇部欠損) 内面焼付着
26-13	S B210 覆土	表			外面部の輪郭文を途中で綻びを変えて3段設文。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 磨過(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8橙	断面破片
26-14	S B210 覆土	裏	現存高: 5.5 口径: (9.2)	瓶頭部は短く、口部部に優やかに外反する。	外側底部L字脚付焼模焼1段施文。 口唇部ヨコハケ。	胎土: 善(石灰・輝石) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/8橙	11輪部一部下位1/4残存(口唇部欠損)
26-15	S B211 覆土	裏	現存高: 5.0 口径: (13.8) 基径: (11.3)	瓶頭部は細やかに頭曲し、口唇部は直線的に外傾する。口唇部は直取り。	外側底部一頭二脚付焼模焼1段施文。 口唇部ヨコハケ。	胎土: 磨過(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/6橙	11輪部一部上位1/6残存 外側斜行者
26-16	S B211 覆土	裏	現存高: 3.4 口径: (13.4)	瓶頭部の内側齊齊に胸うち付焼。瓶頭部、底部部に断面V字形の上唇を貼りつける。	外側全体ヨココハケがわざかに現れる。 内面底部ヨコハケ後ナデ。口唇部ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土: 磨過(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/6黄褐色	瓶頭部1/6残存 全体的に磨滅
27-1	S B211 覆土	裏	現存高: 1.7 口径: (15.0)	折り返し口縁部。口縁部は大きく外反する。折り返し部の断面は四角く、口唇部は直取り。	外側口縁部ヨコハケがわざかに現れる。 内面折り返し面の断面は四角く、口唇部ヨコハケ後ヨコハケの後、下端にヘアで刻みを入れる。	胎土: 磨過(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/8黄橙	11輪部1/4残存 全体的に磨滅
27-2	S B211 覆土	表	現存高: 7.6 直径: (7.2)	瓶頭部は擴らう前に底部につながる。口唇部は瓶頭部より外反する。	外側底部一頭兩脚付ナデ。U脚部ヨコハケ。	胎土: やや粗(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/8黄橙	口縁部一部1/2残存(口唇部欠損)
27-3	S B211 覆土	表	現存高: 3.5 口径: (16.4)	瓶頭部は瓶状に丸く立ち上がり、口縁部は大きく外反する。U脚部は直取り。	外側底部ナデ。口唇部ヨコハケ。 内面底部ヨコハケ。	胎土: 善(石灰・輝石) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	环部1/3残存
27-4	S B211 覆土	裏	現存高: 4.1 口径: (21.8) 基径: (15.6)	瓶頭部は優やかに屈する。口縁部は大きな外反し、外側の輪郭文と胸うち付焼をさすずに仕上げる。口唇部は直取り。	外側底部ヨココハケがわざかに現れる。 内面底部ナデ。U脚部ヨコハケ。	胎土: 磨過(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/6橙	11輪部1/3残存 外側斜行者 全体的に磨滅
27-5	S B212 壁1.	表	現存高: 4.5 口径: (13.4)	瓶頭部は直線的に大きく外から開く。口唇部は直取り。	外側1/3脚部ヨコハケミガキ?。U脚部ナデ。 内面全体磨滅のため調整不明。	胎土: 磨過(石灰・輝石・白色粒少) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/8橙	口縁部1/6残存 全体的に磨滅
27-6	S B213 覆土	表	基高: 2.8 口径: (9.2) 底径: (5.4)	小形の瓶。体部は直線的に外方へ開く。口唇部は直取り。	外側全体ヨコハケがわざかに現れる。 内面全体磨滅のため調整不明。	胎土: やや粗(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/8橙	体部1/5残存 全体的に磨滅
27-7	S B213 P-2-1	裏	基高: 14.4 口径: 13.5 基径: 11.8 最大径: 13.0 底径: (8.2)	台付焼。瓶頭部の薄い瓶体。瓶頭部は中空に瓶人形を有し、下方にぼんやり模写を持つ。瓶頭部は鋭鋒的に外傾する。瓶頭部は瓶頭部へ直線的に外傾する。U脚部は直取り。	外側瓶頭部ヨコハケなどナメハケ。脚付焼。瓶頭部ヨコハケなどナメハケ。脚付焼。瓶頭部ヨコハケなどナメハケ。脚付焼。瓶頭部ヨコハケなどナメハケ。内面底部ヨコハケ。	胎土: 磨(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6橙	口縁部一部西2/3残存、肩上位一部上位ほど完存、瓶頭部1/4残存 外側斜行者
27-8	S B214 覆土	裏	現存高: 6.6 口径: 20.8 基径: 18.9	瓶上位に丸く張って瓶頭部につながる。瓶頭部は内側に腰を有して直曲る。口縁部は直線的に外傾し、外側の輪郭文1段を消さずに仕上げる。口唇部は直取り。	外側瓶頭部一頭トヨコハケ。口縁部ナデ。口唇部ヨコハケの後、下端にヘアで刻みを入れる。内面底部位下位ナデ。U脚部ヨコハケ。	胎土: やや密(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/6橙	口縁部一部頭3/4、肩上位1/6残存 外側斜行者

表 8-7 弥生土器調査表 (1)

順位	出土遺構	組	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
27-9	S B214 覆土	東	現存高: 4.3 底径: (15.6)	断面は張らすに頭部につながる。 外面部全体リフヘンジガキの痕、肩部に接着文を付けて貼り付ける。 内面全体ナダ。	胎土: 砂や粘(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R5/6明褐色	頭部一部削り落す 全体的に磨滅	
27-10	S B214 覆土	東	現存高: 2.2 底径: (9.8)	底部から腹接觸下位が大きく外方に開く。	外面全体ナダまたはヨコヘンミガキ 内面全体ナダ。	胎土: やや粗(石英・輝石・白色粒少量) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6暗褐色	底部1/2残存 全体的に磨滅
27-11	S B214 覆土	東	現存高: 2.9 底径: 9.2	底部が短く直立してから肩下位が外方に開く。	外面部頭部からヨコヘンミガキがわずかに残る他の部は磨滅のため調整不規則。 内面底面ナダ。肩下位ヨコハケ。	胎土: 青透(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/8暗褐色	底部2/3残存 全体的に磨滅
27-12	S B214 覆土	東	現存高: 2.7 底径: 10.2	断面が短く直立してから肩下位が大きく外方に開く。	外面全体磨滅のため調整不明。 内面全体非常に薄いヨコハケ。	胎土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/8黄褐色	底部完全・全体的に磨滅
27-13	S B214 覆土	東	現存高: 1.1 底径: (8.2)	短く直立する唇の底部。	外面全体ナダ。 内面底面ナダ。肩下位リコハケ。	胎土: やや密(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6明黄色	底部1/3残存
27-14	S B215 <sup>b</sup> 覆土	西		断面は短く、口縁部は大きく外反する。	外面部頭部のみの磨滅文を途中で無きを除いて1段階文。口縁部北側に粗いナメハケ。 内面口縁部は下部にS字状細筋文を作り、底脚部は横文文様の他は磨滅のため調査不明。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄褐色	口縫部一帯剥落(口部部欠損) 全体的に磨滅
27-15	S B215 <sup>b</sup> 覆土	東	現存高: 4.3 底径: (19.7)	口縁部は直線的に大きく外方に開く。リコハケは直取りで、面が(天井)を向く。	外面部頭部非常に短いナダまたはヨコハケ。口縁部は直に對して平面上に横たわる位置に見える。 内面: 腹部下位部に粗いヨコハケ。腰部は放射状のタマハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6暗褐色	L1層頂1/8残存
27-16	S B216 覆土	東	現存高: 5.1 底径: (12.0) 底深: (11.9) 底厚: (12.0)	断面は上位に最大幅を有した張りの小さく、複数形を有する。頭部には無い様に口縁をして直し、口縁部は腰く、頭部の内に外側に張り。口部部は直取り。	外面部: 腹部一帯上位に粗いタマハケまたはヨコハケ。口縁部は直に對して平面上に横たわる位置に見える。 内面: 底部下位部に粗いヨコハケ。腰部は放射状のタマハケ。	胎土: 青透(石英・輝石・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/8暗褐色	L1層部一帯上位1/4残存 全体的に磨滅
27-17	S B216 覆土	東	現存高: 1.5 底径: (8.2)	底部が短く直立してから肩下位が大きく外方に開く。	内面全体ナダ。 内面全体磨滅のため調査不明。	胎土: 青透(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/8暗褐色	底部1/4残存 全体的に磨滅
27-18	S B216 覆土	東	現存高: 3.2 底径: (8.6)	底部から高強度下位が外方に開く。	外面部頭部からヨコハケ後部ヨコミガキ。 内面底面ナダ。肩下位粗いヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R5/4に近い黃褐色	肩下位-底部1/4残存
27-19	S B216 覆土	東	現存高: 3.2 底径: 5.6	底部が短く直立してから肩下位が外方に開く。	外面全体粗いヨコハケ後ナダ。 内面底面ナダ。肩下位粗いヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒少量) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8暗褐色	頭部-底部ほぼ完全 外表面磨滅
27-20	S B 217 底下	鉢	最高点: 9.6 口径: (9.4) 底径: (8.4) 最大深: (6.2) 底厚: (6.6)	頭部は山形に最大径を有した球形形を呈する。縁部は接合せたずに屈曲し、口縁部は直線的に外側に張る。 口部部は直取り。	外面部頭部一部頭部に粗いタマハケがわずかに残る他は磨滅のため調査不明。 内面頭部一帯に横板ナダ。口縁部-底部ナダ?	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒少) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄色	頭部-底部1/3残存 全体的に磨滅
27-21	S B 217 北東柱穴 覆土	鉢	現存高: 5.6 口径: (15.4) 底径: (14.6)	頭部は山形に最大径を有した球形形を呈する。縁部は接合せたずに屈曲し、口縁部は直線的に外側に張る。 口部部は直取り。	外面部全体ナダの後、腹上竹刀タマハケ後ヨコミガキ後ナダ?二段階ココナ。	胎土: 普通(白色粒多し 石英・輝石少) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄色	口縫部-頭上位1/4残存 全体的に磨滅
27-22	S B 217 南東柱穴 覆土	小鉢	現存高: 1.5 底径: (4.4)		外面部全体ナダ。 内面全体ナダ。	胎土: 密(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6明黄色	底部1/2残存
27-23	S B 219 覆土	東			外面部R L S L底LR横板文を施文。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8黄褐色	頭部破片
28-1	S B 220 - 222 覆土上層	鉢	最高点: 7.4 口径: (11.3) 底径: (10.6) 最大深: 10.0 底厚: 7.0	頭部4中位に最大径を有した球形形を呈する。最大径を保ったまま頭部につながり、頭部は非常に緩やかに肩部に近づく。口縁部は直線的につながり外側する。一部部は直取り。	外面部頭部-底脚部からヨコハケの後、頭部と底部はヨコミガキ。 頭部粗いヨコハケ後ヨコミガキ。	胎土: 密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/4に近い黃褐色	口縫部-頭下位1/2残存、 底部完全
28-2	S B 220 覆土	東			外面部放文1束施文。 内面全体ナダ。	胎土: 密(輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R6/4に近い黃褐色	頭部破片

表 8-8 弥生土器観察表 (8)

器物	出土遺物	器形	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
28-3	S B220 覆土	壺			外面部焼き付状1系施文。 内面部全体ヨコハケ。	胎土：青(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR6/6地	質部破片 全体的に磨滅
28-4	S B220 覆土	壺	現存高：4.3 口径：(19.5)	複合口縁壺。復合部は直線的に外 傾する。口唇部は内收り。	外面部合部は下部にS字状筋突文 を伴う無鉛燒成施文1系施文。 口唇部は内收りヨコハケ後ヨコナギ。 内面部全体ヨコハケ。	胎土：青(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR6/6地	口縁部1/2残存 全体的に磨滅
28-5	S B220 覆土	壺	現存高：2.8 口径：(16.4)	折り返し口縁壺。口唇部は大きく 外反する。折り返し面の断面は円 角く、口唇部は内收りで上端を尖 らせる。	外面部縁部ヨコハケ後タケラ タミヨコナギ。折り返し面ナメハケ後 内面部ナメハケ後半のみヨコナギ の後、棒状突起を16万枚貼りつけ る。 内面部全体ヨコハケ後ナマダ。縁は糊 き跡状文2条施文。	胎土：青(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR7/6地	口縁部1/2残存
28-6	S B220 覆土	壺	現存高：2.0 口径：(13.6)	折り返し口縁壺。口唇部は外傾的 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は円角く、口唇部 は内收り。	外面部縁部ヨコハケ後ナマダ。折り返 し面ナマダ。 内面部全体ヨコハケ後ナマダ。	胎土：青(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10YR7/4に近い黃 地	口縁部1/2残存
28-7	S B220 覆土	壺	現存高：2.6 底径：(10.0)	底部が高く立ちてから瓶口付いた 大きく外方へ開く。底部小窪度あり。	外面部全体ヨコハケのため調整不 規則。内面部ナマダ。脚下位ヨコハ ケ。	胎土：青(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR6/6地	底部1/3残存 全体的に磨滅
28-8	S B220 覆土	壺	現存高：2.3 底径：(11.4)	底部が高く立ちてから瓶口付いた 大きく外方へ開く。	外面部縁部ヨコハケがわざか に残る。 内面部全体ヨコハケのため調整不 規則。	胎土：中粗(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5YR6/6地	底部1/3残存 全体的に磨滅
28-9	S B220 覆土	壺	現存高：2.6 底径：(7.7)	底部から直接胴口付が大きく外方 へ開く。	外面部全体ヨコハケのため調整不 規則。内面部ナマダ。脚下位ヨコハ ケ。	胎土：青(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5YR6/6地	底部1/4残存 外面部 全体的に磨滅
28-10	S B220 覆土	壺	現存高：4.9 口径：(21.8) 底径：(17.8)	肩部は緩やかに屈曲し、L脚部は 大きく外反する。口唇部は内收り。	外面部縁部～胴上位タケハケ後一 部ヨコハケ。口唇部ヨコハケ。 内面部全体ナマダ。脚下位ヨコハ ケヨコハケ後ナマダ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR7/4に近い黃 地	口縁部～胴上位1/6残存
28-11	S B220 覆土	壺	現存高：3.8 口径：(18.0)	肩部の裏の側面、頸部は緩やかに 屈曲し、L脚部は大きく外反する。 口唇部は内收り。	外面部縁部～胴部ヨコハケ後一 部ヨコハケ。口唇部ヨコハケ後ヨ コハケ後ナマダ。 内面部全体ヨコハケの後、口縁部ヨ コハケ後ナマダ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10YR6/4に近い黃 地	口縁部～頸部1/7残存
28-12	S B221 覆土	壺	現存高：6.5 底径：(9.0)		外面部全体タケハケ後ヨコハケ後ヨ コハケの後、底部ヨコナギ。 内面部ヨコハケ。脚下位板付。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5YR5/6地赤褐色	脚下位～底部1/2残存 全体的に磨滅
28-13	S B222 覆土	壺	現存高：5.8 口径：(11.9)	單純口縁壺。L脚部は直線的に外 方へ開く。口唇部は内收り。	外面部縁部タケハケ後ヨコハケ。 内面部全体ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR6/6地	口縫部1/6残存
28-14	S B222 覆土	壺	現存高：1.6 口径：(17.0)	折り返し口縁壺。口唇部は外傾的 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は円角く、L脚部 は内收りで上端を尖らせる。	外面部全体タケハケ後ヨコハケ後ヨ コハケの後、底部ヨコナギ。 内面部ヨコハケ。脚下位板付。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5YR5/6地赤褐色	脚下位～底部1/2残存 全体的に磨滅
28-15	S B222 覆土	壺	現存高：2.3 底径：(8.0)	弧形から直角胴口付に続く唇の底 部。	外面部ヨコハケ後ヨコハケ。L脚部ヨ コハケ。 内面部全体ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR6/6地	口縫部1/6残存
28-16	S B222 覆土	壺	現存高：2.6 底径：(18.4)	単純口縁壺。L脚部は直線的に外 方へ開く。口唇部は内收り。	外面部ヨコハケ後ヨコハケ。L脚部ヨ コハケ。 内面部全体ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR7/6地	口縫部1/8残存 内面部 全体的に磨滅
28-17	S B222 覆土	壺	現存高：2.3 底径：(8.0)	弧形から直角胴口付に続く唇の底 部。	外面部ヨコハケ後ヨコハケ。L脚部ヨ コハケ。 内面部全体ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10YR7/4に近い黃 地	底部1/4残存 全体的に磨滅
28-18	S B222 覆土	壺	現存高：2.6 底径：(18.4)	単純口縁壺。L脚部は直線的に外 方へ開く。口唇部は内收り。	外面部ヨコハケ後ヨコハケ。L脚部ヨ コハケ。 内面部全体ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5YR6/6地	口縫部1/8残存
28-19	S B223 覆土	壺			外面部ヨコハケ後ヨコハケ。L脚部ヨ コハケ。 内面部全体ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10YR7/4に近い黃 地	質部破片 全体的に磨滅
28-20	S B223 P23-26	壺	現存高：3.7 口径：(15.4)	単純口縁壺。L脚部は大きく外傾 する。口唇部は内收り。	外面部ヨコハケ後ヨコハケ。L脚部ヨ コハケ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5YR6/6地	口縫部1/4残存 外面部 全体的に磨滅
28-21	S B223 覆土	壺	現存高：2.3 底径：(8.8)	底部から直角胴口付に続く唇の底 部。	外面部全体ヨコハケ。 内面部全体ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：2.5YR6/6地	底部1/3残存

表 8-9 弥生土器観察表 (9)

測定	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態の特徴	測定・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
29-1	S B 227 覆土	歩	表面：(18.7) 口径：(11.2) 底径：(6.2) 高径：(7.0)	表面縦縫、底部が幅く者として かく、斜下位でなく外方へ開く、 口部は特に斜く、底部は二つ折り。 口部部は大きく外反する。口部部 は面取り。底面木底あり。	外面部下口にコハラヘマガキが付いて る。内側下口に斜く、底部は二つ折り。 口部部は大きく外反する。口部部 は面取り。底面木底あり。	胎土：やや粗(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：やや軟 色調：5Y R7/6強	口縫部1/8、瓶部1/2、瓶 1/8、底部1/2残存 全体的に崩壊
29-2	S B 227 底直	盃	現存高：3.2 口径：(9.4) 底径：(6.8)	表面は幅く、口部部は直線的で、 底面が外方に開く。口部部は 面取り。	外面部口部部は直線的で、 口部部は直線的で、底面は二つ折り。 内側下口に斜く、底部は二つ折り。	胎土：衝(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6強	口縫部-瓶部1/10残存
29-3	S B 227 覆土	盃		半圓口縫亞。口部部は大きくて外 反し、内側に凹を持つ。口部部は 直線的で、底面は二つ折り。	外面部口部部に直線的にハ ケ工具で削みを入れた能は感度の ため調整不規則。 内面名残の境にS字状筋部文を作 りう上段L R、下段R L 機位は火文施 文後、胎土状の火文を重ねつけた。	胎土：衝(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6強	口縫部破片 全体的に崩壊
29-4	S B 227 底直	盃	現存高：1.8 口径：(21.0)	折り返し口縫亞。口部部は外方が 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は内側く、口部部 は面取り。	外面部口部部は直線的で、 折り返し面ナゴの後、内側ナゴメイケ後 ヨコナゴの後、底面にハケ工具で 削みを入れる。 内面名残の境にS字状筋部文を作 りう上段L R、下段R L 機位は火文施 文後、胎土状の火文を重ねつけた。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6強	口縫部1/2残存
29-5	S B 227 ピット4 覆土	盃		折り返し口縫亞。口部部は外方が 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は内側く、口部部 は面取り。	外面部口部部は直線的で、 折り返し面ナゴの後、内側ナゴメイケ後 ヨコナゴの後、底面にハケ工具で 削みを入れる。 内面名残の境にS字状筋部文を作 りう上段L R、下段R L 機位は火文施 文後、胎土状の火文を重ねつけた。	胎土：衝(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6強	口縫部破片
29-6	S B 227 覆土	甕	現存高：3.2 口径：(15.2)	折り返し口縫亞。口部部は外方が 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は内側く、口部部 は面取りで上端を尖らせる。	外面部口部部は直線的で、 折り返し面ナゴの後、内側ナゴメイケ後 ヨコナゴの後、底面にハケ工具で 削みを入れる。 内面全體が直線的で、縫は横縫き火文火 文施文。	胎土：衝(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6強	口縫部1/8残存
29-7	S B 227 覆土	甕	現存高：3.0 口径：(16.8)	折り返し口縫亞。口部部は外方が 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は内側く、口部部 は面取り。	外面部口部部は直線的で、 折り返し面ナゴの後、内側ナゴメイケ後 ヨコナゴの後、底面にハケ工具で削みを入れ れる。 内面口縫部は下端にS字状筋部文を作 りう上段L R 機位は火文施文。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6強	口縫部1/4残存 内面崩壊
29-8	S B 227 P-1 小 甕	甕	現存高：8.0 最大径：(12.4) 底径：(6.1)	内部は下位に最大径を有し、腰を 持つ。肩部は強烈な傾斜に陥る。肩 部には内側縫合に立ち上がる。	外面部底部ハケタハケ、割れ下位下 位ナゴメイケ後、内側ナゴメイケ。 内面底面ナゴ、下位口ヨコナゴ後 一部ナゴ、腰位ナゴ。	胎土：衝(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：2.5Y R6/6強黄褐色	肩位下位1/2残存、 腰部充実
29-9	S B 227 覆土	甕	現存高：21.1 期代：(18.8) 底径：(23.2)	肩部強。内部は下位に最大径を有 した張りの小さい直線的球形輪廓を 呈する。輪廓は腰や軸に屈曲する。	外面部下口ハケタハケ、割れ下位下 位ナゴメイケ後、内側ナゴメイケ。 内面底面ナゴ、下位口ヨコナゴ後 一部ナゴ、腰位ナゴ。	胎土：衝(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R5/4に近い褐 色	肩部-腰位下位1/8残存 外面部充実
29-10	S B 227 覆土	甕	現存高：5.2 口径：(19.6) 底径：(18.4)	肩部は腰や軸に屈曲し、口部部は 直線的で、輪廓的でわざわざに外傾する。 口部部は面取り。	外面部底部ハケタハケ、割れ下位下 位ナゴメイケ後、内側ナゴメイケ。 内面底面ナゴ、下位口ヨコナゴ後 一部ナゴ、腰位-腰上位ヨコナゴ。	胎土：普通(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6強	口縫部-肩位上位1/12残存
29-11	S B 227 覆土	甕	現存高：4.4 口径：(17.6) 底径：(16.3)	肩部は非常に腰や軸に屈曲し、口部 部は腰や軸に屈曲せず、外傾する。 口部部は面取り。	外面部底部ハケタハケ、口部 ヨコナゴの後、底面にハケ工具で 削みを入れる。 内面全體ヨコナゴ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6強	口縫部-瓶部1/3残存
29-12	S B 227 覆土	甕	現存高：5.6	人型の複合口縫亞。複合部は口縫部を 屈曲させて造り出し、直立 輪廓に外傾する。	外面部内とも調節のため調整不規 則。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6強	口縫部-瓶部1/6残存(口縫部欠損) 全体的に崩壊
29-13	S B 227 覆土	甕		複合口縫亞。複合部は口縫部を屈 曲させて造り出し、直立輪廓に外 傾する。	外面部複合部L R 機位火文1段施文。 内面全體ヨコナゴ後ヨコナゴ。	胎土：衝(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/4に近い褐	口縫部破片(口縫部欠損)
29-14	S B 227 覆土	甕		複合口縫亞。複合部は直立輪廊に 外傾する。口縫部はヨコナゴ。	外面部複合部ナゴの後、上段削離き直 縫縫、下段削離き斜縫縫を施文し、 さらに内側原形文を重ねつけた火文施 文2箇。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6強	口縫部破片
29-15	S B 227 底直	甕			外面部複合部ナゴの後、上段削離き直 縫縫、下段削離き斜縫縫を施文し、 さらに内側原形文を重ねつけた火文施 文2箇。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6強	瓶部破片 内面壊滅

表 8-10 弥生土器観察表 (10)

番号	出土遺構	地	剖面測定 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	施土・焼成・色調	備考	
29-16	S B227 覆土	壺		外側R斜壁丸底2段底変化。2個以上単層の円形容文を貼りつける。	始土：白(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6強	肩部破片		
29-17	S B227 ばっく4 覆土	壺	現存高：2.5 底径：(12.8)	底部4周く直立てから肩下位が大きく外方へ開く。	外側全体タテハ後ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケ後ナダ。	始土：單土(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/4にぶい強	底部1/8残存	
29-18	S B227 覆土	壺	現存高：1.9 底径：(8.6)	底部4周く直立てから肩下位が大きく外方へ開く。 既成本要素あり。	外側全体タテハ後ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケ後一部ナダ。	前土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/4にぶい強	底部1/3残存 外側焼付	
29-19	S B227 覆土	壺	現存高：1.8 底径：8.2	底部4周く直立てから肩下位が大きく外方へ開く。	外側全体ヨコハケ後ナダ。 内面全体焼成のため調整不規。	始土：普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6強	底部ほぼ完存	
29-20	S B227 覆土	壺	現存高：2.3 底径：(8.0)	底部4周く直立てから肩下位が大きく外方へ開く。	外側全体タテハ後ヨコヘラミガキ。 内面全体焼成のため調整不規。	前土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：2.5Y R6/6強	底部1/4残存	
29-21	S B227 覆土	壺	現存高：2.3 底径：(7.8)	底部4周く直立てから肩下位が大きく外方へ開く。	外側全体タテハ後ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケ後ナダ。	始土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/4強	底部1/3残存	
30-1	S B231 P-43強	壺	器高：60.8 口径：(30.4) 肩径：(13.6) 最大径：48.3 底径：13.6	人型の複合口縁器。肩部は中央に最大径を有した横制筋を呈する。腹部は腰らわに沿った筋状につながり、口縁部は腰から外反する。腹部には粒状を貼りつけて造り出し、腹面に直角方向の粘土筋を貼りつけてから面取り。	外側底部タテハ後ヨコヘラミガキ。肩部中央に横筋を有する。腹部は腰らわに沿った筋状につながり、口縁部は腰から外反する。腹部には粒状を貼りつけて造り出し、腹面に直角方向の粘土筋を貼りつけてから面取り。	始土：やや粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4にぶい強	口縁部一部1/2残存、肩部一部1/3残存 全体的に磨滅	
31-1	S B231 P 43	壺	現存高：(56.1) 口径：(15.2) 肩径：(56.2) 底径：(50.54)	大腹の壺。肩部は中央に最大径を有した下膨部の横筋が並ぶ。腹部は腰らわに沿った筋状につながる。	外側底部一部タテハ後ヨコヘラミガキ。腹部は腰らわに沿った筋状につながる。	始土：普通(白色粒多し 石英・赤色粒) 焼成：普通 色調：2.5Y 3/3強	肩部1/2、肩中位～下位1/3 残存 全体的に磨滅	
31-2	S B231 P-47-48	壺	現存高：11.3 口径：(17.8) 肩径：(8.2)	複合口縁器。肩部は鋸く、縫隙が狭かに開けた複合部で口縁部は筒状で造り出され、外側には粘土筋を貼りつけられて造り出しうなぎ筋状に外反する。口縁部は面取り。	外側底部一部ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。複合部粘土筋を貼りつけた複合部で口縁部は筒状で造り出され、外側には粘土筋を貼りつけられて造り出しうなぎ筋状に外反する。口縁部は面取り。	前土：普通(石英・白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4にぶい強	口縁部ほぼ完存、底部3/4 残存	
31-3	S B231 P 41	壺	現存高：3.4 口径：(14.8)	複合口縁器。複合部は外側のみを境界させて造り出し、直錐形に外反する。口縁部は面取り。	外側口縁部直錐形ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。複合部粘土筋を貼りつけた複合部で口縁部は筒状で造り出され、外側には粘土筋を貼りつけられて造り出しうなぎ筋状に外反する。口縁部は面取り。	始土：普通(白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6強	口縁部1/8残存	
31-4	S B231 P 72	壺	現存高：1.6 口径：(16.0)	単純口縁器。口縁部は外側が見えないほど大き外反する。口縁部は面取り。	外側口縁部直錐形ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。複合部粘土筋を貼りつけた複合部で口縁部は筒状で造り出され、外側には粘土筋を貼りつけられて造り出しうなぎ筋状に外反する。口縁部は面取り。	始土：やや密(石英・輝石) 焼成：良 色調：7.5Y R5/6弱	口縁部1/6残存	
31-5	S B231 P-40	小壺 蓋	器高：13.9 口径：7.8 肩径：5.1 最大径：10.7 底径：8.6	単純口縁器。肩部は中央に最大径を有した複数の横制筋を呈する。腹部は腰らわに太く、短い筋部につながり、口縁部は肥厚して直角的に外方へ開く。口縁部は面取り。	外側底部直錐形ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。腹部は腰らわに太く、短い筋部につながり、口縁部は肥厚して直角的に外方へ開く。口縁部は面取り。	始土：稍(白色粒・黑色粒・赤色粒・灰色粒) 焼成：軟 色調：10Y R7/3にぶい弱	完全品 全体的に磨滅	
31-6	S B231 P 19	壺	現存高：5.5 口径：(20.8)	折り返し口縁を持つ高壺。肩部は丸く立ち上がり、口縁部は外側が見えないほど大き外反する。折り返し口の所見は四角く、口縁部は面取り。	外側底部ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。腹部は腰らわに沿った筋状につながり、口縁部は肥厚して直角的に外方へ開く。口縁部は面取り。	始土：密(石英・輝石・白色粒) 焼成：やや良 色調：7.5Y R7/6強	外側1/8残存 外側磨滅	
32-1	S B231 覆土	壺	現存高：15.6 最大径：(23.6)	肩部は中央に最大径を有する。肩中位～下位にはぼんやり縫隙を保有。肩上位が大きく張って膨ら、腹部につながる。	外側底部ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。肩部は中央に最大径を有する。肩中位～下位にはぼんやり縫隙を保有。肩上位が大きく張って膨ら、腹部につながる。	始土：普通(石英・白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6強	肩部5/6、肩上位～中位1/2 残存	

表 8-11 弥生土器観察表 (11)

番号	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手造の特徴	胎土・焼成・色調	備考
32-2	S.B231 P-51	漆	現存高：16.6 底径：9.0	輪部は中位に最大幅を有した球形を示す。頭部は丸く膨らみ、輪部は直線的に伸びる。	外周上位に一部ヨコハラミガキ。頭部に内側に張り出た跡がある。頭部は球形を呈する。頭部は直線的に伸びる。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6粒	頭部～胴中位1/3残存
32-3	S.B231 P-71	漆	現存高：11.6	輪部は下部に球形を呈する。頭部は張らずに扁平部につながる。	外周全体ヨコハラミガキ。頭上位ヨコハラミガキ後部テラミガキ。一部ヨコハラミガキを踏むた後、円形浮文を貼り付ける。 内周上位～中位ヨコハラミガキ。頭部ヨコハラミガキ後部テラミガキ。	胎土：普通(石灰・白色粒・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6粒	頭上位～胴中位1/3残存
32-4	S.B231 P 1-2, 3-5-10	漆	現存高：11.2 底径：8.9	輪部は張らずに扁平部につながる。	外周全体ヨコハラミガキ。頭上位ヨコハラミガキ後部テラミガキ。頭部は張らずに扁平部につながる。	胎土：普通(山地粒・黑色粒・石灰) 焼成：やや良 色調：7.5Y R7/6粒	頭部4/5残存、肩部ほぼ完全 全体的に磨滅
32-5	S.B231 覆土	漆	現存高：(6.1)	輪部は張らずに扁平部につながる。	外周全体ヨコハラミガキ。頭上位ヨコハラミガキ後部テラミガキ。頭部は張らずに扁平部につながる。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成：やや良 色調：10Y R7/4によい黄	肩部1/3残存 内部磨滅
32-6	S.B231 P 55	漆	現存高：7.2 底径：(9.2) 底径：(8.8)	頭部は下位に軸孔を有し、よじまきを持った、胴下位直線的に開き、胴中位には直立気味に立ちあがる。	外周全体ヨコハラミガキ。 内周全体板ナデ。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6粒	頭中位～底部1/2残存
32-7	S.B231 P-46	漆	現存高：3.5 底径：10.2	弧状の頸と直立してから胴下位が大きくなり外方に聞く。底面木座或ある。	外周底部粗いタテハラミガキの後、全体ヨコハラミガキ。 内周底部粗いヨコハラミガキの後ナデ。	胎土：普通(石灰・白色粒・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6粒	底部充存
32-8	S.B231 P-38	漆	現存高：10.6 底径：10.6	頭部が頸と直立してから胴下位が大きくなり外方に聞く。底面木座或ある。	外周底部粗いタテハラミガキの後ナデ。 内周底部粗いヨコハラミガキ。	胎土：やや粗(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6粒	胴下位～底部ほぼ充存
32-9	S.B231 覆土	漆	現存高：3.1 底径：(9.0)	頭部が頸と直立してから胴下位が大きくなり外方に聞く。	外周全体ヨコハラミガキ後一部ヨコハラミガキ。 内周全体板ナデ。	胎土：やや粗(石灰・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6粒	底部1/4残存
32-10	S.B231 覆土	漆	現存高：3.0 底径：(10.6)	頸と直立する蓋の底部。	外周全体細いタテハラミ。	胎土：普通(石灰・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6粒	底部1/6残存
32-11	S.B231 覆土	漆	現存高：2.5 底径：(9.5)	頸と直立する蓋の底部。	外周全体タテハラミガキ後一部ヨコハラミガキ。 内周全体細いヨコハラミ。	胎土：やや粗(石灰・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/4によい黄	底部1/2残存
32-12	S.B231 覆土	漆	現存高：1.7 底径：(7.3)	底部から直接胴下位に続く底部。	外周全体ヨコハラミガキ。 内周全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/4によい黄	底部1/4残存 外底面崩落あり
32-13	S.B231 P-48	漆	現存高：2.7 底径：(9.5)	底部から直接胴下位に続く底部。	外周全体細いタテハラミガキ。 内周全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石灰・石灰石・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4によい黄	底部1/6残存
33-1	S.B231 P 5-6, 23-24-27, 31-28-49, 59-63-96	漆	現存高：15.6 口径：(20.8) 頭径：(18.5) 最大径：(22.2)	付口、頭部は少し広めで底部を有し、少し垂りの小さな、複雑形を有する。頭部は非常に横やかに傾曲し、口縁は短く、底部は直線的に外斜する。口部部は側面で上端を尖らせる。	外周底部粗いタテハラミ。頭中位ヨコハラミ後部粗いヨコハラミ。口部部ヨコハラミ。下端にハサ工具で込みを入れられており。 内周胴上位～中位丁寧なナデ。口部部ヨコハラミ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R8/8黄橙	口縫部～胴上位1/3、胴中位1/8残存
33-2	S.B231 P-25-29, 31-44	漆	現存高：6.3 口径：(15.6) 頭径：(14.4)	輪上位は張らずに扁平部につながる。頭部は縦やかに傾曲し、口縁は短く、底部は直線的に外斜する。口部部は側面で上端を尖らせる。	外周口縫部～胴上位頭部ヨコハラミ。頭部ヨコハラミ。口部部ヨコハラミ。 内周底部ヨコハラミがわざかに残る。他は施漬のため調整不明。	胎土：やや粗(輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6粒	口縫部～胴上位1/3残存 全体的に磨滅
33-3	S.B231 P-3-6, 10-18-33	漆	現存高：9.2 口径：(12.8) 頭径：(11.6) 最大径：(12.8)	台形縫、頭部は中位に最大幅を有した張りの小さな複雑形を有する。頭部は内側に縦を有して扁曲し、口縁は短く、底部は直線的に外斜する。口部部は側面で上端を尖らせる。	外周口縫部～胴上位頭部ヨコハラミ。頭中位一部ヨコハラミ。口部部ヨコハラミ。 内周底部ヨコハラミ。	胎土：密(輝石・赤色粒) 焼成：良 色調：5Y R7/6粒	口縫部～胴中位1/3残存
33-4	S.B231 P-20-23, 26-28-29, 33	漆	現存高：(5.2 口径：(20.7) 頭径：(17.3) 最大径：(18.8)	台形縫、頭部に比して胴部が大きいく口径が胴盤人頭より大きめの個体。頭部は上位に最大幅を有した張りの複雑形を呈する。頭部は非常に横やかに傾曲し、口縁は短く、底部は直線的に外斜する。口部部は側面で上端を尖らせる。	外周口縫部～胴上位頭部ヨコハラミ。 内周底部ヨコハラミ。大井部ナデ。 口縫部～底ヨコハラミ。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6粒	口縫部～胴下位1/2、底部～ 胴上位ほぼ充存

表 8-12 弥生土器観察表 (12)

施設	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	施土・焼成・色調	備考
33-5	S B231 覆土	甕	現存高：6.2 口径：(18.2) 最大径：(33.7)	口徑が底盤最大径より大きく、底盤の不規則な断面。開口部はほぼ平行で立って立ち上がり、口縁部は大きく外反する。口唇部は垂れ下りる。	外側全体タグラハケ後ナデ。口唇部ヨコナダ。	施土：普通(石灰、輝石、白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い緑	口縁部1/4、肩上位1/8残存
33-6	S B231 P-46	甕	現存高：6.8 最大径：9.5	弧面一帯を縦線的に開く台付甕の脚部。	外側全体タグラハケ後ナデ。	施土：やや粘(石灰、輝石、白色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/6明黄青	脚部ほぼ完全(脚部1/2欠損)
33-7	S B231 P-44	甕	現存高：8.0	底部へ側面が直線的に開く大型の台付甕の脚部。	外側全体タグラハケ後ナデ。	施土：やや粘(石灰、輝石、白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脚下位へ脚上位ほぼ完全 内側脚部磨滅
33-8	S B232 覆土	甕	現存高：4.9 口径：(21.0)	複合部では縫合部をわずかに屈曲させ、外側は粘土部を貼りつけており出し、裏面は瓦片に外接着する。口唇部は直角。	外側全体ヨコハケ後ナデ。	施土：普通(石灰、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	口縁部1/1残存 全体的に磨滅
33-9	S B232 覆土	甕	現存高：3.2 口径：(13.6)	口縫合そのものの折り返し口縫合をつける。底盤は内側に底面を有してあります。口唇部は直角で、内側全体が磨滅。	外側全体ヨコハケ後ナデ。折り返し口縫合。内面全体ナデ。	施土：普通(石灰、白色粒、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4に近い黄緑	口縁部～脚上位1/6残存
33-10	S B232 覆土	甕	現存高：5.6	なだらかな唇の肩部。	外側全体は下部にS字状輪郭文を作りL字R横構文輪郭文他の他は磨滅のため調整不詳。内側脚部ナダ。脚部付近ヨコハケがわずかに残る。	施土：普通(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6	肩部1/4残存 全体的に磨滅
33-11	S B232 覆土	甕	現存高：2.3 底径：(9.2)	短く直立する唇の底部。	外側全体タグラハケ。脚下位ヨコハケ後ナデ。	施土：普通(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6	露部1/4残存
33-12	S B232 覆土	甕	現存高：1.8 底径：(10.6)	短く直立する唇の底部。	外側全体とも磨滅のため調整不詳。	施土：やや粘(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	底部1/4残存 全体的に磨滅
33-13	S B235 北東柱穴 覆土	甕		折り返し口縫合。口縫合は大きく外反する。折り返し口縫合の断面は四角く、口唇部は直角。	外側口縫合ナメハケ。折り返し口縫合。口唇部ヨコナダの後、下端にハケで削り取られる。内側L字R横構文輪郭文。	施土：やや粘(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	口縫合部全体的に磨滅
33-15	S B235 覆土	甕	現存高：1.8 底径：(12.4)	短く直立する唇の底部。底面木蓋痕あり。	外側全体ヨコハケ後ナデ。	施土：普通(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R5/8明赤褐	底尾1/4残存
33-16	S B235 覆土	甕		短く直立する唇の底部。	外側は下部にS字状輪郭文を作り上段L字、下段R字横構文輪郭文。内側削り取付ナダ。肩部ヨコハケ後ナダ。	施土：普通(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 烧成：普通 色调：7.5Y R7/6	肩部破片
33-17	S B236 覆土	甕	現存高：2.6 底径：(9.4)	短く直立する唇の底部。	外側全体タグラハケ後ヨコナダ。内面底部ナダ。肩部ヨコハケ後ナダ。	施土：普通(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 烧成：普通 色调：7.5Y R7/6	底部1/8残存
33-18	S B236 覆土	甕			外側L字R横構文輪郭文。内側上部ヘラミガキ。 内側全体ヨコハケ後ナダ。	施土：普通(石灰、白色粒、赤色粒) 烧成：普通 色调：7.5Y R6/7	肩部破片
34-1	S B233 覆土	甕	現存高：1.5 口径：(14.0)	単純口縫合。口縫合は外側が見えないほど大きく外反する。口唇部は直角。	外側全体ヨコハケ後ヨコナダ。内面底部ナダ。肩部ヨコハケ後ナダ。	施土：やや粘(石灰、白色粒、黑色粒、赤色粒) 烧成：普通 色调：7.5Y R6/6淡黄緑	口縁部1/8残存 全体的に磨滅
34-2	S B233 覆土	甕	現存高：9.6 口径：(19.2)	折り返し口縫合。口縫合は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し口縫合の断面は四角く、口唇部は直角。	外側ヨコハケ後ナデ。内面底部ヨコハケ後ナダ。2本1組の棒状輪郭文を作りL字R横構文2段式輪郭文。	施土：普通(石灰、白色粒、黑色粒、赤色粒) 烧成：普通 色调：7.5Y R7/6	口縁部1/5残存 外側磨滅
34-3	S B233 覆土	甕	現存高：2.0 口径：(16.5)	折り返し口縫合。口縫合は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し口縫合の断面は四角く、口唇部は直角。	外側口縫合ヨコハケ後ナデ。内面底部ヨコハケ後ナデ。肩部ヨコハケ後ナダ。	施土：普通(石灰、白色粒、黑色粒、赤色粒) 烧成：普通 色调：7.5Y R6/6	口縁部1/8残存
34-4	S B233 覆土	甕	現存高：1.6 口径：(15.8)	折り返し口縫合。口縫合は大きく外反する。折り返し口縫合の断面は四角く、口唇部は直角。	外側口縫合ヨコハケ後ナデ。内面底部ヨコハケ後ナデ。肩部ヨコハケ後ナダ。	施土：やや粘(石灰、輝石、白色粒、赤色粒) 烧成：良 色调：7.5Y R7/4に近い緑	口縁部1/5残存

表 8-13 弥生土器観察表 (13)

順番	出土遺構	SN	計測値(cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
34-5	S B233 覆土	造		折り返し口縫部、口縫部は折り返し、表面に見ないほどのくびれ。内部には内凹窓を持つ。折り返し面の断面は内角く、山脚部は圓取り。	外面部縫合部からハサミカッタヘラミガキ、折り返し面、ナゲテ。内部はコカの後、ハケ工具で面に対して重ねて割みを入れる。内部全体ヨコハケ後ヨコハラミガキ。 内部全体ヨコハラミガキ 1 条筋文。	胎土：やや粗(石英、白色粒、黒色粒、赤色粒) 焼成：灰 色調：7.5Y R7/4に近い焼成	口縫部被片
34-6	S B233 覆土	造	現存高：4.8 口径：(18.0) 底径：(17.4)	底部は非常によろしく直面し、口縫部はわざずに外反する。口唇部は直面取り。	外面部縫合部から上部の縫合部ハサミガキ、折り返し面、ナゲテ。内部はコカの後、ハケ工具で面に対して重ねて割みを入れる。内部全体ヨコハケ後ヨコハラミガキ。 内部全体ヨコハラミガキ 1 条筋文。	胎土：やや粗(石英、白色粒、黒色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R8/4浅黃褐色	口縫部—肩部上位1/8残存全体的に焼成
34-7	S B233 覆土	裏	現存高：4.0 口径：(24.8) 底径：(20.6)	内部は非常に緩やかに曲面し、口縫部は外反する。口唇部は直面取り。	外面部縫合部から周縫合部からハサミガキをむすびなく残る。口唇部はコカガラ。内部全体ヨコハラミガキ。 内部全体ヨコハラミガキ	胎土：普通(石英、白色粒、赤色粒、灰白色) 焼成：普通 色調：5Y R6/6	口縫部—肩部1/12残存外面部被片 内部全体ヨコハラミガキ
34-8	S B233 覆土	裏	現存高：4.4 口径：(22.2) 底径：(20.2)	底部は後を持たずに直面し、口縫部は直線的に外方へ開く。口唇部は直面取り。	外面部縫合部からナメハケ、口縫部ヨコハラミの後、下端にハケ工具で割みを入れる。内部縫合部ナメ。内部ヨコハラミの後、口唇部はヨコナダ。	胎土：普通(石英、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6	口縫部—肩部1/12残存
34-9	S B233 覆土	造	現存高：2.7 底径：(10.1)	短く直立する壺の底部。	外面部全体ヨコハラミガキ。 内部全体ヨコハラミガキ 1 条筋文ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英、輝石、白色粒、赤色粒、灰白色) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	底部1/3残存
34-10	S B233 覆土	造	現存高：2.3 底径：(8.2)	底部から直接胴下位に続く壺の底部。	外面部縫合部からハサミガキをむすびなく残る。内部全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：灰 色調：7.5Y R6/4に近い焼成	底部1/3残存外面部被片
34-11	S R234 覆土	造	現存高：3.0 底径：(7.0)	短く直立する壺の底部。	外面部縫合部ヨコハラミガキ。下位ハケ後ヨコハラミガキ。 内部全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：灰 色調：5Y R7/6	底部1/4残存
34-12	S B236 底裏	造	現存高：2.5 底径：(8.0)	底部から直接胴下位に続く壺の底部。	外面部全体ヨコハラミガキ。	胎土：やや粗(石英、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4に近い黄褐色	底部1/3残存
34-13	S B236 覆土	造	現存高：2.7 底径：(10.0)	短く直立する壺の底部。	外面部縫合部ヨコハラミガキ後ヨコハラミガキ。 内部底面ナメ。胴下位ヨコハラミ。	胎土：普通(石英、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R8/6浅黃褐色	底部1/2残存
34-14	S B236 底裏	造	現存高：1.7 底径：(9.0)	短く直立する壺の底部。	外面部全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	底部1/4残存全体的に焼成
34-15	S B236 覆土	造	現存高：2.7 底径：(11.5)	短く直立する壺の底部。	外面部全体ヨコハラミガキがわざなく残る。 内部全体ヨコハラミがわざなく残る。	胎土：普通(石英、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R8/6に近い黄褐色	底部1/3残存全体的に焼成
34-16	S B239 覆土	造	現存高：4.7 底径：(18.6)	複合口縫部、複合部は口縫部をわざなくして口らせ、外側に粘土帯を貼りつけて造り出し、直線的に外傾する。口唇部は直面取り。	外面部縫合部ヨコハラミ。複合部ヨコハラミまたはナメハケ。10%落ヨコハラミ。 内部全体ヨコハラミ。	胎土：やや粗(石英、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4に近い黄褐色	底部1/2残存複合部粘土帯外傾
34-17	S B240 生穴 覆土	造	現存高：5.6 底径：(8.0)	横口～側上位の頸の小さい凹部。底部は狭らずに単部につながる。	外面部側上位ヨコハラミ後ナメ。脇部ナメ状の底面文と横口～側上位の頸の頸の強引ナメ。 内部全体ヨコハラミ。	胎土：やや粗(石英、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4に近い黄褐色	頭部—肩部上位1/4残存 内部底面
34-18	S B241 覆土	造	現存高：1.1 口径：(23.0)	折り返し口縫部。口縫部は外側が見えないほど大きくなれる。折り返し面の断面は内角く、口唇部は直面取り。	外面部縫合部ヨコハラミ。口縫部ヨコハラミの後、下端にハケ工具で割みを入れる。 内部全体ヨコハラミ。	胎土：普通(石英、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6	頭部1/6残存
34-19	S B241 覆土	裏	現存高：3.1 底径：(27.0)	口縫部は大きく外反する。口唇部は直面取り。	外面部縫合部ヨコハラミ。口縫部ヨコハラミの後、下端にハケ工具で割みを入れる。 内部全体ヨコハラミ。	胎土：やや粗(石英、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：普通 色調：3Y R7/8	口縫部1/10残存 内部底面
34-20	S B241 P-3-1	裏	現存高：10.5 口径：(17.8) 底径：(15.7) 最大径：(18.0)	側面は上に横に茎を有した輪郭形を呈する。底部は腰を持たずに出曲面し、口縫部は直線的に大きくなる。口唇部は直面取り。	外面部縫合部ヨコハラミ。口縫部ヨコハラミの後、下端にハケ工具で割みを入れる。 内部全体ヨコハラミ。	胎土：普通(石英、輝石、白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成：やや粗 色調：7.5Y R7/7.5	口縫部1/12、頭部～側中位 1/6残存
34-21	S B241 P-3-1	裏	現存高：12.1 口径：(21.4) 底径：(18.0) 最大径：(20.7)	口縫部が強度より大きな箇所。側面は上に横に茎を有した輪郭形を呈する。底部は腰を持たずに出曲面し、口縫部は直線的に大きくなる。口唇部は直面取り。	外面部縫合部ヨコハラミ。口縫部ヨコハラミの後、下端にハケ工具で割みを入れる。 内部全体ヨコハラミ。	胎土：普通(石英、輝石、白色粒、赤色粒) 焼成：灰 色調：7.5Y R7/6	口縫部1/10残存 内部底面 外面部底面

表 8-14 弥生土器観察表 (14)

試験番号	出土箇所	測定	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	出土・焼成・色調	備考
35-1	S B243 層 P-3	現存高:	18.8 最高: 26.8	側面は特に最大径を有した複数形を呈する。	外側部底~下部ヨコラミガキ。肩上位輪郭のため肩部が厚所。内面全体腐食のため調整不明。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 長 色調: 7.5Y R7/6等	側上部~下部1/3残存 外側輪郭上位。 内面磨滅
35-2	S B241 層 P-1	現存高:	18.8 最高: 24.0	側面は特に最大径を有した複数形を呈する。端部は焼やかに崩落する。	外面部全体腐食のため調整不明。 内面頂下部ヨコラミガキ。胴上位厚所。	出土: やや粗(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 長 色調: 7.5Y R7/6等	頭部~肩~胴上位1/8残存 外側面微減
35-3	S B244 層土	現存高:	2.9 口径: (16.8)	折り返し口輪底。1周部は大きく外反する。折り返し頭の表面は直角く、1周部は面取り。	外面部全体ヨコラミガキ後一部タケハヨコラミガキ。頭上位厚所。 内面全体ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・白色粒) 焼成: 長 色調: 5Y R7/8等	頭部1/8残存 内面磨滅
35-4	S B244 層土	現存高:	2.4 口径: (19.5)	山輪部はわずかに外反する。1周部は面取り。	外面部全体タケハヨコラミガキ。 内面全体ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 長 色調: 7.5Y R7/6等	1周輪部1/8残存 内面磨滅
35-5	S B244 層土	現存高:	3.3 口径: (28.0)	山輪部は外反する。口唇部は面取り。	外面部輪部タケハヨコラミガキ。口唇部リコナ。	耐火: 無透(石灰・白色粒) 焼成: 長 色調: 5Y R6/6等	口輪部1/8残存 全体的に磨滅
35-6	S B245 層土	現存高:	6.7 口径: (24.0)	単純山輪底。二輪部は大きく外反する。1周部は面取り。	外面部輪部タケハヨコラミガキ。口唇部リコナ。 内面全体ヨコラミガキ後一部タケハ。	耐火: 無透(石灰・白色粒・赤色粒) 焼成: 長 色調: 7.5Y R7/6等	1周輪部1/8残存 内面磨滅
35-7	S B245 層土	現存高:	2.0 口径: (9.2)	弧形から直線形下位に続く唇の形状。底山輪微波がある。	外面部全体ヨコラミガキ。 内面全体ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 長 色調: 7.5Y R7/6等	底部1/4残存
35-8	S B245 層土	現存高:	2.5 口径: (9.7)	短く直立する唇の底部。底山輪微波あり。	外面部全体ヨコラミガキがわずかに残る。 内面全体ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 長 色調: 7.5Y R6/8浅青釉	底部1/4残存 外側磨滅
35-9	S B245 層土	現存高:	3.7 口径: (9.0)	短く直立する唇の底部。	外面部とも磨滅のため調整不明。	耐火: やや粗(石灰・輝石・白色粒・赤色粒・次色粒) 焼成: 長 色調: 10Y R6/4において黄化	底部1/4残存 全体的に磨滅
35-10	S B245 層土	現存高:	3.4 口径: (9.0)	短く直立する唇の底部。	外面部全体ヨコラミガキ。 内面全体ヨコラミガキがわずかに残る。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 長 色調: 7.5Y R4/3において赤褐色	底部1/4残存 内面磨滅
35-11	S B246 層土			半脱口輪底。(輪底は直線的)外方へ聞く。1周部は面取り。	外面部輪部タケハヨコラミガキ後一部ヨコラミガキを纏む。1周部ヨコラミガキ。	耐火: やや粗(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 長 色調: 10Y R7/6明黄釉	上部剥離片 全体的に磨滅
35-12	S B246 層土				外面部輪部タケハヨコラミガキ後一部ヨコラミガキを纏む。1周部ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/6等	胴上位破片
35-13	S B246 層土	現存高:	2.4 口径: (16.4)	折り返し、無透。1周部は大きく外反する。折り返し頭の断面は円錐く、口唇部は面取り。	外面部輪部ヨコラミガキ後一部ヨコラミガキを纏む。1周部ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6等	輪部1/8残存
35-14	S B246 層土	現存高:	3.6 口径: (17.4)	折り返し、無透。1周部は大きく外反する。折り返し頭の断面は円錐く、1周部は直面。	外面部輪部ヨコラミガキ後一部ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6等	1周輪部1/8残存
35-15	S B246 層土	現存高:	2.3 口径: (28.0)	折り返し口輪底。1周部は大きく外反する。折り返し頭の断面は直角く、1周部は直面。	外面部輪部ヨコラミガキがわずかに残る。折り返し頭の断面は直角く、1周部ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4において黄化	口輪部1/12残存 外側磨滅
35-16	S B246 層土	現存高:	5.7 口径: (7.8)	唇部は僅らうに長い傾斜につながる。	外面部輪部ヨコラミガキ後一部ヨコラミガキ。	耐火: 無透(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6.6等	面部~輪部1/4残存
35-17	S B246 層土	現存高:	7.3 口径: (16.2)	唇部は僅らうに長い傾斜につながる。輪部は僅やかに磨滅する。	外面部輪部ヨコラミガキ後一部ヨコラミガキ。	耐火: やや粗(石灰・輝石・白色粒・赤色粒・次色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R8/6浅青釉	面部~輪部4/4残存 全体的に磨滅

表 8-15 弥生土器観察表 (15)

測量番号	出土遺物	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	埴土・焼成・色調	備考
35-18	S B246 埴土	現存高: 2.0 口径: (10.3)	底部から直線斜面で傾く底の底盤。外側木枠抜あります。	外側全体ナガ?。 内面全体ナガ。	埴土: やや密(石英・白色粒・黒色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R8/6 淡黄褐	底部1/5残存 外側磨滅 1/8残存
35-19	S B246 埴土	現存高: 12.9 口径: (26.0) 周径: (23.2) 最大径: (26.6)	脚部は上位に最大径を有した球形を呈する。底部は傾く中に凸円形で、口縁部は大きめ外反する。口部には取扱り。	外側上位幅かいヨコハケ。口縫部一帯幅かいヨコハケ。口部ヨコナガ。 内面幅かいヨコハケ。口縫部一帯幅ヨコハケの後、口縫部一帯ナガ。	埴土: 普通(石英・白色粒・黒色粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R6/6 淡	口縫部一帯部1/12、胴上位1/8残存
35-20	S B246 埴土	現存高: 5.6 周径: (10.0)	底部～脚部が直線的に傾く台付窓の脚部。	外側全体ヨコハケ後一部ナガ。 内面全体作舟形に傾いたヨコハケの後、落部ナガ。	埴土: 普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・灰色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R6/4 淡	表面1/8残存 外亞輪付着
36-1	S B246- 247 埴土上層	現存高: 6.5 周径: (16.0)	底部～脚部が直線的に傾く台付窓の脚部。	外側全體ヨコハケ後ナガ。	埴土: 普通(石英・白色粒・黒色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/4 淡	脚部1/8残存
36-2	S B246- 247 埴土上層	現存高: 2.5 口径: (16.3)	折り返し口縫部。口縫部は外側が見えないほど大きめ外反する。折り返し歯の断面は四角く、口部部は凹取り。	外側山脚部タケハケがひざかに残る。折り返し面ナガ。口部ヨコナガ。 内面各段の境にS字状筋肋文を伴う上段R L下段L R横筋肋文を描寫。	埴土: やや密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8 淡	口縫部1/5残存 全体的に磨滅
36-3	S B246- 247 埴土上層	現存高: 2.3 直径: (7.2)	底部から直線斜面下位に続く凸の底盤。底面本葉復元。	外側全體タケハケ後ナガ。 内面全体丁寧なナガ。	埴土: 密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6 淡	底部1/2残存
36-4	S B248 埴土	現存高: 11.3 口径: (15.0) 周径: (14.8) 最大径: (17.4)	脚部に位に最大径を有した球形を呈する。底部は傾くに接する。口縫部は傾いて出し、輪縁みを抑えずに上に向る。口縫部は直線的に外輪縁する。口部部は凹取り。	外側上位一帯幅かいヨコハケ。山脚部ヨコナガ。山脚部ヨコナガの後、下部へへて引込みを入れる。 内面底部一帯幅ヨコハケからヨコハケ。山脚部ヨコハケ後、口部部付近ヨコナガ。	埴土: やや密(石英・輝石・白色粒・黑色粒・灰色粒) 焼成: やや良 色調: 5Y R7/6 淡	口縫部～胴上位1/12、脚上位1/4残存
36-5	S B249 埴土	現存高: 4.0 口径: (24.6) 周径: (22.0)	脚部は傾くに接し、口縫部は外輪縁。	外側上部一帯幅タケハケ。口縫部ヨコハケ。 内面ヨコハケ後、下部へへて引込みを入れられる。	埴土: やや密(石英・白色粒・輝石・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6 淡黄褐	口縫部～肩部1/12残存 全体的に磨滅
36-6	S B249 埴土	現存高: 6.2 口径: (18.0) 周径: (16.8)	脚上位はわずかに仄く張って脚部につながる。脚部は非垂直に傾くか直線的で傾く。口縫部は外反する。口部部は凹取り。	外側上位ヨコハケ。口縫部ヨコハケ後ヨコハケ。1周回ヨコハケの後、下部へへて引込みを入れる。 内面ヨコハケ後ヨコハケ。1周回ヨコハケの後、下部へへて引込みを入れる。	埴土: 普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6 淡	口縫部～脚上位1/6、胴上位1/12残存 外亞輪付着
36-7	S B249 埴土	現存高: 4.0 口径: (18.0) 周径: (16.8)	脚上位がひざかに張って脚部につながる。	外側胴中位ヨコハケミカミガ。脚上位は傾くに接するS字状筋肋文を伴うL R横筋肋文を描写。内面ヨコハケ。(現状2個)。 内面全体削減したため調査不明。	埴土: 普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6 淡	脚上位～中位破片 全体的に磨滅
36-8	S B249 埴土	現存高: 1.5 口径: (14.2)	外側脚部は下部にS字状筋肋文を伴うL R横筋肋文を描寫。内面ヨコハケ。(現状2個)。 内面全体削減したため調査不明。	外側脚部は下部にS字状筋肋文を伴うL R横筋肋文を描寫。内面ヨコハケ。(現状2個)。 内面全体削減したため調査不明。	埴土: 普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/4 に近い黄褐	脚部～肩部1/2残存 全体的に磨滅
36-9	S B249 <sup>c</sup> 埴土	現存高: 1.1 口径: (14.2)	折り返し口縫部。口縫部は外側が見えないほど大きめ外反する。折り返し歯の断面は四角く、口部部は凹取りで上端を尖らせる。	外側上位ヨコハケの後、脚上位は傾くに接するS字状筋肋文を伴うL R横筋肋文を描寫。内面ヨコハケ。(現状2個)。	埴土: やや密(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6 淡	口縫部1/8残存 全体的に磨滅
36-10	S B250 埴土	現存高: 2.5 口径: (16.0)	単純口縫部。口縫部は直線的に外輪縁する。口部部は凹取り。	外側外底部ヨコハケ。山脚部ヨコハケ。 内面は上部にS字状筋肋文を伴うL R横筋肋文を描寫。内面ヨコハケ。(現状2個)。	埴土: 密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6 淡	口縫部破片
36-11	S B250 埴土	現存高: 2.5 口径: (16.0)	単純口縫部。口縫部は外側が見えないほど大きめ外反する。口部部は凹取りで上端を尖らせる。	外側ヨコハケタケハケ。口部ヨコナガ。 内面は傾くに接する下部にS字状筋肋文を伴うR L下段L R横筋肋文を描寫。	埴土: 密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6 淡	口縫部破片 外面磨滅
36-12	S B250 埴土	現存高: 2.5 口径: (16.0)	外側ヨコハケタケハケ。口部ヨコナガ。 内面は傾くに接する下部にS字状筋肋文を伴うR L下段L R横筋肋文を描寫。	外側ヨコハケタケハケ。口部ヨコナガ。 内面ヨコハケ。脚下位ヨコハケ。	埴土: 密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R5/6 淡黄褐	脚部破片
36-13	S B250 埴土	現存高: 2.5 口径: (16.0)	底部から直線斜面下位に続く凸の底盤。	外側全體タケハケ。脚部ヨコナガ。 内面ヨコハケ。脚下位ヨコハケ。	埴土: 普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6 淡	底部1/2残存 外面磨滅

表 8-16 弥生土器観察表 (16)

試験番号	出土遺構	縦・横測定値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
36-14	S B1250 覆土	査 現存高：3.3 口径：(9.8)	短く直立する唇の底部。	外表面全体コヨヘラミガキの後、底面リコナ。	胎土：やや粗(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	底部1/4残存 全体的に磨滅
36-15	S B250 P-1 9.1 P-1	査 現存高：9.0 底部径：11.0	底部一部が直線的に開く台付腰の脚部。	外表面全体タハケがわざかに残る。 内面裏側脚部にはコヨハケ後、一部ナメ。脚上位部ナメ。天井部コナ。	胎土：やや粗(石英・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	脚部は完全 外因磨滅
36-16	S B 250・259 覆土上層	査	単純口縁型。口縁部は直線的に外方へ開く。口唇部は凹取りで齒が天津を向く。	外表面全体タハケがわざかに残る。 内面裏側脚部にはコヨハケ後、一部ナメ。脚上位部ナメ。天井部コナ。	胎土：やや粗(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗	口縁部或片全体的に磨滅
36-17	S B 250・259 覆土上層	査 現存高：1.8 口径：(15.4)	折り返し口縁型。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。 折り返し唇の断面は四角く、口唇部は凹取り。	外表面全体感のため調整不明。 内面は上部にS字状結節文を作り上段L.R.、下段R.L横位輪文施され、下部のS字状結節文の上に円形浮出突起があり(現存1/4)。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6暗	口縁部1/10残存 全体的に磨滅
36-18	S B 250・259 覆土上層	査		外表面は上部にS字状結節文を作りL.R横位輪文施文。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/6暗	肩部破片
36-19	S B 250・259 覆土上層	査		外表面は上段L.R.、中段は下部にS字状結節文を作りL.R横位輪文、下段は引き抜き波状文を施文。 内面全体ナメ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	肩部破片
36-20	S B 250・259 覆土上層	査 現存高：3.0 口径：7.6	短く直立する唇の底部。	外表面全体タハケ後、リコヘラミガキの後、底部コナ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6暗	底部完全 内面磨滅
36-21	S B250- 256・259 覆土上層	査 現存高：13.1 口径：(16.8) 底径：(8.2)	单純口縁型。底部は狭らしく短い。 断面につながり、口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。 口唇部は凹取りで上端を尖らせる。	外表面脚部は一帯にタハケの後、 底部一帯は下部にS字状結節文を作り上段L.R.、下段R.L横位輪文施文。 口縁部はコヨハケ後、底部コナ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	口縁部1/6、肩部1/2、肩部- 上位1/4残存
37-1	S B251 覆土 P-1	査 現存高：3.0 口径：(21.0)	折り返し縁を持つ大型の腰とまつは跡。脚部は腰らしく外反する。 脚部は凹取りで、折り返し唇の断面は四角く、口唇部は凹取り。	外表面脚部タハケ後、ナメヘラミガキ。折り返し唇ナメ。口唇部コハコハ後コナ。	胎土：普通(輝石・馬尾粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	口縁部1/12残存
37-2	S B251 覆土	査 現存高：2.1 口径：(13.6)	折り返し口縁型。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。 折り返し唇の断面は四角く、口唇部は面取り。	外表面脚部タハケ後、ナメヘラミガキ。折り返し唇ナメ。口唇部コハコハ後コナ。	胎土：やや粗(石英・白色粒・馬尾粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6暗	口縁部1/1残存 全体的に磨滅
37-3	S B251 P-1	査 現存高：10.8 底径：9.9	脚部は腰らしく短い。断面につながり、口縁部は大きく外反する。	外表面脚部は下位にS字状結節文を作りL.R横位輪文施文後、圓文の上に圆形浮出突起を8方向に貼り付ける。 脚部リコハケがわざかに残る。底部コナ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6暗	口縁部-脚部完全(11脚部) 全体的に磨滅
37-4	S B251 P 3	査 現存高：9.7 口径：(15.3) 底径：8.4	単純口縁型。底部は腰らしく外反する。口縁部は大きくなっている。	外表面脚部コヨヘラミガキ。脚部一帯はタハケ後、ナメヘラミガキ。 口唇部コヨハケ。	胎土：普通(石英・白色粒・馬尾粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/3によい青	口縁部1/3残存、底部- 肩部ほぼ完存
37-5	S B251 P 4-2	査 現存高：15.0 最大径：23.6 底径：(9.6)	脚部は下位に最大径を有する。腰を伸つ。脚部は直線的に開く。脚部中央位に内面突起部に立ち上がる。底部木蓋あり。	外表面全体コヨヘラミガキ。 内面裏側脚部ナメ。口縁部コヨハケ後ナメ。	胎土：やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/3	脚部-下位脚部は完存、底 部ほぼ完存
37-6	S B251 P 4-1	査 現存高：(13.1) 口径：(13.7) 底径：(15.1) 最大径：(8.2)	脚部山中位に最大径を行った複数脚部を有する。脚部は腰を持たずにはじめ、口縁部は直線的にわざかに外反する。口唇部は面取り。	外表面全体感のため調整不明。 内面裏側位にリコハケがわざかに残る。他に脚部コナ。	胎土：やや粗(石英・白色粒・馬尾粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6	山中位-下位脚部は完存、底 部3脚部全体に磨滅
37-7	S B251 P-2	査 現存高：7.5 底径：(8.0)	底部一部が直線的に開く低い台付腰の脚部。	外表面脚部全体リナメハケ後ナメ。 内面裏側脚部コヨハケ後ナメ。口唇部コナ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗	脚部ほぼ完存(脚部1/2欠 損)
37-8	S B253	査	折り返し口縁型。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し唇の断面は四角く、口唇部は面取り。	外表面脚部タハケ後、折り返し唇ナメ。口唇部コナ。	胎土：やや粗(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6黄橙	口縁部破片

表 8-17 弥生土器観察表 (17)

試験番号	出土遺構	調査	計測値 (cm)	形態的特徴	調整・手法の特徴	地土・廃成・色調	備考
37-9	S B253 <sup>レ</sup> 壁上	壁		直角口縁部。口縁部は内側向外方に 外方へ開く。口唇部は圓取りで、 圓が大井を向く。	外側脚上位ヨコハギ式。脚部は下部のS字状脚部文を伴うR L横位脚文異文。 内面脚上位脚ヨコハギ・脚部ナ メ。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：良 色調：7.5Y R7/6暗	脚部成り
37-10	S B254 壁土	壁		直角口縁部。口縁部は内側向外方に 外方へ開く。口唇部は圓取りで、 圓が大井を向く。	外側上部にS字状脚部文を伴うR L横位脚文異文。(口唇部は脚位 脚文無し。 内面脚上部にS字状脚部文を伴うR L横位脚文異文。	地土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	口縁部破片
37-11	S B254 壁土	壁	現存高：7.8 口径：(26.2) 底径：(18.6)	脚上位はわざかに張って脚部に つながる。脚部は直井に脚部に組 合する。口縁部はねじねじに外反す る。口唇部は圓取りで脚部を向く。	外側脚上位ヨコハギ式。(脚部一階 脚ヨコハギ)。脚部ヨコハギの後、 脚部にS字状脚部文を伴うR L横位脚文異文。	地土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 廃成：良 色調：7.5Y R7/6暗	I脚部-I脚上位I/5残存
37-12	S B254 壁土	壁	現存高：6.3 底径：(12.6)	底部～脚部が直線的に開く直井の 脚部。脚中位に2個1単位の透 し孔を4方に穿孔。	外側全体ヨコハギ。 内面全体ヨコハギ。	地土：やや密(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：5Y R7/6暗	脚部II/3残存
38-1	S B256 壁土	壁	現存高：17.5 口径：21.4 底径：17.8 最大作：24.3	台付脚。脚部は下位に最大作を見る。 脚上部は直井による球形部を呈する。 脚上部は直井によって脚部につながる。 脚部は接を均すように開曲し、口縁 部は長く、直線的に外傾する。口 唇部は圓取り。	外側脚上位一阶ヨコハギ。脚部 ヨコハギ・脚部ヨコハギがむず かに残る。口唇部ヨコハギ。 内面全体ヨコハギ。	地土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：5Y R6/4にいき物	山腰部II/2、東部～脚下位 2/3残存 外側磨滅
38-2	S B256 壁土	壁		単純口縁部。脚部は直線的に外 方へ開く。	外側全体ヨコハギ。 内面全体ヨコハギの後、上部にS 字状脚部文を伴うR L横位脚文異 文後、S字状脚部文の上に円滑な 脚部を貼りつける(現存II回)。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：5Y R6/4弱黄褐	I脚部破片 (I)脚部欠損
38-3	S B256 壁土	壁	現存高：2.0 口径：(16.2)	折り返し口縁部。脚部は外側が 見えないほど大きく述べる。折 り返し口縁部は内側から、口唇部 に圓取り。	外側脚部ヨコハギの後、上部にS 字状脚部文を伴うR L横位脚文異 文後、S字状脚部文の上に円滑な 脚部を貼りつける(現存II回)。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：7.5Y R6/6	I脚部I/4残存
38-4	S B256 壁土	壁	現存高：2.3 直径：(7.4)	短く直立する帶の底部。	外側全体ヨコハギ後ヨコヘタミガ キ。 内面直井ナメ。脚下位置ナメ。	地土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：10Y R7/6弱黃褐	東部I/2残存
38-5	S B256 壁土	壁	現存高：4.7 底径：(9.8)	底部～脚部が直線的に開く台付脚 の脚部。	外側全体ヨコハギ。 内面全体ナメ。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	脚部II/3残存
38-6	S B257 壁土	壁	現存高：26.1 口径：15.3 底径：8.8 最大作：22.9	折り返し口縁部。脚部は巾位に最 大作を有する脚部を呈する。脚 部は強引に組み替わった跡につなが る。脚部は外反する。口唇部は圓取 りなど大きく外反する。折り返し し脚部は四角く、口唇部は直 取り。	外側脚上位一阶ヨコハギ後、事 なヨコハギ・ヨコヨコハギ。脚上位脚部の ため脚部は不規則ヨコハギの後、 ヨコ脚部一阶ヨコハギヨコハギ。 ヨリ返し口縁ナメ。口唇部ヨコハギ ヨコヨコナメ。 内面脚上位一阶ヨコハギ。口縁 部ヨコハギヨコハギヨコハギ。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：良 色調：7.5Y R6/6	山腰部III/4、箱舟II/3、脚上 位一阶ヨコハギ(脚部欠 損)
38-7	S B258 壁土	壁	現存高：7.6	脚上部は強らしく脚部につながる。 脚部は外反する。口唇部は圓取り。	外側脚上位ヨコヘタミガキ。脚部 L R横位脚文2式施文。 内面全体ヨコハギ。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：良 色調：5Y R5/6弱赤褐色	脚部I/16残存 内側磨滅
38-8	S B258 壁土	壁	現存高：4.9 口径：(16.8) 底径：(15.5)	脚上部が強く張って脚部につなが る。脚部は緩やかに屈曲し、口縁 部は外反する。口唇部は圓取り。	外側I脚部一阶ナメハケ。 I脚部ヨコハギ。 内面脚上位ナメ。口縁部ヨコハギ ヨコハギ。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：5Y R6/6	II脚部-I脚部I/8残存
38-9	S B258 壁土	壁	現存高：6.4 口径：(16.0) 底径：(15.2)	脚部は上位に最も大きくなる。 脚部は緩やかに屈曲し、口縁 部を呈する。脚部は脚を折たびに 屈曲し、口縁部は直線的に外傾す る。口唇部は圓取り。	外側I脚部一阶ナメハケ。 I脚部ヨコハギ。 内面脚上位ナメ。口縁部ヨコハギ ヨコハギ。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：良 色調：7.5Y R7/6(内面)	口縫部-I脚部I/5残存 外側磨滅
38-10	S B258 壁土	壁	現存高：7.5 底径：(9.2)	底部～脚部が内傾時に開く脚部 の内側脚部。	外側脚部ヨコハギの跡跡跡跡跡跡 ト位一阶ヨコヘタミガキ。脚部 L R横位脚文2式施文。 内面脚部ナメ。脚上位ヨコハギ。 大井部ナメ。脚下位一阶脚部ナメ。 ヨコヨコナメ。	地土：密(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：7.5Y R6/6	脚下位-I脚部I/3残存 外側磨滅
38-11	S B260 壁土	壁	現存高：3.2 口径：(16.4)	口縁部は外反する。口唇部は圓取 り。	外側脚部ヨコハギヨコヘタミガキ。口 唇部ヨコヨコナメ。 内面全體ヨコハギ。	地土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 廃成：普通 色調：5Y R5/6弱赤褐色	脚部I/8残存
38-12	S B260 壁土	壁	現存高：5.5 底径：(7.8)	脚部は強らしく張り脚部につなが る。ヨコ脚部は緩やかに外反する。 口唇部ヨコヨコナメ。	外底全體ヨコハギの後、脚部に 内面脚部ナメ。脚上位ヨコハギ。 内面脚部ナメ。脚上位ヨコヨコナメ。 ヨコヨコナメ。	地土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 廃成：良 色調：7.5Y R7/6黄褐色	II脚部-I脚部I/6残存 (口 界部欠損) 全体的に磨滅

表 8-18 弊生土器観察表 (18)

表 8-19 弥生土器觀察表 (19)

番号	出土遺物	種類	計測値(cm)	形態の特徴	測定・手法の特徴	断土・物成・色調	参考
40-10	S B261 P 20 1	骨	現存高：4.1 口径：(23.0)	折り返し口縫合、口唇部は外側が見えないほど大きくなっている。折り返し面の断面は四角く、唇部は内側取り。	外側二重縫合で内側が折り返し面ナメハケ。口唇部は内側全体がコハックの後、縫合前指状又はY字縫合X。口唇部に小孔1個あり。	粘土：普通(石英・白色粒) 成形：普通 色調：10 Y R 6/8弱黄褐色	L3層部1/6残存
40-11	S B261 覆土	骨	現存高：2.1 口径：(22.6)	折り返し口縫合、口唇部は外側が見えないほど大きくなっている。折り返し面の断面は四角く、唇部は内側取り。	外側口唇部に場所によってコハックがあり他の部分は内側取り。内面全体がナメハケ。	粘土：普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：7.5 Y R 7/6橙	口輪部1/6残存 全体的に墨滅
40-12	S B261 P 32-2	骨	現存高：1.4	折り返し口縫合、口唇部は外側が見えないほど大きくなっている。折り返し面の断面は四角く、唇部は内側取り。	外側口唇部に場所によってコハックがあり他の部分は内側取り。内面全体がナメハケ。	粘土：普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：7.5 Y R 6/6橙	口輪部破片
40-13	S B261 P-30	骨	現存高：2.0 口径：(19.6)	折り返し口縫合、口唇部は外側が見えないほど大きくなっている。折り返し面の断面は四角く、唇部は内側取り。口唇部は内側取り。	外側口唇部に場所によってコハックがあり他の部分は内側取り。内面全体がコハックの後、縫合前指状又はY字縫合X。口唇部に小孔3個あり。	粘土：普通(石英・白色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：7.5 Y R 6/6橙	口輪部1/6残存 全体的に墨滅
40-14	S B261 覆土	骨	現存高：2.0 口径：(19.2)	折り返し口縫合、口唇部は外側が見えないほど大きくなっている。折り返し面の断面は四角く、唇部は内側取り。口唇部は内側取り。	外側口唇部に場所によってコハックがあり他の部分は内側取り。内面全体がコハックの後、縫合前指状又はY字縫合X。口唇部に小孔3個あり。	粘土：普通(石英・白色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：5 Y R 6/6橙	口輪部1/6残存 全体的に墨滅
41-1	S B261 P-5-1	骨	現存高：11.2 口径：(21.5)	複合口縫合、口輪部は大きく外側にする。複合部は口唇部を扁平化させて取り出し、直線的に外側にする。口唇部は内側取り。	外側口唇部に場所によってコハックがあり他の部分は内側取り。内面全体がコハックの後、縫合前指状又はY字縫合X。口唇部に小孔3個あり。	粘土：やや密(石英・白色粒・黑色粒) 成形：やや密 色調：7.5 Y R 7/6橙	口輪部1/2残存 全体的に墨滅
41-2	S B261 P 5-2	骨	現存高：8.2 口径：(15.1) 肩幅：(6.5)	複合口縫合、頭部は高く、口輪部は大きく外側にする。複合部は口唇部を扁平化させて取り出し、直線的に外側にする。口唇部は内側取り。	外側口唇部に場所によってコハックがあり他の部分は内側取り。内面全体がコハックの後、縫合前指状又はY字縫合X。口唇部に小孔3個あり。	粘土：やや密(石英・白色粒・黑色粒) 成形：やや密 色調：10 Y K 7/4に近い橙	口輪部1/2残存 全体的に墨滅
41-3	S B261 P 20 2	骨	現存高：6.2 口径：(26.2)	複合口縫合、口唇部は大きく外側にする。複合部を扁平化させて取り出し、直線的に外側にする。口唇部は内側取り。	外側口唇部に場所によってコハックがあり他の部分は内側取り。内面全体がコハックの後、縫合前指状又はY字縫合X。口唇部に小孔3個あり。	粘土：普通(石英・輝石・白色粒) 成形：普通 色調：7.5 Y R 7/6橙	口輪部1/2残存 全体的に墨滅
41-4	S B261 覆土	骨	現存高：5.2 口径：(18.6)	複合口縫合、複合部は直線的に外側にする。口唇部は内側取り。	外側複合部ナメハケ。口唇部にコハック。内面全体がコハック。	粘土：やや密(石英・白色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：7.5 Y R 6/6に近い黄褐色	口輪部1/8残存 全体的に墨滅
41-5	S B261 P 8	骨	現存高：16.0 頭径：16.1 露径：6.7	頭部に最大幅を有し、頭を持つ。頭下位は直線的に大きく開き、頭巾位がやや張っており、頭部につながる。	外側頭部コロコロヘアミガキ。頭下位が残る。内面頭部ナメハケ。頭下位コロコロヘケ。斜め枕板ナメハケ。頭上位コロコロヘケ。頭部下半部コハック。頭下位コロコロヘケ。	粘土：やや密(石英・白色粒・黑色粒) 成形：やや密 色調：5 Y R 7/6橙	頭部～脳部1/8残存 外側頭部
41-6	S B261 P 29 2	骨	現存高：11.0 頭径：(8.5)	頭部は強らしく頭部につながる頭巾位。	外側全体会ナメハケをナメ消した後、頭部指状文を1条施す。内面全体会ナメハケ。	粘土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：7.5 Y R 5/6弱明褐色	頭部1/3、骨部1/4残存 全体的に墨滅
41-7	S B261 P 32-3	骨			外側の頭部指状文を2条施文。R1の文様の上に半周状文を貼り付ける。内面頭部コロコロヘケ。材部頭部にリコハック。	粘土：やや密(石英・白色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：5 Y R 5/6弱明褐色	頭部破片 全体的に墨滅
41-8	S B261 覆土	骨			外側全体会ナメハケをナメ消した後、頭部指状文を1条施す。内面全体会ナメハケ。	粘土：普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：5 Y R 5/6弱明褐色	頭部破片
41-9	S B261 覆土	骨			外側全体会ナメハケをナメ消す。下部にS字状頭部文を半周状文を貼り付ける。内面頭部コロコロヘケ。	粘土：普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：7.5 Y R 6/6橙	頭部破片
41-10	S B261 覆土	骨			外側は下部にS字状頭部文を作りR1、横位縫合を施す。内面頭部コロコロヘケ。	粘土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 成形：普通 色調：5 Y R 6/6橙	頭部～胸上位破片

表 8-20 弥生土器観察表 (20)

段落	出土遺物	調査	計画復元 (cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	塗土・第級・色調	備考
41-11	S B261 覆土	査		外面部は各部の第二・S・内側輪縫文を伴う上位L.R.、下位R.L.の位相縫文を施す。内側縫文が縫り付ける。	内側輪上位ヨコナガ。頭部ヨコハケ。	油土・普通(石英・輝石・赤色)成形: 普通 色調: 7.5Y R 6/6強	頭部・脚上位破片
41-12	S B261 覆土	査		外面部ヨコヘラミガキ。上半及の箇部を除くに施文後、円形容文を施す。	内面頭・位ヨコカケ。混合部ヨコナガ。頭部ヨコハケ。	油土・普通(石英・輝石・白色)成形: 普通 色調: 7.5Y R 6/6強	肩部・脚上位破片
41-13	S B261 覆土	脚	脚高: 3.3 口径: (5.5) 底径: 4.4	小型の脚。全体は直立状に外側し、口唇部付近で内側して立ち上がる。口唇部は直立り。	外面部全周ヨコヘラミガキ。上唇ヨコナガ。	油土・普通(石英・輝石・白色)成形: 油土充存 色調: 7.5Y R 7/4に近い黄褐色	口唇部1/2、脚部1/2残存、 基部先存
41-14	S B261 覆土	脚	沉积高: 2.8 直径: (8.2)	脚上位は丸く屈曲につながり、脚部は外側が見えないほど大きくなっている。	外面部全体ヨコヘラミガキ。内面脚上位ヨコナガ。頭部ヨコヘラミガキ。	油土・普通(石英・輝石・白色)成形: 脚部充存 色調: 7.5Y R 6/6強	頭部・脚上位1/4残存
41-15	S B261 覆土	肩	現存高: 3.2	折り返し口唇を持つ喉部の高さ。耳部は裏の気泡から外傾する。折り返し唇は薄く、折く。所産は四方形。	外面部頭ヨコヘラミガキ。折り返し唇ヨコハケ。	油土・普通(石英・輝石・白色)成形: 破片 色調: 7.5Y R 6/6弱	H-L脚部破片
41-16	S B261 覆土	肩環	現存高: 3.8	折り返し口唇を持った喉部の高さ。耳部は裏の気泡から外傾する。折り返し唇は薄く、折く。所産は四方形。	外面部喉下位はタテハケ。肩上位にはナメハケをもじらずに残る。内面ヨコハケ。	油土・普通(石英・白色)成形: 肩環 色調: 7.5Y R 7/8強	耳二瓣部破片 全体的に齊滅
41-17	S B261 P-27	裏	現存高: 19.3 口径: 23.4 底径: 17.9 最大径: 24.4	大型の腹部。脚部上位に幾大径をもじした張り出しがある。口唇部は直立し、口唇部は外傾する。口唇部は外傾する。肩部は直立り。	外面部下位タテハケ。肩中位ヨコハケ。脚上位ナメハケ。内面ヨコハケ。頭部は腹から組み曲げて直立する。口唇部ヨコハケ。	油土・中や密(石英・白色)成形: 腹部充存 色調: 7.5Y R 7/4に近い黄褐色	口唇部・脚下位ほぼ完全 充存
41-18	S B261 P-28-2	裏	現存高: 13.3 口径: (15.2) 底径: 14.1 最大径: (13.9)	台付腰部は上位に最大径をもじり、張り出しがある。底部形状を量る。	外底部下位タテハケ。腰中位ナメハケ。脚上位ヨコハケ。頭部ヨコハケ。内面ヨコハケ。	油土・中や密(石英・白色)成形: 腹 色調: 7.5Y R 7/8強	腰部前・脚下位1/2残存
41-19	S B261 覆土	裏	現存高: 7.9	底部が直線的に開く台付腰の断面。	外底部全体タテハケ。	油土・普通(石英・白色)成形: 残部充存 色調: 7.5Y R 7/8強	腰部1/6残存(腰部欠損)
41-20	S B261 P-28-3	裏	現存高: 9.6 底径: 11.9	底部が直線的に開く台付腰の断面。	外底部ヨコハケ。脚上位タテハケをもじらず。脚上位ヨコハケ。底部ヨコハケ。拉出部もヨコハケ。内面底部全体ヨコハケ。頭部ナリヨコハケ。	油土・普通(石英・白色)成形: 腹部充存 色調: 10Y R 6/8弱	脚部充存
42-1	S B261 P-3	腹	現存高: 21.6 最大径: 27.4 底径: (11.2)	脚部は下位に最大径をもじした下部の内側縫合を施す。脚上位は直立する。脚部へ傾く。	外底部全体タテハケ後、等なヨコハケ。ヨコハケ。	油土・密(石英)成形: 腹 色調: 2.5Y 5/2強灰黃	脚部は完全充存、腹部1/2残存 外底部にモザイク的な壊れあり
42-2	S B261 覆土	腹	現存高: (11.0) 底径: (8.3)	脚部は中位で最大径を行す。脚上位へ傾く。所産木炭あり。	外底部ヨコハケ後ヨコナガ。脚上位ヨコハケ。頭部ヨコハケ。内面ヨコハケ。	油土・普通(石英・白色)成形: 腹部充存 色調: 10Y R 7/4に近い黄褐色	腰中位・下位1/4残存、底 部充存
42-3	S B261 P-23	腹	現存高: 5.1 底径: (13.4)	大型の底部。底部をよく直立ててから脚下位が大きく外方へ開く。蓋木炭あり。	外底部ヨコハケ後ヨコハケ。内面ヨコハケ。	油土・普通(石英・白色)成形: 腹 色調: 7.5Y R 7/8強	脚上位・底辺1/4残存 全体的に齊滅
42-4	S B261 P-32-1	腹	現存高: 16.1 底径: (10.2)	底部が強く直立ててから脚下位が丸く、大きく外方へ開く。蓋木炭あり。	外底部ヨコハケ。脚上位ヨコハケ。内面ヨコハケ。	油土・普通(石英・白色)成形: 腹部充存 色調: 7.5Y R 6/6強	脚部1/3残存、底部充存 全体的に齊滅
42-5	S B261P 覆土	腹	現存高: 5.2 底径: (8.6)	脚下位に凹い槽を持つ。底部が強く直立ててから脚下位が大きくなる。外方へ開く。	外底部ヨコハケ後ヨコハケ。内面ヨコハケ。	油土・密(石英・輝石・白色)成形: 腹 色調: 10Y R 7/4に近い黄褐色	脚下位・底辺1/4残存 外底部にモザイク的な壊れあり
42-6	S B261 P-22	腹	現存高: 2.8 底径: (10.6)	強く直立する蓋の底部。	外底部ヨコハケ後ヨコハケ。内面ヨコハケ。	油土・密(石英・輝石・白色)成形: 腹 色調: 7.5Y R 6/6強	脚部1/2残存 全体的に齊滅

表 8-21 弥生土器観察表 (21)

鉢形	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態的特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
42-7	S B261 P-26	壺	現存高：2.6 底径：10.6	丸く直立する壺の底部。表面木薙目あり。	外底部ヨコナガの凹部は磨滅のため調整不明。 内底部ヨコナガ、下位相接いヨコハグ。	胎土：普通(白英・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6燈	異常に完全 全体的に磨滅
42-8	S B261 P 6	壺	現存高：2.2 底径：8.6	丸く直立する壺の底部。表面木薙目あり。	外底部全体のため調整不明。 内底部ヨコナガ、下位相接いヨコハグ。	胎土：密(白英・白色粒・ 黒色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6燈	底部は保存 全体的に磨滅
42-9	S B261 P-21	壺	現存高：3.0 底径：8.2	丸く直立する壺の底部。表面木薙目あり。	外底部ヨコナガ、下位相接いヨコハグとヨコギの跡をヨコタグで削除。 内底部ヨコナガ。下位ヨコハグ。	胎土：やや粗(白英・白色粒・ 黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6燈	底部光沢
43-1	S B263 P 1	壺	器高：(29.9) 口径：(17.5) 底径：(16.4) 残深：(22.9) 残深2：(10.8)	舌付壺。腹部は上位に最大径を有した張り出る球形部を呈する。 腹部は非常に穂やかに扁平化し、口部はわずかに突出する。(1)口部に凹取り、肩部は底部へ斜めに張り出す。 (2)腹部は非常に扁平化する。	外底部はヨコナメハグがわざかに残るが磨滅のため削除不明。 内底部ヨコナメハグの後、ヨコタグで削除。(1)口部ヨコハグの後、ヨコタグ。(2)腹部ヨコハグの後、ヨコタグ。	胎土：普通(白英・白色粒・ 黑色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/7明黄褐色	口縁部～肩上位1/3、胴F 一位脚部1/3残存
43-2	S B263 P-2	壺	現存高：16.7 底径：(9.8)	腹上位は丸く張る。口部は張らずに瓶形につながり、口部部は外方に開く。	外底部ヨコハグを除き、内底部ヨコハグの後、口部にS字状網状文作ラヨコハグで削除。内底部ヨコハグを削除後、ヨコタグ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒・輝石・黑色粒少量) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6燈	口縁部～瓶第1/2、胴上位 3/3残存(コ面部少欠)
43-3	S B266 覆土	小壺	現存高：0.9 口径：(8.6)	折り返し口縁部。口部は外側が見えないほど大きく外れる。折り返し口の断面は四角く、口部部は曲取り。	外底部ヨコナメハグ。折り返し口部はヨコタグ。口部部はヨコタグ。内底部ヨコナメハグのため調整不明。	胎土：普通(石英・輝石) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6燈	口縁部1/4残存 全体的に磨滅
43-4	S B266 覆土	壺	現存高：4.2 口径：(14.4)	複合口縁部。複合部は口部部を凸させ、外側に縦土帯を貼りつけて造り出し、直立状態に外傾する。口部部は曲取り。	外底部ヨコナメハグ。複合部ヨコハグの後、横吹灰文作を貼り、浮きの凹部ヨコタグで削除。口部部ヨコタグ。	胎土：密(輝石・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R5/3にぼい青褐色	口縁部1/8残存
43-5	S B266 覆土	壺	現存高：2.2 口径：(23.4)	口縁部は直線的で大きく外傾する。口部部は曲取り。	外底部ヨコナメハグがわざかに残る。口部部ヨコタグ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8黄褐	口縁部1/8残存 全体的に磨滅
43-6	S B267 P 3	壺	現存高：7.5 口径：(13.0) 底径：(8.5)	半統口縁部。瓶部は短く、口縁部は外側が見えないほど大きく外れる。口部部は曲取り。	外底部～底部ヨコナメハグのため調整不明。内底部ヨコハグの後、ヨコタグ。	胎土：普通(白英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/8燈	口縁部～底部1/3残存 全体的に磨滅 44と同一個体？
43-7	S B267 覆土	壺	現存高：2.3 口径：(18.4)	折り返し口縁部。瓶部は短く、口縁部は外側が見えないほど大きく外れる。内側にいくほど大きさを持ち、折り返し口の断面は四角く、口部部は曲取り。	外底部ヨコナメハグがわざかに残るが磨滅のため病害不別。口部部ヨコタグ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/8燈	口縁部1/8残存 全体的に磨滅
43-8	S B267 P 1・ 10・11	壺	現存高：5.3 口径：(21.4)	複合口縁部。複合部はヨコハグを曲させ、外側に縦土帯を貼りつけて造り出し、直立状態に外傾する。口部部は曲取り。	外底部ヨコナメハグの後ヨコタグ。内底部ヨコハグの後ヨコタグ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6燈	口縁部1/6残存
43-9	S B267 覆土	壺	現存高：6.3 口径：(19.0) 底径：(16.8)	折り返し口縁部。瓶上位は張らずに瓶部につながる。瓶部は後を持たずにつながり、口縁部は短く、直線的に外方へ開く。口部部は曲取り。	外底部ヨコナメハグがわざかに残るが磨滅のため病害不別。口部部ヨコタグ。内底部ヨコハグの後ヨコタグ。	胎土：普通(石英・輝石・ 黑色粒少量) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6燈	口縁部～倒上位1/4残存 全体的に磨滅
43-10	S B267 覆土	壺	現存高：7.7 口径：(25.8) 底径：(22.0)	銅上位は張らずに瓶部につながる。瓶部は後を持たずにつながり、口縁部は短く、直線的に外方へ開く。口部部は曲取り。	外底部ヨコハグの後ヨコタグ。内底部ヨコハグの後ヨコタグ。	胎土：普通(白色粒多し 石英・辉石・耀石少量) 焼成：普通 色調：5Y R6/8燈	口縁部～倒上位1/6残存 内底部磨滅
43-11	S B267 P 6	壺	現存高：2.4 底径：8.0	丸く直立する壺の底部。	外底部ヨコナメハグがわざかに残る。内底部ヨコハグの後ヨコハグ。	胎土：普通(石英・輝石・ 黑色粒少量) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8燈	口縁部1/2残存 外底部磨滅

表 8-22 弥生土器観察表 (22)

測定番号	出土遺構	計測値 (cm)	特徴の特徴	調査・手字の特徴	胎土・焼成・色調	備考
43-12	S B267 P-7 小室裏	現存高：10.3 口径：8.1 幅径：4.8 最大径：9.6 底径：4.8	半筒口縁部。脚下位は人頭像を有し、神を持つ。側下位は直線的に開き、脚部は斜らでなく、斜い。頭部につながる。口唇部は直線的で外方に開く。口唇部は両取りで、面が大半を開く。	外表面ヨコタケハ、脚上位～半円形ナメハケ、背屈状文を有す。 内部ヨコタケハ、口縁部タケハ、口唇部ヨコタケハ。 内施釉面ナメハケ。脚上位ヨコタケハ、丁寧なナメハケ。脚上位～中位ヨコタケハ。 頭部～肩部ヨコタケハ、口縫部ヨコタケハ。	胎土：粘(石英多し、長石少、赤色)、輝石少 焼成：良 色調：10Y R7/4に近い黄褐色	ほね丸形
43-13	S B267 P 13 小室裏	現存高：4.8	脚上位が丸く張って要領につながる。	外表面脚上位2cm以上、単位の凹凸文を貼り付ける。脚部はL型位(後縁)に施文、円形浮文を貼り付ける(現状4例)。 内施釉面ナメハケ。	胎土：普通(石灰、長石少量) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄色	脚上位～脚上位1/6残存 全体的に磨滅
43-14	S B267 壁土			外表面浮文と状文1条透文の他は脚部のため要領小形。 内施釉面ナメハケ。	胎土：やや密(石灰、輝石少) 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い黄褐色	脚部破片 外部磨滅
43-15	S B267 壁土			外表面段R L、下端LR傾位施文後、各枚の3～4例以上、単位の円形浮文を貼り付ける。 内施釉面ヨコタケハ後ヨコタケ。	胎土：普通(石灰、輝石、白色少) 焼成：普通 色調：10Y R7/4に近い黄褐色	脚部破片
43-16	S B267 P 2 壁	現存高：6.0 幅径：(9.4)	底部～脚部が直線的に開く台付型の脚部。	外表面脚部ナメハケ、脚上位タケハ。 内部脚部ヨコタケハ後一部ナメハケ、脚上位ヨコタケ。	胎土：普通(石灰、輝石、白色少) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄色	脚部破片1/6残存
44-1	S B268 P 2-2 壁	現存高：7.1 口径：(25.4)	脚上位は緩ざしく脚部につながる。 底部は緩やかに曲面し、脚部は外反する。口唇部は脚取り。	外表面脚上位ヨコタケハ、口縁部～脚部ナメハケ、口部ヨコタケ後タケハ。 内施釉面ヨコタケハ後一部ナメハケ。	胎土：普通(石灰、輝石、白色少) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黄褐色	脚部～脚上位1/6残存
44-2	S B268 壁土	現存高：3.2 口径：(20.0) 底径：(17.8)	底部は緩やかに脚部につながる。 底部は脚取り。	外表面脚部ヨコタケハ後ヨコタケ。 内部脚部ヨコタケハ後一部ナメハケ。	胎土：普通(石灰、輝石、白色少) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黄褐色	脚部～脚上位1/6残存 外表面磨滅
44-3	S B268 壁土	現存高：5.5 口径：(13.8) 底径：(13.1)	脚上位がむちむち張って要領につながる。底部は直線的に開く。内施釉面は直線的にむちむちに外反する。口唇部は脚取り。	外表面脚上位ヨコタケハ、口縁部～脚部タケハ、口部ヨコタケ後ヨコタケ。 内部脚部ヨコタケハ後一部ナメハケ。	胎土：普通(石灰、輝石、白色少) 焼成：良 色調：5Y R6/8暗	脚部～脚上位1/6残存 外表面磨滅
44-4	S B268 壁	現存高：15.4 口径：(21.4)	複合口縁部。口縁部は大きめで外反する。結合部は直線部を脚部につなぎ、内施釉面は粘土層を貼り付けて造り出し、直線的に外傾する。口唇部は脚取り。	外表面ヨコタケハ後ヨコタケヨコタケハ。 内部ヨコタケハ後ヨコタケヨコタケ。	胎土：密(石灰、輝石、白色少) 焼成：良 色調：10Y R7/6明黄色	脚部～脚上位1/6残存 内施釉面磨滅
44-5	S B268 壁土			外表面脚上位ヨコタケハ、口縁部～脚部タケハ、口部ヨコタケ後ヨコタケ。 内部ヨコタケハ後ヨコタケ。	胎土：普通(石灰、輝石、白色少) 焼成：良 色調：5Y R6/8暗	脚部～脚上位1/6残存
44-6	S B268 壁	現存高：6.8 口径：(12.0) 底径：(7.8)	単純口縁部。脚部は短く、口縁部は外側に見えないほど大きく外反する。口唇部は脚取り。	外表面ヨコタケハ後ヨコタケヨコタケ。 内部ヨコタケハ後ヨコタケ。	胎土：密(石灰、輝石、白色少) 焼成：普通 色調：5Y R6/8暗	脚部～脚上位1/6残存 43-6と同一個体
44-7	S B268 壁土	現存高：2.2 底径：(10.0)	近く直立する壺の底部。	外表面ヨコタケハ後ヨコタケ。	胎土：普通(石灰、輝石、白色少) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄色	底部1/4残存 全体的に磨滅
44-8	S B268 壁土	現存高：3.4 底径：(10.2)	底部が直立してから脚下位が大きく外方へ開く。	外表面ヨコタケハ後ヨコタケ。	胎土：粗(砂粒多し、石灰少、赤色少) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黄褐色	脚下位～脚部1/6残存 外表面磨滅
44-9	S B268 壁土	現存高：3.7 底径：(7.5)	直張から束接脚下位が大きく外方へ開く。	外表面ヨコタケハ後ヨコタケ。	胎土：粗(白色粒多し、石灰少、赤色少) 焼成：普通 色調：10Y R4/3に近い黄褐色	脚部～脚上位1/3残存、底部芯分 全体的に磨滅
44-10	S B268 P-1 壁	現存高：8.0 底径：9.5	底部～脚部が直線的に直立してから脚下位が大きく外方へ開く。	外表面ヨコタケハ後ヨコタケ。	胎土：普通(輝石多し、石灰、白色少) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黄褐色	脚部ほぼ完存 外表面、内面要部磨滅

表 8-23 弥生土器観察表 (23)

地番	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	陶土・焼成・色調	備考
44-11	S B 267・268 覆土上層	壺	現存高：14.7 口径：(14.0) 底径：8.2	单柄口縫部。唇部はぼんやりと有り、縫部につながる。口縫部は縫かいに外反する。口部部は直取り。	外側面部削除のため削除不明。 内面削除部の下端から2mm下へ までコカッキ。口部部ヨコナギ。 内面全体ヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石・白石・ 黒鉄鉱・赤色) 焼成：普通 色調：10Y R6.5/9黄褐色	口縫部1/6残存、縫部～肩 部完全 全体的に焼成
44-12	S B267 P-25-9 S B268 P-2	壺	現存高：2.9 底径：8.6	短く直立する壺の底部。底部全周 直あり。	外面部削除のため削除不明。 内面削除ナメハケ下端からヨコ ナギ後丁寧な板ナギ。	胎土：普通(石灰・輝石・ 白石・黒鉄鉱・赤色) 焼成：普通 色調：5Y R7.2/8褐色	肩下位1/3残存、底部～ 外腹全周
44-13	S B 267・268 覆土下層	壺	現存高：4.1 底径：(3.4)	底部一帯が焼成的に直立形状 に開く台付型の脚握部。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。 内面削除頃よりヨコナギ。 内面削除下端ヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石・ 白石・黒鉄鉱・赤色) 焼成：普通 色調：10Y R6.5/9黄褐色	肩下位1/3残存
44-14	S B270 P-1	壺	現存高：12.6 口径：15.0 底径：13.9 最大径：15.2	台付型。脚部は中位に側壁を有し して脚形を呈する。脚部は直立 形で、肩部に凹部。口縫部は直立的 に外へ開く。口部部は直取り。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。 内面削除頃よりヨコナギ。 内面削除下端ヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石・ 白石・黒鉄鉱・赤色) 焼成：普通 内面：普通 色調：7.5Y R7.2/8褐色	口縫部～脚位2/3、側上位～ 下位ほぼ完全 外腹側付着
44-15	S B271 覆土	壺	現存高：16.0 口径：(18.6) 底径：(16.2) 最大径：(19.6)	台付型。肩部は中位に側壁を有し して脚形を呈する。脚部は直立 形で、肩部に凹部。口縫部は直立的 に外へ開く。口部部は直取り。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。 内面削除頃よりヨコナギ。 内面削除下端ヨコナギ。	胎土：密(石灰・輝石少量) 焼成：及 色調：7.5Y R5/6明褐色	口縫部～脚位1/3残存
44-16	S B271 覆土	壺	現存高：3.5 口径：(18.2) 底径：(14.8)	底部は僅やかに肩出し。口縫部は 大きく外反する。口部部は直取り。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。 内面削除頃よりヨコナギ。 内面削除下端ヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/4.5R5/6褐色	UJ縫部～腰部1/6残存 全体的に焼成
44-17	S B271 北西柱覆 土	壺	現存高：17.4 口径：(13.8) 縫径：(13.2) 最大径：(14.2)	台付型。口部が側壁大抵より大き い傾斜。肩部は底に最大径より有 し。脚部は直立で、側壁は側壁を有す る。脚部は側壁を有する。脚部 は肩から立ち出し。口縫部は直立 で外反する。口部部は直取り。脚 部は底に側壁がある。側壁は側壁 を有する。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。 内面削除頃よりヨコナギ。 内面削除下端ヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石) 焼成：及 色調：10Y R7.4/6.5褐色	口縫部～脚位1/2、側上位～ 中位2/4、脚位1位～袁部浅 青、脚位1/6残存
44-18	S B271	壺	現存高：11.7 底径：(12.2)	底部一帯が直立的で、底より側壁 に開く台付型の脚握部。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石) 焼成：普通 色調：10Y R7.6/9明褐色	脚位1/4、底部1/3残存 全体的に焼成
44-19	S B271	壺	現存高：3.9 口径：(15.4)	单柄口縫部。口縫部は大きく外反 する。口部部は直取り。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石) 焼成：及 色調：5Y R6/8褐色	UJ縫部1/4残存 内面全周
44-20	S B271 P-1	壺	現存高：2.0 底径：9.5	短く直立する壺の底部。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。	胎土：密(石灰・輝石) 焼成：及 色調：10Y R7.6/9明褐色	底部ほぼ完全
45-1	S B401 P-3	壺	現存高：(25.8) 口径：(16.2) 縫径：(17.6) 最大径：(20.9) 底径：9.0	単柄口縫部。唇部は中位に最大径 を有し、下位には低い側壁を下つ る。側壁は側壁を有する。肩部は 僅やかに傾斜につながり、側 壁は外側に見えないと大きく外 反する。口部部は直取り。底部 は直立する。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。	胎土：中や粗(石灰・輝石・ 白石・黒鉄鉱・赤色) 焼成：普通 色調：7.5Y R7.6/6褐色	口縫部1/4、脚位1/2、側上位～ 中位2/4、脚位1位～袁部浅 青、脚位1/6残存
45-2	S B401 P-1	壺	現存高：7.2 口径：15.7 底径：8.3	单柄口縫部。肩部は僅やかに外反 する。口部部は直取り。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。	胎土：やや粗(石灰・輝石・ 白石・黒鉄鉱・赤色) 焼成：普通 色調：7.5Y R7.6/6褐色	UJ縫部完全存、腰部1/2残存 全体的に焼成
45-3	S B401 覆土	壺	現存高：1.3 口径：(19.0)	折り返し口縫部。口縫部は外側が 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は薄く、口部部は 直取り。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。	胎土：普通(石灰・良石・ 白石・黒鉄鉱・赤色少量) 焼成：及 色調：7.5Y R7.7/8褐色	UJ縫部1/6残存
45-4	S B401 覆土	壺	現存高：5.3 口径：(19.8)	複合口縫部。口縫部は口縫部を凸 出させ、外側に斜上・斜下を繋ぎつけ て造り出し、直立気味に外張する。 口部部は直取り。	外面部削除のナメハケ。腰地面 もヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石・ 白石・黒鉄鉱・赤色) 焼成：及 色調：5Y R5/8明褐色	UJ縫部1/4残存
45-5	S B401 覆土	壺	現存高：2.3 口径：(13.8)	折り返し口縫を持つ壺または瓶。 口縫部は僅やかに外反する。折 り返し面の断面は内凹し、口部部は 直取り。	外面部削除、折り返し面は脇部は 直立する壺のため削除不明。 内面削除ヨコナギ。	胎土：普通(石灰・輝石・ 白石・黒鉄鉱・赤色) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6褐色	UJ縫部1/7残存

表 8-24 強生土器観察表 (24)

箇号	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態的特徴	調整・手作の特徴	胎土・焼成・色調	備考
45-6	S B401 覆土	壺	現存高：2.2 口径：(16.0) 底径：(16.0)	底部が聞く直立てから胴口位が大きく外へ聞く。	外面部ヨコハラミナガキ。 内面部ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6橙	底部1/8残存
45-7	S B401 覆土	壺	現存高：2.5 口径：(11.4)	底部が聞く直立てから胴口位が大きく外へ聞く。底面木炭塗あり。	外面部ヨコハラミナガキ。 内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 焼成：良 色調：5Y R7/8橙	底部1/4残存
45-8	S B401 覆土	壺	現存高：2.1 口径：(8.0)	軽く直立する壺の底部。	外面部全体ヨコハラミナガキ。 内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 焼成：良 色調：7.5Y R5/4にい黄	底部1/4残存
45-9	S B401 覆土	壺	現存高：1.4 口径：5.8	短く直立する壺の底部。	外面部全体ヨコハラミナガキ。 内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6橙	底部完全
45-10	S B401 覆土	壺	現存高：2.2 口径：(8.6)	底部から直接胴口位へ続く壺の底部。	外面部全体ヨコハラミナガキ。 内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：やや密(石英・輝石) 白色少量 焼成：良 色調：10Y R7/4にい黄	底部1/5残存
45-11	S B402 覆土	壺	現存高：2.9 口径：(15.2)	底部が聞く直立てから胴口位が大きく外へ聞く。底面木炭塗あり。	外面部全体ヨコハラミナガキ。 内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：やや密(石英・輝石) 白色少量 焼成：良 色調：5Y K6/8橙	底部1/5残存
45-12	S B402 覆土	壺	現存高：1.4 口径：(19.4)	折り返し口縫合。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は圓取り。	外面部折り返し口ナガキ。口唇部ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 白色少量 焼成：良 色調：7.5Y R6/4にい黄	口縫部1/8残存
45-13	S B402 P-1	壺	現存高：8.3 口径：15.6 底径：8.4	折り返し口縫合。底部は圓形で、口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は圓取り。	外面部折り返し口ナガキの後、口縫部一帯ヨコハラミナガキ。内面部折り返し口ナガキ。	胎土：普通(輝石) 焼成：良 色調：10Y R6/4にい黄	口縫部一部完全
45-14	S B402 覆土	壺			外面部引き抜き文2条施文後、各底の塊に底状の序文を貼り付け(底状2個)。	胎土：普通(石英・輝石) 白色少量 焼成：良 色調：5Y R7/6橙	葉部破片
45-15	S B402 覆土	壺			外面部下部はS字状の施文をうり上段R.L.下段R.L.横位施文。内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：やや粗(白色多し) 黑色少量 焼成：普通 色調：5Y R6/8橙	葉部破片 全体的に黒滅
45-16	S B407 P-7	壺	現存高：1.4 口径：(17.0)	口縫部は大きく外反し、外側の縦模みを消失させて仕上げる。口唇部は圓取り。	外面部口縫部ナガキ。口縫部ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 焼成：良 色調：5Y R6/6橙	口縫部1/8残存 外面部保有
45-17	S B407 P-1	壺	現存高：10.6 口径：8.6	底部は張らずに短い縫合につながる。口縫部は圓やかに外反する。	外面部下部はS字状の施文をうり上段R.L.下段R.L.横位施文。口縫部一帯ヨコハラミナガキ。内面部下部ヨコハラミナガキ。	胎土：やや粗(石英・輝石) 白色少量 焼成：やや軟 色調：7.5Y R5/6明灰	口縫部一部完全(口唇部欠損) 外面部残
45-18	S B407 覆土	壺	現存高：2.5 口径：(16.4)	短く直立する壺の底部。	外面部全体ヨコハラミナガキ。 内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石少量) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8黄	底部1/5残存 外面部残
46-1	S B403 覆土	壺	現存高：6.0 口径：(18.6)	複合口縫合。口縫部は縫やはく外反する。外側部は口縫部を屈曲させて折り返し直立形状に外側にする。口唇部は圓取り。	外面部口縫部ヨコハラミナガキ。複合口縫部ヨコハラミナガキ。内面部全体ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 白色少量 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8黄	口縫部1/6残存
46-2	S B403 覆土	壺	現存高：2.9 口径：(14.6)	口縫部は直線形に大きく外方へ聞く。口唇部は圓取り。	外面部口縫部ヨコハラミナガキ。口唇部ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	口縫部1/8残存 全体的に崩滅
46-3	S B403 覆土	壺	現存高：2.2 口径：(19.2)	折り返し口縫合。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は圓取り。	外面部口縫部ナガメハラキ。折り返し口ナガキ。口唇部ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 白色少量 焼成：普通 色調：5Y R6/8橙	口縫部1/6残存
46-4	S B403 覆土	壺	現存高：2.2 口径：(17.6)	折り返し口縫合。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は圓取り。	外面部口縫部ヨコハラミナガキ。折り返し口ナガキ。口唇部ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 白色少量 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	口縫部1/4残存 全体的に崩滅
46-5	S B403 覆土	壺	現存高：2.1 口径：(21.8)	折り返し口縫合。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は圓取り。	外面部口縫部ヨコハラミナガキ。折り返し口ナガキ。口唇部ヨコハラミナガキ。	胎土：普通(石英・輝石) 白色少量 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	口縫部1/6残存

表 8-25 弥生土器觀察表 (25)

地番	出土遺構	種	計測値(cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
46-6	S B403 覆土	壺	現存高: 8.1 底径: (8.0)	壺部は高く、口縁部は傾斜かに外 反する。	外側腹部斜め直立文1毫腹文。 円筒文を10方に貼り付ける。口 縁部コハケ。	胎土: 密(石英・輝石少) 焼成: 良 色調: 10Y R5/3によい黄 色	口縁部~肩部1/3残存(1) 唇部欠損
46-7	S B403 覆土	壺	現存高: 3.8 底径: (9.2)	底部から直接下位へ続く壺の底 部。	外側腹部タラハケ、削下位ナデ。 内面底部細かいハケ、削下位コ ハケ。	胎土: やや粗(石英・輝石 少) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/8黄橙	底部1/5残存 外側磨滅
46-8	S B403 覆土	壺	現存高: 1.6 底径: (6.0)	壺部から直接下位へ続く壺の底 部。	外全体コロコロヘミガキ後ナデ。 内面全体放ナデ。	胎土: 粗(石英・赤褐色少) 焼成: 良 色調: 10Y R6/4によい黄 色	底部1/5残存
46-9	S B403 覆土	壺	現存高: 1.3 底径: (7.2)	殆ど直立する壺の底部。	外側全体タラヘミガキ後ナデ。 内面全体放ナデ。	胎土: 密(石英・輝石少) 焼成: 良 色調: 10Y R4/4暗	底部1/4残存 二次焼成?
46-10	S B403 覆土	壺	現存高: 6.4 底径: (9.2)	尻部~腹部が内側斜めに開く合付 壺の底部。	外側全体細かいタハケ後ナデ。 内面全体細かいヨコハケ	胎土: 密(石英・白色較 算少) 焼成: 良 色調: 7.5Y R5/6明褐	底部1/8残存(底部欠損)
46-11	S B403 覆土	壺	現存高: 8.5 底径: 11.0	底部~腰部が直線的に開く合付壺 の底部。	外側腹部細かいタハケ。 底部~上位腰部で調整不明。 内面底部コハケ後、腰下位版ナ デ。天井部、底部はナデ。	胎土: やや粗(石英・輝石 少) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6暗	底部1/3残存 全体的に磨滅
46-12	S B403 覆土	壺			外側頂部上位と下位は腰部を波 状文を施す。中段は竹管よりなる筒 み文施文。2段以上1单位の内 部充文部を貼りつける。	胎土: 粗(石英・長石 少) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6暗	腰部破片 全体的に磨滅
46-13	S B403 覆土	壺			外側腹部羽根の擬彫文施す。 内面全体ナデ。	胎土: 粗(石英・輝石 少) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6暗	腰部破片 全体的に磨滅
46-14	S B404 P-1	小 型 壺	現存高: 7.2 底径: (1.8) 高径: 6.2	脚部に中位に最大径を有した球狀 形を呈する。	外側脚部下位~底部タハケ、削 除ナメナギがわずかに残る。 内面全板ナデ。	胎土: やや粗(石英・輝石 少) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6暗	腰部1/2残存、底以下 底部寄存 外止壁
46-15	S B 404・ 405・406 覆土上層	壺	現存高: 14.5 口径: 18.0 底径: (8.3)	折り返し口脚部。脚部は表ひずに 横筋部につながる。脚部は外反す。 折り返し口の新匠は口向外く、口盤 部は圓曲。	外側脚部細かいヨコハケがむづか に残る。脚部は上段、下段1、無 鉛錆文後、2段以上1単位の 内充文部を貼りつける。 内面脚部細かいヨコハケ。脚部は ヨコナギ。口脚部コロコロ後コ ナデ。 内面脚部は半周のヨコハケ。口上 半周細かいヨコハケ。腰部コロコ ロギヤキ後、腰部と脚部の腰はナ デ。口縁部細かいヨコハケまたはナ メハケ。	胎土: 密(白色粗) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/3によい黃 色	上脚部~脚部1/2、脚部1/ 4残存
46-16	S B 404・ 405・406 覆土上層	壺	現存高: 2.4 底径: (11.2)	底部が短く直立してから胴部が 大きく向外へ傾く。	外側全体細かいヨコハケ。 内面全板細かいヨコハケ後ナデ。	胎土: 普通(石英・輝石 少) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6暗	底部1/2残存 全体的に磨滅
46-17	S B411 覆土	壺	現存高: 2.0 底径: (12.8)	短く直立する壺の底部。	外側全体細かいヨコハケ後ナデ。 内面底部ナデ。脚部は腰下位 ヨコハケ。	胎土: やや粗(石英・輝石) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6明褐	底部1/5残存
46-18	S B411 覆土	壺	現存高: 2.7 口径: (27.1) 底径: (22.0) 最大径: 26.0	台付壺。口盤が腰膨より大きな角 部。脚部は上位に最大径を有した筒 形脚部を呈する。脚部は非常によ かに膨らみ、殆ど直立した後、 口縁部が大きく外反する。「口部」 部は曲面。	外側脚部ナナメナハケ。脚上位 ヨコナギ。腰下位コロコロナメハ ケ。口脚部細かいヨコハケ。 内面脚部細かいヨコハケ。腰 部~脚部は腰下位ナメハケ。	胎土: 普通(石英・輝石 少) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6暗	口脚部1/6、脚部~腰下位 1/4残存
46-19	S B411 覆土	壺	現存高: 3.7 底径: (22.0)	人型の複合口縁壺。合付部は口縁 部をわざわざに施され、凹面に貼 上唇を貼りつけて造り出し、点綴 的に外反する。「口部」部が正面と 内側の底土帯を貼りつけてから 窪取り。	外側全体ヨコハケ後タテハケ。 内面全体ヨコハケ後一部ナデ。	胎土: 普通(石英・長石 少) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/8暗	底部1/4残存
47-1	S B408 P-12・27	壺	現存高: 8.2 口径: (26.0)		外内両ともナデ?。	胎土: 粗(白色粗、砂较多 し) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/8暗	底部1/2残存 全体的に磨滅
47-2	S B408 P-6・9・28	壺	現存高: 6.6 口径: 12.0 底径: 7.5	单縁口縁壺。底盤は短く、口縁部 は内側部に外方へ大きく開く。 口唇部は圓曲。	外側脚部ヨコハケ後ナデ。口縁部 ヨコハケ後脚部ナデ。脚部は腰下 位ナメハケ。口脚部ヨコナギ。 内面全体ヨコハケをナデ消す。	胎土: 粗(石英・白色粗、 少砂) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6暗	口脚部~腰部1/3残存 全体的に磨滅

表 8-26 弥生土器観察表 (26)

番号	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
47-3	S B408 P-16-20	小環状 口盤	現存高：3.8 口径：(10.4)	折り返し口縁部。口縁部は直線的 に外方へ開く。折り返し面の断面 は四角形を呈する。口唇部は取 除り、底が大井と内く。	外周に輪郭ハクアベー型コナ ド。折り返し面、口部コナド。 内底全体コロハク。	胎土：やや粗(石英・輝石、 白い粒)。燒成：普通 色調：2.5Y R5/8明赤褐色	口縁部1/4残存 内底充てん 外系磨滅
47-4	S B408 P-5	壺	現存高：2.4 口径：(13.6)	折り返し口縁部。口縁部は折り返 し面を見えないほど大きく外反す る。折り返し面の断面は四角く、口唇部 は取取り。	外周に輪郭ハクアベー型コナ ド。折り返し面コロハク。	胎土：普通(石英・白色 粘土)。燒成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	L1縁部1/8残存
47-5	S B408 P-25	壺	現存高：2.3 口径：(18.0)	折り返し口縁部。口縁部は外反せ 見えないほど大きく外反する。折 り返し面の断面は四角く、口唇部 は取取り。	外周に輪郭ハクアベー型コナ ド。折り返し面コロハク。	胎土：普通(石英・輝石、 白色粘土)。燒成：普通 色調：5Y R6/8橙	口縁部1/12残存
47-6	S B408 覆土	壺	現存高：3.2 口径：(14.4)	折り返し口縁部。口縁部は折り返 し面が人字形で外反し、内面に不 規則な突起、折り返し面の断面は 四角く、口唇部は取取り。	外周に輪郭ハクアベー型コナ ド。口唇部コロハク。	胎土：密(石英・白色粘 土)。燒成：普通 色調：7.5Y R6/8橙	L1縁部1/8残存
47-7	S B408 P-9	壺	現存高：5.7 口径：7.9	頭部は短く、口縁部は頭やかに外 反する。	外周全体タベヘミガキを一部ナ ド。	胎土：普通(石英・白色 粘土)。燒成：普通 色調：7.5Y R6/8橙	口縁部→頭部ほぼ完存(山 形な欠損)。全體的に磨滅
47-8	S B408 覆土	壺	現存高：9.7 口径：8.3	頭部は張らずに短い頭部につなが り、口縁部は大きく外反する。	外側頭部闊のため調整小凹、頭 部L1横幅約2.1段施され、口縁部 は3点に立ち施され、口縁部 タベヘミガキ後タベヘミガキ。	胎土：普通(石英・白色粘 土)。燒成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	口縁部→肩部2/3残存(1) 骨部欠損。全體的に磨滅
47-9	S B408 覆土	壺	現存高：4.9	外側頭部細のため調整小凹、下位に 輪郭ハクアベー、下位に頭部波状文 様、未ずつ縮入。	胎土：やや粗(石英・白色 粘土)。燒成：普通 色調：5Y R6/8橙	肩部1/8残存 全體的に磨滅	
47-10	S B408 覆土	壺	現存高：13.9 最大径：(23.0)	頭部は中位に最大径を有し、口部 が丸く張った卵形を呈する。頭 部の太い脚部。	内底全体コロハクがむずかしく残る。	胎土：普通(石英・白色 粘土)。燒成：普通 色調：5Y R6/8橙	肩部→中位1/4残存 全體的に磨滅
47-11	S B408 P-24-1	壺	現存高：16.1 最大径：22.5	頭部の太い脚部。頭部は中位に最 大径を行った張りの小さく、輪郭部 を有する。	外側頭部全面ナメハケ。頭部コ ロハクがむずかしく残る。他の部 分は頭部全面無理無理。	胎土：普通(石英・輝石、 白色粘土)。燒成：普通 色調：5Y R6/8橙	頭部→脚部1/6、胴中位 2/5残存。全體的に磨滅
47-12	S B408 P-4	壺	現存高：27.2 口径：9.4 最大径：26.1 底径：10.0	頭部は中位に最大径を行った卵形 を呈する。口部は丸く張って細 い底部につながる。内底未発達 あり。	内底全体コロハクがむずかしく残る。 内底全体コロハクがむずかしく残る。	胎土：普通(石英・輝石、 白色粘土)。燒成：普通 色調：5Y R6/8橙	外側脚下位に輪郭ハクアベー ヘミガキ。頭部→脚部に輪郭ハ クアベー、頭部コロハク。
47-13	S B408 P-11	壺	現存高：17.7 最大径：(18.0) 底径：7.3	頭部は下位に最大径を有し、によ り横に付つ。頭部は直線的に開 き、頭部上位には張らずに細い 底部につながる。	内底全面ナメハケ。頭部コロハ クがむずかしく残る。	胎土：粗(石英・白色粘 土)。燒成：やや粗 色調：5Y R6/8橙	外側脚下位に輪郭ハクアベー ヘミガキ。頭部→脚部に輪 郭ハクアベー、頭部コロハ クがむずかしく残る。
48-1	S B408 P-14	小環状 口盤	器高：16.2 口径：9.0 最大径：4.7 底径：12.0 底厚：5.9	折り返し口縁部。頭部は下位に最 大径を有し、後縁部は直線的に開 き、頭部上位には張らずに細い 底部につながる。口縁部は頭 部やかに外反する。口唇部は面 取り。	外側頭部リコロハクアベー ヘミガキ。頭部→脚部に輪 郭ハクアベー、頭部コロハ クがむずかしく残る。	胎土：密(石英・黑色粘 土)。燒成：良 色調：5Y R6/8橙	ほぼ完形(1)縁部1/3欠損
48-2	S B408 P-10	小環状 口盤	器高：15.3 口径：(9.6) 最大径：5.8 底径：11.7 底厚：5.9	単純口縁部。頭部は中位に最大径 を行した卵形を呈する。頭部は 張らずに輪郭につながり、口縁部 は頭やかに外反する。口唇部は面 取り。	外側頭部リコロハクアベー ヘミガキ。頭部→脚部に輪 郭ハクアベー、頭部コロハ クがむずかしく残る。	胎土：密(石英・白色粘 土)。燒成：良 色調：10Y R7/4に近い黃 褐色	ほぼ完形(口縁部1/4残存) 全體的に磨滅
48-3	S B408 P-13	小環状 口盤	器高：9.0 口径：5.2 最大径：5.1 最大径：7.2 底径：5.3	単純口縁部。頭部は中位に最大径 を行した卵形を呈する。頭部は 張らずに輪郭につながり、口縁部 は頭やかに外反する。口唇部は面 取り。	外側全体タベヘミガキ。 頭部コロハク。	胎土：やや粗(石英・白色 粘土)。燒成：普通 色調：10Y R7/4に近い黃 褐色	完形品。全體的に磨滅

表 8-27 弥生土器観察表 (27)

番号	出土遺物	種類	計画高 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	釉土・焼成・色調	備考
48-4	S B408 P-8	鉢	器高：6.3 口径：12.2 底径：6.3	底部は直線的に外方に開く。口部 は面取り。	外面部全体タケハ後コハグと 内面部全面ナガ。脚部全体にヨコ ハケ旋削ヨコハマギ。	釉土：赤(石英・輝石・白 色粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	ほぼ文芯(口縁部、底部一 次削損)
48-5	S B408 P-15	鉢	現存高：12.3 直径：(16.1) 始径：14.9 底径：8.4	脚部は下位に最大径を有した筒型 の脚部形を呈する。底部は底 部に熱膨張につながり、脚部は腰や かに面曲する。	外面部全体コハグ。脚部全 体ヨコハマギキマナはナダ。 内面部全面ナダ。脚下位ヨコハグ。 脚部一側中丁革ナダ。	釉土：黄透(石英・輝石・白 色粒・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	脚部ほぼ完存(瓶底1.6残 存) 全体的に削減 歪みあり
48-6	S B408 P-18	鉢	現存高：7.8 直径：(9.8) 最大径：16.0 底径：5.8	脚部は中位に最大径を有した筒型 の脚部形を呈する。底部は腰や かに面曲する。	外面部全体コハグ。脚部全体ヨコ ハグヨコギがわざかに残る。 内面部全面ナダ。(底部ヨコハグ)、脚 部ヨコハグ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	脚部一側中位1/3残存(脚 付)。底部ほぼ完存 全体的に削減
48-7	S B408 覆土	鉢	現存高：12.3 直径：(8.6)	底部から直接脚下位に続く腰の底 部。	外面部ヨコハグ。脚下位ヨコ ハグヨコギがわざかに残る。 内面部ヨコハグ。	釉土：やや粗(石英・白色 粒・黒色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6焼	瓶底1/6残存 外部磨滅
48-8	S B408 P-24-2	蓋	現存高：1.5 底径：(10.0)	底部から直接脚下位に続く腰の底 部。	外面部ヨコハグ。他の他は、被覆の ため削除された。	釉土：やや粗(石英・黑色 粒・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R5/6明赤透	底部1/4残存 全体的に磨滅
48-9	S B408 覆土	蓋	現存高：1.4 底径：(9.8)	底部から直接脚下位に続く腰の底 部。	外表面全体ナダ？。 内面部削りヨコハグ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6焼	底部1/5残存 外部磨滅
48-10	S B408 P-16	裏	現存高：17.1 口径：(23.0) 直径：(20.5) 最大径：26.1	人形の台付鉢。脚部は中位に鍵入 し、腰を有した脚部形を呈する。脚部 は腰やかに面曲し、二段部には外反 する。口部部は面取り。	外面部中位ヨコハグ。上腰部一齊 上斜テハグ。口部部ヨコハグ。 内面部腰部は2段階の腰の間に小さな 腰窓ハハケ。腰上に2段階の腰の間に 小さな腰窓ハハケ。脚上に2段階の腰の間に 小さな腰窓ハハケ。	釉土：普通(石英・白色 粒・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R5/6明赤透	口縁部1/3、底部一側中位 2/3残存 外面部削り
48-11	S B408 P-28	裏	現存高：15.3 最大径：(22.6)	大型の台付鉢。脚部は中位に最大 径を有した球根形を呈する。	外面部腰上ヨコハグ。脚上腰部ヨコ ハグ。脚上ハハケ。	釉土：普通(石英) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	脚上位～中位1/6、脚下位 1/3残存
48-12	S B408 覆土	裏	現存高：4.5 口径：(13.0) 直径：(12.6)	脚上部は丸く張って輪郭につなが る。脚部は腰をもたずて直角に曲 し、腰部は直角形にわざかに内反す る。口部部は面取り。	外面部腰上ヨコハグ。脚上腰部ヨコ ハグ。脚上ハハケ。	釉土：赤(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	脚部一部～脚上位1/6残存 全体的に削減 外面部削り
48-13	S B408 P-1795	裏	現存高：14.8 直径：(17.3) 最大径：19.3	台付鉢。脚部は中位に最大径を有 し、下位に腰を持つ脚部は腰をも たずて直角に曲し、腰部は直角形に 面曲する。底部は腰やかに面曲す。	外面部腰上ヨコハグ。脚上腰部ヨコ ハグ。脚上ハハケ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：2.5Y R5/6明赤透	底部1/7、脚上位～脚下 位2/3残存
48-14	S B408 P-17	裏	現存高：5.1	底部一側部が直線的に聞く台付鉢 の脚部。	外面部全体ヨコハグ。内面部腰上ヨコ ハグ。脚上ハハケ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：3Y R5/6明赤透	底部完存 全体的に磨滅
48-15	S B408 P-3	裏	現存高：8.4 直径：9.3	底部一側部が直線的に聞く台付鉢 の脚部。	外面部全体タケハ後ナメハグ。内 面部腰上ヨコハグ。脚上ハハケ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6焼	脚部完存
49-1	S B412 覆土	骨	現存高：2.1 底径：(7.6)	丸く直立する骨の底部。	外面部全体タケハ後ナメハグ。内 面部腰上ヨコハグ。脚上ハハケ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：良 色調：3Y R5/6明赤透	底部1/2残存
49-2	S B410 覆土	小 皿	現存高：2.0 底径：(5.2)	小皿形の灰陶。底部から直接脚下 位に鍵く。	外面部全体ヨコハグ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6焼	底部1/2残存 内部磨滅
49-3	S B415 覆土	骨	現存高：3.4 口径：(25.6)	半輪口縁高。口縁部は直線的に大 きく外方へ開き、口縁部附近に節 曲し、円盤に面を持つ。口縁部は 内面取り。	外面部縁部ナマヘグ。口部部は直 線的に対して底盤にハサキ工具で刻み を入れる。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	口縁部1/8残存 外面部磨滅
49-4	S B415 覆土	骨	現存高：2.9 底径：(12.2)	丸く直立する骨の底部。	外面部全体ヨコハグ。	釉土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/8明赤透	底部1/6残存
49-5	S B416 覆土	骨	現存高：1.5 口径：(16.6)	折り返しに輪郭。口縁部は外回り 見えないほど大きく外反する。折 り返し口縁部は四角く、口縁部 は内面取り。	外面部縁部ヨコハグ後ナダ。折り 返しヨコナダ。口部部ヨコハグ。輪 縁指施陶痕、棒状浮文を貼りつけ る。	釉土：普通(石英・輝石) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6焼	口縁部1/8残存

表 8-28 弥生土器観察表 (28)

番号	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態的特徴	調査・手法の特徴	胎土・模様・色調	備考
49-6	S B416 覆土	甕	現存高：1.7 口径：(12.6)	単純口縁部。口縫部は大きく外反する。口唇部は曲取り。	外周：輪郭遮断のため調整不明。 口唇部は内側に凸カーブ後、コナギ。 内面全体ヨコハケがわざかに残る。	胎土：普通（小灰・輝石） 白色粒少量 燒成：普通 色調：7.5Y R6/8椎	口縫部1/8椎存 全体的に磨滅。
49-7	S B416 覆土	甕	現存高：6.0 口径：(16.0) 底径：(12.6)	胴上位がむちかに張って頭部につながる。底部には腹ややに扁曲し、口縫部は強調的に大きく外反する。L字部は直取り。	外周輪郭～胴上位膨らみタナハケ。 口唇部は内側に凸カーブ後コナギ。 内面輪郭～胴上位丁寧な板ナギ。 輪郭部ヨコハケ後L字ナギ。	胎土：普通（石灰・輝石少量） 燒成：良 色調：7.5Y R6/6椎	口縫部～胴上位1/4椎存
49-8	S B417 P-3	甕	現存高：24.9 口径：(17.1) 底径：(22.2)	単純口縁部。頭部は中位に最大径を有した下膨れの卵形形を有する。肩部はさらに腹ややに内反し、口縫部は強調的に大きく外反する。L字部は直取り。	外周輪郭～中位のコマハケ。 頭部膨らみ後輪郭内側に2枚輪郭。 口縫部タラミヨガミ。L字部ヨコナギ。 内面輪郭～中位のコマハケ。頭部～ 輪郭部ヨコハケ後ヨコミヨガミ。	胎土：普通（石灰・輝石・ 白色粒・赤色粒） 燒成：普通 色調：7.5Y R6/6椎	口縫部～頭部は1/8椎存（口 部第一輪郭）、胴上位～ 中位1/4椎存 内面磨滅
49-9	S B417 覆土	甕	現存高：4.9 口径：(17.1)	単純口縁部。口縫部は直線的に大 きく外方へ傾く。口唇部は直取り。	外周輪郭とも磨滅のため調整不明。 内面全体ヨコハケ後ヨコミヨガミ。	胎土：普通（白色粒多し 石灰・輝石少量） 燒成：普通 色調：5Y R6/6椎	L3部1/7椎存 全体的に磨滅 49-10と同一個体？
49-10	S B417 覆土	甕	現存高：6.7	頭部は鋸く、口縫部は直線的に外 方へ傾く。	外周全体磨滅のため調整不明。 内面全体ヨコハケ後ヨコミヨガミ。	胎土：普通（白色粒多し 石灰・輝石少量） 燒成：普通 色調：10Y R6/4において黄 橙	頭部3/4焼残 全体的に磨滅 49-9と同一個体？
49-11	S B417 覆土	甕	現存高：4.9 口径：9.6 底径：5.3	単純口縁部。頭部は鋸く、口縫部 は大きく外反する。口唇部は直取り。	外周口縁部～頭部タナハケ後タナ ヘラミヨガミ。口唇部ヨコハケ後ヨ コナギ。 内面全体ヨコハケ後、一部を除いて 丁寧なナギ。	胎土：やや密（石灰・輝石・ 白色粒少量） 燒成：良 色調：7.5Y R7/6椎	L1輪郭～頭部2/8椎存
49-12	S B417 覆土	甕	現存高：11.4 口径：(22.6) 底径：(19.6) 最大径：(21.2)	口縫部は鋸く、口縫部は外反する。 頭部は内側に張り出された輪郭部を有する。頭部は鋸く、口縫部は外反する。L字部は直取り。	外周口縁部～中位ヨコハケ。口縫 部～頭部ヨコハケ、口唇部ヨコハ ケ。 内面全体ヨコハケ後、一部を除いて 丁寧なナギ。	胎土：普通（白色粒多し 石灰・輝石少量） 燒成：良 色調：7.5Y R6/4椎	口縫部～頭部1/3椎存
49-13	S B417 覆土	甕	現存高：3.5 口径：(14.0) 底径：(13.2)	頭部は内側に腰を有してわずかに 屈曲し、L字部は直立気味で外反 する。口縫部は直取り。	外周口縁部～頭部タナハケ。L字 部ヨココナギ後、下端にナカテT形 で込みを入れる。 内面全体ヨコミヨガミ。	胎土：普通（石灰・長石・ 輝石・白色粒・赤色粒） 燒成：普通 色調：10Y R8/4焼黄橙	口縫部～頭部1/8椎存
49-14	S B417 覆土	甕	現存高：1.9 口径：(13.8)	折り返し口縁部。口縫部は外側が 見えないほど大きく外反する。折 り返し口縫部は凹角く、L字部は 直取り。	外周口縫部ヨコハケ後タナハ ケ。折り返し口縫部、L字部ヨコハ ケヨコヨコラミヨガミ。 内面全体ヨコハケ後ヨコヘラミヨ ガミ。L字部に小孔を11万穿孔。	胎土：密（石灰・輝石・白 色粒少量） 燒成：良 色調：7.5Y R6/6椎	口縫部1/5椎存
49-15	S B417 覆土	甕	現存高：2.7 口径：(18.4)	折り返し口縫部。口縫部は大きく 外反する。折り返し口縫部は凹 角く、L字部は直取り。	外周面折り返し口縫部タナメハ ケ。L字部ヨコハケ後ヨコヘラミヨ ガミ。 内面全体ヨコハケ後ヨコヘラミヨ ガミ。	胎土：普通（石灰・輝石・ 白色粒少量） 燒成：良 色調：5Y R6/6椎	口縫部1/8椎存
49-16	S B417 覆土	甕	現存高：1.6 口径：(13.8)	折り返し口縫部。口縫部は外側が 見えないほど大きく外反する。折 り返し口縫部は凹角く、L字部は 直取り。	外周口縫部ヨコハケ後タナハ ケ。折り返し口縫部。L字部ヨコハ ケヨコヨコラミヨガミ。 内面全体ヨコハケ後ヨコヘラミヨ ガミ。	胎土：やや密（石灰・輝石・ 白色粒少量） 燒成：良 色調：5Y R6/6椎	口縫部1/6椎存
49-17	S B417 覆土	甕	現存高：2.2 底径：(9.2)	短く直立する茎の底部。	外周全体磨滅のため調整不明。 内面輪郭下口ヨコハケがわざかに残 る他に磨滅のため調整不明。	胎土：やや密（石灰・輝石・ 白色粒少量） 燒成：普通 色調：5Y R6/6椎	底部1/7椎存 全体的に磨滅
49-18	S B417 覆土	甕	現存高：2.2 口径：(8.4) 底径：(5.5)	小型の鉢。体部は直立気味に立ち 上がり、口唇部近位で大きく外反 する。L字部は直取り。	外周全体ヨコハケ後タナヘラミヨ ガミ。口唇部ヨコナギ。 内面全体ヨコハケヨコミヨガミ。	胎土：普通（白色粒多し 石灰・輝石少量） 燒成：良 色調：7.5Y R3/3稍褐	体部1/5椎存
49-19	S B417 覆土	甕	現存高：4.0 底径：(10.8)	底部一帯が直立的に高く台付基 の脚部。	外周輪郭ともヨコハケがわざかに残 る。	胎土：普通（石灰・長石・輝 石少量） 燒成：普通 色調：10Y R7/4において黃 橙	底部1/3椎存 全体的に磨滅
49-20	S B419 覆土	甕	現存高：1.6 底径：(10.6)	底部から直立脚下位に続く帯の底 部。底丸木痕あり。	外周全体ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	胎土：普通（石灰・輝石・ 白色粒） 燒成：普通 色調：5Y R6/8椎	底部1/4椎存 全体的に磨滅
49-21	S B419 覆土	甕	現存高：10.0 底径：(12.6)	底部一帯が直線的に高く台付基 の脚部。	外周輪郭第一部ヨコハケの後、側ト リ～脚部ヨコハケ。地盤面もヨコ ハケ。 内面輪郭ヨコハケ。天井部ヨコハ ケ。底盤ナギ。側トリヨコハケ。	胎土：やや密（白色粒多し 石灰・輝石） 燒成：普通 色調：10Y R5/4において黃 橙	脚部2/3椎存
49-22	S B420 柱穴覆土	甕	現存高：7.9 底径：(9.6)	底部～脚部が直線的に高く台付基 の脚部。	外周輪郭ヨコハケ。脚部下部タナ ハケ。脚部下位～底盤ヨコハケ。 内面輪郭ヨコハケ。天井部ヨコハ ケ。底盤ナギ。側トリヨコハケ。	胎土：やや密（白色粒多し 石灰・輝石） 燒成：普通 色調：10Y R6/4において黃 橙	脚部1/2椎存

表 8-29 弥生土器観察表 (29)

TB番号	出土遺構	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	鉢土・焼成・色調	備考
50-1	S B421 P-7-3	壺	現存高：1.7 口径：(15.8)	單純口縁部。口縫は外回が見えないほど大きく外反する。口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケ後タテヘリガキ。 内面全体ヨコハケ後ロヒマギキ。	鉢土：普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4に近い黃粒	LJ縁部1/8残存 全体的に磨滅
50-2	S B421 P-9-1	壺	現存高：1.7 口径：(17.5) 底径：(8.0)	單純口縁部。瓶部は短く、口唇部は小さく外反する。口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケ後タテヘリガキ。 口唇部コハケ後ロヒマギキ。	鉢土：普通(白英・白色粒・黑色粒・赤色粒少量) 焼成：普通 色調：10Y R7/3に近い黃粒	口縁部・瓶部1/4残存
50-3	S B421 P-6	壺	現存高：5.9 口径：(14.4)	單純口縁部。瓶部は短く、口唇部は大きく外反する。口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケ後タテヘリガキ。 内面全体ヨコハケ後ロヒマギキ。	鉢土：普通(山色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/4に近い黃粒	LJ縁部1/3残存
50-4	S B421 P-10-4	壺	現存高：2.2 口径：(13.8)	折り返し口縁部。瓶部は短く、口唇部は外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケがむきだしに外反する。折り返し面、口唇部コハケの底、下端に凹で割込みを入れる。 内面全体ヨコハケをナメテす。折り返し面直下に小孔1個ある。	鉢土：やや粗(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R8/6黄褐色	LJ縁部1/4残存 全体的に磨滅
50-5	S B421 覆土	壺	現存高：3.2 口径：(15.2)	折り返し口縁部。瓶部は短く、口唇部は外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケ後タテヘリガキ。 内面全体ヨコハケ後一部ナメテす。	鉢土：粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒・赤色粒・輝石少量) 焼成：やや軟 色調：5Y R7/8橙	口縁部1/8残存 全体的に磨滅
50-6	S B421 覆土	壺	現存高：3.3 口径：(15.0)	折り返し口縁部。瓶部は短く、口唇部は外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケ後一部ナメテす。	鉢土：やや粗(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6橙	LJ縁部1/8残存 全体的に磨滅
50-7	S B421 P-7-1	壺	現存高：6.1 口径：11.5 底径：6.5	折り返し口縁部。瓶部は短く、口縁部は腰や間に外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケ後タテヘリガキ。 内面全部ヨコハケ。	鉢土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：5Y R7/6橙	LJ縁部1/4残存
50-8	S B421 覆土	壺		折り返し口縁部。瓶部は短く、口縁部は腰や間に外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外凹口縁部ナメハケ後タテヘリガキ。 内面全部ヨコハケ。	鉢土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R8/5に近い黃粒	LJ縁部
50-9	S B421 P-5	壺	現存高：15.2 底径：8.9	肩上位が丸く張って頭部につながり、口縁部へ向かって外傾する。	外凹口縁部ナメハケ後タテヘリガキ。肩部は頭部の上と並んでS字状輪郭文を伴うLR機工輪郭文の上に門型輪郭文を方に貼りつける。 内面頭部L字横位輪位輪文。	鉢土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒 金星閃片少量) 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黃褐色	LJ縁部1-頭部5/6、肩上位 3/5残存(口唇部欠損)
50-10	S B421 P-3	小壺 蓋	高さ：9.9 口径：(6.6) 最大径：8.2 底径：6.5	單純口縁部。瓶部に比して底部の太く、側体、側部は中央に最も太底を有した腰の小さい瓶形を呈する。肩部は腰から下に頭部につながり、口縫部はわざわざに外傾する。口唇部は面取り。	外凹頭部ナメハケをナメテす。 内面頭部ヨコハケ。	鉢土：やや粗(石英多し 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/8橙	ほぼ完存(口縁部1/4残存)
50-11	S B421 P-10-2	瓶	高さ：2.7 口径：(5.4) 底径：(4.4)	小型の瓶。体部は直立気味に外傾する。口唇部は面取り。	外凹全体ヨコハケをナメテス。	鉢土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：やや良 色調：7.5Y R6/5橙	体部1/2残存
50-12	S B421 P-10-5	壺		外縁は上位部のみにS字状輪郭文を伴う上位R、下位R L横位輪位輪文を施す。	内面全体ヨコハケ。	鉢土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	肩部破片
50-13	S B421 覆土	壺		外凹L R横位輪位輪文施す。文様下部ヨコハケ。	内面全体ヨコハケ。	鉢土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R8/4淡黃褐色	肩部破片
50-14	S B421 P-10-6	壺		外凹頭部L R横位輪位輪文施す。文様下部ヨコハケ後ヨコヒマギキ。	内面全体ヨコハケをナメテす。	鉢土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R8/5に近い黃粒	肩部破片
50-15	S B421 P-3	壺	現存高：5.9 底径：9.1	肩下位によく後を持つ。底部が高く立ち直してから肩下位が大きく外方へ開き、肩部は内側傾斜に立ち上がる。底面本業痕あり。	外縁ナメハケ後タテヘリガキ。 内面底面ヨコハケ。	鉢土：やや粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒・輝石少量) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6橙	肩下位～底部ほぼ完存

表 8-30 弥生土器観察表 (30)

地番	出土遺構	測定	計測値 (mm)	形態の特徴	裏面・手すの特徴	胎土・焼成・色調	備考
50-16	S B421 P-4	壺	現存高: 4.6 口径: 10.4	底部が頗る直立してから肩付位が 大きめ外方へ傾く。底面部頗る 凹。	外側全体タテハケ後ヨコヘラミガ キ。一部タテハケヨコヘラミガキあり。 内面底部ナゴ、肩下位直線かくい複 剛なハケ後一部板ナゴ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: 10Y R 6/4に近い黄 褐色	脚下位-底部充存
50-17	S B421 覆土	壺	現存高: 1.5 底径: (6.8)	底部から直接肩下位に続く唇の折 部。	外面をタヌまたはヨコヘラミガ キ。民系ヨコヘラミガキ。 内面全体複雑のため調整不明。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 6/6稍	底部1/6残存 内面齊滅
50-18	S B421 覆土	壺	現存高: 1.5 底径: (7.6)	底部から直接肩下位に続く唇の折 部。	外側全体ヨコヘラミガキがわざか に残る。 内面全体復元ナゴ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: 10Y R 6/3に近い黄 褐色	底部1/6残存 全体的に齊滅
50-19	S B421 P-10 I	壺	現存高: 2.2 底径: (7.8)	極く直立する唇の底部。	外側全体タテハケ後ヨコヘラミガ キ。 内面底部ハケ、肩下位ヨコハケを モザイク酒す。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 6/6稍	底部1/3残存
51-1	S B421 P-7-2	壺	現存高: 14.4 口径: 18.4 底径: 16.6 最大径: (8.6)	台付型。腹部に中位に最大径を有 した張りの小さい腰膨部を呈する。 底部は直線で、口部部は 厚厚壁。直線的外傾する。11唇 部は直立。	外側腹全体ナゴメハケ。腰膨部一 段タテハケ後、腰部ヨコナゴ。 内面全体ヨコナゴ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: やや良 色調: 5Y R 6/6稍	11輪部-腰部5/6、腰部1/ 5残存
51-2	S B421 P-9-3-4	壺	現存高: 12.8 口径: (17.8) 底径: (16.6) 最大径: (8.0)	台付型。制限は上位に直人径を有 する。下位にいよいよ張りの 小さな腰膨部を呈する。腹部は直 線的で、口縁部は直線的でこ むぎかず向外傾する。口部部は直 取り。	外側腹下位タテハケ。制限中位ナゴ メハケ。上位ヨココハケ。腰膨部一 段タテハケ後、腰部ヨコナゴ。口 部ヨコナゴ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 6/6強	11輪部-腰下位1/3残存
51-3	S B421 P-10-3	壺	現存高: 5.0 口径: (22.0) 底径: (20.2)	肩上部は張らずに腹部につながる。 直部は直線で、口縁部は直線的 で外傾する。口部部は直取 り。	外側腹上位ヨコハケ。腰膨部一 段タテハケ後一部ヨコノゾロ骨部ヨ コナゴ。 内面腹上位脚かくいヨコハケ。腰 部ヨコハケ。	胎土: やや硬(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒・黑色粒少) 焼成: やや良 色調: 1.7 YR 7/4に近い	口部基-胴上位1/10残存
51-4	S B421 覆土	壺	現存高: 7.3 口径: (21.0) 底径: (17.9)	肩上部は張らずに腹部につながる。 直部は直線で、口縁部は直線的 で外傾する。口部部は直取 り。	外側全体ヨコハケ後一部ケ ル。腰膨部一肩上位ヨコハケ。11唇 部ヨコハケ。	胎土: やや硬(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 1.7 YR 8/6浅黄色	口部基-胴上位1/12残存 全体的に齊滅
51-5	S B421 P-9-2	壺	現存高: 11.8 口径: (17.4) 底径: (16.8) 最大径: (19.0)	肩付型。制限は中位に最大径を有 した張りの小さな腰膨部を呈する。 底部は直線で、口縫部は直線的で 腰膨部は直線的でわざか向外傾する。 口部部は直取 り。	外側腹下位脚かくいタテハケ。肘 部腰膨部ヨコハケ。11唇 部ヨコハケ後一部ケル。腰膨 部ヨコハケ後一部ヨコハケ。11唇 部ヨコハケ後ヨココハケ。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 6/6強	11輪部-腰下位1/4残存
51-6	S B421 P 8	壺	現存高: 9.0 口径: 12.6 底径: 11.3	小窓付型。制限は中位に最大径を有 した張りの小さな腰膨部を呈する。 底部は直線で、口縫部は直線的で 腰膨部は直線的でわざか向外傾する。 口部部は直取 り。	外側-腰部-肩部ヨコハケヨコハ ケ後ヨコハケ。腰膨部ヨ コハケ後ヨコハケ。11唇 部ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 白色粒) 焼成: 香道 色調: 5Y R 5/6弱	11輪部-肩下位充存 外面全体肩-腰部1/2カ所剥落あり
51-7	S B421 P-10-11	壺	現存高: 17.8 底径: (7.8)	底部一部が直線的に開く台付型 の解体。	外側全体ナゴメハケ後。腰膨 部ヨコハケ後一部ヨコハケ。 内面腹全体ヨコハケ。腰膨部ナ ゴ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R 6/6強	脚底部は充存
51-8	S B421 P-10-9	壺	現存高: 13.5 底径: (9.9)	底部-腰部が直線的に開く台付型 の解体。	外側全体ヨコハケ。腰膨部 ヨコハケ後ヨコハケ。11唇 部ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R 6/4に近い	脚下位-脚部ほぼ充存
51-9	S B421 P-10-10	壺	現存高: 6.2 被削径: (8.4)	底部-腰部が内側突出で開く低腰 の台付型の脚部。	外側全体タテハケ後ナゴ。 内面腹全体ヨコハケ。天井部ナゴ。 底部ヨコハケ後脚部ナゴ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R 6/6強	脚部ほぼ充存
51-10	S B421 P-10-8	壺	現存高: 4.3 被削径: (9.6)	底部-腰部が内側突出で開く台付型 の脚部。	外側全体タテハケまたはナゴメハ ケ。内面全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色 粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R 7/6弱	脚部1/12残存
51-11	S B421 覆土	壺	現存高: 2.9 被削径: (8.4)	底部-腰部が直線的に開く台付型 の脚部。	外側ヨコハケ後ヨコハ ケヨコハケ後ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 10Y R 7/6明黄褐	脚部1/6残存 全体的に齊滅
51-12	S B422 覆土	壺	現存高: 5.6 口径: (18.0)	複合口縫。複合部は口縫部をね じから直線まで、外縫に粘土帶を 貼りつけ造り出し、直線的に外 傾する。11唇部は直取り。	外側ヨコハケ後ヨコハ ケヨコハケ後ヨコハケヨコハ ケ。粘土帶下部にハケ工具で削みを入 れる。口部部ヨコナゴ。 内面全体ヨコハムニギキ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 10Y R 8/4浅黃褐	口縫部1/4残存 全体的に齊滅

表 8-31 弥生土器観察表 (31)

地番	出土遺物	測定値	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	施土・焼成・色調	備考
S1-13	S B422 覆土 小型器	現存高: 4.1 底径: (5.4)		小平の底部、底部が埋立してから、肩部が高く立ち上がる。	外側全体ナメハケをナメ出す。 内面全体コハケをナメ出す。	施土: 砂(石英・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/4	脚下位~武都1/4残存
S1-14	S B422 覆土	亞		折り返しして縫合。上縫合は大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は凹取り。	外側に縫合跡タハケ、折り返し面ナギ。口唇部タハケ。 内面全体感溝のため調査不詳。	施土: 砂(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R8/6黄褐	口縫部破片
S2-1	S B423 覆土	壹	現存高: 1.6 口径: (17.9)	折り返し口縫合。口唇部は外反しないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は凹取りで、上端を尖らせる。	外側に口縫部タハケ。折り返し面ナギ。口唇部タハケ。 内面全体感溝のため調査不詳。	施土: 砂(石英・鄭石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5 Y R7/6橙	口縫部1/8残存
S2-2	S B423 覆土	貳	現存高: 4.2 口径: 9.6 底径: (6.1)	単純口縫合。相違は太く、口唇部は大きく外反する。口唇部は面取り。	外側に口縫部タハケ。折り返し面ナギ。口唇部コハケ。 内面底部コハケミガキ口縫合ミガキ。	施土: 砂(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10 Y R8/4浅青綠	口縫部2/3、頭部1/4残存
S2-3	S B423 覆土	壹		折り返し口縫合。口縫合は外反しないほど大きく外反する。折り返し面の断面は三角形を呈する。口唇部は凹取り。	外側に口縫部タハケ。折り返し面ナギ。口唇部コハケ。 内面底部ミコハケ後、縫合部に感溝を呈する。	施土: 砂(石英・白色粒・赤色粒・灰色粒) 焼成: 良 色調: 10 Y R8/4浅青綠	口縫部破片
S2-4	S B423 覆土	壹			外側にケルビによる羽状の擬輪文を施す。 内面全体指顎ナギ。	施土: やや粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5 Y R7/6橙	口縫部破片
S2-5	S B423 覆土	壹	現存高: 1.9 底径: (9.4)	短く直立する春の底部。	外側全体感溝のため調査不詳。 内面底部感溝ナメハケ後位コハケ。	施土: 中や粗(石英・白色粒・黑色粒・輝石) 焼成: やや良 色調: 10 Y R7/3によい黄色	脚下位~底座1/2残存
S2-6	S B423 覆土 小型器	壹	現存高: 2.3 底径: (3.2)	小平の底部、底部から直接剥下位が直立気味に開く。	外側全体ナメハケがわずかに残る。 内面底部ヨコハケがさざかんに残る。	施土: やや粗(石英・輝石・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 5 Y R7/6橙	脚部1/2残存 全体的に崩滅
S2-7	S B423 覆土	壹	現存高: 7.7 頭部径: (9.2)	此芯一擦痕の内側斜面に斜く付ける。	外側全体タハケ。 内面感溝ヨコハケ後一部ナギ。天井部ナギ。底面感溝のため調査不詳。	施土: 粗(石英・鄭石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10 Y R7/4によい黄色	脚部1/3残存 外面、内底面崩滅
S2-8	S B423 覆土	壹	現存高: 12.5 口径: (19.0) 断径: (17.0) 最大径: (20.8)	頭部は中位に最大径を有した2周輪形を有する。底部は腰を持たずにはいる。 輪帶は肥厚し、直線的。	外圓輪位ヨコハケ。口縫部~腰位タハケ。口縫部ヨコハケ後、下端にハケ工具で削みを入れる。 内面感溝ヨコハケ後一部ナギ。	施土: 粗(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: 5 Y R7/8橙	口縫部~腰位1/3残存
S2-9	S B423 覆土	壹	現存高: 3.8 口径: (12.1) 断径: (10.9)	頭部位は腰らずに底部につながる。 輪帶は輪帶を持たずにはいる。口唇部は輪帶は輪帶的に外側する。 口唇部は凹取り。	外側口縫部~腰位タハケ。口縫部ヨコハケ後、下端にハケ工具で削みを入れる。 内面感溝位ナギ。L字縫部~頭部ヨコハケ。	施土: 砂(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5 Y R6/5橙	口縫部~腰位1/8残存
S2-10	S B424 覆土	壹	現存高: 3.8 口径: (21.6)	折り返し口縫合。口縫部は直線的で大きく外方へ開き、口唇部が底がわざかに外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は凹取り。	外側に腰部ヨコハケ後ヨコハケヨコハケ。口縫部~腰位タハケ。口縫部ヨコハケ後、腰部ヨコハケ後、下端にハケ工具で削みを入れる。 内面感溝位ナギ。L字縫部~頭部ヨコハケ後ヨコハケを重ねる。	施土: やや粗(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10 Y R8/4浅青綠	口縫部1/8残存
S2-11	S B424 覆土	壹	現存高: 1.8 底径: (8.0)	短く直立する春の底部。	外側全体感溝のため調査不詳。 内面感溝ナギ。腰位コハケがわざかに残る。	施土: 粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10 Y R7/3によい黄色	脚部1/3残存 全体的に崩滅
S2-12	S B424 覆土	壹	現存高: 2.6 底径: 4.6	小平の底部。底部から直接剥下位が直立気味に開く。	外側全体不規則なナメハケ。 内面感溝ナギ。腰位コハケがわざかに残る。	施土: やや粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5 Y R7/6橙	脚下位~底座1/2残存
S2-13	S B424 覆土	壹	現存高: 5.0 口径: (12.2) 断径: (10.4)	頭位は腰らずに輪帶につながる。 輪帶は腰を持たずにはいる。口唇部は直線的に外側する。 口唇部は凹取り。	外側1/2位下端にハケ工具で削みを入れる他の部感溝のため調査不詳。 内面感溝位感溝のため調査不詳。 L字縫部~頭部ヨコハケ。	施土: やや粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5 Y R7/6橙	口縫部~頭上位1/8残存 全体的に崩滅
S2-14	S B426 覆土	壹	現存高: 1.9 底径: (7.8)	短く直立する春の底部。	外側全体タハケ後ヨコハケミガキ。 内面底部ヨコハケミガキ。	施土: やや粗(石英・鄭石・少骨) 焼成: 良 色調: 7.5 Y R6/5橙	底座1/3残存

表 8-32 弥生土器観察表 (32)

番号	出土遺構	種	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・施色・色調	備考
52-15	S B427 覆土	壁	現存高: 8.0 口徑: (15.0)	複合口縁部。底部には口縁部をわずかに屈曲させ、外側に斜ら・平滑で貼りつけて造り出し、直角的に内側に傾する。口部は圓取り。	外側口縁部斜ら・平滑で貼りつけて造り出し、外側に斜ら・平滑で貼りつけて造り出し、直角的に内側に傾する。口部は圓取り。	胎土: やや粗(石英・長石・輝石・白雲母)・粘合部ヨコハケの後、鐵粉押さえで2方に貼りつける。口部ヨコカーブ。 内面全体ヨコハケ後ナガ。	口縁部1/6残存 全体的に磨滅
52-16	S B427 覆土	壁	現存高: 1.3 底径: 10.6	底部から直接脚下位に続く窓の底部。底盤木痕模様あり。	外側全体ナガ。	胎土: 香通(石英・輝石) 焼成: 香通 色調: 10Y R7/6明黃褐色	底盤5/6残存
52-17	S B427 覆土	壁	現存高: 3.1 底径: (15.0)	底部から直接脚下位に続く窓の底部。底盤木痕模様あり。	外側全体ナガ後ヨコヘテミガキ。 底盤ヨコガキ。	胎土: 香通(石英・長石・輝石・白雲母・赤色粒)・ 焼成: 長 色調: 7.5Y R6/8橙	底盤1/5残存
52-18	S B427 覆土	壁	現存高: 4.0 幅径: (7.8)	底部・脚部が直線的に斜く向外側の脚張版。	外側全体ナガ。 内面脚部附近ヨコハケ・翼上位ナガ。	胎土: 長石(石英・長石・輝石) 焼成: 長 色調: 7.5Y R6/8橙	脚部1/3残存
52-19	S B427 覆土	壁	現存高: 7.9 口徑: (25.8) 底径: (23.6)	頂上部は強らぎで窓部につながる。腹部は非常に緩やかに扁曲し、口部はわずかに外反する。口唇部は圓取り。	外側口縁部・肩上位ナタメハケ。 口唇部ヨコカーブ。	胎土: やや粗(白色粒多し・石英・輝石) 焼成: 香通 色調: 10Y R6/8橙	口縁部・肩上位1/5残存
52-20	S B427 覆土	壁	現存高: 6.8 口徑: (18.0) 底径: (16.8)	脚上位はむかしに丸く落して脚部につながり、脚部は腰やかに扁曲し、口部は直線的に外反する。口唇部は圓取り。	外側全体斜いナタメハケ・口唇部ヨコカーブ。 内面脚部ヨコナガ。脚部端・脚部横ヨコカーブ。	胎土: 香通(石英・長石・輝石・白雲母)・ 焼成: 香通 色調: 10Y R7/6明黃褐色	口輪高1-脚上位1/2残存 全体的に磨滅
52-21	S B427 覆土	壁	現存高: 7.2 口徑: (18.4) 底径: (17.4)	脚上位はむかしに丸く落して脚部につながり、脚部は腰やかに扁曲し、口部は直線的に外反する。口唇部は圓取り。	外側脚部・肩上位斜いナタメハケがむかしに窓部につながり、上脚部ヨコカーブ。 内面脚部ヨコナガ。脚部端・脚部横ヨコカーブ。	胎土: 香通(石英・輝石・白色粒)・ 焼成: 香通 色調: 7.5Y R7/6明黃褐色	1脚部・肩上位1/5残存 全体的に磨滅
52-22	S B427 覆土	壁	現存高: 5.2 口徑: (13.0) 底径: (12.4)	脚上位は丸く落して脚部につながり、脚部は腰やかに扁曲し、口部は直線的に外反する。口唇部は圓取り。	外側脚部斜いナタメハケがむかしに窓部につながり、上脚部ヨコカーブ。 内面脚部ヨコナガ。脚部端・脚部横ヨコカーブ。	胎土: 香通(石英・長石・輝石) 焼成: 香通 色調: 10Y R7/6明黃褐色	口輪部1/5残存 全体的に磨滅
53-1	S B428 覆土	壁	現存高: 3.8 口徑: (16.6) 底径: (13.6)	底部は非常に緩やかに扁曲し、口唇部はわずかに内反する。口唇部は圓取り。	外側脚部斜いナタメハケの後、口唇部ヨコカーブの後、下脚部にナガで切って入れる。 内面脚部ヨコナガ。脚部端・脚部横ヨコカーブ。	胎土: やや密(石英・輝石・白色少量) 焼成: 香通 色調: 10Y R7/6明黃褐色	口輪部・脚部1/3残存
53-2	S B428 覆土	壁	現存高: 5.8 口徑: (11.8) 底径: (10.8) 最大径: (11.8)	脚部は上位に最大径を有した振りの小さい・彫刻形を呈する。底部は非常に緩やかに扁曲し、口唇部はむかしに外反する。口唇部は直線的に外反する。上脚部を尖らせる。	外側脚部斜いナタメハケ・口唇部ヨコカーブの後、下脚部ヨコカーブで削みを入れる。	胎土: 粗(石英・輝石・白色少量) 焼成: 香通 色調: 7.5Y R7/6明黃褐色	1脚部・肩上位1/6残存
53-3	S B428 覆土	壁	現存高: 2.8 底径: (5.6)	小型窓の窓部。底部から直線脚下位が直立気味に聞く。	外側全体斜いナタメハケ。	胎土: 粗(内灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香通 色調: 10Y R5/4にれ・青	脚下位・底部1/6残存
53-4	S B428 炉上	壁	現存高: 3.2 底径: 5.2	直脚4脚で直立してから脚下位が大きくなりて開く。	外側全体斜いナタメハケ・ヨコカーブ後丁寧なナガ。	胎土: 香通(石英・輝石・白色少量) 焼成: 香通 色調: 10Y R5/4にれ・青	底部完全・全体的に磨滅
53-5	S R428 覆土	壁	現存高: 5.2 底径: (11.2)	底部が強く直立してから脚下位が大きくなりて開く。	外側全体ヨコハケの後、底部・脚部ヨコカーブミガキ。	胎土: 香通(石英・輝石・白色少量) 焼成: 香通 色調: 5Y R6/8青	脚下位・底部1/2残存
53-7	S B430B 覆土	壁	現存高: 4.0 口徑: (16.2) 底径: (13.1)	脚部は東京に緩やかに屈曲し、口唇部はむかしに外反する。口唇部は圓取り。	外側脚部斜いナタメハケ・口唇部ヨコカーブがむかしに窓部につながる。口唇部ヨコカーブ。	胎土: やや粗(石英・長石・輝石・白雲母・赤色粒) 焼成: 香通 色調: 7.5Y R7/6明黃褐色	口輪部・脚部1/6残存 外側保付 全体的に磨滅
53-8	S B430B 覆土	壁	現存高: 1.6 口徑: (13.6)	半純口縁部。口縁部は外面が見えないほど大きめに外反する。口唇部は圓取り。	外側脚部斜いナタメハケの後、口唇部ヨコカーブ。	胎土: やや粗(石英・白色粒・輝石・白雲母) 焼成: 香通 色調: 7.5Y R7/6青	1脚部1/8残存 全体的に磨滅
53-9	S B430B 蓋・ 土	蓋	現存高: 2.0 底径: (9.0)	丸く直立する蓋の底部。	外側全体ヨコハケ後ヨコカーブナガ。	胎土: やや粗(白色粒多し・石英・輝石) 焼成: 香通 色調: 5Y R6/8青	直蓋1/6残存
53-10	S B430B 蓋・ 土	蓋			外側上段R・中段L・下段R 横棒構造を施す。 内面脚部ヨコカーブ・ヨコヨコハケ。	胎土: やや粗(石英・長石・輝石・白雲母・赤色粒) 焼成: 香通 色調: 5Y R7/6青	脚部・脚上位被付
53-11	S B430B 蓋・ P-7	蓋	現存高: 16.0 最大径: (23.0) 底径: (11.2)	脚部は下位に最大径を有し、後を窄づ。脚下位は直線的に開く。前中位には東京気味に立ち上がる。	外側脚下位ヨコハケ後ヨコカーブ。 内面脚部ヨコカーブ。	胎土: 香通(石英・輝石) 焼成: 香通 色調: 5Y R6/8青	脚上位・底部1/4残存 全体的に磨滅

表 8-33 弥生土器観察表 (33)

箇所	出土遺物	地	計高さ (cm)	形態の特徴	剖面・手の特徴	施土・焼成・色調	備考
53-12	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：1.7 口径：(15.8)	折り返し口縁部。口縁部は外側が 見えないほど大きく反する。折 り返し面の断面は内凹く、口部に は曲取り。	外周口縁部タコハケまたはヨコハケ後 タマヘラミタコハケ。折り返し面、口 部部ヨコハケ。	施土：やや粗(石灰・白色 砂石)。 焼成：普通 色調：2.5Y R6/8焼	LJ種別B/8焼成
53-13	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：1.8 口径：(13.2)	折り返し口縁部。口縁部は外側が 見えないほど大きく反する。折 り返し面の断面は三角形を呈し、 口部は圓取り。	外周口縁部ヨコハケまたはヨコハケ がわざかに残る。折り返し面 部ナメハケがわざかに 内面全体ヨコハケ後ヨコハケ。	施土：やや粗(白色粒多し 石灰・砾石) 焼成：普通 色調：5Y R6/6焼	LJ種別B/8焼成 全体的に削減
53-14	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：1.7 口径：(16.0)	折り返し口縁部。口縁部は大き く外反する。折り返し面の断面は円 角く、口部は曲取り。	外周口縁部ヨコハケがわざかに残 る。折り返し面、口部部ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ後ナメ。	施土：普通(石灰・砾石・ 白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/8焼	LJ種別B/6焼成 全体的に削減
53-15	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：1.2 口径：(8.2)	底面から直接腰下位に続く窓の底 部。	外周口縁部タハケ後ナメ？。 内面全体ナメ。	施土：やや粗(石灰・砾石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/8焼	LJ種別B/8焼成 全体的に削減
53-16	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：1.6 口径：(7.5)	近く直立する壺の底部。底部本體 あり。	外周全体ヨコハラミガキ。 内面全体ヨコハケをナメ消す。	施土：普通(白色粒多し 石灰) 焼成：良 色調：7.5Y R6/8焼	底部B/6焼成
53-17	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：6.1 口径：(25.6) 底径：(23.4)	腰上位は洗流びに底部につながる。 腰部は非常に緩やかに屈曲し、口 部部はわざかに外反する。口部部 は圓取り。	外周腰上位にタハケの痕跡。 底部は一部細かいヨコハケをも 含む。口部部ヨコハケ後ヨコナメ。 内面全体ヨコハケ。	施土：普通(石灰・砾石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/8焼	LJ種別B-腰上位B/6焼成
53-18	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：5.3 口径：(20.2) 底径：(15.6)	腰上位は洗流びに底部につながる。 腰部は非常に緩やかに屈曲し、口 部部は腰部して、わざかに外反す る。口部部は圓取り。	外周腰上位にヨコハケ。腰部タ ハケ、口部部ヨコハケ。口部部ヨ コハケ。	施土：やや粗(石灰・砾石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/8焼	LJ種別B-腰上位B/5焼成 外蓋付着
S3-19	S B430 一括 覆土上層	東	現存高：6.6 口径：(8.0)	底部へ底部が弧線的に開く付属 の脚部。	外周底部ヨコハケ。脚部付属タハ ケをナメ消す。 内面全体ヨコハケ。	施土：普通(石灰・砾石・ 白色粒) 焼成：良 色調：10Y RS/4/よい青 色	葬B/6焼成(此部欠損)
54-1	S B431A P-35	東	現存高：50.5 肩径：16.2 最大径：45.6 底径：15.7	大型の壺。胴部は中位に最大径 を有した球形部を呈する。肩部は強 らずに低い環状につながり、口縁 部は緩やかに外反する。	外周脚部ヨコハラミガキ。腰部 部ヨコハラミタハケ。ヨコハケに残る 跡は腰部のため削除不明。 内面腰下位にタハケ。脚部付属タハ ケ、口部部、腰上位傾斜ヨコハ ケ後、ヨコナメの跡は腰部のため削 除不明。	施土：普通(石灰・砾石・ 白色粒・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/8焼	LJ種別B-底部はぼ焼成(B) 腰部欠損 全体的に削減
54-2	S B431A P-34	東	現存高：16.0 最大径：39.0 底径：(13.6)	胴部は中位に最大径を有した下部 の球形部を呈する。	外周腰下位下半ヨコハラミタハ ケがむずかしく残る他の跡のため調査 不明。 内面腰下位下半-前田雨山1号ヨコハ ケ。腰上位半幅かいヨコハケの 跡は腰部のため削除不明。	施土：やや粗(石灰・白色 粒多し・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	腰中位-底部B/4焼成 全体的に削減
55-1	S B431A P 1-5	東	現存高：(27.6) 口径：(22.6) 肩径：(10.6) 最大径：29.0	単純口縁部。胴部は中位に最大径 を有した下部の球形部を呈する。肩部は強 らずに低い環状につながり、口縁 部は緩やかに屈曲する。口部 部は圓取りで、底が大昇を呈す。	外周腰部粗いナメタハケ。胴部一 般上位と下部にはヨコハラミタハケを 伴う上段と、中段LR、下段Rと伴 り、頭部は緩やかに屈曲する。口部 部は直線的で外方に開く。口部 部は圓取りで、底が大昇を呈す。	施土：粗(石灰・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R8/6焼成粗	山腰部-胴上位B/2、胴中 位B/8焼成 全体的に削減
56-2	S B431A P-7	東	現存高：29.2 口径：21.3 肩径：9.0 最大径：33.0	複合口縁部。胴部は中位に最大径 を有した球形部を呈する。肩部は強 らずに低い環状につながり、口縁 部は緩やかに外反する。複合 口縁部は腰部を圓取りせず、外縁 部を貼りつけて造り出し、直立 部体に外縁する。口部部は圓取り。	外周腰部粗いナメタハケの後、口部部一 般上位と下部にはヨコハラミタハ ケを伴う上段と、中段LR、下段Rと伴 り、頭部は緩やかに屈曲する。口部 部は圓取りで、底が大昇を呈す。	施土：普通(石灰・黄石・ 黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6焼	複合口縁部、頭部-胴中位 B/2/8焼成 全体的に削減

表 8-34 弥生土器観察表 (34)

番号	出土遺物	種類	計測値(cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
56-1	SB431A P-20	甕	現存高：14.9 口径：12.9 肩径：7.5	折り返し口縁部。頂部は位置が高く、底部の見える部分の高い位置から脇部にかけて大きな凹部を有する。脇部は大きめの球形を呈する。脇部はあまりなく、口部部は大きく外反する。折り返し面の断面はV字型となり、口部部はあまりなく、口部部は内反する。	外側口縁部一頂部(地質部)のため調整不規則。折り返し面、脇下位ヨコハラミガキ。	胎土：粗(石英・長石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6倍	I縁部一地質部(地質部)、脇上位(1/4残存) I縁部一地質部(地質部)、脇上位(1/4残存) 全体的に磨滅
56-2	SB431A P-8	甕	現存高：9.7 口径：(16.4) 肩径：(8.6)	折り返し口縁部。口部は丸く張って幅広い断面につながり、口縁部は外向か見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面はV字型となり、口部部は内反する。	外側口縁部のため調整不規則。折り返し面ヨコハラミガキ。口縁部ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：滑(石英) 焼成：良 色調：3Y R7/8倍	口縁部/4残存、頸部充実、 脇上位(1/4残存) 外側肩部、内亞全体磨滅
56-3	SB431A P-25.2	甕	現存高：1.6 口径：(17.3)	折り返し口縁部。口縁部は外向か見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は薄く、口部部は内反する。	外側口縁部タケハケ、折り返し面ヨコハラミガキ。口縁部ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(白英・白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：5Y R6/6倍	I縁部/1/4残存
56-4	SB431A P-27.1	甕	現存高：1.4 口径：(16.9)	折り返し口縁部。口縁部は外向か見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は薄く、口部部は内反する。	外側口縁部タケハケまたはナメハッパ、折り返し面ヨコハラミガキ。口縁部ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英・輝石・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6倍	I縁部/1/10残存
56-5	SB431A P-32	甕	現存高：1.5 口径：(15.8)	折り返し口縁部。口縁部は大きめの球形を呈する。折り返し面の断面は薄く、口部部は内反する。	外側内とも磨滅のため調査不明。	胎土：やや粗(石英・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6倍	I縁部/1/8残存 全体的に磨滅
56-6	SB431A P-33.2	甕	現存高：4.6 口径：(15.0)	折り返し口縁部。口縁部は大きめの球形を呈する。折り返し面の断面はV字型となり、口部部は内反する。	外側口縁部タケハケ後タケハヨリヨコハラミガキ。折り返し面ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(輝石・白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/6倍黄緑	口縁部/1/4残存
56-7	SB431A P-10.2	甕	現存高：3.4 口径：(15.8)	折り返し口縁部。口縁部は直線的で大きめの外方へ開く。折り返し面の断面はV字型で、口部部は内反する。	外側内とも磨滅のため調査不明。	胎土：密(石英・輝石・白色粒) 焼成：やや良 色調：5Y R6/6倍	I縁部/1/8残存 全体的に磨滅
56-8	SB431A P-41	甕	現存高：2.6 口径：(18.4)	折り返し口縁部。口縁部は直線的で大きめの外方へ開く。折り返し面の断面はV字型で、口部部は内反する。	外側口縁部ナメハッパ、折り返し面ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：やや粗(石英・白色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6倍	口縁部/1/8残存 全体的に磨滅
56-9	SB431A P-18	甕	現存高：3.5 口径：(14.0)	複合口縁部。複合部は口縁部を頭部とし、外向か側面を貼り付けており、口部部は内反する。口部部は内反する。	外側口縁部ナメハッパ、複合部粘着部ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英・白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R5/8倍明褐色	I縁部/1/4残存 全体的に磨滅
56-10	SB431A P-38.1	甕	現存高：11.9 口径：(14.0) 肩径：(7.0)	単純口縁部。口部は張らずに無い。肩部につながり、口縁部は大きめの外反する。口部部は内反する。	外側口縁部の内側ナメハッパ、折り返し面ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。口部部ヨコハラミガキ。	胎土：密(石英) 焼成：良 色調：5Y R6/6倍	口縁部一頭部/3、肩部一頭部上位(1/4残存)
56-11	SB431A P-45	甕	現存高：9.6 肩径：(9.5)	肩部は丸く、口縁部は大きめの外反する。	外側口縁部ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英・良石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6倍	口縁部一頭部/3/4残存(1/4部欠損)
56-12	SB431A P-21	甕	現存高：14.3 肩径：(8.2)	口部は張らずに無い。肩部につながり、口縁部は大きめの外反する。	外側口縁部ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英・良石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6倍	口縁部一頭部/1/2残存、肩部一肩部上位(1/8残存)(口部欠損)
56-13	SB431A P-37.2	甕	現存高：11.2 最大径：24.2	肩部は少し位に最大径を有した下部の球形を呈する。肩上位は張らずに肩部につながり。	外側口縁部ヨコハラミガキ。内面全体ヨコハラミガキ。	胎土：やや粗(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6倍	肩上位一中位(1/5残存) 外側磨滅
57-1	SB431A P-38.2	甕	現存高：5.4 底径：13.2	底部が僅かに突出してから肩下位が人さきく外方へ開く。底面木痕模様あり。	外側底部頗りタケハッパ。肩下位ヨコハラミガキ。	胎土：普通(石英・良石・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6倍	肩下位(1/3残存、底部充存) 内面磨滅

表 8-35 弥生土器観察表 (35)

番号	出土遺構	体	計測値 (cm)	形態の特徴	調節・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
57-2	S B431A P-32-3	壺	現存高：4.2 底径：10.5	底部が幅広くしてから胴下位が 大きく外方へ開く。底部木葉模 様あり。	外側底面糊付のタケナカをヨコナ ド。胴下位ヨコヘラミガキ。 内面底面ナゲ。胴下位ヨコハケ後 ナゲ。	胎土：普通(石英・長石・ 輝石) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗	胴下位～底部充存
57-3	S B431A P-31	壺	現存高：4.3 底径：10.0	底部が幅広く直立してから胴下位が 大きく外方へ開く。底部木葉模 様あり。	外側全体ヨコヘラミガキ。露窓も 木葉模をミミカルで施す。 内面底面ナゲ。胴下位ヨコハケ後 ナゲ。	胎土：密(石英・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R5/3にぶい黄	胴下位1/4残存、底部充存
57-4	S B431A P-33-3	壺	現存高：4.9 底径：10.5	底部から直横胴下位が大きく外方 へ開く。底部木葉模あり。	外側全体糊脱のため調節不明。 内面底面ナゲ。胴下位ヨコハケ後 ナゲ。	胎土：中や粗(輝石・白色粒・ 黒色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6弱黃褐	胴下位～底部2/3残存 全体的に豐減
57-5	S B431A 壺	壺	現存高：2.5 底径：(8.2)	底部から直横胴下位に続く豊の底 部。	外側全体ヨコヘラミガキ。 内面全体板ナゲ。	胎土：普通(石英・黑色粒) 焼成：良 色調：10Y R5/3にぶい黃 褐	底部1/3残存
57-6	S B431A P-19-1	壺	現存高：3.1 底径：8.5	底部から直横胴下位に続く豊の底 部。	外側全体ヨコヘラミガキ。 内面底面糊脱ナゲ。胴下位ヨコヘ ラミガキ。	胎土：密(石英・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6暗	底部充存
57-7	S B431A 壺	壺	現存高：2.3 底径：(8.0)	短く直立する豊の底部。	外側全体糊脱のタケナカをハケ後ヨコヘ ラミガキ。 内面底面ナゲ。胴下位ヨコハケ後 ナゲ。	胎土：やや粗(石英・白色粒・ 黒色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4にぶい黃 褐	底部1/2残存
57-8	S B431A P-34	壺	現存高：2.3 底径：9.4	短く直立する豊の底部。底部木葉 模あり。	外側全体タケナカ後ヨコヘラミガ キ。 内面底面ナゲ。胴下位ヨコヘラミ ガキ。	胎土：中や粗(石英・黑色 粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6強	底部充存
57-9	S B431A P-26	壺	現存高：1.4 底径：10.1	短く直立する豊の底部。底部木葉 模あり。	外側全体タケナカがわざりに残る。 内面全体糊脱のため調節不明。	胎土：中や粗(石英・白色 粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6強	底部はげ完存 全体的に豐減
57-10	S B431A P-12-1	壺	現存高：1.7 底径：(8.0)	短く直立する豊の底部。	外側全体ナゲ。 内面底面ナゲ。胴下位ヨコハケ。	胎土：やや粗(石英・白色 粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：10Y R4/3にぶい黃 褐	底部1/4残存
57-11	S B431A P-47	小 壺	現存高：3.3 底径：4.1	胴部に比して底盤の大きな側脚。 底部は茎の小さい球形脚を呈す る。	外側全体ヨコマタナナメヘラミ ガキ。 内面全体ナゲ。	胎土：普通(石英・白色粒・ 黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6強	胴下位～底部充存 外側底面3ヵ所に貼り つけによる補修痕あり
58-1	S B431A 壺	壺	高さ：(23.9) 上径：(23.7) 下径：(23.3) 最大径：28.9 底径：10.8	折り返し口縁を持つ大型の壺。肩 部に中位に最大径を有した側脚形 を呈する。底盤は茎や球形脚。 口縫部は直筒的に外側に張り出し、 口縫部は茎の小さい球形脚を呈す る。底部木葉模あり。	外側胴下位～底部ヨコハケがわざ りに残る。胴上位ドーム下位脚部か らナゲ。口縫部ヨコマタナメヘラミ ガキ。 胴上位上部ヨコヘラミガキ。口縫 部～脚部ヨコハケ後ヨコヘラミ ガキ。 内面底面ナゲ。胴下位ヨコハケ。 胴中位～下位ヨコマタニヨコハ ケ。脚部～胴下位ヨコヘラミガキ。	胎土：密(石英・白色粒・ 黒色粒) 焼成：良 色調：10Y R5/4にぶい黃 褐	I種部～脚部1/4、肩上位～ 下位1/2附近、底部充存 外圓脚上位、内面口縫部 に貼りつけによる補修痕
58-2	S B431A 壺	壺	現存高：10.6 底径：10.1	胴部は中位に最大径を有し、下位 には口縫を持つ側脚形を呈する。 底部木葉模あり。	外側胴下位ヨコマタニヨコハ ケ後ヨコヘラミガキ。胴中位ヨコ ハケ後部ヨコマタニヨコハケ。 内面底面ナゲ。底盤ヨコハケ。 腰位ヨコハケ。	胎土：普通(石英・白色粒・ 黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6強	肩中位～下位1/2残存、底 部充存
58-3	S B431A P-22	壺	現存高：12.8 最大径：(21.8) 底径：10.1	胴部は中位に最大径を有し、下位 には口縫を持つ側脚形を呈する。 底部木葉模あり。	外側底部ヨコマタニヨコハ ケ後ヨコヘラミガキ。胴中位ヨコ ハケ後部ヨコマタニヨコハケ。胴中位 ヨコハケ。脚部～下位脚部ヨ コハケ。	胎土：密(石英・白色粒) 焼成：良 色調：5Y R7/6強	肩中位～下位1/3残存、底 部充存
58-4	S B431A P-12-2	壺	現存高：(17.0) 最大径：(23.3) 底径：9.2	胴部は中位に最大径を有した側脚 形を呈する。底部木葉模あり。	外側胴下位～底部ヨコマタニヨコ ハケ後ヨコヘラミガキ。胴上位ヨコ ハケがわざりに残る。他は口縫部のため 調節不明。底部木葉模をナゲで施す。 内面底面ナゲ。胴上位～下位ヨコ ハケ。	胎土：やや粗(輝石多し 白色粒・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6強	肩上位～下位1/4残存、底 部充存 外圓脚上位、内面脚部
58-5	S B431A P-6-1	壺	現存高：7.4 最大径：(5.6) 底径：(7.2)	胴部は下位に最大径を有し、下位 には口縫を持つ側脚形を呈する。 底部木葉模あり。	外側胴下位～脚部ヨコハ ケ後ヨコヘラミガキ。内面脚部 ナゲ。脚部ヨコハケ後ヨコヘラ ミガキ。内面脚部ナゲ。胴下位ヨ コハケ。	胎土：普通(石英・白色粒) 焼成：やや良 色調：10Y R5/4にぶい黃 褐	肩中位～下位1/2残存、底 部充存 全体的に調節不明。
59-1	S B431A P-29- 32-33	壺	現存高：24.2 口径：(26.1) 最大径：(24.6) 底径：(28.8)	台付壺。脚部は上位に嵌入径を有 した球形脚を呈する。底部は茎を 持つ底盤から直横胴下位が 多く3、外反足形に開き、側脚部は 内面脚部に立ち上がる。底部木 葉模あり。	外側口縫部～脚部ヨコハ ケ後ヨコヘラミガキがわざ りに残る。他は口縫部のため調 節不明。底部ヨコハケ後ヨ コヘラミガキ。脚部ヨコハ ケ後ヨコヘラミガキ。	胎土：やや粗(石英・白色 粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6強	I種部～脚部1/2残存 全体的に調節

表 8-36 弥生土器観察表 (36)

地點	出土遺物	種	計画値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
59-2	S B431A P-33-4	甕	現存高：3.7 口径：(26.7) 肩径：(21.7)	口縁部は緩やかに外反する。口部 部は面取り。	外周口縁部タグナハケ、口唇部ヨコ ハケ後ヨココナダ。 内面全体ヨコハケ。	胎土：やや粗（石英・輝石、 白色粒・黑色粒） 焼成：普通 色調：10Y R4/2火黃褐色	口縫部1/8残存
59-3	S B431A 覆土	甕	現存高：2.4 口径：(21.7)	口縁部は緩やかに外反する。口部 部は面取り。	外周口縁部タグナハケ、口唇部ヨコ ハケ。 内面全体ヨコハケがわずかに残る。	胎土：やや粗（石英・輝石、 白色粒・黑色粒） 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黃褐色	口縫部1/10残存 全体的に磨滅
59-4	S B431A 覆土	甕	現存高：3.0 口径：(17.3) 肩径：(14.0)	縦縫の薄い箇所。頸部は縦を持た ずに弧状し、口縁部は外反する。 口部部は面取り。	外周口縁部一頸部タグナハケ。口唇部 ヨコハケ。 内面全体ヨコハケの後、口縁部一 頭ナ。	胎土：やや粗（石英・輝石、 黑色粒） 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黃褐色	口縫部一頸部1/12残存
59-5	S B431A P-33-1	甕	現存高：7.5 口径：(17.7) 肩径：(17.6)	胴上位はわずかに張って瓶形に ながる。肩部は棱を持たずには開口 し、口縁部は直線的かわざかに外 傾する。口部部は面取り。	外周口縁部一頭部タグナハケの後、 頸部ヨコハケ。口縁部細かいヨコハ ケの後、下部ハケ工具で 一部削みを入れる。 内面全体ヨコハケ。口縁部一頭部細 かいヨコハケ。	胎土：普通（山灰・白色、 黑色粒） 焼成：やや良 色調：7.5Y R6/8橙	口縫部1/4、瓶部一頭上位 1/8残存
59-6	S B431A P-30	甕	現存高：12.5 口径：(18.6) 肩径：(15.9) 最大径：(20.0)	胴部は中位に最大径を有した下膨 れの瓶形を呈する。頸部は棱を 持つだけに屈曲し、口縁部は直線的 に外傾する。口部部は面取り。	外周口縁部一中位ヨコハケ。 内面全体ヨコハケの中位ヨコハケ。 口縁部細かいヨコハケ。	胎土：やや密（山灰・白色 粒・黑色粒） 焼成：良 色調：5Y R6/6橙	口縫部1/胸中位1/4残存
59-7	S B431A 覆土	甕	現存高：4.7 口径：(17.5) 肩径：(17.6)	頸部は非常に緩やかに直角し、口 縁部はわずかに外反する。口部部 は面取り。	外周口縁部立派なヨコハケ。口縁部一 頸部タグナハケ。口唇部ヨコハケ後 ヨココナダ。 内面全体ヨコハケの後、口縁部一 頭ナ。	胎土：やや密（石英・輝石、 黑色粒） 焼成：良 色調：10Y R4/3に近い黃 褐色	口縫部一頸部1/4残存 外周保付
59-8	S B431A 覆土	甕	現存高：8.5 口径：(19.1) 肩径：(18.2)	胴上位はわずかに張って瓶形に ながる。肩部は非常な直角や少し屈 曲し、口縁部はわずかに外反する。 口部部は面取り。	外周口縁部ナメハケ。口唇部一 頸部細かいタグナハケ。口唇部ヨコ ハケ。 内面全体細かいヨコハケの後、口 縁部ヨコナダ。	胎土：普通（G灰・黑色粒） 焼成：良 色調：7.5Y R6/8橙	口縫部一頭部1/3、胴上位 1/10残存
59-9	S B431A P-24-2	甕	現存高：14.0 口径：(18.6) 肩径：(18.6) 最大径：(22.3)	台付甕。頸部は中位で大径を有 した下膨れの瓶形を呈する。頸部は棱や かに屈曲し、口縁部は直線的で外 傾する。口部部は面取り。	外周口縁部立派なヨコハケ。 胴上位一中位ヨコハケ。 内面全体細かいヨコハケ。	胎土：やや粗（石英・白色 粒・黑色粒） 焼成：普通 色調：10Y R5/4に近い黃 褐色	口縫部一頭部1/10、胴上位一 中位1/3残存 外周保付
59-10	S B431A P-101	甕 鉢	現存高：2.6 口径：(21.7)	折り返し口縁を持つ大型の甕た は軸。口縁部はわずかに外反する。 折り返し口縁部は直角し、口縁部は 緩やかに面取り。	外周部も内面も割れ不規則。 内面全体細かいヨコハケ。	胎土：やや粗（石英・輝石、 白色粒・黑色粒） 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	口縫部1/9残存 全体的に磨滅
60-1	S B431A P-24-42	甕	現存高：17.9 口径：17.9 肩径：14.7 最大径：18.4	台付甕。頸部は中位に最大径を有 した下膨れの瓶形を呈する。頸部は緩や かに直角し、口縁部は外反する。 口部部は面取り。	外周口縁部一腰下タグナハケ後 ヨコハケ。口唇部ヨコハケの後、 ハケ工具で削りを入れる。 内面胴上位一中位ヨコハケ。頸部ヨ コナダ。口縁部ヨコナダ。	胎土：密（石英・白色粒、 黑色粒） 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い黃 褐色	口縫部一胴下3/4残存
60-2	S B431A P-32-1	甕	現存高：11.5 口径：16.7 肩径：15.3 最大径：17.0	台付甕。頸部は上位に最大径を有 した下膨れの瓶形を呈する。頸部は常 に緩やかに直角し、口縁部はわずか に外反する。口部部は面取り。	外周口縁部ナメハケ。胴上位下平 タグナハケ。腰下ヨコハケ一腰下タグ ナハケ。口唇部ヨコハケの後、 ハケ工具で削りを入れる。 内面胴上位一中位ヨコハケ。頸部ヨ コナダ。口縁部ヨコナダ。	胎土：普通（白色粒・黑色 粒） 焼成：普通 色調：5Y R5/4明黃褐色	口縫部一腰下2/3、胴上位一 中位3/4残存
60-3	S B431A P-32-2	甕	現存高：15.9 口径：(18.2) 肩径：(17.9) 最大径：(22.0)	台付甕。頸部は中位に最大径を有 した下膨れの瓶形を呈する。頸部は常 に緩やかに直角し、口縁部はわずか に外反する。口部部は面取り。	外周口縁部下位ナメハケ。胴上 位一中位ヨコハケ。 内面胴上位一中位ヨコハケ。腰下ヨ コハケ。口唇部ヨコナダ。 口部部ヨコハケ。	胎土：普通（石英・輝石、 白色粒・黑色粒） 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黃褐色	口縫部一頭部1/3、胴上位一 中位1/2残存
60-4	S B431A P-28-32	器	器高：(23.0) 口径：(15.5) 肩径：(13.8) 最大径：16.3 基部厚：8.9	台付甕。頸部は中位に最大径を有 した下膨れの瓶形を呈する。頸部は常 に緩やかに直角し、口縁部はわずか に外反する。口部部は面取り。	外周口縁部一腰下ヨコハケ。胴上 位一中位ヨコハケ。 内面胴上位一中位ヨコハケ。腰下ヨ コハケ。口唇部ヨコナダ。 口部部ヨコハケ。	胎土：密（石英・輝石） 焼成：良 色調：7.5Y R6/6橙	口縫部一頭上位1/2残存、 胴中位一頭部光存

表 8-37 猿生土器観察表 (37)

通番	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
60-5	S B431A P-34	甕	現存高：13.5 底部径：12.3	台付甕。底部～胴部は直線的に膨らんで開く。腹部は底部～腰部が直線的に窋く。	外腹脚部ヨコハケ後、胴下位～脚部ヨコハケの後、底部ヨコハケ。 内腹脚部ヨコハケ大、升井部ナギ。 底面ナギ。胴下位ヨコハケがわずかに残る。	胎土：やや粗(石英・長石・輝石) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6黄橙	脚下位～脚部完全 内腹脚部窋
60-6	S B431A P-18	甕	現存高：8.6 底部径：10.5	底部～腰部が直線的に窋く。底部に開く台付甕の脚部。	外腹全体窋。テナハケ。 内腹脚部ヨコハケ。大井部ナギ。 底面ナギ。胴下位板ナギ。	胎土：やや粗(石英・長石・輝石) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脚部完全 (脚部1/2欠損)
60-7	S B431A P-28	甕	現存高：7.6 底部径：10.8	底部～腰部が直線的に窋く台付甕の脚部。	外腹全体窋。テナハケ。 内腔脚部ヨコハケの後、底部ヨコハケ。 天井部ナギ。底面ナギ。胴下位ヨコハケ。	胎土：密(石英・白色 物) 焼成：良 色調：10Y R7/4に近い黃 紅	脚部完全 外腹脚部窋
60-8	S B431A P-16	甕	現存高：8.4 底部径：9.3	底部～腰部が直線的に窋く台付甕の脚部。	外腹全体窋。テナハケの後、底部ヨコハケ。 内腔脚部ヨコハケ。天井部ナギ。 底面ナギ。胴下位板ナギ。	胎土：やや粗(石英・白色 物・黒色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い黃 紅	脚部完全 内腹脚部窋
60-9	S B431A 覆土	甕	現存高：7.1 底部径：8.2	底部～腰部が直線的に窋く台付甕の脚部。	外腹脚部ヨコハケ後、底部ヨコハケ。 内腔脚部ヨコハケ。天井部ナギ。 底面ナギ。胴下位板ナギ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い黃 紅	脚部1/2残存
60-10	S B431A P-39	甕	現存高：7.0 底部径：(7.6)	底部～腰部が直線的に窋く台付甕の脚部。	外腹全体タケハケ後ナギ。 内腹脚部ヨコハケ後ナギ。天井部ナギ。 底面ナギ。胴下位板ナギ。	胎土：やや密(石英・少粘) 焼成：良 色調：2.5Y S/3黄橙	底部完全、脇部1/2残存
60-11	S B431A P-25-1	甕	現存高：7.5 底部径：8.9	底部～腰部が直線的に窋く台付甕の脚部。	外腹全体タケハケ後ナギ。 内腹脚部ヨコハケ後ナギ。大井部ナギ。 天井部ナギ。底面ナギ。胴下位ヨコハケ。	胎土：やや粗(石英・輝石・白 色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脇部1/2残存
60-12	S B431A P-37-1	甕	現存高：6.8 底部径：8.4	底部～腰部が直線的に窋く台付甕の脚部。	外腹脚部ヨコハケ後ナギ。 内腹脚部ヨコハケ後ナギ。天井部ナギ。 底面ナギ。胴下位板ナギ。	胎土：やや粗(石英・長石・輝石) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黃 紅	底部1/6、脚部4/3残存 外腹脚部窋
60-13	S B431A 覆土	甕	現存高：6.2 底部径：6.7	底部～腰部が直線的に窋く台付甕の脚部。	外腹脚部ヨコハケ後ナギ。底面ヨコハケ。 内腹脚部ヨコハケ。天井部ナギ。底面ナギ。	胎土：やや粗(石英・長石・黑 色粒) 焼成：普通 色調：5Y R5/6明赤褐	脚部完全
61-1	S B432 P-1	甕	現存高：9.0 口径：(21.0) 底径：(19.2) 最大径：(23.6)	脚部は上位に最大径を有した球形を呈する。腹部は腰やかに屈曲し、口縁部は外反する。口唇部は凹取り。	外腹脚上位ヨコハケ。脚部ヨコハケ後ナギ。 内腹全体ヨコハケ。	胎土：やや密(石英・輝石・白 色粒) 焼成：良 色調：5Y R6/8	口縫部～脚上位1/6残存
61-2	S B434 覆土	甕	現存高：3.5 口径：(16.6) 底径：(15.2)	脚部は腰やかに屈曲し、口縁部は人気で外反する。口唇部は凹取り。	外腹全体屈曲ヨコハケ後ナギ。 内腹全体屈曲ヨコハケ後ナギ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/8	口縫部～脚部1/8残存 全体的に窋
61-3	S B434 覆土	甕	現存高：3.4 口径：(18.6) 底径：(14.2)	脚部は腰やかに屈曲し、口縁部は人気で外反する。口唇部は凹取り。	外腹脚部～底面窋ヨコハケ後ナギ。 内腹全体ナギ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	口縫部～脚部1/6残存 全体的に窋
61-4	S B434 覆土	甕	現存高：1.7 口径：(18.2)	折り返し縫跡。口縫部は外側が凹入しないほど大きく外反する。折り返し縫跡の断面は四角く、脚部は凹取り。	外腹内とも腰部のため調整不乳。 内腹脚部ヨコハケ後ナギ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/8	口縫部1/6残存 全体的に窋
61-5	S B433 第1次実測 炉内 P-1	甕	現存高：13.9 最大径：(32.2)	脚部は下位で最大径を有し、にぶい腰を持つ下部の球形を呈する。	外腹全体ヨコハケの後、胴下位ヨコハケ。 内腹全体ヨコハケ。	胎土：密(黑色粒) 焼成：良 色調：2.5Y R6/8	脚中位～下位1/2残存
61-6	S B435 P-5	甕	現存高：11.0 口径：13.4 底径：12.4 最大径：14.2	台付甕。脚部は中央に最大径を有し、少し並の小さい球形を呈する。腹部は内腹に腰を有して腰曲し、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は凹取り。	外腹脚位ヨコハケ後、脚上位ヨコハケ。 脚部ヨコハケナメハケ後ナギ。 その後、下部にハケ工具で刻みを入れる。 内腹脚上位ヨコハケ後ナギ。 口縫部～脚部ヨコハケ。	胎土：やや粗(石英・白 色粒・黒色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R8/4残青根	口縫部～脚中位1/4残存 全体的に窋
61-7	S B435 P-4	甕	現存高：2.2 底径：14.1	短く直立する器の底部。底面木製痕あり。	外腹全体ナギ。 内腹全体ナギ。	胎土：普通(石英・長石・輝 石・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8	脚部完全

表 8-38 弥生土器觀察表 (38)

西番号	出土箇所	調査	計測値 (cm)	形態の特徴	測量・手筋の特徴	歴史・構成・色調	備考
62-1	S B436 P 24	査	現存高：29.3 口径：(16.0) 底径：(8.4) 最大径：24.8 底径：11.5	折り返し口縁部、唇部は中位に外側を折り返す下部の唇部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。	外側の唇部一頭部タケハへ袋状ヘタハへ一袋状ヘタハへミガキを施ねた唇部。唇部は上部にS字型の横筋を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。	船上：石英(石灰・白色粒・無色粒)、美 色調：SYR 5/6橙	ほぼ完形(口縁部1/6残存)
62-2	S B436 P 23	査	現存高：31.4 口径：(8.5) 最大径：28.0 底径：(12.6)	唇部に中央に最大径を有した下唇の唇部形を呈する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。唇部は裏面に大きな凹部を有する。	外側の唇部ヘラス・ガキ、唇部ヨコハ タキミガキ、唇部下位ヘタハヘタミガキ。 唇部下位と下位の唇部ヨコハタキミガ キ、唇部下位一中位ヘタハヘタミガ キ、唇部第一部ヘテハヘタミガキ。口 縫部粗いタケハがわずかに残 る。	船上：普通(輝石・黑色粒・ 赤色粒・石英・(白色少)) 底径：良 色調：10Y R 7/6明黄褐	口縫部一底部ほぼ完存(口 縫部欠損、口縁部1/2、底 部2/3残存) 内面底部残存
62-3	S B436 P 1	査	現存高：29.8 口径：(31.7) 底径：(16.4)	大顎の唇、唇部は中位に最大径を 有した唇形を呈する。	内面底面ヨコナミ、唇部粗いヨコ ハケ後、唇部下位一倒産ナミ、唇 部底面ヨコナミ後唇部ナミ、唇 部唇部のため裏面不明。口縫部ヨ コラミガキ。	船上：石(石灰・黒色粒) 底径：良 色調：7.5 YR 8/6浅青綠	剪付位-底部1/3残存 全体的に剥離
63-1	S B436 P 25	査	現存高：20.8 口径：(12.6) 底径：(7.3) 最大径：17.4 底径：8.4	折り返し口縁部、唇部は中位に外側を 折り返す下位に有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。	外側の唇部タケハへ袋状ヘタハ ヘタハヘタミガキ、口縫部一頭部タ ケハヘタハヘタミガキ。 唇部ヨコハタキミガキ、折り返し口 縫部ヨコハタキミガキ、口縫部ヨコ ハタキミガキ。 内面底面ヨコナミ、下位ヨコハタキ ミガキ。 口縫部ヨコハタキミガキ、口 縫部ヨコハタキミガキの後、繩はヨ コタキ。	船上：普通(石英・輝石/ 白色粒・黑色粒・赤色粒) 底径：中良 色調：7.5 YR 7/6橙	口縫部1/2、底部一頭部/ 3枚底、底部完存
63-2	S B436 P 7-8+ 11-12+ 13	査	現存高：18.3 口径：(18.2) 底径：(7.3) 最大径：(13.7) 底径：7.5	折り返し口縁部、唇部の位置が低い い具形の唇部。唇部は中位に外側を 折り返す下位の唇部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。	外側唇部タケハ後ヨコナミ。 外側唇部ヨコタケハ後唇部ヨコ ハタキミガキ。 前から右へ斜めに剥離のため 裏面不明。	船上：やや粗(石灰・白色 粒・黑色粒) 底径：普通 色調：2.5 YR 6/6暗	ほぼ完形(口縫部1/8、削 下位1/2残存) 口縫部残存
63-3	S B436 P 22	査	現存高：13.1 口径：(13.5) 底径：7.8	半輪に複数、唇部の位置が低い い具形の唇部。唇部は中位に外側を 折り返す下位の唇部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。唇部 は裏面に大きな凹部を有する。	外側唇部位タケハがわずかに残 る。唇部一頭部ナミヘタハヘタミ ガキ。 内面底面ナミ。	船上：やや粗(石灰・白色 粒・黑色粒) 底径：缺 色調：7.5 YR 7/2明褐灰	口縫部一頭部位ほぼ完存(口 縫部1/2残存) 全体的に剥離 並みあり
63-4	S B436 覆土	査	現存高：(4.2)	無い系譜。	外側唇部と下唇は見る限り 内面全体ナミ。	船上：やや密(石灰・白色 粒・黑色粒) 底径：普通 色調：10Y R 7/4によい黃 褐	口縫部1/5残存 全体的に剥離
63-5	S B436 覆土	査	現存高：9.4 底径：(9.7)	唇部は短く、口縫部は外方へ開く。	外側唇部一頭部ヨコハタミガキ。 内面底面ナミ。頭部ヨコハタキミ ガキ。	船上：普通(石灰・輝石・ 白色粒・赤色粒) 底径：普通 色調：7.5 YR 6/8橙	口縫部一頭部位ほぼ完存(L1 異部欠損) 全体的に剥離 内面底部厚底あり
63-6	S B436 P 29	査		外側L唇位編文有り唇部は脣の他に 脣のため裏面不明。	外側L唇位編文有り脣の他に脣 のため裏面不明。	船上：やや粗(石灰・輝石・ 白色粒・赤色粒) 底径：普通 色調：10Y R 6/4によい黃 褐	外側底片 外側底片
63-7	S B436 P 21	査		舟形L唇位編文2投施文後、下 唇はヨコハタミガキ。	舟形L唇位編文2投施文後、下 唇はヨコハタミガキ。	船上：普通(石灰・輝石・ 白色粒) 底径：普通 色調：7.5 YR 6/8橙	舟形片
63-8	S B436 P-14	小 査	器高：11.7 口径：8.8 底径：6.2 最大径：9.8 底径：5.3	半輪口縁部、口縫部一頭部の右側 に前位の大なる側倒制部は中位 に最大径を有し、下位位にねじ を付す下唇の唇部形を呈する。 唇部は裏面に大きく、口縫部は直角的 に外方へ開く。口縫部は半周のみ面取り し、半周は丸い。	外側口縫部一頭部全体タケハ。 1唇部ヨコナミ。 内側唇部位一頭部ヨコハタ。脣上 位一中位板ナミ。口縫部一頭部ヨ コハタ後、脣部一頭部は「脣ナミ」 です。	船上：普通(石灰・輝石・ 白色粒) 底径：良 色調：10Y R 7/4によい黃 褐	完形品

表 8-39 弥生土器觀察表 (39)

番号	山土遺構	種	計測値(cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎I・発成・色調	備考
63 - 9	S B436 P-7	壇	現存高: 4.3 底径: (8.5)	周囲が高く直立してから斜下位が 大きく外方へ傾く。	外周底部は内側にヨコハケ。斜下位ヨ コハケミナリ。内面全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・白色粒 多し 黄褐色少禁) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6粒	底部充実
63 - 10	S B436 P-6	壇	現存高: 18.6 底径: (27.0) 直径: 12.0	周囲は中央に最大径を有し、頭下 位でより一様を持つ複数の輪郭 形を呈する。底断木要観あり。	外周斜上位一中位にヨコハケが現 る他の輪郭のため調査不明。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6粒	底部充実、 颈部I-4残存
63 - 11	S B436 P-11	壇	現存高: 11.4 底径: (25.0) 直径: 9.5	周囲は中央に最大径を有した複数 形を呈する。	外周底部ヨコハケミナリ。斜下位 ヨコハケミナリ。斜中位一底位ヨコ ハケ。	胎土: やや粗(石英・黑色 粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: SY R6/4に近い	制中位一底位I-2残存、底 部充実
64 - 1	S B436 P-9	壇	現存高: 12.0 底径: 19.6 直径: 7.1	周囲は中央に最大径を有し、頭下 位でより一様を持つ複数形を呈す。	外面内面とも輪郭のための調査不明。	胎土: やや粗(石英・黑色 粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/4に近い	洞中位一底部充実 全体的に堅城
64 - 2	S B436 P-15	壇	現存高: 15.4 底径: (21.0) 直径: 9.5	周囲は中央に最大径を有した複数 形を呈する。	外周底部ヨコハケ。斜中位一底位 ヨコハケ後ヨコハケミナリ。	胎土: やや粗(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6黄褐	制中位一底部I-3残存 全体的に堅城
64 - 3	S B436 P-20	壇	現存高: 17.0 底径: (10.0) 直径: 8.3	周囲は中央に最大径を有した複数 形を呈する。輪郭は丸く張って輪 郭部につながる。底断木要観あ り。	外周底部ヨコハケの後、斜 中位ヨコハケ等ヨコハケミナリ。輪 郭部は3本1单位の円形断文を6方 に貼り付ける。 内面底部ヨコハケ。斜中位ヨコハ ケ。斜中位ヨコハケ後ヨコハケを重ね る。輪郭ミナリヨコハケ。	胎土: 細(石英・黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/4粒	胎I-3部I-2残存、底 部充実
64 - 4	S B436 P-27	壇	現存高: 11.0 底径: 13.4 直径: 7.0	周囲は中央に最大径を有した複数 形を呈する。底断木要観あり。	外周底部ヨコハケ後、斜下位 ヨコハケミナリ。頭中位輪郭の ため調査不詳。	胎土: 薄(石英・黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/4	制中位一底位充実 外周堅城
64 - 5	S B436 P-8	壇	現存高: 15.5 底径: 22.3 直径: 9.0	周囲は下位に最大径を有し、頭を 持つ。頭下位は直線的で頭上位は 内側堅城に立ち上がる。	外周底部ヨコハケ後ヨコハケミナリ。頭 中位一底位ヨコハケ後ヨコハ ケ。	胎土: やや密(石英・黑色 粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/4(欠損)	制中位一部底盤充実(制 中位I-5欠損)
64 - 6	S B436 P-4	壇	現存高: 23.0 底径: (18.7) 直径: 8.5	周囲は下位に最大径を有し、に よる腰を持つ。頭下位は直線的で 頭上位は腰堅城で立ち上がる。 底断木要観あり。	外周底部ヨコハケ。頭中位一底位 ヨコハケ後ヨコハケミナリ。 内面底部ヨコハケ。斜下位ヨコハ ケ。頭中位ヨコハケ後ヨコハ ケを重ねた後、一部輪郭ナダで 消す。	胎土: やや粗(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/6	制中位I-3残存、制ト位一 底断木充実
65 - 1	S B436 P-2	鉢	通高: 19.5 口径: 15.1 底径: 13.9 最大径: 19.0 直径: 9.7	单纯口縁部。周囲は中央に最大 径を有し、腰をもつ。頭上位は 内側堅城に立ち上がる。口部は 回取り。	外周底部ヨコハケ後ヨコハ ケミナリ。頭中位一頭部ヨコハ ケ後ヨコハケミナリ。さきに輪 郭部はさらにヨコナダ。口部 ヨコハケ後ヨコハケミナリ。	胎土: 密(石英・輝石・黑 色粒・白色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/4に近い	ほぼ充実(制頭一部欠損)
65 - 2	S B436 P-10	鉢	通高: 14.1 口径: (9.6) 底径: 8.3 最大径: 11.0 直径: 6.8	長頸の單孔口縁部。周囲は中央 に最大径を有し、腰をもつ。頭 上位は内側堅城に立ち上る。 輪郭部はさきに外反する。口部は 回取り。	外周底部ヨコハケ後ヨコハ ケミナリ。頭中位一頭部ヨコハ ケ後ヨコハケミナリ。頭部は 輪郭部はさきにヨコナダ。	胎土: 密(石英・輝石・黑 色粒・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/4	ほぼ充実(口縁部I-7残存)
65 - 3	S B436 P-17	壇	現存高: 18.4 口径: 18.9 底径: (15.8)	頭上位はさきに丸く張った頭部 につながる。頭部は腰やかに屈曲 し、口縫部は直線的にはずかに外 傾する。口部は堅城り。	外周底部ヨコハケ。口縁部ヨコハ ケ後ヨコハケ。	胎土: やや粗(石英・白 色粒多し 黑色粒少量) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8	口縫部一頭上位I-3/4充実
66 - 1	S B437 P-6	壇	通高: 27.8 口径: (14.0) 底径: 9.0 最大径: 21.1 直径: 9.5	折り返し口縫。頭部は中央に 最大径を有し、腰をもつ。頭 上位はヨコハケ後ヨコハケ等の 輪郭部は直線的には外方へ開く。 折り返し頭の断面は逆角く、頭部 は回取り。底断木要観あり。	外周底部ヨコハケ後ヨコハ ケヨコハケ後ヨコハケ。頭中位一頭 部ヨコハケ後ヨコハケ後ヨコ ハケヨコハケ等の輪郭部は直 線的には外方へ開く。 頭部はヨコハケ後ヨコハ ケヨコハケ等の輪郭部は直 線的には外方へ開く。	胎土: 密(石英多し 白 色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6	ほぼ充実(口縫部I-3/欠損)
66 - 2	S B437 P-3	壇	現存高: 19.2 口径: 8.0 最大径: 19.4 直径: 10.3	頭部は下位に最大径を有し、頭を 持つ。頭下位は直線的に開く。頭 上位が持つて頭部につながる。底 断木要観あり。	外周底部ヨコハケ後ヨコハ ケヨコハケ後ヨコハケ。頭中位一頭 部ヨコハケ後ヨコハケ等の輪 郭部は直線的には外方へ開く。 頭部ヨコハケ後ヨコハケ等の輪 郭部は直線的には外方へ開く。	胎土: やや粗(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に近い	頭部一底部充実 外周堅城

表 8-40 弥生土器観察表 (40)

個体名	出土遺物	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎生・焼成・色調	備考
66-3 S B437 P-4	盃	器高 : 15.4 口径 : (10.6) 底径 : 6.4 最大径 : 13.3 底厚 : 6.7	単純口縁型。脚部は下位に粒状の堆積物を有し、にじみ出る傳を持つ下端の堆積物を有する。脚上位から側面にかけて底部につながり、口縁部は直線的に外方へ開く。口唇部は開取り。	外面部下位タケヘミヨガキ。脚部下位ナメラヨミガキ。口唇部タケヘミヨガキの後、口唇部～側上位タケヘミヨガキ。さらに肩部～脚上位は一部ヨコヘミヨガキを重ねる。口唇部ヨココナ。	胎生：透（石英・輝石・白色粒） 焼成：良 色調：7.5Y R7/4に近い橙	はば完形 (I:脚部) / 2次焼
66-4 S B437 覆土	盃	現存高 : 8.2	なだらかな唇の両部。	外面部は下位にS字状凹部を作り、外側R1.5、内側R1.5前縁に文様。内面全体底盤のため輪郭不明。	胎生：普通（石英・輝石・白色粒） 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	脚部I:2残存 全体的に崩壊
66-5 S B437 P-5	盃	器高 : 6.9 底径 : 10.3	脚部は下位に最大径を有し、横を持つ。脚上位は直線的に開き、脚中位には底突起に立ち上がる。	外側R1.5前縁からクラハク。口唇部は下位ヨココナまたはナメラヨカヘミヨガキ。脚上位ヨココナ。	胎生：やや粗（石英・輝石・白色粒） 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	脚部I:1下位3/3残存、底部分完全に崩壊
66-6 S B437 P-2	盃	器高 : 11.1 口径 : 12.6 底径 : 13.0 最大径 : 15.6 底厚 : 10.2	口縁部そのものが返り返り口縁を持つ。脚部は中位に最大径を有する球形を呈する。脚部は横を持たず、底突起し、口縁部は直線的に外側R1.5前縁にわざかに外傾する。折り返し面の造りは粗く、口唇部は直線的。	外側R1.5前縁から輪郭不明。内面全体底盤のため底盤不規則。	胎生：透（石英・長石・砂粒） 焼成：やや良 色調：7.5Y R7/4に近い橙	完形品 外側崩壊
66-7 S B437 覆土	盃	現存高 : 1.3 底径 : 6.0	短く直立する唇の底部。	外側全体タケハク後ヨコヘミヨガキ。 内面底面ナメ。脚下位ヨコハケを一部ナメ消す。	胎生：普通（石英・輝石・白色粒） 焼成：良 色調：7.5Y R6/6橙	底部分存
66-8 S B437 覆土	盃	現存高 : 2.3 底径 : (10.2)	短く直立する唇の底部。	外側全体タケハク後ヨココナ。 内面全体ヨコハケ。	胎生：やや粗（石英・白色粒・輝石少量） 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	底部分存
67-1 S B437 P-1	盃	器高 : 20.9 口径 : 15.5 底径 : 13.0 最大径 : 15.4 底厚 : 9.0	台付脚。脚部は中位に最大径を有し、下位に横を持つ後部の小さい環形足跡を有する。頭部はやや丸く、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は直線的に外傾する。口唇部は直線的に外傾する。	外側脚部ヨコハケ、脚下位一部ナメハケ後底部ヨココナ。口唇部ヨコハケ。 内面全体底部丁寧なナメ。底面ナメ。脚下位ヨコハケ後上位脚部ヨコハケ。口縁部ヨコハケ。	胎生：透（石英・白色粒・赤色粒） 焼成：良 色調：10Y R7/6明黄色	完形品 内面底とモ保付青 内面脚部位崩壊あり
67-2 S B437 P-7	盃	現存高 : 15.9 口径 : 19.0 底径 : 15.7 最大径 : 19.7	台付脚。脚部は中位に最大径を有した球形を呈する。脚部は長く、直線的に外傾する。口唇部は直線的に外傾する。	外側脚部位ナメハケ。口唇部ヨコハケ後ヨコハケ後ヨココナ。	胎生：やや粗（石英） 焼成：普通 色調：5Y R7/6橙	口縁部～脚中位ほぼ完存 外側崩壊
67-3 S B437 覆土	盃	現存高 : 2.6 口径 : (21.4)	口縁部は外反する。口唇部は直線的。	外側口縁部ヨコハケ。口唇部ヨコハケ。 内面全体ヨコハケの後、脚部付近ヨココナ。	胎生：やや粗（白色粒少し石英） 焼成：普通 色調：10Y R5/4に近い青	I:脚部1/8残存
67-4 S B439 覆土	盃	現存高 : 3.3 口径 : (16.2)	折り返し口縁型。口縁部は直線的に外方へ開く。折り返し面の断面は四角く、口唇部は直線的。	外側R1.5前縁のため調整不良。口唇部ヨココナ。 内面全体ヨコハケヨココナ。	胎生：普通（石英多し・長石・輝石・白色粒） 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	口縫部I:1残存 外側崩壊
67-5 S B439 覆土	盃	現存高 : 6.8 口径 : (35.2)	折り返し口縁型。口縁部は直線的に外方へ開く。折り返し面の断面は四角く、口唇部は直線的。	外側R1.5前縁のため調整不良。口唇部ヨココナ。 内面全体ヨコハケヨココナ。	胎生：やや粗（白色粒・赤色粒） 焼成：良 色調：2.5Y R7/2灰青	I:脚部1/4残存
67-6 S B439 覆土	盃	現存高 : 7.9 口径 : (13.2)	底部一帯脚部の直線的に開く内向性の脚部。	外側底部ヨコハケの後、脚部全体ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	胎生：普通（石英・長石・輝石・白色粒） 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄色	脚部I:5残存（底部欠損）
67-7 S B441 P-1-1	盃	現存高 : 7.8 底径 : (8.5)	周部は張らずに底部につながる。	外側底部ヨコハケヨココナ。脚部下位ヨコハケ後一部ヨコハケヨココナ。脚部付近ヨココナ。	胎生：透（石英・輝石・白色粒・赤色粒） 焼成：良 色調：7.5Y R6/6橙	脚部I:1/2残存
67-8 S B441 P-1-2	盃	現存高 : 1.4	半圓的な壁を持つ杯の杯部下位。	外側全体ヨコハケヨココナ。 内面全体ヨコハケヨココナ。	胎生：普通（石英・白色粒・赤色粒） 焼成：良 色調：5Y R6/6橙（内面）	杯部I:1/6残存
67-9 S B442 覆土	盃	現存高 : 1.9 口径 : (16.2)	折り返し口縁型。口縁部は大きく外反する。折り返し面の断面は内角く、口唇部は直線的。	外側脚部ヨコハケ後ヨコハケヨココナ。 内面全体ヨコハケ後丁寧なヨコハケヨココナ。	胎生：普通（石英・輝石・白色粒） 焼成：良 色調：5Y R6/6橙	口縫部I:1/8残存

表 8-41 弥生土器観察表 (41)

地番	出土遺物	種	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	鉢土・焼成・色調	備考
67-10	S B 442 P-1	甕	現存高: 19.0 口径: (15.9) 腹深: (13.2) 底深: (18.8)	台形甕。縁部は中央に最大径を有し、下部には内側に縦溝を持つ複雑な形を呈する。口唇部は内面に幾筋も有して屈曲し、I形縫は複雑の外輪部を形成する。II形部は直取り。	外面部上位へ下位部へいたるタケまたはナナメカク、II形部へ頭部付近のタケハケ。口唇部ヨコナダ。	鉢土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8黄橙	口縫部-肩下位1/2残存
67-11	S B 443・448 覆土: 上層	甕	現存高: 6.1 口径: (14.0) 底深: (6.8)	单輪口縫甕。肩部は短く、口縫部は外側がひくいほどの大きさで外反する。口唇部は直取りで上部をせり出す。	外面部全体ナメハケ後一部ナダ。I形部ヨコナダの後、凹凸に対して直線的にハケ工具で削り込みを入れる。 内面部全体ヨコハケ後丁寧なヨコヘリミガキ。	鉢土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 3Y R5/8明赤褐	II縫部-肩部1/6残存
67-12	S B 443 覆土	甕		折り返し口縫甕。口縫部は外側が見えたらしいほど大きく外反する。折り返し部の断面は四角く、口唇部は直取りで上部をせり出す。	外面部全体ナメハケ後一部ナダ。 I形部ヨコナダの後、凹凸に対して直線的にハケ工具で削り込みを入れる。	鉢土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8黄橙	口縫部破片
68-1	S B 444 P-2・4	甕	現存高: 20.8 口径: (21.6) 腹深: (18.3) 底深: (22.5)	台形甕。縫部はI形で最大径を有する。下部に内側に縦溝を持つ複雑な形を呈する。口唇部は外側がひくいほどの大きさで外反する。II形部は直取り。	外面部中位へ下位タケハケ。口縫部へ際立つタケまたはナナメカク。 I形部ヨコカク。内面部下位ヨコハケ後タケハケ。 II形部へ脚位ヨコハケ。	鉢土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄橙	口縫部-肩下位2/3残存 外面部付着
68-2	S B 444 覆土	甕		B類のS子變の口縫部。	外面部曲面斜形ヨコハケ。口縫部下段階ヨコハケ。I形部へ脚位ヨコハケ。II形部中段階ヨコナダ。	鉢土: 普通(石英・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/8残存	口縫部破片 7.5-10と同一個体?
68-3	S B 447 P-1	甕	現存高: 9.0	穿孔形を呈する台付型の割罈。	外面部タグラまたはヨコハケがむずかしく残る。 内面部全体ヨコハケ後一部タケハケ。中段位へ下位の境は強いつたず。	鉢土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6残	肩下位2/3残存 外面部破
68-4	S B 445 覆土	甕	現存高: 5.7 口径: (21.6) 底深: (19.8)	脚上位は丸らしく、肩部には瘤状の突起がある。肩部は緩やかに肩高部へ口縫部は直線的にわざかに外傾する。II形部は直取り。	外面部上位ヨコハケ。II形部へ脚位ヨコハケ。新面部斜形ヨコハケ。口唇部ヨコナダ。 内面部ヨコハケ後一部タケハケ。II形部ヨコナダ。	鉢土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6残	口縫部-肩下位1/7残存 外面部付着
68-5	S B 445 覆土	甕	現存高: (6.8) 口径: (19.2)	脚上位は丸らしく、肩部につながる。肩部は緩やかに肩高部へ口縫部はわざかに外反する。II形部は直取り。	外面部上位ヨコハケ。口縫部へ脚位ヨコハケ。II形部ヨコナダ。 内面部ヨコハケ後一部タケハケ。II形部ヨコナダ。	鉢土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6残	口縫部1/3、脚部-肩上位1位 一部残存 外面部付着
68-6	S B 445 小袋土	甕	現存高: 1.6 口径: (11.2)	折り返し口縫甕。口縫部は直線的に外方へひくいほどの大きさで外反する。折り返し部の断面は四角く、II形部は直取り。	外面部曲面斜形ヨコハケ。折り返し面ナダ。II形部ヨコナダの後、下部にハケ工具で削り込みを入れる。	鉢土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6残	口縫部1/6残存
68-7	S B 445 覆土	甕	現存高: 5.1 底深: (10.2)	底部へ脚部が直線的に傾く台付型の脚部。	外面部全体タケハケ。 内面部全体ナメハケ。	鉢土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄橙	脚部1/3残存
68-8	S B 445・446 覆土: 上層	鉢	高さ: 3.5 口径: (6.5) 底深: (5.0)	体部は直立気味に外傾する。II形部は直取り。	外面部全体タケハケ。口縫部付近ヨコハケナダナダ。II形部ヨコハケ。 内面部ナメナダ。	鉢土: 普通(石英・長石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6残	脚部1/2残存
68-10	S B 448 覆土	甕	現存高: 3.5 口径: (16.2) 底深: (14.9)	脚部は横を持たずして屈曲し、II形部は直線的に外傾する。口唇部は直取り。	外面部曲面斜形ヨコハケ。II形部ヨコハケ。 内面部ヨコハケ後一部タケハケ。II形部ヨコナダ。	鉢土: 普通(石英・長石・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6残	口縫部-脚部1/10残存 全体的に瘤状
68-11	S B 448 覆土	甕	現存高: 1.9 口径: (15.1)	单輪口縫甕。口縫部は緩やかに外傾する。一番の輪縫みが最も大きくなる。II形部は直取り。	外面部ヨコハケ。II形部ヨコハケ細かいヨコハケ。 内面部全体ヨコハケ。	鉢土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/8明赤褐	II縫部1/10残存
68-12	S B 451 A覆土	甕	現存高: 6.8 口径: (24.8) 底深: (22.9)	脚上位ヨコハケで直立する。脚部に瘤状の突起がある。II形部は直線的に外傾する。II形部は直取り。	外面部ヨコハケ-脚位ヨコハケがむずかしく削る。II形部ヨコナダ。 内面部ヨコハケ後一部タケハケ。	鉢土: やや粗(長石・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6残	口縫部-脚上位1/8残存 全体的に瘤状
68-13	S B 451 A覆土	甕	現存高: 1.2 口径: (15.3)	單輪口縫甕。口縫部は外側が見えないほど大きさで外反する。内面に瘤状の突起がある。II形部は直線的に外傾する。II形部は直取り。	外面部ヨコハケタヘラミガキ。II形部ヨコハケ後一部タケハケ。II形部ヨコナダ。	鉢土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/6明赤褐	口縫部1/10残存

表 8-42 弥生土器観察表 (42)

標本番号	生息地	種	計測値(cm)	形態の特徴		測定・手すき特徴	筋上・筋成・色調	備考
				折り返し口縫合部は位に位に大差を有した下縫の縫跡部を呈する。脣部は僅く位に張る。脣部は僅く位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。脣部は僅く位に張る。			
69-1 S B452 P-23	喜	サ	器高: 27.8 口径: 8.5 頭頂: 8.4 底径: 21.7 底深: 8.7	折り返し口縫合部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。脣部は僅く位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。脣部は僅く位に張る。	筋上: 細(石英・輝石) 筋成: 黄 色調: 10Y R 7/6明黄色	ほばな付仔(輪部1/4、胸部1/3次掛) 全体的に暗緑	
69-2 S B452 P-13	喜	サ	器高: (25.9) 口径: (14.4) 頭頂: (8.4) 底径: (8.8)	折り返し口縫合部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 細(石英・輝石・白色) 筋成: 黄 色調: 10Y R 6/3にぶい黄	口縫部=頭部1/4、胸上位1/8、胸下位1/4次掛	
69-3 S B452 優:	サ	器高: 21.0 頭頂: (9.2) 底径: 20.6	頭部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 細(石英・輝石・白色) 筋成: 黄 色調: 10Y R 6/2灰青黃	頭部=頭部1/4、胸中位1/8残存		
69-4 S B452 P-6	喜	器高: 18.6 頭頂: 12.5 底径: 8.3 底深: 24.7	折り返し口縫合部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 普通(石英少し白色) 筋成: 黄 色調: 7.5Y R 6/4灰黄	口縫部=頭部完全、肩上位1/4次掛		
69-5 S B452 P 23 Z	喜	器高: 18.8 頭頂: (10.6) 底径: 25.0	頭部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 普通(石英・輝石) 筋成: やや黄 色調: 5Y R 7/8	頭部=肩位1/4次掛 全体的に暗緑		
70-1 S B452 P-14	喜	器高: 24.2 底径: 32.7	頭部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 普通(白色粘・黒色粘、灰白色) 筋成: 普通 色調: 10Y R 7/2灰白	頭部1/3残存 外輪筋上位強減		
70-2 S B452 P-11	喜	器高: 22.8 最大底径: 25.1 底深: 11.2	頭部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 普通(石英・輝石・白色粘・黑色粘) 筋成: 普通 色調: 10Y R 6/6赤紅	頭部1/4、背育2/3、網上位1/5中位5/6残存 外輪筋完全		
70-3 S B452 P-2	喜	器高: 19.2 頭頂: 9.0 最大底径: 21.2 底深: 9.0	頭部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 普通(石英・輝石・白色粘) 筋成: 普通 色調: 7.5Y R 7/6にぶい黄	頭部1/8、肩部=頭部位1/2残存 外輪筋完全		
71-1 S B452 P 10	喜	器高: 17.5 最大底径: 19.0 底深: 10.8	頭部は位に位に張る。脣部は僅く位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 普通(石英・輝石・白色粘) 筋成: 普通 色調: 7.5Y R 7/8黄青	前第一中位1/2残存、胸下位=頭部完全		
71-2 S B452 P-5	喜	器高: 14.8 最大底径: 15.9 底深: 7.3	頭部は位に位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 中や細(石英・白色粘・黑色粘) 筋成: 普通 色調: 10Y R 5/4にぶい黄	頭部1/2残存、頭部完全 全体的に暗緑		
71-3 S B452 P-6	喜	器高: 13.8 最大底径: 22.2 底深: 11.0	頭部は位に位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 中(石英・白色粘・黑色粘) 筋成: 普通 色調: 10Y R 6/6明黄色	胸中位=頭部完全 外輪筋中位相当部あり		
71-4 S B452 P-1	喜	器高: 10.9 最大底径: 24.9 底深: 8.6	頭部は位に位に張る。	外輪筋は位に位に張る。	筋上: 普通(石英・白色粘・黑色粘) 筋成: 普通 色調: 5Y R 7/6	胸下位=頭部完全(胸中位1/10残存)		

表 8-43 弥生土器觀察表 (43)

箇所	出土遺構	標	計測値 (cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	地土・焼成・色調	備考
71-5	S B452 P-23	東	現存高: 4.7 口径: 11.2	底面が開く立直してから腰下段が大きく外方へ傾く。底面本葉痕があり。	外側全体ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケ。	粘土: 普通(石英・白色粒・大きさ) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6盤	馬頭I/2/2残存、底部充填 馬頭I/2/2残存、底部充填
71-6	S B452 P-21	東	現存高: 2.3 口径: 6.4	短く立直する腰の底部。	外側全体ヨコヘラミガキ後一部ダヘラミガキ。 内面腰ヨコ下半、底面不逆方向のハケをナメ清す。脚下位上板ナメ。	粘土: 普通(白色粒多し 石英・黑色粒・白色粒・金 色粒) 焼成: 普通 色調: 2.5Y4/2暗灰黄	底部充填 外内側とも保付着
72-1	S B452 覆土	東		折り返し口縁部。口縁部は大きく外反する。折り返し面の割れは四角く、口部は凹取り。	外側口縁部タケハケをナメ明す。 折り返し面にはナメ。口部前ヨコハケの後、棒状厚次第に2カ所に貼りつかる。 内面全体ヨコヘラミガキの後、縁にR L端位縫文を施す。	粘土: 濃(白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R4/4強	口縁部破片
72-2	S B452 覆土	東	現存高: 2.0 口径: (15.0)	折り返し口縁部。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の割れは四角く、口部は凹取り。	外側口縁部タケハケ。折り返し面ヨコナメ。口部前ヨコハケの後、3本柱の棒状厚次第横穿文模様した沈鉢を入れる。 内面全体ヨコハケをナメ清すの後、縁に折り返しタケハケを施す。	粘土: やや重(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 中や良 色調: 7.5Y R6/4に近い黃 褐	口縁部I/8残存
72-3	S B452 覆土	東	現存高: 2.3 口径: (15.2)	折り返し口縁部。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の割れは内角く、口部は凹取り。	外側口縁部タケハケがわずかに残す。 折り返し面、口部前ヨコハケ。 内面全体磨痕のため調整不明。	粘土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6盤	口縁部I/4西存 全体的に磨痕
72-4	S B452 覆土	東	現存高: 3.0 口径: (12.2)	折り返し口縁部。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の割れは四角く、口部は凹取り。	外側口縁部タケハケがわずかに残す。 折り返し面、口部前ヨコハケ。 内面全体磨痕のため調整不明。	粘土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R5/5弱	口縁部I/6残存 外内側口部厚付着
72-5	S B452 覆土	東	現存高: 4.8 口径: (22.8)	折り返し口縁部。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の割れは内角く、口部は凹取り。	外側口縁部タケハケ後ヨコヘラミガキ。 折り返し面、口部前ヨコハケ。 内面全体ヨコハケをナメ明す。	粘土: 普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/8黄褐	口縁部I/10残存
72-6	S B452 P-19	東	現存高: 7.3 口径: (11.8) 周径: (7.5)	車輪部接縫。断面は短く、口縁部は大きく外反する。口唇部は凹取り。	外側口縁部タケハケ後ヨコヘラミガキ。 内面ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。 L輪形接縫のため調整不明。	粘土: 普通(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 中や良 色調: 2.5Y5/3に近い黃 褐	口縁部I/10/2残存 内面口縫部磨滅
72-7	S B452 P-18	東	現存高: 10.6 口径: (15.4) 周径: (19.2)	複合口縁部。断面は短く、口縁部は腰や軸に外反する。断面形状はL輪形接縫。断面を凹取り。外側は口縫部を貼りつけて造り出し、直線的に外側する。(L輪形)は凹取り。	外側ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。 内面ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。 L輪形接縫のため調整不明。	粘土: 密(石英・褐色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/6強	口縁部I/9部I/2/2残存
72-8	S B452 P-16	東	現存高: 4.7 口径: (19.1)	複合口縁部。複合部は口縫部を腰に貼りつけ、外側に粘土帶を貼りつけて造り出し、直線的に外側する。(L輪形)は凹取り。	外側口縫部ヨコハケ、複合部ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。 内面ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。	粘土: 普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6強	口縁部I/5残存
72-9	S B452 P-17	東	現存高: 6.3 口径: (25.2)	大型の複合口縁部。複合部は口縫部を腰や軸に外反する。断面形状はL輪形接縫。断面を凹取り。外側は口縫部を貼りつけて造り出し、直線的に外側する。(L輪形)は凹取り。	外側ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。複合部ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。 内面ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。	粘土: やや重(石英・白色 粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/4に近い黃 褐	口縁部I/3残存 内面口縫部磨滅
72-10	S B452 P-22	小 型 窓	現存高: 5.1 口径: (5.1)	複合口縁部。断面は短く、口縁部は腰や軸に外反する。断面形状はL輪形接縫。断面を凹取り。外側は口縫部を貼りつけて造り出し、直線的に外側する。(L輪形)は凹取り。	外側ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。複合部ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。 内面ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。	粘土: やや粗(白色粒・基 本色・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R5/6弱	口縫部I/3残存、窓部I/3残存 内面口縫部磨滅
72-11	S B452 P-3-2	東	現存高: 6.1 周径: (6.0)	胴上位は丸く張って短い頸部につながる。	外側ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。頸部ヨコヘラミガキ。 内面ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。他のは腰断部のため調整不明。	粘土: 密(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6盤	頂部-胴上位I/4残存 内面磨滅
72-12	S B452 P-9	小 型 窓	現存高: 9.1 口径: 6.8 周径: 4.4 底径: 7.8 底深: 5.5	單純口縁部。断面は中位に最大径を有した盛りの小さい環形跡を有する。断面は弧字4字に、底く、底部より縁の小さい頸部につながり、口縫部はわずかに外傾する。(L輪形)は底付の内側に粗い造りの突起体。	外側ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。頸部ヨコヘラミガキ。 内面ヨコハケ後ヨコヘラミガキ。他のは腰断部のため調整不明。	粘土: 普通(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6強	ほぼ残存 外内側部

表 8-44 弥生土器観察表 (44)

番号	出土遺構	調査	計測値 (cm)	形態的特徴	測量・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
72-13	S B452 P-15	小 型 壁 基 盤	現存高：11.3 口径：5.9 底径：11.7 最大幅：5.5	脚部は下位に最大幅を有し、腰持つ。腰持位は直線的に開き、脚中位がわずかに怒って、太く、短い頸部につながる。	外周側全体タフタフの後、ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～肩部に肩羽状の擬輪郭を2段設置後、下位の文様下部にS字状輪郭文様を施す。 内面脚～腰持～底盤部ナダ。脚部～腰持中位に輪郭ナダ。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色物) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐色	腰持～底部は既存(頭部1/2残存) 外周側上位～底部赤褐色あり
72-14	S B452 覆土	壁			外周は2段の獨立S字状輪郭文を作り、S字状輪郭文を施す。 内面全体ヨコカケハミガキ。	胎土：普通(石灰・輝石) 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い黃褐色	腰部破片
73-1	S B452 P-7	要	現存高：16.8 口径：22.5 底径：18.8 最大幅：24.2	大型の合付器。脚部は中位に最大幅を有した複断面を呈する。脚部は腰持位で傾斜して脚部は人字型で外反する。口唇部は面取り。	外周側中位ナメハケ。腰持位ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部は人字型で外反する。 内面脚～腰持～底盤部ナダ。	胎土：普通(石灰・長石・白色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/9赤褐色	円錐形～脚上位完全 外周側保有
73-2	S B452 P-24-2	要	現存高：16.8 口径：22.8 底径：20.5 最大幅：23.0	人型の合付器。脚部は上位に最大幅を有した複断面を呈する。脚部は腰持位で傾斜して、脚部は人字型で外反する。口唇部は面取り。	外周側：ヨコカケハミガキ。腰持位ヨコカケハミガキの後、口唇部～脚部ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部は人字型で外反する。 内面脚～腰持～底盤部ナダ。	胎土：普通(石灰・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R8/6浅黃褐色	U線部～脚上位1/2残存 全体的に磨滅
73-3	S B452 P-24-3	要	現存高：17.4 口径：17.3 底径：13.4 最大幅：18.1	台付器。脚部は中位で人字型を有した複断面を呈する。脚部は腰持位で傾斜して、脚部は人字型で外反する。口唇部は面取り。	外周側：腰持位タフタフ。腰持位ヨコカケハミガキ。腰持～脚部ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部は人字型で外反する。 内面脚～腰持～底盤部ナダ。	胎土：普通(石灰・白色粒) 焼成：良 色調：5Y R6/8橙	口縁部1/4、胴部1/2残存
73-4	S B452 P-4-1	要	現存高：13.9 口径：17.0 底径：11.0 最大幅：14.0	台付器。脚部は中位で人字型を有した複断面を呈する。脚部は腰持位で傾斜して、脚部は人字型で外反する。口唇部は面取り。	外周側：腰持位タフタフまたはリコハク。腰持～脚部ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。 内面脚～腰持～底盤部ナダ。	胎土：やや粗(石灰・白色粒・黑色物) 焼成：良 色調：2.5Y R6/4に近い黃褐色	ほぼ完全(口縁部1/6既存 腰持欠け) 内面磨滅 外周赤化
73-5	S B452 P-8-20	要	現存高：4.5 口径：(17.0) 底径：(15.8)	脚上位はわずかに丸く張って脚部につながる。底部は直線的に脚部と接し、口唇部は直線的に大きく外傾する。口唇部は面取り。	外周側：脚部ヨコカケハミガキ。腰持位ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。 内面脚～腰持～底盤部ナダ。	胎土：やや粗(石灰・白色粒・黑色物) 焼成：普通 色調：5Y R6/6青	口縁部～脚部1/2残存
73-6	S B452 覆土	要	現存高：4.0 口径：(15.4) 底径：(14.4)	底部は非常に緩やかに曲がり、口唇部はおむろに外反する。口唇部は面取り。	外周側：腰持位ヨコカケハミガキ。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。腰持～脚部ヨコカケハミガキを重ねる。 内面脚～腰持～底盤部ナダ。	胎土：やや粗(石灰・輝石) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黃褐色	口縁部1/6残存
73-7	S B452 P-20	要	現存高：7.9 底盤部径：9.4	底部～腰持部が直線的に開く台付器の脚部。	外周全体タフタフ。腰持地もヨコカケハミガキ。 内面脚～腰持部ヨコカケハミガキ。腰持位ナダ。腰持は不定方向のヨコカケ。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色物) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	脚部充完
73-8	S B452 P-24-1	要	現存高：8.1 底盤部径：11.9	底部～脚部が直線的に大きく開く台付器の脚部。	外周側脚部ヨコカケハミガキ。腰持位ナダ。腰持は不定方向のヨコカケ。 内面脚～腰持部ヨコカケハミガキ。腰持位ナダ。腰持はヨコカケ。	胎土：普通(石灰・黑色物) 焼成：普通 色調：10Y R7/3に近い黃褐色	腰持充完
73-9	S B452 P-3-1	要	現存高：5.9 底盤部径：9.9	脚部～脚部が直線的に、直立状態で開く台付器の脚部。	外周全体タフタフ。脚部は一部強調ヨコカケ。ヨコカケは腰持位。	胎土：密(石灰・黑色物) 焼成：良 色調：5Y R6/6橙	脚部1/6残存
73-10	S B452 覆土	要		B類のS字型の口縁部?。	外周側脚部～腰持位ヨコカケハミガキ。腰持位ヨコカケハミガキを重ねる。腰持位ヨコカケハミガキはヨコカケ。	胎土：普通(石灰・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	口縫部破片 68-2と同一例?
74-1	S B453P P-1	要	現存高：9.2 口径：(14.7) 底径：(12.4) 最大幅：14.2	小型の台付器。脚部は上位に人字型を有した複断面を呈する。脚部は腰持位で傾斜して脚部は直線的に外傾する。口唇部は直線的に外傾する。	外周側脚部～腰持位タフタフ。ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。腰持位ヨコカケハミガキはヨコカケ。	胎土：やや粗(石灰・輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	口縫部～脚位1/2残存 全体的に磨滅
74-2	S B453 覆土	要			外周各輪郭の間にS字状輪郭文を作り、S字状輪郭文2段施す。 内面全体ヨコカケハミガキ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成：良 色調：5Y R6/8橙	脚部破片
74-3	S B454 覆土	要	現存高：3.8 底径：9.8	底部直立してから脚下位が大きく外方へ傾く。	外周全体ヨコカケハミガキ。輪郭もヨコカケ。 内面底面ナダ。脚位直立ヨコカケハミガキ。	胎土：やや粗(石灰・輝石・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R4/4青	脚位1/3残存、底盤充完
74-4	S B454 柱穴 P-2	要	現存高：2.7 底径：(9.4)	直立直下の底。底面本業気あり。	外周全体ヨコカケハミガキ。ヨコカケハミガキを重ねる。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6青	底部1/6残存 全体的に磨滅

表 8-45 弥生土器観察表 (45)

編號	出土遺構	種	計測値(cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
74-5	S B 454 柱穴 P-1	壺	現存高: 2.4 底径: (9.8)	近く直立する壺の底部。	外観全体傾いたテハケ後ヨコヘラミガキ。 内面底面クサ、脚下位粗いテハケ。	胎土: やや密(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6焼	底部L/6残存
74-6	S B 454 覆土上	壺	現存高: 1.7 底径: (11.6)	近く直立する壺の底部。底面木痕 痕あり。	外観全体傾いたヨコナギ。 内面底面トナ。脚下位ヨコロコハケ。	胎土: 骨灰(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R5/4に赤い 斑	底部L/6残存
74-7	S B 454 覆土上	壺		折り返しに縫跡。口縁部は外側が 見えないほど大きく外反する。折 り返し部の断面は四角く、U字部 は無收り。	外側に縫跡粗いテハケ。折り返 し部、口所部は粗いヨコハケの張 模様序文様を貼り付ける。 内面は縫跡粗いテハケを主とする 縫跡丸。折り返しに縫跡下に2個以上 1單位の孔あらり。	胎土: やや密(石英) 焼成: 普通 色調: 10Y R8/6黄焼	L1縫跡破片 全体的に縫跡
74-8	S B 455 覆土上	壺	現存高: 15.8 底径: 8.6	肩上位は丸く張る。肩部は張らず に周部につながり、口縁部は外方 へ開く。	外側に縫跡粗いテハケ。折り返 し部、口所部は粗いヨコハケの張 模様序文様を貼り付ける。 内面は縫跡粗いヨコハケ後、縫 跡丸。口縁部粗いヨコハケ後、縫 跡下位にS字状縫跡文を伴うL 字縫跡を施す。	胎土: 骨灰(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R8/8黄燒	瓶形完存、肩部へ肩上位L/ 5残存 外側肩上位縫跡
74-9	S B 455 覆土	壺	現存高: 2.9 底径: 9.8	底部から底面側下位に続く壺の底 部。	外観底面テハケ。脚下位ヨコヘラ ミガキ。 内面底面粗いハバの他は削痕の みを認める。	胎土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6焼	底部完存
74-10	S B 455 P-1	壺	現存高: 9.2 口径: (24.4) 底径: (22.1)	大型の台付壺。脚下位はわずかに 張つて横幅につながる。肩部は削 すり加工され、口縁部は外張的に むずか外反する。口縁部は圓形 なり。	外観肩部に粗いヨコハケ。口縁 部は横幅細かくカナメハケL字 肩窓無いヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	胎土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/6焼	口縫跡・肩上位L/3残存
74-11	S B 455 床面 P-1	壺	現存高: 5.1 口径: (23.4) 底径: (19.6)	大型の台付壺。肩上位は張らずに 肩部につながる。肩部は削すり 加工された外張的で横幅細かく外 反する。「L」型窓は削痕で ある。	外観全体テハケがむずかしく残る。 口縁部コナギ。 内面は縫跡粗いヨコハケがむずか く残る他の削痕の割合調整不 規則な焼成底の割合調整不 規則。	胎土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/8焼	口縫跡・肩上位L/6残存 全体的に削痕
74-12	S B 455 P-2	壺	現存高: 10.5 口径: 19.3 底径: 16.3 底大径: (21.0)	台付壺。底部内側に人骨を有 した跡の小さな縫跡を有する。 肩部は横すきたびに削出し、口縁 部は削すり外反する。口縁部は削 取り。	外観全体テハケ。L字縫跡コナギ。 内面縫跡粗いヨコハケ後ナ.口縁部 部ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6焼	L1縫跡・肩上位L/6残存 全体的に削痕
74-13	S B 457 覆土	壺	現存高: 3.2 口径: 17.6	肩上位。口縁部は外側が見え ないほど大きく外反する。「L」型 窓は削痕。	外観全体非常に細かいヨコハケ。 口縫跡コナギ。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/6黄燒	L1縫跡L/2残存
74-14	S B 458 床面	壺	現存高: 2.2 最大径: 22.8 底径: 9.8	肩部は広く横幅を有し、下位 に縫跡付。脚下位は縫跡の間に 隙、脚中位は内側削痕が立ち上 がる。	外観底面テハケ。脚部はテハケ ラミガキまたヨコヘラミガキが むずかしく残る。	胎土: やや粗(石英・白色 粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/6焼	脚中位L/2、肩下位L/4、 底L/3残存 外側縫跡
74-15	S B 458 覆土	壺	現存高: 5.2 口径: 13.8 底径: 13.2	肩上位は丸く張って周部につな がる。肩部は削すり外張して、口縁 部は直すり外張り、口部付近 がむずかしく外反する。口縁部は削 取り。	外観肩部ナ.ヨコハケ後・周部ナ ヨコハケ後、口縫跡コナギ。口縫 跡コナギ。	胎土: 密(石英・輝石・白 色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R5/3に赤い 斑	口縫跡・肩上位L/2残存 外側縫跡付着
74-16	S B 459 覆土	壺	現存高: 7.1 底径: (9.8)	底部は一層細い直筒的に、直立気味 に開く台付壺の底部。	外観脚部ナ.ヨコハケ。肩上部ナ. ヨコハケ後、口縫跡コナギ。	胎土: やや密(石英・白色 粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6焼	脚部L/8残存(底部欠損)
75-1	S B 460 覆土	壺		折り返し口縁部。口縁部は外側が 見えないほど大きく外反する。口縫 跡は四角く、U字部は削痕は無收り。	外側に折返し口ヨコハケ。口縫部 ヨコハケ後、面上に削すり窓面にヘ ラで削りを入れる。	胎土: やや密(石英・白色 粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/4に赤い 斑	口縫跡破片
75-2	S B 461 A - B 覆土上層	壺		複合窓面。複合窓面は口縁部を延 長させ、外縁に柱上部を貼りつけ て造り出し、直線的に外反する。	外観全体窓面は口縁部は延長するヨ コハケ。柱上部はナメハケ後、 口縫跡柱上部のL字縫跡文を有する。 内面は縫跡柱上部のS字状縫跡文を 有する縫跡柱上部のヨコハケ後、 内面全体ヨコハケと複合窓面のヨコ ハケミガキ。底面ヨコハケ。	胎土: やや密(石英・白色 粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/4に赤い 斑	L1縫跡破片(L1若部欠損)
75-3	S B 461 A - B 覆土上層	壺		口縁部は直線的に外方へ開く。口 縫跡は削收り。	外観下部窓面はヨコハケ後、 柱上部ヨコハケ。柱上部ヨコハケ後、 口縫跡柱上部のL字縫跡文を有する。 内面は縫跡柱上部のヨコハケ後、 内面全体ヨコハケと複合窓面のヨコ ハケミガキ。底面ヨコハケ。	胎土: やや密(石英・白色 粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に赤い 斑	口縫跡破片

表 8-46 弥生土器観察表(46)

番号	出土遺物	種類	計測値(cm)	形態の特徴	調整・手造の特徴	胎土・焼成・色調	備考
75-4	S B 461 A・462 覆土上層	甕	現存高: 5.5 口径: (16.8) 肩径: (12.2) 最大径: (6.0)	口部は鋸歯状で裏面に大きな凹部。脚部は上部に最大幅を有した後、下部の小さい凹痕部を呈する。肩部は縦を持たず口部に沿って、口唇部は内側を持たず、口唇部は面取りで上端を尖らせる。	外趾底部タコハケ。肩部コロナの底、下部にハテ上貝で飴みを入れる。	胎土: 岩灰・輝石、白 鉄粉(白色鉄) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6橙	口縫部-肩上付1/4残存
75-5	S B 462 覆土	甕	現存高: 7.3 口径: (19.6) 肩径: (16.0)	肩上部は張り出でて輪郭がつむがれ。脚部は縦を持たず口部に凸出し、口唇部は内側を持たず外傾する。口唇部は面取りで上端を尖らせる。	外趾底部-脚上部タカハケ。脚上部は一部ハテヨコハケ。上部脚部は内側を持たず、口唇部コロナの底、下部にハテ上貝で飴みを入れる。	胎土: やや密(石灰・白色 鉄粉・黑色鉄) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6橙	口縫部-脚上付1/8残存 外趾脚部
75-6	S B 462 覆土	甕	現存高: 11.3 最大径: (23.0) 肩径: (12.6)	脚部に比して底部の大きな胴体。脚部の下位に筋状人字を有し、にじ模様を持った脚部を呈する。	外趾底部全体タクハケ。内全体脚部を除く外側は底部の調整不明。	胎土: 黒粘(石灰・白色鉄、 黒色鉄) 焼成: やや軟 色調: 7.5Y R8/6浅黃青	脚中位1/2、脚下位-底部 1/4残存 全体的に調整
75-7	S B 463 覆土	甕		複合口縫部。複合部は口縫部を扁平化させて出だし、周縁的に外傾する。口唇部は面取り。	外趾底部脚部内側タカハケ。複合部のヨコハケの後、3本以上より複数の脚部跡を貼り付ける。肩部部内ヨコハケ後ヨコハケ。 内全体ヨコハケをナジマセ。	胎土: 普通(石灰・白色鉄、 黑色鉄) 焼成: やや良 色調: 10Y R7/4に近い黄 褐	口縫部腹片
75-8	S B 463 覆土	甕	現存高: 1.5 口径: (23.6)	折り返し口縫部。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し窓の断面は四角く、口唇部は面取り。	外趾底部ヨコハケ後、一部タカハケ。複合部ヨコハケの後ヨコハケ後ヨコハケ。 内全体ヨコハケをナジマセ。	胎土: 普通(石灰・白色鉄、 黑色鉄) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6	口縫部1/3我存
75-9	S B 464 底面	甕	現存高: 4.0 口径: (21.2) 肩径: (16.4)	脚部は縦やかに凸出し、口縫部は外反する。口唇部は面取り。	外趾底部全体ヨコハケ。内全体ヨコハケ。	胎土: やや密(石灰・白色 鉄・黑色鉄・赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/4に近い黄 褐	口縫部-底部1/8残存
75-10	S B 465 甕	甕	現存高: 3.4 口径: (21.3) 肩径: (18.7)	脚部は縦やかに凸出し、口縫部は外反する。口唇部は面取り。	外趾底部-脚上部タカハケの底、 内全体ヨコハケ後ヨコハケ。 内全体ヨコハケ。	胎土: 植(石灰・白色鉄、 黑色鉄・赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6	口縫部-底部1/8残存
75-11	S B 465 P-1	甕	現存高: 4.9 口径: (17.8)	折り返し口縫部。口縫部は外側のにじ模様へ大きく開く折り返し窓の断面は四角く、口唇部は面取り。	外趾底部ヨコハケ後ヨコハケされた後ヨコハケ。内全体ヨコハケ。	胎土: やや密(石灰・ 白色鉄・黑色鉄・赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 2.5Y T7/3浅黃	口縫部1/4残存 全体的に調整
75-12	S B 465 P-2	甕	現存高: 10.6 肩径: 9.0	肩部は擦らずに筋部につながる。口縫部は外方へ開く。	外趾底部筋部のため調整不明。(口縫部-筋部タカハケ)ギヨメ。 内全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石灰・輝石、 白色鉄、赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6	「1縫部-脚部突堤(1/2残存 欠点)、脚部1/4残存 外趾脚部
75-13	S B 466 覆土	甕	現存高: 2.7 口径: (18.0)	単孔口縫部。口縫部は大きく述べる。口唇部は面取り。	外趾底部ヨコハケ後ヨコハケが強く他の調整のため調整不明。	胎土: 植(石灰・白色鉄、 黑色鉄・赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R8/6浅黃青	「1縫部1/8残存 外趾脚部
75-14	S B 466 覆土	甕	現存高: 3.4 口径: (12.6) 肩径: (10.8)	脚部は非常に縦やかに凸出し、口縫部はわざかに外傾する。口唇部は強いヨコハケの人字、内側に切妻の中央部がくぼむ。	外趾底部ヨコハケ後ヨコハケ。内全体ヨコハケ。	胎土: やや密(石灰・輝石、 白色鉄、赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/4に近い黄 褐	口縫部-底部1/8残存
75-15	S B 467 覆土	甕	現存高: 3.6 直径: (9.6)	短く直立する蓋の底部。	外趾底部全体ヨコハケ後ヨコハケ。 内全体ヨコハケ。肩下部板ナデ。	胎土: やや粗(石灰・ 白色鉄・赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/3に近い黄 褐	底部1/4残存
75-16	S B 467 覆土	甕	現存高: 3.5 口径: (17.0) 肩径: (16.1)	脚部は縦やかに凸出し、口縫部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。	外趾底部ヨコハケを一部タケ消す。 内全体ヨコハケ。	胎土: 種子(石灰・白色鉄、 黑色鉄・赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6	「1縫部-底部1/8残存
75-17	S B 467 P-2	甕	現存高: 8.1 最大径: 14.4	台付焼、脚部は少しに最大径を有し、下位に縦を持たずの小さい足跡形を呈する。	外趾底部化したタカハケ。脚上部は不規則なヨコハケまたはヨコハラ。 内全体ヨコハケをナジマセ。	胎土: 植(石灰・白色鉄、 黑色鉄・赤色鉄) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/4に近い黄 褐	脚中位-脚下位1/2残存
75-18	S B 467 覆土	甕	現存高: 7.3 肩径: (16.6)	表面-脚部が直線的に開く台付甕の脚部。	外趾底部全体ヨコハケ。 内全体ヨコハケ。	胎土: 普通(石灰・白色鉄、 黑色鉄) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R8/6浅黃青	脚部1/4残存(底部欠損)
76-1	S B 468 覆土	甕	現存高: 2.4 口径: (16.8)	折り返し口縫部。口縫部は外側が見えないほど多く外反する。折り返し窓の断面は四角く、口唇部は面取り。	外趾底部ヨコハケタカハケ。 内全体ヨコハケ。	胎土: 植(石灰・輝石、 白色鉄・赤色鉄) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R6/6	口縫部1/12残存

表 8-47 弥生土器観察表 (47)

番号	出土場所	高さ	計測値(cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	断土・焼成・色調	備考
76-2	S B408 覆土	現存高:	15.0 口径:(16.8) 底径:(14.4)	腰部がわざりに張て腹部につながる。腹部は緩やかに屈曲し、口唇部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。	外腹脚部の腰部はヨコカブハ。腰部~脚部タハコ。口唇部ヨコカブハ。 内腹脚部はヨコカブハ後一部ナギ。 口縁部は面取り。	断土: 黄褐色(石英・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6強	口縫部下3/5、脚部~脚上位1/4残存
76-3	S B468 覆土	現存高:	(2.7) 口径:(14.0)	口唇部はわざりに外反し、外側の輪郭み復をもたらすに仕上げる。口唇部は面取り。	外腹脚部~脚部腰部ヨコカブハ。 脚部全体ヨコカブハ後一部ナギ。 脚部ヨコカブハヨコカブハ。	断土: やや密(石英・白色粒、黒色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6強	脚部部下残存 外側保有者
76-4	S B471 P-1	現存高:	2.8 口径:(13.8) 底径:(11.3)	頭部は非常に緩やかに屈曲し、口輪郭はレバカに外反する。口唇部は面取り。	外脚部腰部~脚部腰部ヨコカブハ。 脚部全体ヨコカブハ後一部ナギ。 内腹全体ヨコカブハ。	断土: やや密(石英・白色粒) 焼成: やや良 色調: 10Y R5/3にヨイ黄褐色	脚部部下残存 外側保有者
76-5	S B472 P-1	現存高:	5.6 口径:(16.4)	折り返し口縁部。口輪郭は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外腹脚部腰部ヨコカブハ後ヨコカブハ。 脚部腰部ヨコカブハ後ヨコカブハ。 内腹全体ヨコカブハ後ヨコカブハ。	断土: やや密(脚G) 焼成: 良 色調: 5Y R6/6強	脚部1/6残存
76-6	S B473 覆土	器高:	5.9 口径:(12.8) 底径:(7.8)	体部は深く、直線的に外方へ開く。口唇部は面取り。	外腹全体ヨコカブハ後ナメハミタガリがわざりに残る。口唇部ヨコカブハ。 内腹全体ヨコカブハがわざりに残る他の脚部は調整不規則。	断土: 茶道(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6強	体部1/4残存、底部完全 全体的に磨滅
76-7	S B473 覆土	現存高:	10.4 口径:(18.6) 底径:(16.4) 底大径:(19.6)	台付茎。盤部の無い脚部。脚部は中間に最高点をもつた振りのいい脚部形を呈する。脚部は筋を持たず、口唇部は外傾する。口唇部は面取り。	外腹脚部中位~上位ナギ。脚部~脚部タハコ。小位トヨカブハ。口唇部ヨコカブハ後ヨコカブハ。	断土: 密(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6強	脚部部下脚部1/6、脚上位~中位1/4残存 外側保有者
76-8	S B473 覆土	現存高:	14.3 口径:(16.2) 底径:(14.4) 底大径:(15.7)	台付茎。盤部の無い脚部。脚部は中間に最高点をもつた振りのいい脚部形を呈する。脚部は筋を持たず、口唇部は外傾する。口唇部は面取り。	外腹脚部腰部~脚部タハコハの後、脚部ヨコカブハ。脚部ヨコカブハ後ヨコカブハ。 内腹脚部ヨコカブハ後~脚部タハコハ。脚部ヨコカブハ後ヨコカブハ。	断土: 茶道(石英・輝石・白色粒) 焼成: やや良 色調: 5Y R6/6強	脚部部下脚部2/3、脚上位~中位2/3残存 外側保有者
76-9	S B473 覆土	現存高:	15.4 口径:(13.1) 底径:(13.9) 底大径:(12.7)	台付茎。盤部の無い脚部。脚部は上位に最大点をもつて、下位にこぶし状の突起を持つ。脚部は中間に最高点をもつた振りのいい脚部形を呈する。脚部は筋を持たず、口唇部は外傾する。口唇部は面取り。	外腹全体ヨコカブハ。	断土: 青褐色(石英・白色粒、黑色粒、赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6強	脚部~脚部ヨコカブハ完全(脚部 1/2残存) 外側保有者
76-10	S B473 覆土	現存高:	17.3 口径:(14.4) 底径:(11.8) 底大径:(10.2)	台付茎。盤部の無い脚部。脚部は上位が人字型と算盤玉形を呈する。脚部は筋を持たず、脚部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。	外脚部腰部~脚部タハコハ。脚部ヨコカブハ後ヨコカブハ。	断土: やや密(脚石:白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6強	脚部~脚部1/4残存 1/3残存 外側保有者
77-1	S B475B P-1	現存高:	5.4 口径:(26.4) 底径:(25.0)	脚部は緩やかに屈曲し、口輪郭は直立気味に外傾する。口唇部は面取り。	外腹~脚部~脚部タハコハがわざりに残る。口唇部ヨコカブハ。 内腹脚部ヨコカブハナナゲした後、脚部~脚部タハコハ後ヨコカブハ。	断土: 茶道(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6強	脚部部下脚部1/4残存 全体的に磨滅
77-2	S B475B P-2			单纯口縁部。口輪郭は直立的に外方へ開く。口唇部は面取り。	外腹全体タハコハを一部ナギ消す。 「口唇部R」脚部脚部脚部。	断土: やや密(石英・輝石・白色粒) 焼成: やや良 色調: 10Y R5/4にヨイ黃褐色	脚部部破片
77-6	S B477A 覆土	現存高:	3.3 口径:(15.8)	折り返し口縁部。口輪郭は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外脚部ヨコカブハがわざりに残る。折り返し面ヨコカブハ。口唇部は筋を持たず、筋部は筋を持たず、脚部は調整不規則。	断土: 茶道(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6強	脚部部下脚部1/6残存 全体的に磨滅
77-7	S B477A 覆土	現存高:	1.9 口径:(20.7)	折り返し口縁部。口輪郭は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外脚部ヨコカブハがわざりに残る。脚部ヨコカブハ後ナギ。脚部ヨコカブハ後ヨコカブハ。	断土: 茶道(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6強	脚部部下脚部1/6残存 全体的に磨滅
77-8	S B481 覆土			单纯口縁部。口輪郭は人字く外反する。口唇部は面取り。	外脚部ヨコカブハ後ナギ。口唇部ヨコカブハ後ヨコカブハ。	断土: 茶道(脚石:白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6強	脚部部破片
77-9	S B481 覆土	現存高:	2.3 口径:(16.4)	折り返し口縁部。口輪郭は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外脚部ヨコカブハ後ナギ。折り返し面ヨコカブハ。口唇部ヨコカブハ後ヨコカブハ。	断土: やや密(脚石:白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R5/9弱黄褐	脚部部1/6残存

表 8-46 弥生土器観察表 (48)

番号	出土場所	調査	計測値(cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
77-10	S B481 裏土	裏	現存高：2.8 口径：(8.0)	側部に粘土帯が貼りついた台付型の脚部。底部は内壁気泡層に直立する。	外面部ヨコガタ、底部粘土帯を擦拂面ナガ。腰部面もヨコハケ後ヨコナダ。 内面全体面ナダ。	胎土：石灰(灰石・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R3/6明褐色	腰部1/6残存
77-11	S B484A P-1	裏	現存高：3.3 口径：(26.6)	口縁部は外反する。口部は凹取り。	外面部ヨコガタ、腰部粘土帯を擦拂面ナガ。口部面もヨコハケ。 内面全体面ナダ。	胎土：やや粗(灰石・黒色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗褐色	口縫部1/6残存 全体的に磨滅
77-12	S B484B P-2	表	現存高：3.7 口径：(10.2)	半轉台脚部。口縁部は直線的におずかく外方へ傾く。口部は凹取り。	外面部ヨコガタナメハゲ、口部はヨコナダ。	胎土：やや粗(灰石・輝石) 焼成：やや良 色調：7.5Y R5/6明褐色	口縫部1/4残存
77-13	S B484B P-3	裏		折り返し口縁部。脚部は直線的にお外方へ開き、内面を持つ。折り返し口縁部の断面は狭く、薄い。口部は凹取り	外面部ヨコハケ、折り返し口縁部はヨコハケ後一部ナダ。 内面L字折れ模様矢印文。	胎土：普通(灰石・輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R4/5にぼい黄褐色	口縫部破片
77-14	S B486 P-2	表	現存高：5.7 底径：8.0	底盤が極く直立してから脚部が大きく外方へ傾く。直線面底盤あり。	外面部ヨコハケ後ヨコハシミガキ。 内面表面ナダ。脚下部ヨコハケ。	胎土：やや粗(灰石・輝石・白色粒) 焼成：良 色調：10Y R5/3にぼい黄褐色	脚下位→底盤完存
77-15	S B486 P-1	小底盤	高さ：10.7 口径：(7.8) 断面：5.1 最大径：11.2 底径：6.2	半轉台脚部。脚部は下位に最大径を有し、後を折り、脚下位は直線的におざかく外方へ傾く。断面は直線的でなく、腰・脚部につながる。脚部は大きく外反する。口部は腰部は直立する。	外面部ヨコハケ後後ヨコハシミガキ。脚部は直線的ナメハゲ、口部上部にヨコハケ後ヨコハシミガキで覆われる。 脚下部は底盤板ナメハゲ、腰部ヨコハシミガキがわざかに残る。	胎土：普通(灰石・輝石・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6暗褐色	口縫部1/6残存、周囲欠け、脚上位→下位2/3残存、底盤部分全体的に磨滅
77-16	S B486 P-3	裏		台付型の脚下位→底盤、脚部との接合部に粘土帯を貼りつける。	外面部腰上部は指痕ナメハゲ、脚下位ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	胎土：普通(灰石・輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R5/3にぼい黄褐色	脚下位→底盤破片
78-1	S B487 P-32	表	現存高：28.5 口径：(8.3) 底径：(31.0) 断面：11.2	腰高、底盤。脚部は下位に最大径を有し、上位に約8cmの丸み断面を有する。脚部は下位に最大径を有し、腰部と腰部直上部を張り出す。断面は直線的でなく、腰・脚部につながる。脚部がわざかに張って脚部につながる。脚部は腰から外に反する。腰部は直立する。	外面部腰上部→次部ヨコハケの後、脚下位→下位ヨコハシミガキ。脚上部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。 腰部→脚部ヨコハケ後ヨコハシミガキ。 内面表面ナダ。腰部→脚下位ヨコハシミガキ。	胎土：普通(灰石・輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R2/6暗褐色	腰部1/4、肩部→脚下位3/4残存、底部完存
78-2	S B487 P-6-2	表	現存高：24.7 口径：(12.5) 断面：(7.6) 最大径：20.1 底径：8.7	脚部直上部。脚部は下位に最大径を有し、上位に約5cmの丸み断面を有する。脚部は下位に最大径を有し、腰部と腰部直上部を張り出す。断面は直線的でなく、腰・脚部につながる。脚部は腰から外に反する。腰部は直立する。	外面部ヨコハケナメハゲ。脚下位ヨコハシミガキ。脚上部ヨコハシミガキ。 腰部→脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。	胎土：やや粗(輝石・黑色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/4にぼい黄褐色	口縫部4/5、脚部→脚下位1/2残存、底部完存
78-3	S B487 P-2	表	現存高：20.4 口径：11.5 断面：7.4 最大径：15.4 底径：7.6	単純口縁部。脚部は下位に最大径を有し、上位に約5cmの丸み断面を有する。脚部は下位に最大径を有し、腰部と腰部直上部を張り出す。断面は直線的でなく、腰・脚部につながる。脚部は腰から外に反する。口部は直立する。	外面部ヨコハケナメハゲ。脚下位ヨコハシミガキ。脚上部ヨコハシミガキ。 腰部→脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。	胎土：普通(灰石・輝石・白色粒)、基部色・赤色粒 焼成：良 色調：10Y R6/4にぼい黄褐色	口縫部→脚上位完存、脚中1/2、脚下位3/4残存、底部完存
78-4	S B487 裏土	裏	現存高：20.2 最大径：20.3 底径：9.4	脚部は下位に最大径を有した脚部形を有する。脚部は下位に最大径を有し、腰部と腰部直上部を張り出す。断面は直線的でなく、腰・脚部につながる。	外面部脚下位ヨコハシミガキ。脚下位ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。脚上部ヨコハシミガキ。 腰部→脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。	胎土：やや粗(灰石・輝石・白色粒)、基部色・赤色粒 焼成：良 色調：3Y R6/7暗褐色	脚部→脚部は完存 外周磨滅
79-1	S B487 P-8	表	現存高：5.1 口径：(18.8)	複合口縁部。複合部はL字部を組合せて腰部に突出し、直立気泡層に外側する。「丁」部は直立する。	外面部腰部ヨコハシミガキ。複合部ヨコハシミガキその後、2本1年位の修理で文字「丁」がわざかに残る。脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。 内面全体ヨコハケ後ヨコハシミガキ。	胎土：普通(灰石・輝石・白色粒)、基部色・赤色粒 焼成：普通 色調：7.5Y R8/6黃褐色	口縫部1/5残存 全体的に磨滅
79-2	S B487 P-9+10	表	現存高：5.1 口径：(25.5)	人類の複合口縁部。複合部は直線的に外側する。「丁」部は内面に折り凹角部の粘土帯を貼り付けてから而取り。	外面部腰部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。	胎土：やや粗(白色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗褐色	口縫部1/2残存 全体的に磨滅
79-3	S B487 P-11	表	現存高：5.6 口径：(20.0)	折り返し口縁部。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は薄く、口部は直立する。	外面部腰部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。脚部ヨコハシミガキ後ヨコハシミガキ。	胎土：やや粗(白色粒、黑色粒、黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗褐色	口縫部1/2残存 内周磨滅

表 8-49 弥生土器観察表 (49)

部別	出土品種	部	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
79-4	S.B487 P-1.2	骨	現存高：3.4 L1径：(19.0)	折り返し口縁部。L1端部は外側が 丸く、内側が少しだけ外れる。折 り返し部の断面は四角く、L1部 は直角取り。	外側面部ナデ。L1端部ナデが 丸く、内側面部ナデ。L1端部ヨコハケ。 内面底部断面のため調査小量。口 縁部は削除の上S字状粘土文 字跡。上段I.R.下段R.I.焼成記号文 字跡後、S字状粘土文の上にU形 文字を貼りつける。	胎土：普通（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8黄橙	口縫部S字状粘 内面底面
79-5	S.B487# 覆土：	骨	現存高：9.3 L1径：(21.3) 頸径：(11.8)	外側面部ナデ。頭部が直立角度に伸 びてから口縁部は直角的に外へへ 開く。口縁部は直角取り。	外側面部ナデ。頭部傾いたタケハ ケ。L1端部附近、L1端部ヨコハケナ デ。 内面底部断面のため調査小量。口 縁部は削除の上S字状粘土文 字跡。上段I.R.下段R.I.焼成記号文 字跡後、S字状粘土文の上にU形 文字を貼りつける。	胎土：普通（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：やや乾 色調：7.5Y R7/8黄橙	U形部～頭部1/6残存 全体的に壊滅。
79-6	S.B487 P-3-2	骨	現存高：4.1 底径：(11.8)	底部が丸く直立してから脣下位が 大きく外方へ開く。	外側全体タケハケ後ヨコヘラミガ キ。 内面底部ナデ。脣下位ヨコハケが わざわざに残る。	胎土：やや粗（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6黄	底部1/2残存 内側部質
79-7	S.B487 P-3-3	骨	現存高：4.9 底径：9.5	底部が丸く直立してから脣下位が 大きくなっている。	外側全体タケハケ後ヨコヘラミガ キ。 内面底部ハケ後ナデ。脣下位ヨコ ハケ。	胎土：普通（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：やや良 色調：7.5Y R6/6黄	底部完存
79-8	S.B487 覆土：	骨	現存高：2.9 底径：(11.2)	底部が丸く直立してから脣下位が 大きくなっている。底面木葉痕有 り。	外側底部タケハケ後ヨコヘラミガ キ。脣下位ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハキマギ。	胎土：普通（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6黄	底部1/2残存 全体的に壊滅。
79-9	S.B487 覆土：	骨	現存高：2.9 底径：(9.6)	底部が丸く直立してから脣下位が 大きくなっている。底面木葉痕有 り。	外側底部タケハケ後ヨコヘラミガ キ。脣下位ヨコヘラミガキ。	胎土：やや粗（石英・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：3Y R7/8黄	底部1/2残存 内面底面
79-10	S.B487 P-33	骨	現存高：2.8 底径：9.9	底部が丸く直立してから脣下位が 大きくなっている。底面木葉痕有 り。	外側底部タケハクミガキ。脣下位 不規則なナメテヨコヘラミガキ。 内面底部ナデ。脣下位ヨコハケ後 ナデ。	胎土：やや粗（石英・ 白色粒・黑色粒・赤色粒・輝石 少有） 焼成：良 色調：5Y R6/6黄	底部完存 内面底面
79-11	S.B487 P-12	骨	現存高：10.2	脣上位が丸く張って両側につなが る。	外側底部タケハケ後ヨコヘラミ ガキがわざわざに残る。脣下位L.R.燒 成記号文後ナデ。ナデ。 内面全体ヨコハキ。	胎土：やや粗（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	脣部～脣上位1/4残存 外側型質
79-12	S.B487 P-3-1	骨	現存高：5.7	脣上位が丸く張って両側につなが る。	外側脣上位ヨコヘラミガキ。脣下 位L.R.燒成記号文1段底。	胎土：普通（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6黄	脣部～脣上位1/3残存
79-13	S.B487 P-29	骨	現存高：14.2 最大空：(20.1)	頭部は中位に最大膨を有した球形 部を呈する。脣上位が丸く張って 両側につながる。	外側脣上位1-4位タケハケ後ヨコ ヘラミガキ。脣下位ナメテヨコハケ 後ナデ。	胎土：やや粗（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8黄	脣部～脣中位1/4残存
79-14	S.B487 覆土：	骨	現存高：3.3	なだらかな両脣。	外側底部ヨコハキ状文1条差文。 内面全体ナデ。	胎土：やや粗（石英・輝石・ 白色粒） 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	脣部1/2残存 全体的に壊滅。
79-15	S.B487 覆土：	骨	現存高：(56.7) 底径：(11.8) 底最大空：(45.7) 頸大径：12.7	人骨の複合口縁部。頭部は中位に 最大膨を有した球形部を呈する。 脣上位は丸く張り、脣部につなが る。脣下位は口縁部をわずかに屈 曲させ、外側に脣上部を貼りつけ て造り出し、直線的で外側とする。	外側上位に螺旋き直線文1条。下 位に断端き直線文1条差文。 内面底部断面のため調査不明。	胎土：普通（石英・白色粒） 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	頭部成片 全体的に壊滅
80-1	S.B487 P-28-2	骨	現存高：(56.7) 底径：(11.8) 底最大空：(45.7) 頸大径：12.7	人骨の複合口縁部。頭部は中位に 最大膨を有した球形部を呈する。 脣上位は丸く張り、脣部につなが る。脣下位は口縁部をわずかに屈 曲させ、外側に脣上部を貼りつけ て造り出し、直線的で外側とする。	外側底部ヨコハキ。脣下位ナデ がわざわざに残る。脣下位L.R.燒 成記号文後ナデ。ナデ。	胎土：普通（石英・白色粒 少有） 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	口縫部1/4、頭部～脣上位 1/3、脣中位～下位1/4残存 底部完存 全体的に壊滅
81-1	S.B487 P-5-2	骨	現存高：21.0 口径：(22.6) 底径：(18.6) 頸大径：(22.7)	口付側、頭部は中位に最大膨を有 した球形部を呈する。頭部は中位 から少し曲しい。L1端部は大きくな り外反する。L1端部は直角取り。	外側脣下位タケハケ。脣下位ナデ がわざわざに残る。脣下位L.R.燒 成記号文後ナデ。ナデ。	胎土：やや粗（石英・輝石・ 白色粒） 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6黄	口縫部1/3、頭部～脣子位 1/2残存 外側耳形質
81-2	S.B487 P-5-1	骨	現存高：19.3 口径：(23.5) 底径：(19.9) 底最大空：(25.0)	口付側、頭部は中位に最大膨を有 した球形部を呈する。頭部は中位 から少し曲しい。L1端部は大きくな り外反する。L1端部は直角取り。	外側脣下位タケハケ。脣下位ナデ がわざわざに残る。脣下位L.R.燒 成記号文後ナデ。ナデ。	胎土：やや粗（石英・輝石・ 白色粒） 焼成：普通 色調：2.5Y R4/6赤褐	口縫部1/2～1/3、頭中 位～下位1/4残存 外側耳形質位下半壊滅 外側一次焼成あり
81-3	S.B487 P-28	骨	現存高：1.7 口径：(29.2)	大型の豊の口縁部。L1端部は人さ く外反する。口縁部は直角取り。	外側口縁部タケハケ。口縁部コ ハケがわざわざに残る。 内面全体底部のため調査不詳。	胎土：やや粗（石英・輝石・ 白色粒・黑色粒・赤色粒） 焼成：普通 色調：10Y R6/4赤褐	口縫部1/6残存 全体的に壊滅

表 8-50 弥生土器觀察表 (50)

番号	出土遺構	測定値	計測値(cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
81-4	S B487 P-6	要	現存高：5.0 口径：(14.1) 底径：(13.4) 底厚：(33.2)	口径・脚部が直角状で入きなき縫合部。脚部は常に最も内側を有し、手取部の方から脚部が足する。脚部は通常に延ばしに凹曲し、脚部部は軽く、わざかに外反する。口唇部は粗く面取り。	外周脚上位→中位タハネたはヨコハナ→脚部ヨコハネ→内周脚上位→中位板ナダ。頭部汚損ナリ。ヨコ部ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・黒色粒・赤色粒)焼成：普通 色調：10Y R6/4によい黄褐色	口唇部→脚中位1/6焼成 外周埋付着
81-5	S B487 P-13	要	現存高：6.0 底径：(12.4)	底部～脚部が直線的に聞く付箇の脚部部。	外周脚部ナマヘケ。脚上位タハナハケ。底地面ヨコハナ。 内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・黒色粒・赤色粒)焼成：普通 色調：5Y R6/4によい黄褐色	脚部2/3焼成
81-6	S B487 覆土	要	現存高：4.3 底径：(9.6)	底部～脚部が直線的に聞く付箇の脚部部。	外周全体タハネ後ナダ。底地面ヨコハナ。 内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・黒色粒・赤色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脚部1/4焼成
81-7	S B487 覆土	要	現存高：3.4 底径：(3.4)	底部～脚部が直線的に聞く付箇の脚部部。	外周脚部ヨコハナ。脚上位タハナ後ナダ。底地面ヨコハナ。 内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・黒色粒・赤色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	脚部2/3焼成
81-8	S B487 覆土	要	現存高：5.9 底径：(8.7)	底部～脚部が直線的に聞く付箇の脚部部。	外周全体タハナ。 内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・黒色粒・赤色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脚部1/8焼成(底部欠損)
81-9	S B487 P-18	要	現存高：7.8 底径：(7.8)	底部～脚部が内壁欠陥時に聞く付箇の脚部。	外周全体タハナ後ナダ。 内周全体板ナダ。	胎土：普通(石灰・輝石・白色粒・黒色粒・赤色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脚部1/4焼成(底部欠損)
81-10	S B497 覆土	要	現存高：4.1 口径：(26.5)	折り返し口唇部。口唇部は大きく外反する。折り返し唇の断面は円角、口唇部は面取り。	外周口唇部知れず。ナマヘケが必ずしも残る。他の脚部は脚部がわざかに残る。 内周全体ヨコハナがわざかに残る。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒)焼成：やや良 色調：7.5Y R7/6	口唇部1/4焼成 全体的に磨滅
81-11	S B497 覆土	要	現存高：7.2 底径：(7.2)	脚部は強らに張り立つ脚部につながり、頂部は緩やかに開く。ヨコ部は直線的に外方に聞く。	外周脚部一肩部細かいタハナ。 ヨコ部ヨコハナがわざかに残る。 内周脚部ヨコハナがわざかに残る。	胎土：やや粗(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	口唇部一肩部1/3焼成(1) 脚部欠損 全体的に磨滅
81-12	S B497 覆土	要	現存高：2.1 底径：(5.8)	小切口の底部。尖部から直線削下位が孤立気味に外傾する。	外周全体とも腹面のため腹面不規則。 内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	脚部1位→底部1/3焼成 全体的に磨滅
81-13	S B 496・497 +4100 覆土上層	要	現存高：5.4 口径：(19.3) 底径：(16.8)	底部は緩やかに屈曲し、口唇部は外反する。口唇部は面取り。	外周口唇部→脚上位タハナの後。 「脚部ヨコハナ」。内周ヨコナダ。	胎土：普通(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒)焼成：やや良 色調：5Y R6/6	口唇部→脚上位1/4焼成 外周脚付着
81-14	S B4100 覆土	要	現存高：2.5 底径：(10.0)	脚立直立するものの底部。尖部木集積あり。	外周全体ヨコハナミギキ。底面も木集積をヨギモドキで消す。 内周全体ヨコハナ。脚上位ヨコハナ。	胎土：やや粗(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒)焼成：やや良 色調：2.5Y R5/6(6)赤褐	底部完存
82-1	S B492 枕火 覆土	要	現存高：7.5 口径：(23.2)	大型の複合1型縫合。複合部は山字縫合をわずかに弧曲させ、外周に折上部を貼りつけており出し、山字縫合部に外傾する。口唇部は面取り。	外周口唇部ヨコハナ。複合部點貼しヨコハナ。複合部は細かいタハナ後ナダヨコヨコの後、脚部伸張ナダ。脚部伸張ナダ。脚部伸張ナダ。内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・輝石)焼成：普通 色調：10Y R7/4によい黄褐色	口唇部1/8焼成 全体的に磨滅
82-2	S B492 P-1	要	現存高：0.3 底径：8.0 底厚：9.2	脚部は半位に最大幅を有し、下位ににより横を持つ下唇部の形状を呈する。脚部は張らずにはなく、脚部は大きめに外反する。	外周口唇部ヨコハナ後ヨコハナヨコハナ。ヨコ部ヨコハナナマヘケの後、脚上位→下位ヨコヨコミギキ。ヨコ部ヨコハナ後タハナ後ナダ。脚上位ヨコハナ後ナダ。内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・輝石)焼成：やや良 色調：10Y R5/4によい黄褐色	口唇部一肩部光沢(口脣部欠損)、脚上位1/4、脚中位→底部1/3焼成
82-3	S B492 P-2	要	現存高：5.2 底径：(9.8)	折り返し口唇部。口唇部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し唇の断面は四角く、口唇部は面取り。	外周口唇部ヨコハナ。折り返し脚上位タハナ。 内周全体ヨコハナ。	胎土：普通(石灰・白色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	脚部1/4焼成
82-4	S B 491・492 柱穴 覆土	要	現存高：4.7 口径：(16.8)	折り返し口唇部。口唇部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し唇の断面は四角く、口唇部は面取り。	外周口唇部ヨコハナ。折り返し脚上位ナダ。ヨコ部ヨコハナナマヘケの後、横状浮文を五段に貼りつける。 内周全体ヨコハナの後、縁に粗いタハナを貼り施文に固定する。	胎土：やや粗(石灰・輝石・白色粒)焼成：普通 色調：7.5Y R7/6	口唇部1/3焼成
82-5	S B494 P-2	要	現存高：1.8 口径：(23.4)	折り返し口唇部。口唇部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し唇の断面は四角く、口唇部は面取り。	外周口唇部ヨコハナ。ヨコ部ヨコハナナマヘケの後、脚上位ヨコハナ後ナダ。ヨコ部ヨコハナ後ナダ。ヨコ部ヨコハナ。	胎土：密(石灰・白色粒)焼成：良 色調：10Y R5/4によい黄褐色	口唇部1/12焼成

表 8-51 弥生土器観察表 (51)

測定番号	出土場所	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
82-7	S B494 P-3	盃	現存高: 3.7 口径: (26.0)	外縁口縫合部、複合部は口縫部を括り曲げさせて造り出し、直線的に外傾する。口部部は面取り。	外縁部口縫合部は内側に凸状、複合部はコハック形状、2本以上1単位の複合状態が見つけられる。内面全体コハックがわざかに残る。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/3におい黄褐色	口縫部下1/4残存 内面磨滅
82-8	S B494 P-5	盃			外縁全体は既成状態で2段階化。内面全体コハック後指面ナダ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6残	内部破片
82-9	S B494 P-1	甕	現存高: 14.8 口径: (21.6) 底径: (17.8) 最大径: (15.5)	台付甕。脚部は中位に最大径を有し、下位には内側を持つ脚部を有する。脚部は後を持たずには屈曲し、口縫部は長く、直線的に外傾する。11口径部に面取り。	外縁部下位ナダメハケ。胸中位コハック後一部粗いヨコハケ、肩上部タケハケ。脚部ヨコハケの後、下端にハケ工具で跡みを入れる。内面底部中央下部一下位ヨコハケ。胸中位上半ナダメハケ。脚上位指面ナダ、口縫部一頭部ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6残	口縫部-脚下位1/4残存
82-10	S B494 P-4	甕	現存高: 11.0 口径: (13.8) 底径: (13.3) 最大径: (13.5)	舟型甕。脚部は上位に最大径を有した舟形部を有する。脚部は直線的にやや屈曲し、口縫部は直立、気泡はむねずに外傾する。11口径部は面取り。	外縁脚下位一下位ヨコハケ。脚中位ヨコハケ後一頭部粗いヨコハケ。脚上位ヨコハケ後一頭部粗いヨコハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6残	口縫部-脚下位1/3残存
82-11	S B495 P-1	甕	現存高: 8.5 口径: (20.8) 底径: (9.2)	折り返し口縫部。脚部は短く、口縫部は外側が見えないほど大きく外倾する。折り返し口縫部の断面は四角く、11口径部は面取りで、上邊を尖らせる。	外縁口縫部は内側に凸状のハケの後、ヨコハケ後一頭部粗いヨコハケ。脚上位ヨコハケ後一頭部粗いヨコハケ。	胎土: 密(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6残	口縫部-肩部1/4残存
82-12	S B495 P-2	甕	現存高: 7.7 底径: (7.7)	短く内傾する垂の底部。	外縁全体ヨコハケ後部ヨコハケナダ。	胎土: やや粗(輝石・白色粒・角閃石) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6残	底部1/4残存 全体的に磨滅
83-1	S B501 覆土	甕	現存高: 9.7 口径: (14.9) 底径: (12.5) 最大径: (14.0)	脚部は中位に最大径を有した舟形部を有する。脚部は後を持たずには屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口部部は面取り。	外縁脚部-脚中位ヨコハケ、口縫部タケハケが残る。口部ヨコハケ。	胎土: 黄褐(石英・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6残	1種部1/8、底部-脚中位1/4残存 全体的に磨滅
83-2	S B501 覆土	甕	現存高: 7.8 口径: (13.2) 底径: (12.0)	脚部が丸く張って要素につながる。脚部は後を持たずには屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口部部は面取り。	外縁脚部-脚上位ヨコハケ。口縫部ヨコハケ後一頭部粗いヨコハケ後ヨコハケ。脚上位ナダメハケ。	胎土: 密(石英・白色粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R5/8黄褐	1種部-脚上位1/5残存 外面焼付層
83-3	S B501 覆土	甕	現存高: 4.3 口径: (27.0) 底径: (25.1)	脚部は緩やかに屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。11口径部は面取り。	外縁口縫部一頭部ナダメハケ。口縫部ヨコハケ後一頭部粗いヨコハケ。	胎土: 粗(白色粒多・石英・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6残	口縫部-肩部1/4残存
83-4	S B501 P-1	甕	現存高: (24.8) 口径: (20.9) 底径: (18.6) 最大径: (21.9) 脚部径: (4.9)	台付甕。脚部の薄い骨体。脚部は上位に最大径を有した脚部を有する。脚部は非常に緩やかに屈曲し、11脚部は直立。脚部は底反へ直線的に縦傾方向に開く。	外縁脚部ナダメハケ。脚下位-底部ヨコハケ。脚中位ヨコハケ。脚部-脚上位タケハケ。口部ヨコハケ。	胎土: 粗(石英・黑色粒) 焼成: やや粗 色調: 10Y R7/6黄褐	口縫部-脚部1/4、脚上位-中位1/2残存、脚下位-脚上位は完全・壊部1/8残存 外周焼付層
83-5	S B501 P-2	甕	現存高: 7.7 底径-脚部径: 7.2	底部-脚部が直線的に、直立50cmに満く台付甕の脚部。	外縁脚部ヨコハケ。底部-脚上位タケハケ。	胎土: 普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6残	脚部充存 全体的に磨滅
83-6	S B501 P-3	小 甕	現存高: 11.1 口径: (8.2) 底径: (7.6) 最大径: (12.1) 底径: (6.8)	脚部口縫部-脚部は下位に最大径を有し、脚を持つ。脚上位は底反って直立して開き、脚部は緩やかに開く。脚部は直立、直線的にわざかに外方へ開く。口部部は面取り。	外縁脚下位ヨコハケ。脚中位ナダメハケ。脚上位タケハケ。口部ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・黑色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R5/6弱	口縫部-脚部1/3、脚下位-脚上位1/4、脚中位-脚部1/3残存
83-7	S B501 覆土	甕			外縁口縫部タケハケ。11-口部ヨコハケ。	胎土: 普通(石英・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6残	口縫部破片
83-8	S B501 覆土	甕			外縁は上位L-R-T段R-L燒付壊部を削りあわせて焼成層。底にS字状焼付文と旋文、S字状焼付文と旋文、S字状焼付文の山に凹状の浮き文字を残りつつある(現状2箇)。内面脚上位壊ナダ、脚部拘縛ナダ。	胎土: 普通(石英・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6残	脚部破片

表 8-52 弼生土器観察表 (52)

編号	出土遺物	種類	寸法・病痏 (cm)	形態の特徴	調査・手決の特徴	黏土・焼成・色調	備考
83-9	S B 505 覆土	甕	現存高: 16.1 口径: (14.2) 底径: (12.8) 最大径: (16.0)	台付甕。肩部は中位に最大径を有し、下位には内側を有する切跡形を呈する。口唇部は後を持たず異常に膨らみ、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は開取り。	外ぬき部にタマヘケ、肩部が細かいナメクジの後、腰部に一巾位の凹凸があり、口唇部はナメクジの後、腰部に横筋がある。内面下位ヨコナメ。口唇部は直線的に外傾する。	粘土: 香港(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	口縁部一部下位1/4残存 外側焼付着
83-10	S B 510 覆土	甕		折り返し口。口縁部は外傾が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は開取り。	外囲縁部表面がいたテハケ。折り返し口の後、口縁部リコハケ後強いコナメ。	粘土: 香港(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6橙	口縁部破片
83-11	S B 510 P-1	甕	現存高: 16.1 口径: 18.1	口縁部は大きく述べる。口唇部は開取り。	内面全体に及ぶ横筋が施され、口縁部リコハケ。	粘土: 密(石灰・黒色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	口縁部2/3残存
83-12	S B 510 <sup>b</sup> 覆土	甕	現存高: 12.7 口径: (16.5) 最大径: (19.0)	胴部は中位に最大径を有する球形を呈する。底部はややかに膨らみ、口縁部は大きく外反する。	外ぬき部にヨコナメの後、口縁部リコハケ後ヨコナメ。	粘土: 香港(石灰・白色粒・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	頭部1/12、胴上位一部位1/8残存 外面保付着
84-1	S B 504 P-2-1	甕	現存高: (25.0) 口径: 19.1 底径: 16.2 最大径: 20.3 複数個: 0.2.2	台付甕。肩部は下位に最大径を有した後内側の球形部を呈する。肩部は内側に向いて弧を描いて屈出し、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は直線的に開く。	外ぬき部に下位にリコハケ、腰部一巾位上半部に強烈なテハケ。内面全体リコハケと相接するコナメを纏め、底部は一巾位以上リコハケを曲ねて曲げる。	粘土: やや粗(石灰・白色粒・輝石少革) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6黄橙	口縁部一部中位7/8残存 底部ほぼ完全(腰部下位1次損壊部1/2欠損)
84-2-1	S B 504 P 1	甕	現存高: 20.7 口径: (19.1) 底径: 19.2 最大径: 22.4	台付甕。肩部は上位に最大径を有した後内側の球形部を呈する。肩部は内側に向いて弧を描いて屈出し、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は直線的に開く。	外ぬき部下位タマヘケ、腰部一巾位ヨコハケ後、底部ヨコハケ。内面全体リコハケの後、下縫にハサツ具で斜めを入れる。	粘土: 香港(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R8/4浅黄褐色	口縁部一部下位1/4は完全な個体
84-2-2	S B 504 P 1	甕	現存高: 5.9 底径: (5.9)	底部一部位が直線的に崩く台付甕の脚軸部。	外ぬき部ナメタマヘケ、接地面もヨコハケ。内面全体ヨコハケ。	粘土: 香港(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R8/4浅黄褐色	頭部1/2残存 84-2-1と同一個体
84-3	S B 504 覆土	甕	現存高: 2.3 口径: (17.6)	口縁部は直線的にわざかに外傾する。口縁部は直線的に開く。	外ぬき部リコハケ。内面全体ヨコハケ。	粘土: 香港(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6帶	口縁部1/6残存
84-4	S B 504 覆土	甕	現存高: 8.5 口径: (15.0) 底径: (15.0) 最大径: (15.0)	口縁部が最大径より大きな側削。肩部は上位に最大径を有した後内側の球形部を呈する。底部は内側に向いて弧を描いて屈出し、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は直線的に開く。	外ぬき部一巾位タマヘケ後一巾位ヨコハケ。内面全体リコハケ。	粘土: 香港(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	口縁部一部中位1/3残存
84-5	S B 504 覆土	甕	現存高: 1.6 口径: (20.6)	折り返し口。口縁部は外傾が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は開取り。	外ぬき部ナメタマヘケ後タマヘケヨコハケ。折り返し口の後、斜状文字を貼りつけた。	粘土: 香港(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	口縁部1/8残存
84-6	S B 504 覆土	甕	現存高: 1.0 口径: (16.2)	折り返し口。口縁部は外傾が見えないほど大きく外反する。折り返し口の断面は四角く、口唇部は開取り。上縫を尖らせる。	外ぬき部ヨコハケ後ヨコハケ。内面に織機の波状文1条施文の縫は直線的に開く。	粘土: 粗(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R5/6明褐	口縁部1/8残存 全体的に開く。
84-7	S B 504 P 2-2	甕	現存高: 1.1 底径: 9.1	底部から直接肩下位に続く底部。	外ぬき部全体ヨコハケミダリキ。底部もヨコハケ。	粘土: 香港(石灰・輝石・白色粒・赤色粒少量) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/4に近い黃褐色	底部ほぼ完全 底部焼成痕跡あり
84-8	S B 511 覆土	甕	現存高: 4.1 口径: (17.5) 底径: (15.8)	肩部は非常に緩やかに膨らみ、口縁部は外反する。口唇部は開取り。	外ぬき部一巾位ヨコハケ後一巾位ヨコハケ。内面全体ヨコハケ。	粘土: 密(石灰・黒色粒) 焼成: 良 色調: 3Y R6/6橙	口縁部一部1/4残存
85-1	S B 506A P-1	甕	現存高: 19.4 口径: (21.6) 底径: (18.3) 最大径: (22.0)	台付甕。肩部は中位に最大径を有した張りの強い球形部を呈する。側削け腹やや内傾し、口縁部は直線的に外方へ開く。口唇部は直線的に開取り。	外ぬき部中位一巾位ヨコハケ後一巾位ヨコハケ。内面全体ヨコハケ。	粘土: 密(石灰・輝石・黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R5/6明褐	口縁部一部下位1/6残存 外面焼付着

表 8-53 生糞土器観察表 (53)

品目番号	出土遺物	説明	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	地土・集成・色調	備考
85-2	S B 506 覆土	甕	現存高: 15.1 口径: (23.8) 底径: (22.6) 最大径: (26.7)	腹部は中位に最大径を有し、下位に腰を持つ。肩部は直線的に外方へ開く。口唇部は面取り。	外側斜削一肩上位横かいヨコハケ。口縁部一腰下2cm位の直線的部からカーブして、口縁部へ向かって腰部が最も曲屈し、口唇部は直線的に外方へ開く。口唇部は面取り。	粘土: 普通(石英・黑色粒)・白色粒 陶成: やや良 色調: 7.5Y R7/6種	口縫部1/4、瓶頸～肘中位1/3残存 外側斜削着 内面刷付着
85-3	S B 506 P-1-1	甕	現存高: 6.9 口径: (21.6) 底径: (20.6)	肩部はやわらかく張って開部につながる。腰部は円滑ややく屈曲し、口縁部は肥厚し、底縁部は幅広く、底縁部は外側に傾いています。	外側斜削一肩上位常に腰かいヨコハケの後、肩上位一腰下2cm位の直線的部からカーブして、口縁部へ向かって腰部が最も曲屈し、口唇部は直線的に外方へ開く。口唇部は面取り。	粘土: 普通(石英・黑色粒)・白色粒 陶成: 普通 色調: 7.5Y R6/8種	口縫部～肩上位1/3残存 外側保付着
85-4	S B 506 覆土	甕	現存高: 3.9 口径: (20.5) 底径: (18.6)	腰部は腰ややく屈曲し、口縁部は外反し、粘土を外方に折り返す。口唇部は面取り。	外側斜削一肩上位常に腰かいヨコハケの後、肩上位一腰下2cm位の直線的部からカーブして、口縁部へ向かって腰部が最も曲屈し、口唇部は直線的に外方へ開く。口唇部は面取り。	粘土: 普通(石英・黑色粒)・白色粒 陶成: 普通 色調: 5Y R6/6種	口縫部1/2残存 外側保付着 内面磨滅
85-5	S B 506 P-2	甕	現存高: 14.6 口径: 15.8 底径: 15.0 最大径: 14.6	台付甕。口径が腰部、肩部最大径より大きくなる。肩部～腰下2cm位の直線部はほぼ等しい側脚。脚部には下位に最大径を有する腰部の小さい尖頭形を呈する。腰部は腰を直線的に内屈曲する。口唇部は直線的に外大きく屈曲する。口唇部は面取り。	外側斜削一肩上位カーブハケの後、腰下2cm位の直線部からカーブして、口縁部ヨコハケの後ヨコカナ。口唇部ヨコハケの後ヨコカナ。	粘土: 普通(石英・黑色粒)・白色粒 陶成: 普通 色調: 5Y R6/8種	口縫部～肩上位2/3残存 肩上位充存、肩下位3/4残存 外側保付着
85-6	S B 506 覆土	甕	現存高: 6.2 口径: (12.0) 底径: (11.3)	肩部(付)はわずかに張って腰につながる。腰部は内面に腰を有して直角曲線とし、口縁部は直線的に外折する。口唇部は面取り。	外側斜削一肩上位腰かいヨコハケの後、腰下2cm位の直線部からカーブして、口縁部ヨコハケの後ヨコカナ。	粘土: やや密(石英多し 黑色粒) 陶成: 良 色調: 10Y R5/4に近い黄褐色	口縫部～肩上位1/8残存 外側保付着
85-7	S B 506 覆土	甕	現存高: 8.8 底径: 8.4	底部～瓶頸部が直線的に、直立気味に腰ややく付合葉の脚部。	外側斜削部からハナメハケ、底部～脚上位腰かいヨコハケで腰地面も腰かいヨコハケ。 内面全体腰かいヨコカネ。	粘土: 普通(石英・黑色粒)・白色粒 陶成: 普通 色調: 7.5Y R5/6明褐	瓶頸部ほぼ完存
85-8	S B 506 覆土	甕	現存高: 6.2 口径: (15.1)	複合甕。口唇部は腰ややく外反する。複合部は口縁部をわずかに屈曲させた後、直角曲線とし、直角曲線と外屈する。口唇部は面取り。	外側斜削部タマキ後ヨコハケタマギ。ヨコハケ後ヨコカナ。ヨコハケ後ヨコカナの後、腰下2cm位に折り返す。口唇部はヨコハケ後ヨコカナ。	粘土: 普通(石英・黑色粒)・白色粒 陶成: 良 色調: 7.5Y R6/8種	口縫部1/4残存
85-9	S B 506 覆土	甕	現存高: 2.7 口径: (12.8)	折り返し口縁部。口縁部は直線的に外方へ開く。折り返し口唇部は直角曲線と外反する。口唇部は面取り。	外側斜削部腰かいヨコハケ後タマギ。タマギの後ヨコハケタマギ。ヨコハケ後ヨコカナ。腰下2cm位に折り返す。口唇部はヨコハケ後ヨコカナ。	粘土: 硬(輝石・黑色粒) 陶成: 良 色調: 7.5Y R6/6種	口縫部1/3残存
85-10	S B 506 覆土	甕	現存高: (18.0) 口径: (11.6) 底径: (4.2) 最大径: 14.3 底径: 6.2	折り返し口縁部。脚部は中位に最大径を有し、下位に腰を持つ。脚部は直線的に開き、腰下位は直角曲線とつながる。口唇部は腰を張り、腰下位は腰を直線的に外反する。折り返し口唇部は直角曲線と外反する。口唇部は面取り。底面木痕痕あり。	外側斜削一腰ヨコハケタマギ。ヨコハケ後ヨコカナ。腰下位2cm位に腰を張り、腰下位は直角曲線とつながる。口唇部は腰を張り、腰下位は腰を直線的に外反する。折り返し口唇部は直角曲線と外反する。口唇部は面取り。底面木痕痕あり。	粘土: 普通(石英・黑色粒)・黑色粒 陶成: 普通 色調: 7.5Y R6/6種	口縫部～瓶頸1/3、瓶頸1/4、脚上位1/2～瓶頸2/3残存(瓶部一部欠け)
85-11	S B 506 P-1-2	甕	現存高: 12.4 最大径: 26.0	脚部は中位に最大径を有し、下位に腰を持つ。脚部は直線的に開き、腰下位は直角曲線とつながる。口唇部は直角曲線と外反する。口唇部は面取り。	外側斜削ヨコハケタマギ。ヨコハケ後ヨコカナ。腰下位2cm位に腰を張り、腰下位は直角曲線とつながる。口唇部は腰を張り、腰下位は腰を直線的に外反する。折り返し口唇部は直角曲線と外反する。口唇部は面取り。	粘土: 普通(石英・黑色粒) 陶成: 普通 色調: 7.5Y R6/8種	脚部～腰下位1/2残存 外側保付着 外側斜削部底滅
85-12	S B 506A 覆土	甕	現存高: 2.8 底径: (8.4)	短く直立する底の純型。	外側斜削部腰かいヨコハケ。腰下位ヨコハケタマギ。ヨコハケ後ヨコカナ。	粘土: やや密(輝石・黑色粒) 陶成: 普通 色調: 7.5Y R6/8種	底部1/3残存
86-1	S B 512 覆土	甕	現存高: 4.1 口径: (23.3) 底径: (21.1)	脚部は腰を持たずに腰曲し、口縁部は直線的に外方へ開く。口唇部は面取り。	外側斜削部腰下位ヨコハケ。腰下位ヨコハケタマギ。ヨコハケ後ヨコカナ。	粘土: 密(石英・白色粒) 陶成: 良 色調: 7.5Y R7/3に近い黃褐色	瓶頸部～瓶部1/12残存
86-2	S B 512 機上	甕	現存高: 7.4 口径: (16.3) 底径: (15.7) 最大径: 17.0	脚部は上位に最大径を有した脚部を有する。脚部は直線的に外方へ開く。口唇部は直線的に外方へ開く。口唇部は面取り。	外側斜削部ヨコハケ。腰下位ヨコハケ。口唇部ヨコハケ。内面脚部～腰下位カズリ状のナダ。	粘土: 普通(石英・輝石・白色粒) 陶成: やや良 色調: 7.5Y R7/4に近い黄褐色	口縫部～瓶部1/4残存

表 8-54 弥生土器観察表 (54)

断面番号	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
86-3	S B512	壺	現存高: 4.5 覆土	丸く膨らむ壺の胸上位。	外側胸上位ヨコハラミガキ。肩部彫刻痕状文1条鑿成。	胎土: 香椎(石英・輝石・白色粒) 焼成: 黄通 色調: 7.5Y R6/6橙	胸上位1/10残存 全体的に崩滅
86-4	S B512	鉢	現存高: 9.4 覆土	脚下位で高い腰を持って直角底。 腰に屈曲し、腹部は直線的にわたりかに外傾する。底部で最大作を有す。 底部は腰やわに傾曲する。	外側胸上位-中位タケハケ後ヨコハラミガキ一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 香椎(石英・白色粒・黑色粒) 焼成: 黄通 色調: 7.5Y R6/6浅黄褐	脚部1/3、肩部-胸中位1/2残存
86-5	S B512	壺	現存高: 7.1 覆土	底部-腹部は直線的に開く古付型の脚部。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 香椎(輝石・黒色粒) 焼成: 黄通 色調: 5Y R7/7灰	脚部1/3残存(底部欠損)
86-6	S B513 P-1・2	壺	現存高: 9.3 口径: (16.5) 幅径: (16.0) 最大径: (20.0)	脚部は上位に最大径を有した橈形を示す。腹部は腰を持たずに直角底に屈曲し、上縁部は直線的にわたりかに外傾する。口唇部は圓取り。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 香椎(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6橙	脚部-瓶頸1/3、胸上位1/2残存
86-7	S B514 P-4	壺	現存高: 10.4 幅径: 10.6	弧形-脚部が直線的に開く台付型の脚部。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: やや劣(石英・白色粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R5/4に近い黄褐	瓶頸3/4残存
86-8	S B514 P-1	壺	現存高: 15.5 口径: (21.5) 幅径: (18.4) 最大径: (23.1)	脚部の中位に最大径を有した橈形を示す。腹部は腰やわに屈曲し、上縁部は外反する。口唇部は圓取り。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: やや劣(石英・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/6橙	脚部-胸中位1/2残存 外側煤付着
86-9	S B514 P-3	鉢	高さ: 7.7 口径: 8.8 底径: 4.8	小形の鉢。体部は脚が直線的に開き、中位に最大作を有す。上位にわたりかに内傾した脚部を呈する。口唇部は圓取り。口唇部は脇隙に外方へ開く。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 香椎(石英・白色粒・高級灰) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/7灰	脚部3/4、体部2/3残存、 底部完存
86-10	S B514 P-5	壺	高さ: 11.5 口径: 6.6 幅径: 5.4 最大径: 10.3 底径: 6.8	単純口縁部。脚部の位置が高く、脚部の占める割合が高い。腹部は腰を持たず、腰下位に最大作を有す。後脚下位に直角底の開き、腰下位に4脚下位に直角底の開き、腰下位に4脚下位に直角底の開きがある。口唇部は脇隙に外方へ開く。口唇部は圓取り。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: やや粗(石英・赤色粒・黑色粒) 焼成: 黄通 色調: 10Y R7/3に近い黄褐	脚部-瓶頸2/3残存、 肩部-底部完存
86-11	S B514	壺	現存高: (22.9) 覆土	脚部は中位に最大径を有した橈形を示す。腹部は腰を持たず、腰下位に4脚下位に直角底の開きがある。	外側胸上位-ト位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 黄通 色調: SY R6/6橙	肩部-胸上位1/5、胸中位-下位1/4残存
86-12	S B514	壺	現存高: 4.7 口径: (16.8)	複合口縁部。複合部は口縁部を屈曲させて造り出し、直線的に外傾する。口唇部は圓取り。	外側複合部ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキをねじる。	胎土: 香椎(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 黄通 色調: 10Y R7/4に近い黄褐	脚部1/4残存
86-13	S B514	鉢	現存高: 3.6 口径: (12.6) 底径: (9.8)	脚部は腰を持たずに屈曲し、口縁部は腰やわに外反する。口唇部は圓取り。	外側口縁部ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 香椎(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6橙	脚部-瓶頸1/3残存
86-14	S B514 P-2	鉢	現存高: 14.4 口径: 7.6 最大径: 13.5 底径: 6.9	脚部の占める割合の高い直角脚。脚部は中位に最大作を有す。後脚下位に4脚下位に直角底を呈する。腹部は腰下位に4脚下位に直角底を有して屈曲する。	外側胸下位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: やや密(石英・白色粒・赤色粒) 焼成: 春青 色調: 5Y R7/7灰	脚部-底部ほぼ完存
87-1	S B515	壺	現存高: 3.4 口径: (12.2)	瓶底口縁部。口縁部は直線的に大きくなり外方へ開く。口唇部は圓取り。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 香椎(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 春青 色調: 7.5Y R7/6橙	口縁部1/4残存 外側崩滅
87-2	S B515	壺	現存高: 3.0 口径: (20.6)	直線口縁部。口縁部は直線的に大きくなり外方へ開き。I型部付近で開き、内面に面を持つ。II型部は圓取り。	外側胸上位ヨコハラミガキ後一部削損テグ。 内面全体ヨコハラミガキ後一部削損テグ。	胎土: 香椎(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 春青 色調: 5Y R7/7灰	口縁部1/8残存 全体的に崩滅

表 8-55 生死土器観察表 (55)

測量番号	出土遺構	種類	計測高さ(cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	断土・焼成・色調	備考
87-3	S B 515 P-1	板	現存高: 11.1 口径: (23.2)	断土口縁部は縦や横に外反する。縦合部と横部に粘土帶を貼りつけて取り出し、直ぐ断面に外縁する。口唇部は内面に断面内角部の粘土帶を貼りつけてから面取り。	外周縫隙部タハヘ・後タハタマヨガの後一部ナダ。断合部粘土帯ヨコハケ。断合部ヨコハケの後ヨコハマギ。口唇部粘土帯ヨコハマギ。	断土: 密(石灰・輝石・白色粒・黑色粒) 焼成: 及 色調: SY R5/4に近い赤褐色	口縁部1/2残存
87-4	S B 515 壁上	板	現存高: 7.8 口径: (14.6) 断面: (13.4) 最大幅: (13.5)	断面は上位に最大幅を有した部の小さい切妻形を呈する。断部に横に接して直角しく、断部は断続的に外縁する。口唇部は面取り。	外周縫隙中位ヨコハケ。1)縫隙側・側上位ヨコハケ・縫隙部ヨコハケ後ヨコナダ。 内面全体ヨコハケの後、断部に直角に貼り付ける。内面全体ヨコハケ後ヨコハマギ。	断土: 密(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: SY R6/6位	口縁部・側上位1/6、側中位1/8残存
87-5	S B 517 P-3-5	板	現存高: 4.5 口径: (19.8)	折り返し口縁部。口縁部は外縁部に外方へ傾く。折り返し面の断面は直角く、口唇部は面取り。	外周縫隙部タハヘ・折り返し面ヨコハケ。口唇部ヨコナダ。 内面全体ヨコハマギ。	断土: やや密(石灰・輝石・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6位	口縁部1/10残存 全体的に磨滅
87-6	S B 517 P-3-1	板	現存高: 1.6 口径: (17.2) 断面: (17.2)	折り返し口縁部。口縁部は外縁部が見えないほど大きく述べる。折り返し面の断面は直角く、口唇部は面取り。	外周縫隙部タハヘ後タハヘ・ヘタミガキ。折り返し面ナダ。内面ヨコハケ。	断土: 密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6位	口縁部1/8残存
87-7	S B 517 P-3-4	板		折り返し口縁部。口縁部は外縁部が見えないほど大きく述べる。折り返し面の断面は直角く、口唇部は面取り。	外周縫隙部タハヘ・ヨコハケ後ヨコハケ。口唇部ヨコハケ後ヨコナダ。 内面ヨコハケヨコハケ。縦CR L1横位無文1段落文。	断土: 密(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6位	口縁部破片 全体的に磨滅
87-8	S B 517 P-3-2	板	現存高: 2.8 直径: (9.8)	折く直立する型の底盤。	外周全体ヨコハマギヨコハマギキ。底面ヨコハマギ。 内面全体ナダ。	断土: 普通(石灰・輝石・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6位	底部1/4残存
87-9	S B 517 P 1	板	現存高: 6.1 直径: (14.4)	底盤が直く直立してから斜下位が大きく外方へ傾く。	外周全体削除のため刺繡不明。 内面底盤ナダ。断土位ヨコハマギキ。	断土: 密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 中やや軟 色調: 7.5Y R7/6位	断土位・底部1/2残存 全体的に磨滅
87-10	S B 517 P-3-3	板	現存高: 4.8 口径: (23.4)	断土部は大きく外反する。口唇部は面取り。	外周口縁部ヨコハケがわずかに残る。口唇部ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	断土: 普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 3Y R6/6位	口縁部1/10残存 外周剥落
87-11	S B 517 P 2	板	現存高: 10.9 口径: (18.6) 断面: (15.6) 最大幅: (15.6)	断面は中位に最大幅を有した切妻形を呈する。断部は縦や横に屈曲する。口唇部は直線的に外縁する。口唇部は面取り。	外周縫隙上位ナダメハケ。口縫部・断合部ヨコハケ後ヨコナダ。 内面縫隙上位ヨコハケ。ヨコ縫隙・直角ヨコハケ。	断土: 普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6位	口縁部・側上位1/4残存
87-12	S B 518 壁上	板	現存高: 7.7 口径: (13.2) 直径: (7.6)	単純口縁部。断部は直く、口縁部は大きく外反する。口唇部は面取り。	外周縫隙部・断合部タハヘ後タハヘ・ヘタミガキ。口唇部ヨコハケ後ヨコナダ。 内面全体ヨコハマギ。	断土: 密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R4/6位	口縁部・側部1/4残存 内面口縁部・底盤減
87-13	S B 518 壁上	板	現存高: 4.6 口径: (12.0) 直径: (7.4)	単純口縁部。断部は直く、口縁部は直く、断部は直線的に外縁する。口唇部は面取り。	外周口縁部一端ヨコハケ後一部ナダ。断合部ヨコハケ後ナダ。	断土: 普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/6位	口縁部・側部1/6残存 内面断部・底盤減
87-14	S B 518 覆土	板	現存高: 4.6 口径: (12.0) 直径: (7.4)	単純口縁部。断部の位置の直後の部は直く、断部は直線的に外縁する。口唇部は面取り。	外周口縁部一端ヨコハケ後一部ナダ。断合部ヨコハケ後ナダ。	断土: 普通(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/6位	口縁部・側部1/6残存 内面断部・底盤減
87-15	S B 521 覆土	板			外周縫隙ナダの後、ハサウエ工具による複雑文も見ゆる3段落文。	断土: 普通(石灰・長石・輝石・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄緑	側部破片
87-16	S B 521 覆土	板	現存高: 2.8 口径: (12.8)	折り返し口縁部。口縁部は外縁部が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は直角く、口唇部は面取り。	外周口縫隙ヨコハケがわずかに残る。内面全体に直角ヨコハケ跡。1段落文。	断土: 普通(石灰・長石・輝石・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄緑	口縁部1/4残存 全体的に磨滅
88-1	S B 519 覆土	板	現存高: 7.5 口径: 21.5 直径: 20.3	断土位が直くに張って断面につながる。断部は縦や横に屈曲し、口縁部は直く、直線的に外縁する。口唇部は面取り。	外周縫隙上位ヨコハケ。口縫部・断合部タハヘ・ヨコハケ後ヨコナダの後、下端にハサウエ工具で刺みを入れる。 内面縫隙上位ヨコハケ後ナダナ。口縫部一端ヨコハケ。	断土: 普通(石灰・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 黄 色調: 5Y R6/6位	口縫隙・側上位1/4残存
88-2	S B 519 覆土	板	現存高: 4.4 口径: (20.4) 直径: (19.1)	断部は縦を持ったように屈曲し、口縁部は直線的に外縁する。口唇部は面取り。	外周縫隙部・断合部タハヘ。口縫部ヨコハケ後ヨコハマギ。 内面縫隙上位ナダ。口縫部・断合部ヨコハマギ。	断土: 密(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 及 色調: 7.5Y R7/6位	口縫隙・側部1/4残存 88-8と同一側体
88-3	S B 519 壁上	板	現存高: 8.5 口径: 19.8 直径: 18.6	断面が直かに張って断面につながる。断部は縦や横に屈曲し、口縁部は直線的に外縁する。口唇部は面取り。	外周縫隙部一端ヨコハケ。断合部タハヘ・ヨコハマギ・ヨコハケ後ヨコハマギ。 内面縫隙上位ナダ。ヨコ縫隙・直角ヨコハケ後ヨコハマギ。	断土: 普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6位	口縫隙・側部1/4・側上位1部残存

表 8-56 弥生土器観察表 (56)

剖面号	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態的特徴	測量・手法の特徴	施主・焼成・色調	備考
88-4	S BS196 P-1-1	甕	現存高: 10.3 口径: 19.4 底径: 17.3 最大径: 18.4	胴部は下位に最大径を有した張りの小さい縦縫目を呈する。腹部は非常に縦やかに屈曲し、口縫部は外反する。口唇部は内凹り。	外表面が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(4)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: ST R5/6明黄褐色	口縫部2/3、胴部一側中位 底付先序 外直縫付青
88-5	S B 519 覆土	甕	現存高: 3.9 口径: (18.4)	単純口縫部。口縫部は直線的に大きく外方へ開く。(1)唇部は内凹り。	外表面縫目(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 白(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R6/6褐	口縫部1/8残存
88-6	S B 519 覆土	甕		折り返し口縫部。口縫部は大きくて外方へ開く。(1)唇部は内凹り、(2)口唇部は内凹り。	外表面折り返し口縫部(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R6/6褐	口縫部或片 内面磨滅
88-7	S B 519 覆土	甕	現存高: 10.6 底径: 6.6	胴部は中位で最大径を有すると考えられ、下位に腰を持つ。胴下位は直線的に開き、腰以上がわずかに張って肩部につながる。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 白(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: ST R6/6褐	肩部一側中位上半/2残存、 胴下位一肩部完存
88-8	S B S19 P 3	甕	現存高: 8.8 底径: 8.8	底部一側部が直線的に開く右付垂の脚部。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 白(石英・白色粒・黑色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R6/6褐	脚部完存 88-2と同一個体
88-9	S B S196 P-1-2	甕	現存高: 6.4 底径: 9.1	底部一側部が直線的に開く右付垂の脚部。	外表面全体軽い(1)カーブ、(2)直線の複雑な形状を呈する。	施主: 白(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R7/6褐	脚部ほぼ完存(底部欠損)
88-11	S B 526 覆土	甕	現存高: 4.1 底径: 9.3	底部が幅広く直立してから胴下位が大きく外方へ開く。底面部黒灰風あり。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R6/8褐	胴下位1/4残存、底部完存
88-12	S B 526 覆土	甕	現存高: 1.3 底径: (13.8)	幅広く直立する姿の底部。	外表面全体カーブ(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R4/4赤	底部1/8残存
88-13	S B 526 覆土	甕	現存高: 3.1 底径: (8.4)	底部から直接胴下位に続く底の底部。	外表面全体ヨコカーブ(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 10Y R6/4赤	底部1/4残存
89-1	S B 524 覆土	甕	現存高: 3.8 口径: (14.2)	底面部黒灰、口縫部は直線的に外方へ開く。(1)唇部は面取りで、面が大井を向く。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: ST R6/6褐	口縫部1/6残存
89-2	S B 524 覆土	甕	現存高: 21.2 口径: 7.6 最大径: (23.9)	胴部は下位に最大径を有した下膨れの複雑形態を有する。胴上位がわずかに張って頭部につながり、胴部は縦やかに屈曲する。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 白(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R7/6褐	口縫部一側部完全(口唇部欠損)、胴下位1/3残存 胴下位1/3残存 全体的に磨滅
89-3	S B 524 覆土	甕	現存高: 16.1 底径: (23.1)	胴部は中位で最大径を有した下膨れの複雑形態を有する。胴上位がわずかに張って頭部につながり、胴部は縦やかに屈曲する。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: やや白(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R6/8褐	肩部一側中位1/2残存
89-4	S B 524 覆土	甕	現存高: 12.4 口径: (24.1) 底径: (15.4) 最大径: (28.0)	胴部は上位に最大径を有した切跡形を呈する。底部は縦やかに屈曲する。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: ST R5/8明赤褐色	肩部一側中位1/3残存
89-5	S B 527 覆土	甕	現存高: 9.0 口径: (18.4) 底径: (15.4) 最大径: (27.8)	胴部は上位に最大径を有した張りの小さい縦縫目を呈する。底部は非常に縦やかに屈曲し、口縫部は直線的に外反する。(1)唇部は面取り。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R6/6褐	口縫部1/4、胴部一側中位1/3残存
89-6	S B 527 覆土	甕	現存高: 11.7 口径: (18.4) 底径: (15.4) 最大径: (28.0)	胴部は上位に最大径を有した張りの小さい縦縫目を呈する。底部は縦やかに屈曲し、口縫部は直線的に外反する。(1)唇部は面取り。	外表面(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。(3)縫目が(1)直線、(2)カーブと組み合った複雑な形状を呈する。	施主: 青道(石英・白色粒・黑色粒) 焼成: 香道 色調: 7.5Y R4/4褐	口縫部1/2、胴部一側中位1/3残存 外直縫付青

表 8-57 弥生土器観察表 (57)

地番	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
89-7	S B 327 覆土	甕	現存高: 4.0 口径: (20.6) 縦径: (17.6)	脇部は緩やかに屈曲し、口唇部は直線的に外傾する。口部は取扱り。	外周側面一部削除したテハケ。 口唇部ヨコカハケ。 内面全体粗いヨコカハケ。	胎土: やや密(石灰・輝石・白砂粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6暗	口縫部一部頭1/4残存
89-8	S B 529 覆土	甕	現存高: 5.5	なだらかな曲の肩部。	外周側面一部ヨコハラミガキ。肩部は上面に文字状模様文を作り上段R及し、下段S長横模様文進文。 内面全体板付テハケ。	胎土: 密(石灰・良石・輝石・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R5/4に近い褐	肩部1/8残存
89-9	S B 529 覆土	甕	現存高: 1.1 口径: (18.4)	單純口縫型。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。口部は取扱り。	外周全体リコカケ。 内面全体ヨコカハケ。	胎土: 密(石灰・良石・輝石・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6明黄褐	口縫部1/8残存 全体的に審減
89-10	S B 529 覆土	甕	現存高: 4.0 口径: (8.6)	垂直の肩部。	外周全体タハケ箇所ヨコハラミガキ。 内面全体ナデ?	胎土: 密(石灰・良石・輝石・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6明黄褐	頭部1/6残存 全体的に審減
89-11	S B 530 覆土	甕	現存高: 3.6 口径: (16.5)	複合口縫型。複合部は「縫合部を屈曲させ、外側に筋」唇部を貼り付けたり出し、直線的に外傾する。口部は取扱り。	外周口縫部タハケ。複合部粘土部はヨコカハケ。複合部Rと縫合部模様文進文。3本以上1単位の横状模様文を貼りつける。口唇部ヨコカハケ。 内面口縫部ヨコハラミガキ、複合部ヨコカハケの後ナデ。	胎土: 密(石灰・良石・輝石・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/8暗	LJ縫部1/6残存
89-12	S B 530 覆土	甕	現存高: 3.6 口径: (19.2) 縦径: (17.6)	肩部は緩やかに屈曲し、口唇部は直線的に外傾する。口部は取扱り。	外周口縫部一部削除したテハケ。 1沿部ヨコカハケの後、下端にハサ工具で削み入れる。 内面全体ヨコカハケ。	胎土: やや密(石灰・輝石・白砂粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R5/6明褐	LJ縫部一部頭1/8残存 外周保有者
90-1	S B 531 P-5	甕	現存高: 2.9 口径: (21.0) 縦径: (19.0)	肩部は非常に緩やかに屈曲し、口縫部はわずかに外反する。口部は取扱り。	外周口縫部一部削除したテハケ。 1沿部ヨコカハケの後、下端にヘラで削みを入れる。 内面全体ヨコカハケ。	胎土: やや密(石灰・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6明褐	LJ縫部一部頭1/10残存 外周保有者
90-2	S B 531 P-4	甕	現存高: 14.2 口径: (19.0) 縦径: (17.8) 最大径: (20.4)	台形甕。肩部は上位に最大径を有する。母口部は非常によく屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口部は取扱り。	外周肩部ヨコハラミガキがわずかに残る他の部は削除した際調整不良。口部ヨコカハケ。 内面肩部下平ナデ。肩部上位半平ナデ。頭部一部ヨコハラミの後、口縫部ヨコナデ。	胎土: 密(石灰・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6暗	口縫部一部中位1/10残存 外周縫合
90-3	S B 531 P-3	鉢	現存高: 4.7 口径: (11.9) 縦径: (14.6)	肩口部はわずかに張って頸部につながる。器部は腰から屈曲し、腰から外反する。口部は取扱り。	外周口縫部一肩上位ヨコカハケ後丁寧ナデ。口縫部ヨコナデ。 内面肩部ヨコカハケ。口縫部一肩部ナデ。	胎土: 密(石灰・輝石) 焼成: 良 色調: 2.5Y R7/3浅黄	口縫部一肩上位1/8残存
90-4	S B 531 覆土	甕	現存高: 6.7 口径: (15.1) 縦径: (14.6)	肩上位は僅らしく肩部につながる。腰部は腰から屈曲し、腰から外反する。口部は取扱り。	外周肩部一肩上位ヨコカハケ後丁寧ナデ。口縫部ヨコナデ。 内面肩部ヨコカハケ。口縫部一肩部ナデ。	胎土: 密(石灰・白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R7/8暗	LJ縫部一肩上位1/8残存 外周縫合
90-5	S B 531 覆土	甕	現存高: 3.6 口径: (14.7) 縦径: (13.6)	肩口部は僅らしく肩部につながる。腰部は腰から屈曲し、腰から外反する。口部は取扱り。	外周肩部下位ナデの後非常に弱いヨコハラミがわずかに残る。 内面肩部下位ナデ。口縫部一肩部ナデ。	胎土: 密(石灰・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に近い黄褐	LJ縫部一肩上位1/8残存 外周縫合
90-6	S B 531 覆土	甕	現存高: 4.0 口径: (18.6)	半円口縫型。山根部は直線的に外方に開く。口唇部は面取りで、面が丸井を向く。	外周に縫合下平タハケ。肩上半ナメカタの後、口縫部近リコナデ。 口縫部ヨコカハ。	胎土: 密(石灰・輝石・白砂粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6暗	LJ縫部1/10残存
90-7	S B 531 覆土	甕	現存高: 4.0 底径: (9.7)	底部が強く直立してから胴下部が大きく向外へ開く。	外周胴下位ヨコカハミガキがわずかに残る。腰部は腰から屈曲し、腰から外反する。内面全体縫合のため整然不整。	胎土: 密(石灰・輝石・白砂粒) 焼成: 良 色調: 5Y R7/6暗	胴下位一部頭1/3残存 全体的に審減
90-8	S B 533 覆土	甕	現存高: 10.6 最大径: 12.5	肩部は「腰下-下肩」に最大径を有し、下位に接つ底脚部を呈する。胴下部は全線的に開き、胴下部が丸く張って肩部につながる。	外周胴下位ナデナマハケの後、ヨコハラミガキ。またはヨコカハミガキ。腰部一肩部ナデ。	胎土: 密(石灰・輝石・白砂粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6暗	胴下位-胴下位2/3残存
90-9	S B 533 覆土	甕	現存高: 5.9 縦径: 8.8	底部一肩部が直線的に開く肩口部の肩部。	外周全体タハケ。 内面肩部板ナデ。天井部ナデ。底面ナデ。	胎土: やや密(石灰・輝石・白砂粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6明黄褐	頭部1/2残存
90-10	S B 535 P-1-2	甕	現存高: 8.0 口径: 14.3 縦径: 13.0 最大径: 15.0	肩部は上位に最大径を有した張りの小さい複数脚部を有する。肩部は腰から屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口部は取扱り。	外周肩部上位ヨコハケ。口縫部一部ヨコカハ。口縫部ヨコカハ。 口縫部ヨコカハ。	胎土: 密(石灰・輝石・白砂粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6暗	口縫部一部上位2/3残存 外周縫合
90-11	S B 535 P-1-1	甕	現存高: 8.1 口径: 15.9 縦径: 15.3 最大径: 16.8	肩部は「腰下-下肩」に最大径を有する。腰部は腰から屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口部は取扱り。	外周口縫部一肩上位ヨコハケの後、ヨコハラミガキ。腰部の後、口縫部ヨコカハ。内面肩部ヨコカハ後、一部ナデ。	胎土: 密(石灰・輝石) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6暗褐	LJ縫部一部上位ほぼ完全

表 8-58 弥生土器観察表 (58)

断面	出土遺物	調査	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
90-12	S B 535 覆土	便	現存高：13.0 口径：(15.5) 底径：(13.5) 最大径：(17.6)	側部は中位に轍部を有した下部 の複数部を呈する。側面上部は括 らずに底部につながる。輪部は後 半部で大きく外傾する。口唇部は 直面取り。	外側斜面ヨコハケ、輪部下位ヨコ ハケ。口縁部一部に輪内側ナガハ ケ。口唇部は後半部で大きく外傾す る。輪部は直面取り。	胎土：密(石英・輝石・白 色粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	口縁部一部下位1/2残存
90-13	S B 536 覆土	便	現存高：8.8 口径：(26.2) 底径：(22.8)	輪上部は直面取りで複数につながる 輪部は横を持たずに屈曲し、口唇部 部は直面で外傾する。口唇部は直 面取り。	外側斜面ヨコハケ後、輪部下位ヨコ ハケ。口縁部ヨコハケ後、輪部外傾す る。輪部は直面取り。	胎土：密(石英・長石・輝 石・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/0明黄褐	口縁部一部上位1/2残存 外側付着
90-14	S B 535 覆土	便	現存高：8.2 裾部径：11.6	底部一部が直線的に開く台付型 の脚部。	外側斜面ヨコハケ、底部一部脚 タッカ後ナガハケ。 内面底部ヨコハケをナガ前す。天 井部ナガハケ。底面ナガハケ。	胎土：普通(石英・輝石・赤 色粒) 焼成：普通 色調：10Y R5/4に近い黃 褐	脚部5/6残存
90-15	S B 535 覆土	便	現存高：6.1 裾部径：(6.7)	底部一部が直線的に、直立気味 に開く台付型の脚部。	外側全体ヨコハケ後、底部全体 タッカ後ナガハケ。 内面底部ヨコハケの後、脚部全体 板ナガ。大井部ナガ。底面ナガ。	胎土：普通(石英・長石・輝 石・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R5/4に近い黃 褐	脚部上位ほぼ完存、86部1/6 残存
90-16	S B 535 覆土	便	現存高：8.4 裾部径：12.0	底部一部が直線的に開く台付型 の脚部。	外側斜面ヨコハケの後、脚部全体 タッカ後ナガハケ。 内面底部ヨコハケをナガ前す。天 井部ナガハケ。底面ナガ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い橙	脚部ほぼ完存
90-17	S B 535 覆土	便	現存高：6.4	直線的に大きく開く台付型の脚下 位～底部。	外側全体ヨコハケの後、脚部全体 タッカ後ナガハケ。 内面底部ヨコハケの後、脚部全体 板ナガ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/4に近い橙	脚部下部2/3残存 外側二次焼成
90-18	S B 535 覆土	便	現存高：3.4 底径：(9.5)	底部が直立してから脚下位が 大きく外方へ傾く。底面木質痕 あり。	外側全体タッカ後リレヒラミ ナガ。 内面底部ヨコハケ。脚下位ヨコハ ケ後ナガ。	胎土：普通(石英・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/8棕	脚部下位～底部1/3残存 全体的に磨滅
91-1	S B 536 P-1-2	便	現存高：10.9 底径：(16.3) 最大径：(21.3)	台付型、底部は中位に最大径を有 した複数部を呈する。輪部は横や かに直面する。	外側底部上位～中位横ヨコハケ。 内面底部ヨコハケ後ナガハケ。	胎土：やや密(石英・白色 粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R5/4に近い褐	脚部～脚部1/3残存
91-2	S B 536 P-3	便	現存高：5.2 底径：(7.3)	底部一部が直線的に開く低脚の 台付型の脚部。	外側全体ヨコハケ、腰地部ヨコ ハケ。 内面底部全体天井部も含めてヨコ ハケ。底面ナガ。	胎土：やや密(石英・白色 粒) 焼成：普通 色調：2.5Y R7/4に近い赤	脚部完存
91-3	S B 536 覆土	便	現存高：3.9 口径：(21.0)	折り返し口縁部、口縁部は外側が 見えないほど大きく外反する。折 り返し口縁部の断面は四角く、口唇部 は直面取り。	外側底部ヨコハケ、1行ヨコハ ケがむづかに残る他の脚部の との差異不明。 内面底部ヨコハケ後ヨコハケ。 輪部直面取り。	胎土：やや粗(石英・輝石 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/2に近い褐	脚部L/6残存 全体的に磨滅
91-4	S B 536 覆土	便	現存高：2.1 口径：(17.0)	折り返し口縁部、口縁部は外側が 見えないほど大きく外反する。折 り返し口縁部の断面は四角く、口唇部 は直面取り。	外側底部ヨコハケ、折り返し口 ナガ。口縁部ヨコハケ後ヨコハケ。 内面底部ヨコハケをナガ前す。	胎土：やや密(石英・輝石 白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/3に近い黃 褐	口縁部L/6残存
91-5	S B 536 覆土	便	現存高：2.7 底径：(8.0)	底部が直立してから脚下位が 大きく外方へ傾く。	外側全体ヨコハケラミガキ。 内面底部ナガ。	胎土：やや密(石英・輝石) 焼成：普通 色調：5Y R6/6褐	底部1/2残存
91-6	S B 536 覆土	便	現存高：4.2 底径：(13.0)	大型の底部、底部が直立して から脚下位が大きく外方へ傾く。	外側底部タッカ後ヨコハケミ ガキがむづかに残る他の脚部の との差異不明。 内面底部ナガ。	胎土：普通(白色粒・黑色 粒) 焼成：普通 色調：10Y R4/3に近い黃 褐	底部1/2残存 全体的に磨滅
91-7	S B 536 覆土	便			外側全体ナガヨコハケの後、輪部上 部L/R横横構造、下位に輪縫き 波状文を施す。	胎土：やや密(黑色粒) 焼成：普通 色調：2.5Y R5/3黄褐	肩部破片
91-8	S B 536 床面	便		輪部は直面取りで輪部につながる。	内面底部ヨコハケを施す。 内面底部ヨコハケミガキ。	胎土：普通(石英・輝石・白 色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R4/4褐	肩部破片
91-9	S B 536 覆土	便			外側脚部の輪縫文を施す。 内面全体ナガ。	胎土：普通(白色粒) 焼成：やや良 色調：10Y R3/3明褐	肩部破片
91-10	S B 538 <sup>a</sup> P-2-3- 4-5	便	現存高：24.7 最大径：(30.0)	脚部は中位に最大径を有し、下位 には横を持つ複数部を呈する。 輪部は丸く張って膨らむ輪部につな がる。	外側脚半位～下位ヨコハケミガキ。 輪部～脚上位ヨコハケ後ヨコハ ケ。	胎土：やや密(輝石・白色 粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6褐	脚部～脚下位1/3残存

表 8-59 弥生土器観察表 (59)

種類	土壌連続	種	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手土の特徴	施土・施肥・色調		備考
						施土	施肥	
91-11	S B538 覆土	草	現存高: 2.1 葉径: (7.9)	葉部が微く直立してから側立位が大きくなり外方に傾く。表面柔軟度あり。	外側部全体ヨコハケ。葉部→側立位ヨコハケ。	砂土: やや密(石英・輝石) 土面全体細かいヨコハケ。	底土: 1/4残存、底部充てん	
91-12	S B538 P-1	草	現存高: 7.6 葉部径: 10.0	葉部一側面が直線的に開く台付型の脚部。	外過渡部ナメハケ。葉部→側立位ヨコハケ。	砂土: やや密(石英・輝石、白色粒) 内面脚部全体ナメハケ。大根部ナメハケ。葉側ナメハケ。	底土: 1/4残存	
92-1	S B539 P-2	草	現存高: 9.0 口徑: 18.9 葉径: 7.3	根部は鋸く、口輪部は外側が丸並且ほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は面取り。	外過渡部ナメハケ。口輪部クサヨコハケ。口輪部ヨコハケとガキの後、ハサキとミガキの複を強めないとダメです。倒伏し返し脚ナメハケ。内面脚部ナメハケ。	砂土: 普通(石英・白色粒) 土面全体ヨコハケ。口輪部ヨコハケ。	底土: 1/4残存	口輪部→側立位5/6残存
92-2	S B539 P-4	小草	現存高: 2.6 口徑: (10.0)	半輪口輪部は直線的に外方に大きく開く。口唇部は面取り。	外側部全体ヨコハキ。口唇部ヨコヨコハケ。	砂土: 密(石英・白色粒) 土面全体ヨコハキミガキをナメハケ。	底土: 良	1/4輪部1/6残存
92-3	S B539 覆土	草		外唇ナメハケ後ナメハケの後、ハケによる脚輪部を強め。	外唇ナメハケ後ナメハケの後、ハケによる脚輪部を強め。	砂土: 密(石英・白色粒) 土面全体ナメハケ。	底土: 良	脚部破片
92-4	S B539 P-8	小型 草	葉高: 11.4 口徑: (5.5) 葉径: 3.8 最大径: 10.5 葉径: 7.2	半輪口輪部。口唇部は直線的に外側に張り、底径の小さな傾きがある。葉部は最も大きくなる。葉部は葉輪部に外側する。口唇部は面取り。	外側部全体ヨコハキミガキ。葉部→側立位ヨコハキミガキの後、ヨコヨコハキミガキ。内面脚部ナメハケ。	砂土: 普通(石英・白色粒) 土面全体ヨコハキミガキ。	底土: 1/4残存、底部充てん、葉上位、底部充てん	口輪部、側立位→下位1/3残存、葉部→脚上位、底部充てん
92-5	S B539 P-1	草	現存高: 16.4 最大径: 19.9 葉径: 8.5	葉部は中位に最大径を有し、下位には内側を持つ脚輪部を呈する。葉上位は丸く張る。	外側部ヨコハケ後ヨコハケ。脚輪部ヨコハキミガキが強まる。葉面ヨコハケ。	砂土: 普通(白色多少し石英) 土面全体ヨコハキミガキ。	底土: 良	脚位→底部ほぼ光存 外側葉減少 外側保育着
92-6	S B539 P-2 3	草	現存高: 14.2 口徑: (21.0) 葉径: (18.7) 最大径: (20.7)	台付型。脚部は上位に最大径を有する以外は内側を持つ脚輪部を呈する。葉部は葉面から出曲し、口唇部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。	外過渡部全体ヨコハケ。口輪部ヨコハケ→葉部ヨコハケ。葉部ヨコハケ後ヨコハケ。	砂土: 普通(石英・白色粒) 土面全体ヨコハケ。	底土: 1/4残存 外側保育着	脚部→脚上位1/6残存 外側保育着
92-7	S B539b P-1	草	現存高: 11.4 口徑: (20.6) 葉径: (17.0)	脚上位は丸く直線につながる。葉部は内側やかに屈曲し、口輪部は外反する。口唇部は面取り。	外側部全体ヨコハケ。葉部ヨコハケ→葉部ヨコハケ。葉部ヨコハケ後ヨコハケ。	砂土: 普通(石英・白色粒) 土面全体ヨコハケ。	底土: 1/4残存	口輪部→脚上位1/6残存
92-8	S B539b P-2	草	現存高: 9.5 口徑: (20.2) 葉径: (16.8)	脚上位は丸く直線につながる。葉部は葉面から出曲し、口唇部は葉面から出曲る。口唇部は面取り。	外側部ヨコハケ。葉部ヨコハケ。内面脚部ヨコハケ。	砂土: 普通(石英・白色粒) 土面全体ヨコハケ。	底土: 1/4残存	口輪部→脚上位1/6残存 外側保育着
92-9	S B539 P-2 4	草	現存高: 7.0 口徑: (15.4) 葉径: (13.2)	脚部が直線的に傾かず直線的に開く。口唇部は丸く張る。	外側部全体ヨコハケ。口輪部ヨコハケ。	砂土: 密(赤色や少土) 土面全体ヨコハケ。	底土: 良	脚部→脚上位1/3残存 外側保育着
92-10	S B539 P-3	草	現存高: 16.9 口徑: (15.9) 葉径: 14.0 最大径: 15.5 葉部径: 6.9	台付型。葉部の薄い弧形の強度。葉部は上位に最大径を有する。葉の小さい葉輪部を呈す。葉部は非対称や葉面から出曲し、口唇部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。底部は葉面から出曲る。底部は葉面から出曲る。	外側脚部ナメハケ。脚部→側立位ヨコハケ。	砂土: 密(石英) 土面全体ヨコハケ。	底土: 1/4残存	葉上位1/3欠損 外側保育着
92-11	S B539 P-7	草	現存高: 6.4 葉部径: (5.9)	葉部→葉部が直線的に直立側立位間に開く台付型の脚部。	外側部ヨコハケ。道筋→脚上位1事な草。	砂土: 普通(石英・白色粒) 土面脚部全体ヨコハケ。	底土: 良	脚部充てん
92-12	S B539 P-5	草	現存高: 7.9 葉部径: 10.0	葉部→葉部が直線的に直立側立位間に開く台付型の脚部。	外側部ヨコハケ。葉部→側立位ヨコハケ。	砂土: 普通(石英・白色粒) 内面脚部全体ヨコハケ。	底土: 普通(石英・白色粒) 土面脚部全体ヨコハケ。	脚部2/3残存
92-13	S B539 P-6	草	現存高: 7.7 葉部径: (11.0)	葉部→葉部が直線的に開く台付型の脚部。	外側部ヨコハケ。葉部→脚上位1事な草。	砂土: 普通(石英・白色粒) 内面脚部ヨコハケ。	底土: 普通(石英・白色粒) 土面脚部全体ヨコハケ。	脚部ほぼ充てん(葉部)1/2残存

表 8-60 弥生土器觀察表 (60)

開拓	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
92-14	S B539 覆土	壺	現存高: 3.4 口径: (11.2)	底部一帯が底面的に聞く白土層の脚部。	外縁部底付近ヨコハケ。横部トテハケ。 内面全体ナガ。	胎土: やや密(石英・白色) 焼成: 赤色腔 色調: 良 R7 Y 10 R 7/6明黄青	脚部1/4残存 胎土の貼りつけによる補修あり
93-1	S B548 P-1	壺	現存高: 67.0 口径: 31.0 肩径: 15.3 最大径: 51.2 底径: 7.3	大型の複合口縁壺。肩部は中に複数段を有した複雑形状を呈する。底部は腰らぎで、肩部に比べて幅広い。腹部は外反して開く。組合部は内部をわざりて開口部を仕立てる。口縁部に外縁部と断面V字形の軽土帯を貼りつけてから面取り。	外縁部底付近トテハケ。肩下位半タグハケ後、肩下位全体ナガトテハケミラク。肩部一帯に脚部ミコト後ナメヘラゴミ。口縫部既にタグハケ後、口縁部一帯脚部タテヘミラク。組合部ミコトナメ後、焼成度を8万回転に上げる。口縁部ヨコハマガ後ヨコヨカア。内面全体ナグ。脚下位半ヨコハケ。向中央脚部ヨコヨカケ。肩下位上部脚部の内側脚部不平等、肩部一側に脚部ヨコハマガを丁度消す。脚部一側ヨコハマガ。ヨコ脚部粘土層はヨコヨカア。	胎土: 香港(石英・白色腔) 焼成: 赤色腔 色調: 7.5 Y R 7/6赤	ほぼ完形 内面全剥
94-1	S B548 P-10-2	壺	現存高: 7.5 口径: 10.5 肩径: 7.2	単純口縁壺。肩部は僅らに矧ぐ。脚部につながる。口縁部は外側が見えないほど大きく述べる。口部には面取り。	外縁部ヨコタマギヤ。口縫部細かいヨコハケ。脚部一側脚部タグハマギヤ。ヨコ脚部ヨココツマギヤ。 内面全体ヨコハケ後ヨコハマガ。	胎土: 岩(石英・赤色腔) 焼成: 良 色調: 5 Y R 5/6褐青	口縫部一側部1/8残存
94-2	S B548 覆土	壺	現存高: 3.2 口径: (11.2)	単純口縁壺。口縁部は外側が見えないほど大きく外反する。肩上部の輪郭を施すを仕上げ、且つ肩部は面取り。	外縁部ヨコハマガまたはタハケ後ヨコハケ。輪郭部ヨコハマギヤ。輪郭部ヨコハマギヤ。 内面全体ヨコハマガ。	胎土: 岩(石英・白色腔) 焼成: 良 色調: 5 Y R 6/8赤	口縫部1/4残存
94-3	S B548 覆土	壺	現存高: 6.0 口径: (12.4)	平底口縁壺。肩部は僅らに矧ぐ。脚部につながる。口縁部は外側が見えないほど大きく述べる。肩部は面取り。	外縁部ヨコタマギヤ後、ヨコ脚部一側ヨコタマギヤ。脚部上部一側ヨコハマギヤ。 内面全体ヨコハマガ。	胎土: 岩(石英・白色腔) 焼成: 良 色調: 5 Y R 6/6黄赤	口縫部一側部1/6残存
94-4	S B548 P-15	鉢	現存高: 3.9 口径: (12.8)	単純口縁鉢。表面は太く、口縁部は腹面に外反する。ヨコ脚部あり。	外縁部ヨコタマギヤ?。口縫部細かいヨコハケ。ヨコ脚部ヨココタマギヤ。 内面裏部素燒感のため表面不明。ヨコ脚部細かいヨコハケ。	胎土: やや密(石英・輝石・白色腔) 焼成: 良 色調: 5 Y R 6/6黄赤	口縫部1/5残存 全体的に磨滅
94-5	S B548 覆土	壺	現存高: 6.1 口径: (14.2)	折り返し口縁壺。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口部には面取り。	外縁部ヨコハマギヤ後ヨコハマギヤ。折り返し面ナグ。ヨコ脚部ヨココタマギヤ。 内面全体ヨコハマギヤ。輪郭にヨコハマギヤがわずかに残る。	胎土: 香港(石英・輝石・白色腔・赤色腔) 焼成: 良 色調: 7.5 Y R 7/6	口縫部1/6残存
94-6	S B548 P-19-2	壺	現存高: 2.0 口径: (13.6)	折り返し口縁壺。肩部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口部には面取り。	外縁部ヨコハマギヤ後ヨコハマギヤ。折り返し面ナグ。ヨコ脚部ヨココタマギヤ。 内面全体ヨコハマギヤ。輪郭にヨコハマギヤがわずかに残る。	胎土: 岩(石英・白色腔) 焼成: 良 色調: 7.3 Y R 5/6明黄青	口縫部1/6残存
94-7	S B548 P-20	壺	現存高: 6.1 口径: (20.6)	折り返し口縁壺。口縫部は外側が見えないほど大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口部には面取り。	外縁部ヨコハマギヤ後ヨコハマギヤ。折り返し面ナグ。ヨコ脚部ヨココタマギヤ。 内面全体ヨコハマギヤ。輪郭にヨコハマギヤがわずかに残る。	胎土: 密(石英・白色腔) 焼成: 良 色調: 10 Y R 7/6明黄青	口縫部1/4残存 内面ヨコ脚部保付
94-8	S B548 P-19-1	壺	現存高: 6.5 口径: (16.8)	複合口縁壺。口縫部は腰や中に外反する。腹部は肩部は脚部を含まない。外縁部上部を脚部を貼りつけてから出し、直縁部に外傾する。口部には面取り。	外縁部ヨコハマギヤ後ヨコハマギヤ。腰部ヨコハマギヤ後ヨコハマギヤ。 内面全体ヨコハマギヤ。輪郭にヨコハマギヤ。一概ヨコハマギヤを重ねる。	胎土: 密(石英・白色腔) 焼成: 良 色調: 10 Y R 6/6明黄青	口縫部1/2残存
94-9	S B548 P-19-3	壺		口縫部は直線的に外方に開く。口部には面取り。	内面全体ナメハメ。ヨコ脚部ヨココタマギヤ。 内面ヨコハマギヤの後、縁にS R横位輪郭を2段重ね。	胎土: 普通(石英・白色腔) 焼成: 良 色調: 7.5 Y R 6/6	口縫部破片
94-10	S B548 P-2	小口縁壺	腰高: 12.8 口径: 10.9 肩径: 7.1 最大径: 12.5 底径: 6.6	単純口縁壺。脚部は下位に幾段腰を有し、腰付近・脚部下位は輪郭の跡がある。腰部にヨコハマギヤで脚部につながる。腰部は内側に縫合を施す。脚部は腰部がかかる。	外縁部全面磨感のため表面不明。内面腰下位ヨコハマギヤ。脚部上位一側ヨコハマギヤ。 脚部一側部は磨感のため調査不能。	胎土: 密(石英・輝石・砂岩) 焼成: 良 色調: 7.5 Y R 7/6	口縫部一側下位1/4残存、底盤充完 全体的に磨滅

表 8-61 弥生土器觀察表 (61)

樹形	土・地選択	統計的(cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	地土・風成・色調	備考
94-11 S B548 P 3	小 灌木	樹高: 9.2 口径: 7.4 根幅: 7.0 最大径: 10.2 直径: 6.9	半円形種子。樹頂は下位に最大径を有し、葉をつける。葉は直角時に開く。葉端は鋸歯状で、葉脈は直角に走る。葉脈はやかに屈曲し、1枚葉は最も葉脈が外側に開く。葉脈は直角的に外側へ開く。葉脈は直角的に外側へ開く。	外側斜面下位一輪部コハケ後、底部ヨコナガ。側中位ナメハケ。 側上位ナメハケ後、底部ヨコナガ。 側中位ナメハケ後、底部ヨコナガ。 側上位ナメハケ後、底部ヨコナガ。	土: 密(石灰石) 風成: 風 色調: 3Y R6/8位	ほぼ完形(耐候部・部欠損)
94-12 S B548 P 11	小 灌木	樹高: 12.7 口径: (8.0) 根幅: 5.0 最大径: 16.7 直径: 6.6	半円形種子。樹頂は下位に最大径を有し、葉をつける。葉は直角時に開く。葉端は直角に開く。葉脈は直角的に外側へ開く。葉脈は直角に開く。葉端は直角に開く。	外周斜面下位一輪部タケハケ後、底部ヨコナガ。側中位ナメハケ。 側上位ナメハケ後、底部ヨコナガ。 側中位ナメハケ後、底部ヨコナガ。 側上位ナメハケ後、底部ヨコナガ。	土: 密(石灰石・鈣石) 風成: 風 色調: 5Y R6/8位	I級部→葉部1/4残存、耐候部→葉部ほぼ完存 全体的に耐候
94-13 S B548 P 9+10	灌 木	現存高: 7.0	葉端は丸く張って細い葉脈につながる。	外向斜面不規則形ヘラミギキ。 内面全体ヨコハケ。	土: 普通(石灰石・鈣石・白粘土) 風成: 風 色調: 3Y R6/8位	葉部1/3残存
94-14 S B548 P 18	灌	成存高: 18.5 最大径: 20.0 直径: 8.3	樹頂は下位に最大径を有した長い葉脈を呈する。葉は直角に開く。葉端は直角に開く。葉脈につながる。	外周斜面指屈ナテ。側部を伴うナメハケがわざわざに残る。 内面全体ヨコハケ後ヨコヘラミギキ。	土: 密(石灰石・白色粘土・多肉) 風成: 普通 色調: 3Y R6/8位	側上位→葉部ほぼ完存 茎みあり
94-15 S B548 P-9	灌	現存高: 20.0 最大径: 8.8 直径: 20.2	樹頂は下位に最大径を有した下垂形の葉脈形を呈する。葉端は直角に開く。葉脈につながる。	外周斜面下位ヨコヘラミギキ。 上部ヨコタケ後ヨコヘラミギキ。 側部一部ヨコハケ後ヨコヘラミギキ。	土: 普通(石灰石・鈣石) 風成: 普通 色調: 5Y R5/6明鈣赤	葉部→葉部下位1/2残存 全体的に耐候
94-16 S B548 P-5-1	灌	葉端高: 3.5 直径: 7.5	葉端が細く立ち直りから下位に大きく向外へ開く。	外周斜面タケハケがわざわざに残る。 側下位ナメ。	土: 普通(石灰石・鈣石・白粘土) 風成: 普通 色調: 3Y R6/8位	葉下位→葉部完存 内面耐候
95-1 S B548 覆土	草	現存高: 4.6	葉端は途中で棘を持ち、1枚葉端に向かって直立棘棘に外傾する。	外周斜面細いタケハケがわざわざに残る。 内面全体耐候しため調整。下部。	土: 普通(石灰石・鈣石) 風成: 普通 色調: 7.5Y R6/8位	葉部1/6残存(口縁部欠損)
95-2 S B348 覆土	草	現存高: 5.5 口径: (21.0) 根幅: (16.0)	葉端は緩やかに自由に、1枚葉端は直角的に外傾する。下部葉は葉脈が直角に開く。	外周斜面細いヨコタケ後、側部を伴うナメハケ後、ヨコタケ後、下位にヘラで始まりを入れる。 内面全体ヨコハケ。	土: 普通(石灰石・白色粘土) 風成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄緑	口縁部→葉部1/8残存 外縁耐候
95-3 S B548 覆土	草	現存高: 2.7 口径: (13.0)	ヨコハケは直角的に外傾する。1枚葉端は直角に開く。	外周斜面細いタケハケをヨコナギで削除。口縫部ヨコナガ。	土: 普通(石灰石・鈣石・白粘土) 風成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄緑	口縫部→葉部1/6残存 外縁耐候
95-4 S B548 覆土	草	現存高: 15.5 口径: 15.9 根幅: 14.5 最大径: 17.4	付生葉。側部には上位に最大径を有した葉脈形を呈する。葉端は葉脈を直角に開く。葉端は直角に開く。葉脈は直角に開く。	外周斜面下位タケハケ。側部→側位ナメハケの後、側位中位下位の側位に屈曲し、不規則なハラ・ヨコタケ後、ヨコハケ後、1枚葉部→側部タケハケ後1枚ヨコハケ。1枚葉部ヨコハケ後ヨコナガ。	土: やや密(石灰石・黑色粘土) 風成: やや長 色調: 5Y R7/8位	葉部→葉部下位1/2残存
95-5 S B548 P-12-1	灌	現存高: 12.5 口径: (18.0) 根幅: (15.4) 最大径: 17.0	付生葉。葉端は上位に最大径を有した葉脈形を呈する。葉端は葉脈を直角に開く。葉端は直角に開く。葉脈は直角に開く。	外周斜面上位一層位ヨコハケ。ヨコハケ→側部ナメハケ1枚ヨコハケ。	土: 普通(石灰石多し・白粘土) 風成: 黃普通 色調: 5Y R6/8位	口縁部→側中位1/3残存 内面耐候
95-6 S B548 P 10-1	灌	葉端高: 15.5 口径: (16.5) 根幅: (15.7) 最大径: (18.3)	付生葉。葉端は上位に最大径を有した葉脈形を呈する。葉端は葉脈を直角に開く。葉端は直角に開く。葉脈は直角に開く。	外周斜面下位タケハケ後強抜根。 側上位一層位ヨコハケ。側部ナメハケ後、側部ヨコハケ。	土: 普通(石灰石・鈣石・砂岩) 風成: 黃普通 色調: 10Y R6/6位鈣黃	口縫部1/4、葉上位→下位1/2残存 外縁耐候付着
95-7 S B548 P 8	灌	現存高: 16.5 口径: (17.2) 根幅: (15.2) 最大径: (18.3)	付生葉。葉端は中位に最大径を有した葉脈形を呈する。葉端は葉脈を直角に開く。葉端は直角に開く。葉脈は直角に開く。	外周斜面下位タケハケ。側中位ナメハケ後、側上位ヨコハケ。側部ナメハケ後、側上位ヨコハケ。	土: 普通(石灰石・鈣石・白粘土) 風成: 普通 色調: 7.5Y R5/6明鈣	I級部1/6、葉上位→下位1/3残存 内面耐候
95-8 S B548 P-12-2	灌	葉端高: 12.0 口径: (17.0) 根幅: (17.0) 最大径: (19.0)	付生葉。葉端は上位に最大径を有した葉脈形を呈する。葉端は葉脈を直角に開く。葉端は直角に開く。葉脈は直角に開く。	外周斜面中位ヨコタケ後、上位ナメハケ。側部ヨコハケ後、1枚葉部ヨコハケ後、ヨコタケ後。	土: 普通(白色粘土多し・石灰石・鈣石) 風成: 普通 色調: 2.5Y R6/8位	葉部→葉部1/3残存 内面耐候
95-9 S B548 P-16	灌	葉端高: 20.9 口径: (14.0) 根幅: 13.7 最大径: 18.0 直径: 16.0	付生葉。葉端は中位に最大径を有した葉脈形を呈する。葉端は葉脈を直角に開く。葉端は直角に開く。葉脈は直角に開く。	外周斜面タケハケ。底部ヨコナガ。側上位タケハケ後、側上位不規則ナメハケ。	土: 密(砂粒多し・石灰石・鈣石) 風成: 普通 色調: 5Y R7/8位	ほぼ完形(口縫部1/3残存、 耐候部・部欠損) 茎みあり

表 8-62 弥生土器觀察表 (62)

標本番号	出土場所	調査	計測値 (mm)	形態的特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
95-10	S B548 P-13	発	現存高: 7.1 底径: 9.5	底部一帯が直線的に開く台付型の脚部。	外輪側全体を手彫りでタテハケ。底部タテハケなし。 内面輪側ヨコハケ。天井部ナデ。底面削減のため調整小切。	胎土: 普通 (白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R7/8黄	脚部ほぼ完全 (底部1/6欠損) 全体的に整滅
95-11	S B548 P-4	発	現存高: 7.5 底径: 9.8	底部一帯が直線的に開く台付型の脚部。	外輪全体タテハケ。 内面輪全体ヨコハケ。天井部ナデ。 底面ヨコハケ。	胎土: やや粗 (石英・輝石・砂粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6黄	脚部ほぼ完全 (脚部1/3欠損) 外面部減
96-1	S B549 P-2-2	発	現存高: (26.0) 口径: (26.4) 底径: (17.6) 最大径: (29.0) 脚部径: (19.5)	台付型。口径と胴最大径がほぼ同じで、底部の太い脚部。脚部は上位で最も大きさを有した複数脚部を出す。脚部は後方に亘って曲線で、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は肉取り。	外輪側脚部ヨコハケ。脚下位一帯上部タテハケ。脚上位ヨコハケ。 口縁部一帯脚部ナデハケ後一部コロコロ。口唇部ヨコハケ後一部コロコロ。内面輪側脚部ナデ。天井部削除ナデ。 食器面ヨコハケ。口縁部一帯脚部ナデコロコロ後一部コロコロ。	胎土: やや粗 (石英・白色粒多し) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6黄	口縁部一帯脚部1/3欠損、 脚部ほぼ完全
96-2	S B549 P-3-6	発	現存高: 16.8 口径: 18.8 底径: 18.3 最大径: 19.5	台付型。口径、頸部、胴最大径がほぼ同じで、底部の細い脚部。脚部は上位で最も大きさを有した複数脚部を出す。脚部は後方に亘って曲線で、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は肉取り。	外輪側下位一帯底部ヨコハケ。 脚上位一帯中位ハサカナナハケ。脚部ヨコハケ。 内面輪側上位一帯脚部ナデ。脚部全体ナデ。	胎土: やや粗 (石英・白色粒多し) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6黄	口縁部一帯底部ほぼ完全 脚部1/4欠損
96-3	S B549 P-8-2	発	現存高: 12.9 口径: 15.4 底径: 14.1 最大径: 16.4	台付型。脚部は上位で最大径を有する複数脚部を呈する。脚部は後方に亘って曲線で、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は肉取り。	外輪側全体ナメハケ。口縁部一帯ヨコハケ。脚部ヨコハケ後一部コロコロ。内面輪側上位一帯脚部ナデ。脚部全体ナデ。	胎土: 普通 (石英・白色粒多し) 焼成: 黄 色調: 5Y R6/6黄	口縁部一帯脚部1/4欠損 脚部1/4残存
96-4	S B549 P-2-1	発	現存高: 17.8 口径: 21.6 底径: (19.4) 最大径: (25.2)	台付型。脚部は中位で最大径を有する複数脚部を呈する。脚部は後方に亘って曲線で、口縁部は直線的に外傾する。口唇部は肉取り。	外輪側中位ヨコハケの不規則ハケ。脚上位タテハケ。 内面輪側ヨコハケ後一部コロコロ。内面輪側中位ヨコハケ。脚上位ヨコハケ後一部コロコロ。	胎土: 普通 (白色粒多し 石英・輝石) 焼成: 黄 色調: 5Y R7/8黄	口縁部1/4、脚上位一中位 1/2残存 全体的に整滅
96-5	S B549 P 8-1	発	現存高: 10.1 底径: 7.6	台付型。高部一帯下位は直線的に外方に開く。脚部は底部一帯脚部が直線的に、直立立体形に開く。	外輪側全体タテハケをナメなし。 脚下位タテハケ後一部ヨコハケ。 内面輪側ヨコハケ後一部コロコロ。脚上位ヨコハケ後一部ナデ。	胎土: 普通 (白色粒多し 石英) 焼成: 普通 色調: 2.5Y R6/6黄	脚下位1/4残存、脚部完全 無
96-6	S B549 覆:	発	現存高: 17.6 底径: 10.0	台付型。腹部が大きく、長角の脚部。脚部は上位で直線的に外方に開く。脚部は底部一帯脚部が直線的に、直立立体形に開く。	外輪側脚部細かいタテハケ。脚上位ヨコハケ。底部ハサカナナハケ。底部ハサカナナハケを統合してヨコハケ。脚下位タテハケ。脚部全体ナデ。	胎土: やや粗 (石英・白色粒多し) 焼成: 黄 色調: 7.5Y R7/8黄	脚中部一帯脚部1/3残存、 脚部完全 外輪側脚部着 内面輪側
97-1	S B549 P-4	発	現存高: 6.7 口径: (17.8)	複合口縁部。脚部は腰やかに外反する。腹部は上位では直線的に開く。脚部は底部一帯脚部が直線的に開く。	外輪側全体タテハケ後ヨコハケ。口縁部ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土: 普通 (白色粒多し 石英) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄	脚部1/2残存 内面輪側
97-2	S B549 P-16	發	現存高: 29.6 口径: (18.5) 底径: (18.0) 最大径: (23.8) 底径: (9.6)	単口縁部。脚部は上位に直線的に開く。腹部は腰やかに外反する。腹部は上位では直線的に開く。脚部は底部一帯脚部が直線的に開く。	外輪側脚部ナデハケ。脚部上位ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ナデ。脚部ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ナデ。	胎土: 普通 (石英・白色粒多し 石英) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6黄	脚部1/3残存、脚部完全、 脚部1/4、底部1/2残存 外輪側脚部着、 内面輪側
97-3	S B549 P-11	発	現存高: 21.5 口径: (13.4) 底径: (9.2) 最大径: (19.9) 底径: (9.4)	単口縁部。脚部は上位に直線的に開く。腹部は腰やかに外反する。腹部は上位では直線的に開く。脚部は底部一帯脚部が直線的に開く。	外輪側脚部ナデハケ。脚部上位ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ナデ。脚部ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土: 普通 (石英・白色粒) 焼成: 普通 色調: 3Y R6/6黄	脚部1/3、脚部完全、 脚上位1/4位1/2残存、脚下位一中位 1/2残存 全体的に整滅
97-4	S B549 P-7	発	現存高: 7.0 底径: 9.8	脚部は下位に腰を持つ。脚部下位は大きく外方へ開き、中位は内気張りで、脚部は直立する。	外輪側上位ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ナデ。脚部ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ナデ。脚部ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土: 普通 (石英・白色粒多し) 焼成: 黄 色調: 10Y R7/6黄	脚中部1/6残存、脚部完全 脚部1/6
97-5	S B549 覆:	発		脚部は下位に腰を持つ。脚部下位は大きく外方へ開き、中位は内気張りで、脚部は直立する。	外輪側上位ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ナデ。脚部ヨコハケ後ヨコハケ。脚部ナデ。脚部ヨコハケ後ヨコハケ。	胎土: 普通 (石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成: 黄 色調: 10Y R6/6黄	脚部破片

表 8-83 弥生土器観察表 (63)

順番	出土遺構	種類	計高さ(cm)	形態の特徴	調整・手すきの特徴	助土・や成・色調	備考	
							現存第2/3、底部～胴部上位 1/4現存	
97-6	S B 541 覆土	壺	現存高：12.6 口徑：10.0 底径：(8.1)	半球口縁部。肩部がむちくに張つて軽く膨らみながら、腹部は直線的にわざかに外方へ開く。口唇部は直線的にわざかに外方へ開く。口唇部は直線的にわざかに外方へ開く。	外側面中央にコハラミガキ。口唇部一肩部ナメハケの後、肩部は2本以上に単位の複数浮文で仕切られ、口唇部は一部タケラミガキ。口唇部はコハラミガキ。内匠肩部一肩上位コハラミガキ。底部コハラミガキ。	助土：やや密(石英・黒色粒) 底成：良 色調：5Y R6/8様		
97-7	S B 541 覆土	壺	現存高：9.7	肩上位は丸く張って肩部につながる。	外側全体コハラミガキ。 内側胴部下～中位コハラケの後、胴中位2ナギ。肩部ナギ。	助土：普通(石英・輝石・白色粒少量) 底成：良 色調：7.5Y R6/8様	肩部～胴上位1/4現存	
97-8	S B 541 覆土	壺	現存高：1.7 口径：(7.6)	短く直立する壺の式部。	外側肩部リコナギ。 内側全体被削のため調整不明。	助土：普通(石英・輝石・白色粒少量) 底成：普通 色調：7.5Y R7/6様	底部1/2残存 全体的に着色	
97-9	S B 541 覆土	壺	現存高：2.1 底径：(8.6)	短く直立する壺の式部。	外側全体コハラミガキの後、底部コナギ。 内側肩部テア。肩下位コハラケ。	助土：普通(石英・白色粒・黒色粒・赤色粒) 底成：普通 色調：7.5Y R6/6様	底部1/4現存	
97-10	S B 541 覆土	壺	現存高：4.2 口径：(23.8) 底径：(21.6)	肩部は非常に緩やかに屈曲し、口唇部は外反する。口唇部は面部を示す。	外側肩部コハラケ。口唇部コハラケ後コロナギ。 口唇部リコハケ。内面全体コハラケの後、口唇部コナギ。	助土：普通(石英・白色粒・黒色粒・赤色粒) 底成：普通 色調：5Y R7/8様	口唇部～底部1/12残存	
97-11	S B 541・542 P-1	壺	現存高：7.2 底部径：10.1	底面～腰部が直線的に開く、口唇部の肩部。	外側腰部細かいリコマヨはナメハケ。肩上位ナギ。底部タケラミガキ後ナギ。 内面腰部細かいリコマヨはナメハケ。肩上位ナギ。底部タケラミガキ後ナギ。	助土：やや密(石英・輝石・白色粒) 底成：やや長 色調：10Y R6/4に近い黄 褐	脚部3/4現存	
97-12	S B 542 覆土	壺	現存高：2.2 口径：(16.2)	折り返し口縁部。口唇部は大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は直立する。	外側口縁部タケラミガキ後タケラミガキ。肩上位ナギ。底部タケラミガキ後ナギ。 内面全体コハラケ後コロナギ。口唇部コハラケ後ナギ。	助土：普通(石英・輝石) 底成：良 色調：5Y R6/8様	口唇部1/8現存	
97-13	S B 547 覆土	壺	現存高：3.3 口径：(16.3) 底径：(16.5)	肩部は非常に緩やかに屈曲し、口唇部はわざかに外反する。口唇部は面部を示す。	外側口唇部～脚部コハラケ。口唇部リコハケ後コロナギ。内面全体コハラケ。	助土：やや密(石英・輝石・白色粒) 底成：中・良 色調：10Y R5/3に近い黄 褐	口唇部～底部1/4現存 外蓋付着	
98-1	S B 550 P-1	壺	現存高：15.6 口径：18.3 底径：16.6 最大径：18.1	口唇部、腰部が円柱状に最大径を有した付近の小さい凹部側面を基準とする。肩部は腰上位たゞに屈曲し、口唇部は直線的に開く。口唇部は直立する。	外側脚部下位細かいタテハケ。胴上位～脚部細かいタメハケ。口唇部リコハケ後コロナギ。内面全体コハラケ。	助土：普通(輝石・白色粒・赤色粒) 底成：やや良 色調：7.5Y R7/6様	口唇部～脚部中位2/3残存、 脚下位ほぼ完存 底あり	
98-2	S B 550 覆土	壺	現存高：5.1 口径：(24.5)	複合口縁部。複合部は口唇部を直線化させ、外側部に粘土帶を貼りつけで造り立てる、直線的に外傾する。口唇部は直立する。	外側腰部以下ナギケ？肩上位ナギナメハケがむちくに残る。口唇部コロナギ。 内面全体細かいコロハケ。	助土：粗(輝石・白色粒) 底成：普通 色調：10Y R7/4に近い黄 褐	口唇部1/12残存 全体的に着色	
98-3	S B 550 覆土	壺	現存高：5.5 口径：(16.0)	複合口縁部。肩部は大きく外反する。複合部は口唇部を直線化させ、外側部に粘土帶を貼りつけで造り立てる、直線的に外傾する。口唇部は直立する。	外側口唇部ナメハケ。複合部脚部リコハケ。複合部リコハケ後コロナギ。内面全体細かいコロハケ。	助土：やや粗(輝石・白色粒・赤色粒) 底成：普通 色調：7.5Y R7/6様	口唇部1/3残存 内面着色	
98-4	S B 550 覆土	壺	現存高：3.6 口径：(18.0)	肩上位は直らずに屈曲につながる。筋部は非常に緩やかに開角し、口唇部は直線的に大きくなり外傾する。口唇部は直立する。	外側口唇部～胴部コハラケ後タケラミガキ。折り返し面、口唇部ナギ。 内面全体細かいコロハケ。	助土：やや密(石英・輝石・白色粒・黒色粒) 底成：普通 色調：7.5Y R6/6様	口唇部～胴上位1/10残存 全体的に着色	
98-5	S B 550 小布蔵	壺	現存高：1.8 口径：(5.1)	折り返し口縁部。口唇部は直線的に大きくなり外方へ開き、口唇部は直線的に大きくなり外傾する。口唇部は直立する。	外側口唇部タメハケ後タケラミガキ。折り返し面、口唇部ナギ。 内面全体細かいコロハケ。	助土：やや密(黑色粒) 底成：普通 色調：10Y R6/6現黄褐色	口唇部1/10残存	
98-6	S B 550 覆土	壺	現存高：3.2 口径：(12.2)	折り返し口縁部。肩部は大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、口唇部は直立する。	外側口唇部タメハケ後タケラミガキ。折り返し面、口唇部ナギ。 内面全体着色のため調整不明。	助土：やや粗(石英・輝石・白色粒) 底成：普通 色調：7.5Y R7/6様	口唇部1/4残存 全体的に着色	
98-7	S B 550 鉢 覆土	鉢	著高：3.0 口径：(8.4) 底径：(5.3)	小型の鉢。体部は直線的に外方へ開く。口唇部は直立する。	外側体部ナギ。口唇部コロナギ。 内面全体コハラケ後板ナギ。	助土：やや粗(白色粒多し 石英・輝石) 底成：普通 色調：10Y R6/4に近い黄 褐	口唇部1/2残存	

表 8-64 弥生土器観察表 (64)

番号	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	施土・焼成・色調	備考
98-8	S B 556 覆土	壺	現存高：2.6 底径：(11.3)	底部から直接剥下位に続く壺の底部。	外側全体タテハラミガキ後一箇なだす。 内面全体磨滅のため調整不明。	施土：普通(石英・輝石・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6擦	表面1/8残存 全体的に磨滅
98-9	S B 550 覆土	壺	現存高：2.2 底径：(11.4)	短く直立する壺の底部。底面木痕あり。	外面全体コロヘラミガキ。 内面全体ヨコハケの後、底面木痕なし。	施土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/4に近い橙	底面1/4残存
98-10	S B 550 覆土	壺			外側剥下位ヨコヘラミガキ。 肩部ノケ工具による範囲文施文。 内面全体ナダ。	施土：普通(石英・輝石・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R8/6残黄褐	肩上位被膜 全体的に磨滅
98-11	S B 551 覆土	壺			外側全体ヨコハケの後、ハケ工具で羽状の範囲を3段施文。 内面全体ヨコハケ。底面ヨコヘラミガキ。	施土：密(黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6残	肩部板片
98-12	S B 551 覆土	壺			外側全体ヨコハケの後、ハケ工具で羽状の範囲を3段施文。 内面全体ヨコハケ。底面ヨコヘラミガキ。	施土：やや密(白色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黃白	肩上位被膜
98-13	S B 552 覆土	壺	現存高：9.2 口径：(11.4) 底径：(10.8) 最大径：(11.5)	台形壺。壺部は上位に最大径を有して折りの小さい複数部を有する。 壺部は非常に艶やかに磨出し、口縁部は斜めに、直線的にむわむわに外側する。口唇部は凹取り。	外側全体ヨコハケの後、上段1.8 横幅以下、下段削除後斜状文施文。 内面全体ナダ。	施土：普通(黑色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6擦	上縁部-肩部1/4残存
98-14	S B 552 覆土	壺	現存高：2.7 口径：(11.0) 底径：(9.9)	壺部は横を持たずに扭曲し、U字形 部は割く、圓錐的に外反する。U字 部は凹取り。	外側全体ヨコハケの後、肩上位 U字形部ナダ。口唇部ヨコハケ。 内面剥下位ヨコハケ。肩上位板ナ ダ。U字形部ヨコハケ後ヨコ ヘラミガキ。	施土：密(黑色粒) 焼成：良 色調：5Y R6/6擦	口縁部-肩部1/8残存
98-15	S B 552 覆土	壺		U字形部は大きく述べ外反し、外側の輪 郭部を削ぎ落すに仕上げる。口唇部は 凹取り。	外側U字形部ナダ。口唇部ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	施土：普通(白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6擦	U字形部破片 外面焼付層
98-16	S B 552 覆土	壺	現存高：10.2 口径：(16.6) 底径：(15.5)	肩上部が丸く張って輪郭につながる。 壺部は艶やかに屈曲し、口縁部は 斜め直線的に外反した後、口唇部付 近でむわむわに外反する。口唇部は 凹取り。	外側剥下位ヨコハケ。U字形部 削除後ヨコハケ。U字形部ヨコ ハケ。内面剥下位ヨコハケ。 内面肩部上位磨滅のため調整不明。 U字形-肩部はいりヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。	施土：粗(白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/4に近い黃白	口縁部-肩部1/4残存
98-17	S B 552 覆土	壺 鉢	現存高：2.5 口径：(19.0)	折り返し口唇部を持つ壺または壺。 口縁部はむわむわに外反する。折り 返しの折部は四角く、U字形部は 凹取り。	外側口縁部ヨコハケ。口唇部ヨコ ハケ。 内面全体ヨコハケ。	施土：粗(石英・黑色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/6明黄褐	口縁部1/5残存 外面焼付層
98-18	S B 552 覆土	壺	現存高：2.8 口径：(16.2)	口縁部は大きく述べ外反する。口唇部 は凹取り。	外側口縁部タテハケ。口唇部ヨコ ハケ。 内面全体ヨコハケ。	施土：密(輝石・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R5/6明褐	底面1/4残存
98-19	S B 552 覆土	壺	現存高：2.8 底径：(9.6)	短く直立する壺の底部。底面木痕 あり。	外側底部ナダ。肩下位ナメヘラ ミガキ。 内面全体ヨコハケ。	施土：普通(輝石・黑色粒・ 白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R4/6	底面1/4残存
98-20	S D552④ 覆土	壺	現存高：2.4 底径：(10.2)	短く直立する壺の底部。	外側全体ヨコハケ後一箇なだす。 内面全体ヨコハケ。	施土：粗(輝石・黑色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/6に近い黃白	底面1/4残存
98-21	S B 552 覆土	壺	現存高：2.7 底径：(10.2)	底部から直接剥下位に続く壺の底 部。	外側全体タテハケ後ナダ。 内面全体ナダ。	施土：普通(黑色粒) 焼成：やや良 色調：10Y R6/4に近い黃白	底面1/4残存
98-22	S B552④ 覆土	壺	現存高：(8.6) 底径：(9.2)	底部-壺部が直線的に開く台形 の脚部。	外側脚部削いタテハケ。底部細か いヨコハケ。 内面脚部ヨコハケ。大井井ナダ。 剥下位-底面ナダ。	施土：粗(輝石・白色粒・ 黑色粒) 焼成：やや良 色調：7.5Y R6/6擦	底部-脚上位1/2、脚部1/ 4残存 脚部磨滅
98-23	S B552④ 覆土	壺	現存高：7.4 底径：9.0	底部-壺部が直線的に開く台形 の脚部。	外側脚部ヨナメハケ。底部-脚上 位タテハケ後板ナダの後、全体ナ ダ。 内面脚部ヨナメハケ。U字形ヨコハ ケ。	施土：やや密(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：やや良 色調：7.5Y R5/6	脚部3/4残存(底面欠損) 外面焼付層
98-24	S B554 P-2	壺	現存高：3.2 口径：(19.1) 底径：(16.4)	壺部は非常に艶やかに屈曲し、口 縁部は外反する。U字形部は凹取 り。	外側U字形部-脚部ヨコハケ後ナ ダ。U字形部ヨコハケの後、下端にハ ケ工具で凹みを入れる。 内面脚部ヨナメハケ。	施土：普通(石英・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6擦	U字形部-脚部1/2残存 外側焼付層
98-25	S B554 P-1	壺	現存高：3.8 口径：(11.6) 底径：(5.0)	折り返し口縁部。壺部は丸く、口 縁部は大きく外反する。折り返し の折部は凹向く、口唇部は凹取 り。	外側U字形部タテハラミガキ。折り 返し口ナダ。U字形部ヨコハケ。 内面全体ナダ。	施土：普通(石英・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6擦	U字形部-脚部1/2残存 全体的に磨滅

表 8-65 弥生土器観察表 (85)

地番	出土遺物	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手掘り	地土・焼成・色調	備考
99-1	S B536A 裏土	甕	現存高: 4.5 口径: (19.4) 底径: (17.6)	胴は丸く張って輪郭にはつながらる。口部は穂やかに笠形し、口縁部は外反する。口唇部は面取り。	外側に輪郭と胴上位部がかいグラフア。口唇部がカーブの後、下端にコテ型みをもつ入る。 内面輪上位板ナギ。ご縁部～瓶底ヨコハケ後一部分ナギ。	地土: 普通(石英・長石・輝石・白色粒) 焼成: 良色調7.5Y R6/6焼	口縁部～胴部1/8残存
99-2	S B536A 裏土	甕	現存高: 4.4 口径: (18.0) 底径: (17.0)	胴部は非常に腰やかに屈曲し、口縫部はすこし外反し、外側の輪郭を引き出す。口唇部は面取り。	外側に輪郭とヨコハケがありわざかに傾く。 内面輪上位板ナギ。口唇部コナ�다。 内面全体相いヨコハケ。	地土: 普通(石英・長石・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6焼	LJ縫形～瓶部1/8残存
99-3	S B536A 裏土	甕	現存高: 7.6 口径: (13.6) 底径: 11.6 最大径: 14.3	胴部は上位に最大径を有した腰形を示す。底部は腰やかに屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。	外側に輪郭とヨコハケがありわざかに傾く。 内面輪上位板ナギ。口唇部～瓶底ヨコハケ後一部分ナギ。 内面輪上位板ナギ。ご縁部～瓶底ヨコハケ後一部分ナギ。	地土: やや赤(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6焼	口縫部～胴上位2/4残存
99-4	S B536A 裏土	甕	現存高: 11.2 口径: (19.4) 底径: (13.8)	胴部は下位に最大径を有した腰形を示す。底部は腰やかに屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口唇部は直角取り。	外側に輪郭とヨコハケがありわざかに傾く。 内面輪上位板ナギ。口唇部～瓶底ヨコハケ後一部分ナギ。 内面輪上位板ナギ。ご縁部～瓶底ヨコハケ。	地土: 稲(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6焼	II縫部～胴中位1/6残存 外縫煤付帯 全体的に磨削
99-5	S B536C 裏土	甕	現存高: 9.4 口径: (20.4) 底径: (17.4) 最大径: 21.8	胴部は上位に最大径を有した腰形を示す。底部は腰やかに屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口唇部は直角取り。	外側に輪郭とヨコハケ後一部分ナギ。 内面輪上位～4位傾斜ヨコハケ後一部分ナギ。口唇部第一最高傾斜ヨコハケ。 内面全体相いヨコハケの後、腰上位一部、直位、直位。	地土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6焼	口縫部～胴上位1/8残存
99-6	S B536C 裏土	甕	現存高: 8.2 口径: (21.0) 底径: (18.4)	口唇部が丸く張って輪郭にはつながる。底部は腰やかに屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。	外側に輪郭とヨコハケ後一部分ナギ。 内面輪上位～4位傾斜ヨコハケ後一部分ナギ。口唇部第一最高傾斜ヨコハケ。 内面全体相いヨコハケの後、腰上位一部、直位、直位。	地土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6焼	口縫部～外縫部1/5残存 外縫煤付帯
99-7	S B536C 裏土	甕	現存高: 4.1 口径: (18.0) 底径: (15.8)	底部は非常に腰やかに屈曲し、口縫部は直線的に外傾する。口唇部は面取り。	外側口縫部～瓶底ナギメハサガわざかに残る。口唇部コナダ。 内面輪上位板ナギ。ご縁部～瓶底ヨコハケ後ナギ。	地土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6焼	口縫部～頭部1/8残存 全体的に磨削
99-8	S B536C 裏土	甕	現存高: 2.4 口径: (15.0)	口縫部は直線的にわざかに外傾する。口唇部は面取り。	外側口縫部～瓶底ナギメハサガ。口唇部ヨコハケ後ナギ。 内面全体相いヨコハケの後、腰上位ナギ。	地土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6焼	口縫部1/4残存 外縫煤付帯
99-9	S B536C P-1	甕	現存高: 12.2 最大径: (18.0)	胴部は下位に最大径を有した腰形を示す。底部は直角取り。	外側輪下位からヨコハケ。胴中位直位からヨコハケ後板ナギ。 内面全体相いヨコハケ後板ナギ。	地土: やや赤(石英・長石・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6焼	胴中位～下位1/3残存
99-10	S B536C 裏土	甕	現存高: 4.4 口径: (22.7)	複合口縫部。複合部はII輪部を左回りで右回りし、外側に筋状部を貼りつけたもの。高部に直角に窓あり。口縫部は直角取り。	外側複合筋部上部はナギ。複合部ヨコハケ後一部分ナギの後、横吹浮文を貼りつける。口唇部コナダ。 内面全体ヨコハケ後ナギ。	地土: 普通(白色粒多少し石英・長石・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/6焼青褐	口縫部1/8残存
99-11	S B536C 高 厚 土	甕	現存高: 4.7 口径: (25.8)	胴部は直線的に直角に窓あり。口縫部は直角取り。	内面環部タグヘラミガキ。口唇部ヨコハケ。 内面輪下位直位ヨコハケ後、环タグヘラミガキ。	地土: 黒(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6焼青褐	环部1/6残存
99-12	S B536C 小 厚 土	甕	現存高: 1.3 口径: (9.3)	折出式口縫部。口縫部は直角形で、内側に筋状部を貼りつけたもの。大きめに外反する。口縫部は直角取り。	外和口縫部ヨコハケ後一部分ナギ。 内面輪下位直位ヨコハケ後コナダ。	地土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R4/2赤青褐	口縫部1/8残存
99-13	S B536C 裏土	甕	現存高: 7.8 底径: (10.6)	直角口縫部が直線的に開く台付甕の脚部。	外側全体ヨコハケ後ナギ。 内面輪部ヨコハケ、底ヨコハケ。	地土: やや赤(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6焼	脚部1/4残存
99-14	S B536C 裏土	甕	現存高: 4.8 底径: 10.6	直角～横部が直線的に開く台付甕の脚部。	外側全体ヨコハケ後ナギ。 内面全体ヨコハケ後ナギ。	地土: 普通(石英・長石・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R5/6黄褐	脚部3/4残存
99-15	S B536 裏土上層	甕	現存高: 2.1 口径: (23.0)	折り返し口縫部。口縫部は外反しないほど大きく外反する。折り返し面の断面は三角形を呈し、口唇部は直角取り。	外側口縫部直いヨコハケ。折り返し面の断面ヨコハケ後コナダ。 内面全体ヨコハケ後ナギ。	地土: 黒(石英・輝石) 焼成: 良 色調: 5Y R5/6明赤褐	口縫部1/8残存
99-16	S B536 裏 土上層	甕	現存高: 6.2 底径: (9.4)	直角～脚部が直線的に開く台付甕の脚部。	外側複合部ナギ。底上位ヨコヘラミガキ。 内面輪部ヨコハケ後、天井部ナギ。底ヨコハケ。	地土: 黑(石英・白色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/4赤青褐	脚部1/4残存
99-17	S B536 P-7	甕	現存高: 2.2 底径: (8.6)	直角直立する蓋の底面。	外側底部ナギ。底下ヨコヘラミガキ。 内面底部ヨコハケ後、剥離部かいヨコハケ。	地土: 普通(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/8焼	底部1/2残存

表 8-66 弥生土器観察表 (66)

試験	出土遺物	種	計病跡 (cm)	形態の特徴	割鑿・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
99-18	S B556 覆土上層	壺	現存高: 1.6 口径: (9.2)	短く直立する壺の底部。	外側全体ヨコヘラタガキ。 内面全体板ナゲ。	胎土: やや粗(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R 4/3にぼい黄 物	底部1/6残存
99-19	S B556 覆土上層	壺	現存高: 2.7 口径: (25.8)	口縁部は傾かに外反する。口付部 部は圓取り。	外側に縦割ナメハケ後ヨコカケ。 1回ヨコカケの後、下端にへら で開口を入れる。 内面全体ヨコカケ後一部ケダ。	胎土: 香遁(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 5/6明赤褐	口縫部1/8残存 外側保付着
99-20	S B556 覆土上層	壺	現存高: 6.2 口径: (12.8) 肩径: (12.6) 腹大径: (14.2)	胴部は1位に最大径を有した後り の小さい横割形を呈する。肩部部 を特に出す出し、口縁部は傾か に外反する。口部部は圓取り。	外側に縦割ナメハケ後ヨコカケ。 1回ヨコカケの後、下端にへら で開口を入れる。 内面全体ヨコカケ後一部ケダ。	胎土: 香遁(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 5/6明赤褐	U縫部~肩上位1/6残存
100-1	S B557A P-1・2	壺	現存高: 19.3 口径: (25.4) 肩径: 22.1 腹大径: 25.6	台付壺。口縁部が側面大径より大き い箇所で、肩部は中位に最大径を有 した複雑形を呈する。肩部部 に腰やねに周出し、U縫部は大きく 外反する。1回肩部は圓取り。	外側に縦割ナメハケ後ヨコカケ。 口縫部一部横割タクハケ、口唇部付近ヨ コカケ。 内面全体ヨコカケ後U縫部~肩部 部ヨコカケ。	胎土: やや粗(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 6/9暗	U縫部~肩上位1/2残存 外側保付着
100-2	S B557A P-2・3	壺	現存高: 9.6 口径: (25.4) 肩径: (26.6)	肩上部が丸く張って輪郭にはじ かる。肩部は腰やねに周出しし、U縫 部は外反する。口唇部は圓取り。	外側に縦割ナメハケ後ヨコカケ。 口縫部ヨコカケ、口唇部付近ヨ コカケ。 内面全体ヨコカケ。	胎土: やや粗(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 6/6暗	口縫部~側上位1/2残存 外側保付着
100-3	S B557A P-5	壺	現存高: 2.7 口径: (24.2)	口縁部は大きく外反する。口唇部 は圓取り。	外側に縦割ナメハケ後ヨコカケ。 口唇部ヨコカケ後ヨコカケ。 内面全体ヨコカケ後ヨコカケ。	胎土: やや粗(石灰・輝石多 し 白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 5/6明赤褐	U縫部1/8残存
100-4	S B557A P-4	壺	現存高: 14.8 口径: (16.4) 肩径: 14.2 腹大径: 17.8	内付壺。側面部は中位に最大径を有 した複雑形を呈する。腹部は腰 やねに周出し、口縁部は直線的 に外傾する。1回肩部は圓取り。	外側に縦割ナメハケ、肩中位ナメ ハケ、肩上位ヨコカケ1回ヨコカ ケ後ヨコカケの後、下端にハサミ目で 開口を入れる。 内面全体ヨコカケ後、肩部~胸 部ヨコカケ。	胎土: 香遁(石灰・輝石) 焼成: 良 色調: 5Y R 7/6暗	U縫部1/2、頸部~肩上位 5/6、肩中位4/4残存 外側保付着
100-5	S B557 覆土上層	壺	現存高: 4.7 口径: (16.0) 肩径: (15.6)	肩上位がむちかに張って輪郭につ なる。肩部は腰を持たずに出皿 し、口縁部は丸く、輪郭的に外傾 する。口唇部は圓取り。	外側に縦割ナメハケ。 口縫部ヨコカケ後ヨコカ ケの後、下端にハサミ目で 開口を入れる。 内面側上位ヨコカケ。口縫部~肩 部ヨコカケ後ヨコカケ。	胎土: 香遁(石灰・黒色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 5/4にぼい褐	口縫部~肩上位1/2残存
100-6	S B557 泥転糊火 度上	壺	現存高: 9.7 口径: (10.6)	底部一部が直線的に、直立気味 に開く台付壺の脚部。	外側に縦割細かいヨコカケ。底部一 部ナゲ。 内面側部細かいヨコカケ後 ヨコカケの後、下端にハサミ目で 開口を入れる。	胎土: 香遁(石灰・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 7/6暗	U縫部1/8残存
100-7	S B557 度上	壺	現存高: 3.0 口径: (15.7)	折り返しU縫を持つ壺または鉢。 U縫は腰から外傾する。折り 返しU縫の断面は四角く、口縁部 は圓取り。	外側に縦割細かいヨコカケ後ナ ギ。 内面側部細かいヨコカケ後ナ ギヨコカケ後ナギ。	胎土: 香遁(石灰・黒色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 6/6暗	U縫部1/8残存
100-8	S B557 覆土上層	壺	現存高: 4.2 口径: (18.9)	複合口縁部。複合部は口縁部を加 せぬ。外側に腰やねを貼りつけ て造り出し、直線的に外傾する。 U唇部は圓取り。	外側複合部和土腰はヨコカケ。複合部 は上段R L、下段L R横割保付着 後、腰突出部を貼りつける。口 縁部ヨコカケ。	胎土: やや粗(石灰・白 色・黒色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R 7/6暗	U縫部1/8残存 内面脛誠
100-9	S B557 覆土上層	壺	現存高: 2.1 直径: (6.8)	短く直立する壺の底部。	外側全体ナゲ。 内面全体脣誠のため調整不明。	胎土: やや粗(黑色物) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 5/4にぼい褐	底部1/4残存 内面脣誠
100-10	S B557 P-1	壺	現存高: 9.6 直径: (9.6)	底部から直接側面部が大きく外方 へ側く窓の底部。	外側全体粗いヨコカケ後ヨコ カケ。 底内面もミガキ。 内面底面ナゲ。肩下位ヨコヘラ タガキ。	胎土: やや粗(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 6/6暗	底部穴存
100-11	S B559 P-2	壺	現存高: 19.6 口径: 17.8 肩径: 9.1	折り返しU縫縁部。脚部は中位に最 大径をもつた複雑形を呈すると推 定されれる。肩部は丸く張って短い 輪郭につながり、口縁部は外側が 見えないほど大きく外反し、内面 ににくい窓を持つ。折り返し窓の 断面は四角く、口縁部は圓取り。	外側面脚上位~中位ヨコカケ後ヨ コカケ。 口縫部~肩中位ヨコカ ケの後、肩部はヨコヘラタガキによる 腰溝を斜めに施し、肩部はヨコ ヘラミガキを車輪ねる。折り返し窓 脚部ヨコカケ後ナギ。	胎土: 香遁(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R 7/6暗	U縫部~脚部ほぼ穴存、肩 部~肩上位1/2残存
100-12	S B559B P-3-1	壺	現存高: 8.7	肩下位は直線的に、内面は青氣 味に大きく聞く台付壺の脚部。	外側全縫ナメハケ後ナギ。 内面全体ヨコカケ。	胎土: 香遁(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R 7/6暗	肩4/位~底部1/2残存 外側保付着 100-13と同一個体?
100-13	S B559B P-3-2	壺	現存高: 6.8 肩径: (10.2)	底部~腰部が直線的に開く台付壺 の脚部。	外側全縫ナメハケ後ナギ。 内面全体ヨコカケ。	胎土: やや粗(石灰・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 2.5Y S 2暗灰青	脚部1/3残存 (底部欠損) 外側保付着 100-12と同一個体?

表 8-67 弥生土器観察表 (67)

番号	出土機種	ME	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の状況	胎土・施成・色調	備考
101-1	S B558 P 3-4-5	壺	胸高: (28.0) 口径: (16.2) 腹径: (13.2) 底径: (9.6) 底深: (13.6)	折り返し口縁部、腹部の位置が高く、側面の立ち上がりが大きい。胸部は小口位に人字型を呈する。肩下位には横筋があり、横筋を跨る窓形の形態を有する。脚部は張らしく大きく、脚部は内側に人字型を呈する。	外側脚下位に脚部タブレーカーの後、側面にヨコマミガキ。脚中位はヨコマミガキ。脚部は張らしく、脚部は内側に人字型を呈する。	胎土: 普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/4に近い橙	口縁部一部は切欠き状存する。肩位に脚部は張り出している。脚部は張り出している。脚部は張り出している。
101-2	S B558 P 25-26	壺	胸高: (27.8) 口径: (14.6) 腹径: (8.3) 底深: (9.3)	单肩口縁部。胸下位は大きめで外方に開く。口部は鏡面のようにがり、脚部は大きめで外反する。口部は平面取り。	外側全体組立タブレーカー。脚部ヨコマミガキ。脚部は張り出している。	胎土: 普通(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	口縁部1/4残存、肩部・脚部は張り出している。
101-3	S B558 覆土	壺	現存高: 2.6 口径: (19.4)	单肩口縁部。口部は直線的に大きめで外方に開く。口部は脚部を取り、肩部は脚部を取り。	外側口縁部ナメタハケがむなかわに残る。口部ヨコマミガキ。	胎土: やや重(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	口縁部1/8残存 外側脚部
101-4	S B558 覆土	壺	現存高: 4.2 口径: 15.4	单肩口縁部、口部は直線的に外方に大きく開く。口部は脚部を取り、肩部は脚部を取り。	外側口部付近ヨコハケ後に脚部タブレーカー。脚部ヨコマミガキ。内面全体ヨコマミガキ。	胎土: 普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6橙	口縁部1/2残存
101-5	S B558 覆土	壺	現存高: 2.2 口径: (13.2)	单肩口縁部。口部は直線的に外方に大きく開く。口部は脚部を取り。	外側口縁部非常に低いタブレーカー。脚部ヨコマミガキ。	胎土: 普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6橙	口縁部1/6残存 内面脚部
101-6	S B558 覆土	壺	現存高: 2.0 口径: (15.6)	折り返し口縁部。口部は直線的に外方に大きく開く。脚部は脚部を取り。	外側口縁部脚部のため腰溝不規則あり。折り返し口部ヨコマミガキ。内面全体ナメタハケ。	胎土: 普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/8黄褐	口縁部1/6残存 全体的に厚漬
101-7	S B558 覆土:	壺	現存高: 2.3 口径: (15.8)	折り返し口縁部。口部は直線的に外方に大きく開く。脚部は脚部を取り。	外側口縁部非常に低いタブレーカー。脚部ヨコマミガキ。	胎土: 密(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R4/6赤褐	口縁部1/4残存
101-8	S B558 灰	壺	現存高: 1.7 口径: (18.8)	折り返し口縁部。口部は直線的に外方に大きく開く。脚部は脚部を取り。	外側口縁部脚部のため腰溝不規則あり。折り返し口部ヨコマミガキ。内面全体ナメタハケ。	胎土: 密(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/6橙	口縁部1/4残存
101-9	S B558 P-21	壺	現存高: 4.9 口径: (14.2) 腹径: (11.4)	折り返し口縁部を持つ壺または壺。口部は腰溝から外反する。折り返し口の断面は四角く、口部は脚部を取り。	外側口縁部一肩部ナメタハケ後ヨコマミガキ。内面全体リヘラムガキ。折り返し口の断面は四角く、口部は脚部を取り。	胎土: 密(石灰・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R5/6明褐	口縁部-肩部1/4残存
102-1	S B558 覆土	壺	現存高: 4.9 口径: (22.8)	複合口縁部。複合部は口部を屈曲させ、外側に手縫い巻を貼り付け、内側に直線的に直線的に外縫いする。口部は脚部を取り。	外側複合部全体ヨコハケの後、複合部文字を10mm位に貼りつける。口部ヨコマミガキ。	胎土: 普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/6橙	口縁部1/4残存 外側脚部
102-2	S B558 覆土:	壺	現存高: 8.1 口径: (12.0)	单肩口縁部。口部は直線的に外方に開く。口部は脚部を取り。	外側口縁部ヨコハケの後、脚部一肩部ナメタハケ後ヨコマミガキ。	胎土: 密(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6橙	口縁部1/5残存
102-3	S B558 覆土	壺		口部は直線的に外方に開く。口部は脚部を取り、頭部は天井を向く。	外側全体ヨコマミガキ。口部ヨコマミガキ。	胎土: 普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6橙	口縁部破片
102-4	S B558 覆土	小 壺	現存高: 2.8 口径: (5.4) 腹径: (4.7)	单肩口縁部。瓶底の位置が低い傾斜。肩上位が丸く盛って太く、肩下位が尖形になる。口部は直線的か外反する。口部は脚部を取り。	外側内とも腰溝のため腰溝不規則あり。	胎土: 普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	口縁部-肩部1/4残存 肩部1/4位に厚漬
102-5	S B558 P-15	小 壺	現存高: 3.3 口径: (5.5)	肩部は張らずに低い部位につながる。	外側脚部タブレーカー。脚部ヨコマミガキ。	胎土: 密(石灰・輝石・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄	口縁部はば先存 下部は丁寧に打ちにくく
102-6	S B558 P 3	小 壺	高さ: 12.5 口径: (8.3) 腹径: 5.2 最大径: 9.4 底深: 4.1	单肩口縁部。脚部はト位に人字部を有した複合形を呈する。肩部は張らずに太く、脚部は内側に人字型を呈する。口部は脚部を取り。	外側全体ヨコハケの後、脚部ヨコマミガキ。	胎土: 普通(石灰・白色粒・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	ほば先存(口縁部1/4残存、脚部1/4少缺)
102-7	S B558 覆土	壺		口縁部は直線的に、内面が天井を向くほど大きく外方に開く。口部は丸い。	外側全体ヨコハケの後、内面は格子状の網状引き締め文を施す。	胎土: やや密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に近い黄	口縁部破片 外側脚部

表 8-88 弥生土器観察表 (68)

番号	出土遺物	測定値 (cm)	形態の特徴	測定・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
102-8	S B558 覆土	直		外面部上位タハケ後ナメヘラミガマ。側面封緘状の縫隙文を施す。内面全体ナダ。	胎土：やや粗(灰・白・褐色)、内色：白 焼成：良 色調：7.5Y R6/6暗	背面破片
102-9	S B558 覆土	直		外面部全体状の縫隙文を施す。側面封緘状の縫隙文を施す。内面全体縫隙のため調整不平。	胎土：泥(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	
102-10	S B558 覆土	直		外面部下部にS字状縫隙文を行う。R1横位陶文2段施す。内面全体休版ナダ。	胎土：やや密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	背面破片
102-11	S B558 覆土 小 発 生	現存高：3.2 底径：5.1	小型の底部。底部が直く立ち上りから胴下位が丸く開く。	外面部全体タハケをナメ消す。内面全体指振ナダ。	胎土：やや粗(石英・白色粒・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6暗	脚下位1/2残存。底部光存
102-12	S B558 覆土	直 現存高：2.4 口径：(6.2)	短く直立する春の底部。	外面部全体に雨に当たるタハケをナメ消す。 内面全体ヨコハゲ。	胎土：普通(石英・白色粒・白色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6暗	底部1/2残存
102-13	S B558 P-10	直 現存高：11.2 最大径：(24.0)	胴部は中位で最大径を有す。胴下位で側を持て。胴下位は直線的に開き、胴中位は内側へ立ち上がる。底木無れあり。	外面部全体タハケ後ヨコハゲ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗	胴中位一下位1/3残存
102-14	S B558 P-20	直 現存高：6.5 最大径：(7.6) 底径：(9.6)	胴部は下位で最大径を有し、腰持つ。胴下位は直線的に開き、胴中位は直立気味に立ち上がる。底木無れあり。	外面部全体タハケ後ヨコハゲミガマ。 内面縫隙ナダ。胴下位半ヨコハゲ。胴中位一下位半平厚な板ナダ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6暗	胴中位一下位1/4、底部1/6残存
102-15	S B558 P-13	直 現存高：8.7 最大径：(8.2) 底径：8.8	胴部は下位に最大径を有した下顎の跡跡形を呈する。	外面部全体タハケ後ヨコハゲミガマ。 内面縫隙ナダ。胴下位半ヨコハゲ。胴中位一下位半平厚な板ナダ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6暗	胴中位一下位1/3残存 底部光存
102-16	S B558 P-17	直 現存高：3.7 底径：(8.8)	底部から直角胴下位が大きく外方へ開く。	外面部全体タハケ。胴下位ヨコハゲミガマ。 内面全体タハケの後、胴下位は一部ナダを施される。	胎土：やや密(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/6明黄褐	脚下位-底部1/2残存
102-17	S B558 健栄(深 窓)	直 現存高：2.2 底径：(9.0)	底部から直角胴下位に続く春の底部。	外面部全体タハケ後ヨコハゲミガマがむなかに残る。 内面全体ヨコハゲ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/6明黄褐	底部1/2残存 外面脚底
102-18	S B558 P-18-1	直 現存高：2.6 底径：(16.1)	短く直立する春の底部。	外面部全体タハケ後ヨコハゲミガマ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	底部1/3残存 内面底脚底
102-19	S B558 P-18-2	直 現存高：3.4 底径：(8.0)	底部が直く立ちてから胴下位が大きく外方へ開く。	外面部全体ヨコハゲミガマがむなかに残る。 内面全体ナダ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	脚下位-底部1/2残存 全体的に許減
102-20	S B558 P-27	直 現存高：3.9 底径：(8.2)	底部が直く立ちてから胴下位が大きく外方へ開く。	外面部全体タハケ。胴下位ヨコハゲ後ヨコハゲミガマ。 内面全体指振ナダ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6暗	脚下位-底部1/2残存
102-21	S B558 P-16	直 現存高：3.8 底径：(13.6)	大型の底部。底部が直く立ち上りから胴下位が大きく外方へ開く。底木無れあり。	外面部全体タハケ後ヨコハゲミガマ。 内面全体指振ナダ。	胎土：やや粗(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6暗	軋丁位-武鉢1/2残存 内面脚底
103-1	S B558 P-12	直 現存高：29.2 口径：20.5 周径：18.5 最大径：23.6 底径：9.8	台付縫、腰部は中位で最大径を有した封緘状を呈する。底部は腰やかに封緘し、口唇部は直線的に外側に開く。口唇部は取り出され、腰部は直線的に削る。底部は封緘的に削る。	外面部全体タハケ後ヨコハゲミガマ。 底部下位ヨコハゲ。胴下位ヨコハゲミガマ。 内面脚底ヨコハゲ。天津部ナダ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒) 焼成：やや良 色調：7.5Y R6/6暗	ほぼ光沢
103-2	S B558 覆土	直 現存高：22.1 口径：23.2 周径：20.7 最大径：26.0	大型の底部。腰部は直く立ち上りから胴下位が大きく外方へ開く。底木無れあり。	外面部上位一胴下位タハケの後、胴下位ヨコハゲ。口唇部ヨコハゲを施す。口唇部ヨコハゲを施す。口唇部ヨコハゲ後ヨコハゲ。口唇部ヨコハゲ。	胎土：やや粗(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成：やや良 色調：5Y R6/6暗	L脚底-胴下位ほぼ光存 外面脚底
103-3	S B558 P-11	直 現存高：18.6 口径：16.9 周径：16.8 最大径：19.8	台付縫。口径、腰径、胴最大径が同じで最大径を有した脚部形を呈する。腰部は腰やかに削る。底部は直線的に削る。底部は作業に合わせて少し曲げてある。腰部は直線的に削る。	外面部全体一胴下位タハケの後、胴下位ヨコハゲ。内面脚底ヨコハゲ。	胎土：普通(石英・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐	口唇部-胴下位ほぼ光存 外面脚底

表 8-69 弥生土器觀察表 (69)

測定番号	出土場所	種類	計測値(cm)	形態の特徴	洞開・手法の特徴	地土・成土・色調	備考
104-1	S B558 床面	発	現存高：2.8 口径：(22.6) 幅径：(17.8)	口部は外側が見えないほど大きくなり外反する。口唇部は面部取り。	外側L脚底部にナメハケ。口唇部にカコナダ。内面全体にヨコハケ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R7/4に赤い跡	L脚部1/6残存
104-2	S B558 P-5-1	要	現存高：3.6 口径：(22.0) 幅径：(17.8)	面部は緩やかに屈曲し、口縁部は大きく外反する。口唇部は面部取り。	外側口縁部一側脚部にカタハケ。口唇部ヨコナダ後。下間にヘラで削みを入れる。内面全体ヨコハケ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R6/6控	口縫部一側部1/4残存
104-3	S B558 覆土	要	現存高：3.0 口径：(19.0) 幅径：(15.6)	面部は緩やかに屈曲し、口縁部は大きく外反する。口唇部は面部取り。	外側口縁部一側脚部ヨコハケ。口唇部ヨコナダ後。下間にヘラで削みを入れる。内面全体ヨコハケを置ねる。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R6/6控	L脚部一側部1/8残存
104-4	S B558 P-8	要	現存高：3.4 口径：(18.0) 幅径：(14.1)	面部は緩やかに屈曲し、口縁部は大きく外反する。口唇部は面部取り。	外側口縁部ヨコナダ後。下間にヘラで削みを入れる。内面全体ヨコハケをナメテ消す。	粘土；やや密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；5Y R6/6控	口縫部一側部1/3残存 外側焼付層
104-5	S B558 床面	要	現存高：1.4 口径：(11.6)	面部は緩やかに屈曲し、口縁部は大きく外反する。口唇部は面部取り。	外側口縁部ナメハケ後ヨコナダ。口唇部ヨコハケ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；5Y R6/6控	L脚部1/6残存
104-6	S B558 P-5-2	要	現存高：8.3 口径：(17.0)	面部は上位に唇孔を有した深脚部を呈する。面部は非常に緩やかに屈曲し、直角的に外傾する。	外沿脚部ヨコハケからヨコマリヨコハケ。上位不規則な板状。	粘土；密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；10Y R7/4に赤い黄緑	頭部一側中位1/2残存 外側焼付層
104-7	S B558 覆土	要	現存高：5.8 口径：(18.0) 幅径：(15.2)	上位に腰孔を有し脚部につながる。面部は腰を持たずに直角し、口縁部は直角的に外傾する。(1)唇部は面部取り。	外側今井法一側カタハケ後。腰部ヨコハケ。口唇部ヨコナダ。内面全体ヨコハケ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R6/6控	L脚部一側東部1/3、胴上位一部残存
104-8	S B558 覆土	要	現存高：4.5 口径：(15.2) 幅径：(13.5)	脚部は腰孔を有して頭部につながる。面部は内側に腰を持てて直角し、口縁部は直角的に外傾する。(1)唇部は面部取り。口唇部は直角に下落を尖らせる。	外側腰部ヨコハケ。口縁部一側カタハケ後。下間にヘラで削みを入れる。内面腰部一側上位カタハケ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R7/6控	口縫部一側上位1/4残存
104-9	S B558 覆土	要	現存高：4.9 口径：(13.4) 幅径：(12.2)	面部は上位に腰孔を有した張りの小さい腰形脚部を呈する。面部は腰を持たずに直角し、口縁部は直角的に外傾する。(1)唇部は面部取り。	外側全周ヨコハケ。口唇部ヨコナダ。内面腰部一側上位カタハケ。L脚部粗いヨコハケ。	粘土；密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；良 色調；5Y R5/6明赤端	口縫部一側上位1/8残存 外側焼付層
104-10	S B558 覆土	要	現存高：4.2 口径：(14.6) 幅径：(12.2)	面部は非常に緩やかに屈曲し、口縁部は直角的に外傾する。口唇部は面部取り。	外側L脚部カタハケがむちかに残る。口唇部ヨコナダの後、下間にヘラで削みを入れる。内面全体ヨコハケをナメテ消す。	粘土；普通(石灰・黒色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R6/6控	L脚部一側部1/8残存 外側焼付層
104-11	S B558 覆土	要	現存高：5.5 口径：(16.2) 幅径：(14.6)	脚部は腰孔を有して頭部につながる。面部は非常に腰孔を有する。面部は腰を持たずに直角し、口縁部は直角的に外傾する。口唇部は面部取り。	外側腰部一側カタハケ後。面部ヨコハケ。口唇部ヨコナダ。	粘土；密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R6/6控	L脚部一側上位1/6残存 外側焼付層
104-12	S B558 覆土	要	現存高：4.9 口径：(14.2) 幅径：(12.6)	男性の腰孔を有して頭部につながる。面部は非常に腰孔を有する。面部は腰を持たずに直角し、口縁部は直角的に外傾する。口唇部は面部取り。	外側腰部一側カタハケ後。面部ヨコハケ。口唇部ヨコナダ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R6/6控	L脚部1/3、東部一側上位1/6残存 外側とも赤色あり
104-13	S B558 P-23	要	現存高：5.0 口径：(14.0) 幅径：(18.5)	面部は非常に腰孔を有する。面部は腰を持たずに直角し、口縁部は直角的に外傾する。口唇部は面部取り。	外側口縁部一側カタハケを一部ナメテ消す。口唇部ヨコハケ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；5Y R6/6控	L脚部一側部1/8残存
104-14	S B558 覆土	要	現存高：2.3 口径：(14.6)	口縁部はわざかに外傾し、外側の輪郭線を消すをさげに仕上げる。(1)唇部は面部取り。	外側L脚部ナメヨコハケ。内面全体ヨコハケ後丁寧なヨコハケミガサ。	粘土；密(石灰・輝石・白色粒) 焼成；良 色調；5Y R6/6控	L脚部1/8残存
104-15	S B558 覆土	要	現存高：7.8 幅径：9.4	底部一側部が内燃氣体時に開く台形の脚部。	外側全体カタハケをナメテ消す。内面腰部粗いヨコハケをナメテ消す。天井部ヨコハケ。脚部一側下位カタハケ。	粘土；やや密(石灰・輝石・白色粒) 焼成；普通 色調；10Y R7/8黄緑	脚下位一側底は現光(原脚部欠損)
104-16	S B558 P-14-1	要	現存高：7.3 幅径：11.2	底部一側部が内燃氣体時に開く台形の脚部。	外側腰部ヨコハケ。底部一側上位カタハケ。	粘土；普通(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；普通 色調；7.5Y R6/6控	脚部光存
104-17	S B558 P-14-2	要	現存高：7.4 幅径：9.0	底部一側部が内燃氣体時に開く台形の脚部。	外側腰部ヨコハケ。脚部一側上位カタハケ。	粘土；密(石灰・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成；良 色調；10Y R6/6明黄色	底部1/6残存(底部欠損)

表 8-70 弥生土器観察表 (70)

編番	出土遺構	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色刺	備考
104-18	S B558 覆土	甕	現存高：4.6 底径：(9.8)	底部～腹部内側表面に開く台付 型の脚部。	外観全体ヨコハゲ。 内面全体ヨコハゲ。	胎土：密(石灰・輝石・白 色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/4に近い黄 佳	基部1/6残存
105-1	S B569 冰面	甕	現存高：8.2	肩上位は丸く張って肩部につなが る。	外観肩上位ヨコハゲ。脚部 ハサツ工具による羽状切削痕や文 字を伴う上部とR、下部R1.5横位 脚部後部。上段の内側表面を 貼りつける。脚部ヨコハゲ。 内面全体ヨコハゲの後、脚部～脚 部ナダ。	胎土：普通(石灰・輝石・白 色粒・灰色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R5/4Cに近い黄 佳	肩部～肩上位1/4残存
105-2	S B560 覆土	甕			外観肩上位ヨコハゲ。脚部 ハサツ工具による羽状切削痕や文 字を伴う上部とR、下部R1.5横位 脚部後部。上段の内側表面を 貼りつける。脚部ヨコハゲ。 内面全体ヨコハゲの後、脚部～脚 部ナダ。	胎土：やや密(輝石・石英 少) 焼成：良 色調：5Y R5/6赤褐色	肩上位破片
105-3	S B560 覆土	甕	現存高：3.4 口径：(17.0) 底径：(14.1)	脚部は緩やかに開曲し、口縁部は 人大きく外反する。口縁部は開取り。	外観口縁部～脚部ナダメハゲ。 口縁部は下部にはS字状切削 文字を伴う上部とR、下部R1.5横位 脚部後部。上段の内側表面を 貼りつける。脚部ヨコハゲ。 内面全体ヨコハゲ。	胎土：密(石灰・輝石少) 焼成：良 色調：7.5Y R6/4C	口縫部～脚部1/6残存 外面保有者
105-4	S B560 覆土	甕	現存高：4.7 口径：(11.0)	脚上位はわずかに張って肩部につ ながる。脚部は腹を持たずに開曲 し、口縁部は直線的に外傾する。 口縁部は開取り。	外観口縁部～脚部ナダメハゲ。 口縁部ヨコハゲ。	胎土：密(石灰・輝石) 焼成：良 色調：10Y R6/6明黄褐	口縫部～肩上位1/6残存
105-5	S B560 覆土	甕	現存高：4.5 底径：(9.8)	底部～脚部が直線的に開く台付甕 の脚部。	外観全体斜いナナメハゲ。 内面脚部ヨコハゲ。脚上位傾 いたナナメハゲ。	胎土：普通(輝石多し・石 英・白色粒少) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6	胎部1/4残存
105-6	S B562 壁	甕	現存高：3.6 口径：(14.0) 底径：(12.7)	脚部は腹を持たずに出筋し、口縁 部は直線的に外傾する。口縁部は 開取り。	外観口縁部～脚部ナダメハゲの後、 脚部ナダメハゲヨコハゲの後。 下部にハサツ工具で刻印を入れる。 内面脚部(脚ナダメ)。口縫部～脚部 ヨコハゲ。	胎土：普通(石灰・良石・ 輝石・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6	口縫部～肩上位1/6残存
105-7	S B564 P-7	甕	現存高：14.0 底径：(23.2) 底深：(10.2)	脚部は中位で最大径を有し、下位 にいくほど狭くなる傾向がある。 脚部は直線的に開曲し、脚 部中心はわずかに外傾する。	外観全体ヨコハゲヨコハゲヨコハ ゲ。	胎土：普通(石灰・良石・ 輝石・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/8	脚中位～脚上位1/6残存 底部1/5残存 内面破壊
105-8	S B564 P-2・3	甕	現存高：10.0 底径：(19.1) 底深：(9.0)	脚部は下位に最大径を有し、後 づく。脚上位は直線的に開曲し、脚 部中心はわずかに内傾して立ち上が る。	外観全体ナナメハゲ後ヨコハ ゲ。	胎土：普通(石灰・良石・ 輝石・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R3/3	脚中位～下位1/3残存
105-9	S B564 覆土	甕	現存高：4.5 口径：(16.1) 底径：(15.6)	折り返し1段を持つ更または斜 脚部は非常によく緩やかに屈曲し、脚 部はわざわざに外傾する。折り返 し1段の断面は角張り、V字谷筋は直 線的。	外観口縁部ヨコハゲ後、脚部ナ ダメ。	胎土：やや粗(石灰・良石・ 輝石) 焼成：普通 色調：5Y R6/6	LII縫部～脚部1/3残存
105-10	S B564 P-1	甕	現存高：6.2 口径：(20.8) 底径：(17.2)	脚上位は丸く張って脚部につなが る。脚部は緩やかに開曲し、口縁 部は直線的に外傾する。口縁部は開 取り。	外観脚上位ヨコハゲ。脚部 ヨコハゲ。	胎土：やや密(石灰・良石・ 輝石・非色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/8	LII縫部～肩上位1/6残存 外面保有者
105-11	S B564 P-6	甕	現存高：9.7 口径：(21.5) 底径：(20.2)	肩上位は丸く張って脚部につなが る。脚部は緩やかに開曲し、口縁 部は直線的に外傾する。口縁部は開 取り。	外観脚上位ヨコハゲ。一部ナ ダメ。	胎土：やや粗(石灰・良石・ 輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6	口縫部～肩上位1/6残存
105-12	S B565 壁	甕	現存高：18.3 底径：(17.6)	脚部は中位で最大径を有した脚部 形を呈する。脚部が丸く張って大 きく、知り難部につながる。口縁部 は大きく述べる。	外観全体ヨコハゲ後タハ ミガキ。	胎土：普通(石灰・良石・ 輝石・白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R5/8明光	口縫部～脚中位1/2残存 肩部欠損
105-13	S B565 覆土	甕	現存高：9.5 口径：(23.6) 底径：(22.2)	脚部は上位に最大径を有した脚部 形を呈する。脚部が緩やかに開曲 し、脚部は直線的に外傾する。 口縁部は開取り。	外観脚上位ヨコハゲ。	胎土：普通(石灰・輝石・ 黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6	口縫部～肩上位1/5残存 外面保有者
105-14	S B565 覆土	甕	現存高：9.2 底径：(18.6) 底深：(16.5)	脚上位は丸く張って脚部につなが る。脚部は内面に腹を有して開曲 し、口縁部は直線的に外傾する。 口縁部は開取り。	外観脚上位ヨコハゲ。口縁部～ 脚部ヨコハゲ。	胎土：やや粗(石灰多し ・良石・輝石) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/8	口縫部～脚上位1/6残存

表 8-71 幼生土器観察表 (71)

順位	出土遺物	種類	計画高(㎝)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
106-1	S B563 P-3-2	小 刀 器	現存高：13.6 口径：(7.7) 縦径：(5.6) 最大幅：(10.9) 底径：5.2	口縁部に縫合。側面の立ち上がりが高く、刃部は直線的で、刃部の内側には刃先部が斜めに傾いています。刃部は直線的で、刃先部が斜めに傾いています。刃部は直線的で、刃先部が斜めに傾いています。刃部は直線的で、刃先部が斜めに傾いています。	外側面部にヨコハマギやヨコヘタケナダ等の複数の切削痕がある。刃部は直線的で、刃先部が斜めに傾いています。刃部は直線的で、刃先部が斜めに傾いています。刃部は直線的で、刃先部が斜めに傾いています。刃部は直線的で、刃先部が斜めに傾いています。	胎土：やや密(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/6明黄褐色	口縁部1/4、底部～肩部1/3位 1/3既存、底部既存
106-2	S B563 P-3-1	小 刀 器	現存高：10.7 口径：4.8 最大幅：11.9 底径：6.4	側面は中位に最大径を有し、下位には、刃を含む横断面を示す。刃部は大きく張って細い刃頭につながる。	外側面部ナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。	胎土：やや密(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/8黄褐色	底部～底部ほぼ完存
106-3	S B563 P-3-3	小 刀 器	現存高：13.0 口径：6.1 最大幅：10.3 底径：5.7	側面の長い刃部。刃部は中位に最大径を有し、下位には、刃を含む横断面を示す。刃部は大きく張って細い刃頭につながる。底部は底張りである。	外側面部ナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。刃部一側下にヨコヘタケナダ。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	底部2/3既存、底部 ほぼ光存 全体的に磨滅
106-4	S B563 P-2	器	現存高：12.6 口径：12.8 縦径：7.8	側面口縫合。刃部は直線的に外側へ向かって、刃口部は彎曲する。	外側面部付近側面にヨコカケ。外側面部側面にヨコカケ。外側面部側面にヨコカケ。外側面部側面にヨコカケ。外側面部側面にヨコカケ。	胎土：普通(石英・白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R8/6淡黃褐色	口縁部～肩部完存 下部は丁寧に打ちにくく
106-5	S B563 覆土	器	現存高：3.4 口径：(25.2)	単純口縫合。口縫合部は大きく外反する。刃口部は彎曲する。	外側面部側面ナダメイケ。刃口部ヨコカケの後、刃口部ヨコカケの後、刃口部ヨコカケの後、刃口部ヨコカケの後、刃口部ヨコカケの後。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/6橙	口縁部1/8既存 内部底板
106-6	S B563 覆土	器	現存高：3.5 口径：(17.0)	折り返し口縫合。刃部は大きく外反する。折り返し面の断面は四角く、刃口部は彎曲する。	外側面部側面ナダメイケ後ヨコカケ。刃口部ヨコカケの後、刃口部ヨコカケの後、刃口部ヨコカケの後、刃口部ヨコカケの後。	胎土：普通(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：10Y R7/6明黃褐色	1/4輪部1/7既存
106-7	S B563 覆土	器			外側面部ナダメイケの後、L R構文を1段目と3段目は部位に、2段目と4段目は部位に、3段目と5段目は部位の横の縫の位置に3本1単位の横縫字を貼りつける。内側全周ヨコハタク。	胎土：密(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6鵝	肩部～肩部破片
106-8	S B563 覆土	器		口縫合部は大きく外反する。	外側全体ヨコハタク。内側ヨコハタクをナダ酒した後、L R横縫文字を貼りつける。	胎土：密(石英・輝石・白色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6鵝	口縫合部破片(口縫合部欠損)
106-9	S B563 P-1	器	現存高：17.3 口径：19.3 縦径：16.4 最大径：22.5	大型の台形器。刃部は中位に最大径を有しした球形部を有する。刃部は直線的に外反する。刃部は直線的に外反する。刃部は直線的に外反する。	外側縫合部一一位山形ヨコカケヒナダ。刃部一側下にヨコカケヒナダ。刃部一側下にヨコカケヒナダ。	胎土：やや密(石英・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R8/4淡黃褐色	口縫合部～剖中位ほぼ完存
106-10	S B563 覆土	器	現存高：7.6 縦径：10.6	刃部一側部が直線的に開く台付裏の脚部。	外側縫合部ナダメイケ。刃部一側下にヨコカケヒナダ。刃部一側下にヨコカケヒナダ。刃部一側下にヨコカケヒナダ。	胎土：普通(石英・白色粒) 焼成：良 色調：10Y R6/6明黃褐色	底部～脚部1/8既存 底部1/2既存
106-11	S B563 覆土	器	現存高：3.5 縦径：(9.5)	底部一側部が直線的に開く台付裏の脚部。	外側全周ヨコハタク。内側全周ヨコハタク。	胎土：普通(石英・輝石・白色粒・黑色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/4によい青味	解剖1/6既存
107-1	S B572 覆土	器	現存高：3.3	複合口縫合。刃部は口縫合部を囲きせず、外側に砧状部を貼りつけて造り出し、直線的に、直立気に外反する。	外側複合縫合1：刃ナダ。口縫合部ヨコハタケの後、横縫文字を8方に貼りつける。内側全周ヨコハタク。	胎土：普通(石英・長石・輝石・赤色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黃褐色	口縫合部1/6既存(口縫合部欠損)
107-2	S B572 覆土	器	現存高：2.7 口径：(21.0)	刃部は大きく外反する。刃部は彎曲する。	外側面部側面ナダメイケ後ナダ。刃部ヨコカケ。内側全周ヨコハタク。	胎土：普通(石英・長石・輝石) 焼成：普通 色調：5Y R5/6淡黃褐色	口縫合部1/8既存
107-3	S B573 覆土	器	現存高：2.6 口径：(21.0)	折り返し口縫合。刃部は外側が見えないほど大きく外反し、内側にない面を持つ。折り返し面の断面は四角く、刃部は彎曲する。	外側面部ヨコハタケがわざわざに残る。他の部分は磨滅のため检测不明。内側全周磨滅のため調整不明。	胎土：やや密(石英・長石・輝石・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6鵝	口縫合部1/6既存 全体的に磨滅

表 8-72 弥生土器観察表 (72)

西番号	出土遺構	調査	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
107-4	S B573 覆土	柵	現存高：1.3 底径：8.0	底部から直接下位に続く底の底。 外面部全体タテハミガキ。底面も ミガキ。 内面全体ナダ。	外面部全体タテハミガキ。底面も ミガキ。 内面全体ナダ。	胎土：やや密(石英・輝石) 焼成：良 色調：7.5Y R4/3褐	西端部1/2残存
107-5	S B573 覆土	柵	現存高：3.2 口径：(14.2) 底径：(12.8)	単純な柵蓋。口縁部は直線的に、 直立側面に外方へ開く。口縁部は 直角。	外面部全体タテハミガキ。口縁部を L 字型に彫刻文。内面全体ヨコハメ。 口縁部とヨコハメの後、縦に二部 に S字彫刻文を作り U字彫刻文と 交叉する。	胎土：普通(石英・長石・ 輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R5/6明褐	上縁部破片
107-6	S B573 覆土	柵	現存高：3.2 口径：(12.8)	柵蓋は緩やかに屈曲し、口縁部は むずかに外反する。口縁部は加成 り。	外面部縁部一部ノコハケ。内面全体 ノコハケ。	胎土：普通(石英・長石・ 輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	口縁部1/2残存
107-7	S B573 覆土	柵	現存高：4.6 底径：(10.0)	底部～縁部が直線的に開く台付要 の脚部。	外面部全体ヨコハメ。 内面全体ヨコハメ。	胎土：やや密(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	側部1/6残存
107-8	S B574 覆土	柵	現存高：9.2 口径：(27.6)	大型の複合口縁蓋。複合部は外周 に貼る貼を貼りつけて造り出し、 直線的に外方へ開く。口縁部は新 規内凹形の粘土帯を貼りつけてか ら面取り。	外面部縁部横にナメハメ、複合 部貼る貼ナダ。複合部横にヨコハメ ハメ後ヨコナダ。内面部ヨコナダ。 内面全体ヨコハケ後ヨコハケ後ナダ。 内面全体貼るヨコハケ。	胎土：粗(石英・輝石・白 色粒・白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黄褐	口縁部1/4残存 全体的に磨滅
107-9	S B574 覆土	柵	現存高：6.7 口径：(8.1)	縁部は端く、ヨコ縁部は直線的に外 方へ開く。	外面部縁部一列脚ナタハケの後、 縁部ヨコナダ。 内面全体ヨコナダ。	胎土：やや密(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/6明赤褐	口縁部～肩部1/2残存(口 縫部欠損) 内面磨滅
107-10	S B574 P 1・2・ 5・6・8	柵	現存高：7.0 底径：21.4 底径：9.3	脚部は4位に輪大様を有した球形 形を有する。脚上部が強く張って 屈く。美しい瓶底つながる。	外面部下位ドリフトサク後ヨコハ メナタハケ。下位ヨコハケ後ヨコハ メナタハケ。脚上位ヨコハメナタハ ケ。内面全体ヨコハケ後ヨコハケ後 ヨコハケ。底部一列脚ナタヨコハ ケ。底部ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	肩部～底部ほぼ完全(脚上 位1/4欠損) 外周磨滅
107-11	S B574 覆土	柵	現存高：1.7 底径：9.0	外面部は端く、ヨコ縁部は直線的に外 方へ開く。	外面部全体ヨコハメ。 内面全体ヨコハメ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	口縁部破片
107-12	S B574 覆土	柵	現存高：4.1 底径：9.6	底部が端く直してから肩下位が 大きく外方へ開く。底面木板痕あり。	外面部ヨコハメの後、下部に S字彫 刻文を作り U字彫刻文と。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/6橙	肩部破片 107-11と同一個体？
107-13	S B574 覆土	柵	現存高：1.7 底径：9.0	端く直立する柵の底部。	外面部全体ナダ。底部もナダ。 内面全体ヨコハメ。	胎土：普通(石英・白色粒 輝石少量) 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	底部3/4残存 全体的に磨滅
107-14	S B574 覆土	柵	現存高：4.1 底径：9.6	底部が端く直してから肩下位が 大きく外方へ開く。底面木板痕あり。	外面部全体ヨコハメ。 内面全体ヨコハメ。	胎土：普通(白色粒多し 石英・輝石) 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	肩下位～底部3/4残存 全体的に磨滅
107-15	S B574 覆土	柵	現存高：4.6 底径：(11.8)	底部から直接下位に大きく外方へ 開く。底面木板痕あり。	外面部ヨコハメナタハケ。底面も ミガキ。	胎土：普通(輝石多 石英・白色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/6明赤褐	肩下位～底部1/3残存
107-16	S B574 覆土	柵	現存高：3.1 口径：(19.2)	口縁部は緩やかに外反する。口縁 部は直取り。	外面部縁部弱いタテハケがわざわ ざある。口縁部ヨコハケ後ヨコハ メナタハケ。下部にハサウエードル を入れる。 内面全体丁寧なナダ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R6/6橙	口縁部1/2残存 全体的に磨滅
107-17	S B574 P-2	柵	現存高：7.9 口径：(33.6) 底径：(28.6)	大型の柵。肩上位は張らざるに輪部 に端く。輪部は非常に緩やかに屈曲し、 口縁部は端く直してから肩下位が 大きくなる。口縁部は直取り。	外面部ヨコハメ。脚上位タテハケ。 内面全体ヨコハケ後ヨコハケ後ナ ダ。 外面部ヨコハメ。	胎土：やや密(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	上縁部～脚上位1/8残存 全体的に磨滅
107-18	S B575 覆土	柵	現存高：3.5 口径：(14.4) 底径：(14.4)	輪部は非常によじやかに屈曲し、口 縁部は端く直してから肩下位が 大きくなる。口縁部は直取り。	外面部ヨコハメ。脚上位タテハケ。 内面全体ヨコハケ後ヨコハケ後ナ ダ。 外面部ヨコハメ。	胎土：やや密(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	上縁部～脚上位1/2残存
107-19	S B575 覆土	柵	現存高：7.7 口径：(14.4) 底径：(13.4) 底径：(15.0)	脚部は上位に最大径を有した球形 形を呈する。輪部は緩やかに屈曲 し、口縁部は外傾する。口縁部は 直取り。	外面部下位ヨコハケ後ヨコ ハメナタハケ。脚上位一列脚。 内面全体ヨコハメ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R6/6橙	上縁部～脚上位1/4残存
108-1	S B 573・374 575 覆土上層	小 柵蓋	現存高：(4.2 4.2) 底径：(16.0) 底径：(5.6)	脚部は下位に最大径を有し、縫を 持つ。脚上位は直線的に外方へ開 き、脚中位はほど直立する。脚上 位が強く張って細く、美しい輪部に つながる。	外面部下位ヨコハケ後ヨコ ハメナタハケ。脚上位一列脚。 内面全体ヨコハメ。	胎土：普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6橙	肩部1/5、肩部～脚下位1/ 2、底部1/4残存 外周磨滅

表 8-73 弥生土器観察表 (73)

印記	出土遺構	種類	計測値 (cm)	形態の特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
108-2	S B 753 - 574 + 575 覆土上層	甕	現存高：3.1 口径：(7.4)	甕部から底盤部下に聞く底の底 部。	外底部全体タケハ後口コハミガ キ。内面底面ナゲ。脚下位コハケ。	胎土：やや密(石英・輝石 白色粒・赤色粒少量) 焼成：良 色調：5Y R6/6橙	底部1/2残存
108-3	S B 373 - 574 + 575 覆土上層	甕	現存高：3.6 底径：(9.8)	短く直立する甕の底部。底盤不規 則あり。	外底部全体タケハ後丁寧なコハ ミガキ。内面底面ナゲ。	胎土：普通(石英・白色粒 白色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/6明赤褐	底部1/4残存
108-4	S B 373 - 574 + 575 覆土上層	甕	現存高：8.7 横径：(10.6)	底面～脚部が直線的に聞く台付型 の脚部。	外底部脚部かいヨコハケ。底部一 周上位ナゲ。 内面脚部脚部かいヨコハケ後ナゲ。 大升感ナゲ。底出ナゲ。脚下位脚 部ヨコハケ後。内面ヨコハケ。	胎土：普通(石英・輝石 白色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/6明赤褐	脚部ほぼ完存(蓋部1/9残 存) 外面焼付著
108-5	S B576 覆土	甕	現存高：2.3 底径：(7.0)	短く直立する甕の底部。	外底部全体タケハ後ヨコハミガ キ。 内面底面ナゲ。脚下位脚部ヨコハ ケ。	胎土：普通(石英・輝石 白色粒) 焼成：良 色調：5Y R5/6明赤褐	底部1/4残存
108-7	S B576 覆土	甕	現存高：2.8 底径：8.4	短く直立する甕の底部。	外底部全体脚部かいヨコハケの後、底 盤ナゲ。	胎土：普通(石英・輝石 白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R5/6にじみ青	底部1/2残存
108-8	S B577 覆土	甕	現存高：6.7 脚部底径：9.1	底盤～脚部が直線的に聞く脚部の 合併型の脚部。	外底部全体ヨコハミガキナゲ。 内面脚部脚部かいヨコハケの後、底 盤ナゲ。	胎土：やや密(石英・輝石 白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R6/6青	脚部2/3残存 内面焼付著
108-9	S B577 覆土	甕	現存高：6.0 口径：(12.3) 横径：(12.0) 脚部底径：(12.6)	底盤は上位に人頭像を有した振り の大きい環形器を以る。底盤は 内面に kazu でして頂部と、口縁部 は脚部に外傾する。1 口縁部は 凹取り。	外底部口縁部上位に振りナゲよ リナメハグ。口部ヨココハミガキ。 内面脚部上位ナゲ。口縁部一辺脚 部ナゲ。大升感ナゲ。底出ナゲ。脚 部下位ナゲ。	胎土：普通(石英・輝石 白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R8/6黄青	1 口縫部～脚部上位1/6残存 全体的に青緑
108-10	S B578 P-2	甕	現存高：5.5 底径：(23.0)	ならかなな直の脚部～口縁。	外底部脚部L 僅脚輪文施文。脚部 タケハ後ヨコハミガキ。 内面脚部ヨコハケ後ヨコハミガ キ。底出ヨコハケ。	胎土：やや密(石英・輝石 白色粒) 焼成：やや良 色調：7.5Y R6/5橙	脚部～脚部1/3残存
108-12	S B578 覆土	甕	現存高：10.5 口径：(23.0)	複合し縦底。口縁部は底やに外 反する。複合部は口縁部をさすか に当面させて造り出し、直線的に 外傾する。口部部は曲面り。	外底部脚部ヨコハケ後丁寧なコ ハケの後、3.4 口縫部の脚輪浮 文を貼りつける。	胎土：普通(石英・輝石 白色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6黄青	口縫部1/6残存 全体的に青緑
108-13	S B579 覆土	甕	現存高：4.8 底径：(8.6)	底盤～脚部が直線的に聞く脚部の 合併型の脚部。	外底部ヨコハケ。脚上位ナメハ グ。 内面全体ヨコハケナゲ。	胎土：やや密(石英・輝石 白色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R5/4にじみ青	脚部1/6残存
108-15	S B579 覆土	甕	現存高：4.8 口径：(19.4)	折り返し口縁部。口縁部は腰や に外反する。折り返し口縁部は底 面角く、口部部は直面り。	外底部口縫部かいヨコハケ後ナ ゲ。折り返し口縁部ナゲ。口部ヨコハ ケの後、袖状浮文を 13 口に貼りつ ける。 内面全体ヨコハケナゲ。	胎土：やや密(石英・輝石 白色粒) 焼成：普通 色調：3Y R6/8青	口縫部1/6残存 全体的に青緑
108-14	S B579 覆土	甕	現存高：4.5 口径：(16.4)	折り返し口縁部。口縁部は外側が 見えないほど大きく述べる。折 り返し口縁部は底角く、口部部 は直面り。	外底部口縫部かいヨコハケ後ナ ゲ。口部ヨコハケ後ナゲ。口部浮 文を 13 口に貼りつける。 内面全体ヨコハケナゲ。	胎土：やや密(輝石・石英 少量) 焼成：良 色調：7.5Y R5/6明褐	口縫部1/5残存
108-15	S B580 覆土	甕	現存高：4.7 口径：(14.9)	単純口縁部。口縁部は直線的に大 きく外方へ開く。口部部は直面り。	外底部口縫部ヨコハケ後ナゲ。 口部ヨコハケ後ナゲ。口部浮 文を 13 口に貼りつける。 内面全体ヨコハケナゲ。	胎土：普通(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成：普通 色調：5Y R7/8橙	口縫部1/7残存
108-16	S B580 覆土	甕	現存高：3.9 口径：(17.6)	複合口縁部。口縁部は直線的に外 方へ開く。口部部は直面り。	外底部口縫部ヨコハケ後ナゲ。 内面全体ヨコハケ。	胎土：粗(白色粒多) 焼成：普通 色調：10Y R6/4にじみ青 緑	1 口縫部1/10残存
108-17	S B580 覆土	甕	現存高：2.9 口径：(12.6) 底径：(11.3)	底盤は腰やかに扁曲し、口縁部は 直線的に外傾する。口部部は直面 り。	外底部口縫部～脚部タケハケ後ナ ゲ。複合部底盤ナメハグ。複合部ヨ コハケ後ヨコハケ後ナゲ。 内面全体ヨコハケ。	胎土：普通(石英・黒色粒) 焼成：やや軟 色調：10Y R7/4にじみ青 緑	1 口縫部～脚部1/8残存 全体的に青緑
108-18	S B581 P-3・4	甕	現存高：10.0 口径：(19.4)	複合口縁部。口縁部は底やかに 扁曲せず、外縁に粘土帶を貼り つけて造り出し、直線的に外傾す る。口部部は直面り。	外底部口縫部ヨコハケ後ナ ゲ。複合部ヨコハケ後ナゲ。 内面全体ヨコハケ。	胎土：やや密(心葉・白 色粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6青	口縫部1/2残存
108-19	S B581 覆土	甕	現存高：2.7 口径：(13.2)	折り返し口縁部。口縁部は外側が 見えないほど大きく述べる。折 り返し口縁部は底角く、口部部 は直面り。	外底部口縫部ヨコハケ後ナ ゲ。口部ヨコハケ後ナゲ。 内面全体ヨコハケ。	胎土：普通(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6青	口縫部1/12残存 内面焼付

表 8-74 弥生土器観察表 (74)

番号	出土遺構	測定値	計測値(cm)	形態の特徴	頭部・手足の特徴	胎土・焼成・色調	備考
108-20	S B581 覆土	基盤: 2.4 口径: 5.0 底径: 4.6		小形の頭部、体部は直線的に、直立する。質感特に外方へ向く。口部部は凹取り。	外面部ヨコヘタミガキ後ナダ。 口部部ヨコナダ。 内面部ヨコヘラミガキ。	胎土: やや密(輝石・白色粒) 焼成: 色濃 色調: 10Y R7/4に近い黄 緑	完品
108-21	S B581 覆土	現存高: 1.9 口径: (10.4)		底部から直抜削下位に較く直の底盤。	外面部全体ナダ?。 内面部ヨコハラ後ナダ等ナダ。	胎土: やや粗(輝石・白色粒) 焼成: 色濃 色調: 7.5Y R6/6暗	底部1/3残存 外底部
108-22	S B581 P 6	現存高: 3.8 口径: (5.0)		底部から直抜削下位が直線的に外方へ開く。	外面部全体タテヘラミガキ。底面も ヨコナダ。 内面部全体丁寧なナダ。	胎土: やや密(石英・白色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6暗	底部1/3残存
108-23	S B581 P 1	現存高: 6.4 口径: (15.8) 底径: (15.2)		側面上位が直線的に張って直面につながる。頭部は複数を持ちずに屈曲し、口部部は直線的に外方へ開く。	外面部ヨコタハミタハケ。口部部 ヨコナダ?。口部部ヨコナダ。 内面部ヨコナダ?。口部部ヨコナダ。 ヨコハラ後ヨコナダ。	胎土: 密(輝石・黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R5/4に近い黄 緑	上部1/8、底部一側上位 1/4残存
108-24	S B582 覆土	現存高: 2.5 口径: (6.0) 底径: (4.8)		半球的・瘤状。頭部は短く、口部部は直線的に外方へ開く。口部部は弯曲り。	外面部ヨコ部・瘤状タハケ。口部 部ヨコヘタミガキ後ナダ。	胎土: 硬(石英・黑色粒) 焼成: 色濃 色調: 7.5Y R6/6暗	口部部・瘤部1/4残存
108-25	S B583 覆土・鉢	現存高: 2.0 口径: (14.0) 底径: (11.8)		折り返し口部を一端に突出。頭部は直線的に外方へ開く。頭部は大きめで、口部部は直線的に内側へ凹取り。折り返し口部前面は内側へ凹く。口部部は直線的に内側へ凹取り。	外面部ヨコシ直面下位ヘタハケタ ケの後、瘤部ヨコナダ。折り返し 口部?。口部部ヨコナダ。 内面部ヨコハケ。瘤部ヨコハケ。 内面部ヨコハラ後ナダ。	胎土: やや密(石英・白色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R6/6暗	「瘤部」-瘤部1/4残存 内面部
109-1	1号方形 周溝基 P 33	現存高: 25.3 口径: 14.8 底径: 12.0 最大径: 20.2 底径: 8.4		頭部口縁部、腹部の下位には頭部を有し、頭部を持つ。頭部は直線的に開く。頭部がわざと内側に開く。頭部は大きめで外反する。口部部は直線的に内側へ凹取り。	外面部頭位一辺ナダメハタケ後ナ ダメヨコナダ?。頭部一部一辺 位ナダ?。瘤部ヨコナダ。頭部 一辺ナダ?。瘤部ヨコナダ。頭部ヨ コナダ。口部部ヨコナダ。 内面部ヨコハケ。瘤部ヨコハケ。 瘤部ヨコハラ後ナダ?。瘤部頭位 2段複文。	胎土: 表面白色・黒色粒・ 赤色粒 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6暗	完品
109-2	1号方形 周溝基 P 42	現存高: 17.3 口径: 11.1 底径: 7.1 最大径: 15.6 底径: 7.8		半球的・瘤状。頭部の位置が直線的で、頭部を有するものと似た頭部。頭部は直線的に開く。頭部を持つ。頭部の形状を複数持つ。頭部は直線的に内側へ凹取り。頭部は直線的に内側へ凹取り。頭部は直線的に外方へ開く。口部部は直線的に内側へ凹取り。	外面部頭部ヨコヘタミガキ。頭位一 辺ナダメヨコナダ?。頭部一辺ナ ダメヨコナダ?。瘤部ヨコタハケの 後、瘤部ヨコ部・瘤部ヨコヘタ ミガキ。 内面部ヨコハケ。瘤部ヨコハケ。 瘤部ヨコハラ後ナダ?。口部部ヨ コナダ。	胎土: 普通(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/6暗	ほぼ完形(口部部1/2、頭 部1/3残存) 器内にベンガラあり
109-3	1号方形 周溝基 P 1-1	現存高: 23.3 口径: 10.8 底径: 6.2 最大径: 17.0 底径: 9.2		半球的・瘤状。頭部は直線的に外方へ開く。頭部を持つ。頭部は直線的に内側へ凹取り。口部部は直線的に外方へ開く。口部部は直線的に内側へ凹取り。各部に頭取り。底面本底無。	外面部頭部ヨコナダ?。頭位一 辺ナダメヨコナダ?。頭部一辺ナ ダメヨコナダ?。瘤部ヨコタハ ケの後、瘤部ヨコ部・瘤部ヨコ ヘタミガキ。 内面部ヨコハケ。頭部ヨコハ ケ。頭部ヨコハラ後ナダ?。口部部 ヨコナダ。	胎土: やや密(石英・白色 粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6暗	完品 全体的に瘤状
109-4	1号方形 周溝基 P 10	現存高: 3.7 口径: (19.8)		半球的・瘤状。頭部は直線的に外方へ開く。頭部を持つ。頭部は直線的に内側へ凹取り。口部部は直線的に内側へ凹取り。	外面部頭部ヨコナダメハタ ケ後ヨコヘラミガキ。 内面部ヨコハラ後ナダ?。頭部ヨコ ヘタミガキ。 内面部ヨコハケ後ヨコヘタ ミガキ。	胎土: 密(石英・白色粒・ 赤色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R6/6暗	上部1/4残存
109-5	1号方形 周溝基 覆土	現存高: 4.4 口径: (11.8) 底径: (5.5)		半球的・瘤状。頭部は直線的に外方へ開く。頭部を持つ。頭部は直線的に内側へ凹取り。	外面部頭部ヨコヘタミガキ。頭 位一辺ナダメヨコナダ?。頭部一 辺ナダメヨコナダ?。瘤部ヨコ ヘタミガキ。	胎土: やや密(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R8/6浅青	「瘤部」-頭部1/4残存
109-6	1号方形 周溝基 道溝南 覆土	現存高: 8.3 口径: (16.0) 底径: (9.4)		半球的・瘤状。頭部は直線的に外方へ開く。頭部を持つ。頭部は直線的に内側へ凹取り。	外面部頭部ヨコヘタミガキ。頭 位一辺ナダメヨコナダ?。頭部一 辺ナダメヨコナダ?。口部部ヨ コカヘタミガキ。	胎土: やや密(石英・黑色 粒・輝石少) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/6暗	「瘤部」-頭部1/1残存
109-7	1号方形 周溝基 P 21	現存高: 7.8 口径: (14.0) 底径: (8.6)		半球的・瘤状。頭部は直線的に外方へ開く。頭部を持つ。頭部は直線的に内側へ凹取り。	外面部頭部ヨコヘタミガキ。頭 位一辺ナダメヨコナダ?。頭部一 辺ナダメヨコナダ?。口部部ヨ コカヘタミガキ。	胎土: 表面(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/8黄棕	上部1/2-頭部1/1残存
109-8	1号方形 周溝基 覆土			半球的・瘤状。頭部は直線的にわざと外方へ開く。口部部は直線的に内側へ凹取り。	外面部頭部ヨコハケ。口部部ヨ コカヘタミガキ。	胎土: 表面(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6暗	口部部破片

表 8-75 弥生土器観察表 (75)

形名	出土地標	調	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	施土・焼成・色調	備考
110-1 1号方形 周溝基 P-41	春	高さ: 15.7 口径: 10.1 底径: 7.0 最大径: 14.0 底径: 7.8	折り返し口縁部、底部は底盤の高い側部、底部は下に底盤を有し、にへり壁を持つ。底部は直線的に開き、頂部にはながらく張つて木口部や内反する。折り返し面の断面は直角く、口部は内收り、底盤は直角である。	外側斜面下部一側面カーミガキをナダす。底盤一側面カーミガキをナダす。 折り返し口縁部は底盤からいたりナハケの後、底部は底盤ヘマギキ。 内面斜面下部一底面カーミガキ。 底部一側面下位上丁口部カーミガキ。 口縁部一底面カーミガキ。	施土: 密 (石英) 焼成: 良 色調: 10Y R6/6黄褐色	光沢品	
110-2 1号方形 周溝基 P-32	春	現存高: 15.7 口径: 13.0 底径: 9.3	折り返し口縁部、底部は底盤を有し、口部は矩形と曲線である。直線部は外側に外反する。折り返し面の断面は直角く、口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 内面斜面下部一底面カーミガキ。 内面斜面上部一中間部ナハケ、底盤一底面カーミガキ。 口縁部は底盤を有する。	施土: やや粗 (石英多し 白色粒、輝石少量) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/8	口縫合部一底面カーミガキ存続 縫合部1/6欠損 全体的に磨滅	
110-3 1号方形 周溝基 P-31	春	現存高: 12.6 口径: (16.1) 底径: (9.2)	折り返し口縁部、底部は底盤を有し、口部は矩形と曲線である。直線部は外側に外反する。折り返し面の断面は直角く、口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 内面斜面下部一底面カーミガキ。 内面斜面上部一中間部ナハケ、底盤一底面カーミガキ。 口縁部は底盤を有する。	施土: 普通 (石英・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6橙	1号縫合部1/3、縫合部1/2、縫合部1/3残存 全体的に磨滅	
110-4 1号方形 周溝基 P-1-3	夏	現存高: 7.4 口径: (14.2) 底径: (5.8)	折り返し口縁部。底部は底盤と口部は直角である。折り返し面の断面は直角く、口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 内面斜面下部一底面カーミガキ。 内面全体ヨコハケの後、1号縫合部ナハケ。	施土: 普通 (石英・白色粒、 黑色粒、赤色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/8橙	口縫合部一縫合部1/8残存	
110-5 1号方形 周溝基 覆土	春	現存高: 8.0 口径: (13.4) 底径: (7.3)	折り返し口縁部。底部は底盤と口部は直角である。折り返し面の断面は直角く、口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 内面斜面下部一底面カーミガキ。 内面全体ヨコハケの後、1号縫合部ナハケ。	施土: 普通 (石英・白色粒、 赤色粒、輝石少量) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6橙	口縫合部一縫合部1/4残存 内面磨滅	
110-6 1号方形 周溝基 P-31	夏	現存高: 9.1 口径: (19.4) 底径: (8.7)	折り返し口縁部。底部は直角く、1号縫合部が外見が見えないほど大きくなり外反する。折り返し面の断面は直角形を呈し、口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 内面斜面下部一底面カーミガキ。 内面全体ヨコハケの後、1号縫合部ナハケ。	施土: 密 (石英・黒色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R8/6浅黄褐色	1号縫合部一縫合部1/3残存	
110-7 1号方形 周溝基 覆土	春	現存高: 4.4 口径: (16.8)	折り返し口縁部。底部は底盤と口部は直角である。折り返し面の断面は直角形を呈し、口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 1号縫合部一底面カーミガキ。 内面斜面下部一底面カーミガキ。 内面全体ヨコハケの後、1号縫合部ナハケ。	施土: 普通 (石英・白色粒、 黑色粒、赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に近い黃褐色	口縫合部1/3残存 全体的に磨滅	
110-8 1号方形 周溝基 P-21	夏	現存高: 3.8 口径: (20.6)	複合口縁部。複合部は口縁部を組み替え、外側に土帯部を貼りつけで造り出し、直立気味に外傾する。口部は内收り。	外側複合部土帯ナハケ。複合部上部L.R.、下段L.R.横位置文を施文化。5本以上に単位の複合状況文を貼り付ける。口部ナハケL.R.横位縫合文。 内面全体ヨコハケの後、口部付近ヨコナハケ。	施土: 普通 (石英・白色粒、 黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	1号縫合部1/5残存	
110-9 1号方形 周溝基 P-17	春	現存高: 5.3 口径: (19.0)	複合口縁部。複合部は口縁部を組み替え、外側に土帯部を貼りつけで造り出し、直立気味に外傾する。口部は内收り。	外側斜面下部カーミガキ。 複合部カーミガキの後、1号縫合部ナハケ。 内面斜面下部カーミガキ。 内面全体ヨコハケの後、口部付近ヨコナハケ。	施土: やや密 (石英・白色 粒、黑色粒、赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R7/8橙	口縫合部1/4残存	
110-10 1号方形 周溝基 覆土	夏	現存高: 8.6 口径: (21.4)	複合口縁部。底部は直角に底盤を有し、にへり壁を持つ。底部は直線的に開き、制中位は内側気味に立ち上がりる。口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 複合部、口部ナハケ。 内面斜面下部ヨコハキ。	施土: 粗 (白色粒、黑色粒、 赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	口縫合部1/8残存	
110-11 1号方形 周溝基 覆土	夏	現存高: 7.2 最大径: (12.8) 底径: 7.9	唇部は下位に最大径を有し、にへり壁を持つ。制中位は直線的に開き、制中位は内側気味に立ち上がりる。口部は内收り。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部ナハケ。 内面斜面下位一底面ナメハケ。	施土: 普通 (石英・黑色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/3に近い黃褐色	制中位一底位1/2残存、底 部元存	
111-1 1号方形 周溝基 覆土	夏	現存高: 9.1 直径: (11.8)	脚部が丸く張って頸部につながる。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部ナハケ。 内面斜面下位一底面ナメハケ。	施土: やや密 (石英・白色 粒、黑色粒、赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	脚部一縫合部1/6残存	
111-2 1号方形 周溝基 覆土	夏	現存高: 5.8 直径: (9.4)	底部は張らずに底部につながる。	外側斜面下部一側面カーミガキ。 1号縫合部ナハケ。 内面斜面下部ヨコハキ。	施土: やや粗 (白色粒、黑 色粒) 焼成: やや粗 色調: 7.5Y R7/6橙	脚部一縫合部1/4残存	

表 8-76 异生土器観察表 (76)

群別	出土遺構	調査記録 (cm)	形態の特徴	異常・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
III-3	1号方形周溝墓覆土	壺高: 3.5 底径: 7.5	なだらかな唇の肩部。	外面部全タテハ後の後、肩上位ヨコヘラミガキ。肩部は下部に斜めに凹出する。口部は直線的で、直立気味に開く。内面全体ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・白色粒・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R6/6明黄褐	肩部上位1/6残存
III-4	1号方形周溝墓覆土	壺高: 7.5	なだらかな唇の肩部。	外面部全タテハ後の後、肩上位ヨコヘラミガキ。肩部は下部に斜めに凹出する。口部は直線的で、直立気味に開く。内面全体ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・白色粒・白色粒・赤色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	肩部上位1/8残存
III-5	1号方形周溝墓覆土	壺高: 10.6	なだらかな唇の肩部。	外面部全タテハ前の後、肩上位ヨコヘラミガキ。肩部は下部に斜めに凹出する。口部は直線的で、直立気味に開く。内面全体ヨコハケ。	胎土: やや白(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/6橙	肩部上位1/8残存
III-6	1号方形周溝墓P-23	壺高: 8.8 底径: 9.3	腹部は中位に最大径を有した球形を呈す。	外面部全タテナメハケ後ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R5/6明赤褐	肩下位一部完全存 全体的に磨滅 外面部面糊: 痕2カ所あり
III-7	1号方形周溝墓P-11	壺高: 4.4 底径: 10.8	底部が強く直立してから肩下位が大きく述べ方へ開く。底部木葉痕あり。	外面部全タテハケ。肩下位ヨコヘラミガキ。 内面全体ナメダ。	胎土: やや粗(石英・白色粒・輝石少量) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6暗	肩下位~底部完全存 全体的に磨滅
III-8	1号方形周溝墓覆土	壺高: 4.2 底径: (9.0)	底部が強く直立してから肩下位が大きく述べ方へ開く。底部木葉痕あり。	外面部全タテハケをナメナメナメ。肩下位ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	肩下位~底部1/3残存
III-9	1号方形周溝墓覆土	壺高: 3.6 底径: (9.8)	底部が強く直立してから肩下位が大きく述べ方へ開く。底部木葉痕あり。	外面部全ヨコヘラミガキ。 内面全体磨滅のため調整不良。	胎土: やや粗(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6暗	肩下位~底部1/2残存 全体的に磨滅
III-10	1号方形周溝墓覆土	壺高: 3.8 底径: 8.3	底部が強く直立してから肩下位が大きく述べ方へ開く。底部木葉痕あり。	外面部全タテハケ後タテハヨコヘラミガキを一部ナメナメするは外側のため調整不良。 内面全体ナメダ。肩下位ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 5Y R6/6暗	肩下位~底部ほぼ完全存 全体的に磨滅
III-11	1号方形周溝墓覆土	壺高: 2.7 底径: 8.6	強く直立する唇の底部。底部木葉痕あり。	外面部全タテハケ・肩下位ヨコヘラミガキ。 内面全体ナメダ。肩下位ヨコハケ後丁寧ナメダ。	胎土: 喜(石英・輝石・白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6暗	底部ほぼ完全存
III-12	1号方形周溝墓覆土	壺高: 2.8 底径: (6.9)	底部が強く直立してから肩下位が丸く立ち上がる。	外面部全ナメハラミガキ。肩下位ナメハラミガキ。 内面全体丁寧ナメダ。肩下位ヨコハケ後丁寧ナメダ。	胎土: 喜(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄褐	肩下位~底部完全存
III-13	1号方形周溝墓覆土	壺高: 2.1 底径: 9.7	強く直立する唇の底部。底部木葉痕あり。	外面部全ヨコヘラミガキ。肩下位ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケ。肩下位ヨコヘラミガキ。	胎土: 黄(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄褐	底部完全存
III-14	1号方形周溝墓覆土	壺高: 1.8 底径: 9.2	近く直立する唇の底部。底部木葉痕あり。	外面部全タテハケ後ヨコヘラミガキ。 内面全体ヨコハケの後、肩下位ヨコヘラミガキ。	胎土: 黄(石英・輝石・白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6暗	底部完全存
III-15	1号方形周溝墓覆土	壺高: 29.7 口径: 21.5 底径: 18.0 最大径: 22.0 最高部: 10.6	台付型。腹部は中位に最大径を有した球形を呈する。底部は傾斜的に直立する。口部は直線的で、直立気味に開く。	外面部全タテナメハケの後、肩部全ヨコヘラミハケ。肩下位ナメハラミハケ。肩上位ヨコヘラミハケ。口部ヨコハケ。 内面全体ヨコハケ。内面底部ヨコハケ。天井部ナメダ。底付部ナメダ。口部ヨコハケ。肩下位ヨコハケ。口部ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・輝石・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R6/4によい黄褐	ほ光形 外面付帯
III-16	1号方形周溝墓P-22	壺高: 28.1 口径: (19.0) 底径: (16.5) 最大径: (20.0) 最高部: 9.5	台付型。腹部は中位に最大径を有した球形を呈する。底部は傾斜的に直立する。口部は直線的で、直立気味に開く。	外面部全ナメハケ後一部ナメダ。肩下位ナメハラミハケ。肩上位ナメハラミハケ。肩上位ヨコヘラミハケ。口部ヨコハケ。 内面底部ヨコハケ後。内面ヨコハケ。内面底部ヨコハケ後丁寧ナメダ。天井部ナメダ。底付部ヨコハケ。口部ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/6明黄褐	口部~肩下位1/2残存、 腹部ほぼ完全存 全体的に磨滅
III-17	1号方形周溝墓P-4-5	壺高: 28.1 口径: (19.0) 底径: (16.5) 最大径: (20.0) 最高部: 9.5	台付型。腹部は中位に最大径を有した球形を呈する。底部は傾斜的に直立する。口部は直線的で、直立気味に開く。	外面部全ナメハケ後一部ナメダ。肩下位ナメハラミハケ。肩上位ナメハラミハケ。肩上位ヨコヘラミハケ。口部ヨコハケ。 内面底部ヨコハケ後。内面ヨコハケ。内面底部ヨコハケ後丁寧ナメダ。天井部ナメダ。底付部ヨコハケ。口部ヨコハケ。	胎土: 黄(石英・白色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄褐	口部~肩下位1/2残存、 腹部ほぼ完全存 全体的に磨滅

表 8-77 弥生土器觀察表 (77)

地名	出土遺物	種類	計高さ(cm)	形態の特徴	測量・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
L12-3	1号方形 周溝基 P-3'2	甕	現存高: 14.7 口径: (22.2) 縦径: (19.5) 最大径: 22.2	台形甕。口徑と肩部最大径が等しい。側体は、肩部以上で最大径を有し、側面引手孔がある。肩部は後方に突き出しており、最大径は、側面引手孔より大きく外反する。口部は直取りで、上唇を尖らせる。	外底部の中位～下位に斜マッハケ。 側面口下位～中位に平手ナミナミがある。 口部は、口縁部～削上位下口ナミ。 斜マッハケ、口縁部ナミ。	胎土: 砂(石英・白色粒・ 黒色粒) 焼成: やや黄 色調: 10Y R7/4に近い黄 橙	口縫部～脚下位1/2残存 外底焼付層 外内面とも網下位壊滅
L12-4	1号方形 周溝基 P-35	甕	現存高: 12.3 口径: 16.0 縦径: 17.3 最大径: 17.3	台形甕。側面は中位に最大径を有した後方に小さな側面引手孔を有する。側部は緩やかに肩出し、口部は直取りで、上唇を尖らせる。	外底部の中位～下位に斜マッハケ。 側面口下位～中位に平手ナミナミ。 斜マッハケ、口縁部ナミ。	胎土: 砂(石英・白色粒・ 黒色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	口縫部～脚中位完存 外底焼付層
L12-5	1号方形 周溝基 座七	甕	現存高: 9.5 口径: (20.4) 縦径: (19.3)	脚上部が強く張って輪郭につながる。肩部は腰やかに肩出し、口部は幅わざかに外反する。口部は直取り。	外底部の中位下口ナミコハケ。 側面口下位～中位に斜マッハケ。 斜マッハケ、口縁部ヨコナミ。 内凹全体型コハケの後、口縫部ヨコナミ。	胎土: やや密(石英・輝石 少骨) 焼成: 良 色調: 5Y R7/6黄橙	口縫部～脚位1/2残存 外底焼付層
L12-6	1号方形 周溝基 座土	甕	現存高: 4.6 口径: (19.6) 縦径: (17.3)	側面は緩やかに肩出し、口縁部は外反する。口部は直取り。	外底部口下位～脚部タテハケの間に 斜マッハケないコハケを有する。 口部ヨコナミ。 内凹全体型コハケの後、口縫部ヨコナミ。	胎土: 普通(石英・白色粒・ 黒色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6橙	口縫部～瓶部1/4残存
L12-7	1号方形 周溝基 P-24-1	甕	現存高: 5.9 口径: (16.3) 縦径: (15.0)	肩上部は腰らしく肩部につながる。肩部は緩やかに肩出し、口部は外反する。口部は直取り。	外底部口下位～脚部タテハケ。 口部ヨコナミ。 内凹全体型コハケの後、肩上位一部ヨコナミ。	胎土: やや粗(石英・白色粒・ 赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/4に近い黄 橙	口縫部～脚上位1/2残存
L13-1	1号方形 周溝基 P-34	甕	現存高: 11.3 口径: (22.0) 縦径: (19.0) 最大径: 21.8	側面は中位に最大径を有した後方に小さな側面引手孔を有する。肩部は腰やかに肩出し、口縁部は大きく外反する。口部は直取り。	外底部の中位コハケ、瓶部～肩上位 の小口ナミ型マッハケと肩部は大口ナミ。 肩部は腰やかに肩出し、口縁部は大きく外反する。口部は直取り。	胎土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/8黄橙	口縫部1/8、瓶部～脚上位 1/4残存 全体的に磨滅
L13-2	1号方形 周溝基 P-7-1	甕	現存高: 8.5 口径: (21.1) 縦径: (17.4)	口部は腰やかに肩出し、口縁部は大きく外反する。口部は直取り。	外底部口下位コハケ、口縫部～脚部 の肩上位平手ナミナミ。 肩部は腰やかに肩出し、口縁部は大き く外反する。口部は直取り。	胎土: やや粗(石英多し) 焼成: 良 色調: 7.5Y R7/6橙	口縫部～肩上位1/3残存 外底保付層
L13-3	1号方形 周溝基 座土	甕	現存高: 3.1 口径: (20.0) 縦径: (17.0)	側面は腰やかに肩出し、口縫部は大きく外反する。口部は直取り。	外底部口下位コハケの後、 斜マッハケ～脚部タテハケ、さら にヨコナミを重ねる。口部は直取 り。 内凹全体型コハケ。	胎土: やや粗(黑色) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/6黄橙	口縫部～瓶部1/6残存
L13-4	1号方形 周溝基 P-15	甕	現存高: 3.7 口径: (17.7) 縦径: (14.7)	肩部は腰やかに肩出し、口縫部は大きく外反する。口部は直取り。	外底部口下位コハケ、瓶部～肩上位 の斜マッハケナミナメハ カリをすこしにする。口部ヨコナ ミ。 内凹全体型コハケがわざかに残る。	胎土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/4に近い黄 橙	口縫部～瓶部1/2残存 全体的に磨滅
L13-5	1号方形 周溝基 P-8	甕	高さ: 14.0口径 (11.7) 縦径: (11.7) 最大径: (16.2) 底径: (8.1)	口縫部そのものが腰やかに肩出し、側面引手孔を有する。肩部は腰やかに肩出し、口縫部は直取 り。口部は直取り。	外底部口下位～脚部タテハケの後、 斜マッハケ～脚部タテハケの後、 肩部は腰やかに肩出し、口縫部ヨコナ ミ。 内凹全体型コハケがわざかに残る。	胎土: やや粗(石英・輝石・ 白色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に近い黄 橙	口縫部～瓶部1/2残存 脚位～底辺ほぼ完存
L13-6	1号方形 周溝基 座七	甕	現存高: 3.7 口径: (20.0) 縦径: (18.0)	折り返し口縫部。肩部は腰やかに肩出し、口縫部は腰やかに肩出し。折り返し口縫部は四角く、 口部は直取り。	外底部ヨコナミタテハケ、折り返し口縫部 ヨコナミ。 内凹全体型コハケ後ヨコナミ。	胎土: やや粗(石英・輝石) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R6/6橙	口縫部～瓶部1/12残存
L13-7	1号方形 周溝基 P-2-2	甕	現存高: 7.4	肩部～脚下位が直線的に、直立氣 味に肩く台付型の脚部。	外底部ヨコナミ後丁寧ナナ。 内凹全体型コハケ後ヨコナミ。 肩部は腰やかに肩出し、口縫部は直取 り。	胎土: 砂(石英・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	底部完存、瓶部1/2残存(瓶 部欠損)
L13-8	1号方形 周溝基 道溝基 覆土	甕	現存高: 15.8 縦径: (10.6)	底部～脚下位が直線的に、直立氣 味に肩く台付型の脚部。	外底部全体コハケ後一部ナナ。 内凹全体型コハケ後ナナ。	胎土: 普通(石英・輝石) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/6橙	瓶部1/8残存
L13-9	1号方形 周溝基 道溝基 覆土	甕	現存高: 5.1 縦径: (9.6)	底部～脚下位が直線的に、直立氣 味に肩く台付型の脚部。	外底部全体コハケ後一部ナナ。 内凹全体型コハケ後ナナ。	胎土: 普通(石英・輝石) 焼成: やや良 色調: 7.5Y R7/6橙	瓶部1/6残存

表 8-78 弥生土器観察表 (78)

番号	出土遺構	種類	計画図 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	船上・底面・色彩	備考
113-10	1号方形周溝基盤土	渠	現存高：4.7 口径：(7.3)	底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	外側全体タケハケの後、底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒・小石粒) 底面：普通 色調：10Y R6/4に近い黄緑	輪郭1/6残存 全体的に削減
113-11	1号方形周溝基盤土 P-1.2	渠	現存高：8.5 底径：(9.4)	底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	外側全体タケハケの後、底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰多し・黑色粒) 底面：普通 色調：10Y R6/4に近い黄緑	輪郭完存
113-12	1号方形周溝基盤土	渠	現存高：6.4 口径：(8.2)	底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	外側全体タケハケの後、底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒・赤色粒) 底面：普通 色調：7.5Y R6/6	輪郭1/2残存
113-13	1号方形周溝基盤土 P-24.2	沟	現存高：5.7 底径：(13.6)	内側気孔間に開く両环の脚部部。	外側全体タケハケの後、底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・砾石・白色粒・赤色粒) 底面：普通 色調：10Y R6/6に近い黄緑	輪郭1/8残存
114-1	2号方形周溝基盤土	渠	現存高：2.4 口径：7.1	直く立直する直の底部。	外側全体タケハラミガキ後、底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：やや粗(石灰・黑色粒) 底面：普通 色調：7.5Y R7/2	輪郭完存
114-2	3号方形周溝基盤土 P-6	小水槽	高さ：12.6 口径：7.0 底径：5.4 最大径：13.1 底径：8.3	折り返し口唇部。底部の位置が直ぐ、頭部の立ち上がり部分の位置が直ぐ、頭部は中央より最大径ほど高く、下位に広がる。口唇部は頭部と反対して直ぐ上位が広がる。口唇部は頭部から外反する。折り返し口唇部の断面は四角く、口唇部は一部を含めて凹取り。底面大葉底あり。	外側底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒・黑色粒) 底面：良 色調：10Y R6/4に近い黄緑	完形品
114-3	3号方形周溝基盤土 P-4	渠	現存高：17.8 口径：4.7 底径：(4.0) 底径：6.2	頭部は下位に最大径を有し、上位を折り返す。頭部の立ち上がり部分の位置が直ぐ、頭部は中央より最大径ほど高く、下位に広がる。口唇部は頭部と反対して直ぐ上位が広がる。口唇部は頭部から外反する。折り返し口唇部の断面は四角く、口唇部は一部を含めて凹取り。底面大葉底あり。	外側底部～胴下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒・黑色粒) 底面：良 色調：7.5Y R6/4に近い黄緑	輪郭一輪部は先存(口唇部大葉)、胴部～脚下位3/4残存。底部完存 全体的に削減
114-4	3号方形周溝基盤土 P-3	渠	現存高：5.6 口径：(15.0) 底径：(9.6)	単純口縁部。底部は近く、II脚部は大きく外反する。口唇部は両收口。	外側口縁部タケハラミガキ後、頭部～脚下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒) 底面：良 色調：10Y R6/6に近い黄緑	II脚部～脚部1/4残存
114-5	3号方形周溝基盤土	渠	現存高：4.9 口径：(12.6)	複合口縁部。複合部はI脚部を頭部に組み合わせ、外側に軸上位を張りつけて折り返し、直線的に外傾する。II脚部は頭部を取りり。	外側口縁部タケハラミガキ後、頭部～脚下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒) 底面：良 色調：7.5Y R5/8	II輪部1/4残存
114-6	3号方形周溝基盤土	渠	現存高：2.2 底径：(4.4)	小型の底部。底部から直接胴下位が直立状況に外傾する。	外側全面コハクマギ。	船上：やや粗(石灰・黑色粒) 底面：良 色調：7.5Y R6/6	底部1/4残存
114-7	3号方形周溝基盤土	渠	現存高：2.1 底径：(9.9)	直く立直する直の底部。	外側全体タケハケ後タケヘラミガキ。 内側底面ヨコハケ後ヨコハケを削除。	船上：普通(石灰・黑色粒) 底面：良 色調：7.5Y R5/8	II輪部1/2残存
114-8	3号方形周溝基盤土 P-1	渠	現存高：4.4 口径：(16.1) 底径：(12.9)	頭部は僅やかに外傾し、口縁部は外反する。口唇部は頭部を取りり。	外側底部ヨコハケ後ヨコハケ。頭部～脚下位が直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒・黑色粒) 底面：普通 色調：10Y R6/6に近い黄緑	II輪部～脚部1/6残存 全体的に削減
114-9	3号方形周溝基盤土	渠	現存高：4.3 底径：(9.1)	底部～胴下位が直線的に開く台付型の脚部部。	外側底部ヨコハケ。軸上位タケハラミガキ。 内側全面ヨコハケ。	船上：やや粗(石灰・白色粒・黑色粒) 底面：普通 色調：10Y R6/6に近い黄緑	輪郭3/5残存
114-10	3号方形周溝基盤土 P-2	渠	現存高：5.6 口径：(24.6) 底径：(21.7)	折り返し口縁部。頭部は腰やかに屈曲し、I脚部は直線的に外傾する。折り返し頭部は四角く、II脚部は頭部を取りり。	外側口縁部～脚部直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：やや粗(石灰・白色粒・黑色粒) 底面：普通 色調：7.5Y R7/2	II輪部～脚部1/2残存
114-11	3号方形周溝基盤土	渠	現存高：5.3 口径：(19.0) 底径：(18.5) 最大径：(19.9)	頭部は下位に最大径を有した球形を呈する。頭部は内面によい様を有して屈曲し、口唇部は直線的に外傾する。口唇部は頭部を取りり。	外側口縁部～脚部直線的に開く低窪の台付型の跡部。	船上：普通(石灰・白色粒) 底面：普通 色調：10Y R5/3に近い黄緑	II輪部～脚部1/2残存

表 8-79 弱生土器観察表 (79)

階段	出土遺構	群	計測箇所 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
115-1	土器陶業 遺構 1	骨	底高: (23.9) 口径: (15.1) 頭径: (7.9) 最大径: 20.2 底径: (9.0)	口縁部縦縫。脣部は下位に最大径をもつした下傾型の輪郭形を有する。 肩部は強らしく脣部にこながり、 口縁部は大きく外反する。口唇部 は凹取り。底部木葉痕あり。	外側口縁部に凹テナメル、口縁 部下側にケチハバハの後、肩部上 部下側にヨコヘラギ。口縁 部-肩部-上部ヨコヘラギ。 肩部は2箇位の輪郭形を4 方に結びつける。唇部ヨコナギ の後、脣状突出を助ける。 内面底面ナナ。肩下部ヨコハケ。 腰小仙ナナ。肩第一腰上部ヨコハ ケ。肩端ナナ。口縁部ヨコハケ後、 下部はナナヘラミヨギホ。上半は ヨコヘラミガキ。	胎土: 密(白色粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R5/6明褐色	1層部-一期部1/2、肩部は 光沢、底部1/2残存
115-2	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 26.2 肩幅: 7.0 底径: (20.5) 底径: (8.9)	輪郭は下位に最大径を有した下傾 型輪郭を有する。肩部は縦縫 の輪郭形を呈する。脣部は縦縫 の輪郭につながり、1層部は大 きく外反する。	外底底部ヨコナナ。肩下部位ヨコナギ の後、腰部ヨコハケがずかずか上から入り、肩 部は強らぎて輪郭につながり、 1層部は大きく外反する。	胎土: やや粗(石英・白色 粒・黑色粒・赤色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R7/6明黄色	口縫部-一期部光沢(1)腰部 欠損、肩上位-底部1/2残存 全体的に磨滅
115-3	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: (20.0) 肩幅: (9.6) 底径: (12.3)	輪郭に比して腰部、瓶口等の太い骨 部下部は丸く立ち上がり、肩 部は強らぎて輪郭につながり、 1層部は大きく外反する。	外側肩下部-肩部ヨコヘラミヨギホ の後、腰部ヨコハケ。肩部-肩部ヨコ ヘラミヨギホの後、腰部ヨコヘラ ミヨギホ。	胎土: やや粗(石英・黑色 粒) 焼成: やや良 色調: 10Y R7/6明黄色	口縫部-肩上位1/2、肩下 位1/2-1/2残存 (1)腰部欠損
115-4	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 11.1 口径: (15.4) 頭径: (9.1)	単純口縁型。肩部は張らずに腰部 につながる。口縁部は直線形の外 方へ開く。口唇部は丸め。	外側口縁部-直線形ヨコハケ の後、腰部ヨコハケ。肩部ヨコヘラ ミヨギホの後、口縫部ナメ ヘラミガキ。	胎土: やや粗(石英・黑色 粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/8橙	口縫部1/2、肩部-肩部1/ 4残存
115-5	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 7.2 口径: 9.0 頭径: (7.0)	半純口縁型。肩部は張らずに腰部 につながる。口縁部は直線形の外 方へ開く。輪郭は丸め。	外側口縁部ヨコハケ。肩部ヨコヘラ ミヨギホ。腰部ヨコハケ。肩部ヨコナ ナ。内面全体板ナダ?	胎土: やや粗(白色粒・黑 色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R7/6橙	口縫部-肩部2/3残存 全体的に磨滅
115-6	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 8.8 口径: 10.9 頭径: (6.1)	單純口縁型。脣部は張らずに縦 縫につながる。口縁部は直線形の外 方へ開く。口唇部は凹取り。	外側-輪郭-腰部屈曲かいタラハケ 後タマヘリミガキ。口唇部ヨコナ ナ。内面肩部ヨコハケ。肩部ヨコヘラ ミヨギホの後、口縫部ナメ ヘラミガキ。	胎土: やや密(石英・黑色 粒) 焼成: 良 色調: 5Y R6/8橙	口縫部-肩部完全 外面磨滅
115-7	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 4.2 口径: (12.2)	複合口縁型。複合部口縁部をわ ざかに開きさせて造り出し、直線 形向外反する。口唇部は凹取り。	外側複合部ヨコハケの後、6本以 上1単位の輪郭突起を助ける。 口唇部ヨコナナ。内面全体ヨコヘラ ミヨギホの後、口唇部ヨコハ ケ。	胎土: 普通(石英・黑色粒) 焼成: やや軟 色調: 7.5Y R7/6黃褐色	口縫部1/8残存
115-8	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: (5.8)	肩上位-肩部はわずかに張って太 い肩部につながる。	外側全周ヨコハケがわずかに残る。 内面肩部-肩上位-唇部直角面ナナ。肩部 ナダ。	胎土: やや粗(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 7.5Y R6/6橙	肩部-肩上位1/4残存 全体的に磨滅
116-1	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: (0.0) 口径: (15.2) 肩幅: (14.2) 最大径: (17.0)	台形窓。脣部は少しに外斜化を有 した袋状窓を有する。輪郭は腰部 から肩部へ、輪郭部は直線形にわ ざかに外傾する。口唇部は凹取り。	外縫部(?)腰部ヨコハケ、肩部- 肩上位屈曲かいタラハケ、ヨコヘ ラミヨギホの後、腰部ヨコハ ケ。内面肩部ヨコハケ。肩部ヨコヘ ラミヨギホの後、腰部ヨコハ ケ。	胎土: 密(石英・白色粒・ 黑色粒) 焼成: 普通 色調: 7.5Y R6/6橙	口縫部-一部、肩部-肩中位 1/6残存 外面焼付着
116-2	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 3.9 口径: (15.1) 頭径: (12.6)	輪郭は腰やかに直角し、口縁部は 外反する。口唇部は凹取り。	外側肩部ヨコハケ。肩部下半 ナメハケ。肩上部ヨコハケ。口唇 部ヨコハケ。肩部ヨコナナ。	胎土: 密(石英・黑色粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/4に近い黃 褐色	口縫部-一部/3残存 外面焼付着
116-3	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 5.9 口径: (16.2) 頭径: (13.8)	肩上位は張らずに肩部につながる。 肩部は腰を持たずに直角し、口縫 部は直線形に外傾する。口唇部は 凹取り。	外側肩部-腰部屈曲かいタラハ ケ。内面肩部ヨコハケ。肩部ヨコヘ ラミヨギホの後、腰部ヨコハ ケ。	胎土: 普通(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 5Y R7/6橙	口縫部-肩上位1/8残存
116-4	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 8.4 口径: (19.4)	口下を持つ高杯。杯底は深く、下 位に腰を持つ。中位-上位は内 輪状味を持ち、口唇部は片口部分 は丸く。その他の部は凹取り。	外側杯底ヨコハケ後-ヨコヘ ラミヨギホ。中位ヨコヘラミヨ ギホの後、上位ヨコハケ。口唇 部ヨコハケ。口唇部ヨコナナ。内 面全体ヨコハケが丁寧なナダ。	胎土: やや密(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に近い黃 褐色	環部1/2残存 外表面焼付着 116-5と同一個体?
116-5	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 8.2 肩部底: 12.6	肩部-輪郭が外反して高く両側 の肩部。	外側輪郭部ヨコハケ。輪郭全体 ナダ。	胎土: やや密(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成: 良 色調: 10Y R7/4に近い黃 褐色	肩部1/4残存 116-4と同一個体?
116-6	土器陶業 遺構 1	骨	現存高: 8.9 肩部底: 9.6	底部-直線的に開く台形 の脚部。	外側全体ヨコハケ。	胎土: やや密(石英・黑色 粒) 焼成: 普通 色調: 10Y R6/6明黄色	脚部ほぼ完存

表 8-80 异生土器観察表 (80)

番号	出土遺物	種類	計画高 (cm)	形態の特徴	調整・正法の特徴	胎土・施成・色調	備考
116-7	土器底葉 遺構 1	壺	現存高：5.4 底径：7.2	底盤が高く直立してから胴下がり 外方へ開く。	外面全体タハケ後コヘツミガ 内面底面指捺ナ。胴下位付ナ。	胎土：泥(石灰・黒色粒) 施成：灰 色調：10Y R 6/6明黄褐色	脚下位1/4残存、底部完全 脚下位1/4残存
116-8	土器底葉 遺構 1	壺	現存高：4.7 底径：7.4	底盤が高く直立してから胴下位が 大きく外方へ開く、底面木葉があり。 内面底面指捺ナ。胴下位低いリコハ ケ。	外面全体ヨコナミタマギサの後、底 部リコナギ。底面も木葉紙をとぎ て置く。	胎土：やや泥(石灰・黑色粒) 施成：灰 色調：7.5Y R 6/6暗褐色	脚下位一部、底部3/4残存 全体的に磨滅
116-9	土器底葉 遺構 1	壺	現存高：3.7 底径：(9.0)	底盤が高く直立してから胴下位が 大きく外方へ開く。	外面全体タクハケ。胴下位コヘツ ミガ。内面底面細かいタマギサ。	胎土：やや泥(石灰・黑色粒) 施成：普通 色調：10Y R 7/6明黃褐色	脚下位一部1/2残存 全体的に磨滅
116-10	土器底葉 遺構 1	壺	現存高：2.3 底径：(10.0)	底盤が直立する壺の底部。	外面全体タハケの後、底部ヨコヘ ツミガ。内面底面細かいタマギサ。胴下位板ナ ケ。	胎土：普通(石灰・白色粒・ 黑色粒) 施成：普通 色調：7.5Y R 5/6明褐色	脚部1/2残存
116-11	土器底葉 遺構 1	壺	現存高：2.7 底径：(10.2)	底盤が直立する壺の底部。	外面全体タハケをナブ消す。 内面底面指捺ナ。胴下位リコハ ケ。	胎土：やや泥(石灰・白色 粒・黑色粒) 施成：普通 色調：7.5Y R 6/6浅黃褐色	脚部1/4残存
116-12	土器底葉 遺構 1	壺	現存高：1.9 底径：(8.6)	底盤が直立する壺の底部、底面木葉 紙あり。	外面全体ナダ。内面底面ナダ。胴下位リコハ ケ。	胎土：やや泥(石灰・白色 粒・黑色粒) 施成：普通 色調：7.5Y R 6/6位	底部1/3残存
117-1	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：30.6 口径：15.9 底径：8.9 最大径：25.1 底径：(8.6)	半純口縁器。胴部は下位に最大径 を有し、肩を持つ。胴下位は直線 的に開き、胴下位がわずかに張 ってない隙間につながる。口唇部は やや内側気味に外方へ開く。J.I.印 部は凹取り。	外面底部タハケがわずかに残る 佔地底蓋のため調整不規 内面底面ナダ。胴下位リコハ ケ。底中位と下位の端は指捺ナダ。底 部第一脚位部のため指捺ナダ。底 部第一脚位部のため指捺ナダ。 J.I.印部ヨコタマギサ。	胎土：やや泥(石灰・白色 粒・黑色粒) 施成：普通 色調：7.5Y R 7/6位	口縁部一頭部ほぼ完全、肩 部1/2位付近 脚部1/4残存 全体的に磨滅
117-2	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：7.6 口径：(15.0) 底径：(9.4)	半純口縁器。底部は底く、口唇部 はやや内側気味に外方へ開く。J.I. 印部は面取り。	外面口縁部細かいタマギサがわず かに残る。底中位は指捺のため調整不規 口唇部ヨコヨコ。	胎土：やや泥(石灰・白色 粒・黑色粒) 施成：普通 色調：10Y R 8/4浅黃褐色	J.I.印部1/3、肩部1/8残存 全体的に磨滅
117-3	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：14.0 最大径：23.1 底径：8.6	胴部は下位に最大径を有し、下位 には横持つ。肩下位は直線的につな がり、中位から内側に持ち上がる。	外面全体底蓋のため調整不明。 内面底面ナダ。胴下位リコハ ケ。	胎土：やや泥(石灰・白色 粒・黑色粒) 施成：普通 色調：7.5Y R 7/6位	脚中位2/3、脚下位一部 完全
117-4	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：(27.6) 最大径：17.3 底径：9.2 最大径：23.2 底径：9.3	半純口縁器。胴部は下位に多人像 を有し、肩を持つ。胴下位は直線的 に開き、胴下位がわずかに張 ってない隙間につながる。口唇部は やや内側気味に外方へ開く。J.I.印 部は窓取り。	外面胴上位～下位ヨコタマギサ。 脚部第一脚位部のため調整不規 他は垂直のため調整不規。J.I.印部ヨコ ヨコヨコ。底中位ヨコヨコ。脚部第一脚 位部ヨコタマギサ。	胎土：普通(石灰・白色 粒・黑色粒) 施成：普通 色調：10Y R 8/4浅黃褐色	ほぼ完全 全体的に磨滅
117-5	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：(30.4) 口径：(16.8) 底径：(7.9) 最大径：22.9 底径：9.1	折り返し口縁器。胴部は中位に最 大径を有し、下位にやや内側を持つ ヨコ脚形を有する。断面は細く、 底盤は外側に見開く。J.I.印部は やや内側気味に外方へ開く。J.I.印 部は窓取り。	外面胴上位～下位ヨコタマギサ。 内面底面ナダ。胴下位リコハ ケ。口唇部ヨコヨコ。口唇部ヨコタ マギサ。	胎土：やや泥(石灰・白色 粒・黑色粒) 施成：普通 色調：5Y R 7/8位	J.I.印部～脚上位1/6、脚中 位～底部は完全 全体的に磨滅
117-6	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：8.5 底径：(10.0)	胴上位が丸く張って丸い断面につ ながる。	外面底部形状の複雑化を3段階後 、下位脚部S字状跡を有する。 内面底面のため調整不明。	胎土：普通(石灰・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 施成：やや軟 色調：7.5Y R 7/6位	脚部～胴上位1/2残存 全体的に磨滅
117-7	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：2.5 口径：(17.6)	折り返し口縁器。口唇部は外方が 見えないほど大きく外反する。折 り返し口の断面は底向外く、口唇部 は面取り。	外面口縁部2本1位の複雑な浮文を 貼り付ける。他は調整のため調整不規 内面底面ナダ。胴下位に上位L.R.、下位 R.L.横脚部浮文。	胎土：やや粗(石灰・白色 粒・黑色粒・赤色粒) 施成：普通 色調：10Y R 8/4浅黃褐色	口縁部1/3残存 全体的に磨滅
117-8	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：2.3 口径：(15.6)	折り返し口縁器。口唇部に外が 見えないほど大きく外反する。 内面にy字型を持つ折り返し口の 断面は底向外く、口唇部は面取り。	外面口縫部J.I.横脚部浮文がわず かに残る。他は調整のため調整不規 内面底面は横に下部にy字状跡 浮文を行うY字型脚部浮文と段階式の 他は調整のため調整不規。	胎土：やや泥(石灰・白色 粒・赤色粒・黑色粒) 施成：やや軟 色調：10Y R 7/6明黃褐色	口縁部1/4残存 全体的に磨滅
118-1	土器底葉 遺構 2	壺	現存高：20.0 口径：(11.0) 底径：6.8 最大径：(6.5)	半純口縁器。胴部は下位に最大径 を有し、下位の脚部を有する。 脚部は等々位に張り、脚部につなが り、口唇部はやや内側気味に外方へ開く。 J.I.印部は面取り。	外面胴上部ヨコタマギサ。脚上位 は脚部ヨコヨコ。脚下位ヨコタマギ サ。	胎土：やや泥(石灰・脚右・ 脚左・黑色粒・赤色粒) 施成：やや軟 色調：10Y R 8/4浅黃褐色	口縫部1/4、脚部～脚中位 ほぼ完全、脚下位1/8残存 全体的に磨滅

表 8-81 猛生土器観察表 (81)

番号	出土箇所	鉢	計測値 (cm)	形態の特徴	調査・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
118-2	土器陶業遺構2	壺	現存高：2.6 口径：7.9 底径：7.9	直立する壺の底部。	外沿と内側底の認められず。内側底面ナメ。肩下部タマまたはヨコハケ。	胎土：やや粗(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：5Y R8/8黄褐色	底部充実 全体的に磨滅
118-3	土器陶業遺構2	壺	現高：18.2 口径：10.4 底径：6.7 最大径：13.3 底径：7.8	単純口縁。腹最大径に比して頸部、底径の大きな個体。腹部は中位に膨らむを有し、下位にはない後を持つ球形部を有する。肩上部は丸く張り出している。口縁部は直線的で外方に開き、口唇部が近づかず常に一定の距離を保つ。口部部は凹取り。	外沿全体ナメの後、口部に2個1単位の円形容文を4方に貼りつけ。口部部ヨコナメ。内側全体ナメ。	胎土：やや粗(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成：やや軟 色調：5Y R6/6橙	穴器品 全体的に磨滅
118-4	土器陶業遺構2	壺	現存高：22.9 口径：(7.5) 最大径：19.6 底径：10.5	肩部は中位に最大径を有しした下部の直線形を示す。肩部は鋭角で、頭部に頭部ににつながり、口縁部は腰やかに外反する。底面も腰やかである。	外沿肩中位ヨコヘタミガキ?。肩部かいヨコハケがわざかに残る。他是の磨滅のため剥落不明。内側底部細かいヨコハケがわざかに残る。他の磨滅のため剥落不明。	胎土：やや粗(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐色	口縁部～肩部1/3焼存(1 件部分欠け)。肩部充実、肩上 位～中位2/3、肩下位1/3、 底部2/3焼存 全体的に磨滅
118-5	土器陶業遺構2	壺	現存高：36.8 最大径：52.5 底径：16.7	腹最大径の胸中位～底端。胸部は下位に最大径を有した下部の直線形を示す。	外沿肩下位ないしタマヒ・肩下位ヨコハマヨコハケがわざかに残る。内側底面ナメ。肩中位～下位頸付 ヨコハケがわざかに残る。	胎土：やや柔(石英・白色 粒・黑色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6橙	肩中位1/4焼存、肩下位～ 底部充実 全体的に磨滅
119-1	18RD 11 リッド 表取	鉢	器高：2.3 口径：16.5 底径：16.5 最大径：16.7	小形鉢。全体は直線的に、直立気味に外傾する。口部部は凹取り。	外沿全体ナメ。	胎土：普通(砾石・白色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	完形品
119-2	S D 507 覆土	壺	器高：17.6 口径：5.8 底径：5.8 最大径：13.8 底径：6.7	折り返し口縁部。腹部は中位に最も膨らみを有し、下位位にぶつ接部持つ。折り返し部の球形部を呈する。頭部は丸く張り出している。口縁部はさくらんぼ状に折り返し。口縁部はさくらんぼ状に折り返す部分がある。	外沿肩下位ナメ。制中位ヨコヘラ ミガキ。頭部～頂部1/2位磨滅のため剥落不明。内側底部ヨコハケがわざかに残る。折り返し口縁部ナメ。口部部ヨコハケ。 内側底面ナメ。口縁部～肩下位ヨコハケがわざかに残る。	胎土：削(石英・白色粒・ 黑色粒・赤色粒) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6橙	ほぼ完形(口縁部1/2欠損) 外縁部磨滅
119-3	S B47 西東面 SB 400 SB 513 覆土	壺	現存高：5.6 口径：(23.2)	折り返し口縁部。口縁部は直線的 に内外へ開き、口部部附近で内側 に腰を有して直角し、頂部を持つ。 折り返し部の断面は四角く、口部 部は凹取り。	外沿肩部弱いタマヒ。折り返 しナメ?。肩部弱いヨコハケ 後縁の後、面に沿って直角位にへ リ跡をみる。入る。	胎土：やや粗(石英・赤色 粒・砂粒) 焼成：普通 色調：10Y R8/4浅黄褐色	口縁部1/5焼存
119-4	5区表探	壺	現存高：2.4 底径：(8.0)	直立する壺の底部。	外表面底部折れタマヒ。肩下位ヨ コヘタミガキ。 内側全体ナメ。	胎土：普通(石英・長石・ 輝石) 焼成：普通 色調：10Y R6/6明黄褐色	底部1/2焼存
119-5	5区表探	壺	現存高：4.0 口径：(18.0)	弧立口縁部。複合部は直線部を基 準として折り返し、直角位に外傾 する。口部部は凹取り。	外表面口縁部弱いタマヒ。複合部 弱いヨコハケの後、2本以上1半 位の横形容文を貼り付ける。口部 ヨコナメ。 内側全体粗いヨコハクナメ。	胎土：やや粗(石英・輝石) 焼成：普通 色調：10Y R7/6明黄褐色	口縁部1/3焼存
119-6	5区表探	壺	現存高：2.6 口径：(14.8)	折り返し口縁部。口縁部は直線的 に内外へ開き、折り返し部の断面 は直角く、口部部は凹取り。	外表面口縁部ナメメタヒ強度タマヒ ヨコハキ。折り返し口縁部ヨコハ ケ後縁ヨコハケ後ナメ。	胎土：やや粗(石英・輝石・ 黑色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R6/6橙	口縁部1/6焼存
119-7	5区表探	壺	現存高：7.0 口径：(18.0)	折り返し口縁部。口縁部は直線的 に内外へ開き、1/4位部附近で内側 に腰を有して直角し、頭部を持つ。 折り返し部の断面は直角く、口部 部は凹取り。	外表面口縁部ナメメタヒ第一段ナメ ヨコハケ後一回ヨコハケ。 内側口縁部ヨコハケ。肩に腰を有 し直角位強度文後、3個以上1半 位の横形容文を貼り付ける。	胎土：普通(石英・長石・ 輝石) 焼成：良 色調：7.5Y R7/6黄褐色	II輪部1/3焼存
119-8	5区表探	壺	現存高：2.5 口径：(17.0)	口縁部は大きく外反する。口部部 は凹取り。	外表面口縁部ナメメタヒ。L行部ヨ コナメの後、下端にヘラで込みを 入れる。 内側全体ヨコハケ。	胎土：やや粗(石英・長石・ 輝石・白色粒) 焼成：普通 色調：5Y R5/8明赤褐色	口縁部1/4焼存
119-9	5区表探	壺	現存高：25.6 口径：23.3 底径：21.7 最大径：27.7	台形壁。脚部は上位に最大径を有 した球形部を呈する。底部は腰や かに弧曲し、口縁部は短く、直角 位に外傾する。口部部は凹取り。	外表面口縁部～脚下位ナメハケの 後、上位ヨコハケ。口部部ヨコ ハケ。 内側全体ヨコハケ。	胎土：やや粗(石英・輝石・ 白色粒・赤色粒) 焼成：普通 色調：7.5Y R7/6橙	口縁部～脚下位1/2焼存 外縁部欠け

全長・厚さの( )は残存値

図版番号	地	出土遺構	全長(cm)	厚さ(cm)	胎土	焼成	色調	備考
23-11	1	S B122床脚	(4.05)	1.1	普通(石英・黒色粒)	良	7.5Y R7/6暗	下端部火痕
24-7	1	S B138覆土	4.3	1.2	普通(石英・黒色粒・白色粒)	普通	7.5Y R6/6暗	完形
28-12	2	S B220覆土	(2.2)	1.25	やや粗(石英・黒色粒)	普通	7.5Y R8/6暗	下端部1/2欠損
33-13	2	S B224北西隅覆土中位	(2.0)	0.8	普通(黒色粒)	普通	10Y R7/6明黄	下端部火痕
68-9	4	S B445セクションベルト表土	(3.8)	1.05	やや粗(黒色粒・白色粒)	普通	7.5Y R5/4Cにぶい高	孔状空洞多く出西斜面
73-11	4	S B552覆土	(2.85)	1.1	やや粗(石英・黒色粒多し・白色粒)	普通	7.5Y R6/6暗	下端部1/2強
77-3	4	S B475B仰跡覆土	2.8	0.8	普通(石英・黒色粒)	やや良	7.5Y R6/6暗	完形
77-4	4	S B475B仰跡覆土	(1.35)	0.55	無(石英・黒色粒多し・白色粒少)	やや軟	7.5Y R8/6暗	下端部1/2強
77-5	4	S B475B覆土	2.9	(1.1)	やや粗(黒色粒・白色粒)	普通	5Y R7/6暗	厚1/2のみ残存
87-12	5	S B517覆土	3.25	1.1	やや粗(石英・白色粒・黒色粒)	普通	5Y R6/6暗	孔状空洞・火痕
108-5	5	S B576覆土	(2.5)	1.25	やや密(石英・黒色粒)	良	7.5Y R6/6暗	下端部1/2欠損
119-10	1	S H103柱穴2	(3.15)	1.2	普通(石英・白色粒)	普通	7.5Y R8/3Cにぶい高	下端部火痕
119-11	5	R-25南	(3.25)	1.6	普通(石英・黒色粒多し・赤色粒)	やや軟	10Y R8/4強黄	下端部1/2強

表9 土製勾玉観察表

全長・厚さの( )は残存値

図版番号	地	出土遺構	全長(cm)	厚さ(cm)	胎土	焼成	色調	備考
53-20	4	S B430覆土中位	1.3	1.3	やや粗(白色粒)	普通	7.5Y R7/6暗	上側小玉
88-10	5	S B519覆土	4.8	3.8	やや粗(石英・輝石)	良	7.5Y R6/6暗	土製丸玉
119-12	1	表土	4.4	4.1	密(白色粒)	良	5Y R6/6暗	上側丸玉

表10 土製丸玉観察表

全長・厚さの( )は残存値

図版番号	地	出土遺構	全長(cm)	厚さ(cm)	胎土	焼成	色調	備考
119-13	1	表土	1.9	0.6	密(白色粒・黒色粒・赤色粒)	普通	5Y R7/6暗	
119-14	1	表土	(3.0)	1.7	普通(石英・白色粒・黒色粒)	普通	7.5Y R6/6暗	約1/2残存

表11 泥メンコ観察表

全長・最大幅・最大厚の( )は残存値

図版番号	地	出土遺構	全長(cm)	最大幅(cm)	最小径(cm)	胎土	焼成	色調	備考
53-6	4	S B429	3.9	2.4	1.3	やや密(石英・白色粒)	普通	10Y R6/4にぶい 黄緑	

表12 有孔変形土製品観察表

全長・最大幅・最大厚の( )は残存値

図版番号	地	出土遺構	全長(cm)	最大幅(cm)	最小径(cm)	胎土	焼成	色調	備考
28-13	2	S B220	(4.05)	(2.0)	(1.6)	やや粗(白色粒・黒色粒・赤色粒)	普通	7.5Y R5/4Cにぶい 黄緑	約1/3残存
82-5	4	S B492北側柱穴内覆土	(4.3)	(2.4)	(1.5)	密(白色粒・黒色粒)	普通	10Y R6/3にぶい 黄緑	約1/2残存
82-13	4	S B498床面	(5.4)	(3.4)	(1.9)	やや粗(石英・白色粒・黒色粒)	普通	7.5Y R6/4にぶい 黄緑	約1/2残存
113-14	5	1号方形周溝基脚溝覆土	3.25	3.05	1.1	やや密(石英・黒色粒多し・白色粒)	良	5Y R6/6暗	

表13 紡錘車観察表

図版番号	地	出土遺構	計画値(cm)	形態的特徴	調整・手法の特徴	胎土・焼成・色調	備考
61-8	S B435 P-1	基底:3.5 口径:6.1 底径:5.1	平底の輪状の手づくね土器。体部は垂直に立ち上がる。	内面底部ケズリ状の根ナデ。	胎土:やや密(白色粒・赤色粒) 焼成:やや良 色調:5Y R6/6暗	ほぼ完形	
76-11	S B474P	基底:3.9 口径:9.4 底径:5.1	平底の輪状の手づくね土器。体部は内湾気味に立ち上がる。	内面底面丁寧な指彫ナデ。体部内面底部ケズリ状の根ナデ。	胎土:やや密(石英・白色粒・黒色粒・灰色粒) 焼成:やや良 色調:7.5Y R7/6暗	ほぼ完形	

表14 手づくね土器観察表

※径・長さの( )は推定値

図版番号	組	出土遺構	取り上げ點	径 (cm)	長さ (cm)	重量 (g)	色調	備考
31-5	4	S B 4 2 2 隅		0.55	0.51	0.2	コバルトブルー	
99-21	5	S B 5 5 6 C 床面土上		0.38	0.25	0.04	スカイブルー	
114-12	5	3号方形周溝墓主体部	G-034	0.95	0.55	0.59	コバルトブルー	
114-13	5	3号方形周溝墓周溝内	G-033	0.78	0.55	0.46	コバルトブルー	
114-14	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0003 SSQD03MG0005	0.7	0.52	0.14	コバルトブルー	辺縁に茶色あり
114-15	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0006	0.7	(0.55)	0.34	コバルトブルー	
114-16	5	3号方形周溝墓主体部	G-027	0.72	0.61	0.4	コバルトブルー	
114-17	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0008	0.7	0.51	0.31	コバルトブルー	一部欠損
114-18	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0001	0.69	0.55	0.35	エメラルドグリーン	約1/2欠損
114-19	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0009	0.65	0.58	0.28	コバルトブルー	
114-20	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0011	0.7	0.39	0.23	スカイブルー	辺縁に茶あり
114-21	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0019	0.6	0.5	0.2	スカイブルー	
114-22	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0013	0.69	0.49	0.24	コバルトブルー	
114-23	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0016	0.61	0.41	0.17	コバルトブルー	一部欠損
114-24	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0002	0.5	0.6	0.17	エメラルドグリーン	一部欠損
114-25	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0017	0.6	0.41	0.16	コバルトブルー	
114-26	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0018	0.55	0.5	0.18	コバルトブルー	辺縁に茶あり
114-27	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0004	0.51	0.41	0.14	コバルトブルー	
114-28	5	3号方形周溝墓主体部	G-019	0.5	0.55	0.19	コバルトブルー	
114-29	5	3号方形周溝墓主体部	G-028	0.52	0.45	0.1	コバルトブルー	
114-30	5	3号方形周溝墓主体部	G-029	0.5	0.38	0.11	コバルトブルー	
114-31	5	3号方形周溝墓主体部	G-031	0.48	0.38	0.08	スカイブルー	
114-32	5	3号方形周溝墓主体部	G-030	0.41	0.3	0.07	コバルトブルー	
114-33	5	3号方形周溝墓主体部	G-026	(0.38以上)	0.41	0.12	コバルトブルー	約2/3欠損
114-34	5	3号方形周溝墓主体部	G-023	(0.35以上)	0.45	0.06	エメラルドグリーン	帯状A付 素面
114-35	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0014	(0.28以上)	0.45	0.09	エメラルドグリーン	帯状A付 素面
114-36	5	3号方形周溝墓主体部	G-025	0.4	0.2	0.03	スカイブルー	
114-37	5	3号方形周溝墓主体部	G-020	0.39	0.3	0.04	スカイブルー	
114-38	5	3号方形周溝墓主体部	G-022	0.41	0.25	0.05	スカイブルー	
114-39	5	3号方形周溝墓主体部	G-021	0.35	0.12	0.02	スカイブルー	
114-40	5	3号方形周溝墓主体部	G-03	0.3	0.25	0.03	スカイブルー	
119-15	4	S B 4 2 9 邊		(0.35以上)	0.45	0.07	コバルトブルー	約1/3欠損
	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0007	測定不可	測定不可	0.08	コバルトブルー	破片資料
	5	3号方形周溝墓主体部	SSQD03MG0015	測定不可	測定不可	0.31	コバルトブルー	破片資料
	5	3号方形周溝墓主体部	G-02	測定不可	測定不可	0.13	エメラルドグリーン	破片資料

表15-1 ガラス小玉観察表

図版番号	組	出土遺構	全長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	色調	備考
114-41	5	3号方形周溝墓主体部	1.8	0.9	0.6	1.2	スカイブルー (一部コバルトブルー)	

表15-2 ガラス勾玉観察表

全長の( )は既存値

図版番号	組	出土遺構	全長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	備考
65-4	4	S B 4 3 6 覆土	(2.00)	0.59	0.31	有茎式

表16 鋼錠観察表

## 第Ⅳ章 まとめ

旧石器時代の遺物としては、ナイフ形石器・尖頭器・削器・搔器・楔形石器等が出土している。これらは富士黒土層から第Ⅰ黒色帯にかけて出土しているが、そのほとんどは休場層からの出土であった。ナイフ形石器は出土数も多く、いくつかの形態に分類できたが、本遺跡においては休場層上層の時期に多種類の形態のものが存在したことを明らかにし得た。

縄文時代の遺物としては、早期前半の細久保式期に比定できそうな押型文土器と、早期後半の鶴ヶ島台式から茅山下層式期に比定できる土器群の出土を見ている。押型文土器には若干の撚糸文土器と縄文土器が伴うようであり、これらの土器が植物纖維を含むものと金雲母を含むものとに大別できたことは注目すべきことと思われる。その他、石器では石鎌・石皿・磨石・打製石斧・削器・石匙等が出土している。中でも石鎌は84点と数量的にも多く、多数検出された陥穴との関連が考えられる。

弥生時代の遺物としては、多量の弥生時代後期末土器を筆頭にあげることができる。これらの土器は堅穴住居跡の床面や方形周溝墓の周溝内など、遺構を伴って出土したものが多く、各遺構での共伴関係を知る上でも良好な資料となった。土器の形態は、いづれの遺構から出土したものも非常に類似しており、これらの遺構がほぼ同時期に作られたことも明らかになった。土製品は、土製勾玉、土製丸玉、泥メンコ、有孔壺形土製品、紡錘車、手づくね土器といった多様な種類を見ることができた。中でも土製勾玉の出土量が最も多く、遺跡内におけるその分布も密であることが明らかにされた。有孔壺形土製品は沼津市八兵衛屋敷遺跡に続く2例目の出土となった。また、3号方形周溝墓の主体部から出土したガラス製勾玉1点は全国で最も東限の出土例であり、これとともに32点のガラス製小玉が出土したが、これだけ多量の出土例を見たのも東駿河地域では本遺跡が初めてである。本遺跡から出土したガラス製小玉は大きく2形態に分類することができたが、より詳細な検討は今後の資料の増加を待たねばならない。唯一の金属製品であるS.B.436から出土した銅鏡の形態は、沼津市八兵衛洞遺跡群で出土したものと同じであることが明らかになった。集落の継続時間が弥生時代後期末といった極めて短い時期に限定されること、外来系土器の出土量が極端に少ないと、土製勾玉等の土製品、銅鏡の形態や出土状況などは、本遺跡と近接する八兵衛洞遺跡群、八兵衛屋敷遺跡、二本松遺跡、尾上Ⅲ橋遺跡など愛鷹山麓に立地する遺跡との類似性、関連性が非常に強いことも認められ、これより南下した目黒身遺跡、大廟遺跡、雌鹿塚遺跡などとの関連性も認められる。

## 北神馬土手遺跡出土ガラスの化学組成

奈良国立文化財研究所 肥塚 隆保

### 1. はじめに

古代のガラスを自然科学的手法により調査する目的は、ガラスの化学組成を求めてガラスの種類を同定したり、地域特性や時代特性を明らかにすることにある。これらのデーターからガラスの産地を推定したり、当時の交易や流通などを知ることが可能となる。

從来から静岡県内で出土したガラスの分析がおこなわれたのは登呂遺跡出土のガラス小玉が知られており、いずれもカリガラスの出土が報告されている。今回は北神馬土手遺跡出土のガラス小玉の化学分析をおこなったのでその概要について示す。

### 2. 古代ガラスの分類（種類）

古代ガラスの材質を分類する基準は特に定義されたものではなく、ここでは、ガラスを構成する酸化物を網目形成酸化物（単独で3次元の網目を形成できる酸化物で $\text{SiO}_2$ など）、網目修飾酸化物（単独で網目を作ることは出来ないが、形成酸化物が作る網目中にはいり、ガラスの性質に大きく影響する酸化物で、 $\text{NaO}_{1/2}$ 、 $\text{KO}_{1/2}$ 、 $\text{BaO}$ 、 $\text{CaO}$ 、 $\text{PbO}$ など）、中間酸化物（単独ではガラスを作れないが、形成酸化物の一部を置き換わって網目形成に加わる。また修飾酸化物としてもはたらくもので、 $\text{PbO}$ 、 $\text{AlO}_{2/3}$ など）に区分すると同時に、融剤の種類が一目でわかるように含有量の多いものに着目して材質の分類をおこなった。

古代に流通した主なガラスは、鉛珪酸塩ガラス、アルカリ珪酸塩ガラスの各グループに大きく分類できる。さらに各グループを細分すると表1のようになる。

表1. 弥生時代の遺跡から出土するガラスの種類

鉛珪酸塩ガラス	鉛ガラス [ $\text{PbO} - \text{SiO}_2$ ] 鉛バリウムガラス [ $\text{PbO} - \text{BaO} - \text{SiO}_2$ ]
アルカリ珪酸塩ガラス	カリガラス [ $\text{K}_2\text{O} - \text{SiO}_2$ ] ソーダ石灰ガラス(低アルミナ高石灰タイプ) [ $\text{Na}_2\text{O} - \text{CaO} - \text{SiO}_2$ ] ソーダ石灰ガラス(高アルミナ低石灰タイプ) [ $\text{Na}_2\text{O} - \text{Al}_2\text{O}_3 - \text{CaO} - \text{SiO}_2$ ]

### 3. 分析の方法

多数のガラス遺物を分析するには、短時間で同時多元素測定できる方法が望ましく、今回は微小領域エネルギー分散型蛍光X線分析装置を用いて測定をおこなった。蛍光X線分析法は非破壊測定が可能であるが、ガラス表面の風化層の情報しか得られず、材質の種類を同定するこたはやや困難である。ここでは $1\text{ mm}\phi$ 内の領域について風化層を除去したち新鮮な部分の測定をおこなった。なお、蛍光X線法は深さ方向による元素情報が異なるため、分析位置に気泡等が内部に存在しない場所を選んで、任意の資料10点の測定を実施した。分析条件は表2に示す。なお、定量値の算出にあたっては、ガラス標準試料

を使用したF P (ファンダメンタルパラメータ) 法によった。なお、定量値は検出できた全元素の合計を100%と規格化したものを、酸化物表示し重量%で表示した。

表2. 蛍光X線分析の測定条件

励起電圧 : 20~45 Kvp	電流 : 4 mA ~0.3mA	計数時間 : 500~100 sec
X線管球 : Mo	コリメーター : Mo 1 mmφ	測定雰囲気 : Vac
検出器 : Si (Li) SSD	測定元素 : Na - U	

#### 4. 結果

今回測定した資料はすべてカリガラスであった。従来の分析からも弥生時代に出土するアルカリ珪酸塩ガラスはカリガラスであり、ソーダ石灰ガラスが多量に出現するのは3世紀後半からである。今回測定したカリガラスの主要3成分については表3に示した。古墳時代に多量に流通したソーダ石灰ガラスと比較すると網目形成酸化物がやや多く、網目修飾酸化物がやや少ないことが特徴である。また、中間酸化物も少量含まれている。また、各資料の酸化物については表4に示した。それぞれ分析値にはバラツキが伴っているが、この原因としてはガラスの組成自身によることと、資料の風化層の除去が不十分なことも影響する。今回の資料は青紺色ないし紫紺色のガラスはコバルトイオンによって着色されている。コバルトイオンは極微量含まれるだけでもガラスを青紺色に着色されると言われている。また、この色調のガラスには $\text{Fe}_2\text{O}_3$ やも多量に含有しており、これは着色材料に使用されたコバルト鉱石にもとづくものと考えられる。いっぽう、淡青色ガラスには $\text{PbO}$ がわずかに含有しており、またこの表4には示していないが、微量の $\text{SnO}$ も含有している。これは着色材料として利用された銅に伴う不純物と考えられ、銅合金材料などが使用された可能性を示すものである。いずれにしても今回の測定結果は、従来のデータと一致するもので、弥生時代には相当量のカリガラスが日本国内に流通していたことを示すものである。参考のため、ガラス加成因子からもとめた密度、屈折率を示した(表5参照)。

なお、今回検出されたカリガラスは日本国内において生産されたものではなく、中国あたりで生産されたカリガラスと推定されている。

表3. ガラス小玉の主要構成酸化物の平均値 (wt %)

		網目形成酸化物	網目修飾酸化物	中間酸化物
平 均 値		82.6	14.1	1.4
標本標準偏差 $\pm 1\sigma$		0.8	0.6	0.6

表4. 各ガラス小玉の測定値 (wt %)

No.	SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Na <sub>2</sub> O	K <sub>2</sub> O	MnO	CaO	TiO <sub>2</sub>	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CuO	MnO	CoO	PbO
99-21	75.0	2.7	0.9	18.3	tr	0.7	tr	0.7	1.5	tr	-	0.1
114-12	80.1	1.9	0.7	14.0	0.1	0.8	0.1	1.2	tr	1.1	0.1	-
114-16	79.4	1.7	0.7	15.5	tr	0.8	0.1	1.0	tr	0.8	0.1	-
114-17	77.6	1.8	0.7	16.7	0.1	0.8	0.1	1.0	tr	1.3	0.1	-
114-19	75.7	2.4	1.4	16.9	0.2	0.9	0.1	0.5	1.9	tr	-	0.1
114-21	76.5	2.4	0.7	17.5	0.1	0.9	0.1	0.5	1.2	tr	-	0.1
114-22	74.7	2.0	0.6	19.0	0.1	1.2	tr	1.3	tr	1.0	0.1	-
114-27	77.2	1.4	0.8	16.3	0.2	1.2	0.1	0.8	0.4	1.6	0.1	-
114-31	79.4	2.1	0.9	15.2	0.1	0.8	0.1	0.5	1.0	tr	-	0.1
114-38	76.3	2.5	0.9	17.3	0.1	0.9	0.1	0.1	1.4	-	-	0.1

tr : 0.05以下 - : 検出限界以下を示す

114-12、114-16、114-17、114-22、114-27は青紺色ないし紫紺色のガラス、99-21、114-19、114-21、114-31、114-38は淡青色ガラス

表5. ガラス小玉の物性

		密度	屈折率
平 均 値		2.37	1.46
標本標準偏差 $\pm 1\sigma$		0.01	0.01

### 参考文献

- Robert H. Brill, "CHEMICAL ANALYSES OF SOME EARLY INDIAN GLASSES" ARCHAEOOMETRY OF GLASS, XIV ICG", Indian Ceramic Society, (1986), p 1-25.
- Shi Meiguand, He Ouli, Zhou Fuzheng, "INVESTIGATIONS OF SOME CHINESE POTISH GRASSES EXCAVATED IN HAN DYNASTY TOMBS", ARCHAEOOMETRY OF GRASS, XIV ICG", Indian Ceramic Society, (1986), p 15-20.
- 山崎一雄、「古代ガラスの科学的研究」、古文化財の科学、恩文閣出版、(1987) , p .193-300.
- 何越教 他 「中国的礦資源」、中国地理叢書、上海教育出版、(1987) .
- 山根正之 「はじめてガラスを作る人のために」、内田老舗圖、(1987) .
- 馬淵久夫 他 「本邦出土古代ガラスの原料产地と材質の変遷」、文部省科学研究成果報告書、(1989)、 p .1-24.
- 中華人民共和國地質部、「鉱床と鉱產」、地質專報 4 第21号、地質出版社、(1991) .
- Robert H. Brill, Stephan S. C. Tong, Doris Dohrenwend, "CHEMICAL ANALYSES OF SOME EARLY CHINESE GLASSES", Scientific Research in Early Chinese Glass, The Corning Museum of Glass, (1991), p 31-58.
- Zheng Fukang, "SCIENTIFIC STUDIES OF EARLY GLASSES EXCAVATED IN CHINA", Scientific Research in Early Chinese Glass, The Corning Museum of Glass, (1991), p 157-165.
- 肥塙隆保、「古代珪酸塩ガラスの研究—弥生～奈良時代のガラス材質の変遷ー」、文化財論叢II、同朋舎出版、(1995) , p 929-967.
- 肥塙隆保、「古代ガラスの材質」、古代に挑戦する自然科学（大学と科学公開シンポジウム）、クバプロ、(1995) , p 94-108.

## 北神馬土手遺跡における種実同定

株式会社 古環境研究所

## 1. 試 料

試料は、弥生時代後期～古墳時代初頭の焼失住居内の炉、焼土および土器（P）より採取された堆積物（土壤）から、2mm、1mm、0.5mm、0.25mm目の籠による水洗選別法および浮遊選別法によって選別された炭化種実類33点である。

表1 検出試料一覧

調査区	住居No.	遺構(Pは土器ナンバー)	堆積物重量(g)	点数(箱)
2	61	P-27	4145	1
4	30B	炉	3735	1
		焼土	26833	1
	31A	炉焼土	8591	1
	36	P-10	595	1
		P-14	297	1
		P-20	3250	1
		P-24	2883	11(大10、小1)
		P-25	1943	1
	52	P-4	1051	1
		P-5	963	1
		P-6	1304	1
		P-7	1867	1
		P-10	2392	1
		炉	6102	1
5	31	炉	14169	1
	48	炉	43502	4(大3、小1)
	49	炉焼土	6102	1
	58	炉	92830	1
	21	炉		1

## 2. 方 法

試料を肉眼及び双眼立体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示した。

## 3. 結 果

樹木4、草本7の計11が同定された。学名、和名および粒数を表2に示し、主要な分類群を写真に示す。以下に同定根拠となる形態的特徴を記す。

## 〔樹木〕

## a. コナラ属 Quercus 子葉 ブナ科

炭化しており黒褐色である。楕円形を呈し、表面は平滑である。長さ15.6mm、幅9.8mm。

## b. カラスザンショウ Zanthoxylum ailanthoides Sieb. et Zucc. 種子 ミカン科

黒色で楕円形を呈し、側面に長く深いへそがある。表面には大きい網目模様がある。長さ3.0mm、幅2.7mm。

## c. ホルトノキ属? Elaeocarpus? 核 ホルトノキ科

黄褐色で長卵形を呈す。表面には不明瞭で微細な凹凸がある。長さ9.8～10.2mm、幅4.5～5.3mm。

## d. ヒサカキ属 Eurya 種子 ツバキ科

黄褐色で不整形を呈す。表面に多数の小孔がある。長さ1.8mm、幅1.3mm。

## 〔草本〕

## e. イネ Oryza Sativa L. 果実 イネ科

炭化しており黒色である。長楕円形を呈し、胚の部分がくぼむ。表面には数本の筋が走る。長さ3.7～4.1mm、幅2.2～3.0mm。

- f. オヒシバ *Eleusine indica* Gaertn. 種子 イネ科  
黒色で梢円形を呈す。表面には波状の模様がある。長さ1.3mm、幅0.8mm。
- g. カヤツリグサ属 *Cyperus* 果実 カヤツリグサ科  
黒褐色で狭倒卵形を呈す。表面はやや粗い。断面は三角形である。長さ1.0mm、幅0.5mm。
- h. イシミカワ *Polygonum perfoliatum* L. 果実 タデ科  
黒色で、やや光沢がある。円形を呈し、一端にへそ部がある。断面は円形に近い三角形である。径3.0mm。
- i. タデ属 A+B *Polygonum A+B* 果実 タデ科  
Aは茶褐色で頂端の尖る広卵形を呈す。断面は三角形、表面には光沢がある。長さ1.8~2.0mm、幅1.3~1.4mm。  
Bは茶褐色で頂端の尖る卵形を呈す。断面は両凸レンズ状で、表面は粗い。長さ1.5~2.0mm、幅1.2~1.5mm。
- j. カラムシ属 *Boehmeria* 種子 イラクサ科  
ゆがんだ卵形、両端は尖る。表面はざらつき、種皮は厚くやや堅い。黄褐色。長さ2.8~3.3mm、幅1.8~1.9mm。
- k. ヒュ属 *Amaranthus* 種子 ヒュ科  
黒色で光沢がある。円形を呈し、一ヶ所が切れ込みへソがある。断面は両凸レンズ形である。径1.1~1.2mm。

#### 4. 考 察

##### (1) 種実遺体群の特徴と植生、環境

樹木の種実はコナラ属、カラスザンショウ、ホルトノキ属?、ヒサカキ属がわずかに同定された。これらの樹木は温帯域に普通に生育する樹木であり、自然度の高い植生から人為性のやや高い植生まで分布する種類である。なお、検出個数が少ないと炭化した特殊な残存であるため、周囲の樹木の状況の一部を反映していると考えられる。

草本はイネ、オヒシバ、カヤツリグサ属、イシミカワ、タデ属、カラムシ属、ヒュ属が同定された。イネ(炭化米)はほぼ各試料に含まれ、4区住居No36P-24と5区住居No48炉からはまとまって多量に検出された。イネ以外のオヒシバ、カヤツリグサ属、イシミカワ、タデ属、カラムシ属、ヒュ属の草本は、人為性の高い集落域や農耕地に好んで生育する人里植物ばかりである。住居跡の周囲には人為性の高い植生が分布し、草本の生育する日当たりのよい開地の環境が分布していたと推定される。

##### (2) 出土コメ(炭化米)の形態について

コメは佐藤(1988)によって形態的検討が行われている。ここでは検出数の多い4区住居No36P-24と5区住居No48炉からコメ(炭化米)100粒を任意にとりだし長さと幅の計測を行い、佐藤(1988)に従って長さ×幅(粒大)、長さ/幅(粒形)の頻度を調べた。表3、4に示されるように、4区住居No36P-24と5区住居No48炉とも短粒のものがほとんどを占め、長粒の値のものが少し含まれる。粒大は小が多く、極小もやや含まれる。以上のように、本遺跡におけるコメ(炭化米)の形態的特徴は、佐藤(1988)の示す日本の弥生時代の特徴と一致する。

#### 参考文献

- 笠原安夫(1985)日本雑草図説、養賢堂、494p.  
佐藤敏也(1988)弥生のイネ、弥生文化の研究第2巻生業、雄山閣出版株式会社、p.97-111.

表2 種実同定結果

分類群	区 2				4				5			
	住居	%	61	30B	31A	36	52	31	48	49	58	21
学名(和名)	部位	遺物	P-27	炉	燒土	炉燒土	P-10	P-14	P-20	P-24	P-25	P-4
arbor(樹木)							P-5	P-6	P-7	P-10	炉	炉
Quercus(コナラ属)	子葉片							2				
Zanthoxylum ailanthoides Sieb. et Zucc.(カラスザンショウ)	種子									1		
Elaeocarpus?(ホルトノキ属?)	核片							3				
Eurya(ヒサカキ属)	種子									4		
herb(草本)												
Oryza sativa L.(イネ)	果実	1	1	1	1	12	21	1176	17	1	2	5449
Eleusine indica Gaertn.(オヒシバ)	種子				4							
Cyperus(カヤツリグサ属)	果実				1							
Polygonum perfoliatum L.(イシミカワ)	果実											9
Polygonum A(タデ属A)	果実				2							
Polygonum B(タデ属B)	果実	3	1	1					1		1	1
Boehmeria(カラムシ属)	種子									2		
Amaranthus(ヒュウ属)	種子			17								
Total	合計	4	1	26	2	1	12	26	1176	17	2	450
Unknown	不明									14	12	2

表3 4区住居Na36 P-24出土

イネ(Oryza sativa L.) 果実の粒形とその大きさ

粒形	粒大	極々小		極小		小		中		合計		%
		~8	~12	~8	~12	~16	~16	~	~	~	~	
長 粒	2.6~3.0 L 1							0				
	2.3~2.6 L m					0	2					
	2.0~2.3 L s		2			2						
短 粒	1.8~2.0 S 1			3	10			13				
	1.6~1.8 S m			3	56			59	98			
	1.4~1.6 S s			2	24			26	98.0			
円 粒	1.2~1.4 R 1							0	0			
	1.0~1.2 R m							0	0.0			
	合計	0	10	90	0			100				
%	0.0	10.0	90.0	0.0				100				

※粒形は粒長/粒幅、粒大は粒長×粒幅をさす。

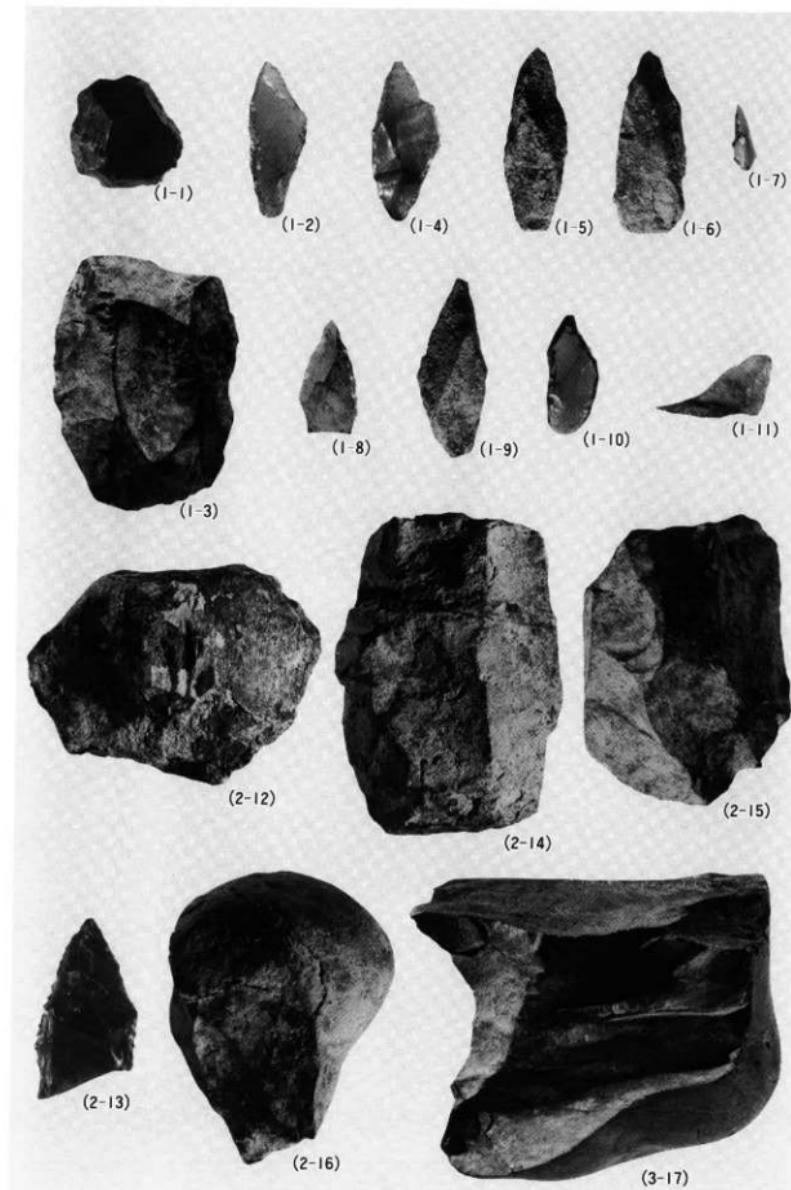
表4 5区住居Na48炉出土

イネ(Oryza sativa L.) 果実の粒形とその大きさ

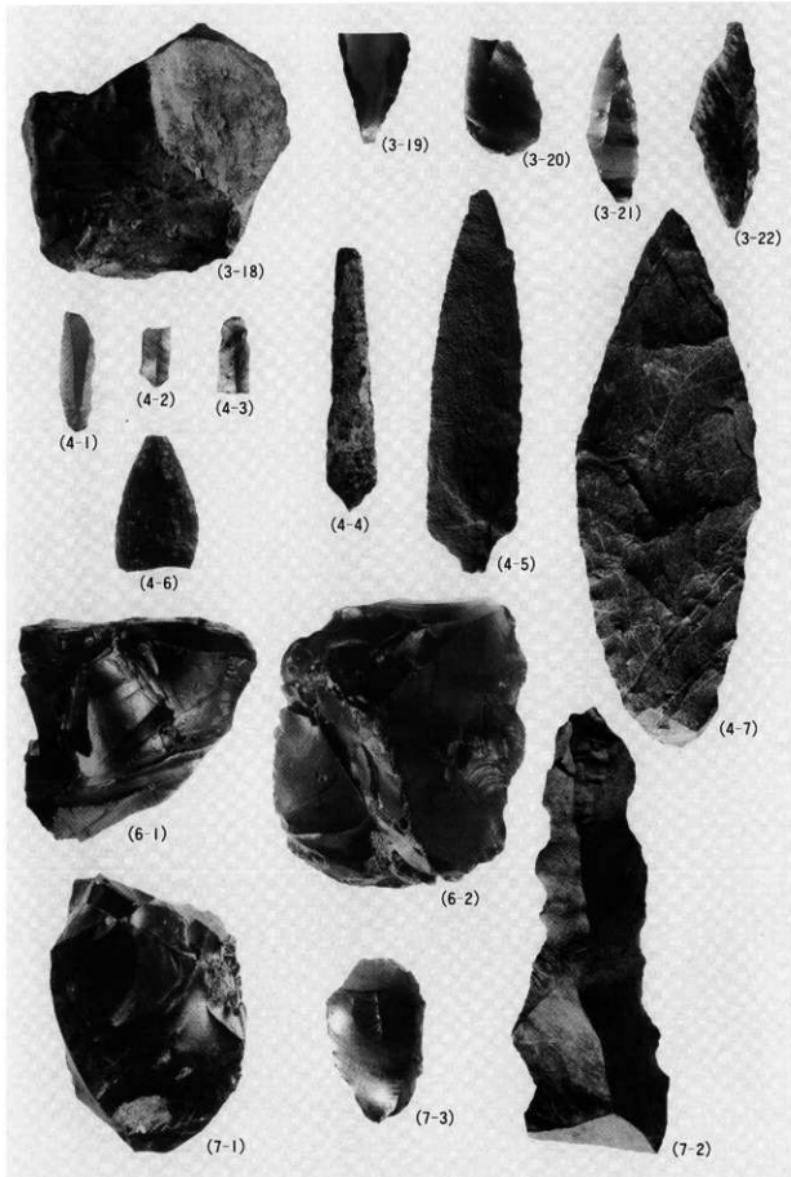
粒形	粒大	極々小		極小		小		中		合計		%
		~8	~12	~8	~12	~16	~16	~	~	~	~	
長 粒	2.6~3.0 L 1							0				
	2.3~2.6 L m							0	2			
	2.0~2.3 L s		5		3			8				
短 粒	1.8~2.0 S 1			20	24			44				
	1.6~1.8 S m			10	31			41	92			
	1.4~1.6 S s			3	4			7	92.0			
円 粒	1.2~1.4 R 1							0	0			
	1.0~1.2 R m							0	0.0			
	合計	0	38	62	0			100				
%	0.0	38.0	62.0	0.0				100				

※粒形は粒長/粒幅、粒大は粒長×粒幅をさす。

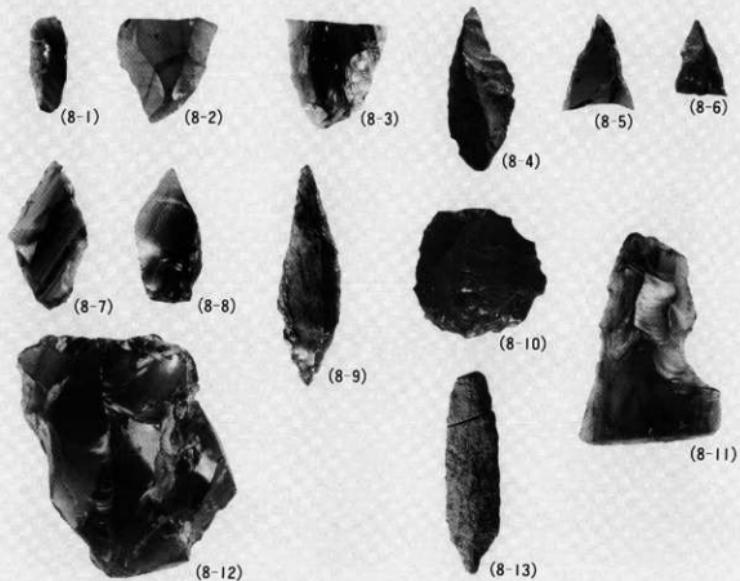
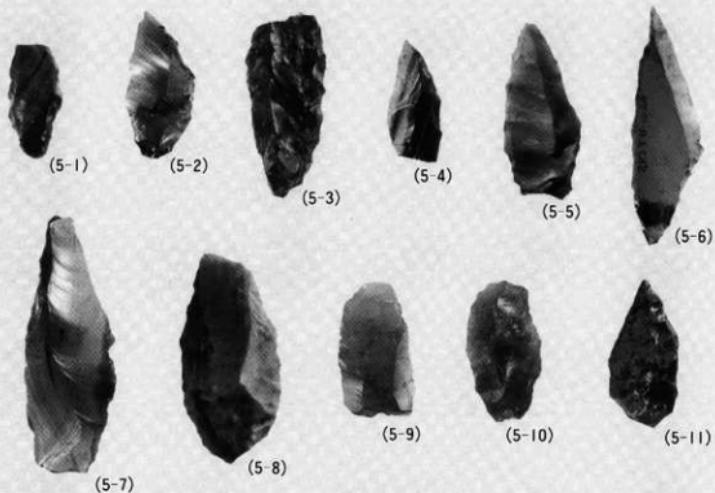
# 写真図版



図版1 旧石器時代の遺物 (1)

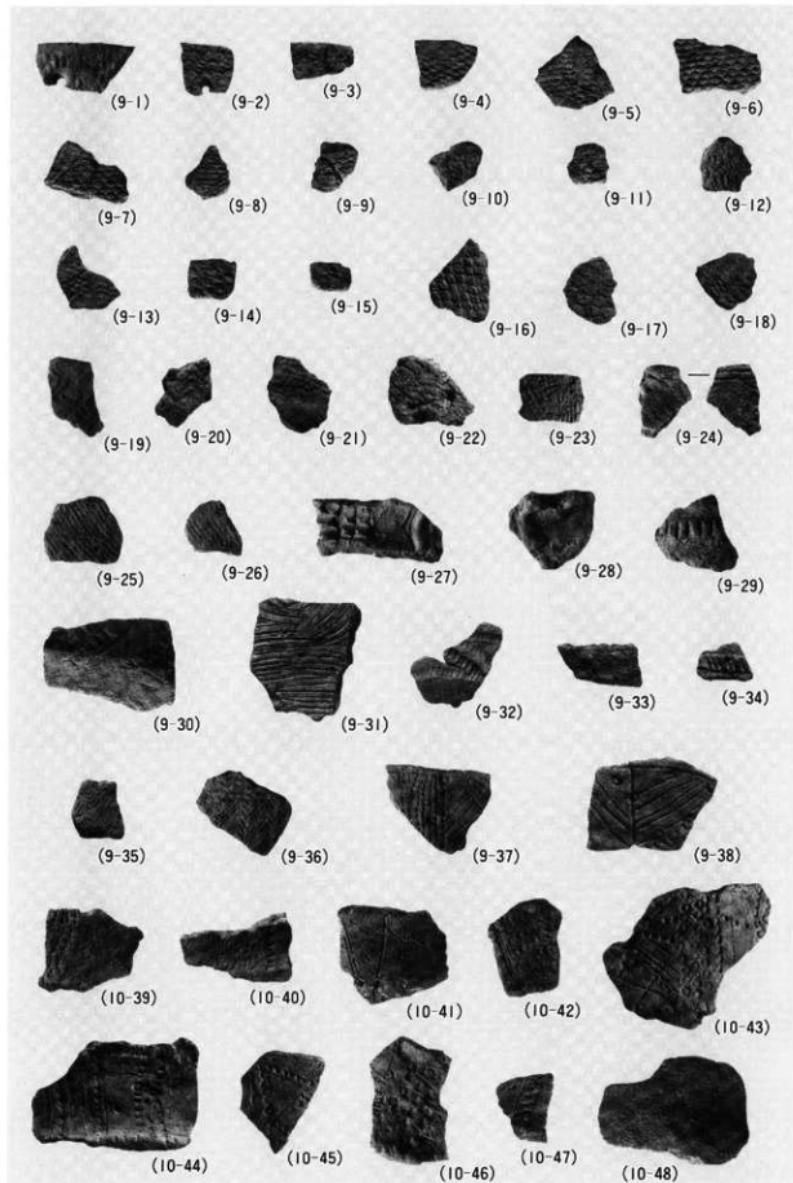


図版2 旧石器時代の遺物(2)

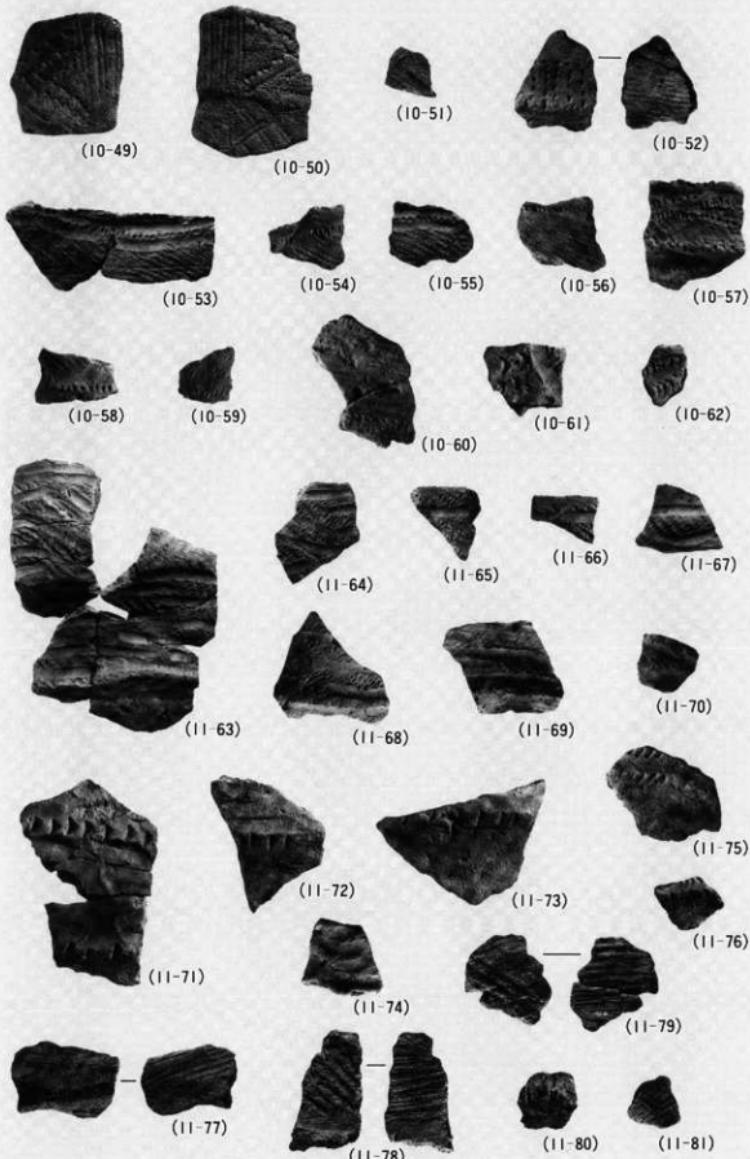


図版3 旧石器時代の遺物(3)

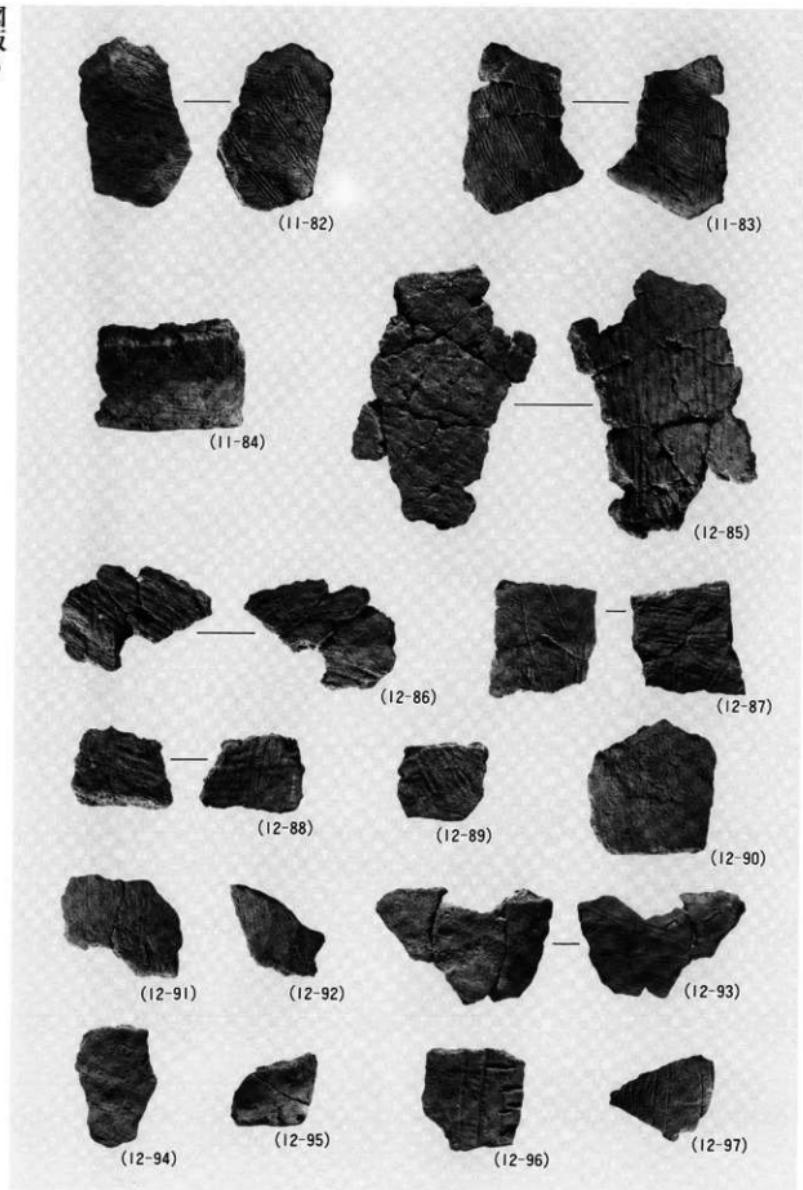
図版  
4



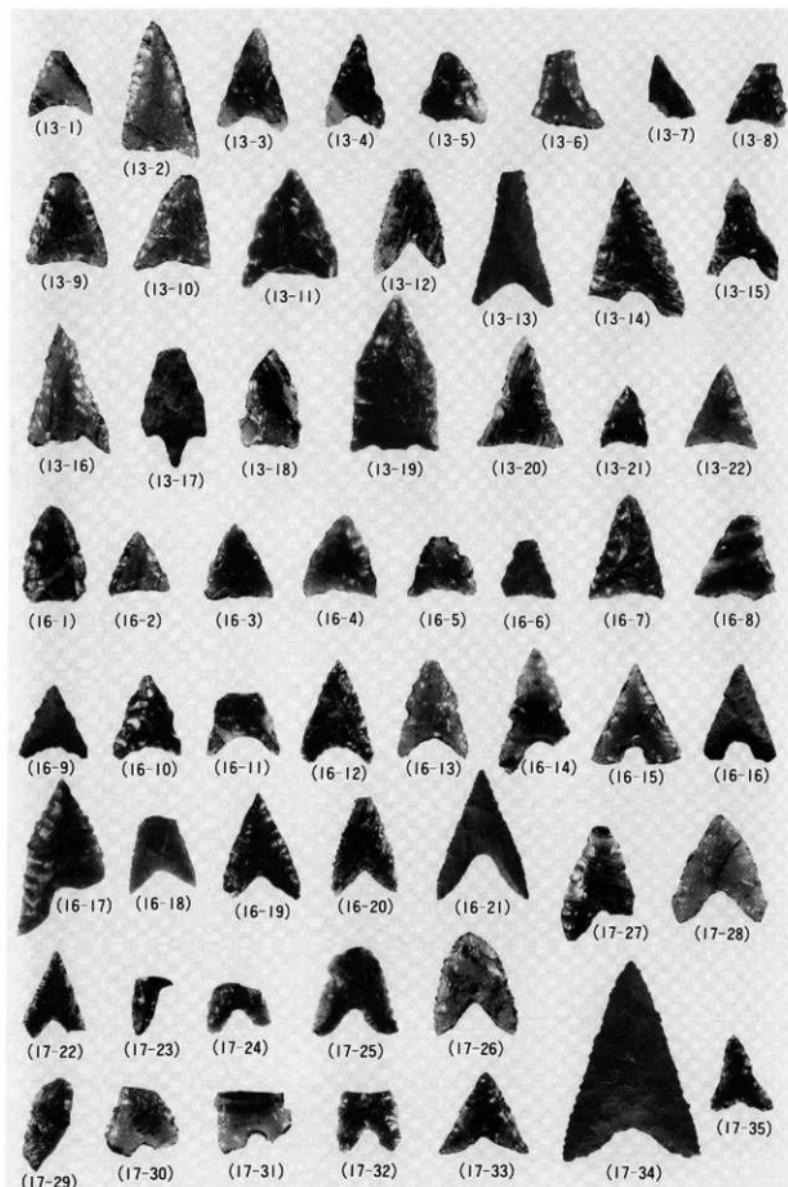
図版4 織文土器(1)



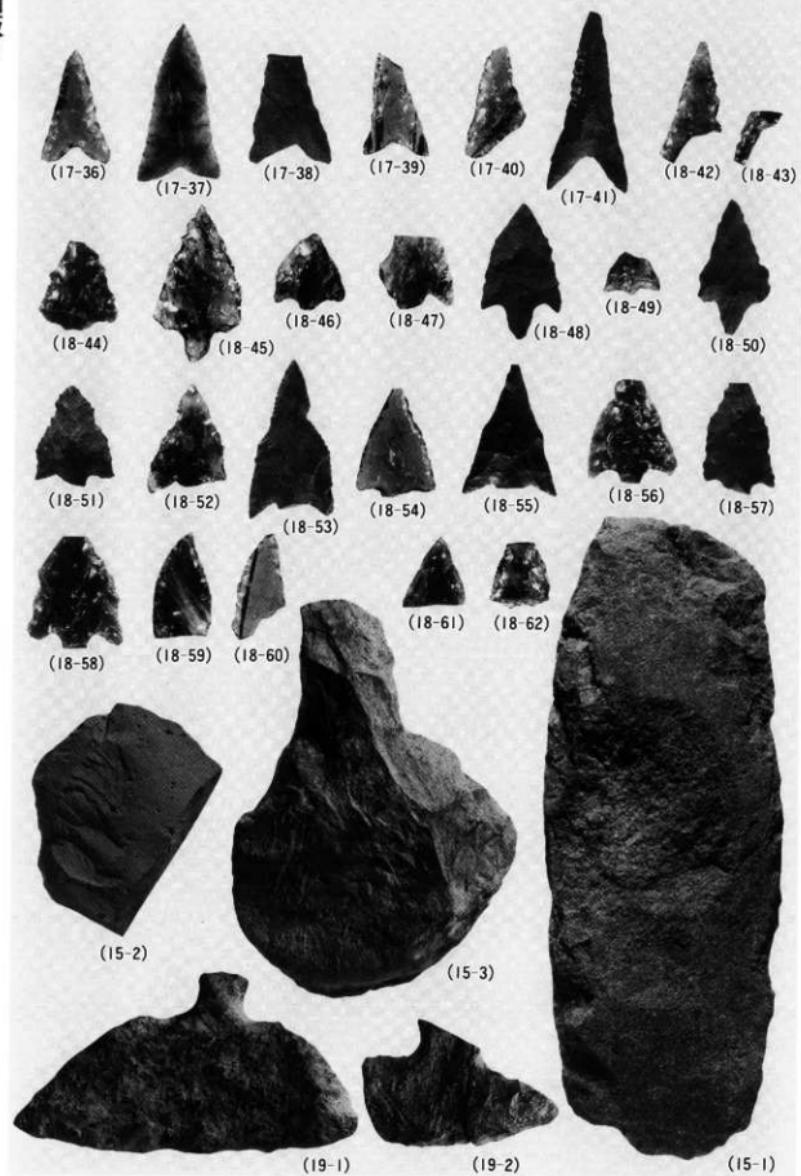
図版5 桶文土器(2)



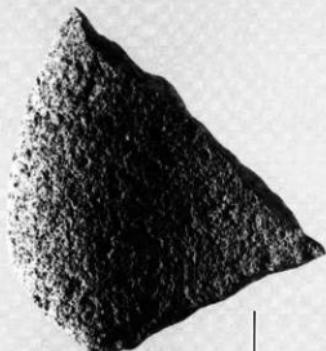
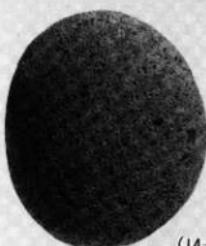
圖版 6 繪文土器 (3)



図版7 桶文時代石器(1)



図版 8 縄文時代石器 (2)



図版 9 縄文時代石器 (3)



20-7



22-1



23-4



22-20



23-3



119-1



24-1



24-5



24-14



25-1



26-6



26-9

図版11 2区出土弥生土器（1）



27-7



27-20



31-5



32-2



33-6



32-8

圖版12 2區出土弥生土器(2)

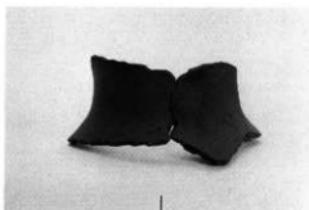


30-1

図版13 2区出土弥生土器（3）



32-1



31-1

圖版14 2區出土弥生土器(4)



37-5



37-2



37-7



37-3



38-1

図版15 2区出土弥生土器（5）



40-1



39-3



39-4



37-17



42-1



41-1



39-1



41-5



41-18



39-5



43-2



43-12



44-11



45-2



45-13



46-14



45-1



46-17



46-10



46-15

図版19 4区出土弥生土器（1）



48-15



48-3



48-15



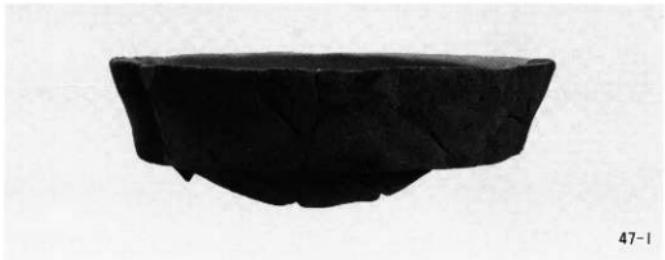
48-5



48-6



48-4



47-1



48-1



47-13



47-12



51-6



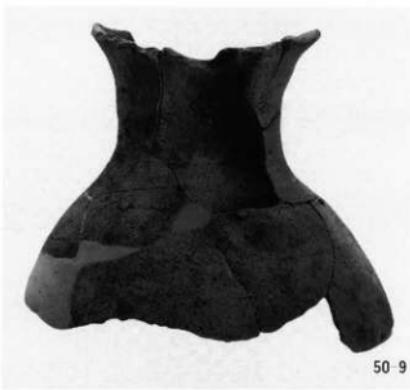
49-8



50-7



51-8



50-9



51-7



51-9



51-1

圖版22 4區出土弥生土器(4)



54-1

図版23 4区出土弥生土器（5）



60-2



56-1



56-2



58-3



55-2



58-1

圖版24 4區出土弥生土器(6)



60-5



65-3



60-6



64-1



60-7



60-8



64-5

図版25 4区出土弥生土器 (?)



63-1



65-1



63-10



64-4



62-3

圖版26 4區出土弥生土器(8)



63-2



63-3



65-2



64-3



63-8



63-11

図版27 4区出土弥生土器(9)



62-1



62-2



66-6

67-1



66-3

66-2



67-2

図版29 4区出土弥生土器 (11)



図版30 4区出土弥生土器 (12)



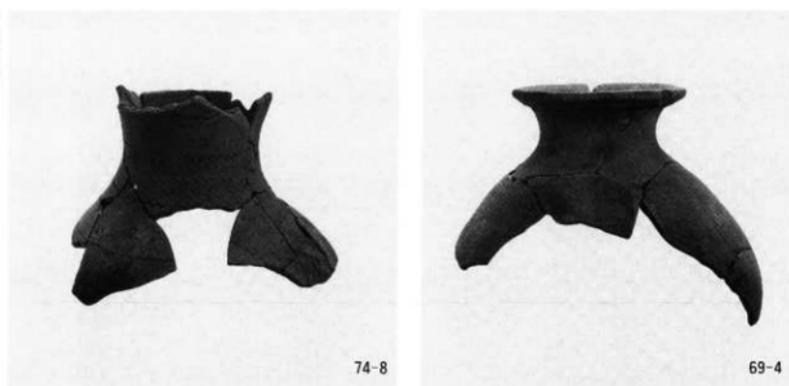
71-1



70-2



70-1

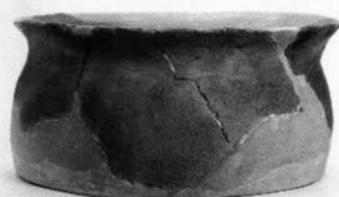


図版32 4区出土弥生土器 (14)



73-4

73-1



72-7

73-2



76-8

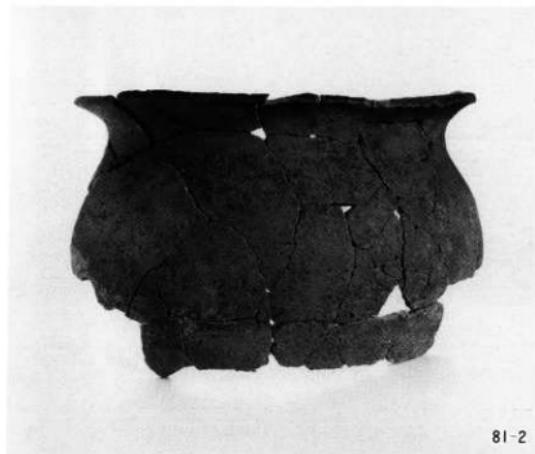
76-9



図版34 4区出土弥生土器 (16)



78-2

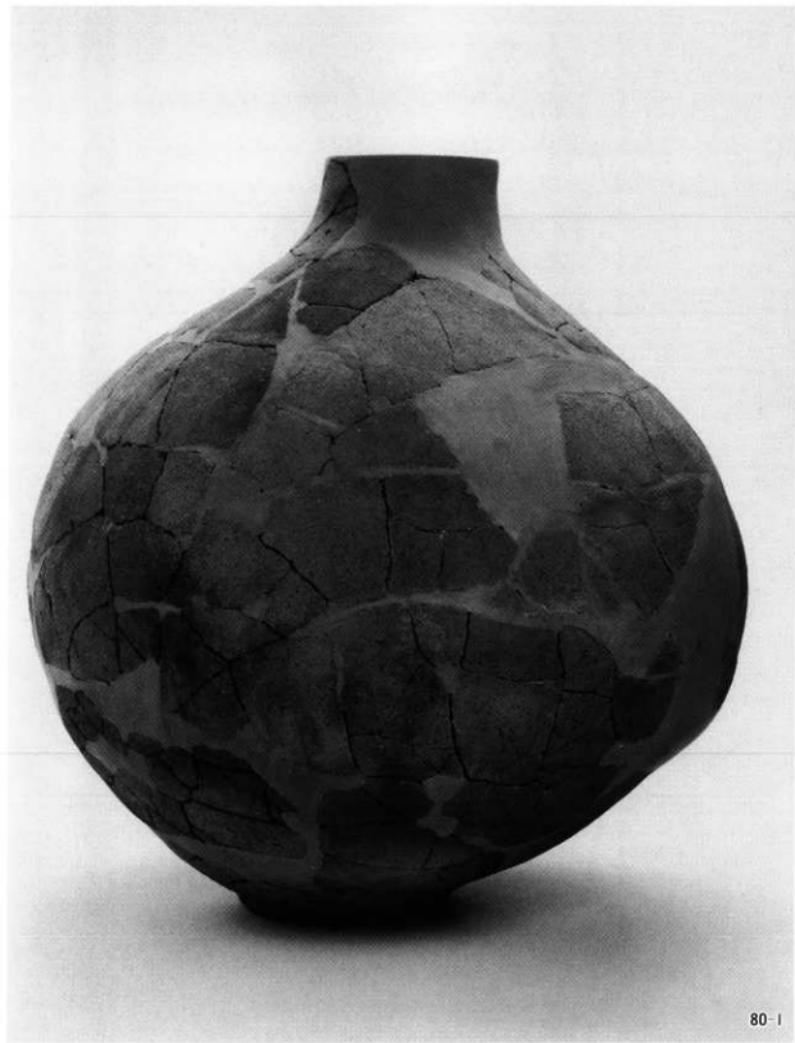


81-2



77-15

図版35 4区出土弥生土器 (17)



80-1

圖版36 4區出土弥生土器 (18)



83-6



83-4-2



84-4



84-2



83-9



87-3



86-1



88-4



86-10



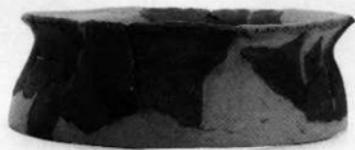
88-3



86-14



86-8



88-1



90-8



90-12



92-10



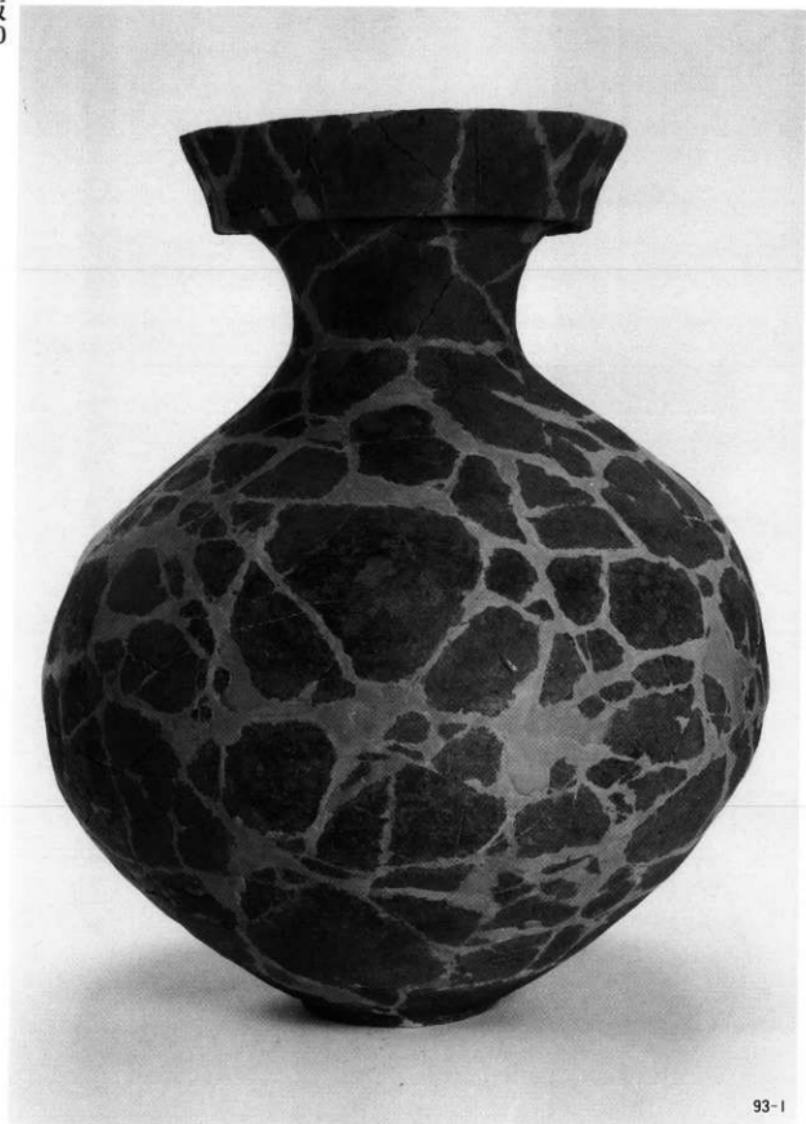
92-11



94-14

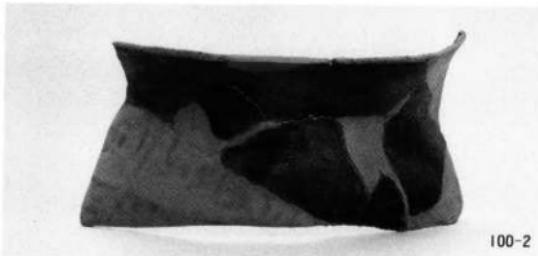
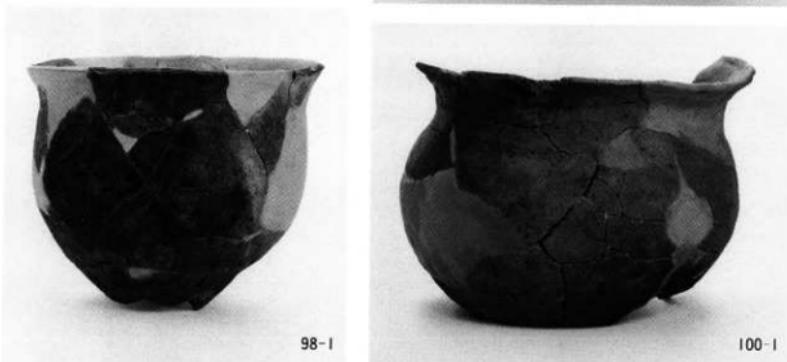


95-9



93-1

圖版40 5區出土弥生土器（4）



図版41 5区出土弥生土器(5)



圖版42 5區出土弥生土器（6）



119-9



106-2



106-3



107-10



106-4



108-20



109-1



109-3



112-2



112-1



112-4



113-5



110-1



110-2

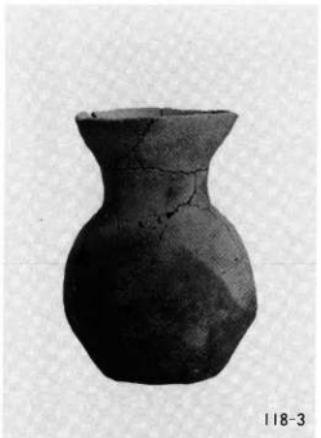


109-2



114-3

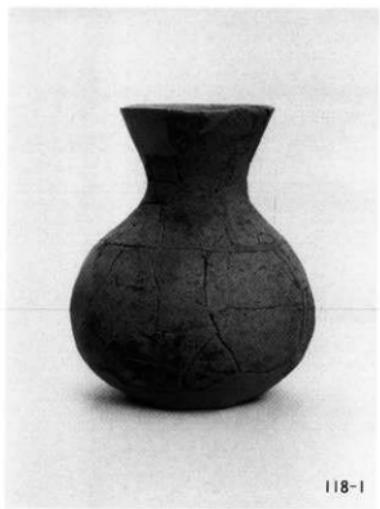
図版45 5区出土弥生土器(9)



118-3



118-4



118-1



115-1

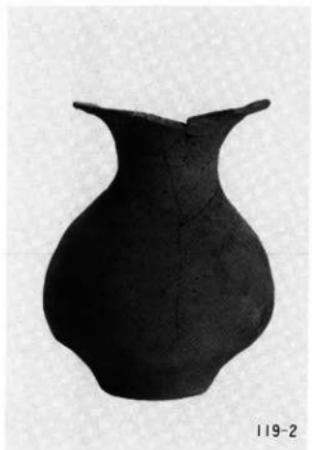


117-1



118-5

図版47 5区出土弥生土器 (11)



119-2



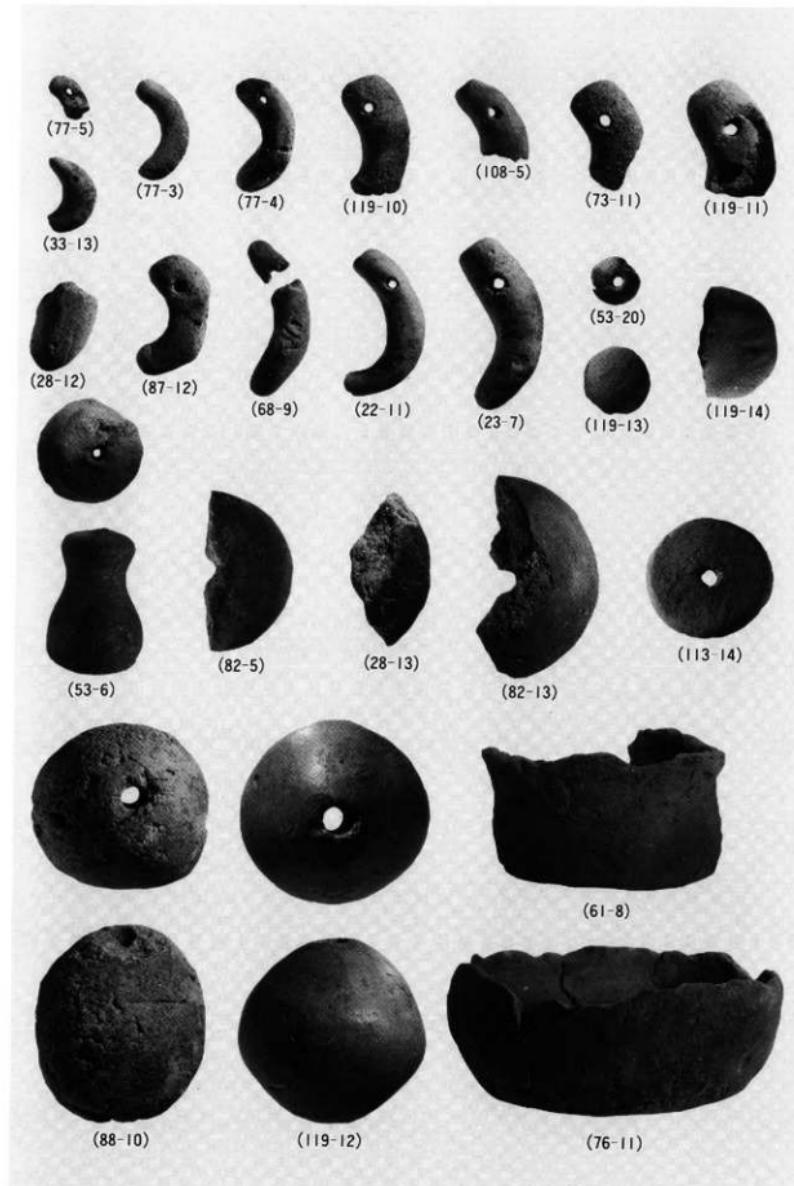
117-4



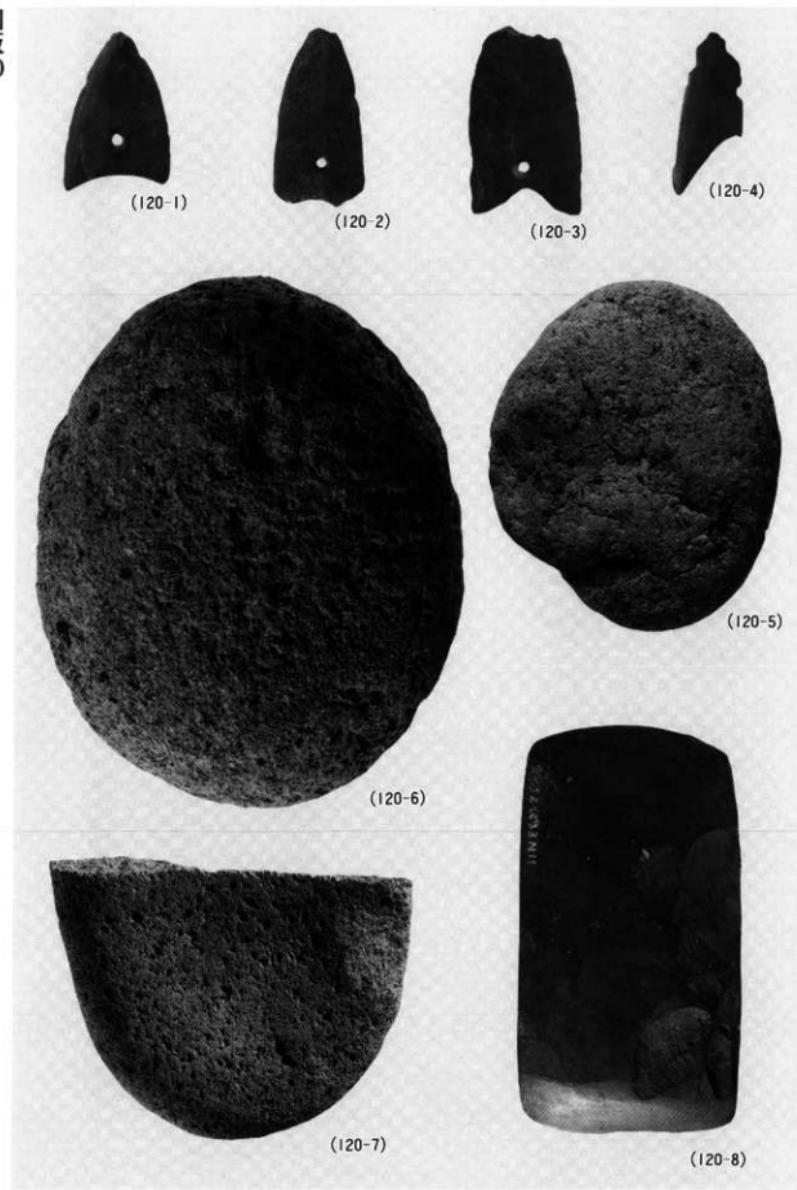
117-3



117-5



図版49 弥生時代土製品



図版50 弥生時代石器

お世話になった方々（50音順 敬称略）

池谷初恵・石川治夫・植松章八・小野真一・加納俊介・小島正裕・設楽博巳・篠原和大・柴田 稔  
鈴木敏中・鈴木裕篤・瀬川裕市郎・高尾好之・滝沢 誠・武井則道・西川修一・藤原宏志・山本恵一  
渡井英智

整理作業参加者（50音順 敬称略）

井出香織・稻葉芳美・遠藤佐知子・遠藤美鈴・大川佳世子・押尾と志子・加藤直美・金沢麻理子  
川口幸子・鈴木里恵・鈴木輝美・高田みゆき・高遠美幸・高橋元子・水上綾子・湊 嘉秀  
村川裕子・森島富士夫・山下洋子・山本和美・湯川由巳・吉村たまみ・和途美紀

# 報告書抄録

ふりがな		きたじんめどついせきほか いぶつへん													
書名	北神馬土手遺跡他Ⅱ(遺物編)														
副書名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告書														
シリーズ名	第89集														
編著者名	羽二生保・岩崎しのぶ														
編集機関	財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所														
所在地	〒422 静岡県静岡市谷田23-20 TEL 054-262-4261(代)														
発行年月日	西暦1997年3月31日														
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 °'."	東經 °'."	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因								
北神馬土手 遺跡他	静岡県沼津市 あしたかのうえ 足高尾上241- 10	22204	35° 8' 38"	138° 51' 27"	1993.12.01 1995.03.31	60000m <sup>2</sup>	静岡県東部 運転免許セ ンター建設 に伴う事前 調査								
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項								
植生遺跡 (東部運転免許セ ンター地区)	聚落 墓 烟	古墳時代初期～ 弥生時代末	多穴住居 獨立柱建物 溝状壇堀 布削臼遺構 枕列 方形周溝墓 柱状遺構 土坑	弥生式土器 小型土製品 (土製勾玉 土製丸玉 土製纺錐車 有乳形 土製品) 手づくり土器 ガラス製小玉 ガラス製幻玉 銅鏡 有孔磨製石器 扁平片刃石斧 磨石 磨石 夷化米 ベンガラ 縄文式土器 (早期～後期) 石器 石器 打製石斧 磨石 磨石 石皿 ナイフ形石器 小型石刃状製品 椎器 楔形石器 尖頭器 有舌尖頭器 抉入削器 石核 剣片	多穴住跡301軒 獨立柱建物54軒 方形周溝墓3基										
		縄文時代	箱穴 壁群	弥生時代～古墳時代初 期の大集落。 炭化材の保存した柱跡跡 や、浅谷から爐状遺構が 検出された。											
		旧石器時代	石器ブロック 壁群												

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第89集

**北神馬土手遺跡他 II**

(遺物編)

平成5・6年度 東部連軸免許センター建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成9年3月31日発行

編集発行 財団法人  
静岡県埋蔵文化財調査研究所  
〒422 静岡県静岡市谷田23-20  
TEL 054-262-4261  
FAX 054-262 4266

印 刷 株式会社 三 創  
静岡市中村町166番地の1  
TEL (054) 282-4031